

トラックを起因物（小）とする死亡災害事例（1999-2022年）

年	月	発生時	死亡災害事例	業種 (小) コード	事故 の型 コー ド	労働 者規 模
2022	1	8 ～ 10	被災者は大型トラック（13トンウイング車）を運転し、荷を輸送した後、工場へ向うべく高速道路を走行していたが、途中、サービスエリア駐車場に車を止め、高さ3.7メートルのトラック荷台屋根の上で、雪を取り除く作業を行い、トラック後部から降りようとして転落した。	040301	1	50～ 99
2022	1	14 ～ 16	公道において、労働者が、トラック（最大積載量14.3トン）に積んだ荷（建築資材）の固縛作業を行っていたところ、高さ176センチメートル、幅3センチメートルのトラック荷台のあおり上から地面に墜落した。被災者は被災から約4か月後に閉塞性黄疸により死亡した。	040301	1	10～ 29
2022	1	14 ～ 16	トラックの荷台から機器を降ろす作業において、テールゲートリフターに機器を載せて位置調整をしていたところ、被災者が機器ごとテールゲートリフターから墜落し、被災者は機器の下敷きになり、死亡した。	030302	1	10～ 29
2022	1	12 ～ 14	事業場敷地内において、けん引車両とトレーラーを連結するために、けん引車両を後進させたが積雪により連結できなかったため、被災者がトレーラーの連結部付近で除雪作業を行っていたところ、けん引車両が後進して同車とトレーラーに挟まれたもの。	011701	7	30～ 49
2022	1	10 ～	被災者は同僚1名と共に、大型トラック（15t）に積載されたコンクリートブロック（1個約450Kg×16個）を、横づけしたもう一方の積載型トラッククレーン（7t）へ積替える作業を行っていた	040302	1	1～9

		12	ところ、道路沿いの崖下へ約30m転落し死亡したもの。搬送場所が変更され積雪もあった為、積荷を小さい車両へ移し変えていた。			
2022	1	12 ～ 14	工場内の車両整備ピットにおいて、ミキサー車のキャビンを前傾させ、オイルエレメント交換作業を行っていた。被災者がミキサー車の下部に入り、エンジンオイルを抜き出す作業の際、他労働者に対し、エンジンをかけるよう指示したため、他労働者がエンジンをかけたところ、前進し始め、ミキサー車前輪がピットから1メートル下に落下し、被災者が下敷きとなり死亡したもの。	040301	4	1～9
2022	1	8 ～ 10	事業場から用務先に徒歩で向かう途中で横断歩道を渡ろうとしたところトラックにはねられ死亡したもの。	040301	17	1～9
2022	1	2 ～ 4	側乗指導のため被災者が助手席に乗り込み、別の労働者が運転中、運転者が運転を誤り、道路左側にあった標識にぶつめた後、ガードレールにぶつかった。この衝撃でトラックのキャビンが変形し、被災者の足がキャビン内のシートとグローブボックス間ではさまれた。その後、入院中であった被災者は肺塞栓症により死亡したもの。	040301	17	10～ 29
2022	1	16 ～ 18	被災者は、事業場の敷地内において、9tダンプトラックの荷台を上げて、ダンプトラックに付属した荷台の降下を防止するためのストッパーを使用せずに車体と荷台の間に入り、荷台昇降用油圧ホースの付属部品を交換する作業をしていたところ、荷台が降下して挟まれた。	040301	7	1～9
2022	2	22 ～ 24	積荷の運送のため、大型トラックで国道を走行中、カーブを曲がり切れず反対車線にはみ出し、対向の大型トラックと正面衝突した。	040301	17	50～ 99
2022	2	4 ～ 6	被災者は、セメント運搬車の車体上においてセメントの積込作業を行っていた。墜落防止措置として、作業場所天井に設置された安全ブロックのフックを、着用していた胴ベルト型墜落制止用器具のD環に装着していた。積込作業終了後、安全ブロックのフックを装着したまま車両に乗り込み、発車したため、墜落制止用器具で腹部を強く引っ	040301	7	30～ 49

			張られる状態となり、腹部周辺の内臓を負傷した。			
2022	2	8 ～ 10	物流拠点から倉庫に向けて、午前8時20分頃、軽貨物自動車を運転し出発、市道を走行中、センターラインをはみ出し対向車と正面衝突し、外傷性ショックにより死亡した。	040301	17	10～ 29
2022	2	20 ～ 22	当該事業場の荷捌き場において、被災者は一人でトラックの荷台に積み込まれている生簀内の鰯を荷捌き場の生簀に移し替える作業をしていたと推測される。夜になってから、漁師が荷捌き場近くを訪れたところ、トラックの後方の地面に被災者が仰向けに倒れているところを発見され、後頭部骨折により死亡したものの。	170209	1	1～9
2022	2	12 ～ 14	国道で、被災者が運転するトラック（碎石積込済）が工事現場の手前で止まっていた軽トラックに追突し、さらに前方にあったロードローラーに衝突したものの。事故現場は県発注の道路舗装工事が行われており、片側相互通行を実施中であった。	030309	17	10～ 29
2022	2	10 ～ 12	下水管引き込み工事現場において、ダンプトラックの運転手が、ダンプトラックの運転席の扉を開けた状態で後進させていたところ、扉が道路脇のポールにあたり、はずみで運転席から墜落した。療養中であつたが翌月死亡した。	030110	1	1～9
2022	2	16 ～ 18	家屋の解体工事にあたり、被災者はダンプトラックで瓦礫の運搬を行っており、積込時は現場前の坂道（公道）で車内待機するよう指示されていた。しかし、夕方、ドンと大きな音がしたため、別の作業員が見たところ、ダンプトラックは当初の停車位置より坂道を後部から3メートルほど下り、工事作業中のドラグショベルに当たって止まり、被災者がその間に挟まれ負傷していた。救急搬送されるも数十分後に死亡が確認された。	030209	17	10～ 29
2022	2	16 ～ 18	元請の資材置場において、被災者は工事で使用する砂利を停車した3tダンプにトラクターショベルで積み込んでいたところ、当該3tダンプが逸走を始めたため、慌てて逸走方向に回り込みこれを抑えようとしたが抑えきれず、逸走方向にあった大型ダンプとの間に挟まれ	030106	6	1～9

			た。			
2022	2	0 ～ 2	被災者は、トラックの荷台上でジョルダーと呼ばれる器具を使用して、トラック後方の荷台端までパレットを引っ張って移動させていた最中に、被災者が手に持っていた起こし棒がジョルダーから抜けてしまい、その勢いで高さ約1.4メートルの荷台上から地面に墜落し頭部を負傷したものの。被災者はくも膜下出血により意識不明の状態であったが、後日死亡した。	040301	1	1～9
2022	2	8 ～ 10	工場の前の坂道にて、被災者がトラックを停車して、車両の後方で荷卸し準備をしていたところ、同車両が後退してきて、後方に停車していた別のトラックとの間に挟まれたもの。なお、ギアはニュートラルに入っておりサイドブレーキはかかっていた。	040301	17	30～ 49
2022	2	14 ～ 16	コンクリートミキサー車の運転手である被災者が工事現場に生コンクリートを配送した後、工事現場内の所定位置でミキサー車に付着した生コンクリートの清掃作業場所においてミキサー車の後部付近の地面に倒れているのを後続のコンクリートミキサー車の運転手に発見されたもの。被災者は多発外傷により、搬送先の病院で死亡した。被災者は救急搬送される前に墜落したわけではないと申し立てていた。	080109	3	10～ 29
2022	3	6 ～ 8	被災者は、軽トラックと鯉の養殖池に設置された足場との間に挟まれた状態で通行人に発見され、搬送先病院で死亡が確認されたもの。被災者は、事業場が所有している市内の鯉の養殖池の様子を見に行っていた際に、何らかの原因で軽トラックが動きだし、軽トラックのフロント部と足場に挟まれたものと推定する。	010102	7	10～ 29
2022	3	12 ～ 14	作業現場に向かうため、事業場敷地内にて工具等を軽トラックの荷台に載せていた際、軽トラックが後方に急発進して、車止めを超えて2.2mほど川に墜落し、運転席にいた被災者は途中で投げ出されて死亡した。	060101	1	1～9
		18	夕方、仕事を終え、建設現場から会社事務所に戻るため、10人乗りの乗用車に1次下請1社、2次下請2社の労働者計6名が乗り合わせ			

2022	3	～	現場を出発。ジャンクションの約500m手前で車の調子が悪くなったため、ブレーキランプ及びハザードランプを点灯させ、路肩に停車していたところ、後方から大型トラックに追突された。	030209	17	50～ 99
2022	3	8 ～ 10	被災者及び事業場Aの作業員がトレーラーの荷台に積載していた鉄筋の束を天井クレーンを用いて荷下し作業していたところ、被災者が荷台から墜落した。地上から荷台にまでの高さは1.58m、墜落箇所には鉄筋の束が置かれていた。被災状況を現認した者はいない。被災者はクレーンのワイヤーに束を引っ掛ける箇所を確保するためバールを用いており、荷台にはバールが置かれていた。	040301	1	50～ 99
2022	3	10 ～ 12	トレーラー運転手が事業場駐車場において、低床セミトレーラにグリスを注入するためジャッキで持ち上げた車体下で作業を行っていたところ、ジャッキが外れて、車体と地面との間に胸部を挟まれた。	040301	4	30～ 49
2022	3	0 ～ 2	被災者はトンネル補修作業のため2トンダンプトラック（狭い場所でも方向転換できるようダンプをジャッキアップして反転できる装置を備えつけた特殊車両）にモルタルを積込み出発。後刻、積替え作業が終了し、5～10度の勾配のある作業場にて上記装置を用いダンプを反転させたところ、下り勾配上を動きだした。被災者がダンプを停止させようと車両に乗り込むも、間に合わずダンプとトンネルの側壁に体を挟まれたもの。	030199	7	1～9
2022	3	12 ～ 14	被災者は3tトラックを運転し国道を南進、相手方はトレーラーを運転し北進していた。当該道中において、被災者が運転していた3tトラックが中央線を越え対向車線にはみ出したため、対向車線を走行していたトレーラーと正面衝突した。	040301	17	1～9
2022	3	18 ～ 20	鉄筋（24t）を積載したトレーラー（最大積載量26t）を運転中、橋の手前のカーブ走行中に路面凍結によりスリップし、橋の欄干に衝突した。その後、キャビン部分のみ欄干を超えて橋上より落下、炎上した。	040301	17	1～9

2022	3	14 ～ 16	県道をバイクで走行中、交差点内において、被災者から見て右方向から進入してきた2トントラックと衝突した。	090101	17	10～ 29
2022	4	16 ～ 18	除雪・融雪作業終了後、停車していたダンプトラックの荷台に作業用具を積み込む作業を行っていたところ、後退してきた凍結防止剤散布車とダンプトラックの間に挟まれた。	030199	7	10～ 29
2022	4	14 ～ 16	工場内の入出庫ヤードにて、最大積載量14.4トンのトラックの荷台に積んだデッキプレート等の荷下ろし作業中、高さ1.3メートルの荷台から墜落して頸椎を損傷し、病院で治療を受けていたが、後日多臓器不全により死亡したものの。	011209	1	10～ 29
2022	4	16 ～ 18	被災者は、電飾の修理等を担当する労働者であるが、車検が終了したトラック（最大積載量19.9トン）の左側面にある路肩灯の不具合の修理の依頼を受け作業していたところ、別の労働者（営業担当）が当該トラックを発進させたため、トラックの下で作業していた被災者が轢かれたものと推定される。被災者は当該トラックが停車していた場所で倒れているのが発見され病院へ搬送されたが死亡したものの。被災者は腰や膝を骨折していた。	011701	7	1～9
2022	4	12 ～ 14	カーブが連続する県道を走行していた10トンダンプトラックがセンターラインをはみ出し、対向車側面（対向車もダンプトラック）に接触、さらに対向車線側ガードレールを突き破り、路肩から約30メートル転落した。	040302	17	10～ 29
2022	4	6 ～ 8	被災者は、土場に運ぶ資材を積み込むため、当該事業場の資材置場の前（傾斜地）に3tダンプトラックを止め、エンジンを切って、車外に出た。その直後、当該ダンプトラックが道路を逸走し始め、それを止めようと被災者が運転席に乗り込もうとしたところ、ダンプトラックが壁に激突した衝撃で運転席とドアの間に被災者が挟まれ、死亡した。	030199	17	10～ 29
		12				

2022	4	～ 14	市道の路側帯に停車していたトラック（4トン）が後退し、開いたトラックのドアと電柱の間に身体が挟まれ、死亡したものの。	030202	17	1～9
2022	4	～ 14	災害発生場所は大型商業施設であり、被災者は同施設内に出店している小売業店に搬入する冷凍スライサー（重量約350kg）を、業者用資材搬入口にて、同僚労働者と2名でハンドリフトを用いて荷降ろし作業を行っていたが、当該機械をトラックの荷台上からパワーゲートに移動させていた際、誤ってパワーゲート上から後方に転落、被災者は頭部をコンクリート床面に強打し、自ら引いていた当該機械の下敷きとなり被災したものの。	080109	1	1～9
2022	4	～ 22	夜間、切羽面の水抜きボーリング作業が終了したため、ずり出し作業を行うこととなった。ずり出し作業を行うため、斜路に停車していた車両積載形トラッククレーンを動かさなければ、ずり出し作業が行えないため、車両積載形トラッククレーンの運転者が作業の邪魔とならない後方に真っすぐ後退させていた際、被災者を轢いたものの。	030102	7	30～ 49
2022	4	2 ～ 4	4tトラックを運転して国道を走行中、道路左側の縁石に乗り上げ、その勢いで対向車線へはみ出し、対向車線を走行していた10tトラックと正面衝突した。4tトラックの運転手が死亡し、10tトラックの運転手は頸椎骨折。	040301	17	30～ 49
2022	4	16 ～ 18	整備工場へエンジンの点検のため試運転後トラックを持っていき、車を降りて会話している際に自然に車が坂道を逸走したため、止めようと車を追いかけてドアを開け乗り込み止めようとしたが、間に合わず、トラックと一緒に地面に転落し、衝撃により地面に投げ出された。エンジンは止まっており、サイドブレーキはかけていた。車止めも車内にあった。	030199	1	1～9
2022	5	16 ～ 18	被災者は、事業場を出発し、配送先に建築資材を運ぶため大型トラック（ウィングボディ）を運転していた。道中、県道を走行していたところ、右車線に対向進出し、ガードロープを突き破って進行右側の約	040301	17	10～ 29

			5 m下の河川へ転落した。			
2022	5	12 ～ 14	被災者は汚泥処理プラント設備工事の作業を終え、トラックに乗車し所属事業場に戻る途中、高速道路出口付近で、2車線の右出口側に渋滞で並んでいたトレーラーに追突した。被災者は追突の衝撃で道路へ投げ出され、病院に搬送されたが、その後死亡が確認された。	030309	17	1～9
2022	5	12 ～ 14	被災者は、10 t ダンプトラックの運転手である。肥料（工場から出るライムケーキ）を積んだ後、農家へ向けて国道を走行中、何らかの原因により車両が横転して路外に逸脱、運転席から投げ出された被災者が車両の下敷きになり死亡したもの。	040301	17	10～ 29
2022	5	8 ～ 10	災害発生地である商業施設には、段ボール回収のための段ボール庫が設けられており、1日2回、ごみ収集車による段ボール回収が行われていた。被災者は商業施設の外周清掃を行っていたが、ごみ収集車の後進中に段ボール庫の前に立ち入り、後進してきたごみ収集車に押された段ボール庫の扉と外壁との間に挟まれた。	150101	7	10～ 29
2022	5	10 ～ 12	荷主先において、最大積載量13.5トンのトラック（ウイング車）に積まれた木材のベルト掛け作業をしていたところ、地面に墜落したもの。被災者は墜落制止用器具及び保護帽を着用していなかった。災害から数日後に死亡が確認された。	040301	1	30～ 49
2022	5	16 ～ 18	本件事業場は、ガソリンスタンドに隣接する自動車整備工場である。ダンプトラック荷台の油圧シリンダーの整備について、油圧ホースを交換し、シリンダー油約4リットルをオイルタンクに注入したのち、荷台を支えていた安全支柱を外したところ、荷台が落下し、被災者頭部を負傷したもの。また、右腕が荷台と車体の間に挟まれていた。	011701	7	1～9
2022	5	10 ～ 12	事務所から、社用車で現場へ移動している最中に、道路脇のガードレールに接触し、ハンドルを切るも制御できずに再度ガードレールに接触し、制御不能となり横滑りして対向車線へ飛び出し、信号待ちから前進しようとした対向車の大型トラックに衝突したもの。	130201	17	10～ 29
			被災者は、宅地造成工事現場へダンプトラックで土砂を運搬し、土砂			



2022	6	8 ～ 10	を下すため荷台を傾けたところ、荷台を電話線に引っ掛けてしまい、高さ2.8メートルのダンプトラックのキャブ上に昇り電話線を外す作業をしていたところ、キャブ上から地面に墜落した。	080209	1	1～9
2022	6	6 ～ 8	被災者は単独でダンプトラック（最大積載量6.3トン）の作業開始前点検を行っていた。運転席を離れて荷台にいたときに当該トラックが後進しだした。その後、地上で壁にもたれかかっている状態で発見された。周辺は壁に向かって下り勾配であった。当該トラック後部と壁との間は約30センチメートルであった。当該トラックの原動機は稼働させたまま、ギヤはニュートラル、サイドブレーキは引かれた状態であった。	150102	7	30～ 49
2022	6	0 ～ 2	国道で、信号待ちで停止していた10tトラックに、後ろから来た4トントラック（被災者が運転していたトラック）が追突し、4トントラックを運転していた被災者が死亡したものの。	040301	17	1～9
2022	6	10 ～ 12	国道において、被災者が一般車の交通誘導を行っていたところ、トラックの運転手がいねむりをしていたため、被災者の停止合図に気付かず、被災者も危険を感じたため、道路脇に逃げようとしたものの、間に合わずトラックにひかれたもの。被災者は事故発生日から入院していたが、後日容態が急変し、呼吸不全により死亡したものの。	170201	17	10～ 29
2022	6	8 ～ 10	被災者は同僚と建設機械部品工場へ6.7t積みトラックで毎日訪れ、金属切削加工屑（切粉）積込（積込後は製鉄会社へ運び売却）をしていた。同僚がフォークリフトで廃材置場から切粉箱を運んで反転させ荷台へ投入し、被災者は荷台上で、切粉を道具（ピッチフォー）で均すことを繰り返していた。被災者が見えず同僚が探すと、荷台右後方の地面に耳等出血・意識不明で倒れていた。病院搬送後に左側頭部骨折・脳挫傷で死亡。	080109	1	1～9
		2	荷の積込後、貨物自動車を運転して発進しようとした被災者が、出荷口のシャッターが開いていることに気づき、シャッターを閉めるた			

2022	6	4	め、貨物自動車から降り、プラットホームを登ろうとしたところ、斜面を後方に逸走した貨物自動車とプラットホームの間に胴体部を挟まれたもの。	010109	7	1～9
2022	7	14	橋梁補修工事現場事務所敷地内の産業廃棄物保管場所で、産業廃棄物を積載型トラッククレーンを用いて貨物自動車に積み込み中、貨物自動車の荷台でクレーンを操作していた被災者がリモコン操作を誤り、クレーンで吊り上げた産業廃棄物に煽られ、荷台の上から転落し、背中を強打したもの	150102	1	10～29
2022	7	4	高速道路を走行中、トレーラーの右後輪タイヤがパンクしたため路肩に停車し、修理業者を手配中、車外へ出ていたところ後方から走行してきた大型トラックに追突され、自車両とガードレール（または側壁）に挟まれ死亡したもの。	040301	17	30～49
2022	7	2	原動機付自転車で新聞を配達中、雨を避けるために陸橋の下の路肩に停止していたところ、前方不注意の軽四輪貨物自動車に追突されたもの。	080205	17	10～29
2022	7	22	被災当日19時台に事業場を車で出発。高速道路（下り坂）を走行中に追い越し車線で単独事故を起こして停車中の乗用車がきっかけとなり、後続の乗用車1台、大型トラック5台が次々に衝突した。被災者の大型トラックは乗用車か別の大型トラックに衝突後、更に別の大型トラックに衝突したもの。	040301	17	30～49
2022	7	22	自社駐車場内において10tトラックのキャビンの屋根部分付近（高さ2.6m）とフォークリフトのヘッドガード部分（高さ2m）に足をかけて、トラック荷台のウイング根本付近の部分補修を行おうとしていたところ、誤って、地面に落下、頭部を打ち意識不明となり、通行人が倒れている被災者を発見し119番通報した。被災者は翌日に死亡が確認された。	040301	1	10～29
2022	7	12	県道を普通自動車にて進行中、交差点において、右側（林道）から進行してきたトラックと衝突した。現場に信号機はなく、トラック側に	030209	17	30～

		14	一時停止の標識があった。			49
2022	7	8 ～ 10	ごみ収集車（中古車の車両輸送が目的）を運転中、中央分離帯に接触し、横転した。	040302	17	10～ 29
2022	7	8 ～ 10	事業場Aの駐車場において、同社所属労働者は、フォークリフトを用いて敷地南側よりトラック（積載荷重4 t）に竹の束を積み込んでいたとき、事業場B所属労働者（被災者）がトラックのあおりに立ち積込場所の指示をし、竹の束を荷台に降ろしたところ、被災者側に竹の束が崩れ、被災者は荷台（高さ約1.35 m）から転落、後頭部を敷地のコンクリート塀に強打したと推測される。	080109	1	10～ 29
2022	7	10 ～ 12	被災者がトラックで県道を走行していたところ、対向車線を走行していた大型トラックがセンターラインを超え、被災者が運転するトラックと正面衝突した。被災者は災害発生日から19日後に死亡した。	040301	17	10～ 29
2022	8	2 ～ 4	被災者が、高速道路を10トントラックで走行中、左カーブで、路肩付近に駐車していた別の10トントラックに追突し、死亡した。	040301	17	50～ 99
2022	8	14 ～ 16	西に向かって走行していたトラックとバイクで北に向かって走行していた被災者が信号機のない交差点で出会い頭に衝突した。	090103	17	10～ 29
2022	8	14 ～ 16	コンクリートミキサー車の回転ドラム内で、ドラムの内側に付着したコンクリート片のはつり作業に、被災者が単独で従事していた。はつり箇所的位置を調整するために、有線式リモートコントローラーをドラムに持ち込んで作業していたところ、何らかの理由でコントローラーのダイヤルが高速モードとなり、ドラム内のスクリーナー刃に巻き込まれ死亡したと思われる。	040301	7	1～9
		8	出張先の工事現場に向かうため、事業主（運転者）と被災者（助手席			

2022	8	～ 10	に同乗)が高速道路のジャンクション付近を走行していたところ、前方を走行していたトラックが右側の壁に激突し、横転した。被災者が同乗していた車両は、横転したトラックに巻き込まれ被災したもの。	030209	17	1～9
2022	8	10 ～ 12	被災者は、事業場Aに派遣され同社の指示のもと、クリーンセンター内で一般廃棄物をピット内へ投棄する作業を行っていた。被災者は投棄作業のためピット開口部付近でパッカー車の監視業務を行っていたが、何らかの原因でパッカー車のテール部に挟まれ、挟まれたことに気が付いた運転手がテールを再び上昇させたところ、支えを失った被災者が8メートル下のピットへ転落したもの。	150101	7	30～ 49
2022	8	6 ～ 8	高速道路上、片側2車線の左車線をトラック(最大積載量9.1t)で走行中、左遮音壁に接触、反動で追い越し車線を走行中の普通乗用車に衝突し、制御不能となり横転したもの。運転者は、多発外傷により死亡。	040301	17	30～ 49
2022	8	0 ～ 2	高速道路走行中トラックがクラッチの故障により走行不能になり走行車線にはみ出して停車し、車両の前方で待機していたところ、後方より走行してきたトラックが停車車両に追突し、そのはずみで停車車両が前方へ進み、被災者をはねた。	040301	17	50～ 99
2022	8	8 ～ 10	走行中のバルク車(飼料運搬車)が中央線を越え、対向してきた路線バスと衝突。バルク車を運転していた被災者が死亡、バス運転手(休業災害)が軽傷を負った。	040301	17	10～ 29
2022	8	2 ～ 4	道路補修工事において、当日の作業が概ね終了し、被災者ら作業員は片付け作業の指示を受けていた。しかし、被災者は単独で中央線仮ライン引き作業を行っていた。当該ライン引き作業を行っていたところ、走行してきたトラックに衝突された。その後、意識不明の状態での病院に搬送されたものの、同日、外傷性ショックにより死亡した。	030106	17	30～ 49
2022	8	6 ～	荷主の敷地内において、荷積みした木材を輸送するため、被災者が自社の所有する3トントラックの荷台上で積荷の固縛を行っていたところ、高さ0.9メートルの荷台上からコンクリート地面上に墜落し	040301	1	10～ 29

		8	た。			
2022	9	10 ～ 12	傾斜のある牧草地にて、10 tトラックを用いて被災者が糞尿散布作業をしていたところ、一度糞尿を散布した箇所にトラックで進入し、方向を変えようと傾斜が緩い箇所でハンドルを切った際に横転したものの。災害発生時、被災者は負傷していないと述べていたものの、後日、被災者が自宅で倒れているのが発見され、死因が外傷性脳内出血とされたもの。	070101	2	1～9
2022	9	10 ～ 12	4 tのダンプトラックの荷の載せ替え作業時、駐車のために後進していたダンプトラックの進路に被災者が進入し、停車していたドラグショベルとの間に挟まれて被災したもの。	030106	7	1～9
2022	9	6 ～ 8	配送途中の公園駐車場において、トラックの運転席に乗り込む際にバランスを崩して転倒し、頭部を打撲したものと推定される。	040302	1	10～ 29
2022	9	2 ～ 4	事業場から外部へ、空コンテナを24 tトレーラーに乗せ移動中、高速道路で、台風の影響で雨が強い中、前を走るトラックを追い越した際に接触し、コントロールを失って壁に激突した。被災者は災害発生時は意識があったものの、病院に搬送された後、容態が悪化し死亡。	040301	17	50～ 99
2022	9	12 ～ 14	トラック荷台に溜まった水を、出発（出庫）前に被災労働者となるトラック運転手が排水するため、荷台を傾斜させた（ダンプアップ）。その後、荷台を傾斜させたまま運行を開始し、いわゆる高架下（橋桁下部）で荷台が接触して、それを端緒に横転した。被災労働者は、その際の外傷により窒息した。	040301	17	10～ 29
2022	9	10 ～ 12	被災者は発生場所の県道において、工事現場の交通誘導員として警備を行っていたところ、誘導しようとしたダンプトラックにはねられ死亡したもの。	170201	17	30～ 49
2022	9	6 ～	準中型トラックに2名が同乗し、建設現場に向かうため、高速道路を走行していたところ、左側走行車線で横転した。運転手は首の骨を折	030309	17	1～9

		8	るなどの重傷、同乗していた労働者が死亡した。			
2022	9	14 ～ 16	被災者は現場に向かうため3トントラックで片側一車線の県道を走行していたところ、被災者の運転するトラックが対向車線にはみ出て、対向車の10トン散水車と正面衝突して死亡したものの。	030106	17	1～9
2022	9	2 ～ 4	被災者の前方を走行していた10トントラックが工事中ダンプトラックに追突した後、道路上で停止していたところ、被災者が運転するトラックが追突したものである。	040301	17	50～ 99
2022	10	8 ～ 10	事業場Aは物流センターの構内物流業務一式を受託する事業場Bの構内下請。トラックバースにおいて、荷卸しに来た事業場Cのバンボデー13tトラックが後進でバースに接車し、下車した運転手が入出庫シャッターを上げた時（接車約2分後）、車両背面とプラットホーム端部側面との間にはさまれている被災者を発見した。意識がなく搬送先病院で死亡。	050101	7	30～ 49
2022	10	8 ～ 10	被災者は最大積載量4トンの貨物自動車の運転席上部に設置してあるルーフキャリアの上に乗し、荷台を向きながら、荷台上の荷物（藁）にかけていたシートのゴムを両手で持って当該シートを運転席側に引っ張る作業をしていたところ、シートとゴムを緊結している部分がちぎれ、引っ張っていた反動で被災者は高さ約2.3mから地面まで墜落し後頭部を打撲した。保護帽未着用。	011709	1	1～9
2022	10	14 ～ 16	トンネル新設工事（延長331m、NATM工法、2車線トンネル並列メガネ形）の坑内で、ずり積込工2次下請の被災者は1次ドラグ・ショベルのバケットの付着ずりを角スコップで落としていた。同ショベルの後進に伴い側方退避した際、ずり搬出工1次下請の10tダンプが後進（積替用ずりピットにずりを空け、切羽に後進で戻るため方向転換の切り返し中）してきて激突された。	030102	6	50～ 99
		8	高原とロープウェイの駅を結ぶ管理用道路において、軽トラックを運転し、駅にごみを下ろし高原に戻るため上り坂を走行中、道路右側の崖に転落し、道路から約80m下の立ち木に激突したものの。道路はア			10～

2022	10	～ 10	スファルト舗装されており幅員は約3.2m。ガードレールはなし。道路勾配の角度は約5度。救助されたが意識はなく、全身骨折及び血気胸により死亡した。	040101	1	29
2022	10	20 ～ 22	自動車道において、普通乗用車1台と大型貨物自動車3台が絡む交通事故が発生し、大型貨物自動車の運転者が死亡したもの。	040301	17	10～ 29
2022	10	22 ～ 24	車両感知器柱建替え工事を行うため、国道（高架上）で片側2車線の上下線ともに中央分離帯側の車線を工事看板やカラーコーンを使用して車線規制準備を行っていたところ、各務原方面から大垣市方面へ西進する4トントラックが車線規制最前に激突し、規制内で作業を行っていた警備員及び工事看板等をはね飛ばし、工事看板等の激突により現場の作業員1名が死亡し、4名が負傷した。	170201	17	100 ～ 299
2022	10	10 ～ 12	トラック運転手である被災者は、荷主構内で合板の積み込みを行っていたが、予定時刻を超えても車両が出発していなかったため、周囲の作業員が確認したところ、トラックのキャビン内で倒れている被災者が発見されたもの。被災者は救急搬送され治療を行っていたが、頭部外傷等により死亡した。	040301	1	10～ 29
2022	10	10 ～ 12	被災者が工事現場の車両誘導業務を行っていたとき、現場内にあった2台の車両を退出させ、その箇所にトレーラーを搬入させた後、一旦場外に退出させた車両（2トン積トラック）が駐車箇所に向かおうと公道を後退してきたところ、公道にいた被災者はそれに気が付かずに背面から轢かれた。	170201	7	0
2022	10	10 ～ 12	積荷の配達を終え、1トントラックを運転して国道を走行していたところ、曲線半径120メートル程度の左カーブを曲がり切れず反対車線にはみ出し、対向する大型貨物自動車と正面衝突して、全身強打により死亡した。	030199	17	1～9
			被災者は、配送先の倉庫内で荷下ろし作業後、トラックの運転を開始			

2022	10	14 ～ 16	したが、すぐに道路を外れて畑の中を走行するなど異常行動をとった。トラックは畑の窪みにはまって停車したが、被災者の意識はなく、アクセルを踏み続けた状態であった（被災者は、搬送先の病院で翌日死亡）。	040301	1	30～ 49
2022	11	10 ～ 12	被災者はトレーラーを運転し配送先（飼料販売業者）到着後、同車左後方に立ち、配送先の者がコンテナから荷（輸入干し草）の一部を卸し終える（終えたら構内の次の荷卸し場所へ運転の予定）のを見守っていた。同車の次の荷卸し場所へのコースを空けるため3 tトラック（所有・運転とも配送先）がトレーラー後方から後進で脇を通過の際、被災者が激突された。翌日に搬送先病院で外傷性出血死（骨盤骨折、肺挫傷、多発性肋骨骨折）。	040301	6	1～9
2022	11	14 ～ 16	交差点の横断歩道を自転車で走行中、同交差点を左折しようとしていた大型トレーラーと接触し、巻き込まれ死亡した。	090102	17	30～ 49
2022	11	2 ～ 4	事業場から荷物を運搬中、高速道路（下り）で工事渋滞しているところ、2台後方の大型車両が後方車両に追突し後方車両が当方車両の下に入り込み炎上、焼死した。	040301	17	10～ 29
2022	11	2 ～ 4	高速道路のインターチェンジ付近において、路面工事に伴う車線規制のため渋滞していた。先頭のトレーラーが停車し、乗用車と中型トラックが減速していたところ、被災者が運転するトラックが追突し、被災者は死亡した。	040301	17	100 ～ 299
2022	11	18 ～ 20	顧客の車両整備後に帰社するため軽トラックで高速道路を北上中、見通しの良い直線で前方を走行していた大型トラックに追突した。	080202	17	1～9
2022	11	12 ～ 14	被災者は、高速道路のICから東に2 km地点の高速道路車線を7トンのタンクローリーで走行中、前方で1台のトラックが故障のため停止していたところ、トラック2台が相次いで追突し、被災者の運転するタンクローリーがその後ろに追突し死亡したもの。	150102	17	50～ 99



2022	11	14 ～ 16	ダンプトラックに積載した土砂を荷卸しするため投入場所に移動させていたところ斜面を約26m転落したものの。	020201	1	1～9
2022	11	10 ～ 12	2tトラックで荷物を搬送中の被災者は、高速道路インターチェンジ出口車線において、前方のトレーラー後部に衝突し、両足負傷状態で病院に搬送され、治療を受けるも数日後に死亡したものの。	080109	17	30～ 49
2022	11	8 ～ 10	災害発生当時、事故発生付近は片側3車線の直線道路であり、北向きに渋滞が発生していた。被災者が運転するトラックが、渋滞する列の最後尾に突っ込んだものの。	080109	17	1～9
2022	11	18 ～ 20	A社のトラックが追越車線を走行中、後方を走行していたB社のトラックに追突され、A社のトラックが横転し、助手席に同乗していた労働者が脳挫傷で死亡した。なお、双方のトラックの運転手も負傷した。	010101	17	10～ 29
2022	11	6 ～ 8	事業は新聞店。被災者は、当日電話番をしていたが、朝刊不配のクレームが入ったため、原動機付自転車を運転し配達に向かっていた。国道の信号のある十字路交差点内において後方から大型トレーラーにひかれ、当日中に搬送先病院で死亡が確認された。	080205	17	30～ 49
2022	11	12 ～ 14	被災者は、本社での出張業務を終え、社有車（普通乗用車）を運転し国道を走行中、トンネル内で対向車線を走行して来た11tトラックがセンターラインをはみ出し、正面衝突したものの。	080109	17	1～9
2022	12	2 ～ 4	被災者2名は線路上設備の調整、試験作業を終えて、事務所に戻るため県道を社用車で走行中、当該車が対向車線に進入し、さらに路肩を越えて道路脇の立木に激突した。これにより、運転していた被災者が死亡し、助手席にいた被災者が胸部打撲等により負傷した。	030301	17	10～ 29
2022	12	8 ～ 10	被災者は工業団地の事業場にて4tトラックに金属製品を積み、県外にある事業場へ運搬していた。被災者が、国道のほぼ直線の片側一車線道路を走行していたところ、対向車線を走行してきた軽四乗用車	040301	17	10～ 29

			が、走行車線をはみ出してきて衝突したものの。			
2022	12	10 ～ 12	被災者は、現場で排出された碎石殻を4トンダンプに積み込み、仮置場へ移動後、荷台を上げ、碎石殻の積み卸しを行っていた。荷台に碎石殻が引っ掛かったため、被災者は下車し、あおりを開け閉めして掻き落としていたところ、ダンプが前方へ動き出した。助手席前から回り込んで止めようとしたが、法面とダンプに挟まれ被災し、搬送先の医療機関において死亡が確認されたもの。	030108	6	1～9
2022	12	10 ～ 12	トンネルの東200m付近の見通しの良い片側2車線の直線道路上で、交通集中の影響で発生した渋滞の最後尾で停車中の大型トラックに被災者運転の2tトラック（平荷台）が追突した。そのはずみで大型トラックは前に停車中の高速バスに追突した。被災者は全身を強く打って救急搬送され、同日中に骨盤骨折による出血性ショックで死亡。	040301	17	10～ 29
2022	12	8 ～ 10	河川の護岸工事現場において、4tトラックにフレコンバック（内容物：土、約700kg×5袋）を積載し、川につながる斜面を後退して下っていたところ、右後輪が路肩から脱輪し、車両が転覆した状態で川に転落したものの。	030107	1	1～9
2022	12	12 ～ 14	被災者が村道の拡幅区間において、木材を積んだ連結式の大型トレーラーの牽引車と被牽引車の連結具の間に挟まれている状態で発見された。被災者は、進行方向に7度～8度の上り傾斜に停車した大型トレーラーの連結作業を一人で行っていた。	040301	7	10～ 29
2022	12	20 ～ 22	高速道路にて、トラックの助手席に乗車している際に、路肩に停車中のトラックに衝突し全身が圧迫され、出血性ショックにより死亡した。	040301	17	50～ 99
2022	12	18 ～ 20	被災者は地盤改良作業を終え、午後、社用車の軽トラックに乗り事務所に向かった。被災者の運転する軽トラックが中央線を越え対向車の右側面に接触した後、そのままさらに対向車線に進入し、後続してきた別の対向車と正面衝突した。事故後病院に搬送されたが約2時間後	030199	17	30～ 49

			に死亡したものの。			
2022	12	8 ～ 10	雪捨て場において、ダンプカー（最大積載量2トン）により排雪作業を行っていた。ダンプカーが雪のためスタックしたため、別のダンプカー（同4トン）によりロープで牽引することとした。その準備作業のため、両ダンプカーの間に立ち入り、後進するダンプカーを誘導していたところ、ダンプカー前部と後進するダンプカー後部の間で胸部を挟まれた。	030106	7	1～9
2022	12	8 ～ 10	ごみ収集車を運転して移動中、市道の道路脇（下り勾配3度）に停車して運転席から降りたところ、ごみ収集車がゆっくり前進し、約10m進んだ先の田んぼに転落して、運転者が下敷きになった。	150102	17	1～9
2021	1	8 ～ 10	被災者は、木製パレット（高さ2.0m）、を積載した4トントラック（ウイング車、トラック荷台から地上までの高さ1.05m）を運転し、運搬した後、トラックから、パレットを降ろす準備として、トラックのウイングを開け、当該パレット上に登り、置かれた緩衝材を地上に降ろし終え、パレットから降りる途中、コンクリート地面に墜落した。	40301	1	10～ 29
2021	1	16 ～ 18	車庫にダンプトラックを停止させてドアを開け、運転席から降りようとしたところ、地面に墜落した。	40301	1	10～ 29
2021	1	14 ～ 16	トラックによる製品配送に従事する被災者が、傾斜が8度ある工場のシャッター入口付近に積載荷重3tの平ボディトラックを止め、製品積込を行っていた。無人のトラックが前方に動き出し、町道に出て塀に突き当たって止まった（逸走距離4.6m）が、その右前輪に巻き込まれていたもの。被災の瞬間の目撃者はいないが、動き出したトラックを前方から抑えようと試みて失敗したと推測される。	80109	17	1～9
2021	1	4 ～ 6	市道交差点で被災者が運転する大型トレーラーが対向車線側の歩行者用信号柱に激突・横転したもの。被災者は胸等を強く打ち、搬送先の病院で死亡した。（単独事故）	40301	17	1～9

2021	1	16 ～ 18	事業場資材置き場において、作業員が、トラックをダンプアップして、荷台上の廃棄物を、一度にコンテナに入れることにした。作業員が、運転席に座らず、地上からエンジンのキーを回したところ、ギアがバックギアになっており、サイドブレーキの引きが甘かったため、トラックが後ろに急発進し、トラックとコンテナの間にいた被災者が挟まれた。	30209	7	10～ 29
2021	1	12 ～ 14	建設現場において、二次下請業者に依頼された燃料小売業者が、ドラグ・ショベルに給油するため、現場に入場し、ドラグ・ショベルの近くで給油車を停車させた。給油車の運転手が、ドラグ・ショベルに向かって移動したところ、給油車が被災者に向かって勝手に後退し、運転手は避けきれずに、ドラグ・ショベルのクローラと給油車に挟まれ、死亡した。給油車が停車した位置は、傾斜になっていた。	80204	7	1～9
2021	1	4 ～ 6	年度契約工事である高速道路の保安全管理工事において、当該工事に係る作業日210日目に2次下請所属の被災者はI T Vカメラ及び可変式速度規制標識補修工事作業をインター入路合流部付近で行っていたところ、規制内に侵入した一般通行車両である2 tトラックに追突され死亡した。	30301	17	1～9
2021	1	6 ～ 8	被災者は、自宅から直接会社の資材置場に行き、当日廃棄物の運搬に使用する2 t ダンプ車と、自身が乗ってきた車を入れ替えようとしていた。ダンプ車を資材置場出入口前の市道（約7. 9度の下り坂）に停車し、原動機を掛けたままダンプ車から降りたところ、ダンプ車が動き出し、被災者はそれを止めようとしたが、ダンプ車の左側前輪に牽かれた。	30209	17	1～9
2021	1	18 ～ 20	4 tトラックに乗車し、国道を走行していたところ、何らかの理由により、急ハンドルを切って、対向車線を超え、電柱に衝突したもの。相手はなく、単独の事故である。	40301	17	10～ 29
2021	1	8 ～	被災者は、工事現場の駐車場から道路の反対側にある現場事務所に向かうため、国道を横断中、軽トラックにはねられ死亡した。（被災者	170201	17	30～

		10	は、事務所に出勤後、車で現場に移動。)			49
2021	1	16 ～ 18	事業場敷地内にて、被災者が一人作業で10tダンプトラックの点検・整備を、当トラックのキャビン（運転席部分）を当トラック備え付けのキャビン部分の昇降装置を使用して上げ、その下に入って行っていたところ、下がってきたキャビンと車体（エンジンルーム）の間に挟まれたもの。	20202	7	10～ 29
2021	2	0 ～ 2	被災者がタンクローリーを運転し、国道を走行していたところ、トンネルを通過した直後に対向車線を走行していたトラックと正面から衝突して被災した。	40301	17	10～ 29
2021	2	12 ～ 14	事業場敷地内で、キャリアカーの上段に載せていた荷であるトラックを降ろすため荷台を傾斜（約15度）させた際、当該トラックに輪止めを行っていなかったことから、これが逸走し、キャリアカーの荷台上に居た被災者に激突、当該トラックの半開きになっていたドアとキャリアカーの支柱に挟まれた。昏睡状態が続いたが、後日死亡した。	40301	6	10～ 29
2021	2	4 ～ 6	早朝、宅配便のセンターAからセンターBへ向かうため国道をトレーラーで走行中、国道と側道の間にある分離帯に衝突したもの。救急搬送され、当時は意識があったものの、数日後に症状が悪化し、外傷性大動脈解離により死亡した。	40301	17	10～ 29
2021	2	2 ～ 4	コンクリート2次製品の荷物を運搬中、単独事故により反対車線側のブロック塀に激突した。	40302	17	1～9
2021	2	0 ～ 2	納品先の店舗敷地内において、納品終了後、被災者が運転してきた2tトラックと壁の間に挟まれ、頭部を強く圧挫し死亡したもの。	40301	7	10～ 29
		10	木造2階建ての一般住宅解体工事現場において、解体後の木材を2トンドンプに積み込んだ後、積み込んだ荷の上で均し作業をしていた被			

2021	2	～ 12	<p>災者（1次下請の労働者）がバランスを崩し、1.65m下のコンクリート製の地面に墜落したものの。墜落時頭部を打ちつけ、意識不明となったため救急搬送されたが、頭蓋骨骨折、びまん性軸索損傷、頸髄損傷による脳死状態が続き、その後死亡に至った。</p>	30202	1	10～ 29
2021	2	～ 14	<p>ごみ収集車でゴミ収集作業を行っていた際に、ごみ収集車の右後方のステップに立っていた被災者が、ステップから地面に墜落したものの。</p>	150103	1	100 ～ 299
2021	2	～ 10	<p>堤防強化工事現場において、盛土を搬入するダンプトラックがバックで運搬路を進入する際、当該運搬路上で携帯電話を操作していた被災者の存在に気付かないまま、バックするダンプトラックと接触し、死亡したものの。</p>	170201	6	1～9
2021	2	～ 6	<p>新聞配達業務を終え、原動機付自転車で国道に出ようとしたところ、国道を走行していた普通貨物自動車と衝突し、死亡した。</p>	80205	17	10～ 29
2021	2	～ 8	<p>物流センターでトラックへ荷の積込みを終え、テールゲート上を歩いて移動していたところ、テールゲートがプラットホームから外れて地上に墜落。その後、自らトラックを運転して約4km走行したところで意識を失い、ハンドルに覆い被さっているところを通行人に発見されたものの。</p>	40301	1	1～9
2021	2	～ 10	<p>被災者は1tトラックで配送作業中、勾配のある道路に配送車両を駐車し、降車したところ、トラックが坂を下り始めたことに気づき、それを止めるためトラックの進行方向に回り込み、トラックに轢かれたものの。</p>	10109	7	10～ 29
2021	3	～ 16	<p>被災者は、軽トラックに単独乗車して、第二工場から第一工場へ戻る途中、本線道路から逸脱して用水路に転落し、搬送先の病院で死亡した。</p>	40301	17	100 ～ 299
		14	<p>県道沿いの斜面補強工事のため一般車両の通行止めを行っていた道路において、通行止めの解除を行った後、被災者は交通誘導を行ってい</p>			

2021	3	16	た。最初にライトバンが通過した後、後続にミキサー車が被災者の近くを通過しようとした際、被災者が後ろ向きのままバランスを崩して約7.7メートル下の河川敷に墜落したものの。	170201	17	1～9
2021	3	20 ～ 22	高速自動車道をトラックで走行中、車両を追越車線から走行車線に戻した際、左方に寄せすぎ壁側に衝突し、のり面に乗り上げ横転した。横転後シートベルトに首が引っ掛かり窒息し死亡した。	40301	17	30～ 49
2021	3	6 ～ 8	被災者2名が2tトラックに乗り、納品先へ向かうため、高速自動車道インターチェンジ付近を走行していた。前方のトラックを追い越し車線から追い越し、左車線へと戻る際にハイドロプレーニング現象が起こり、ハンドル操作が利かず左外壁へ衝突し、助手席に乗っていた被災者が死亡した。なお、事故発生時、強い雨が降っていた。	80101	17	10～ 29
2021	3	20 ～ 22	被災者は、14tの荷（1箱10kg×1400箱）を最大積載量18.6tのトラックに積み込み、走行していた。同日午後に県道を走行している際に、緩やかなカーブでトラックは横転し、そのまま路外に逸脱し、トラックを運転していた被災者が死亡した。	40301	17	1～9
2021	3	4 ～ 6	被災者は配送先に荷を運搬するにあたり、出発地点である本件事業場の車庫に来て、同車庫の所定の位置に停めていた本件トラックを傾斜のある車庫出入口付近まで動かした。その後、被災者は、本件トラック運転席ドアと車体との間に挟まれた状態で発見された。	40301	7	10～ 29
2021	3	6 ～ 8	消費者向けにLPガスを供給するため、高速自動車道を西へ走行中、急ハンドルを切ったことにより、車両がバランスを崩し、ガードレール、防音壁に接触、車体左面を下に横転したものの。	40301	17	10～ 29
2021	3	14 ～ 16	コンクリートミキサ車の後部ステップから墜落し、後頭部を打ったものの。	10901	1	10～ 29
2021	4	12 ～	被災者が運転する4tコンテナ車が産業廃棄物を収集するため客先に向かっている途中、信号待ちで停車していた車列（6台）に追突し	150102	17	10～

		14	た。被災者は意識不明で救急搬送され病院で死亡が確認された。現場は一方通行の1車線。			29
2021	4	20 ～ 22	トラック（中型車）で工場まで荷物を運搬する途中、県道の下りで左カーブを曲がり切れずに反対車線のガードレールを突き破り、約5mの林にトラックが転落し、トラックを運転していた被災者が脳挫傷で死亡したものの。	40301	17	50～ 99
2021	4	20 ～ 22	被災者は、8tトラックを自ら運転して、国道を北進していたところ、緩やかな左カーブに差し掛かった際に対向車線に大きくはみ出し、合流路の手前約50m付近で対向車線を走行してきた24tトラックと正面衝突し、出血性ショックにより死亡した。対向車の運転手（就労中）は、左手首を骨折する負傷を負ったもの。	40301	17	30～ 49
2021	4	16 ～ 18	ミキサー車運転手である被災者は、終業時刻前に、自車の運転席とミキサーとの間に設置されている水タンクの上（地面からの高さ1.7メートル）において運転席の屋根を洗車中、水タンク上から墜落し、意識不明となった。病院へ搬送され治療中に外傷性くも膜下出血により死亡した。被災者は保護帽や墜落制止用器具を着用していなかった。	10901	1	30～ 49
2021	4	10 ～ 12	午後、配達のために被災場所を訪れた者が、12tのタンクローリーと2tのタンクローリーの間にはさまれている被災者を発見した。タンクローリーの間で両手を上げ、左わき腹が挟まれている状態であった。	170209	7	50～ 99
2021	4	2 ～ 4	被災者が大型トラックを運転して走行中、前を走行していた大型トラックとその前方のレッカー車が衝突し、そこに最後方を走行していた被災者の大型トラックが追突したものの。	40301	17	10～ 29
2021	4	10 ～ 12	フォークリフトで機材を運び終えて後退しようとしたところ、前輪が地面に敷かれた碎石に埋まり動かなくなったため、軽トラックでけん引するために車両間をワイヤロープで繋いでいたところ、軽トラックの運転者が誤って前進させたために、被災者がフォークリフト後部と	30202	6	1～9



			軽トラックのフロント部に挟まれて死亡したもの。			
2021	4	14 ～ 16	被災者は一人でトラックの荷台に上がり、運送物をシートで覆い固定する作業を行っていた。災害発生時間、近くで作業していた作業員が「ドン」と大きな音がしたためそこへ行くと、地上で両耳から血を流して仰向けに倒れている被災者を発見した。なお、ヘルメットが脇に転がっていた。病院に救急搬送され、頭蓋骨多発骨折等で治療を受けていたが、法的脳死判定を受けた。	40301	1	10～ 29
2021	4	12 ～ 14	被災者は、市道に駐車していた事業場の車両（トラック、最大積載2 t）のタイヤ交換のため、車両の位置を動かそうとしたがキーがなかったことから、1人で車輪付きのジャッキを使用し車両を動かそうと車体前方を持ち上げた際に、坂道に駐車されていたため車両が動き出し、車両に轢かれ下敷きとなり死亡したもの。	30199	7	10～ 29
2021	4	22 ～ 24	国道において、被災者が3トントラックを運転し南進、相手方はトレーラーを運転し北進していた。交差点において被災者が右折したところ、直進してきた相手方のトレーラーと衝突した。衝突後、被災者が乗っていた3トントラックは中央分離帯を越えてスポーツジム駐車場に面した路面まで飛ばされ、トレーラーは交差点の北西に面したガソリンスタンドに突っ込んだ。	40301	17	50～ 99
2021	5	10 ～ 12	被災者は車両積載型トラッククレーン（積載荷重7300キロ）の荷台に積んだユニットハウス（高さ：372cm）の固縛（こばく）作業を、脚立（高さ198cm）を使いながら、単独で行っていた。当該作業中に、脚立が転倒した音があり、周囲の労働者が確認したところ、被災者が地面に倒れた状態で発見された。現場の状況から、被災者はユニットハウスの上部から墜落または脚立から転落し、脚立に激突した。	40301	1	1～9
		8	製品（溶接機の部品）を取引先事業場に配送するため、工場から2 tトラックを運転して取引先事業場に向かっていたところ、何らかの理由で国道左側に駐車して車外に出ようとした際に、2台前方に駐車し			

2021	5	～ 10	ていた乗用車AがUターンを開始して反対側車線に出たところへ、反対側車線を走行してきた乗用車Bと衝突して、その反動で走行してきた乗用車Bと2 tトラックの間に挟まれたもの。	11203	17	1～9
2021	5	10 ～ 12	事業場内駐車場において、被災者が最大積載量3650キログラムのトラック荷台上に敷きつめてあったパレット上を荷台前方から最後部に向かって移動し、地上に降りるために最後部のあおりをつかんだところ、あおりが固定されておらず、外側に開いたため、前のめりの姿勢となって地面に転落し、頭部打撲により救急搬送され、同日、重症頭部外傷により死亡となったものである。	40301	1	10～ 29
2021	5	12 ～ 14	S造2階建て新築工事において、作業場内で不要になった碎石の山（約15立米）を移動させるため、被災者が0.5立米ドラグショベルで作業中にアーム・バケット部分の様子を確認するため降車していた際、同僚がそれに気づかず4 tダンプを後進させたところ、ドラグショベルのアーム部分とダンプのあおり部分に胸部と頭部を挟まれたもの。	30201	6	50～ 99
2021	5	10 ～ 12	道路の拡幅工事において、被災者は交通誘導を行っていた。残土排出のため後進してきた4 tトラックに轢かれたもの。離れた位置で作業していた作業員が轢かれた被災者を発見し、運転手に停車を促した。その後、被災者は病院へヘリ搬送されたが死亡したもの。	170201	7	10～ 29
2021	5	6 ～ 8	中古車を船積みするにあたり、キャリアカー（トレーラー）から車を降ろしていた被災者が、トラックの横にうつぶせで倒れているところを同僚の作業員に発見された。被災者は意識不明のまま救急搬送されたが病院で死亡（脳挫傷）が確認された。	40301	1	1～9
2021	5	8 ～ 10	左前輪及び左後輪が脱輪したパッカー車の救助作業中、パッカー車と地面との間に胸部がはさまれたもの。ジャッキを使用して、車体を持ち上げ、左側のタイヤの下に枕木をかました後、後輪付近にベルトをかけ、ガッチャ（荷締機）で右側にスライドさせる作業中であった。	11701	7	10～ 29

2021	5	8 ～ 10	国道で、直進中のトラックがダンプカーに追突し、トラックを運転していた労働者が死亡した。	40301	17	10～ 29
2021	5	16 ～ 18	被災者が運転するトラックが昼過ぎごろ出発し、高速自動車道を走行中、夕方に事故現場で工事渋滞のため追い越し車線で停車中のトラックに気付くのが遅れ、左にハンドルを切ったが左後部に追突し、更に前方のトラックに玉突き衝突した。被災者の運転するトラックは走行車線側に飛び出しコントロールを失い、中央分離帯に激突して大破した。	40301	17	30～ 49
2021	5	12 ～ 14	工事現場間の移動のため軽貨物自動車でも国道を運転中、トンネル内で対向車がガードレールに衝突し、その反動でトラック荷台部分がセンターラインを越え、被災者が運転する軽貨物自動車の運転席に衝突し、被災したもの。なお、対向車の運転手も足を骨折する重傷を負った。	30301	17	1～9
2021	5	12 ～ 14	事業場に荷物を運送した後、帰社する為に4 tトラックを運転して高速自動車道を走行していたところ、なんらかの原因で乗用車と衝突事故を発生させたことから、左側の路側帯に停車して被災者が車外で警察の到着を待っていたところ、後方から走行してきた大型トラックが突っ込んできたことにより、大型トラックに挟まれたもの。	40301	17	10～ 29
2021	5	12 ～ 14	新築工事現場において掘削した土砂を碎石場まで被災者が2 tトラックで運搬していた。6回目の運搬時、碎石場において、被災者がトラックを事務所外に停車させ降車し、事務所内において伝票作成の待機中、トラックが前方に動き始めたため、事務所を飛び出しトラックの前方でトラックを止めようとしたところ止めきれず無人のトラックに轢過され死亡したもの。	30209	7	1～9
2021	5	4 ～ 6	被災者は3 tトラックを運転し、コンビニエンスストアへ商品を配達後、別のコンビニエンスストアへ向かうため、県道を走行中、対向車線の乗用車と正面衝突した。	40301	17	30～ 49

2021	5	2 ～ 4	国道において、被災者がトレーラーを運転し南進、相手方はトラックを運転し北進していた。相手方のトラックが中央線を越え、両者正面衝突となったもの。	40301	17	10～ 29
2021	5	2 ～ 4	国道のランプ付近（上り線 出口分岐から南方向に約300メートル地点）にて、下り車線を北上していた被災者が運転する4 tトラックが対向車線に侵入し、上り車線を南下していた他社の労働者が運転する20 tトレーラーと正面衝突したもの。	40301	17	1～9
2021	6	20 ～ 22	高速道路の追越車線を4 tトラックで運転していたところ、前方走行車線を走っていた大型トラックが前方の車線規制に従い、急な追越車線への車線変更をしたために避けることが出来ずに衝突したもの。	11209	17	50～ 99
2021	6	18 ～ 20	被災者は、事業場に向けてトラックにて帰社中、荷台の固定バンドが外れて、シートが荷台からはがれたため、橋上の路肩に停車し荷台にのぼりシートを固定していた時に風にあおられたためバランスを崩し墜落したものと推測される。	40301	1	30～ 49
2021	6	8 ～ 10	代表取締役及び被災者がトラックの荷台にあるプレコンバッグを重機を使用しておろす作業を行っていた。被災者がトラックに備え付けられたはしごにて昇降していたところ、代表取締役がトラックと重機の距離を近づけるため、当該トラックをバックさせ、被災者がはしごから墜落した。被災者は病院に搬送されたが、災害発生日の数日後、脳挫傷により死亡した。	30309	1	1～9
2021	6	12 ～ 14	ずい道掘削工事現場の汚泥を積み込んだダンプトラックが、現場から出発し、国道に出るため交差点を左折したところ、交差点でダンプトラックを誘導していた被災者に接触したもの。	170201	17	300 ～ 499
2021	6	10 ～ 12	被災者は、堆肥で使用する木くずを運送するため、トラックを運転していたところ、県道で、急カーブを曲がり切れず、ガードレールを突き破って、20メートル下の国道に転落し、死亡したもの。	150102	17	1～9
		4	被災者が運転する8トントラックが片側1車線の道路を走行中、左カーブを曲がり切れず、対向してきた20トントラックと衝突した。			100

2021	7	～	衝突はお互いのトラックの右前方部分で、被災者のトラックは衝突した衝撃で道沿いの崖下に転落し、被災者が川に流されたもの。なお、対向車の20トントラック運転手は、被災者と同じ会社の者である。	40301	17	～	299
2021	7	10 ～ 12	国道で、走行中のトラックがセンターラインを越えて反対車線の道路脇にある民家に衝突し、トラックを運転していた労働者が体を強く打って死亡した。また、近くを歩いていた通行人に荷があたって軽いけがをした。	80109	17	1～9	
2021	7	～	被災者6名は、社用車（ワンボックス車）で事業場を出発し、建設工事現場に向かうため高速自動車道の追い越し車線を走行中、中央分離帯に接触しそうになったため左にハンドルを切った際に横転し、走行車線を走行中の大型トラックに追突された。運転手、他1名の計2名が死亡、同乗者4名が重症。	30201	17	10～	29
2021	7	～	被災者6名は、社用車（ワンボックス車）で事業場を出発し、建設工事現場に向かうため高速自動車道の追い越し車線を走行中、中央分離帯に接触しそうになったため左にハンドルを切った際に横転し、走行車線を走行中の大型トラックに追突された。運転手、他1名の計2名が死亡、同乗者4名が重症。	30201	17	10～	29
2021	7	16 ～ 18	蔵の敷地内において、被災者が、ひとりで、発酵工程で使う予定の空のライニングタンク（重さ410kg、高さ145cm、直径115cmの円筒形。キャスター付き）をトラックの荷台からテールゲートリフター（TGL）上に移動させた後、ペンダントスイッチを操作してTGLを下降させていたところ、当該タンクがTGLから落下して、傍にいた被災者が当該タンクの下敷きになり、死亡したもの。	10105	4	100	～ 299
2021	7	4 ～ 6	業務のため前日に借り出したレンタカーのトラック（平ボデー）で居所から事業場の事務所に向かっている高速道路上で単独事故を起こして路上に投げ出されていたところ、後続の他車（トラック）に頭部及び胴体をひかれたもの。	30203	17	10～	29

2021	7	14 ～ 16	ガス管の布設工事に伴う片側交互通行の工事現場において、路盤材を積み込んだ3 t ダンプトラックの後退に当たり交通誘導業務を行っていたところ、当該ダンプトラックの右後輪に轢かれたもの。被災者は病院に救急搬送されたものの、死亡した。	170201	7	50～ 99
2021	7	14 ～ 16	交差点の横断歩道を自転車で横断中に、左折するトラックに巻き込まれたもの。	130201	17	30～ 49
2021	7	6 ～ 8	被災者がバスを運転して道路を走行中、前方から走行してきた大型トレーラーがセンターラインを超えてきたため、正面衝突した。その後、収容先の病院で死亡した。	40202	17	1～9
2021	7	12 ～ 14	傾斜約6度の下り坂に停車させていた貨物自動車（最大積載荷重3トン）が、無人の状態の下り坂を自走し始め、下り坂の下方に停車してある普通乗用車と接触しそうになったため、当該貨物自動車と普通乗用車の間に入り、貨物自動車を止めようとしたところ、受けきれず、貨物自動車と普通乗用車の間に挟まれたもの。	150103	7	10～ 29
2021	7	14 ～ 16	鉾山内において、運搬作業中のダンプトラックが道路上（傾斜10度から12度）でエンジントラブルにより走行できなくなったため、ダンプトラックの下に入って修理を行っていたところ、同トラックが後進したため、被災者と同僚1名が下敷きとなって被災した。	11701	3	1～9
2021	7	22 ～ 24	被災者が運転するトレーラーが県道を北上していたところ、右カーブを曲がる途中、進行方向の左側のガードレールに接触した。その後、トレーラー車体は左に傾けたまま橋の欄干に衝突し、欄干を倒して川に転落した。被災者は、転落したトレーラー内で心肺停止状態で発見され、病院に搬送されたが、死亡が確認された。	40301	17	10～ 29
2021	7	8 ～ 10	被災者が停車している3 t ダンプと4 t ダンプの間に立っていた際、同僚が4 t ダンプに乗車して運転し後退させたため、被災者が3 t ダンプと4 t ダンプの間にはさまれ、2日後に死亡したもの。	80109	7	1～9
			民家敷地にコンクリート製擁壁を設置する工事現場において、車両積			

2021	7	10 ～ 12	載型トラッククレーンが、荷の積載作業が終了した後、傾斜した道路を無人で後退して道路脇のガードレール等に衝突し、巻き込まれた被災者が発見されたもの。	30199	7	10～ 29
2021	8	16 ～ 18	幼稚園・体育館改修工事、外構工事において、作業員がコンクリートミキサー車後方で作業中、コンクリートの搬入を終え場外に移動するため後退したコンクリートミキサー車左後輪に巻き込まれ被災したものの。	30309	7	1～9
2021	8	10 ～ 12	赤信号で停車していた大型トラックに被災者運転のトラックが追突し、被災者は胸を強く打ち間もなく死亡したものの。現場は国道の路上で、片側2車線の直線道路。追突の弾みでさらに前の一般車両2台も絡む玉突き事故となり、被災者以外に一般車両の3名が軽傷を負った。	40301	17	1～9
2021	8	10 ～ 12	被災者は大型のダンプトラック（最大積載量8トン）を運転して砂利の運搬を行うため、県道（片側1車線）を走行していたところ、左側のガードレールに衝突し、約2メートルの道路脇に転落した。その後、病院に搬送されたが死亡が確認された。	40301	17	1～9
2021	8	14 ～ 16	被災者は物流センターの倉庫で荷積みが完了したコンテナを出荷待ちのコンテナ置き場へ移動させる作業をしていた。被災者はトレーラーヘッドを荷積完了のコンテナに近づけ、運転席から降りて、トレーラーヘッドとコンテナを接続した。そうしたところ、トレーラーヘッドとコンテナが前方へ動き出したため、被災者はトレーラーヘッドの前方へ回り込み手で押して止めようとしていたが、押し倒されてトレーラーヘッドに轢かれたもの。	40301	7	50～ 99
2021	8	18 ～ 20	被災者はトラックを運転し、高速道路を荷積先へ向かっていた。途中、高速自動車道で、走行車線から追越車線へ車線変更を行ったところ、タイヤがスリップして中央分離帯へ衝突した。衝突のはずみでトラックは横転し、横転の勢いで被災者が車外に投げ出されたところ	40301	17	10～ 29

			に、横転したトラックが滑りながら被災者に接触して停車した。被災者は救急病院へ搬送されるも死亡した。			
2021	8	0 ～ 2	土砂崩れに係る復旧工事において、道路の通行止め場所の警備業務に1人で従事していたところ、走行していたトラックにはねられたものの。後日、多臓器不全により死亡。	170201	17	100 ～ 299
2021	8	14 ～ 16	被災者は工場の敷地内でトラックミキサーの修繕作業を行っていたが、同日夕方、被災者が上記トラックの傍で地面に倒れているのを他の労働者が発見した。病院へ搬送された被災者は、肋骨、後頭部を骨折しており、搬送後、意識不明の状態集中治療室で治療を受けていたが、後日死亡したものの。	10901	1	1～9
2021	8	2 ～ 4	被災者は運送業のトラックドライバー。雑貨を積んだ最大積載量13tトラックで配送先に向かって高速道路を走行中、停車中の先行トラックに追突した。先行2台を含む計3台の玉突事故。追突の衝撃で被災者のトラックの運転席は大きく損傷し、救出され搬送されるも胸部を強く打ち死亡した。直接追突されたトラックの運転手も足を負傷し休業した。小雨で路面は濡れていた。被災者のトラックのブレーキ痕あり。	40301	17	1～9
2021	8	10 ～ 12	被災者は10トントラックの点検整備を行うため、エア式トラックジャッキを用いて車両前方及び助手席側後方の車体を上げ、車体シャーシ部に数本支え棒を入れたうえ車体下部に潜り込んでいたところ、車体がジャッキ支点から滑動して落下し、後輪トルクロッド部に胸部を挟まれ、重症胸部外傷により死亡した。	80202	7	1～9
2021	9	10 ～ 12	醤油9tを積載したタンクローリー車で配送先に向かっていた被災者は、高速自動車道で側壁に衝突し、その際、被災者は頭部等を強く打ち約1時間45分後に死亡が確認された。同乗者はいない。事故の際、運転席及び車体下部は高架（道路）にとどまり、タンク部分は高架から下方の県道と市道の交差点近くに落下した。落下による人的被害はなし。	40301	17	1～9



2021	9	14 ～ 16	高速道路上の多重衝突事故で、衝突されたトラックの運転手が死亡したものの。製品配送の帰社途中の事故。	11209	17	50～ 99
2021	9	8 ～ 10	10トンダンプトラックの始業点検を行っていた当該ダンプの運転手が、逸走した当該ダンプを止めようとして当該ダンプの左前輪に巻き込まれた。	10804	7	10～ 29
2021	9	14 ～ 16	被災者は最大積載量2tのダンプトラックを用いて、事業場の土捨て場から道路建設工事の現場まで土砂を運搬していたが、同現場においてダンプトラックのキャビン後部（左側）と荷台の鳥居部分の間に下半身をはさまれている状態で発見された。	30106	7	10～ 29
2021	9	10 ～ 12	被災者が給食センターの敷地内でゴミ拾い業務を行っていたところ、敷地内に保管された牛乳パックの回収業務を行うために別の事業場の労働者が運転、後進させていたトラック（最大積載量：1500キログラム）にひかれ、死亡したもの。なお、被災者の所属事業場は別の場所にあるが、給食センターに直接出勤し、作業後に帰宅する作業形態であった。	150101	7	300 ～ 499
2021	9	14 ～ 16	被災者は現場作業終了後、傾斜約12度の坂道に停車させていた軽トラックに1人で乗車した後、同軽トラックは、徐々に速度を上げながら、減速することなく坂道を約75m下り、道路を横断して直進し、バス転回所へ進入後、約16m先の鉄柱に正面から激突したもの。被災者は上半身を強打し、心破裂により死亡した。	30309	17	1～9
2021	9	12 ～ 14	被災者は材料購入のため片側1車線の車道上に軽四輪自動車（以下「軽トラック」という。）を南側に向けて駐車し、軽トラック荷台西側に立っていたところ、北側から直進してきた4tトラックの運転手が前方不注意により被災者の発見が遅れ、軽トラック後方に激突し、被災者がはねられたもの。	30203	17	10～ 29
			サイロの下に11tトラックを着け、木材チップを積み込む作業中、荷台前方への積み込みが終わる直前に、荷台上の木材チップを足場に			

2021	10	4 ～ 6	して、取出し口からサイロの内部に棒を差し込み木材チップを掻き出していたところ、突然サイロから多量の木材チップがなだれ落ち、被災者は、荷台（アオリ上部までの高さ3.58m）から押し出されて地面に墜落し、搬送先の病院にて死亡が確認された。	40301	1	10～ 29
2021	10	14 ～ 16	高速道路上の路肩で被災労働者が道路のスノーポールを設置する作業をしていたところ、路肩にはみ出して走行してきたトラックに撥ねられたもの。	30106	17	100 ～ 299
2021	10	2 ～ 4	駅構内での作業を終了し、終了点呼を終えて、社員寮へ社有車のトラック（2tダンプ）で被災者2名が帰っていた。国道を東進していたが、交差点付近にあるガソリンスタンドの屋根支柱に衝突し、2名とも死亡した。	30104	17	10～ 29
2021	10	2 ～ 4	駅構内での作業を終了し、終了点呼を終えて、社員寮へ社有車のトラック（2tダンプ）で被災者2名が帰っていた。国道を東進していたが、交差点付近にあるガソリンスタンドの屋根支柱に衝突し、2名とも死亡した。	30104	17	10～ 29
2021	10	8 ～ 10	道路舗装の補修工事において、後退してきた貨物自動車（8トンダンプトラック）に一次下請の作業員が激突されひかれたもの。	30106	6	10～ 29
2021	10	10 ～ 12	事業場構内原石運搬道路において、碎石場に向かっていた大型ダンプ（以下「ダンプ」という。）が故障により立ち往生した。これにより、後続していた乗用車（社有車で同社の労働者と被災者が乗車）が前進できず、ダンプ後方に停車させ、2名は乗用車から降り、徒歩で作業現場に向かおうとした。その時、突然ダンプが後退し、歩いていた2名のうち被災者がダンプの下敷きとなった。	20209	7	50～ 99
2021	10	4 ～ 6	国道を走行していた被災者の運転する5トントラックが、カーブで横転、ガードレールに激突し死亡した。	40301	17	10～ 29

2021	10	4 6	被災者は、車線規制をして高速道路を補修する工事の警備業務および車線規制等の標識を撤去する作業を担当していた。災害発生時、走行車線を規制せずに、工事用車両3台を路側帯に停車させて標識撤去作業を行っていた。被災者は走行車線にはみ出して立った状態で、3台のうち中央に停車させた工事用車両の荷台に標識を固縛する作業を行っていたところ、後方から走行車線を走行してきた12tトラックに激突されて死亡した。	170201	17	100 ~ 299
2021	10	4 6	被災者が運送業務出発前にトラクタ（牽引車）とトレーラー（被牽引車）を連結させたところ、当該連結車両が無人の状態でも進んだため、被災者はこれを止めようとして当該連結車両とガードレール間に挟まれたもの。その後、近接する工場の守衛が車両とガードレール間に挟まれた被災者を発見し救急通報、病院に搬送されるも死亡が確認された。	40302	7	10~ 29
2021	10	12 14	傾斜8度の坂道で、セーフティローダーダンプ（荷台が後ろにスライドし後端が接地する車載・土砂兼用ダンプ）にドラグショベルを自走積み直後、無人で逸走（下り坂を前進）し、約37m先のフェンスを突き破り、道路下に1.2m落ち横転した。逸走車の荷台を車外で操作していた被災者は、停止のため追いかけて、逸走車とフェンスの間にはさまれた。ドラグショベル運転者（一人親方）は逸走開始時に飛び降り休業1か月の足骨折。	30106	17	10~ 29
2021	10	16 18	被災者を含めた警備員2名により、国道に隣接する敷地に入出入りする大型ダンプの交通誘導業務を行っていた。大型ダンプを国道から同敷地に進入させるため、被災者が国道を走行してきた軽トラックに停止を求めたが、停止しなかったため、被災者が同軽トラックにはねられたもの。	170201	17	50~ 99
2021	10	2 4	2トン車でスーパーのルート配送を行っていた被災者が信号待ちをしていたトレーラーに追突し死亡したもの。	40301	17	10~ 29

2021	10	10 ～ 12	山中の建設現場に向け、コンクリートプラントからミキサー車を運転し出発した被災者の車両が、到着予定時刻を過ぎても建設現場に到着しないため、コンクリートプラントの職員が山中を捜索したところ、作業道から転落している車両を発見し、消防により救助されたものの死亡したもの。	40301	1	10～ 29
2021	11	0 ～ 2	被災者は、会社所有の2トントラックで、国道を走行しているとき、対向車の1トンワンボックスと正面衝突した。正面衝突後、当該トラックは、路肩の休耕田（4メートル位下）に転落した。当該災害により、被災者は、頭部損傷を負い死亡した。	40301	17	1～9
2021	11	8 ～ 10	交差点手前にて、被災者の運転する2トントラックが信号待ちをする車列に衝突し、多発外傷により被災者が死亡したもの。ドライブレコーダーの記録によれば、衝突時、被災者の運転するトラックは時速50kmに達しており、ブレーキが踏まれた記録はなかった。	40301	17	10～ 29
2021	11	0 ～ 2	被災者はトラックを運転し、国道を走行中、対向車線からはみ出してきたトラックと正面から激突したもの。	40301	17	100 ～ 299
2021	11	0 ～ 2	事業場から配送先に向かう途中、国道にて、被災者が前方の車両を追い越そうと対向車線にはみ出したところ、対向車線を走っていたトラックと正面から激突したもの。	40301	17	100 ～ 299
2021	11	12 ～ 14	砕石会社の残土置き場にて、被災者は一人で、最大積載荷重9.4トンドンプトラックの荷台を上げ、荷台と車台フレームの間でグリースアップ作業を行っていた。被災者は荷台降下防止のための安全棒を立てず、ダンプレバーを固定しないまま作業を行っていたところ、何らかの原因で荷台が降下し、荷台と車台フレームの間に挟まれ死亡した。なお、一人作業のため災害発生状況及び時間は推定である。	10909	7	1～9
2021	11	22 ～	被災者は、配送先にトラックで荷を運んでいた。本件災害の約30分前に別のトラックと接触事故を起こし、路肩にトラックを止め、相手方ドライバーと車外で話をしていたところ、後ろから走行してきた、	40301	17	10～

		24	また別のトラックが停車していたトラックに追突し、被災者はトラックとガードロープに体を挟まれたもの。			29
2021	11	6 ~ 8	被災者は、工事現場へ向かう途中、自らの運転するダンプAを駐車場に駐車し、ダンプAの前方で工事用の幕の取付けまたは取外し作業していたところ、B社の運転手の運転するダンプBが、ダンプAの前方に駐車のために後進した時、ダンプAに接近しすぎたため、ダンプ間に挟まれたもの。	40301	7	1~9
2021	11	12 ~ 14	被災者は、事業場内の荷の積卸を行うゲート内にて、貨物自動車へ荷積み作業を実施していた。同ゲートのプラットフォームと貨物自動車の間で倒れているのを発見されたもの。災害発生当時、同車は高さ調整のために後輪を乗せていた木製スロープ台から落ちて後方に移動しており、ギヤはニュートラルで、サイドブレーキは十分にかかっていなかった。被災者の死体検案書には死亡の原因に胸背部打撲による胸部狭圧と診断されている。	40301	7	30~ 49
2021	11	12 ~ 14	大型レッカー車の整備作業において、被災者はレッカー車の後方に格納したリフト（事故車両を牽引する部分）の上で（腰を掛けるように）身体をあずけ、レッカーのブーム部分へ油を差す作業を行っていたところ、リフトの一部が被災者の自重で傾いたため、バランスを崩し地面に墜落（車体に足を乗せていた箇所の高さ183.5cm）し、頸椎骨折による頸髄損傷で死亡した。	11502	1	10~ 29
2021	12	10 ~ 12	被災者はごみ収集のため、収集先敷地内に設置された倉庫前に塵芥車を停車し、ごみ収集作業を行ない終え、倉庫の扉を閉めていたところ、無人の塵芥車が倉庫に向かって後進してきたため、被災者が塵芥車と倉庫の間にはさまれたもの。	150103	7	1~9
2021	12	12 ~ 14	牛の餌やりを終え、牧場内の管理道（アスファルト舗装された幅員約3mの私道）を軽トラックで事務所に戻る途中、管理道脇の斜面に乗り上げ、車体がバランスを崩し運転席側に横転したため、運転席側ド	70101	2	1~9

			アと車両の間に腰部付近を挟まれ、呼吸不全により死亡した。			
2021	12	12 ～ 14	自動車専用道路パーキング入口付近において、路面工事のための車線規制をし、規制区域内にて設置した規制材の点検作業をしていたところ、規制区域内に進入してきた一般トラック（20t超）に轢かれた。	170201	17	100 ～ 299
2021	12	22 ～ 24	被災者は道路補修工事の現場の施工写真を道路上で撮影中に、後方から貨物自動車にはねられたもの。	30106	17	10～ 29
2021	12	12 ～ 14	被災者は、私有林の林道上で木材グラップル機のアタッチメントを修理中、林道上を後退してきた貨物自動車（14トントラック）と激突した。なお、貨物自動車は、約500メートル離れた土場へ移動するため後退で走行していたもの。	40301	6	10～ 29
2021	12	10 ～ 12	災害発生前日21時台に会社に出社し、点呼後に大型貨物自動車に荷物を積み込んで車道を走行中、トンネルを出て80m先の本線上に停車していた大型トレーラーに追突したもの。	40301	17	30～ 49
2021	12	2 ～ 4	最大積載量10.6トンの貨物自動車の高さ約3.5メートルの荷台（積み荷であるゴミ）の上で荷下ろしのためのシート外しを荷台後方で行っていたところ、墜落し、死亡した。	150102	1	30～ 49
2021	12	8 ～ 10	被災者は、交通誘導員として同僚が運転するヒアブ車（クレーン付き8t貨物トラック）に同乗し、鉄くずを回収するため廃品回収業者（被災地）へ向かった。鉄くずをトラックに積み終え、会社に戻るため廃品回収業者の敷地から市道へ出ようとするヒアブ車の誘導を行っていたところ、後退してきたヒアブ車の右後輪に骨盤から左下肢を轢かれた。その後入院治療中であったが死亡したもの。	80109	7	10～ 29
2021	12	10 ～ 12	A重油約1800リットルを配送するため、下り勾配約5度の直線道路を走行中、走行車線左側の縁石を超え道路脇の立木に激突した。	80109	17	10～ 29

2021	12	6 ～ 8	3 tトラックに長さ4 mの塩ビ管を積む際に、塩ビ管の方向を変えようと荷台の上にはいた被災者が塩ビ管とともに墜落し頭部を打ったもの。	30110	1	10～ 29
2020	1	6 ～ 8	フォークリフトを使用して貨物自動車の荷台からフレコンバッグを卸すため、被災者が荷台上のフレコンバッグの上に乗って、フォークリフトのフォークに、フレコンバッグに取り付けたロープを結びつける作業を行っていたところ、バランスを崩し、2.22 m下の地上に墜落した。	10805	1	1～9
2020	1	8 ～ 10	工場において、アジテーター車で生コンを建設現場に搬入するために、伝票を取りに行くため、門の手前で停車させ下車したが、その後、アジテーター車後部で倒れていた状況で発見されたもの。災害発生直前の被災者の行動は目撃者がいないため不明であるが、被害の程度からして、アジテーター車後部の荷台及びステップに乗っていて墜落していたものと推定される。	10901	1	10～ 29
2020	1	10 ～ 12	被災者は、工事現場の土砂を運搬するため、ダンプトラックを運転し場外の土砂置場に荷降ろした後、空荷で当該工事現場へ走行中、交差点の手前で右車線を走行していたダンプトラックと接触し、その後、赤信号で停車していたダンプトラック（同僚）に追突したもの。なお、2台のダンプトラックの運転手にけががなく、現場は、片側2車線の直線道路で、事故当時の天候は晴れ、路面は乾燥していた。	30107	17	10～ 29
2020	1	6 ～ 8	作業現場へ向かうため、代表者が運転する軽トラックに2名乗車で走行中、凍結箇所でスリップし路肩に停車したところ、後続の2台目車両が追突し、後続車両は中央線を越え、道をふさいで停車した。このため、被災者が2台目の車両の前へ行き、後続車に手を振り注意喚起していたが、3台目の後続車も手前でスリップし、被災者側に向かって滑ってきたため、3台目の車両と土留め壁に挟まれ死亡した。	30201	17	1～9
		10	被災者が運転するダンプトラックが工事で発生した土砂を現場から搬出する際にタイヤに付着した泥等を落とすために設置されているタイ			

2020	1	12	ヤ洗浄機上で停車させ、タイヤ洗浄機が異常停止したため、下車して操作盤のところへ行き再起動させたところ、ダンプトラックが動き出し、これを止めようとしたが前輪に巻き込まれて轢かれた。	40301	7	1～9
2020	1	14	ゴミ集積場所付近の路上に機械式ごみ収集車を停車させ、テールゲートの回転板を連続回転させながら、被災者が一人で一般ごみ（燃えるごみ）の回収作業を行っていたところ、テールゲートホッパー内に身体の一部が入り込み、回転板に全身を巻き込まれ死亡した。なお、機械式ごみ収集車には、非常停止装置が設けられていた。	150102	7	10～29
2020	2	24	被災者は高速自動車道路上をトレーラーを運転し北に向かって走行中、センターラインをはみ出したことにより、反対車線を走行していたトラックと正面衝突した。	40301	17	10～29
2020	2	12	被災者は、工場内石膏サイロにおいて、バルク車（粉粒体運搬車）に荷積み作業を行うためバルク車のタンク上方（高さ約3メートル）に上がり、タンク投入口とサイロ排出口の連結作業を行っている最中に転落したものと判断される。被災者は病院に運ばれたものの脳挫傷等により死亡した。	40301	1	30～49
2020	2	8	地下通信ケーブルの夜間工事を終え、作業車で事務所へ帰社するため走行中、トンネルの手前で運転者がハンドル操作を誤り、トンネルの入口外壁に車の左側が衝突したことで車両前方左側が大破、助手席にいた被災者が死亡した。	30301	17	50～99
2020	2	6	県道路肩にトラックを停車させて運転席から降り、トラックの前方で立っていたところに後ろからタンクローリーがトラックに追突。トラックが前方に押し出されたことから被災者はトラックタイヤの下敷きとなったもの。	40301	17	1～9
2020	2	8	準中型トラックを回送する業務を行っていた被災者が、高速道路下り線を走行中、非常駐車帯に停車していた小型トラックに追突し、その衝撃でハンドル等に身体をはさまれ、多発性外傷により死亡。準中型トラックの助手席にいた同乗者が胸骨骨折、小型トラックの車外にい	170209	17	10～29



			た別事業場の運転手も右腕打撲。			
2020	2	10 ～ 12	被災者が営業所車庫の駐車場で10 tトラックのキャビンの雪下ろし作業を行っていたところ、作業中に足を滑らせ、高さ約2.7メートルの位置から墜落し、頭部を打ちつけ死亡したものの。	40301	1	10～ 29
2020	2	8 ～ 10	鮮魚の販売等の業務に従事する被災者が、業務終了後、保冷車を運転し、本社に戻る途中、保冷車とともに岸壁から海へ転落したものの。	80209	17	1～9
2020	3	12 ～ 14	トレーラーでコンテナを輸送中、ブレーキに異常を感じたため道路の路肩に停車し、車外で復旧作業をしていた。その後、トレーラーの牽引台車右側後輪にうつ伏せの状態で見送られた。	40301	7	100 ～ 299
2020	3	6 ～ 8	被災者は、市道において、トラック（最大積載量約10 t）を運転していたところ、路肩に停車していた乗用車の右側面に接触した後に市道の左側に流れ、電柱に衝突し、死亡した。	40301	17	1～9
2020	3	8 ～ 10	トラックの荷台上において、おが屑の積み込み作業を行っていたところ、高さ約3 mの荷台より墜落した。トラックの近くに倒れているところを発見された。	10401	1	10～ 29
2020	3	6 ～ 8	被災者はドライバー助手として4 tトラックに乗車していた。荷主へ荷物を運搬中に追い越し車線から走行車線へ車線変更する際に、走行車線後方を走る大型トラックに自社の4 tトラック後方部が接触後、4 tトラックはガードレールを乗り越え横転した。備車依頼を行っているため、4 tトラックとドライバーは別事業場の所属である。ドライバーは軽傷であった。	50101	17	30～ 49
2020	3	16 ～ 18	トンネル掘削における発破作業に用いる火薬を運搬する車両が、切羽に向かって後進中、切羽付近で切羽の監視業務を行っていた被災者に接触し、被災したものの。	30102	7	1～9
			工事現場での作業が午前中で終了したため、小型トラックに2人が乗			

2020	3	12 ～ 14	車し、工事現場から会社に戻る途中、国道を走行中にゆるい左カーブで道路右側にはみ出し、橋の欄干に激突して道路脇の沢にトラックごと転落した。助手席に乗っていた労働者が死亡し、運転者が軽傷を負った。	30199	17	1～9
2020	3	14 ～ 16	粗大ごみの収集を行ったあと町内にあるリサイクルセンターに向かうため、町所有のトラックで走行中、直線道路で運転を誤り、道路左側の建物に衝突して3名全員が被災した。	150103	17	10～ 29
2020	3	8 ～ 10	家庭からの一般廃棄物を持ち込んだ一般女性が運転する軽トラックが、被災者の誘導により、ごみピット投入口までバックしようとした際に逸走し、荷台後方が、ピット投入口の端から1.2mの位置に退避していた被災者に接触し、そのはずみで深さ約6mのごみピット内に墜落した。	150103	1	1～9
2020	3	10 ～ 12	被災者は、駐車場修繕工事で使用するアスファルトを購入するため、工場のアスファルト出荷用ホッパー付近の駐車場に2tダンプトラックを駐車させていたが、午前中、被災者は、トラック助手席側後方付近の路面に仰向けで倒れている状態で発見された。	30199	1	1～9
2020	3	12 ～ 14	被災者が運転するトラックが渋滞で停止していた別のトラック後方に衝突し、被災者が死亡したもの。	40301	17	10～ 29
2020	3	16 ～ 18	被災者は、警備員として勤務しており、現場を自転車で巡回中、信号のないT字路を横断したところ、左の脇から出てきたトレーラーに引かれ死亡したもの。	150101	17	50～ 99
2020	3	12 ～ 14	仮設の鉄骨構造物を移動するため、当該構造物の下に搬送台車を移動中、誘導者が構造物の梁と搬送台車の間に頭部を挟まれた。	11501	7	1000 ～ 9999
2020	3	16 ～ 18	10t大型ダンプの荷台後部あおり下部の車体枠の修理中、あおり（重量：約120kg）が頭部に激突した。（災害の現認者はおらず、被災者は右腕をあおりにはさまれた状態で発見された。）	11701	6	1～9

2020	4	18 ～ 20	トラックを運転して荷物を運搬中、下り右カーブを曲がり切れず、コンクリート壁に衝突し、車外に投げ出されて死亡した。	60101	17	1～9
2020	4	14 ～ 16	4名でトラック2台に分乗して現場から移動中、トラックの荷台のほろが外れかけたため、道路下り線の路肩に停車して、ほろの取り付け作業をしていたところ、大型トレーラーが追突したもの。	150102	17	10～ 29
2020	4	14 ～ 16	4名でトラック2台に分乗して現場から移動中、トラックの荷台のほろが外れかけたため道路下り線の路肩に停車して、ほろの取り付け作業をしていたところ、大型トレーラーが追突したもの。	150102	17	10～ 29
2020	4	0 ～ 2	被災者は、大型の冷凍車を運転し、国道を走行中のところ、交差点において信号待ちをしていた大型貨物自動車に追突し、そのまま道路左側の跨線橋フェンスや橋脚に激突した。	40301	17	1～9
2020	4	22 ～ 24	被災者が販促物及び書類を配達先に届けるためワンボックスカーを運転し、自動車道下り車線を走行中、反対車線を走行していた4tトラックが中央分離帯を突き破り、横転し、被災者の車両に衝突した。その後、被災者の車両に後続の大型トラックが衝突した。二つの衝突のいずれか又は両方により、負傷、死亡に至ったもの。	40301	17	10～ 29
2020	4	16 ～ 18	ダンプトラックを運転して採石現場内の構内道路を走行していた際、構内道路を逸脱して道路脇の溜池にダンプトラックごと転落し、溺死したもの。	40301	18	100 ～ 299
2020	4	14 ～ 16	被災者は、パッカー車（ゴミ収集車）で収集した古紙類を、古紙問屋である作業所で廃棄作業を一人で行っていたところ、パッカー車後部の圧縮板に頸部が挟まれ死亡したもの。	150102	7	50～ 99
2020	5	10 ～ 12	被災者は、土砂を積んだダンプトラックを運転して、本工場の現場から五泉市論瀨のストックヤードへ向けて走行中、運転操作を誤り、反対車線の法面（勾配約30度）から約3m下の道路に転落した。	30107	17	10～ 29
			被災者は資源物回収のため、一人でパッカー車を運転していた。被災			

2020	5	12 ～ 14	者は資源物回収を行うためパッカー車の運転位置から離れるときに、停止の状態を保持するためブレーキを確実にかける等の逸走防止措置を講じなかったため、勾配に沿ってパッカー車が動き出しそのまま民家に激突し、民家と接触したドアに挟まれた。病院に搬送されるも死亡した。	150103	7	1～9
2020	5	12 ～ 14	事業場から浴室改修工事に軽トラックで向かう途中、片側1車線の農道で、大型トラックと正面衝突したものの。	30203	17	1～9
2020	6	6 ～ 8	小型移動式クレーンの荷台に鉄筋を積んで現場に向かい走行中、急勾配の坂道で荷台後方が地面と接触して走行不能となったため、被災者が地上に降りて移動式クレーンを運転操作して荷の積み替え作業を行い、アウトリガーを戻したところ、車両が後退して車輪の下敷きとなった。	40301	7	10～ 29
2020	6	16 ～ 18	建設現場における作業を終え、事業場に戻るため社有車（軽トラック）を運転して走行中、左脇に設置してある防雪柵に衝突した。	30199	17	10～ 29
2020	6	8 ～ 10	被災者（運転兼回収）一人で事業系一般ごみをパッカー車でルート回収中、幼稚園を訪れた際、同園横の市道に停車させ下車したところ、無人の車両が市道（傾斜3度前後の坂道）を後退し、轢かれて頸椎骨折による頸髄損傷で死亡したものの。車両はその後も民家の壁にぶつかりながら後退し、民家の車庫の壁にぶつかって停止（逸走開始から停止まで54秒・約75m）した。	150103	17	10～ 29
2020	6	2 ～ 4	被災者は中型トラックを運転して配送先で荷下ろし後、次の荷下ろし先に向かうために国道を南下していたところ、左カーブでセンターラインを越え、対向してきた大型トラックと衝突した。結果、被災者は死亡し、相手方トラック運転手も足を負傷した。	40301	17	1～9
2020	6	14	今後工事の事前調査のため、社有車を直線道路の左端に駐車させ、車を降りていたところ、後方から走行してきたトラックに激突された。	30301	17	30～

		16	駐車時には、ハザードランプを点灯させていた。			49
2020	6	4	国道の片側2車線の上り線で、交差点の赤信号停車中の車列に10tトラックが突っ込み、車列最後尾の被災者の3tボックス車、その前の28tトレーラー、その前の10tトラックの計4台の玉突き事故となり、被災者車両は運転席が大破した。被災者は全身打撲の多発外傷で当日、死亡が確認された。	50101	17	100 ～ 299
2020	6	6	交差点において被災者が運転する4tトラックが右折待ちの10tトラックに追突した。10tトラックは弾みで前の乗用車に衝突し、3台が絡む玉突き事故となった。被災者は搬送先の病院で死亡した。10tトラックの運転者、乗用車の運転者は救急搬送はなく軽傷。被災者は配送先から営業所へ戻る途上であった。	40301	17	10～ 29
2020	6	12	工場において、被災者がトラック荷台で鉄筋材の荷下ろし作業中に、トラック荷台から墜落して首骨を骨折した。災害発生後に緊急搬送され、後日死亡した。	40301	1	50～ 99
2020	6	12	国道沿いにある交通遮断機の点検及び保守業務を行う紀南管内道路構造物点検業務工事において交通誘導業務を行っていたところ、走行してきた軽トラックにはねられ、死亡したものである。	170201	17	50～ 99
2020	6	10	港でコンテナ積みトラックに荷物を積んだ被災者が会社へ戻るため自動車専用道路を走行中、中央分離帯を越えて反対車線（被災者側車線）にはみ出してきたトラックと正面衝突した。	40301	17	30～ 49
2020	6	2	商品仕入れのため、市場に出向いており、場内の駐車場からせり場に向かうため、横断歩道を歩行していたところ、スロープを下って左折をしてきたトラックに左方向から衝突され、右方向に4～5メートル跳ね飛ばされたもの。その際に頭部をひどく打ち付け負傷（両側急性硬膜下血腫、脳挫傷他）。	80209	6	30～ 49
		6	被災者は、片側1車線の自動車道トンネル内において大型トラックを運転していたところ、対向車線を走行していた大型トレーラーがスリッ			10～

2020	6	8	<p>プしてハンドル操作不能状態となり、センターラインを越えて被災者が運転する車線に突っ込んで来たため、被災者が運転する大型トラックと衝突し、大型トラックを運転していた被災者が死亡したものの。</p>	40301	17	29
2020	6	8 ~ 10	<p>被災者はコンクリートを配送するため、コンクリートミキサー車にて建築現場に向かい、待機していたコンクリート圧送車と接続し、現場作業員がコンクリート打設を開始したところ、コンクリートが流れてこなかったため、ミキサー車に向かったところ、被災者があおむけに倒れているのを発見した。大学病院にて頸椎脱臼の治療を行っていたものの、後日肺炎により死亡した。</p>	10901	1	10~ 29
2020	7	14 ~ 16	<p>災害発生場所に事業所の水源地内において、次亜塩素酸ソーダの運搬及び圧送業務を請け負った運送会社の労働者が、11.9度の傾斜にタンクローリーを停車し、コンプレッサーを用いた次亜塩素酸ソーダの圧送作業を終えた後、圧送部分のホースを取り外すため車両を降りたところ、何らかの原因で車両が動き出し、車両と門扉との間に身体を挟まれ、死亡した。</p>	40301	7	10~ 29
2020	7	14 ~ 16	<p>工事現場内のドラグ・ショベルAの誘導を行うために入っていた被災者は、作業の進行で不具合が生じたため、一時、誘導をしていたドラグ・ショベルAの近くから離れた。その際に、同じ敷地内でドラグ・ショベルBが掘削した土砂を運搬していたダンプトラックが、積み込み場所を変えるため移動し、後退している途中で、ダンプトラックの左後方部にはねられた。</p>	170201	6	100 ~ 299
2020	7	10 ~ 12	<p>牧場の牧草地にて、ハーベスター（飼料収穫機）とダンプトラックを用いて牧草の収穫を行っていたところ、ダンプトラックが泥濘にタイヤを取られた。そのため、ハーベスター後部とダンプトラック後部を両端にフックが付されたワイヤロープでつなぎ、牽引していたところ、被災者がハーベスターとダンプトラックの間に入り、挟まれたものの。</p>	70101	6	1~9
		10	<p>被災者がトラックを運転し、高速道路のトンネルを走行中、ハンドル</p>			

2020	7	～	12	操作を誤りトンネル内の側壁にぶつかり、被災者が車外へ投げ出されて、トンネルの壁に頭を打って死亡した。	40301	17	30～ 49
2020	7	～	20 22	3 tトラックを一人で運転して、高速道路下り線を走行中、片側2車線の追い越し車線から走行車線に移ろうとした際に、走行車線の10 tトラックに接触した。この反動で中央分離帯側壁に衝突し、車外に飛ばされ死亡した。	90103	17	30～ 49
2020	7	～	12 14	高速道路（下り線）の植栽点検の作業中、植栽の異常を発見したことから路肩に車を停めて降車し、車両の進行方向とは逆方向に向かって徒歩で移動していたところ、加害者の運転するトラックが走行車線側の法面に乗り上げた状態で被災者の方に向かってきたため、当該トラックに轢かれたもの。	60101	17	30～ 49
2020	7	～	12 14	高速道路の出口付近において、被災者運転のタンクローリーがトラックに追突した。なお、被災者は頭蓋骨骨折で死亡し、追突されたトラック運転手は頭部に軽傷を負ったもの。	40302	17	50～ 99
2020	7	～	2 4	大型トラックに、後方より牛乳輸送営業所の運転手が追突した。当該運転手は全身を強く打ち死亡した。	40301	17	100 ～ 299
2020	7	～	16 18	ゴミ収集車（パッカー車）で収集したゴミを焼却場ピットに投入した後、車両を前方に移動させ、床に落ちたゴミを清掃。その後、ゴミ収集車テールゲート内の回転板上半身を挟まれた状態を隣のゴミピットで作業中の同業者に発見された。エンジンは掛ったままで回転板は停止していた。（床のゴミの清掃までは焼却場のカメラで確認。ゴミ収集車前方からの撮影のためテールゲート後方で挟まれる模様は映っていない）。	150103	7	30～ 49
2020	7	～	10 12	被災者がトラックの助手席に乗っていたところ、当該トラックが別のトラックに追突し、死亡したもの。	40301	17	10～ 29

2020	7	14 ～ 16	災害復旧工事清掃作業のため、事業場から所在する店に、同僚が運転する社用車の2 tトラックの助手席に乗り向かっている途中、渋滞で停車していた前方の自動車3台に追突した。運転手は軽傷であったが、被災者は外傷性窒息のため死亡した。	150101	17	1～9
2020	7	0 ～ 2	特定貨物運送業務（ダンプで残土運送）に従事中、残土捨場敷地内（受付事務所到着前）の4車線道路上でダンプを止め降車し、荷台の残土養生用シートを外し、同車後方2～3 mで、当該シートを折り畳み丸めていたところ、後方から来た別会社のダンプにひかれ、轢死した。	30309	17	10～ 29
2020	8	14 ～ 16	片側交互通行規制された道路工事現場において、赤信号を無視して走行してきた軽トラックが、路肩のガードレールに激突した反動で工事区域に弾き飛ばされ、工事区域内に設置されたテント内で交通監視業務（仮設信号機の作動、保安用資材等の点検確認作業）を行っていた被災者に激突した。なお、現場には、ブレーキ痕は残されていない。	170201	17	10～ 29
2020	8	12 ～ 14	ダンプカーの荷台を後方に傾けて土砂を搬出する際、アオリが開かず、当該土砂が荷台後方に偏ったため、ダンプカーが後ろ向きにひっくり返って約5メートル転落したところ、運転席部分が近くに停車していたドラグショベルに激突し、運転手が被災したもの。	150102	1	30～ 49
2020	8	12 ～ 14	被災者は同僚と2人でごみ収集作業を行っていた。被災者がごみ集積場でごみを収集車に積み込み、徒歩で次の収集場所へ移動していたところ、左折したごみ収集車にひかれた。被災者は、近道しようとして住宅駐車場のチェーンを跨いだ際に、足を引っかけて倒れ、ごみ収集車にひかれた。	150103	17	100 ～ 299
2020	8	16 ～ 18	現場は片側一車線の直線道路。事故当時、家畜運搬車（以下A）は国道を下り方向に走行していたところ、対向車線を走行していたトレーラー（以下B）が迫っている中でAの前方を走行していた乗用車を追い越したことで、対向車線のBが右にハンドルを切り下り車線にはみ出したところ、Aも本来の走行車線（下り車線）上に戻ったため衝突	40302	17	10～ 29



			し、Aの助手席にいた被災者が出血性ショックのため死亡したものの。			
2020	8	6 ～ 8	被災者は貨物自動車（粉粒体運搬車）のタンクに牛の飼料を投入するため、高さ283cmのタンク上部に上がり作業を行っていたところ、タンク上部より墜落、コンクリート地面に頭部を激突して死亡したものの。	40301	1	1～9
2020	8	16 ～ 18	駐車場から土場の事業場事務所まで徒歩にて移動中、ガード下の横断歩道で右折トラックに跳ねられ、死亡したものの。	30199	17	10～ 29
2020	8	10 ～ 12	魚市場で大型トラック（ウイング車、積載量10トン）に鮮魚10トンを積み込み水産会社に向け自動車道を走行中、インターチェンジの出口の左カーブで右側ガードレールに衝突して横転した。被災者は運転席に挟まれ約1時間30分後に救出され、病院に搬送されたが、搬送先の病院で死亡が確認された。	40301	17	30～ 49
2020	8	14 ～ 16	ホテルの敷地内において、プラスチック製コンテナ3個を車両積載型トラッククレーン（つり上げ荷重2.6t）で回収するため、労働者2名で同クレーン周辺にコンテナを移動させ、その後被災者一人で作業していたところ、夕方頃同クレーンの右後方付近で倒れている被災者を発見され、病院へ救急搬送されたが、搬送先の病院で死亡が確認されたものである。	150102	1	10～ 29
2020	8	10 ～ 12	工場において鉄骨の積み込み作業後、荷台で水分補給をし、少し休憩した後、荷台から下りようとした際、立ちくらみでバランスを崩し、荷台から落ち左肋骨部骨折、頭部を強打した。その後、病院に搬送され治療を受けていたが後日死亡した。	40301	1	10～ 29
2020	8	4 ～ 6	被災者は同僚1名と工事進捗管理業務を終え、事務所に戻るためトラックで国道走行中（片側2車線の左カーブ）、対向車線を走行していた大型トレーラーと正面衝突したものの。トラックに乗車していた2名が全身を強く打ち死亡。大型トレーラーの運転手1名が左手足を打撲した。	40101	17	50～ 99

2020	8	4 ～ 6	被災者は同僚1名と工事進捗管理業務を終え、事務所に戻るためトラックで国道を走行中（片側2車線の左カーブ）、対向車線を走行していた大型トレーラーと正面衝突したものの。トラックに乗車していた2名が全身を強く打ち死亡。大型トレーラーの運転手1名が左手足を打撲した。	40101	17	50～ 99
2020	9	10 ～ 12	4トンドンプトラックの荷台を上げ、オイル交換作業を行っていたところ、荷台が降下し、車体と荷台の間に頭部を挟まれたもの。	150109	7	30～ 49
2020	9	14 ～ 16	被災者は配送先の在宅確認を終え、配送する荷物を取りにトラックに向かう途中、走行してきた軽トラックにはねられ、約1時間後に死亡が確認されたもの。	40301	17	30～ 49
2020	9	2 ～ 4	被災者が運転する3トントラックが直進し、交差点に進入したところ、対向車線から右折してきた軽自動車と衝突した。被災者のトラックはその衝撃で道路脇にある街路樹に衝突し全身打撲により死亡した。	40301	17	10～ 29
2020	9	8 ～ 10	被災者は電話工事の交通警備業務で同僚2名と現場近くに到着待機。工事業者がトラック（小型移動式クレーン装備）で到着し工事場所の180m前でトラック車体左半分を歩道上に乗り上げ後退した。後退中に通過車両があり一旦停止した。被災者は待機場所から一人でトラックまで来てトラック右後部付近に立ち入り通過車両を誘導（推定）。車両通過直後にトラックが再び後退を開始し死角で見えなかった被災者を右後輪で轢いたもの。	30301	7	10～ 29
2020	9	10 ～ 12	事業場敷地内に停車していた車両重量3090kgのトラックが突然逸走したところを目撃した被災者が、逸走したトラックに並走しながらトラック前方に向かって駆け寄ったところ、当該トラックとその前方にあるコンクリート壁との間に挟まれ、搬送先の病院で死亡した。当時、トラックには約800kgの荷が積まれた状態だった。	80109	7	10～ 29
			事業場敷地内の構内道路にて、草刈り作業を担当していた被災者が、			

2020	9	14 ～ 16	作業場所へ向かうため、あおりのない貨物自動車の荷台の左側に座り、移動していたところ、下り坂の方へ右折した際に、体ごと外へ投げ出され転落した。被災者はコンクリートの地面に頭や顔を強く打ち、直ちに市民病院へ救急搬送されたが、死亡した。被災者は当時ヘルメット、上下作業着、長靴を着用。	150102	1	30～ 49
2020	9	16 ～ 18	デッキバージと呼ばれる浮き栈橋（長さ74.9m、幅30.4m、高さ3.0m）に土砂を運搬する作業において、被災者が土砂置き場からデッキバージに土砂をダンプトラック（最大積載荷重8.9トン）に積んで運搬作業中、被災者が運転するダンプトラックが法面前方から激突しており、運転席で意識のない状態で発見された。ダンプトラックが激突した法面は、下り坂（傾斜8度）を下った先のU字の曲がり角付近であった。	150102	3	1～9
2020	9	16 ～ 18	林道に駐車したトラックの荷台の上で、被災者が伐採が完了した木材を荷締めする作業を行っていたところ、トラックが逸走し始めた。被災者は逸走し始めたトラックの荷台から木材とともに、林道脇の沢に墜落し、出血性ショックで死亡した。	60201	1	1～9
2020	9	10 ～ 12	トラック等駐車場で、各トラックにドライブレコーダーを取り付ける作業を行っていたところ、被災者がトラックの近くで仰向けに倒れていた状態で発見された。災害発生後、治療中であったが、後日死亡したものの。	40301	1	10～ 29
2020	9	12 ～ 14	自動車道を進行中の大型トレーラーが、ガードレールを突き破り約5メートル下の斜面に転落し、運転席に乗車中の被災者が死亡したものである。（単独事故、現場は下り勾配の右カーブ）	40303	17	1～9
2020	9	16 ～ 18	被災者は荷主に書類を届けた後、帰社するため自車の駐車場所に戻ろうと、道路を徒歩で横断していた。その際、横断経路左側の路肩に停車していたトラクターヘッドが後進して被災者を轢過したため、外傷性ショックにより死亡したものの。	40301	17	10～ 29

2020	9	16 ～ 18	道路施設設置工事で使用していた4 t ダンプトラックをリース会社に返却するために県道を走行していたところ、何らかの原因でトラック左車輪が側溝にはまり、側溝から抜けるために右方向へハンドルを切った先に勢い余って反対車線のガードワイヤーを突き破り、崖から約37メートル墜落したものの。	30199	17	1～9
2020	9	16 ～ 18	県内で機器の搬入と設置を終え、帰社するため高速道路を走行中、トンネル内の非常停止帯で車両が左側に寄り、そのままトンネル壁に激突したものの。	11209	17	1～9
2020	9	2 ～ 4	被災者は、バイオマス発電所に燃料となる木質チップを運ぶため、最大積載量約30 t（積載量約16 t）の大型トレーラーを運転し、自動車道（下り線）を走行中、99.1キロポスト（kp）付近に差しかけたところで、道路左側のガードレールに接触し、右側面（運転席側）を下にして横転した。被災者の右腕が車体の下敷きとなり、圧迫による外傷性窒息で3時間半後に死亡した。	150103	17	10～ 29
2020	9	14 ～ 16	運搬先事業場前の道路上にて駐車中の自車トラックの後方で荷物の積み込み作業を行っていたところ、後方より別のトラックに追突され、自車、相手車に挟まれ死亡した。	40301	17	10～ 29
2020	10	10 ～ 12	配送センターにおいて、10 tトラック用バス（プラットホーム高さ：1.3 m）にて、4 tトラック（種類：アルミバン、荷台高さ：1.0 m）に荷の積み込みを終え、荷台後方でテールゲートを閉める作業中に、荷台とプラットホームの高さ調整のために後輪下に設置していた台木（高さ：15 cm）から後輪が落下したためトラックが後進し、トラックとプラットホームとの間に挟まれたもの。	40301	7	30～ 49
2020	10	10 ～ 12	事業場内で、脱着装置付きコンテナ車（大型トラック）にコンテナ（荷台）を架装するため、車体に装着されたアームのフックにコンテナを引っ掛けてトラックの車体に引き上げ架装していたところ、フックが外れてコンテナがずり落ち、後方を通りかかった被災者に激突した	150102	4	10～ 29

2020	10	12 ～ 14	最大積載量16800kgのミルクタンクトレーラーに生乳を積載して輸送中、横断道路の交差点に右折進入したところ、曲がりきれず、道路左側の防護壁に衝突し、約10m下の県道にミルクタンクトレーラーとともに転落したものの。	50209	17	30～ 49
2020	10	8 ～ 10	ゴミステーション内にある一般家庭ゴミを収集するため、塵芥車を傾斜がある道路上に止め同僚と収集作業を行っていたところ、塵芥車が後方に動き出し被災者が車両の下敷きとなったもの。	150102	17	10～ 29
2020	10	14 ～ 16	被災者は製品配達のためトラックを運転中、路肩に停車していた大型トラックに衝突した。	10503	17	30～ 49
2020	10	12 ～ 14	高速道路上で、加害者の運転するトラックが集中工事のための渋滞で停車していた被災者の運転するトラックに衝突し、その勢いで被災者のトラックがさらにその前方に停車していた大型トラックに追突したものの。	80109	17	1～9
2020	10	12 ～ 14	3KLタンクローリー車を運転して重油等を配送した後、事業場が賃借している駐車場（ガレージ）に駐車して何らかの作業を行っていた被災者が、当該タンクローリー車の後方車体部と、駐車場前面の山道を挟んだ山林の法面との間で挟まれている状態で発見されたもの。	80109	6	1～9
2020	10	10 ～ 12	被災者は、肥料用タンクローリー（ポテトジュースと呼ばれる肥料となる澱粉の搾り汁を積載）を運転し、近隣農家の畑に肥料をまく作業に従事していた。タンクローリーが踏切を横断しようとしていたところ、快速列車（一両編成）と助手席側から衝突したものの。被災者は搬送先の病院で3日後に死亡した。なお、列車の運転手に怪我はなく、その他、乗客1名が軽傷を負った。	10109	17	50～ 99
2020	10	14 ～ 16	切羽監視員である被災者が抗口から50メートルの付近のトンネル坑内を切羽に向かって歩行中、ズリ出しのため坑外からトンネル内に後退で進入してきた10トンダンプトラックに轢かれ被災したものの。坑内には、ズリ出しのためのベルトコンベアが設置されていたため、幅	30102	7	50～ 99

			が狭く安全通路は確保されていなかった。			
2020	10	12 ～ 14	被災者が碎石を積載した2トントラックを傾斜地に停車させ、運転席を離れたところ、無人の当該トラックが前進し始めたため、制止しようとして荷台に手を掛けたが振り落とされ、当該トラックの右後輪に轢かれたもの。	30201	7	1～9
2020	10	6 ～ 8	自動車道の夜間集中工事にて、下り線の車線規制解除するために、ラバーコーンをトラック荷台後方に付設した専用の搭乗設備に乗って回収していたところ、コーンを2つ回収したところで作業者が転落した。トラックは徐行しながら後進していたため、右後部タイヤ部分で轢かれたため死亡したもの。被災者はヘルメット着用していた。	170201	17	10～ 29
2020	10	4 ～ 6	被災者が3 tトラックにて建設資材（アスファルト合材2.9 t）を運搬していた際、トラックが歩道に乗り上げ、道路標識に衝突した。	30110	17	1～9
2020	10	12 ～ 14	クラッチが故障したトラックをレッカー車で移動させるため、被災者がトラックの前輪の下に角材を挟み込んでトラック前部を浮かせ、トラック下部にレッカー車のけん引装置を固定しようとしたところ、当該トラックが動き出し、トラック前部とレッカー車後部に頭部を挟まれ、死亡したもの。	11701	7	30～ 49
2020	11	18 ～ 20	被災者が運転していた4トントラックが、別事業場の労働者が運転していた10トントラックに追突された。	40301	17	10～ 29
2020	11	18 ～ 20	被災者は、当該事業場の駐車場において、トラックを駐車させ下車したが、トラックが後方に動き出したため、トラックの後方に回り止めようとしたが、止まらず、フェンスとトラックに挟まれた。	40301	6	100 ～ 299
2020	11	6 ～	工場（作業員2人のみで一つの事業場に該当しない分工場）内において、パッカー車から廃棄物（段ボール）を排出後、上げていたテールゲートを運転席で操作して下降中であった。被災者は離れた位置で同	150102	7	30～

		8	車とは関係のない作業をしていたが、下降が一時停止した間に同車に接近し、車体左側から、荷箱後端とテールゲートとの隙間に体を差し入れた時にテールゲートの下降が再開したためはさまれたもの。			49
2020	11	12 ～ 14	屋根補修工事において、被災者は、所属事業場から持参した屋根材の折板を、トラックの屋根にのぼり、高所作業車上の作業者に渡す作業をしていた。その際、トラックの屋根から転落し、死亡した。	30309	1	10～ 29
2020	11	14 ～ 16	工場建屋外で作業員がトラックからエンジンを取り外すため、ガス溶断機でプロペラシャフトを切断したところ、後輪のサイドブレーキが効いていない状況となり、トラックが後方傾斜地に流れたことから、それを止めようとした被災者が巻き込まれ、トラックの左後輪に轢かれたもの。	80109	7	1～9
2020	11	16 ～ 18	災害発生当日、被災者を含む3名の労働者は、工事現場の交通誘導業務に従事していた。業務を終了後、事業場事務所に移動していたところ、被災者が運転する軽トラックが法面に乗り上げて横転した。その後、軽トラックは電柱に追突し、被災者は電柱と軽トラックに挟まれた。	170201	17	30～ 49
2020	12	0 ～ 2	建設現場に資材を搬入するため、トラックに資材を積んで移動中に、高速道路上で交通事故にあったもの。	30201	17	10～ 29
2020	12	10 ～ 12	構内において、トラック後部の扉を開けようと、トラックに乗り込み前進しようとしたところ、車止めの取り忘れに気づき、エンジンを切らずにシフトをニュートラルにした状態で降車し、左前輪部の車止めを外したところ、輪部の路上が傾斜していたため動き出した。被災者は、トラックの前方にいたため、逸走したトラックに押され、前方に停車していた他車との間に挟まれて被災したもの。	40301	7	100 ～ 299
2020	12	12 ～	被災者は、道路工事現場で作業中、通行中の大型トラックに轢かれ死亡した。大型トラックは、道が狭いため後進で走行している最中、工事現場にさしかかったところで、大型トラックの後部で被災者を轢い	30199	17	1～9

		14	たもの。			
2020	12	16 ～ 18	被災者は、トラックで運び込んだ金属を現場に降ろした後、荷台の後ろ扉を閉める作業中に荷台端部分との間に頭部が挟まれ死亡したものの。	50101	7	10～ 29
2020	12	8 ～ 10	被災者は事業主、同僚とともに古紙の回収作業に従事していた。古紙を回収後、事業主が訪問先とは反対側の車線に自社保有のトラックを移動させ、被災者は同僚とともにトラックの後方付近で出発準備等を行っていたが、道路を横断しようとして走行車線へ飛び出したところ、走行していたトラックに轢かれたもの。	150109	17	1～9
2020	12	8 ～ 10	片側一車線の道路において、対向車線からはみ出してきた大型ダンプがトラックと正面衝突した後、トラックの後続車であったワンボックス車にも正面衝突し、ワンボックス車はそのまま側溝（深さ約1m）に転落したもの。ワンボックス車を運転していた労働者は死亡した。	170209	17	10～ 29
2020	12	10 ～ 12	被災者は、本社に出社し現任研修及び健康診断を受診した後、自転車で警備現場に向かっていたところ、左折するダンプカー（10t）に出合い頭で自転車ごと巻き込まれ、死亡したもの。	170209	17	100 ～ 299
2020	12	8 ～ 10	被災者は、ダンプトラックにて、建設現場で出た土砂を積んで走行中、道路左側の空き家に衝突し死亡したもの。	40301	17	1～9
2020	12	14 ～ 16	生コンクリートプラントにおいて、配送を終えたコンクリートミキサー車が場内の洗車場にてミキサー内の洗浄を行っていた。被災者は、コンクリートミキサー車が停止している前方に配置されている排水溝の清掃作業を実施していたところ、ミキサーの洗浄を終えた運転手が洗車場からコンクリートミキサー車を前進させたため、コンクリートミキサー車にひかれたもの。	10901	7	30～ 49
2020	12	8 ～	被災者は、トンネル工事現場の交通誘導員として入場し、所定の作業場所である出入口付近に移動中であつたところ、隧道内部より掘削し	170201	7	50～ 99



		10	た土砂の搬出作業により走行中のダンプと接触し被災したものの。			
2020	12	0 ～ 2	被災者はトラックで走行中、トンネル内において、工事のため1車線規制による渋滞中のところ、トンネル入口付近で最後尾の大型貨物自動車に追突したものの。	40301	17	1～9
2020	12	8 ～ 10	被災者は、製造中のトラックに部品取付を行っていたところ、作業空間を作るため約45度起こしていたトラックのアームが下降し、シャーシとの間にはさまれ死亡したものの。	11502	7	10～ 29
2020	12	2 ～ 4	大型トレーラー同士が正面衝突し、片方のトレーラーを運転していた被災者が腹部を強く打ち死亡したものの。	40301	17	10～ 29
2020	12	6 ～ 8	被災者は、タンクローリーを運転し、緩やかなカーブを登坂していたところ、対向車線を走行していた大型トレーラーの運転手が、凍結した路面にて滑り急ハンドルを切ったことで、被災者が運転していた車両の正面に衝突したものの。	40301	17	50～ 99
2020	12	10 ～ 12	被災者は、同僚が運転するトラックに乗車し、事業場へ向けて走行中、運転者が操作を誤り道路脇の支柱に激突したため、助手席に乗車していた被災者が死亡したものの。	30209	17	1～9
2020	12	14 ～ 16	被災者は、乳牛を運搬車の荷台から降ろそうとしたが、運搬車後部のスロープ入口で乳牛が立ち止まってしまったため、乳牛を前方から手綱で引っ張り、上司が後ろにまわって乳牛を押そうとしたところ、突然乳牛が前進し、バランスを崩した被災者が転倒し、地面で後頭部を打ったもの。被災者は、保護帽を着用していなかった。	70101	2	10～ 29
2020	12	8 ～ 10	工場敷地内の軽炭受け入れサイロ前において、被災者が単独で粉粒体運搬車にて石灰の荷降ろし作業中、車載タンク上部の作業台上（約3.3m）に設置されているマンホールの状態を確認していたところ、石灰が噴出してマンホールの蓋（直径約55cm）が吹き飛び、被災者が地上まで墜落し死亡したものの。	40301	6	10～ 29

2020	12	0 ～ 2	定期便の運行業務において、セミトレーラで高速道路を運行途中、高速道路を降り一般道を約1時間走行後、行き止まりの車両とほぼ同じ幅の道に入り込んだ後、その場所から脱出しようと車両を後退させたところ右後方をガードレールに接触、接触した場所を確認するため車両から降りた後、脇を流れる川に転落。車両停車位置の下流で発見。その場で死亡が確認されたもの。	40301	1	50～ 99
2020	12	14 ～ 16	被災者は、荷物が納められたロールボックスパレット（約400kg）をトラックのテールゲートリフトに移動させこれを下ろそうとしていたところ、ロールボックスパレットとともに転落した。高さは1メートル弱であった。	170209	1	50～ 99
2019	1	14 ～ 16	被災者が現場乗入口境界際の溝上で当該溝上のグレーチングの養生をしていたとき、合材を積んで待機していた10tダンプトラックが乗入口から歩道に出ようとしたところ、当該ダンプトラック左前にいた被災者を轢いた。被災者は緊急搬送されることなく即死であった。	30201	17	10～ 29
2019	1	20 ～ 22	建設現場からダンプトラックを運転して会社事務所に帰社途中、片側3車線の高速道路を走行中、前方車を追い越そうと車線変更し、追い抜いて第一走行車線に戻った直後、側壁に接触し、その弾みで右側の中央分離帯に衝突、助手席の同乗者がフロントガラスを破って車外に放り出され、全身を強く打ち死亡、ダンプトラックの運転者も負傷した。	30199	17	1～9
2019	1	0 ～ 2	被災者は2トントラックを運転中、国道において、前方で信号待ちをしていたタンクローリー（LPガスを積載）に追突し、運転席に挟まれた結果、救助されたが意識不明の重体で、翌日の午前に死亡が確認された。	40301	17	50～ 99
2019	1	0 ～ 2	片側1車線の道路を走行中、誤って対向車線にはみ出し、対向車と正面衝突したもの。対向車の運転手も重傷を負った。	40301	17	1～9
			被災者は、船内にコンテナを運ぶトレーラーの誘導係をしていたが、			

2019	1	2 ～ 4	運転者が運転していたトレーラーを誘導（後方）していたところ、当該トレーラーの荷と被災者の後方に設置していたコンテナの間に胸部を挟まれて、倒れていた。近くで足巻き作業を行っていた同僚と運転手が倒れていた被災者に気付いた。被災者と運転者は、別事業場の労働者。	50202	7	100 ～ 299
2019	1	8 ～ 10	ごみ収集車のホッパー内で塗装前作業の部品取外し等の作業中、運転席の横にいた同僚がホッパーを上昇させたため、内部の押し込み板が動き、被災者の首を挟み、被災したものの。	11502	7	10～ 29
2019	1	12 ～ 14	国道にて、工事現場に鉄板を搬送中であつたトレーラーが横転し、運転手が死亡したものの。	40301	17	10～ 29
2019	1	4 ～ 6	4トントラックを運転して県道を走行中、反対車線にはみ出したため、対向車の10トントラックに正面衝突した。	40301	17	30～ 49
2019	1	14 ～ 16	被災者は、4トントラックのエンジンの整備のため、トラックのキャビンを開け整備していたところ、当該キャビンが下がり、はさまれた。病院へ搬送後死亡した。	11701	7	1～9
2019	2	10 ～ 12	ダンプトラックで土砂を運搬中、道路左側の標識に衝突して横転。さらに横転したまま20メートル先の電柱に衝突して停車した。	40301	17	1～9
2019	2	8 ～ 10	被災者が、自らが保守管理する冷凍冷蔵車のオイル交換等のために自動車整備工場に同車両を持ち込み、自動車整備事業者によりオイル交換等が行われていた際、同車両後部側にうつぶせの状態で見られている被災者が発見されたものである。同車両の荷台床面の高さは1.43mであるが、発見時はジャッキアップされて、工場床面からの高さは1.93mであつた。現認者はいない。	40301	1	10～ 29
			被災者は、車輛運搬トレーラーを運転し、自動車の輸送業務を行っていた。被災者は自動車販売店近くの公道にトレーラーを停止し、積んでき			

2019	2	0 ～ 2	た車両を全て降ろし、降ろした車両の内1台をトレーラの荷台の二階部分（高さ約3m）に積み込んだ。同僚がトレーラの荷台の横で頭部から血を流して倒れている被災者を発見した。午前11時9分通報。通報から1時間半後に死亡が確認された。	40301	1	10～ 29
2019	2	6 ～ 8	公道を走行していたトラックが交差点付近の凍結した路面でスリップし、そのままコンビニエンスストアの駐車場に侵入し、駐車場でトラックにタイヤチェーンの装着作業を行っていた被災者に激突した。	40301	17	50～ 99
2019	2	8 ～ 10	中型トラックを運転して国道を走行していたところ、国道を反対方面に向かって走行中の大型トラックと正面衝突した。	40301	17	1～9
2019	2	8 ～ 10	自社の資材置場にて仮設トイレを、ダンプトラック荷台から降ろすため、トラッククレーン車のクレーンを用いて50cmほど吊り上げたところ、玉掛に使用していた繊維ロープが切れ、トイレがダンプ荷台に落ち、その衝撃によりダンプが揺れ、ダンプトラックのプロテクター上で玉掛を行っていた被災者は、バランスを崩し、運転席前方のアスファルト地面に頭から墜落した。	30106	1	10～ 29
2019	2	14 ～ 16	テレビ番組収録の作業下見のため、県道交差点を自転車で走行中、左側から走行してきたトラックに衝突されたもの。	110101	17	100 ～ 299
2019	2	14 ～ 16	新聞配達中、被災者運転のバイクが脇道から主道へ出たところ、走行中のトラックと衝突し、胸を強く打って死亡したもの。	80205	17	30～ 49
2019	3	14 ～ 16	畑の造成現場で出た木くずや杉枝等の廃材を片道20分程度離れた事業場資材置き場に2tダンプトラックで向かった被災者が帰ってこないことから同僚が確認しに向かったところ、同資材置き場から100m程度手前の農道から私道へ入るカーブの路肩の斜面約15m下にダンプトラックが転落し被災者が下敷きになっているのを確認した。被	30109	17	1～9

			災者は現場に到着した医師により死亡が確認されたもの。			
2019	3	4 ～ 6	交差点において被災者の運転するトラックが走行する乗用車の側面に衝突した。トラックはその弾みで電柱に衝突し横転、被災者は後頭部の脳挫傷により死亡した。	40301	17	1～9
2019	3	12 ～ 14	被災者は会社敷地内において、大型トレーラーの荷台に積んだ積荷のタイヤ片の積み方を整えるために、大型トレーラーの荷台に上がりあおりの上に乗って作業を行っていたところ、バランスを崩し頭から地面に墜落した。被災者はヘルメットの着用をしていなかった。	150102	1	1～9
2019	3	18 ～ 20	塵芥車の後方カメラ交換作業中、車体下のフレームに配線を取り付けようとしたところ、フレーム脇にあるエンジンから油圧発生器へ繋がる動力取り出し用シャフトに上半身の作業服が巻き込まれ窒息。	11701	7	10～ 29
2019	4	8 ～ 10	自動車道のインターチェンジから入った高架の車道の直下の約9メートル下の草地に墜落している被災者が発見されたもの。被災者は、取引先に石膏ボードを納入し、残りの石膏ボードを別の取引先に納入する予定であり、インターチェンジの入口近くの路側帯上（被災者が墜落した直上の道路上）に貨物自動車を止めていたもの。	40301	1	30～ 49
2019	4	14 ～ 16	被災者は2トントラックを運転し、木材を運んでいたところ、下り坂の緩い左カーブを曲がり切れず、路外にはみだし横転し、全身を強く打って死亡した。	60201	17	1～9
2019	4	4 ～ 6	県道の路肩に停車した大型トラック（ウイングボディ）のわきで、被災者があおりとガードレールに首を挟まれた状態で発見され、病院へ搬送されたが、搬送先の病院で死亡が確認されたもの。	40301	7	30～ 49
2019	4	14 ～ 16	学校のグラウンドで開催された交通安全教室において、歩行者が渋滞している道路（横断歩道ではない箇所）を横断した際にトラックにひかれるという場面（題目「トラックの死角によって起きる事故」）を再現中、トラックのバンパーにしがみついていたスタントマン（被災者）がバンパーから手を離れたため、地面に落ち、トラック右後輪に巻き込まれたもの。災害発生7時間後に、被災者は搬送先の病院で死	120109	7	1～9

			亡した。			
2019	4	4 ～ 6	被災者は、牛を積み込むために家畜車（最大積載量12.6t）を運転して、国道を走行していたところ、交差点で信号待ちをしていたトレーラーに追突したものの。	40301	17	10～ 29
2019	4	14 ～ 16	停車中のバキュームカーの後方で作業をしていた労働者が、後方から来た中型トラックに衝突され、バキュームカーとの間に挟まれ、病院に搬送されたが、約2時間後に死亡が確認されたもの。	150102	17	30～ 49
2019	5	16 ～ 18	トラック運転手が、駐車場でトラックの積み荷の荷崩れ確認を行っていたところ、トラック荷台のステップに掛けていた足が、荷台ウイングの開閉ボタンに当たり、荷台のウイングが閉まり、頸椎を挟まれた。	40301	7	10～ 29
2019	5	6 ～ 8	被災者は、会社から塩ビパイプを配送するため走行中に、トンネル南交差点の前で赤信号待ちのため停車していたトラックに衝突し、意識不明で病院に搬送された。後日搬送先の病院にて死亡した。	40301	17	10～ 29
2019	5	12 ～ 14	道路の災害復旧工事現場において伐木材の搬出作業時、道路傾斜部（坂道）の上部にダンプトラック（4トン積）を停止させドラグ・ショベル（クレーン仕様）による積込作業中、ドラグ・ショベルの運転席に乗り込もうとしていた被災者に向かって、無人のダンプトラックが坂道（勾配7.5度）を約5メートル下り後進してきたため、ドラグショベルとダンプトラック後方にはさまれた。	30106	7	10～ 29
2019	5	0 ～ 2	被災者は同僚が運転するトラックの助手席に乗り、自動車道の上り車線の走行車線を走行していたところ、何らかの原因により前方を走行中の大型トレーラーの後方に追突し、頭部などを強く打ち、同日外傷性ショックにより死亡したものの。	80209	17	1～9
2019	5	14 ～ 16	顧客先に向かうためトラックを運転して片側1車線の国道を走行中、中央線をはみ出し、対向車線を走行してきた大型トラックと正面衝突したものの。	10109	17	1～9

2019	5	10 ～ 12	被災者は、建設現場内で使用する重機に給油を行うため、給油車に乗り単独で軽油の配達業務に従事していたが、その際に一般国道から建設現場へ通じる仮設道（幅約3.3m）を後進中に道路脇の斜面下（高さ約1.6m）に車ごと転落したものの。	80204	1	1～9
2019	5	14 ～ 16	片側1車線（制限速度60km）の道路上において、交通誘導員1人を配置し、被災者は高所作業車を使い、道路脇の歩道から作業装置を車道に向け、路側帯上の高さ5.7mにある敷設した光通信線を高さ約4.3mのバケット上で車道上の左端にまたがり架設作業を行っていたところ、車道内を直進してきた空荷の海上コンテナを積載した大型トレーラー（車高約4m）のコンテナ隅と先端ブームが接触し投げ出され、脳挫傷で死亡した。	30301	17	10～ 29
2019	5	6 ～ 8	被災者が、ごみ収集車を被災場所に停車させ、廃棄段ボールの収集作業を行っていたところ、ごみ収集車が後進方向に逸走し、建物の壁とごみ収集車にはさまれたもの。その後、入院していた病院にて誤飲性肺炎により死亡した。	150103	7	1～9
2019	5	14 ～ 16	新聞配達のためミニバイクで住宅街の見通しが悪く信号の無い交差点を通過するときにトラックと出会い頭に衝突し、頭部を負傷した。病院へ搬送されたが死亡した。	80205	17	10～ 29
2019	5	12 ～ 14	荷積先の事業場において、荷積先の作業者が10トントラックの荷台にアルミニウムの切り粉をフォークリフトで積込み、ドラグ・ショベルでならず作業を行っていたところ、トラックの運転者がトラックの荷台上で切り粉に埋もれた状態で発見された。	40301	1	10～ 29
2019	5	10 ～ 12	資材調達のためにダンプトラック（最大積載量2トン）を運転していた被災者がセンターラインをはみ出し、対向車線を走行中のトラッククレーンと正面衝突したものの。	30106	17	50～ 99
2019	6	12 ～ 14	被災者がトラックの荷台に土砂を載せて公道を走行中に路肩から転落した。	40301	17	1～9

2019	6	6 ～ 8	被災者は、事業場の現場事務所から事務所まで、朝礼に出席するため、高速道路を利用していたところ、対向車に激突し、死亡したものの。	150109	17	10～ 29
2019	6	0 ～ 2	自動車道上にて被災者の運転していたトラックが前方で横転していたトラックに衝突したものの。	40301	17	30～ 49
2019	6	12 ～ 14	4 tトラックを運転し集荷のため走行中、道路補修工事現場に止められていた工事用車両に追突し、搬送先の病院で死亡した。また、トラックが追突して押し出された工事用車両により、工事現場の作業員2名が負傷した。	40301	17	1～9
2019	6	0 ～ 2	労働者1名がトラック（最大積載量14トン）を運転し、荷を搬送中、自動車道トンネル手前で、中央分離帯に接触し、反動でトンネル入口付近のコンクリート壁に激突し、死亡したものである。なお、トラックは同乗者が1名おり、負傷したが、労働者ではなかった。	40301	17	10～ 29
2019	6	4 ～ 6	タンクローリーにて液糖を運搬中、高速道路側壁に激突・横転した。	40301	17	10～ 29
2019	6	20 ～ 22	出張先においてトラック（最大積載荷重2.1トン）の荷台後方から墜落して頭部を強打し、救急搬送され入院したが、16日後に死亡した。なお、保護帽は着用していなかった。	40301	1	1～9
2019	6	10 ～ 12	河川の護岸工事現場において、被災者が運転する貨物自動車（ダンプトラック）（3 t）に積まれた砂利を降ろすため、車両系建設機械（ドラグ・ショベル）の前に貨物自動車を停車させ、車両系建設機械に乗り換えようと貨物自動車を降り、貨物自動車と車両系建設機械の間を通行した際、無人の貨物自動車が後退し、貨物自動車と車両系建設機械の間に挟まれたもの。	30107	6	1～9
			自社倉庫敷地内において、トラック（最大積載量7.5トン）に荷			



2019	6	14 ～ 16	(石膏ボード)を積んだ後、シート掛けのために、被災者ともう1名で荷の上ののって作業していたが、荷台前部へ移動中、荷の間隙間(約20センチメートル)に足を取られた結果、バランスを崩して2.67メートル下の地面に墜落し、頭部挫傷により約8時間後に死亡したもの。作業時、被災者とその同僚も保護帽を着用していなかったもの。	40301	1	10～ 29
2019	7	2 ～ 4	被災者が運転する大型トラックほか複数台の車両が衝突、接触する交通事故が高速道路で発生したもの。上記事故現場で倒れていた被災者の死亡が確認された。	40301	17	50～ 99
2019	7	6 ～ 8	貨物自動車で市道を走行中、走行車線の左側縁石に接触し、右側に弾んで対向車線の貨物自動車と正面衝突し、左側に弾んで走行車線の左側縁石に再び接触し、右側に弾んで対向車線の貨物自動車(最初に衝突した貨物自動車の後ろを走っていた)の右側に衝突し、運転者が死亡した。	40301	17	10～ 29
2019	7	6 ～ 8	市道の交差点付近において、被災者が港に帰るために東に向かってトレーラーを運転していたところ、対向車線を走行していたトレーラーが側壁に接触した拍子に対向車線にはみ出したため、トレーラー同士が正面衝突した。	40309	17	30～ 49
2019	7	10 ～ 12	解体工事現場において、被災者が解体作業中にバックで移動してきた廃材搬出用の4tトラックに轢かれ死亡したもの。	30209	7	1～9
2019	7	14 ～ 16	港内のフェリー乗り場駐車場において、駐車場に置かれていた中古車の輸送のために進入していたカーキャリア(全長16.8m)が、後進していたところ、フェリー乗船車両(トラック)の誘導員を轢いたもの。	170209	7	30～ 49
2019	7	10 ～	市道(傾斜路)において、被災者と同僚3名で法面の除草作業を行っていた。その際、刈り取った草を被災者がパッカー車に積み込むため運搬していたところ、何らかの原因で停車していたパッカー車が動き	30199	7	1～9

		12	出し、当該パッカー車に被災者がひかれて死亡したものである。			
2019	7	12 ～ 14	被災労働者が店舗の駐車場で荷受けのために待機していたところ、後退してきたトラックの運転手がペダル操作を誤り、トラックが後退して壁に激突した。被災労働者はトラックと壁との間に挟まれ、外傷性脳障害により死亡した。	80109	6	1～9
2019	7	10 ～ 12	ミニバイクで優先道路を走行中、信号機のない交差点において、一時停止を無視した7トントラックと衝突し、頭部を強打したもの。	90101	17	10～ 29
2019	7	6 ～ 8	荷配送のため4 tトラック（平ボディータイプ）を運転し、配送先付近のコンビニエンスストアに駐車し、買い物をした後に、あおりを下げて荷台の積み荷を確認した際、約1. 1 m下のアスファルト舗装面に、頭部より墜落したもの。災害発生後、入院治療を受けていたが、2か月半後に死亡したもの。	40301	1	10～ 29
2019	7	16 ～ 18	事業場に最大積載量13トンのトラックで鋼製の型枠材を運送する途中、駐車場に停車した際に、あおりを開いて積荷の再荷締または増締を行っていたところ、高さ約1. 5メートルの荷台から転落し頭部および全身を強打した。その後、病院に搬送されたが、3日後に死亡した。転落時、被災者は保護帽を着用していなかった。	40301	1	10～ 29
2019	7	20 ～ 22	トンネル内で社用車が故障して本線で停車した際、大型トラックに追突され、車の助手席に座っていた労働者が死亡した。被災者らは、日帰り出張した帰りで、社用車には2名が乗車。当初は被災者が運転していたが、停車後に運転を交代するために助手席に移動していた。同乗者は追突時に車外へ出ておりけがはなかった。	10102	17	10～ 29
2019	7	2 ～ 4	夜間作業の道路舗装工事に使用する合材をダンプトラック（10 t）で建設工事現場まで3回ほど運搬し、運搬作業終了後、自社に帰るため、災害発生現場の県道を走行中、進行方向左側の花壇に接触した後、右側の民家のブロック塀に衝突した。（推定）ダンプトラックを	40301	17	10～ 29

			運転していた被災者は、外傷性ショック等により死亡した。			
2019	7	10 ～ 12	コンクリートミキサー車の生コン投入口（ホッパ）からの墜落。被災者は、ホッパからドラム内に入りドラム内面に付着したコンクリートを研った。被災者は、当該作業を終え、ホッパから出ようとしていて、ホッパから上半身を出した状態であったところ、突然痙攣を起こしてのけ反り、のけ反った姿勢が故に自身の重心位置がホッパ外になってしまい、ホッパから3.08メートル下のスロープに墜落した。	10901	1	10～ 29
2019	7	6 ～ 8	ダンプトラックで走行中、道路右側のガードレールを突き破り約10メートル下に転落。その後、医療機関に搬送されたが、後日死亡した。	20202	17	1～9
2019	7	8 ～ 10	被災者は、着工予定の現場の見積もりを行うため、会社所有のトラックを被災者自身が運転して高速道路を走行していた。その途中、被災者が運転するトラックが道路の左側にはみ出し、法面に乗り上げた後、橋脚に衝突した。被災者は、病院に搬送されるも全身を強く打ち、およそ2時間後に死亡が確認された。	30201	17	1～9
2019	8	0 ～ 2	会社で点呼後、10tトラックを運転し、荷（空ドラム缶）配送先に向けて出発したが、災害発生場所のバイパス出口において、分岐部のクッションドラムや標識柱に接触、横転し、胸部等を強打して死亡した。	40301	17	1～9
2019	8	16 ～ 18	被災者（トラック運転手）は、自社倉庫内で荷役作業員ら2名と荷卸し作業を行っていた。荷卸し後、荷台に翌日使用するパレットを積み終え、荷役作業員らがフォークリフトを片付け戻ってくると、被災者が荷台後方の地上で仰向けに倒れていた。荷台の高さは約1m。被災者が直前まで着用していたヘルメットは脱いで助手席に置かれており、荷台にはラッシングベルトが一部付けられた状態であった。災害から約1か月後に死亡した。	40301	1	1～9
		16				

2019	8	～ 18	被災者は車を運転中、対向車線側の路外へ逸脱して死亡した。	70101	17	10～ 29
2019	8	10 ～ 12	被災者は、駐車場にてセミコンテナトレーラーのボディをコンテナを積載しているシャーシーに接続した後、接地しているシャーシーを切り離すハンドルを操作した。操作後、サイドブレーキが引かれていなかったセミコンテナトレーラーは自走を始めた。運転席に乗りこもうとしたところ、隣のコンテナとセミコンテナトレーラーとの間に挟まれたもの。	40301	7	10～ 29
2019	8	8 ～ 10	民家の敷地内において、労働者が仕出し配達業務中に、同社所有の小型貨物自動車の下に倒れている状態で発見され、2時間後、搬送先病院で死亡したもの。	140201	7	1～9
2019	8	6 ～ 8	トラックを運転中、赤信号で止まっていたトラックに追突した。	40301	17	10～ 29
2019	8	10 ～ 12	被災者が7トン冷蔵用トラックを運転中、中央分離帯を乗り越え、横転して対向車線の軽ワゴン車と軽自動車を巻き込み、ガードレールに衝突したもの。	40301	17	10～ 29
2019	9	0 ～ 2	道路（片側2車線道路の左側）をトラックで走行中、左ガードレールに接触し側道にそれ、道路沿いにある店舗入り口付近に衝突し、外傷性出血性ショックにより死亡したもの。	40301	17	10～ 29
2019	9	8 ～ 10	市道を走行中にトラック前輪のバーストにより、運転が制御できなくなり、乗用車5台と歩行者に接触した。接触した結果、道路沿いの石屋川にガードレールを突き破って転落した。	40301	17	10～ 29
2019	9	8 ～ 10	車道のマンホールを開けて行う工事のため、片側交互通行で工事を行っていたところ、走行中のタンクローリーが停車していたトラックに衝突し、トラックが押し出され、マンホールの中のケーブルの張替作業を行っていた労働者に衝突した。被災者は全身を打ち死亡した。	30301	17	1～9

2019	9	10 ～ 12	線路（上り線側）沿いの一方通行の市道を走行してきた大型トラック（13.2 t）が、市道から踏切を右折しようとして切り返し、踏切内で立ち往生している際、列車がトラック側面に衝突し、トラックは大破炎上、列車は先頭車両等が脱線した。この衝突で、トラックを運転していた労働者が車外に放出され死亡、列車の運転士及び車掌が負傷した。また、当該列車の乗客30名が負傷した。	40301	17	1～9
2019	9	22 ～ 24	路面補修工事において、廃材を運搬する大型ダンプを誘導中、バックしてきた大型ダンプに轢かれ死亡したもの。	170201	7	30～ 49
2019	9	10 ～ 12	被災者は、伐採現場で造材が終了した丸太を7 km離れた集積場所まで運搬するため、最大積載量9.3 tの車両積載型トラッククレーンに長さ4 mの丸太約60本を積載し、幅員3.5 mの林道を走行していたところ、コンクリート舗装してある林道の路肩が崩壊（長さ3.5 m、幅最大68 cm）し、車両とともに崖下に転落した。被災者は、林道から約20 m下の崖に蹲っているところを発見され、救急搬送されたが搬送先で死亡した。	60201	1	10～ 29
2019	9	10 ～ 12	被災者は、自動車道トンネル内を2 tトラックで走行中、運転操作を誤り、センターラインをはみ出してしまい、13 tトラックと正面衝突したもの。被災者は、病院に搬送されたが、搬送先で死亡したものの。	10602	17	10～ 29
2019	9	14 ～ 16	散水車を使用して散水作業を行おうとしていた被災者と連絡が取れないため、別の作業を行っていた同僚が被災者を捜索したところ、開いた状態の散水車の運転席のドアと、散水タンクへ給水するためのホースを支持する鋼製支柱との間に胸部がはさまれた状態の被災者を発見した。	20201	7	10～ 29
2019	9	20 ～ 22	被災者が構内で、低速で走行してきたトラックの前輪にひかれ、2～3 mひきずられたもの。病院に搬送されたが翌日に死亡したもの。	40301	7	100 ～ 299

2019	9	12 ～ 14	国道をトラックで走行中、渋滞中の最後尾のトレーラーに追突し、その勢いで3台の玉突き事故となり、被災者は胸部を圧迫され、同日死亡したもの。	40301	17	30～ 49
2019	9	0 ～ 2	被災者がタンクローリーにて道路を運転中、カーブを曲がり切れずに道路左側のコンクリートの擁壁に衝突したもの。	40301	17	10～ 29
2019	9	8 ～ 10	林道の改良工事現場において、土砂を運搬していたダンプトラック（最大積載量2トン）が、林道の路肩から約12m下へ転落した。	30106	1	10～ 29
2019	9	2 ～ 4	自動車道上り線で、A社のトラックがパンクのため停車していたところ、B社のトラックが追突し、さらに、そこへ被災者が運転するC社のトラックが追突したもの。被災者は頭を強く打って死亡した。他2台の運転手のうち、A社の運転手に怪我はなく、B社の運転手は軽傷を負った。	40301	17	10～ 29
2019	9	10 ～ 12	高速道路の道路工事の交通誘導業務に就いていた被災者は、当該工事が終了したため、交通規制の撤去作業を行っていたところ、走行してきたトラックと接触し、規制車両との間に挟まれたもの。	170201	17	10～ 29
2019	9	22 ～ 24	被災者は車道の左側車線側のマンホールを開けて清掃作業を行っていたところ、被災者の後方にあった作業車に20トンダンプが追突。その衝撃で被災者は玉突き状に後方作業車に巻き込まれて死亡したもの。	150109	17	10～ 29
2019	9	14 ～ 16	被災者が運転する2tトラックが、料金所を通過後、本線に入る手前のカーブで横転し、中央分離帯のガードレールに衝突すると同時に対抗車線の軽トラックにも接触した。被災者は全身を強く打ち死亡したもの。	60101	17	1～9
2019	10	2 ～	中型トラックで高速道路を走行中、パーキングエリアに入るため流入路に進入したところで流入路の右側に停車していた大型トラックに追突し、追突された大型トラックがさらに前方に停車していたセミト	40301	17	50～ 99

		4	トレーラーに追突した。			
2019	10	14 ～ 16	被災者はトレーラーを運転し片側1車線の道路を走行していたところ、左カーブを曲がり切れず対向車線にはみ出して横転し、対向してきた大型トラックと正面衝突した。被災者は頭を強く打ち死亡し、大型トラックの運転手は右足骨折の重傷を負った。	40301	17	10～ 29
2019	10	6 ～ 8	高速を走行中に2tトラックの右前輪がバーストした。片側2車線の左端に停車し下車した運転手は、トラックの前に立ちタイヤの状況確認を上司宛に電話していたところ、後方より4tトラックが追突した。追突された2tトラックに押し出されて後方へ転倒した運転手は、2tトラックの下敷きとなり、入院治療を行っていたが、後日脳挫傷により死亡した。	80109	17	100 ～ 299
2019	10	4 ～ 6	被災者は、最大積載量13.8tの貨物自動車を用い、貨物を運送していたところ、自動車道下り線において、前方で横転したトレーラーに衝突し、死亡した。玉突き事故にはならなかったが、被災者の隣からトレーラーに衝突した中型トラックの運転手も死亡し、トレーラーの運転手は軽傷を負った。	40301	17	50～ 99
2019	10	4 ～ 6	貨物自動車で自動車道下り線の追い越し車線を走行中、前方で横転・停止していたトレーラーに衝突し、右側に弾んで追い越し車線の右側に接触した後、今度は左側に弾んで走行車線の左側に衝突して停止し、貨物自動車の運転者が死亡した。（なお、被災者の1台前を走行していた別の貨物自動車についても、同様にトレーラーに衝突して、運転者が死亡した。）	40301	17	50～ 99
2019	10	10 ～ 12	マンションのごみ集積場所付近の路上に機械式ごみ収集車を停めて、テールゲートの回転板を連続運転させながら、プラスチックごみの回収作業を実施していたところ、テールゲートホッパー内に身体の一部が入り込み、頭部から回転板に巻き込まれ死亡したもの。	150102	7	10～ 29
			配送先の倉庫にて、従業員が帰宅するためトラックヤードの近くを通			

2019	10	16 ～ 18	りかかったところ、停車しているトラックの後ろに人の腕だけが見えた。不審に思い事務所に戻り、その旨を報告し、建物側から確認したところ、トラックの荷台とバース端のクッション材に挟まれている被災者を発見したものの。	40301	7	100 ～ 299
2019	10	16 ～ 18	管理しているゴルフ場の敷地内道路脇が土砂崩壊し、その復旧作業を行っていた。坂道の途中にタンク車を停車させ、道路上の土砂を水洗していたところ、タンク車が逸走し、タンク車のホース先端で作業していた被災者がタンク車とともに道路脇の崖下に転落したものの。タンク車を停車させた坂道は約7度の勾配があり、当該タンク車を停車させてから約5分後に災害が発生している。	140301	1	10～ 29
2019	10	8 ～ 10	被災者は、現場で作業員が使用するために軽トラックの荷台の上に設置された簡易トイレを使用した後、荷台から地面に墜落し、後頭部を強打した。その後、病院に搬送され、手術が行われたが、同日午後死亡した。被災者は、軽トラックの荷台から降りようとして、何らかの要因により体勢を崩して墜落したと推測される。	30106	1	1～9
2019	10	8 ～ 10	配送先において、最大積載量28.4tのトレーラーの荷台上で荷に掛けられたシートを畳む等の荷下ろし準備作業を行っていたところ、高さ148cmの荷台上から墜落したものの。	40301	1	10～ 29
2019	10	12 ～ 14	トラック（4トン、箱車）を運転して、ホテル等で回収したリネン類を一時保管庫に運んでいた被災者が、工事による片側通行のために停車していた大型トラックに追突したものの。	11703	17	100 ～ 299
2019	10	10 ～ 12	配送先から事業場へ帰る途中、高速道路下り線の追い越し車線に停車していた大型トラックと衝突した。	40301	17	50～ 99
2019	10	14 ～ 16	採石場において、被災者は、超大型ダンプカーの荷台に乗せた砂利を採石場に併設されたストック場に荷下ろしするため、ストック場の荷下ろし場所までの通路をダンプカーでバック進入した際、通路の路肩部分が崩壊し、ダンプカーとともに高さ約7mのがけ下まで転落し死	20201	5	1～9



			亡したものの。			
2019	11	16 ～ 18	港の駐車場において、タンクローリー（4 t 車）のエンジンをかけ、ギアチェンジしたところ、ギアの状態に不具合が認められたため、運転席から離れて、当該車両の下にもぐり込み、ハンマーでギアボックスを叩いたところ、車両が動き出し、車両の下にいた被災者が轢かれ、死亡した。	80204	7	1～9
2019	11	2 ～ 4	被災者が、トラック（最大積載量3トン）を運転して商品を配送するために高速道路を走行中、故障により路肩に停車していた大型トラックの後部右脇に衝突し、トラックが横転した。	40301	17	30～ 49
2019	11	8 ～ 10	前日までに工事が完了し、現場で使用したドラグ・ショベル等を回送車で運搬する作業を被災者一人で行っていた。現場付近を通行しようとした車両の運転手が、荷台がジャッキアップされてドラグショベルに乗せた状態の回送車と道路脇の法面下に倒れている被災者を発見したもの。その後、病院で死亡が確認された。	30107	1	10～ 29
2019	11	10 ～ 12	収集作業員として、パッカー車の助手席に同乗していたところ、同車が緩やかな下り坂で右カーブした際、助手席のドアが開き、路上に落下して頭部を強打した。直後から意識不明の状態が続いていたが、後日死亡した。	150103	17	1～9
2019	11	2 ～ 4	被災者が、配送先にて、駐車場にトラックを停車させ、店内へ荷物を配送するためトラックの荷台から降りようとしたところ、車両ステップを踏み外し、墜落したものである。なお、保護帽は着用していなかった。被災者は災害発生8日後に死亡した。	40301	1	1～9
2019	11	22 ～ 24	通路へ左折合流（信号のないT字路）しようとした被災者運転のトレーラーが、中央通路を直進してきたトレーラーの左側面に衝突。被災者車両の運転台右側が激しく損傷、ドアがめくれ上がった拍子に、被災者が運転席から道路へ転落、無人走行中の自転車のタイヤに轢かれ死亡。被災者車両はコンテナの運搬中、直進車は空のトレーラーの牽引中であった。	50202	17	100 ～ 299

2019	11	10 ～ 12	一般家庭ごみ（可燃物）の収集運搬で塵芥車（パッカー車）を被災者が運転して移動中、トンネル内の縁石やガードパイプ、壁などに衝突した（単独事故）。運転手の被災者は病院に搬送されたが、翌日の午後多発外傷が原因で出血性ショックにより死亡した。トンネルは全長350m、幅9m、高さ6.5m。片側一車線で見通しのよい直線だった。	150103	17	50～ 99
2019	11	8 ～ 10	事業場の廃材置き場において、廃材を積み込んだ4トントラックの荷台にシートをかけるよう指示を受けた労働者が、トラック運転席横で倒れている状態で発見された。	150102	1	1～9
2019	11	8 ～ 10	被災者は、警備先の埠頭の出入りゲートに詰める警備員。ゲートから出る車には、右折禁止・左折のみ可と指示しているが、右折しようとする大型キャリアカーの社名入りの5台以上積載型（空荷）を見て、制止のためゲートを出て、手を振りながら、当該車両に左後方から接近したところ、突然左折した当該車両の左側方に巻き込まれて引きずられ、全身打撲で死亡した。	170201	17	30～ 49
2019	11	8 ～ 10	自動車道下り線片側2車線のうち、1車線（追越車線）を規制し、植栽・ガードレールのメンテナンス作業を行っていたところ、カラーコーンで区切られた規制範囲内に進入したトラックに被災者がはねられたもの。被災者は病院に搬送されたが死亡が確認された。	30199	17	100 ～ 299
2019	11	10 ～ 12	被災者がトラックに乗り、高速道路を運転していたところ、渋滞していた最後尾の車両に追突し、被災者が死亡したもの。	40301	17	30～ 49
2019	11	12 ～ 14	交通信号制御機点検業務の点検写真撮影を行うため、交差点の横断歩道を歩行中、交差点に右折して進入してきた大型トラックと接触し死亡したもの。歩行者、トラックともに青信号で交差点に進入したものである。	30309	17	10～ 29
		8	被災者が4tダンプカーを運転していたところ、橋の欄干に追突し、			

2019	11	～ 10	ダンプカーごと橋から転落し死亡した。	30199	17	1～9
2019	11	～ 10	倉庫にて、1人で飼料運搬車に飼料を積み込む作業を行っていた被災者が同運搬車付近で倒れているところを発見されたもの。フォークリフトで、同運搬車の飼料タンク上まで吊り上げられた飼料用バッグは下部の投下口が開いていて空だった。また、同タンクは満杯で上部の蓋は開いていた。被災者は、保護帽、安全带ともに未着用であった。	40301	1	10～ 29
2019	11	～ 10	1人で貨物自動車を運転して廃棄物の集積作業をしていた被災者が、病院棟地下1階の置場から廃棄物を回収する際、そこにいた工事車両の搬出を待つため付近の坂の傾斜10度の地点に貨物自動車を停車させたが、ギヤをニュートラルとし、サイドブレーキを完全に引かなかったため、降車後、貨物自動車が逸走し始め、それを咄嗟に止めようとして進行方向に立ちはだかり胴体を左前輪で轢かれ死亡した。	150102	7	100 ～ 299
2019	12	～ 12	被災者は、規制されていない道路上において、道路脇の現場を写真撮影中、道路上を後退で走行してきた貨物自動車（4トンダンプ）に轢かれ、被災9日後に死亡した。なお、貨物自動車は、作業位置（A）から後方約100メートル離れた作業位置（B）へ移動するために後退したもの。	30106	17	30～ 49
2019	12	～ 16	住宅ガレージの解体工事現場で発生した残材を搬出するため、現場から4トントラックに残材を積み込んで自社の資材置場に運転して、ガードレールに衝突し、のり面に転落している状態のトラック車内で発見された。	30209	17	1～9
2019	12	～ 12	被災者が、木造家屋建設工事現場にミキサー車を停車し、当該現場において、基礎コンクリートの打設作業が行われていた。打設作業終了後、被災者がミキサー車を停車位置から4m程前進させ、エンジンを停止させず、サイドブレーキも使用しない状態で運転席を離脱したところ、後方にミキサー車が逸走した。逸走に気づいた被災者が、ミキサー車後方から人力で押し返そうとしたが、ミキサー車とポンプ車に	10901	7	10～ 29

			はさまれた。			
2019	12	14 ～ 16	整備が終了したトレーラにトラクタを連結するにあたり、整備工場の運転手がトラクタに乗り込み、後進させトレーラに近づいた際、トラクタ左後方にいた整備員である被災者に接触した。接触したことにより被災者は転倒したが、転倒したことに気付かなかった運転手がさらにトラクタを後進させたため、被災者がトラクタの左後方車輪に轢かれたもの。被災者は骨盤骨折による出血性ショックで死亡した。	40301	6	30～ 49
2019	12	22 ～ 24	4トントラックを運転し、客先に向かうため県道走行中、何らかの理由により中央分離帯に接触後対向車線を通り抜け、店舗の看板のポールに激突し、出血性ショックにより死亡した。	40301	17	50～ 99
2019	12	2 ～ 4	下水道管工事現場にトラックが突っ込み、警備員2名（うち1名死亡）がはねられ、さらに停止していた工事車両に追突し、当該車両の付近にいた作業員4名（うち1名死亡）と警備員1名も巻き込まれたもの。	170201	6	100 ～ 299
2019	12	2 ～ 4	下水道管工事現場にトラックが突っ込み、警備員2名（うち1名死亡）がはねられ、さらに停止していた工事車両に追突し、当該車両の付近にいた作業員4名（うち1名死亡）と警備員1名も巻き込まれたもの。	30110	6	10～ 29
2019	12	10 ～ 12	会社の敷地において、被災者が積載荷重30480kgのトレーラーにチップを積み込みシート掛けを行っていたところ、トレーラーの荷台から363cm下の地面に墜落したものと推定される。なお被災者は一人で作業を行っており当該作業を現認した者はいない。	40301	1	1～9
2018	1	10 ～ 11	林業の伐採現場の伐倒した木材を集積している場所から、約450m下の土場へ被災者が運転する4tトラックで木材を運搬中、土場の約30m上で4tトラックを反転させ、幅員3.5mの林道をバックで土場へ向かっていたところ、約6m下の斜面に4tトラックとともに転落したもの。	60201	1	1～9
			運輸支店敷地内において、荷主事業場より集荷した荷物の搬入を行う			

2018	1	20 ～ 21	ため、大型トラック（最大積載量9.6 t（以下、「トラック」という。））を、荷卸し場（以下、「プラットホーム」という。）に着けようとして後退させたところ、プラットホームの下にいた被災者が、トラック荷台後部とプラットホームの間に胸部を挟まれた。	40301	7	50～ 99
2018	1	0 ～ 1	被災者は、事業場へ荷物を運ぶため、所属事業場の車庫を出発したが、高速道路で前方を走行していた大型トラックの後方に追突した。なお、追突されたトラックの運転手に負傷なし。	40301	17	10～ 29
2018	1	12 ～ 13	トラックの荷台（高さ約1 m）から荷卸し作業中に、トラック荷台内にあったラッシングベルトに足を引っ掛け、地面に頭から転落したものと推測される。保護帽は着用していなかった。	40301	1	10～ 29
2018	1	16 ～ 17	事業場敷地内において、パワーゲート付きトラックから塵芥車にゴミを移し替える作業を行うため、塵芥車の後部とトラックの後部を向い合せにし、塵芥車の回転板を回転させた。その直後、被災者がパワーゲート上で足を滑らせ、塵芥車の投入口に上半身が落ちたところに回転盤が降りてきたため、頭部を挟まれて死亡した。	150103	7	10～ 29
2018	2	8 ～ 9	被災者は雪堆積場の出口で退場するダンプトラックの交通誘導の業務を行っていたところ、道道から右折して当該雪堆積場に入ろうとしていたダンプトラックが、対向してきた乗用車に衝突し、その反動で当該乗用車が被災者の立っていた場所に突っ込み、被災者が撥ねられて死亡した。なお、衝突された乗用車の運転手は出勤途中であり、軽傷を負った。また、ダンプトラックの運転手には怪我はなかった。	170201	17	30～ 49
2018	2	8 ～ 9	顧客より依頼のあった玄関戸の建付け修理作業を終えた被災者が、自分が運転していた軽トラックを県道上に停車していたところ、後方から時速60キロで走行してきた2トントラックに追突され、軽トラックごと県道脇の法面を転落して死亡したものである。	80209	17	1～9
2018	2	10 ～	建設途中のトンネル坑内（幅員10 m）において、坑口より約46 mの地点で、ずりの積み込みのためバックで切羽方向に進んでいた10 t ダンプトラックに、ずり出し作業員ではない労働者が立ち入り轢か	30102	7	10～ 29

		11	れ、搬送先の病院で死亡したもの。			
2018	2	10 ～ 11	本社敷地内で、4トントラックで金属製品を工場建屋内に搬入するため、運転席側のドアを開けて後方確認をしながら後退したところ、工場出入り口の壁とトラックとの間に上半身を挟まれ、死亡したもの。	170101	7	30～ 49
2018	2	0 ～ 1	駐車場において、15tトラック（低床ウイング車）キャビン側のコンクリートの地面に倒れていた被災者が、出勤した別労働者に発見された。発見時に意識・呼吸等なしであった。被災者は、配送業務を終えて事務所にて帰庫の報告を済ませた後、第5駐車場に移動し、トラックキャビンの清掃作業を行っていたところ、トラックキャビンの屋根上から地面に墜落し、頭部打撲して死亡したものと推定される。	40301	1	100 ～ 299
2018	2	10 ～ 11	他の業者の工区から盛土材を運搬してきた10tダンプを誘導していたところ、被災者の背面から現場内の盛土材を運搬していた4tダンプが後進してきて、当該ダンプに轢かれたもの。	30106	7	10～ 29
2018	2	10 ～ 11	利用者宅へ訪問看護のため、軽自動車で県道を運転し停止中、後方から接近してきた中型トラックに追突された。その弾みで被災者が運転していた軽自動車が対向車線にはみ出し、別のトラックと正面衝突した。	130109	17	1～9
2018	2	0 ～ 1	被災者が、1人で運転していた車両総重量24970kgの貨物自動車の異常を感じたため、国道上で、交差点付近の道路右側に停車した後、当該自動車左側前から2輪目のタイヤ付近から出火し、毛布で出火場所を覆うことで消火活動を行っていたところ、当該タイヤが破裂し、重症頭部外傷により死亡したもの。	40301	17	10～ 29
2018	3	12 ～ 13	国道を南下していたトレーラーが、交差点の手前50メートル付近において、右折車線から対向車線の追越車線にはみ出たため、当該追越車線を北上していた被災者の運転するトラックに正面衝突した。当該トラックはオフセット衝突により運転席が大破し、被災者は頭部等を強く打ち死亡した。事故当時は雨が降っており、トレーラーは速いス	40301	17	10～ 29

			ピードで走行していた。			
2018	3	10 ～ 11	県道において、被災者が運転する2 t ダンプが、緩やかなカーブの手前で急にセンターラインを超えて反対車線にはみ出し、対向してきた大型クレーン車（70 t）と正面衝突。この事故で、2 t ダンプを運転していた被災者は全身を強く打ち死亡（心破裂）。被災者は、工事現場で出た土砂を積み込み、土捨置場（約15 km先）まで向かう途中であった。クレーンの運転者は軽傷であった。	30199	17	1～9
2018	3	12 ～ 13	被災者が、納品先のドラッグストアで納品を終えた後、運転席に乗り込みドアを閉めたところ、広告用の幟をドアに挟んでしまった。ドアを挟んだことに気づかずに被災者がトラックを発進させたところ、幟が動き出したため、トラックを停車し、運転席のドアを開けながらトラックを後退させたところ、被災者が運転席から墜落し、そのまま後退をしているトラックと金属製の車止めにはさまり死亡した。	40301	6	10～ 29
2018	3	0 ～ 1	別の追突事故により高速道路上に停車していた2台のトラックに、約20分後に別のトラックが追突し、当該の運転手が死亡したもの。	40301	17	10～ 29
2018	3	10 ～ 11	被災者が1人でダンボールの回収作業を行っていたところ、ごみ収集車が前進し、ごみ収集車と門柱にはさまれたもの。	150102	7	30～ 49
2018	3	14 ～ 15	同営業所敷地内に駐車中の4 t トラックが無人のまま逸走、後進し、同車両近くに居た被災者が同トラックの運転席と隣の車両のあいとの間に挟まれ死亡した。単独作業で詳細不明であるが、逸走したトラックは、バッテリーが上がっていたため、被災者はその復旧のため、隣のトラックのバッテリーとブースターケーブルでつなぐための準備をしていたものと思われる。	80409	7	1～9
2018	3	12 ～ 13	3トントラックで食品の配達中に、県道を走行中虫をはらうために脇見をしたところ、走行車線右側の電柱に激突し、全身負傷、足を切断した。	40301	17	30～ 49

2018	3	16 ～ 17	高速道路において、走行していた大型トラックが、渋滞により減速した大型観光バスに後方から激突したものの。大型トラックの運転手が死亡し、大型観光バスの乗員乗客38名が負傷したものの。また、大型観光バスが事故の衝撃により、前方に停車していた別の大型トラック（以下、「大型トラックB」という。）に激突し、大型トラックBの運転手も負傷したものの。	40301	17	50～ 99
2018	3	4 ～ 5	荷物を運搬途中、車両トラブルが発生し、高速道路の2車線のうち、左側の走行車線に停車した。車両トラブル解消のために車外で作業を行っていたところ、後ろから大型トラックに追突されて死亡した。	40301	17	1～9
2018	4	4 ～ 5	冷蔵庫で商品を積み込んでから、納品先へ向け走行中、高速道路上り線で前方大型車へ追突したものの。	40301	17	100 ～ 299
2018	4	0 ～ 1	被災者が運転するトラックは、交差点を直進するため進入したところ、対向車線から右折しようとしたトラックに衝突したものの。	40301	17	10～ 29
2018	4	8 ～ 9	被災者は、道路拡幅工事現場で、交通誘導業務を行っていたところ、道路上に設置されたカラーコーンをなぎ倒しながら走行してきた軽トラックにはねられ、病院で治療を受けたが、死亡したものの。また、被災者の近くで作業を行っていた別法人の事業者の役員（専務取締役）もトラックにはねられ負傷したものの。	170201	17	50～ 99
2018	4	18 ～ 19	他店舗に食材を取りに行くため、国道を被災者がバイクで北東方向に走行中、反対車線から右折してきたトラックの側面に被災者が衝突し、被災者がバイクから投げ出され、当該トラックの後続車に撥ねられた。	140201	17	10～ 29
2018	4	0 ～ 1	国道を時速約70kmで走行中、カーブを曲がりきれずにトラックが横転し、道路脇の鉄柱に衝突したものの。	40301	17	10～ 29



2018	4	4 5	被災者は、コンテナを運搬するため、トレーラーを運転して国道を走行中、何等かの原因により車体のコントロールを失い、跨線橋左側のガードレールを乗り越え、約10m下の側道に転落した。被災者は、車外に投げ出され、全身を打つなどして死亡した。なお、現場は片側3車線の直線道路であり、事故当時は雨が降っていた。	40301	17	10~ 29
2018	4	8 9	荷主事業場の構内において、トラックからの荷卸作業（飼料の原料を荷台からホッパーに投入する作業）中、トラックの降下途中の可動式荷台と車体との間に胸部を挟まれたもの。	40301	7	10~ 29
2018	4	14 15	被災労働者は、解体工事現場において現場に隣接した公道（6m道路最大傾斜6度）に車両後部を突き合わせて縦列駐車した2台のトラックの間に立ち資材を搬入するための準備を行っていたところ、同僚が4トントラックを誤操作し4トントラックの後部荷台あたりと3トントラックの後部荷台あたりとの間に胸部を挟まれてしまったもの。	30209	7	1~9
2018	5	10 11	被災者は、同僚ら2名と共に、コンクリートミキサー車2台のドラム内部に付着したコンクリートを研る作業をそれぞれ行っていた。被災者の担当するコンクリートミキサー車のドラムが、逆回転していることに同僚が気づき、ミキサー車の廻りを確認したところ、被災者の眼鏡が落ちていたためドラムを緊急停止させた後、ドラム内部をのぞいたところ被災者がドラム内部の奥の方で丸くなって倒れているのを発見したもの。	40301	7	50~ 99
2018	5	16 17	被災者はトラックを岸壁から約1.5メートル離れたところに停車させ冷凍機能の不具合の点検中に突然姿がなくなった。付近をバイクで通行していた他社の労働者よりサイドミラーに人が海の方に飛ぶような様子が映ったと申し立てがあり捜索したが見つからず通報に至り、その後海から被災者を発見したが死亡が確認されたもの。なお、被災者の姿がなくなった当時、トラックの助手席側の扉が開き、被災者の靴が片方地面に落ちていた。	40301	1	10~ 29
		6	被災者は、新聞配達業務中、バイク（原付）で県道を走行していたと			

2018	5	7	～	ころ、右折しようとしたトラックに轢かれ、病院に搬送されるも約2時間後に外傷性くも膜下出血で死亡した。	80205	17	1～9	
2018	5	14	～	10tトラックを運転し、荷卸し作業を終え、空車にて帰庫途中、高速道路下り線IC付近トンネル内で停車中の故障車（トラック）に、後方から追突し、追突した10tトラックの運転者が死亡したもの。	40301	17	50～99	
2018	5	14	～	15	県道道路維持工事で、側溝にたまった枯れ葉をドラグショベルにてすくい取り、ダンプに積み込む作業を行っていた際に、ダンプの運転手（被災者）がダンプを停めて、ダンプから降りてその周りで作業をしていたところ、下り坂によりダンプが逸走し、そのダンプを追いかけ乗ろうとするも間に合わず、ダンプが側溝に落ち、擁壁とダンプに挟まれた状態となったもの。	30106	7	10～29
2018	5	10	～	11	トラックを運転して有料道路を東進中、雨でスリップして側壁に3回衝突した。単独事故である。	40301	17	10～29
2018	5	12	～	13	自動車道を走行中、工事渋滞で低速走行していた大型トラックに追突した。	40301	17	30～49
2018	5	20	～	21	係留中のパナマ船籍の貨物船内において、コンテナ内の温度管理に従事する労働者が、コンテナ受け木の整理のためにかがんで作業を行っていたところ、後退してきたトレーラーと船内の柱との間にはさまれたもの。	30302	6	50～99
2018	5	12	～	13	プラントで製造された生コンを被災者が運転するミキサー車で運搬していたところ、橋の欄干を突き破って川に転落し、死亡したもの。被災者はマンション新築現場へ向かう途中であり、当日4回目の運搬中の事故であった。	40301	17	10～29
2018	6	2	～		被災者が大型トラック（14t）を運転し、国道を走行中、対向してきた大型トラック（13t）がセンターラインを越えて飛び出したため、被災者の運転するトラックと正面衝突して胸などを強打し、搬送	40301	17	10～29

		3	先の病院で死亡が確認されたもの。			
2018	6	10 ～ 11	被災者はタンクローリーを運転し、自動車道上り線トンネルを通過して次のトンネル連続区間手前を走行中、渋滞のため停車していたトラック1に追突、胸を強く打ち死亡した。なお追突されたトラック1はその前に停車していたトラック2に、トラック2は同じく前に停車していたトラック3に追突（玉突き）した。またトラック12の運転手も軽傷（休業の有無等不明）を負った（トラック3の運転手は無傷）。	40301	17	50～ 99
2018	6	10 ～ 11	個人宅へ灯油を配送する業務を行っていた被災者が、タンクローリーに轢かれて死亡したもの。災害発生直前、タンクローリーは原動機を稼働させ、サイドブレーキをかけた状態で配送先宅前の坂道に停車させてあったものの、輪留めが使用されておらず、坂道の下方へと逸走した。被災者はタンクローリーの後部にいたため、轢かれた。	80204	7	1～9
2018	6	12 ～ 13	作業員2名で住宅解体工事現場で廃材をトラック（8t）に積み、帰社する途上、自動車道下り線において、走行中に助手席側後輪に絡まったレジャーシートを除去するべく、追越車線上にトラックを停車して、トラックを運転していた作業員が降車し除去を行っているところへ、後続して走行してきた軽自動車も追突し、同作業員がはねられた。トラックの助手席にいたもう1名も右腕骨折等の負傷をした。	30202	17	1～9
2018	6	2 ～ 3	被災者は、高速道路下り線を大型トレーラーで走行中、中央分離帯に衝突し横転した。被災者は脳挫傷のため死亡した。	150103	17	50～ 99
2018	6	0 ～ 1	被災者は国道で中型トラックを運転していた。交差点で信号待ちをしていた大型トラックに被災者が運転する中型トラックが衝突し死亡した。	40301	17	10～ 29
2018	6	6 ～	被災者全員（5名）は資材置き場に集合し、事業場所有の2トントラックに乗り合せ、川上の建設工事現場へ出発した自動車道上り車線の121.6キロポスト付近において、片側2車線の左車線を通行	30105	17	10～

	7	中、雨によりできた路上の水溜まりに入ったところ、ハンドル操作ができなくなり、上り車線右端の中央分離帯のガードレールに衝突し、横転等し、上り車線左端で停止した。			29
2018	6 16 ～ 17	翌日から開始予定の商業施設新築工事における地盤改良工事において、前泊予定地であるの宿泊施設にかうため、同僚運転の4 tトラックと被災者運転の3 tトラックで高速道路上り線を走行中、渋滞で減速した同僚の4 tトラックに追突し、さらに前方乗用車2台が絡む車両4台の玉突き事故となった。被災者が失血死し、同僚が頸椎捻挫で5日間の休業、乗用車の5名（私用）が頸椎捻挫等を負ったもの。	30201	17	10～ 29
2018	7 10 ～ 11	被災者は、荷台が上がらなくなった8. 3トン深ダンプの修理のため、堆肥を積んだまま、荷台を上下に稼働させる油圧装置に給油する作業をしていたところ、突然荷台が上がり、傾れ落ちた堆肥に埋もれ、窒息死したもの。被災者発見当時、運転席内の荷台の操作レバーは荷台を上げる状態にされていた。荷台の後アオリは2個のピンロックが掛けられていたにもかかわらず開いており、堆肥はその隙間から傾れ落ちていた。	11701	5	10～ 29
2018	7 16 ～ 17	自動車道下りインター付近にて、渋滞のため停車中、後方よりトラックに追突され、そのはずみで前方3台に玉突きし、車両が大破した。救急搬送されたが、死亡した。	170209	17	100 ～ 299
2018	7 20 ～ 21	事業場を出発し、2日後に荷下ろしをし、サービスエリアで休憩を始めた。車から降りる様子がドライブレコーダーに記録された後、その後運転席に戻ることがなかった。翌日、運転席下の地面に倒れているところを第三者に発見された。	40301	1	1～9
2018	7 8 ～ 9	自社所有の10 tセルフローダートラックが置いてある営業所に出社し、当該トラックにクローラクレーン（4.9 t）を積み込み、配送先である建設工事現場に出発した。荷卸し指定時刻が9時であったため途中時間を調整し、現場で重機を降ろした。帰路において現場から車で5分ほどの山道（幅約6 m）で緩い左カーブを直進し、山の法面	40301	17	10～ 29

			に衝突した。			
2018	7	20 ～ 21	チルドセンターにてトラック（最大積載量2,850kg）から荷卸し後、荷台の後部扉を閉めるため、当該トラックを前進させ、運転席から降りた際、当該トラックが前方に向かって動き出し、トラックの前面部とコンクリート壁に挟まれ被災。	40309	7	10～ 29
2018	7	2 ～ 3	最大積載量29tの大型トレーラーに鉄骨約25tを積載し、県道（現場は走行方向に向かって、緩やかな下りの左カーブ）を南進中、対向車線を横切り、工場の社員寮に突っ込み、同車両が横転、運転手が死亡したもの。	40301	17	50～ 99
2018	7	16 ～ 17	被災者はダンプトラックの車体と荷台の間にはさまれているところを発見され、その場で死亡が確認されたもの。荷台下の車体にはモンキーレンチ2本があり、荷台上昇用油圧シリンダのホース接続部分は外れており、ダンプトラック周辺には作動油が飛散していた。なお、荷台フレームの安全棒が当たる面付近には、こすれた跡が残っていた。	40301	7	10～ 29
2018	7	14 ～ 15	被災者は、取引先においてトラックの鳥居部に取り付けられている昇降はしごの真横（真下）で倒れているのを発見されたもの。現認者はいないため、推定ではあるが、荷台のシートが剥がされデッキに収納されていたことから、シートを収納後にトラックから降りようとした時に誤って転落したものと推定される。なお、被災者は保護帽未着用であった。	80109	1	1～9
2018	8	14 ～ 15	被災者が50ccバイクに乗り、夕刊の配達を行っていたところ、中央線より対向車線を走行してきた2tトラックの右前方部分に衝突し、大動脈破裂で死亡したもの。災害発生場所は、見通しは良いが被災者から見て緩やかな下り坂であった。	80205	17	10～ 29
2018	8	16 ～	被災者は、工事現場での作業を終え、ダンプを運転し事業場へ帰社中、片側二車線の右側車線を走行していたところ、前方を走行するトラックに追突し、反対車線へ飛び出し、街路樹、倉庫に衝突し、被災	40302	17	10～

		17	したもの。なお、追突されたトラックの運転手は、頸椎を痛め休業中。			29
2018	8	6 ～ 7	被災者は、ダンプトラックを運転し建設現場に向って走行中、差し掛かった橋の高欄に激突し車外へ投げ出され、約15メートル下方の川の中で倒れているところ発見された。災害発生現場の手前は片側1車線の緩い右カーブであり、カーブを曲がった先で対向車線にはみ出し高欄に激突した後、走行車線に戻った位置で車体が停車していた。シートベルト使用の有無は調査中だが、バックル等に損傷なし。	40301	17	1～9
2018	8	6 ～ 7	4台の車両（前から1台目3トントラック、2台目バン、3台目12トントラック、4台目2トントラック）が渋滞で止まっていたところ、4台目のトラックに、後方から12トントラックが追突した。これにより5台の車両の玉突き事故が発生した。4台目のトラックを運転していた被災者は3台目と5台目の車両に挟まれ全身を強く打って死亡した。被災者は運転兼工事作業員であり、資材を積み込み工事現場に運搬している途中であった。	30309	17	10～ 29
2018	8	2 ～ 3	自動車IC追越車線（車線規制内）において、交通規制撤去作業中の被災者は、保安用資機材（カラーコーン）を積込むために後退してきた2tトラック平ボディに轢かれた。なお、加害車両を運転していた者は、同じ事業場の同僚である。	170201	7	30～ 49
2018	9	20 ～ 21	工事現場から、所属店社に帰社途中、自動車道下り線において、労働者3名が乗ったトラックが乗用車に追突し、運転者が脳挫傷により死亡、助手席の同乗者が右足首を骨折、後部座席の同乗者が肋骨を骨折した。	30201	17	10～ 29
2018	9	4 ～ 5	被災者は工場内の夜間の巡回警備に従事する労働者で、工場内の労働者が運転する25tトラックが、工場で生産された木質チップの積み込みを終え、工場の門を出た近くのT字路（公道）で方向転換のため後退したところ、被災者はトラック左後輪に轢かれ、多臓器不全（出血	10409	17	10～ 29

			性ショック、右下肢高度挫滅・骨盤骨折)により後日死亡したもの。			
2018	9	20 ～ 21	被災者は、1人で中型トラックの荷の整理を行っていた。当該トラックの荷台は、スイッチ操作で荷台左右の壁（以下、ウイング）が上下に開閉するもので、被災者は、当該ウイングをわずかに開き、ウイングと荷台あおりの隙間に上半身を入れて作業をしていたが、何らかの拍子にウイングが下がり、ウイングとあおりに胸腹部を挟まれて窒息死した。	40301	7	30～ 49
2018	9	0 ～ 1	国道を走行中、上記発生場所付近の右曲がりカーブの路肩に止まっていた大型トラックに追突、全焼したもの。	40301	17	30～ 49
2018	9	2 ～ 3	自動車道下り線において、走行車線を走っていた大型トレーラーが、2時間前に発生した車両4台が絡む玉突き事故により最後尾で停車していた大型トラックに追突した。追突した大型トレーラーの運転席は大きく破損変形し、当該トレーラーを運転していた男性が死亡した。	40301	17	10～ 29
2018	9	12 ～ 13	被災者は貨物自動車（トラッククレーン）で片側2車線の高速道路を走行中、前方を走行していた貨物自動車に追突した後に横転し、同乗者の労働者が負傷し、運転していた被災者が死亡した。	40301	17	30～ 49
2018	9	16 ～ 17	ガソリンスタンドにおいて、2トンダンプトラックに給油を終えて、事業場の作業場に戻るため国道を北進し、トンネルに入ったところ、濡れている路面でスリップし、左後輪が縁石にぶつかり、その反動で対向車線にはみ出して大型トラックと正面衝突し死亡した。	30302	17	10～ 29
2018	9	10 ～ 11	片側1車線を規制し道路工事を行っていたが、交通誘導をしていた警備員が、現場にバックで入場してきたトラックに轢かれたもの	170201	17	50～ 99
2018	9	8 ～ 9	破碎されたダンボールを手作業で圧縮式ごみ収集車に積み込む作業を行っていたところ、ホッパー内のプレスプレートに全身をはさまれたもの。	80109	7	10～ 29

2018	9	10 ～ 11	自動車道上り線を走行中、被災者の運転する1.5トントラックが左側の法面に乗り上げ横転し、死亡したものの。	80109	17	1～9
2018	9	12 ～ 13	商品配送中、トラックを路肩に止め荷台上の片付け等をしていたところ、道路の勾配でトラックが前進しはじめたため運転席側のドアを開け乗り込もうとした際（目撃者がいないため推定）、運転席側の前輪及び後輪が側溝に落ちて車体が傾き、ドアの外表面が側溝横の擁壁に接し、被災者の上半身が車体（運転席）とドア内面の間に挟まったものの。下半身は車外に出た状態であった。	80209	17	30～ 49
2018	9	21 ～ 22	大型トラック（冷蔵冷凍車、最大総重量25トン）に鮮魚等を積込み、市内にある卸市場に向け、自動車道を走行中、トンネル内（310.3キロポスト付近）の右側壁に衝突し横転した。被災者は、車外で倒れており死亡（即死）が確認された。	40301	17	30～ 49
2018	9	8 ～ 9	ドラグショベルをダンプトラックに載せ個人の畑に搬入するため、道路を走行中、ダンプトラック運転者が道路を間違え進入路を通り過ぎたことに気づき、ダンプトラックを後進させたところ、ダンプトラックの後方にいた被災者が公道上においてダンプトラックに轢かれた。	60101	17	1～9
2018	9	8 ～ 9	被災者及び同僚の計2名で、トラックに乗車して事務所から作業現場（道路保守工事の一環で、通行の邪魔になっている枝を除去する作業。一日で終了するもの）へ向かうべく国道を走行中（運転者は被災者）、対向車線にはみ出し、大型トラック（ユニック）と正面衝突して、被災者は全身を強く打ち死亡したものの。助手席に乗っていた同僚及び大型トラックの運転者も負傷した。	30201	17	100 ～ 299
2018	9	20 ～ 21	トンネル掘削の発破終了後、坑口から切羽方向に後進してきた2tトラックに被災者が轢かれた。なお、2tトラックの運転者は、防音扉外に退避していたが、発破終了後にずり出し用の大型ダンプに乗換えるため、2tトラックを後退で運転していた。	30102	7	10～ 29
			被災者を含む労働者3名が現場に向かうために、車両・資材置き場か			



2018	9	6 ～ 7	らトラックに乗り込んで、バイパス下り線を走行していたところ、合流車を避けようとブレーキをかけたためにスリップし、他車に接触後、後方走行のトラックに追突されたため、助手席の被災者がショック死したものの。	30309	17	1～9
2018	10	18 ～ 19	トラックの荷台に積んだ木材をワイヤーロープとチェンブロックを用いて荷締めする作業を、地面からの高さが2.1メートルある荷の上で行っていた際に、荷の上から地面に墜落したものの。	40301	1	10～ 29
2018	10	10 ～ 11	被災者は建設現場へ資材を運搬するために貨物自動車（種類：平ボデー、最大積載量：2トン、車両総重量：約4.5トン）を運転して向かっていたが、傾斜が緩やかな行き止まりの市道に立ち込んだため停車し、配送先の建設現場を確認しようとして（推定）降車したところ、車両が動き出したため、車両を止めようと貨物自動車の前に立ち入り、貨物自動車と高さ約70cmの車止めに挟まれ死亡したものの。	40303	17	1～9
2018	10	2 ～ 3	国道において国道の舗装修繕工事の事前調査のため片側通行の道路規制をかけていたところ、走行してきた大型トラックが道路規制の停止線を越え標識車の後部に追突し、標識車の運転席にいた労働者が追突によるショックで心肺停止し、搬送先の病院で死亡が確認された。また助手席にいた労働者も軽傷（鼻血のみ）を負ったものの。	170201	17	10～ 29
2018	10	2 ～ 3	国道をトラックにて走行中、赤信号のため、減速を始めた大型トラックに追突した。	40301	17	1～9
2018	10	12 ～ 13	家屋の解体工事現場において、瓦礫を積み込んだ3tダンプトラック（解体工事現場に隣接する勾配12°程の道路に、運転席を下り方向に向けて停車。）の荷台上で、作業員2名が廃木材とその他瓦礫との選別作業をしていたところ、突然、このダンプトラックが下り方向に動き出したため、被災者が、あおりから飛び降りてダンプトラック前方に回り込み、止めようとしたが、転倒して胸部を同ダンプトラックにひかれた。	30209	7	1～9

2018	10	4 ～ 5	被災者は3 tトラックを運転し、国道を西から東方向に走行していたところ、2車線から1車線に変わる箇所に停車していた大型貨物自動車（トレーラー）の被けん引車後部に追突したものの。	40301	17	10～ 29
2018	10	16 ～ 17	橋梁の塗装工事後に刷毛を洗うため、被災者は現場に乗り入れていたトラックのヘッドライトを照らしたが光が届かず、トラックを移動させようと輪止めを外したところトラックが下り坂を動きだし、法面に乗り上げて横転し、その下敷きになったもの。	30105	6	10～ 29
2018	10	12 ～ 13	荷卸し後、国道トンネル出口付近で対向の大型トラックと正面衝突したものの。	40301	17	1～9
2018	10	12 ～ 13	国道のトンネルを走行中、対向車の大型トラックがセンターラインをはみ出し、被災者の大型トラックと正面衝突し、死亡したものの。	40301	17	1～9
2018	10	12 ～ 13	被災者がミキサー車を運転し県道を走行中、対向車と正面衝突した。	10901	17	10～ 29
2018	10	22 ～ 23	被災者は、国外での出張業務を終え、空港から社用車で事業場に向かっていた。国道を北上中、対向車線を走行中の10 tトラックが無理な追越しを行ったため、被災者の車と正面衝突したものの。	10501	17	100 ～ 299
2018	10	4 ～ 5	中型トラックにて、国道を走行中、反対車線を走行してきた大型トラックと衝突し、双方の自動車運転者が死亡したものの。	40301	17	1～9
2018	10	4 ～ 5	国道において、大型トラックで南下していた被災者が北上していた中型トラックと正面衝突し、それぞれの運転手が死亡した。	150102	17	10～ 29
		6	被災者は、マイカー（軽自動車）で会社の借り上げアパートを出発し、同僚を乗せ、工事現場に向かう途中、見通しの良い片側3車線の			30～

2018	10	7	道路で、大型車（26 tタンクローリー）が右折していたところに、マイカーを直進させ、大型車の左後方タイヤに激突した。同僚も多発性外傷により重傷を負った。	30309	17	49
2018	10	10 ～ 11	被災者はトラック（最大積載量8トン）を運転し、所属事業場へ向けて国道を走行中、片側交互通行規制された道路上で前方より走行してきたダンプトラック（最大積載量10トン）と衝突した。工事現場の誘導員はダンプトラックに対し停止合図を行っていたものの、当該ダンプがこれを振り切り走行した。被災者はドクターヘリで医療機関に搬送され治療を受けていたが、翌日死亡した。	40301	17	10～ 29
2018	10	12 ～ 13	被災者は、業務終了後会社駐車場に止めてあった2トンダンプトラックの高さ約80cmの荷台に、トラック後部から登ろうとして、墜落した。その際、頭部をアスファルトの地面に打ち付けたものと思料される。荷台には被災者の保護帽が残されていた。	30199	1	10～ 29
2018	10	22 ～ 23	会社所有のトラックに労働者4名を乗せ、工事現場から当該会社へ帰社途中、高速道路を走行途中で被災者が用を足したくなったためトラックを路肩に停車したところ、被災者が降車した際に後方から走行してきた乗用車に跳ねられ脳挫傷により死亡した。	30302	17	1～9
2018	10	12 ～ 13	取引先の事業場に鉄製の網パレットを引き取りに行った被災者が、取引先事業場の敷地内に停めたトラックの近くで倒れていたところを発見され、収容先の病院で死亡した。目撃者はいないが、取引先事業場の敷地内で3 tトラックの荷台に網パレットを積み込み、荷崩れ防止のために、ロープを使った網パレットの荷締め作業中に、足を滑らせ荷台から転落し頭部を強打したものと推定される。	80109	1	10～ 29
2018	10	22 ～ 23	被災者は、県道において、樹脂約16トンをトレーラーで運搬中、センターラインをはみ出し、対向車線脇の電柱等に衝突して死亡したものの。	40301	17	10～ 29
		4	トラックを運転していた被災者が、高速道路下り線を走行していたところ、渋滞で減速した高速バスの左後部に追突した。被災者が死亡			

2018	11	～ 5	し、追突された高速バスを運転していた運転手1名と高速バスの中で仮眠中の運転手1名が負傷したものの。	40301	17	1～9
2018	11	～ 11	取引先の工場内において、取引先の労働者と被災者の2名で、トラック（最大積載量10トン）に製品（円柱形のロール紙、径80cm、重さ166kg）を積み込み作業中、トラック荷台の荷の上（高さ約2.5m）で作業を行っていた被災者がバランスを崩して、地面に墜落したものの。災害発生時、被災者は保護帽を着用していなかった。取引先の労働者は、フォークリフトで製品を荷台まで運ぶ作業を行っていた。	40301	1	50～ 99
2018	11	～ 3	2 国道のスノーシェッド内の緩いカーブにおいて、被災者が運転する大型トラックと対向車の大型トレーラが正面衝突した。	40301	17	1～9
2018	11	～ 13	12 被災者は、配達先から帰社するため、国道を3トントラックで走行していたが、緩やかなカーブにさしかかったときに対向車線にはみ出し、対向車線を走行していた10トントラックと正面衝突した。被災者は病院に搬送されたが、後日死亡した。	80109	17	10～ 29
2018	11	～ 17	16 被災者はトンネル坑口より約2kmの地点で、切羽の吹付作業終了後にコンクリートポンプ車のホッパーの掃除をしていた。約5m離れた場所に停車していた無人のミキサー車が後進し、被災者はコンクリートポンプ車との間にはさまれ死亡したものの。ミキサー車を停車していた場所は7%の傾斜地であった。	30102	7	100 ～ 299
2018	11	～ 17	16 県道において被災者の運転するフォークリフト（4t）と他社の労働者が運転する2tトラックが衝突し、トラック運転手は左足骨折により入院、被災者は外傷性くも膜下出血により死亡したものの。災害発生場所は片側一車線の直線。災害発生時刻は帰宅ラッシュと重なる時間帯である。被災者はフォークリフト運転技能講習を修了していなかった。	11509	17	1～9

2018	11	14 ～ 15	灯油販売用ローリー車でひとりで灯油を配達していた配達員が、客先の私道でローリー車を停車させ車外にいたところ、後退したローリー車もろとも約3m崖下の民家敷地に転落した。転落後に自力で這い出した配達員は救急搬送され、上半身圧迫による大動脈破裂のおそれや頭部裂傷のため入院加療するも、後日多臓器不全・大動脈乖離により死亡。配達員は転落時に地面又は崖とローリー車との間に挟まれたと思われる。	80204	7	1～9
2018	11	14 ～ 15	被災者はLPガス補充のため、バルクローリー車をタンク前の所定の位置に停車させ、充填作業の準備作業を行っていたところ、誤ってローディングアームと呼ばれる連結管を接続することなくLPガス充填口のバルブを開けたため、バルクローリー車のタンクに残っていた-42℃のプロパンガスが噴出して体に浴び、凍傷を負ったもの。	40302	11	30～ 49
2018	11	6 ～ 7	会社から土砂を積みに行くため、ダンプカーで国道を南進中、橋を渡って200メートルほどの地点で反対車線にはみ出して防雪柵に衝突、頸髄断裂により死亡した。小雨が降っており、路面は濡れていた。	40309	17	50～ 99
2018	11	10 ～ 11	顧客の商品自動車を引き取るため、顧客の店舗付近の車両を保管してある駐車場へ当該店舗の担当者の案内で移動中、道路を横断するため歩行者用信号が青になったことに従い横断歩道を渡っていたところ、被災者の左側から走行してきた軽貨物自動車にはねられ死亡したものの。	40301	17	50～ 99
2018	11	6 ～ 7	県道（片側1車線）にて、被災者は汚泥をバキューム車で施設に運ぶ途中、センターラインをはみ出し、対向車線を走っていた11トントラックと正面衝突をした。バキューム車の運転手は全身を打ち、まもなく死亡。また、トラックの運転手は重傷を負ったもの。	150103	17	30～ 49
2018	11	12 ～ 13	2tトラックの荷台上にて、積み込んだ荷へのシート掛け作業を終え、地面に降りようとしたところ、そのまま転落し、頭部を打って死亡した。なお、保護帽は着用していなかった。	150103	1	1～9

2018	11	12 ～ 13	トラックで高速道路を走行中、乗用車に後方から追突され、トラックが横転し、運転者が死亡した。	40301	17	30～ 49
2018	11	10 ～ 11	信号のない交差点の横断歩道を横断中に直進してきたトラックにはねられた。	11502	17	1000 ～ 9999
2018	12	21 ～ 22	被災者は配送先に到着後、構内ホームに後進で5 tトラック（箱型冷蔵冷凍車）を停車し、荷卸しのために下車してトラックの後ろ扉を開けたところ、トラックが動き出してトラックとホームの間に挟まれ死亡したもの。	40301	7	10～ 29
2018	12	8 ～ 9	搬入した建築資材の荷卸しをするため、被災者及び他の労働者1名が玉掛作業をするためにトラックの荷台に乗っていたところ、別会社所属する労働者が運転する移動式クレーンでつり荷を地切りした際に、つり荷が水平方向に横ずれしたため、つり荷が被災者と接触し、荷台から墜落して負傷（頸髄損傷）し、病院で治療を受けていたが、後日死亡した。	40301	1	30～ 49
2018	12	4 ～ 5	パレットに載せた段ボール製品をトラック荷台に積み込み、パレット積みの段ボールが搬送中に相互にぶつかって傷まないように、緩衝用として段ボールをかましていたところ、荷台の端から足を滑らせ墜落した。	40302	1	10～ 29
2018	12	8 ～ 9	林内道路の舗装現場（道路幅約3 m、道路勾配約18%）において、生コンクリートの荷卸し作業のためにミキサー車（アジテータ・トラック）を駐車し、被災者が運転席から降りて後方のステップに上がっていた際に車両が動き出した。運転席は無人で、停車させることができなかったことから車両は山肌に取り上げ横転し、被災者は車両の下敷きとなった。	10901	6	1～9
			橋梁の撤去工事現場において、河川水が工事箇所に入流することを防ぐため、工事箇所の周囲に盛土を行う作業中、ダンプカーを運転し、			

2018	12	10 ～ 11	土砂を運搬する作業に従事していた被災者がダンプカーの荷台を上げ、土砂を降ろした後、撤去予定の橋桁の下方を通過しようとした際、ダンプカーの荷台が上がったままであったため、荷台が橋桁に激突した後、橋桁がダンプカーの運転席に落下し、同日、被災者の死亡が確認された。	30105	3	10～ 29
2018	12	18 ～ 19	自動車専用道路（制限速度70km/hの対面通行）の直線部分で、被災者が運転する2トントラックがセンターラインを越えて右側反対車線へはみ出し対向車と接触。その後、自車線左側のガードレールに車体を擦りながら逸走した後、道路左側のガードレールを突き破って約5メートル下の山林に転落し、胸などを強く打って死亡した。	40301	17	1～9
2018	12	12 ～ 13	被災者は、下り車線において、高速道路上の工事に伴う車線制限誘導作業を北に向かって行っていたところ、南から同僚の運転する2トントラックが後退し、それに轢かれた。その後、病院に搬送されたが、出血性ショックにより死亡した。	170201	6	50～ 99
2018	12	16 ～ 17	被災者は帰社後、一人でダンプの荷台から木柱を降ろしていた。同僚が敷地内の別の場所で作業していたところ、被災者の声を聞いた。声のした方を見ると、被災者がダンプの横の地面に倒れていた。病院に搬送されたものの、後日死亡した。	30301	1	10～ 29
2017	1	4 ～ 5	港からタンクローリー車で生乳を運搬中、道路をはみ出し、災害発生場所で横転した。	40301	17	10～ 29
2017	1	0 ～ 1	被災者は、トラックを運転して、道路を走行していたところ、前方に、道路の片側規制のため、停車していた車両があり、当該車両の発見が遅れ、ブレーキを踏みハンドルを切って回避しようとしたが、車両に追突した。	40301	17	100 ～ 299
2017	1	6 ～ 7	出張のため、自宅から高速バスの停留所に向かい横断歩道を歩行中、交差点を右折してきたトラックと接触した。	170209	17	100 ～ 299

2017	1	10 ～ 11	被災者は、トレーラー（ダンプ形状：18トン車）の積み荷を下ろした後、国道を空荷で走行していた時、路面が凍結していたためスリップし、対向車線（片側1車線）にはみ出し、対向車線を走行していたトレーラー（シャーシ（平積み形状）29トン車、空荷）に正面衝突した。	40301	17	10～ 29
2017	1	14 ～ 15	軽四貨物トラックを運転していた被災者が、センターラインオーバーの大型トラックと正面衝突した。	40301	17	1～9
2017	1	10 ～ 11	清掃作業員である被災者は、パッカー車の運転手と2人体制でごみの回収業務を行っていた。発生場所である高校の敷地内において、車を後退させて所定の場所に付けてごみの回収を行うため、被災者は後方で車の誘導を行った。所定位置に駐車後、被災者はごみの投入作業を開始した。運転手が被災者の作業を手伝うため、投入口に向かったところ、投入口の回転板に挟まれている被災者を発見した。搬送先の病院で死亡が確認された。	150103	7	50～ 99
2017	1	16 ～ 17	工事の現場作業が終わり、次の現場に車で向かっていたところ、対向車を避けようとして、走行していた川の土手にある道路から、道路の法面を滑り横転して、川に水没し溺死した。	30301	17	10～ 29
2017	1	4 ～ 5	新聞配達で国道を歩行中、走行中のトラックにはねられて死亡した。	80205	17	1～9
2017	1	20 ～ 21	同僚がトラック事故を起こしたため、被災者は事故現場へ駆けつけた。被災者は乗用車を路肩に止め、外に出ていたところ、後方から来た大型トラックが同僚のトラックに追突した。押し出された当該トラックが被災者をはねたため、右肺破裂で死亡した。	40301	17	10～ 29
		8	被災者は、事業場プラント内において、10tダンプトラックを運転し、碎石を運搬する作業を行っていた。同トラックの荷台に碎石を積			10～



2017	1	9	～	んだ状態で、碎石でできた小山の斜面を後退させながら登っていたところ、被災者は運転席から地面に墜落し、無人状態で斜面を下ってきた同トラックの右側前輪及び後輪に胴体を轢かれ、被災した。	10901	7	29	
2017	1	14	～	15	1階左官砂置場に2 t ダンプ車にて砂降ろし中、車を少し前方に移動するため運転席の外側からエンジンをかけたところ車が動き出し、工事用エレベータ1階乗場の単管足場と車のドアが接触、車のドアと運転席の間に肩から頭部にかけて挟まれた。	40301	7	10～ 29
2017	1	10	～	11	養豚場施設解体作業で発生したコンクリート片をドラグショベルでダンプトラックに積込みをするにあたり、被災者所属事業場の労働者が当該ダンプトラックをドラグショベルへ接近させるため後退させようとしたところ、地面がぬかるんで駆動輪が空転して後退できなかった。そのため、元請の代表者が当該ダンプトラックの運転を代わり、一旦前進した後、勢いをつけて後退したところ、木片を一輪車で運搬していた被災者に激突した。	30209	6	1～9
2017	2	20	～	21	被災者は4トン車で支店に荷を搬送し、荷台後部をプラットホームに付けて荷降ろしを済ませたが、自社車両が逸走したため、前方に横付けしていた他社の大型トラックの側面と自社車両のフロント部の間に挟まれ、搬送先の病院で死亡が確認された。	40301	7	50～ 99
2017	2	20	～	21	公園内を軽トラックにより、警備巡回中、Uターンしようと敷地外の村道に出たところ、トラックが縁石にぶつかって横転し、車外に投げ出された労働者が被災した。	170201	17	50～ 99
2017	2	2	～	3	食品の配送のため4トントラックを運転し自動車道を走行していた。走行車線を運転していたところ、追越車線を走る別のトラックが中央分離帯に激突しその弾みで被災者のトラックの前に進入してきたため衝突した。	40301	17	10～ 29
2017	2	4	～		配送先スーパーマーケットにおいて、被災者は荷受け口付近にトラックを停車し、荷台に乗って一人でパンの荷卸し作業を行っていたところ、勾配（1～2度）のためトラックが後方に動き出したため、荷台	40301	7	30～

		5	から飛び降りてトラックの後方から制止しようとしたが押し倒され、トラック左後輪に背部をひかれて死亡した。			49
2017	2	2 ～ 3	国道のバイパスにおいて、トラックを運転していた被災者が停車中のトラックに追突した。現場は片側1車線の直線路で事故当時、近くで交通規制があり、片側交互通行のため下り線に止まっていた車に追突した。	40301	17	1～9
2017	2	8 ～ 9	自動販売機の修理のため被災者一人で会社所有の乗用車（バン）に乗って高速道路を走行中、前のトラックに視界を遮られ後続車両がなかったため右側に車線変更したところ、すぐ右側にトラックが故障で停止していたところへそのまま激突して頭部外傷により死亡した。	11702	17	10～ 29
2017	2	12 ～ 13	被災者は、車両（最大積載量2tの貨物自動車）を運転し、片側1車線の県道を南方向に走行中、緩やかな下りこう配の左カーブに差し掛かったところで中央線を越えて対向車線にはみ出し、同車線を走行していた別の車両（最大積載量2tの貨物自動車）と衝突したことにより死亡した。	30199	17	1～9
2017	2	4 ～ 5	鑄造工場内において、同会社の労働者が床に落ちたショット玉の回収作業中に、ベルトコンベアの回転軸とベルトの間に右半身を巻き込まれ、死亡した。	40301	7	10～ 29
2017	2	14 ～ 15	被災者は木材チップを積載したトレーラーを運転していたところ、カーブを曲がり切れず、道路右側のガードレールを突き破り、約15メートル下へ転落した。	40301	17	30～ 49
2017	2	10 ～ 11	バッテリーの上だった10tトラックの脇に別の10tトラックを並列に停車し車両と車両の間に入ってケーブルを繋ぎ、バッテリーの上だったトラックのエンジンを始動、その後ケーブルを外そうとして再び車両と車両の間に入ったところ、エンジンを始動したトラックが前方へ動き出して車両と車両の間に胸を挟まれた。トラックの停車位置は前方が低い勾配となっていた。意識不明で救出されたが、死亡し	40301	7	10～ 29

			た。			
2017	2	4 ～ 5	新幹線高架部のつらら落し作業が終了後、被災者運転の高所作業車（1名）とワンボックスカー（4名）に分乗し、現場より事業場へ帰社するため、片側1車線の県道を走行中、反対側から走行してきたトラックが凍結によりスリップしセンターラインをはみ出して高所作業車と正面衝突により高所作業車及びトラックの運転者2名が死亡。後続のワンボックスカーは、衝突で反転した高所作業車とトラックが接触し、4名とも被災した。	30309	17	50～ 99
2017	2	4 ～ 5	大型トラックを運転し、県道を走行中、路面凍結のためスリップし、センターラインを越え、対向車線を走行してきた高所作業車と正面衝突した。被災者及び高所作業車の運転者2名が死亡。高所作業車の後方を走行していたワンボックスカーに乗車していた4名が負傷した。	40301	17	50～ 99
2017	2	14 ～ 15	被災者の運転するトラックが高速道路を走行中、タイヤがパンクし、路側帯に停車して、車外に出ていたところ、被災者が運転するトラックに後方から来た別のトラックが衝突して、停車中のトラックが衝撃で動き、停車中のトラックと路側帯にあるコンクリート壁の間に挟まれ死亡した。	30301	17	1～9
2017	2	10 ～ 11	小型トラックでの商品配達を終え、事業場へ戻るため県道を走行中、対向車線を走行中の大型トレーラーが運転操作を誤り、路肩の縁石に左前輪が接触してパンクし、センターラインを越え対向車線にはみ出したため、被災者が運転する小型トラックと正面衝突した。	80109	17	10～ 29
2017	2	12 ～ 13	被災者が、事業場にて午前3時半点呼後、配達を終え、高速道路で帰ってくる途中、横転事故による渋滞の最後尾にいたトラックに追突した。	40301	17	30～ 49
2017	2	6 ～ 7	高速自動車道の片側2車線道路において、走行車線を走っていた営業所の大型トラックが渋滞の最後尾にいた被災者ら4名が乗車した軽ワゴン車に追突し、軽ワゴン車は押し出され次々と前の車に玉突きし、計5台が絡む事故が発生した。この事故による死傷者は計9名。	170201	17	10～ 29

2017	2	8 ～ 9	駅構内において、被災者が道路を横断していたところ、他労働者が運 転するトラックに衝突された後、約20メートル引きずられた。搬送 先病院にて、死亡確認された。	40301	6	50～ 99
2017	2	16 ～ 17	橋梁の補修工事において、被災者は、約75km離れた別の橋梁の作 業場所で使用していた架設通路の部材を同僚とともにトラックに積み 込み、同僚が運転する同トラックの助手席に同乗し、一般国道を走行 中、緩い上り坂の直線道路において、同トラックがスリップし、対向 車線にはみ出して路外に逸脱し、道路脇の支柱に激突した。	30105	17	10～ 29
2017	3	12 ～ 13	被災者は営業先に向かうため、乗用車を運転し県道を走行中、対向し てきた大型トラックの荷台から落下した鉄板にボンネット付近を直撃 された。乗用車はその弾みで近くの電柱に衝突し、炎上した。	80409	17	10～ 29
2017	3	4 ～ 5	本事業場所属の被災者2名は、太陽光パネル設置に関連した工事を 行っており、災害発生前日の午後9時から災害発生当日の午前5時ま での予定で夜間作業に従事した。作業が終了し、被災者らは、2トン ダンプ車で、市内へ向けて通行中、道路の中央線を越え、対向車線を 通行してきた大型トラックと正面衝突した。	30309	17	1～9
2017	3	6 ～ 7	被災者は農家へ飼料を配送するため、トレーラーで走行中、センター ライン寄りに走行してきた対向車を避けようと左側に寄って減速した ところ、シャーシ（荷台）が路外へ逸脱し、トレーラー全体が反転し たことにより、運転席がつぶれ、被災した。災害発生時、現場の路面 は凍結し、霧による視界不良の状況だった。	40301	17	30～ 49
2017	3	6 ～ 7	工事現場にて排出された土砂の運搬のため現場に入場していたダンプ トラックが、荷台に土砂を積んだ後、現場内の作業道から通ずる仮設 栈橋を渡って現場外の残土置き場に向かおうとしていたところ、現場 内の作業道と仮設栈橋の接合部付近において、作業道端部の単管柵及 び仮設栈橋の柵を突き破って約34メートル下の沢に墜落した。	40309	1	1～9
			事業場内において、3か月点検を行うため、トラックの前輪部を ジャッキアップし、後輪側のエアサスペンションを作動させ、車体を			

2017	3	14 ～ 15	浮かす事により、トラックと床の隙間を広げ、被災者がトラック下部に潜り、グリスアップ作業を行っていた。別の労働者がライト等の点灯点検を行うため、トラックの電源を入れたところ、エアサスペンションが降下部に作動し、エアサスペンションのスタビライザー一部と床面に挟まれ死亡した。	11701	7	1～9
2017	3	6 ～ 7	国道で、大型トラックがガードレールを突き破り、崖下約70mのダムに転落して沈んでいるのを除雪していた作業員が発見した。	40301	17	1～9
2017	3	10 ～ 11	坂道で行う下水道工事において、運転手が降りて無人となったダンプトラックが動き出し、交通誘導警備を行っていた警備員に衝突。警備員はダンプトラックとガードレールに挟まれ死亡した。ダンプトラックが動き出したことに気が付いた工事作業員が警備員の存在に気が付かないまま、ガードレール越しにダンプトラックのハンドル操作を行い、ガードレールにぶつけて止めようとしていた。	170201	7	100 ～ 299
2017	3	6 ～ 7	中型トラック（最大積載重量2.15t）を運転中、高速道路上り走行車線の渋滞で停車していた前方の軽自動車に接触し、その後、軽自動車を含めて4台前の大型トラックに追突した。	40301	17	30～ 49
2017	3	6 ～ 7	被災者は、夜間工事終了後、現場前の路上（片側三車線の歩道寄）に停車させた社用車の後部ドアを開けた状態で、積み込んだ物品の個数確認をしていたところ、後方から走行してきた軽トラックに轢かれ、病院に搬送されたものの、びまん性脳損傷により、死亡した。	30302	17	10～ 29
2017	3	10 ～ 11	ダンプカーの荷台において、ドラグ・ショベルによるフレキシブルコンテナバッグ（土砂入り）の玉掛けの業務に従事していた労働者が、1.5m下の地面に墜落した。当該労働者は、病院に入院し、治療を受けたが死亡した。	30105	1	10～ 29
2017	3	6 ～	本社駐車場に縦列駐車していたダンプトラック2台の出発前車両点検中、同僚が前方のダンプトラックのエンジンを掛けたところ、急に後	10909	7	1～9

		7	進したために後方のダンプトラック前面部にいた被災者が挟まれた。			
2017	3	14 ～ 15	被災者が施工管理を担当する個人住宅の現場管理写真を撮影し、事業場へ帰社する途中、自動車道下り線において大型トラックに追突された。	30202	17	1～9
2017	3	4 ～ 5	被災者は自社の2 tトラックを運転していたが、信号待ちをしていた車列の最後尾の4 t車にノーブレーキで追突した。	40301	17	10～ 29
2017	3	6 ～ 7	午前6時頃、崖下に大型ダンプが転落しているのを通行人が発見した。警察により当該ダンプ運転手が車両の下敷きで発見され、死亡が確認された。	80109	17	1～9
2017	3	8 ～ 9	木造建築現場において、一次下請事業場雇用労働者が被災したものである。被災者は、小型トラックの荷台上（地上0.9 m）で建設用木材をホイールクレーンのフックに玉掛けしていたが、荷台から地上に墜落し、頸髄損傷により死亡した。災害発生時、被災者は保護帽を着用していなかった。	30202	1	1～9
2017	3	14 ～ 15	被災者が仕事を終えた労働者を送迎するため、自動車ですり向かって県道を走行中、前方から来たトレーラの荷台から積荷であるクレーンのカウンターウェイトを固定しているワイヤロープが切れて落下し、被災者運転の自動車に激突した。	11409	17	100 ～ 299
2017	4	16 ～ 17	被災者は、廃材ヤードにおいて、10トンダンプトラックの荷台に積んでいた残材（アスファルト合成材）を取り除くため、荷台を上げエンジンを掛けた状態で歯止めをしないまま運転位置から離れたところ、無人のダンプトラックが同ヤードから下り勾配方向（勾配約5～10度）に動きだし、逸走した同トラックに轢かれた。	40301	7	1～9
2017	4	10 ～ 11	被災者は、事業場敷地内の小屋から発生した不要物をトラック（積荷重3.65 t）に乗せ、約20 m離れた同敷地内のゴミ堆積場所へ移動し、廃棄する作業中、トラックの荷台上から重量約5 kgの鉄製の板を投げ落とそうとしたところ、荷台のアオリを乗り越え、約1 m	140201	1	30～ 49

			下の地面に墜落した。被災者は保護帽未着用であった。			
2017	4	8 ～ 9	被災者は、トラックにて搬入されてくる木質バイオマスを受け入れるため、トラックを木質バイオマス（木材チップ）貯蔵庫内部へ誘導していたところ、誘導していたトラックの右後輪に轢かれた。	11609	7	1～9
2017	4	10 ～ 11	山林内で伐採された木材の搬出作業において、道路脇に集積された木材をトラッククレーンの荷台へ積込む作業を行っていた際、荷台に積上げた木材の上に乗っていた被災者が、誤って約3.2m下の地面に墜落し頭部を強打した。病院に搬送され治療を受けていたが、死亡した。	60201	1	50～ 99
2017	4	6 ～ 7	反対車線の乗用車が中央分離帯を越えてきて、被災者の運転する車両に衝突した。	40301	17	10～ 29
2017	4	10 ～ 11	事業所内のT字路において、トラックの後進誘導を業務とする警備員の被災者は、近接する休憩所において休憩していたが、T字路から後進してきたトラックを見た被災者は、これを誘導するため、急いで休憩所を出た。被災者が車道に入ったところ、前進走行してきた別のトラックに激突され被災した。	170201	6	1～9
2017	4	8 ～ 9	配送先の敷地内で、商品納入のため、荷下ろし作業を行っていたところ、2トントラックの荷台から墜落し、頭部を負傷（頭蓋骨陥没）し、死亡した。	80109	1	10～ 29
2017	4	2 ～ 3	荷物を運搬するため、自動車道下り線を走行していた被災者（死亡者）の運転する大型トラックが、対向車線にはみ出し、除染作業で生じた汚染土壌を積み込むため走行中のダンプトラックと正面衝突した。	40301	17	10～ 29
2017	4	16 ～	被災者は、水道管の撤去工事現場で、傾斜面（下り勾配）の道路に駐車していたトラックの荷台の後側に立って、同僚労働者1人とともに、工事で使用した器具をトラックの荷台に積込み中、突然、トラッ	30110	1	1～9

		17	クが後退をはじめ、トラックの左右に退避したが、被災者は巻き込まれてトラックとともに転落し、横転したトラックの下敷きになり、死亡した。			
2017	5	14 ～ 15	廃棄物埋立処分場において、産業廃棄物を積んだダンプの後方でダンプの誘導作業を行っていた被災者が、ダンプのあおりと荷台の間に頭部を挟まれた。負傷後、治療を受けていたが死亡した。	150102	7	1～9
2017	5	6 ～ 7	病院廃棄物保管庫にて、廃棄物（ダンボール）を収集するためゴミパッカー車を駐車し車輻を降りた際、駐車した場所が緩やかな下り勾配であったことから自走し、当該車輻を止めようとして前方に入り込んだが、そのまま押されて、感染性廃棄物保管建屋と自走した車輻に挟まれた。	150102	6	50～ 99
2017	5	4 ～ 5	被災者は4 tトラックを運転し、配送終了後、自動車道を利用し荷主側の配送センターに戻る途中、上りのパーキングエリアに進入した際、入口付近の路側帯に駐車していた大型トラックに追突し、被災した。	40301	17	50～ 99
2017	5	12 ～ 13	被災者は自社で修理を行う発電機を、受注先で中型貨物自動車に積み込み帰社途中に、渋滞最後尾のダンプカーに衝突し「多発損傷」により死亡した。	11709	17	1～9
2017	5	12 ～ 13	事業場敷地内の駐車場において、被災者が当日の勤務を終え帰宅するため、自家用車の駐車場所に向かっていたところ、荷物搬入口に駐車しようとしていたトラックにはねられた。	80209	17	100 ～ 299
2017	5	12 ～ 13	出張作業。主要取引先のイベントが終了し、後片付け後、被災者は貨物自動車の荷台のテールゲート端の支柱に腰掛けるように乗車していた。貨物自動車が左カーブに接した際、アスファルト舗装された外周道路に落下し頭部を打撲した。	80209	1	1～9
2017	5	14 ～	玉切りした木材を単独でフォワーダに積み込む作業中、積み込んだ木材の上又はフォワーダの荷台から墜落した（目撃者がおらず、フォワーダの脇で倒れているところを第三者に発見されたため、推測である。	40301	1	1～9



		15	る)。			
2017	5	14 ～ 15	建設工事現場で作業を終え、労働者3名が社用車で事業場事務所に移動中、国道で被災者らが乗る社用車が反対車線にはみ出し、反対車線を走行中のダンプと衝突した。死亡した被災者は後部座席に乗りしており、シートベルトは装着していなかった。運転していた労働者は意識不明の重体、助手席に乗っていた労働者は打撲の軽傷で休業していない。	30201	17	10～ 29
2017	5	12 ～ 13	資材置き場において、被災者はトラックの右後輪に挟まれて死亡した。	30110	7	1～9
2017	5	16 ～ 17	資材置き場において、被災者はごみ集積場所から手押し台車を押して倉庫に戻る途中であった。同時に同敷地内に事務所のある姉妹会社の社員が被災者の近くにあった3トントラックの運転席に乗り込み後進したところ、歩いていた被災者に気づかず巻き込んだ。	30106	18	50～ 99
2017	5	14 ～ 15	荷主先にて、被災者と代表取締役の2名により、構内に設置された天井クレーン（定格過重4.8t）を使用して、鉄骨をトラック（最大積載量19.8t）に積載したのち、被災者は荷台の鉄骨の上から地面に降りようとしたところ、姿勢を崩したため約2メートル下の地面に墜落したのち、積荷の鉄骨が落下した。被災者は、保護帽（飛来落下物用）と保護靴を着用。トラックの荷台に墜落防止設備、安全带取付設備はなかった。	40301	1	1～9
2017	6	0 ～ 1	下り車線の走行において、インターの降り口のカーブに差し掛かったところ、曲がりきれず横転した。	40301	17	50～ 99
2017	6	0 ～ 1	最大積載量13.9トンの貨物自動車で行中、事故のため停車していた別事業場の貨物自動車に追突し、被災した。被災者が運転する貨物自動車は、約5トンの雑貨等を積載して配送中であり、ブレーキを	40301	17	30～ 49

			かける様子もなく、追突した。			
2017	6	12 ～ 13	被災者は配達作業に従事していたところ、国道において、渋滞停止中のトラックに追突し、救急搬送されたが、死亡が確認された。	80109	17	10～ 29
2017	6	4 ～ 5	被災者は当日午前3時50分に点呼を受け、コイルを運搬するためトレーラーで事業場を出発した。午前5時頃、走行中、交差する市道を走っていたワゴン車と出会い頭に衝突し、トレーラーは横転した。この事故でトレーラーを運転していた被災者は全身を強く打ち死亡した。	40301	17	10～ 29
2017	6	8 ～ 9	トラックに荷物を積み込み、国道下り線を走行中、被災者の運転するトラックがガードレールに激突した後、7メートル下の山林に転落した。災害発生現場は緩やかなカーブの下り坂が続く場所であった。	40301	17	10～ 29
2017	6	4 ～ 5	乗務前の点呼後に、車内の煙草の吸い殻を捨てようと貨物自動車の運転席から降り、事務所前の吸い殻入れに向かって歩いていたところ、サイドブレーキを降ろしたままの状態であったため当該車両が動き出し、これを止めようとして車両の前に回り込んだところを当該車両に轢かれた。	40301	7	1～9
2017	6	2 ～ 3	被災者は12トントラックにて運行中、乗用車との接触事故を発生させ、その後、トラックを下り高速道路上にて、事故の相手方の怪我の有無の確認、二次災害防止措置を行っていたところ、後続より走行してきた14tトラックにはねられ死亡した。	40301	17	10～ 29
2017	6	2 ～ 3	被災者は取引先へ鋼材を輸送するため、深夜1時頃に所属事業場の倉庫を出発し、国道上り線を走行している際に、運転中のトラックが中央分離帯のガードレールに接触し、横転しながら対向車線に飛び出し仰向けの状態で停車した。被災者は病院に搬送されたが、まもなく死亡が確認された。	40301	17	10～ 29
		14	被災者は最大積載荷重20tダンプを運転し、自社採石場内の採石場から同場内の砕石プラントまで採石を運搬していた。午後3時過ぎ、			

2017	6	～	採石場で、同僚が運転するドラグショベルで採石を積み込んだ後、約15	20201	1	10～ 29
			10m前進したところでダンプ右前輪が作業路路肩から落ち、ダンプごと約21m下の斜面下に転落した。			
2017	7	10～ 11	建設工事現場にミキサー車でモルタルを荷卸し後、ミキサー車後方の高さ2.65mのステップ上で、現場で余ったモルタルをミキサー車に戻す作業を行っていたところ、しばらくして「ドン」という音がし、鉄板上に仰向けの状態で倒れている被災者を発見した。なお、被災者は一人で作業しており、現認者はいない。また、保護帽は着用していたものの、安全帯は着用していなかった。	10901	1	10～ 29
2017	7	6～ 7	被災者は、土砂を運搬するダンプトラックの運行経路上で、ダンプトラックに背を向けて立っていたところ、後退してきたダンプトラック（最大積載量11t）の左後輪に轢かれた。	30109	7	1～9
2017	7	14～ 15	夕刊の配達に行くため、50CCの原付バイクで店を出て、1軒目に向かう途中の交差点で、赤信号を無視したダンプカーと衝突した。	80205	17	30～ 49
2017	7	18～ 19	被災者は、荷主先から自社に向けて3.7トン積みのトラックにより走行中、後続のトラックから追突された。その際、被災者の運転していたトラックは運転席側を下に横転し、全身打撲により死亡した。	40301	17	30～ 49
2017	7	0～ 1	パーキングエリア内において、交通事故相手会社の労働者が運転するトラックが停車（駐車スペースではなく、通路部分）していたところ、被災者が運転するトラックが追突し、被災者が死亡した。	40301	17	10～ 29
2017	7	8～ 9	解体の作業場から撤去した机や機材等を午前8時より、被災者含む作業員5名で4トントラックに積み込む作業を開始。8時30分ごろ、元請の作業員がトラック後方に仰向けに倒れていた被災者を発見し、救急車にて医療機関へ搬送された。搬送先の医療機関で処置後、被災者自身で自宅近くの医療機関でも受診。その後、帰宅し就寝。翌朝方、容態が急変し死亡した。	30209	1	30～ 49

2017	7	14 ～ 15	被災者は、倉庫内において、家畜の餌となる飼料用パン粉を搬送用ダンプの荷台に積込む作業をする際、高さ3.5m、幅0.3mの荷台枠上で、荷台を覆っていたシートを外す作業をしていたところ、地面に墜落し、頭部を強打したことによる外傷性くも膜下出血により死亡した。被災者は保護帽を着用していた。	40309	1	30～ 49
2017	7	4 ～ 5	新聞配達員である被災者は業務用の原動機付き自転車を運転し、朝刊の配達途中に、信号機のある交差点を北側から直進したところ、交差点を東側から直進してきた酒気帯び運転の軽トラックと衝突し、そのまま交差点から西側へ300m程先まで引きずられ、全身打撲により死亡した。	80205	17	10～ 29
2017	7	0 ～ 1	高速道路の電気設備保全管理工事において、走行車線約1450mの車線規制を行うため、発煙筒、点滅灯、カラーコーン等を順次設置していたところ、規制作業中の車線を走行してきたトラック（2.75t）が標識車（4t）に激突し、現場管理員として規制作業を管理していた被災者が当該標識車に激突され死亡した。	30301	17	1～9
2017	7	22 ～ 23	構内において、被災者が休憩を終え休憩所から荷降ろしのためにトラックが発着するエリアを横断し、作業場である食料品倉庫に向かう途中、同倉庫前で立ち止まっていたところ、運送会社の運転手が運転するバック走行中のトラックに轢かれた。	40301	7	50～ 99
2017	8	2 ～ 3	オートバイで新聞（朝刊）を配達中、被災地交差点にて、信号が赤になったため停車した。被災者の後方には、トラッククレーンが停車した。信号が青となり、後方のトラッククレーンが発車した際、被災者のオートバイに気付かず、追突した。	80205	17	100 ～ 299
2017	8	10 ～ 11	被災者は、4トントラックにて片側2車線の国道の追い越し車線を走行中、後方から走行してきた別のトラックに追突され、外傷性ショックにより死亡した。	10805	17	100 ～ 299
		4	トラックで食料品を輸送し、当該トラックに備え付けられたリフトを用いてスーパーマーケットに荷を搬入するという作業を被災者が単独			

2017	8	5	で行なっていたところ、当該リフトのストッパを使用していなかったために、荷（約200kg）とともにリフトから地面に落下し、そのまま荷の下敷きとなっていた被災者が発見された。	40301	1	50～ 99
2017	8	6 7	IC付近で被災者、同僚及び警察官2名が、事故を起こした軽自動車の事故処理を行っていた際、警察官が行う交通誘導に気付かず、大型トラックが追越し車線をそのまま走行し、警察官はコンクリート壁側に逃げたが、被災者がトラックに轢かれ死亡した。また、社有車の助手席に乗車していた同僚労働者が負傷した。	170209	17	10～ 29
2017	8	18 19	被災者が業務を終えたため1人でトラックを運転して事務所へ戻っていたが、予定時刻を過ぎても事務所へ戻らないため代表取締役等が作業場所へ様子を確認しに行ったところ、作業場所付近の道路上で被災者が運転していたトラックがガードレールに沿って停車しており、被災者がガードレールの側に倒れていた。ガードレールにはトラックが接触した痕跡があり、被災者の衣類にもガードレールに擦れた痕跡が認められた。	30107	17	1～9
2017	8	6 7	建設業店社から当日の工事現場に向けて、トラックにて移動中に交通事故が発生した。台風接近中の中で、道路冠水部分にタイヤを取られ運転操作を誤り中央分離帯を乗り越え、対向車線の乗用車と衝突した。	30202	17	1～9
2017	8	22 23	大型トラックで高速道路を走行中、走行車線の路肩にはみ出した後、追越し車線と走行車線との間を蛇行し、安定性を失って車両が横転した。その際、運転者及び同乗者が車外に投げ出された。	40301	17	100 ～ 299
2017	8	22 23	大型トラックで高速道路を走行中、走行車線の路肩にはみ出した後、追越し車線と走行車線との間を蛇行し、安定性を失って車両が横転した。その際、運転者及び同乗者が車外に投げ出された。	40301	17	100 ～ 299
2017	8	6	トラックに貨物を積み納品先へ向かい配送がすべて終了しトラックターミナルへ向かい到着した。その後、乗務点呼を行ったあと休憩を	40301	17	30～

		7	せず、遠方へ向かっていたところ高速道路で渋滞中の車列の3台に追突し、搬送先の病院で死亡した。			49
2017	8	2 ～ 3	業務が終了し、事業場駐車場にトラック（4 t 箱車、マニュアル車）を駐車する際、目視でトラック周囲を確認するため、トラックから下車した。直後、トラックが前進し、それを止めようとした運転者が、トラックにひかれた。	40301	7	30～ 49
2017	8	8 ～ 9	災害発生当日は、午前6時30分から一般住宅の浄化槽の清掃作業を同僚と2名で行っていた。数件の作業を終えて次の作業場所に移動するために公道上に停車していたバキュームカーを同僚が前進させたところ、「止めてくれ」と被災者の声がしたため、バキュームカーの左前方の確認を行ったところ、轢かれた状態の被災者を発見した。その後、搬送先の病院で死亡した。	150109	17	1～9
2017	8	14 ～ 15	被災者と運転手の2人で貨物自動車（車体の形状：ダンプ、最大積載量：2トン）を用いて、町内の資源ごみ（古着、ペットボトル、空き缶）を回収。プラント内で計量終了後、車体後方のあおりを下げた古着置場で古着を荷卸しした後、ペットボトル置場に移動するため、被災者を貨物自動車の荷台に乗せて、あおりを下げたまま時速5 km程度で50 m程度移動したところで運転手がミラーを確認したところ、被災者が墜落していた。	150103	1	10～ 29
2017	8	14 ～ 15	被災者は堆肥の製造のため、トラックの荷台に堆肥の材料を積み、穴（縦5 m横3 m深さ4 m）に当該材料を搬入する作業を一人で行っていたが、トラックが当該穴に転落し、被災者が運転席で心肺停止の状態で見られ、その後、搬送先の病院で死亡が確認された。	11709	1	1～9
2017	8	14 ～ 15	衛生施設組合敷地内の道路において、粗大ゴミ回収の貨物自動車（ダンプトラック、最大積載量1.45トン）の荷台に労働者2名が乗車していたところ、右折する際に、被災者1名が荷台に積んであったテレビボードと共に荷台後方から転落した。	150103	1	1～9
			上り線を走行していた2トントラック運転手が、追越車線を規制			

2017	8	8 ～ 9	(テーパー設置)のため、矢印版を設置していた保安員を、はね、その後、標識車へ追突し、死亡した。はねられた保安員は、大腿骨、骨盤骨折の重傷、標識車に乗っていた保安員は、右肩打撲の軽傷。	10902	17	30～ 49
2017	8	4 ～ 5	被災者が荷の配送のため大型トラックを運転して県道を走行中、交差点で、国道を西から走行してきた大型トレーラーと接触して重体となり、死亡した。	40301	17	30～ 49
2017	8	6 ～ 7	事業場に車で向かっていた際、被災者が運転していた13トントラックが別の交通事故によって渋滞、停車中の他社のトラックに追突し、被災者が首の骨を折り死亡した。	40301	17	1～9
2017	8	10 ～ 11	宅配先の前の道路にトラックを停車させ、宅配するためトラックから離れたとき、トラックが逸走し始めたので、止めようとして運転席に飛び乗ったものの、道路脇のコンクリート壁と宅配トラックとの間に挟まれた。	40309	17	10～ 29
2017	8	12 ～ 13	10tダンプの車検整備作業で、ヘッドランプ、ウインカー等のライトの点灯を確認するため、被災者が目視確認し、もう1名が運転席でライト点灯操作を行っていた。バックライトの確認をするため、被災者が当該ダンプの後方に立ち、もう1名がバックライトを点灯させるためギアをバックに入れた瞬間、当該ダンプが後方へ急発進し、被災者は当該ダンプの後方約3mの箇所に停車していた別の10tダンプとの間に頭部を挟まれた。	11701	7	10～ 29
2017	8	14 ～ 15	3tトラックを被災者が坂道に停車させた後に運転席から降りて坂を下っていたところ、当該トラック(無人)が逸走し始めたため、被災者はトラックを止めようとしたが止まらず、トラックと坂道の途中にある電柱の間に挟まれ、被災した。	30201	7	1～9
2017	8	2 ～ 3	被災者がトラックを運転中に何らかの理由により、道路の左側の側壁へ衝突し、その反動で中央分離帯に乗り上げて横転し、死亡した。	40301	17	50～ 99

2017	8	12 ～ 13	高速道路 I C 付近で、道路舗装補修工事中の作業者に大型トラックが突っ込み、作業員 1 人が脳挫傷で死亡したほか 3 人が頭蓋骨骨折等の重軽傷を負い、大型トラックの運転手が中傷を負った。	30106	17	30～ 49
2017	8	8 ～ 9	重機の整備を行っていたところ、下り坂を後進してきた散水車に激突され、重機と散水車との間にはさまれた。	150102	7	10～ 29
2017	9	4 ～ 5	高速道路を、トラックを運転中、中央分離帯に衝突後、側壁や中央分離帯に衝突しながら蛇行を繰り返す、料金所の手前左側にあるクッションドラムに乗り上げて停止した。被災者はシートベルトを装着していなかった。	40301	17	100 ～ 299
2017	9	10 ～ 11	歩道舗装工事現場において、被災者は交通誘導員として中央線付近で一般車両の交通誘導業務に従事していたところ、当該工事現場に隣接する事業場敷地内に駐車された無人のトラックが動き（前進し）だし、約 25 m 走行し、被災者を轢き、さらに 5 m 走行し停車した。トラックの駐車位置から被災者の作業位置までは最大 5 度の下り勾配になっている。	170201	17	10～ 29
2017	9	8 ～ 9	2 トントラック（冷蔵冷凍車）が走行中、トンネル内監査廊縁石にトラックの左側（前後不明）のタイヤが接触し、対向車線にはみ出し、対向車線を走行していた路線バスと正面衝突した。	40301	17	10～ 29
2017	9	4 ～ 5	構内の作業場に向かうために自転車で移動中、交差点を横断していたところ、直進してきたトラックと衝突して転倒し、そのままトラックの下敷きとなり、右後輪部で轢かれた状態で発見された。	150101	6	10～ 29
2017	9	12 ～ 13	営業で被災者 1 名が社用車を運転して片側 1 車線の高速道路を走行中、片側交互通行の規制中のため停車していた車 A、車 B の後ろに停車したところ、後方から走行してきたタンクローリー車に追突され頭部損傷により死亡した。	80109	17	10～ 29
2017	9	6	被災者は大型貨物自動車を運転し、走行車線を西向きに走行中、側溝へ左フロントタイヤが脱輪し、約 170 m 走行し、合流車線左側のモ	40301	17	10～



		7	ノレールの橋脚に正面から衝突した。			29
2017	9	16 ～ 17	道路舗装工事を行うため、片側1車線を規制していた。被災者は、交通誘導員として片側交互通行の車両を誘導しており、アスファルトを運搬してきた10tダンプの通行案内をしていたところ、当該ダンプとガードレールの間にはさまれ、後日死亡した。	170201	17	1～9
2017	9	10 ～ 11	道路維持工事の一環として、台風応急対策として農地沿いに設置していた小型土のうが不足したため、これをトラック（2t平ボディ）にて資材置き場に取りに行く途中、何らかの理由により反対車線側の路外（法面）まで逸脱し、案内標識に助手席側から衝突した。被災者ら3名はシートベルトを着用していなかったため、車外へ投げ出され、被災者は死亡し、他2名は休業4日以上となった。	30199	17	50～ 99
2017	9	6 ～ 7	被災者は大型ダンプトレーラーを運転して荷の集荷作業を行うため、荷主の事業場構内で、ダンプトラックを後進させて所定の位置に停車した直後、被災者は運転席から地面に転落して頸椎骨折により死亡した。	40301	1	50～ 99
2017	9	16 ～ 17	現場の完了検査立会いのため、朝7時過ぎに会社に出社し、書類等を準備し、会社の箱バンにて工事現場に向かった。現場での完了検査は終了し会社に戻る途中、対向車と正面衝突し死亡した。	30199	17	1～9
2017	9	10 ～ 11	県道バイパス工事の道路標識の取付け工事を行っていた現場で、工事車両を誘導していた誘導員が、隣の工事区間に土砂を運搬してきた10トンダンプの後進により轢かれて死亡した。	170201	6	10～ 29
2017	9	4 ～ 5	被災者が荷の積卸しのため14番バースにトラックを停車させて車両の後方に回ったところ、何らかの理由により車両が後ろに下がり、車両とホームとの間に挟まれ死亡した。	40301	7	30～ 49
2017	10	8 ～	工事現場から事業場へ戻る際の災害。2トントラックで片側2車線の緩やかな右カーブの高速道路の追越車線を走行し、走行車線に車線変更しようとしたところ、走行車線を走行中の10トントラックの右後	30106	17	30～ 49

		9	部に追突した。2トントラックの助手席側が大破し、助手席に乗っていた労働者が死亡した。なお、運転者に怪我はなかった。			
2017	10	16 ～ 17	高所作業車を使用して道路街路樹の剪定作業中、車道を走行していた10tトラックが、車道に出ていた高所作業車のブームに接触し、その衝撃で作業床に搭乗していた労働者2名の内1名が墜落により死亡し、他の1名は作業床内で負傷した。	30199	17	10～ 29
2017	10	12 ～ 13	積載荷重2トンのトラック（積載型トラッククレーン）に鉄板2枚（700kg）等を積載して幅4.2メートルの市道（最大15度の登り勾配）を後進していたところ、後輪が空転したのちトラックが前進し、トラックの右前面で誘導していた被災者が、トラックと擁壁の間に挟まれながら10.1m引きずられ胸などを強く打ち死亡した。	30106	17	1～9
2017	10	12 ～ 13	タンクローリを運転し、軽油の配達作業を行っていた。信号機のない交差点で、一時停止の標識があったが、一時停止せず交差点に進出し、左側から走行してきた乗用車と衝突した。	80204	17	30～ 49
2017	10	10 ～ 11	臨時的な食材の買い出しのため、被災者が自動二輪車で走行中、信号機のある片側2車線（南北方向については別途右折専用レーンがある）の交差点において、右折してきたトラックと衝突し、頭部を含めた身体全体を強く打ち、死亡した。	140201	17	1～9
2017	10	22 ～ 23	自動車運転者の運転する大型トラックが配送先から帰社する途中、運転操作を誤り、センターラインをオーバーし、反対車線を走行してきたトラックと正面衝突、双方の自動車運転者が死亡した。	40301	17	10～ 29
2017	10	16 ～ 17	採石場から自社に砂利をダンプトラックにて運搬中の被災者が県道を走行中、上り坂のカーブを直進してガードレールを突き破り下の市道まで転落して死亡した。	30106	17	10～ 29
2017	10	14 ～	被災者は、配送先で4tトラック（平ボディ）荷台から積荷のプラスチックボードを荷降ろし後、配送先のフォークリフトを運転するため、一旦トラックを数メートル前進させて停車し、運転席を離れて車両の横を歩行していたが、無人のトラックが前進して公道に出た	40301	7	50～ 99

		15	め、咄嗟に車両前方に回り込んで制止を試みたが、トラックと公道脇のコンクリート壁の間にはさまれ、死亡した。			
2017	10	2 ～ 3	災害発生場所において、被災者Aが運転するトラックは、東進していた。下り車線を西進していた相手方Bが運転するトレーラーが中央分離帯を乗り越え、被災者のトラックと衝突、炎上した。これにより、被災者Aは死亡。相手方のBも負傷した。当時の天候は雨。	40301	17	100 ～ 299
2017	10	8 ～ 9	柔軟剤の原料物質（液状）を運搬してきたセミトレーラー式のタンクローリーが、所定の荷卸し場に一旦到着、枕木の上に乗るため前進しようとしたところ、後部バルブを開けようとローリーの車台後部に乗っていた荷卸し作業員が車台から転落、ローリーの後部車輪に轢かれ死亡した。	10899	7	100 ～ 299
2017	10	14 ～ 15	ガス管の新設工事現場において、歩行者等の交通誘導員として現場に入っていた被災者が、現場作業を終えてバックしたダンプに公道上で激突され被災した。	170201	17	50～ 99
2017	10	8 ～ 9	公道において同僚社員が運転する2 t コンテナ車の後進を誘導していたところトラックと電柱との間にはさまれて死亡。	40301	17	10～ 29
2017	10	14 ～ 15	労働者Aは会社構内でヒアブと呼ばれる移動式クレーンを積載した20 t 貨物トラックを後方左側にバックしながら走行中、当該車両後方左側にあったプレス場の外部柱付近にいた被災者に気付かないまま走行し、当該車両後方左側のバンパー部分が被災者に激突した。その後、被災者が俯せに倒れたところに当該車両がバックで走行したため、被災者は当該車両に轢かれて負傷し、その後死亡した。	80109	6	10～ 29
2017	11	2 ～ 3	自社で伐採した木材を積んだ大型トラックを運転して配送先に向けて走行中、左カーブを曲がりきれず横転し、対向車線のガードレールを突き破って法面に転落し、全身を強く打って死亡した。	60201	17	10～ 29
		6	事業場の倉庫前面の公共バスにおいて、貨物搬入待ちのトラック1			

2017	11	～ 7	台を被災者（警備員）が誘導していたところ、トラックの左前部が被災者に接触し、その際に押し倒されるようにしてトラック左前輪でひかれて被災した。	170201	6	30～ 49
2017	11	～ 3	災害発生現場付近で自損事故を起こし、中央分離帯を乗り越え、反対車線上に停車していた大型トラックに、走行中の被災労働者が運転する中型貨物自動車（積載荷重4 t）が激突し、被災労働者が死亡した。	40301	17	30～ 49
2017	11	～ 7	キャリアカー（2段積み8台積載）に車両を乗せ、降ろしヤードに到着した。キャリアカーをダンプさせ下段より順に車両を降ろした。被災者は2段積み上部奥の最後の1台である軽トラックを降ろし中、軽トラックが突然動き出しその下敷きになった。	40301	7	50～ 99
2017	11	～ 11	除染業者より依頼のあった土砂を10 t ダンプで除染現場に運搬し、荷下ろし後、空車で会社に帰る途中、道路左側の縁石に接触し、その反動で右側の倉庫に接触後、左にハンドルを切り、左側の縁石を超え民家に激突した。	30106	17	50～ 99
2017	11	～ 11	安全施設等工事において片側交互通行の南側で交通誘導中、走行してきた2 tトラックに停止の合図を出したところ、2 tトラックが停車せず突っ込んできて、誘導員である被災者がはねられた。	170201	17	10～ 29
2017	11	～ 7	インターチェンジ付近において、被災者の運転していたトラックが、ガードレールや案内板に衝突、横転し死亡した。	40301	17	10～ 29
2017	11	～ 7	軽ワゴン車で現場に資材を運ぶため、会社事務所を出て走行中、左路肩から出てきた大型ダンプに追突した。	30309	17	1～9
2017	11	～ 3	現場で発生した残土運搬のため、残土を積載したダンプトラックで現場を出発し、受入先である指定廃棄場所に向かっていたところ、途中の高速道路上でダンプが横転して、ダンプ運転手である被災者が死亡した。	30201	17	10～ 29

2017	11	10 ～ 11	大型トラックに追突された。	10805	17	50～ 99
2017	11	6 ～ 7	被災者が西向きに走行中、何らかの理由により走行していた右車線から左に向きを変え、トラックの左前方が左側壁に衝突し、跳ね返されて右側壁に衝突し、死亡した。	40301	17	30～ 49
2017	11	14 ～ 15	道路の除草作業を行うに際し、被災者は、自らが運転していた貨物自動車（最大積載量2トン）を停車し、荷台に刈り取った草を乗せようと車両から降りたところ、車両が動き出したため車両を止めようとしたが、ガードレールと車両との間に挟まれ死亡した。道路の勾配は、約10度であった。	30199	17	1～9
2017	11	10 ～ 11	駐車場で、駐車場舗装繕工事が完了し次の現場に移動するためトラックを後進させた運転手が、トラックの後方でしゃがみ込んで携帯電話で通話していた被災者を轢いた。被災者は、営業所にいる上司に次の現場の所在地を確認していた。	30199	17	1～9
2017	11	2 ～ 3	被災者は、4トントラックを運転し荷主先で積荷を降ろした後、空荷で国道を通過して自社へ帰る途中、国道が右へカーブし、直進すると県道へ入ってしまう道路で、道を間違えそのまま直進、300m程先で突き当たりとなり県道が左へカーブしているが曲がり切れず、被災者が運転するトラックごと岸壁から海中へ転落し溺死した。	40301	17	30～ 49
2017	12	6 ～ 7	商店から100m（片側1車線のゆるやかな左カーブ）において、大型トラックが道路右側の法面に乗り上げて横転した。	40301	17	1～9
2017	12	2 ～ 3	大型トラックで前を走行していた大型トレーラーに追突し死亡した。	40301	17	10～ 29
		6	高速道路の舗装補修工事に伴う車線規制のため、被災者ら交通誘導員			

2017	12	7	が標識等の設置作業を行っていたところ、走行車線を走行中の大型貨物自動車（トラック）が路側帯に停車していた規制車両2台に衝突し、近くにいた被災者及び同僚をはねた。被災者は頭部損傷により死亡した。	170201	17	50～99
2017	12	16～17	被災者は水道施設での作業を終え、事務所に帰社するため、移動手段の原付バイクを運転し、交差点の脇道から右折した。同一方向を直進する大型トラックと衝突し死亡した。	170209	17	30～49
2017	12	10～11	事業主が所有するみかん畑内に設けられた作業道路において、被災者はみかん（15kg/箱×19箱）を積んだ軽トラックを運転し、下りこう配の作業道路を走行していたところ、運転操作を誤り、道路下の畑に車とともに転落し、死亡した。	60101	1	1～9
2017	12	18～19	路面の凍結により運転していたトラックがスリップし、温度計、ガードレール等道路工作物に激突した。	40301	17	50～99
2017	12	8～9	新聞配達員が自家用車の軽ワゴン車を使用して新聞の配達を行っていた途中に車ごと約3メートルの高さの川に転落し、死亡した。被災時は約10センチメートルの積雪があった。	80205	17	1～9
2017	12	8～9	荷物を搬送した後、帰社のため走行中、交差点に差し掛かったところで、信号待ちで停車していた大型トラックに追突した。	40301	17	10～29
2017	12	12～13	タンクローリー（積載荷重10トン）を用いて魚油運搬作業に従事していた被災者が、停車していたタンクローリー車内で休憩を行っていたところ、タンクローリーが車体前方方向に動き出した。車は敷地内を出て、敷地に面していた幅9.3メートルの公道を横断し、その端部の岸壁より海中へと転落した。	40301	1	1～9
2017	12	22～23	道路工事による車線規制が行われ渋滞していたところ、左車線最後尾の大型トレーラーに被災者が運転するトラックが追突し、被災者が死亡した。	40301	17	10～29

2017	12	2 ～ 3	被災者は出勤後、自分の配達分の新聞をリヤカーに入れ、自分の担当配達区域へ向かうため、車道左脇を移動中、後方から走行してきた2tトラックにはねられた。	80205	17	10～ 29
2017	12	8 ～ 9	被災者は、市道の脇に出された古紙を回収する作業中、徐行運転する古紙回収用の収集車両（ごみ収集車）の左後輪に腰をひかれた。路面は凹凸のある凍結路面で、車道と歩道の区別がつかない状況であった。	80109	17	1～9
2017	12	0 ～ 1	被災者は、取引先事業場（発荷主）において、ワゴン車に荷（内装材）を積み込み運転していた。途中、運転していたワゴン車のエンジンが故障し、車外に出て待機していたところ、ワゴン車に大型トラックが追突し、そのまま数十メートル引きずられ、ワゴン車の前方にいた被災者は、轢かれ、多発性外傷により死亡した。	40301	17	10～ 29
2017	12	2 ～ 3	走行中、対向車線にはみ出し、対向してきた大型トラックと正面衝突した。	40301	17	30～ 49
2017	12	12 ～ 13	木染橋耐震補強等工事において、掘削作業当日、残土を運ぶダンプカーと掘削用機械（ドラグショベル）に労働者が挟まれて死亡した。 ダンプカーを運転していた労働者がダンプカー停止後、一旦降車し、付近の清掃作業を行っていたところ、停止していたダンプカーが動き出してしまい、対向側から走行してくる掘削用機械に激突すると気づいて、慌てて止めに入ろうとダンプカーと掘削用機械の間に入ったところ、挟まれた。	30105	7	1～9
2017	12	6 ～ 7	高速道路において、走行車線を走っていた大型トラックが、バス停付近に停車していた大型トラックに追突。追突した大型トラックの運転席は大きく破損し、運転していたドライバーが死亡した。	40301	17	10～ 29
2017	12	14 ～ 15	被災者が軽トラックを運転し走行中、対向車線を走行していたトレーラーが横転し、下敷きとなった。	150103	17	1～9

2017	12	8 ～ 9	事業主と被災者2名でごみの収集を行い、環境センターでのごみの搬出を終え、センター内の洗車場において、被災者が高圧洗浄機を用いてパッカー車を洗車していた。事業主が電話のために一時的にその場を離れ、戻ってきたところ、パッカー車内部に巻き込まれている被災者が発見された。発見時、高圧洗浄機から水が出ている状態であった。	40301	7	10～ 29
2016	1	15 ～ 16	ガソリンスタンドで、ダンプトラックの車体にタイヤを取り付ける作業中、タイヤのチューブが破裂し、タイヤをホイールに固定するサイドリングが吹き飛び、被災者の頭部に激突した。	80204	15	1～9
2016	1	0 ～ 1	被災者は、トンネル内を、大型トラック（最大積載量14トン）にて走行中、同トンネルの非常口の点検作業による車線規制のため発生していた渋滞車列の最後尾の乗用車に追突、全身を強打し死亡した。	40301	17	1～9
2016	1	6 ～ 7	4トントラックを走行中、下りS字カーブでトンネル入口付近の側壁に衝突した。	40301	17	10～ 29
2016	1	8 ～ 9	工場から荷を積んだトラックを運転し、配送作業中。配送業者トラックヤードで一部の荷を下ろすため自動車道を走行している際に、前方走行中のトラックを追い越そうとして、当該トラックの右後方側面に接触し、弾みで中央分離帯及び路肩側壁に衝突してトラックが横転した。	10109	17	100 ～ 299
2016	1	20 ～ 21	荷主先に荷を降ろしたあと、事業場に戻る途中、停車していたトレーラーに衝突した。	40301	17	1～9
2016	1	5 ～ 6	トラック運転手の被災者がトラックの荷台のウイングを約30cm開いてステップに足を掛けて荷物を確認していたところ、被災者の足がウイングの閉ボタンに触れてウイングが閉まりアオリの間に頸部を挟まれて圧迫され窒息死した。	40301	7	1～9



2016	1	16 ～ 17	<p>終業時刻になっても被災者が事務所へ戻らないことを不審に思った同僚が、被災者を探すために作業場に行ったところ、採石場を車輛にて運行するための経路の路肩下に散水車が転倒している状態で発見された。その近くに被災者が車外に放りだされていた。</p>	20201	1	10～ 29
2016	1	5 ～ 6	<p>被災者は、高速道路をトラックにて走行中、前を走るトラックに追突し、被災者運転のトラックは追突されたトラックに押し出されるように高速道路左側側壁で停止したが、当該接触によりトラックの運転席側のドアが開かなくなったため、被災者は助手席側のドアから外に出たところ、高架下約20mの中州に転落し死亡した。</p>	40301	17	1～9
2016	2	6 ～ 7	<p>大型トラック運転中、対向車線にはみ出し、道路脇の標識の支柱に衝突し、外傷性出血性ショックにより死亡した。</p>	40301	17	10～ 29
2016	2	9 ～ 10	<p>積載荷重4トンのダンプトラックを運転し、緩やかな下り坂の林道を走行中、左側法面に衝突後、右側の林道路肩からダンプトラックごと斜面を約60m転落した。</p>	30199	17	1～9
2016	2	7 ～ 8	<p>雪の排雪作業を行うため、荷台を空の状態にして、ダンプトラック3台で片側1車線の国道を走行中、先頭を走行していた被災者のダンプトラックが右カーブに差し掛かった時、直進し路肩に立っていた電柱に激突。電柱に衝突したこと等によりダンプトラックが横転した。</p>	40301	17	1～9
2016	2	14 ～ 15	<p>道路工事現場において、自転車通行者を誘導していたところ、後進してきた工事車両のトラックにひかれた。</p>	170201	7	50～ 99
2016	2	9 ～ 10	<p>水路改良工事現場において、作業開始後、作業の進行に伴い4tダンプ車を傾斜路に停車させ、バックホーにて荷卸し作業中に停車していた無人の4tダンプ車が動き出し、交通誘導員の被災者がひかれた。</p>	170201	6	30～ 49
2016	2	6 ～	<p>顧客に養殖鯉の活魚100kgを2tトラックで配達後、事業場へ戻るため、県道を走行中、片側1車線の直線道路で、被災者が運転するトラックが横滑りし、道路左側の電柱に運転席側面から衝突。被災者</p>	80109	17	1～9

		7	は、頭部・胸部を負傷し、救急搬送されるも18時間後、搬送先の病院で死亡した。			
2016	2	15 ～ 16	研修終了後、研修場所から事業所へ戻るため、被災者は原付で走行中、トラックに接触された。被災者は転倒し、トラックの後輪に巻き込まれ死亡した。	130201	17	10～ 29
2016	2	4 ～ 5	積載量7tの箱形貨物自動車にて、高速道路を走行中、衝突事故により停止した車列に衝突し、全身打撲により死亡した。	40301	17	50～ 99
2016	2	13 ～ 14	13トントラック下部のリブにグリス（潤滑剤）注入作業を、被災者1名でトラック下部に潜り込んで行っていたところ、運転手が気付かずトラックを前進させ、被災者がタイヤに轢かれ死亡した。	40301	7	30～ 49
2016	3	15 ～ 16	被災者は、工業団地に向かってトラックで荷を運送中に、道路のセンターラインをオーバーし、対向車線を走行中のトラックと正面衝突した。	40301	17	50～ 99
2016	3	19 ～ 20	工事現場から、被災者は同僚と二人で残土を積載したトラック（最大積載荷重3t）で会社事務所へ立ち寄り、同僚を下ろした後、トラックを運転して資材置場へ向かう途中、車体左側が路肩の電柱に接触し、道路左側の田んぼに転落した際、車体が横転して車体右側（運転席側）が下になり、泥が運転席に流入したことにより窒息し、同日死亡した。	30199	17	10～ 29
2016	3	12 ～ 13	道路改良工事現場において、道路上で1人でGPS測量を行い、測量錐を打ち込んでいたところ、走行してきたダンプトラックに轢かれた。	30106	17	50～ 99
2016	3	12 ～ 13	被災者は生コン配送業務に従事する運転手で、午前の配送が終了し、昼食をとるため生コン車にカップラーメンをとりに行ったところ、運転席から降りようとして後ろ向きに墜落し頭部を地面に打った。その後、午後の配送を行ったが、頭痛のため病院へ向かう途中の交差点で	10901	1	10～ 29

			意識朦朧状態となり嘔吐した。病院へ搬送され入院していたが、脳挫傷のため死亡した。			
2016	3	9 ～ 10	取引先にアルミの納品を済ませ、会社への帰り道を4 tトラックで走行中、反対車線を走行中の大型貨物自動車は中央分離帯を乗り越えて飛び出してきた正面衝突をした。被災者は頭部外傷により1時間後に死亡した。	150102	17	1～9
2016	3	17 ～ 18	貨物自動車（バン）を運転して、マンション建設現場から事務所に帰社するため、国道を走行中、対向車線にはみ出し、対向車線を走っていた10トントラックと正面衝突した。	30201	17	1～9
2016	3	6 ～ 7	事務所より、社用車（軽四貨物自動車）を運転し、現場に向かっていた。途中の国道で、信号待ちで停車していた中型貨物自動車に追突、軽四貨物自動車はキャビン中央付近から出火炎上し、被災者は全焼した軽四貨物自動車の中から遺体で発見された。	170201	17	50～ 99
2016	4	10 ～ 11	被災者が大型トラック（A）を運転し高速道路を走行中、車線規制による渋滞最後尾で停止していた大型トラック（B）に追突し死亡した（追突された（B）の運転者は軽傷）。	40301	17	30～ 49
2016	4	10 ～ 11	積載型トラッククレーンからの荷卸作業に際し、後方を向いていたクレーンのブームを前方によけるために、職長がギアがバックに入っていると知らずにクレーン操作のためエンジンキーを回したところ、トラックが不意に15 cm程度後退した。その直後、トラックの後方で、後あおりが開いた状態で被災者が仰向けに倒れているのが発見され、被災者の胸部に水平な線状の痣が認められた。	30104	6	1～9
2016	4	10 ～ 11	被災労働者が、垣根の剪定作業により切り落とした枝葉の残骸を軽トラックに積み込み、川辺の斜面に廃棄するため、斜面に向かい軽トラックを後進させたところ、軽トラックごと斜面を転落して、川に沈没し、溺死した。	150103	1	50～ 99
2016	4	6 ～	被災者は本社において実施される研修に出席するため、自宅から本社へ出張した。その道中、自動車トンネル内で、他の事業場所属の労働	80202	17	10～

		7	者が運転する大型貨物車に追突された。			29
2016	4	5 ～ 6	被災者が運転する4 t 貨物自動車が、走行中、緩やかな上り勾配の左カーブでセンターラインをはみ出し、上り車線を走行してきた14 t 貨物自動車の運転席側に接触した後、後続の14 t 貨物自動車と正面衝突した。被災者運転の貨物自動車に同乗していた同僚労働者は足を負傷するも軽傷。	40301	17	10～ 29
2016	4	1 ～ 2	被災者はトラックで配達へ向かい、仕事を終え事業場へ戻っていたところ、片側1車線を走行中に対向車線を走行する乗用車と正面衝突し、被災者と乗用車を運転する両名が死亡した。	40301	17	1～9
2016	4	14 ～ 15	生コンクリートミキサー車の運転者が、生コン工場の洗車場において、生コンクリートミキサー車後部で横向きになって倒れていたところを発見された。病院へ救急搬送され入院していたが、翌日死亡した。	10901	1	10～ 29
2016	4	3 ～ 4	被災者は、4 t トラックを運転し、自動車道を走行中、道路左側に駐車中のトレーラーの荷台後部に追突し、死亡した。	40301	17	30～ 49
2016	4	9 ～ 10	被災者はトラック（最大積載量1.5トン）に当日配達予定の弁当が入った段ボールを積み込み後、段ボール箱を計数のために昇降していた際に、トラックの荷台（高さ85cm）又はトラックの後方のステップ（高さ28cm）から墜転落した。	10109	1	100 ～ 299
2016	4	15 ～ 16	資材置場内の道路上に散乱していた小石等を撤去するため、被災者は当該小石等を数か所に集め、順にトラック（2 t ダンプ）の荷台に積み込む作業をしていたところ、上り13%の勾配の道路を後進で上がってきたトラックに轢かれた。	30309	6	1～9
2016	4	7 ～ 8	被災者は、会社から工事現場に向かうため4トンダンプを運転中、緩い右カーブにおいて道路左側の路外にはみだし、約2m下で横転し頭を強く打ち死亡した。	30202	17	30～ 49

2016	4	15 ~ 16	被災労働者は、停車していた無人の貨物自動車（平ボディ、最大積重量2.45トン）に道板をかけて、ドラグショベル（機体総重量約3.1トン）を運転して積み込んだところ、当該貨物自動車が後退しはじめ、ドラグショベルとともに当該貨物自動車後方にあった法面を転落して、川に沈没し、溺死した。	30106	1	1~9
2016	4	0 ~ 1	被災者は給水管の移設工事現場において、片側3車線道路のうち1車線を交通規制して交通誘導業務に従事していたところ、土砂を積み込むために後退してきたダンプトラックと接触して仰向けに倒れ、同トラックの右後輪に右腰部を轢かれて被災した。	170201	17	30~ 49
2016	4	11 ~ 12	国道において、被災者は大型トラック（最大積載量14t、平ボディ、8tの鉄製トンネル用部材を積載）で片側1車線を走行中、高架のガードレールを突き破り約10m下の河川敷にトラックごと墜落した。その後、被災者は救出されたが外傷性心停止により死亡した。	40301	17	50~ 99
2016	4	0 ~ 1	被災者Aは、運行途中で燃料切れとなり、第一通行帯の路肩に停車した自社の別事業場所属の中型トラック（4t）に燃料を届け、運転手の被災者Bと給油及びエア抜きを終えて、中型トラックの前方に移動した際、同通行帯を走行してきた大型トラック（12t）の左前部が中型トラックの右後部に追突し、両車両が横向きになり道路を塞ぐ形となった。その反動で道路上に居て中型トラックと接触したAが死亡し、Bが重症を負った。	40301	17	1~9
2016	5	10 ~ 11	ガス管敷設工事で、片側一車線の北側車線を規制し、午前9時より作業を開始した。現場の東側のガス管を溶接するため、現場の西側の溶接機を積んだトラックと現場の東側のトラックを入れ替える際に、元請労働者がバックで溶接機を積んだトラックを移動中、このトラックを誘導していた被災者が轢かれ死亡した。	170201	6	10~ 29
2016	5	5 ~	被災者は大型トラック（積載荷重13.6t）に荷（12.3t）を積み、配送先に向かって会社を午前3時30分頃出発した。午前5時頃、国道を走行中、ゆるやかな左カーブを曲がりきれず、対向車線を	40301	17	1~9

		6	横切り、ガードレールを越え約3m下の田んぼに運転席側から落下した。			
2016	5	4 ～ 5	被災者がトラックを運転して国道を走行中、被災者のトラックが中央線を越えて対向車線にはみ出し、対向車線を走行していたトラックと正面衝突した（被災後入院加療中であったが死亡した）。	40301	17	30～ 49
2016	5	11 ～ 12	被災者は、回送する最大積載量2トンのトラックを運転して、回送先に向かっていたときに、交差点で赤信号のため停車しようとして減速していたトレーラーに追突した。	40301	17	1～9
2016	5	9 ～ 10	製品積み込み作業をバルク車上で行ってた際、積み込み作業が完了し、バルク車の槽の中を平らにするため、スコップを取りに、安全帯を外し運転席の方向へ移動したところ、途中にあるパラスクリュウコンベアに頭をぶつけ、バランスを崩し、バルク車から転落した。	40301	1	10～ 29
2016	5	3 ～ 4	被災者は、午前3時10分頃、荷主の配送センターへ配達を終えて、荷台には空かごを積み、帰社途中、県道を北上していたところ、県道が左へカーブしているところで、直進し、道路脇の電柱に衝突した。	40301	17	10～ 29
2016	6	4 ～ 5	被災者は、前日21時30分に出社後、中型トラックにより荷主先に向かい、荷物の積み込みを行った。その後、配送先のスーパー店舗に向かい、荷卸を終え、再び荷主先に戻るため、国道を走行していたところ、中央分離帯を超え、対向車線を走行中の大型トラック右側面に衝突した。衝突により、トラックは横転し、被災者は路上に投げ出され、頭部を強く打ったことにより死亡した。	40301	17	50～ 99
2016	6	3 ～ 4	被災者はトラックで走行中、追突注意の表示板を立ててあるコンクリートブロックに衝突した。	40301	17	10～ 29
2016	6	14 ～ 15	個人事業主が運転するトラックの助手席に乗り、足場部材を積み込むため資材ヤードへ向け走行中、交差点において、信号待ちをしていたトラックに追突した。	30209	17	10～ 29

2016	6	0 1	新聞印刷工場から新聞販売店へ当日の朝刊を輸送するため、3 t トラックで、片側2車線の走行車線を走行中、IC付近において、車体を追越車線右側、中央分離帯のガードケーブルに接触させ、その後、走行車線左側のガードケーブルを突き破って道路脇の法面に転落した。トラック運転手は出血性ショックにより死亡した。	40302	17	1～9
2016	6	6 7	被災者は、建設現場の盛り土用の土砂を運搬するため10 t ダンプトラックにて、採石場の構内の下り勾配の道を走行していたところ、突然被災者のダンプトラックの制動が不能になり、前方を走行していた同僚が運転するダンプに追突した。	40301	3	1～9
2016	7	15 16	下り坂（勾配3度）の右カーブで制限速度50 km/h箇所を走行中、左前輪及び左後輪が車線をはみ出し、道路左脇の縁石を超え、その後のハンドル操作で車体は車線内に戻ったものの横転した。	150102	17	10～ 29
2016	7	3 4	国道下り線において、大型トラック2台が衝突し、うち1台が高架橋上から約35メートル下の山林に墜落した後に、当該トラックが炎上し、運転席から死亡した労働者が発見された。	40301	17	10～ 29
2016	7	9 10	事業場から建設現場にトラックで向かう途中、路上にて、前方の路肩に停車していた工事車両に追突し、その反動で工事車両の斜め前方のいた車両にも追突した。	30309	17	1～9
2016	7	8 9	被災者が、事業場から社用車にて顧客訪問途中に、渋滞の為、高速道路上で停車していたところ、後方から走行してきたトラックに衝突された。	11709	17	100 ～ 299
2016	7	15 16	自転車で介護の利用者宅へ向かう途中、横断歩道にて横断していたところ、信号無視をしてきたトラック（10 tトラック）にはねられ頭部を強くうち、病院へ救急搬送されたが死亡した。	130201	17	30～ 49
2016	7	13	11時50分、林道開設工事現場内において、被災者は、土砂運搬のため、2 t ダンプトラックを運転して土砂掘削作業場所から1500メートル離れた路床盛土作業場所へ向かった。13時20分頃、同僚が、被災者が昼休み時間が経過しても土砂掘削現場に戻ってこなかった	30106	7	10～

		14	め、様子を見に行ったところ、林道から約11メートル（法面勾配40度）下にある当該ダンプの後部タイヤ付近で駆動機構に被災者を発見した。			29
2016	7	11 ～ 12	被災者は、同僚の運転するライトバンに同乗して作業現場へ向かう途中、信号機のある県道交差点を右折しようとしていたときに2トントラックに右側から衝突され死亡した。	30104	17	10～ 29
2016	7	12 ～ 13	液状の物質（重量17トン）を積載した大型トレーラー（最大積載量20トン）を被災者が運転し、国道を走行中、緩やかな右カーブに突入した際、道路に平行してトレーラーの進行方向左側を流れる河川内（約8.5メートル下）に転落し、転落の際、キャビンの天地が逆さまになり、河床の巨石にキャビンが激突し、運転席にいた被災者が押しつぶされた。	40301	17	50～ 99
2016	7	22 ～ 23	本社所有の普通貨物自動車を返却するため、事業場から本社へ向け、当該自動車を運転していたところ、赤信号で停止していた大型トラックに追突した。	80109	17	10～ 29
2016	7	11 ～ 12	自動販売機へ飲料を補充等する業務のため経路を走行していた業務用車両が電柱に衝突し、助手席にいた被災者が死亡、運転手が負傷した。	170209	17	30～ 49
2016	7	17 ～ 18	国道のトンネル内を大型トラックにて南に向かって走行中、対向車の大型トレーラーと正面衝突した。	40301	17	10～ 29
2016	7	19 ～ 20	出勤し、荷物を積むために道路を走行中トンネル内で左側壁に接触後、対向車線にはみ出し、直進してきた対向車と正面衝突した。	40303	17	30～ 49
2016	7	1 ～ 2	被災者は鮮魚を積み込み、国道（片側1車線）を走行中に、対向車線を走行していたタンクローリーと正面衝突し、被災者とタンクローリーの運転手の2名が死亡した。	40301	17	1～9



2016	7	1 ～ 2	被災者は塩酸をタンクローリーに積み込み、客先に向かって国道を走行中、対向車線を走っていた大型トラックがセンターラインをはみだして被災者の運転するタンクローリーと正面衝突し、被災者と大型トラック運転手の2名が死亡した。	40301	17	10～ 29
2016	8	13 ～ 14	被災者は、4トントラックを運転し、店舗に紙製品を配送した後、帰社するために道路を走行していたところ、渋滞のため停車していた最後尾のトレーラーの後部に追突し、被災した。	80109	17	10～ 29
2016	8	11 ～ 12	自動車道道上路上第1車線を時速70キロメートルで走行していたところ、前方の渋滞に気づくのが遅れ、追突寸前にブレーキを踏んだが、間に合わず前方の大型トラックに時速60キロメートルで追突した。	40301	17	50～ 99
2016	8	19 ～ 20	2トントラックで食材の配送に従事する労働者が、当該車両の後部と、金属製ポールとの間に頭部を挟まれ死亡した。被災労働者が配送先の駐車場で荷降ろし作業をしていたところ、当該車両が建物に向かって後退を始めたため、咄嗟にこれを制止しようとして車両の後部に入り込んだ結果、建物の車両衝突防止用のポールとの間に挟まれた。	40301	7	30～ 49
2016	8	2 ～ 3	被災者が4トントラックを運転し、事業場から大市場へ鮮魚を運送した後、高速を利用して事業場へ戻っていたところ、前方を走行していたトレーラーに衝突し、被災者が車内から投げ出された。	80109	17	1～9
2016	8	12 ～ 13	解体現場から廃棄物を処分場へ運搬する業務において、4tトラックを運転していた際に発生したもの。処分場での廃棄終了後、解体現場に向かうため国道を北進していたところ、交差点前にて赤信号のため前方に停止していたワンボックスカーに気づき、ワンボックスカーを避けるため左に急な進路変更をしたところ、左車線に停止していた10tトラックに追突し、脳挫傷により死亡した。	30209	17	10～ 29
2016	8	10 ～ 11	国道上において交通誘導員が誘導作業中、工事現場から国道に出た2tトラックに轢かれ死亡した。	170201	17	10～ 29

2016	8	13 ~ 14	被災者は、会社の休日に出勤し、盗難防止用にアウトリガーを張ったトラック（積載形トラッククレーン付き平ボディー）の洗車作業中、当該トラックを移動させるため、トラックのエンジンを掛けて降りた後、アウトリガーのスイッチを操作し、アウトリガーを上昇させ地切りしたところ、当該トラックが逸走し、隣に駐車していたトラックのキャビンと当該トラックのアウトリガーに挟まれた。	80109	6	1~9
2016	8	18 ~ 19	大雨で豚舎から溢れ出た豚の糞尿をバキュームカーで吸い出す作業をしていたところ、停車していたバキュームカーが後方に逸走し、当該車両と豚舎の壁にはさまれて窒息死した。	70101	7	1~9
2016	8	1 ~ 2	被災者は、河川の水量調査を実施後、同僚2名と共に社用車（ピックアップトラック）に乗車して移動中、台風による増水により約8メートル崩落していた橋台付近から車ごと川に転落した。同僚2名は自力で脱出したが、運転していた被災者が行方不明となった。警察、消防等による捜索活動が行われた結果、事故発生現場から数百メートル下流において遺体で発見された。	170209	17	100 ~ 299
2016	9	10 ~ 11	建設工事現場で土砂搬出のためダンプトラックで下り勾配の林道を走行中、幅員3mの左カーブでタイヤが路肩から外れ、ダンプトラックと共に崖下に転落した。	30101	1	30~ 49
2016	9	11 ~ 12	荷卸し先事業場の付近の道路上において、積荷である麦藁の上で、麦藁を覆っていたビニールシートを引き上げて畳む作業中、足を引っ掛けて約4m下のアスファルト路面に墜落、脳挫傷等により療養中であつたが、様態が悪化し死亡した。	40301	1	10~ 29
2016	9	13 ~ 14	被災者は2トン平ボディトラックで高速道路を走行中、後ろから来た4トントラックに追突され、前を走っていた大型トラックに衝突して横転し、被災者は救出後病院へ運ばれたが死亡が確認された。	40301	17	50~ 99
2016	9	18 ~	荷積みを行い、配送先への輸送作業中、県道にて、左カーブを曲がりきれず対向車線にはみ出し対向車と衝突し横転した。その際、運転席に閉じ込められ2時間半後に救出され、病院へ搬送されたものの死亡	40301	17	10~ 29

		19	が確認された。			
2016	9	4 ～ 5	被災者は、4トントラックを運転し、積荷を輸送していた。高速道路を走行中、本線前方を走行中のトレーラー（鋼材積載）が急ブレーキを掛け停車したところへ被災者の運転するトラックが追突し、心破裂により死亡した。	40301	17	10～ 29
2016	9	8 ～ 9	被災者は、同僚と会社から解体現場に向かうため、トラックを運転して高速道路の上り線を走行していた。トンネル内でトラックが、左側の縁石に接触し、その反動で対向車線にはみ出し、側壁に接触後、スピンして反対方向を向いた状態で、対向車線を走行して来た大型トラックが衝突した。トラックの運転士が死亡、同乗していた同僚、大型トラックの運転士が負傷した。	30202	17	10～ 29
2016	9	17 ～ 18	1. 5 tトラックに1枚約200kgの鋼製扉7枚を立掛けて積み込んだ。事業者が扉の倒壊防止の本締め用クランプを取り付けようとして仮止め用のL字型クランプを外した時に扉がバランスを崩して被災者のいる方へ倒壊した。被災者は頭部を負傷し、搬送先の病院で同日、死亡した。	11209	5	1～9
2016	9	12 ～ 13	被災者が最大積載量3.5tのバルク車を傾斜約8度の坂に止め、運転席から降りたところ、車が動き出し、キャビンとサイロの柱の間に挟まり死亡した。	70101	7	1～9
2016	9	7 ～ 8	被災者は、2tトラックを運転し、片側2車線の国道を走行していたが、中央分離帯を越えて反対車線で横転し、対向車と接触し死亡した。	30199	17	1～9
2016	9	5 ～ 6	被災者は早朝、自宅に迎えに来た同僚が運転する社有車の後部座席に乗り、会社に向かっていたところ、交差点を赤信号で進入してきたダンプトラックと社有車が衝突し、死亡した。運転していた同僚も休業した。	30209	17	1～9
		2	深夜高速バスのドライバー2名が運行中に車輛故障が発生したため、			

2016	10	～ 3	幅3 m程度の路側帯に大型バスを停車し、後方に三角板を置いて車外で故障箇所の確認を行っていたところ、後方からトラックに追突され、衝撃で動いたバスと道路側壁の間に挟まれて死亡した。	40202	17	50～ 99
2016	10	～ 3	深夜高速バスのドライバー2名が運行中に車輛故障が発生したため、幅3 m程度の路側帯に大型バスを停車し、後方に三角板を置いて車外で故障箇所の確認を行っていたところ、後方からトラックに追突され、衝撃で動いたバスと道路側壁の間に挟まれて死亡した。	40202	17	50～ 99
2016	10	～ 8	被災者は、個人農場で大根をトレーラーに積み込み、トラックを運転中、右カーブを曲がりきれずにガードロープを超えて約10メートル下の沢に転落した。	40301	17	10～ 29
2016	10	～ 23	被災者は片側交互通行の舗装補修工事区間の東端に立ち、西進車に徐行を促す誘導を行っていた。誤って西進しようとした軽トラックと誘導通り東進してきた自動車が衝突しそうになり、回避行動を取った西進中の軽トラックが被災者と接触、跳ねられた被災者は大動脈破裂により、搬送先の病院にて翌日死亡した。	170201	17	10～ 29
2016	10	～ 4	自動車道を走行中、センターラインを超えて反対車線にはみ出し、トラックと正面衝突し、本事業場の運転手1名及び他の事業場所属の労働者2名が死亡した。	40301	17	1～9
2016	10	～ 4	自動車道を走行中、所属のトラックが、センターラインを超えて反対車線にはみ出し、本事業場のトラックと正面衝突し、本事業場の運転手2名及び他の事業場所属の労働者1名が死亡した。	40301	17	10～ 29
2016	10	～ 4	自動車道を走行中、所属のトラックが、センターラインを超えて反対車線にはみ出し、本事業場のトラックと正面衝突し、本事業場の運転手2名及び他の事業場所属の労働者1名が死亡した。	40301	17	10～ 29
2016	10	～ 10	踏切で、受託先（地主）に米を配送するため軽トラックを運転し踏切を横断中、普通列車と衝突し、被災した。	60101	17	1～9

2016	10	9 10	コンベアピットに溜まっている土砂状の鉄鋼石を、4 tトラック（荷台上に3 t以下の鉄鋼石が積載）にて天日ヤードに運搬し、当該鉄鋼石を深さ3.35 mの深さのピット内に投入するため、輪留めがある箇所にダンプトラックを後進して停車しダンプアップを開始した。荷台上に一定量の鉄鋼石が残り、車両後部に重心が移動した際、車両前方が浮き上がり、後輪を軸として180度後方へ反転し、車両毎ピット内に転落した。	11001	1	10～ 29
2016	10	12 13	渋滞で停車中だった被災者が運転する中型トラックに大型トレーラーが追突し、その弾みで中型トラックが前方の大型トラックに衝突したため中型トラックを運転していた被災者が死亡した。	40301	17	30～ 49
2016	10	4 5	アイスクリームを積み込み配送先へ向かう途中、コンビニで買い物をしようと車両を止め、反対側の店舗へ行く為道路を横断中に、走行してきたトラックにはねられた。	40301	17	50～ 99
2016	10	4 5	被災者は大型トラックで自動車道下り車線（登坂、走行、追越の3車線構造）を走行中、乗用車が事故を起こし走行車線を塞いでいるのを発見した。被災者は事故車の先にある非常駐車帯に自車を止め、救護活動を行う旨会社に連絡し、事故車の所で発煙筒を炊くなど救護活動を行っていたところ、そこに後続の大型トラックが突っ込んできて被災した。	40301	17	30～ 49
2016	10	13 14	事業場から営業先に向かうため社有車を運転中、一時停止標識のある交差点において、右側から走行してきたダンプトラックと衝突した。	80409	17	1～9
2016	10	9 10	特別養護老人ホームの主に屋外の施設等の管理を行っている被災者が、事業場が保有する畑作業のために被災者の知人から借りたトラクターを返却するため、トンネル内をトラクターで走行中、後ろから走行してきたトラックに追突された。追突された衝撃でトラクターは走行方向左側のトンネル側面に、トラックは右側側面に衝突し、トラクター及びトラックの運転者2名が死亡した。	130201	17	50～ 99

2016	10	9 ～ 10	大型トラックで荷を運搬し、帰社する途中のトンネル内（片側1車線の上り線）において、前方を走行中のトラクターに追突、反動で反対車線のトンネル側壁に衝突し、頭部、胸部等を受傷し死亡した。	40301	17	30～ 49
2016	10	15 ～ 16	自動車整備士である被災者は、同社の整備工場内において、最大積載量10.5トンのトラックの左後輪部車軸に設置されているディスクローター（ブレーキ部品）を手持ち式グラインダーで研磨する作業を行っていたところ、当該トラックの車底に設置された回転中のプロペラシャフト（エンジンの動力を車軸に伝える部品）に巻き込まれ死亡した。	11701	7	10～ 29
2016	10	20 ～ 21	現場で足場解体作業を終え、2tトラックに3人乗車し自動車道を走行中、何らかの原因で車体左側前方がガードレールと接触。一人が死亡、他の二人は車外に投げ出され被災した。	30201	17	1～9
2016	10	12 ～ 13	被災者が事業場の資材置場より残土運搬のため8トンダンプトラックを運転中、追い越し車線に故障のため停車中の大型貨物自動車に追突し、死亡した。	170209	17	10～ 29
2016	10	14 ～ 15	事業場内にて、10tトラックに廃プラスチックの束（重量約480kg）をフォークリフトを使用し積み込んでいたところ、廃プラスチックの束がトラック荷台頂部に引っかかった。このため、被災者はトラック荷台頂部まで行き束の帯（番線）をニッパーで切断すると、廃プラスチックの束が崩れ、その勢いで被災者がトラック荷台から墜落した。	150102	1	30～ 49
2016	11	5 ～ 6	自動車道上り線の更新工事現場において、一般車両の交通誘導業務に従事していた被災者が、走行してきた4トントラックにはねられた。	170201	17	50～ 99
2016	11	11 ～	作業員8名で高速道路の路肩を特殊車両を用いて草刈りしていた。草刈りが完了したことから、車線規制を解除するため規制回収車の後方ステップ上で、作業員2名によりカラーコーンを回収していたところ、14トンの大型トラックが2トンの規制回収車に激突した。これ	30106	17	10～ 29

		12	により、作業員Aが死亡し、規制回収車を運転していた作業員Bが首に軽傷を負った。			
2016	11	15 ～ 16	高速道路下り線のサービスエリアの駐車場において、トラックの後部荷台にて商品の整理を行っていた被災者がサイドブレーキを引き忘れたため、トラックが後進し、気づいた被災者が荷台から降りたところ、後方に駐車していた大型トラックとの間に身体をはさまれ死亡した。	80109	7	10～ 29
2016	11	16 ～ 17	郵便物等の集荷作業のために軽四自動車を運転中に、交差点に進入したところ、右方から直進してきた大型トラックと出会い頭の衝突事故を起こした。	110101	17	100 ～ 299
2016	11	8 ～ 9	被災者の運転する生コン車（10t車）は、生コンクリートを運搬するため、生コン工場（荷主）を出発して建設工事現場（配送先）へ向かって直線道路を走行していたところ、アイスバンの路面でスリップして対向車線にはみ出し、路外逸脱した（単独の交通事故）。	40301	17	10～ 29
2016	11	17 ～ 18	被災者は本社に作業報告を行うため、第二工場の前の公道上を自転車で走行していたところ、後ろから軽トラックに追突された。	10409	17	10～ 29
2016	11	6 ～ 7	国道バイパスにおいて、被災者は、4tトラックで走行中、先の信号で停止していたトラックに追突し死亡した。	40301	17	10～ 29
2016	11	10 ～ 11	会社事務所から本件工事現場へ移動するため、トラックにて高速道路を走行中、前方で交通事故の車輛撤去作業をしていたレッカー車に追突し、運転していた被災者が下肢を切断して死亡、助手席の被災者が胸部等を負傷した。	30209	17	10～ 29
2016	11	15 ～ 16	被災者は、建築物の解体工事現場にて事業主とともにダンプのタイヤを洗浄する作業に従事中、ダンプの前方にて当該ダンプ前輪を洗浄していたところ、当該ダンプが発進したため、轢かれた。	30209	7	10～ 29

2016	11	11 ～ 12	被災者が営業活動後、高速走行車線を走行中、追越し車線の工事規制に伴う渋滞が発生し最後尾に泊まっていたところ、追越し車線を走行中の中型トラックが渋滞を避けるため車線変更し追突、はずみで被災者の乗用車が前方に停車中の大型トラックに追突し、2台のトラックに挟まれる形で3台とも炎上し、被災者が焼死した。	170101	17	100 ～ 299
2016	11	4 ～ 5	被災労働者が大型トラックを運転し、自動車道を利用し走行中、インターチェンジにつながるランプ線で、道路右側のガードレールに衝突した。	40301	17	50～ 99
2016	11	14 ～ 15	納品終了後、駐車場出口から左折して公道に出る際、放置自転車が邪魔になるので移動させようと被災者が下車したところ、車両が動き出した。被災者はこれを止めようとして車の下敷きとなり、胸部圧迫で窒息死した。	40301	17	50～ 99
2016	11	11 ～ 12	被災者がタンクローリー車で走行していたところ、何らかの原因でセンターラインを超えた状態のまま走行することとなり、対向車線を走行していた大型ダンプの運転手がセンターラインを超えた状態で走行しているタンクローリー車に気付いて、急ブレーキをかけて停車したが、タンクローリー車は時速約30～40キロメートルを維持したまま大型ダンプに正面衝突した。	80204	17	1～9
2016	11	23 ～ 24	被災者は、大型トラックを運転し国道上り線を走行中、融雪装置配管工事に係る車線規制により発生していた渋滞の最後尾にいた大型トラックに追突し死亡した。	40301	17	30～ 49
2016	11	15 ～ 16	被災者は、凍結防止剤散布車の修理点検を行っていたところ、車両後部にある凍結防止剤を投入するホッパー内下部にあるシャフト及びスクレーコンベアに右半身を巻き込まれた状態で発見された。	11701	7	30～ 49
2016	11	7 ～ 8	本社事務所からトラックにて現地へ向かう途中、街道にて路肩停車中のトラック右後部に追突し、助手席に乗っていた被災者が全身を強打した。	40301	17	10～ 29
			道路復旧工事で使用する材料の砕石を引き取るため、営業所車両置場			



2016	11	0 ～ 1	から工場に被災者のみが乗車し運転する車両（3 t ダンプ）で向かっていたところ、途中の高速道路上でスリップして中央分離帯及び路側壁に回転しながら激突し、車外に放り出され死亡した。	30106	17	10～ 29
2016	11	14 ～ 15	被災者が道路規制車を運転し、トンネル内を走行中、前方を走っていた当該事業場の別車両の荷台からクッションドラムの蓋（プラスチック製）が落下したため、当該蓋を避けようとしたところ、左側縁石に衝突して、その反動で対向車線にはみ出し、対向してきた大型貨物自動車と正面衝突した。	170201	17	10～ 29
2016	11	6 ～ 7	町道において、被災者が運転する軽トラックとワゴン車が正面衝突し、衝突後、軽トラックは約4.2 m下の河川敷に転落した。被災者は病院に搬送されたが、間もなく死亡した。	80109	17	1～9
2016	12	6 ～ 7	被災者は、トラックを運転し、配送先に向け、国道を走行していたところ、右カーブで対向車のトラックが中央車線をはみ出してきて、左側に避けようとしたが避けきれずに衝突し被災した。	40301	17	30～ 49
2016	12	6 ～ 7	被災者は、事業場より家畜運搬車を運転し、荷主先に向かって国道を走行していたところ、凍結路面の左カーブで対向車線にはみ出し、対向してきたトラックと衝突し被災した。	40301	17	10～ 29
2016	12	8 ～ 9	被災者は同僚を乗せ、トラックを運転し、事業場から塗装工事現場へ向かっていた。被災者は、国道の緩やかな左カーブを走行後、ふらつきながら中央線をはみ出し、対向車の大型トラックと正面衝突した。被災者は脳挫傷により死亡。	30309	17	10～ 29
2016	12	12 ～ 13	最大積載荷重4トンのトラックが解体作業で出たスクラップ資材を積み込むため、バックで現場敷地内に入ってきたところ、現場敷地内車両入場口付近で横になっていた被災者が左後輪で轢かれ、被災した。	30309	7	1～9
2016	12	0 ～ 1	10 t トラックを運転し、営業所から荷卸先へ向かって、高速道路を走行中、橋梁工事に伴う渋滞により減速した前車に追突し、運転席にはさまれた。運転席から救出され、入院加療中であったが、災害当日	40301	17	30～ 49

			に容体が急変し、死亡した。			
2016	12	5 ～ 6	高架橋床版修繕工事現場へ向かうため、会社事務所から会社所有のライトバンにて移動中に交通事故を起こしたものの。交差点にて右折のために並んでいた車列を右側から追い抜こうとしたところ、右折中の車に接触して排水路に転落し、助手席に乗っていた被災者が水死した。	30199	17	10～ 29
2016	12	4 ～ 5	自動車道下り線を走行していた被災者運転の大型トラックA（最大積載量8. t）が、走行車線を減速運転中の大型トラックB（最大積載量13. 2 t）の後部に追突した。この事故で、トラックAの運転者が死亡、トラックBの運転者が休業した。	40301	17	10～ 29
2016	12	7 ～ 8	配送のため、軽貨物車を運転中、道路脇の立木に激突し、胸部を強打し、肺挫傷を負った。	80109	17	10～ 29
2016	12	16 ～ 17	自社倉庫内の資材整理作業を終え事務所に戻る途中、幅4 mの直線道路を下っているとき、凍結路面によりスリップし、道路右脇にある電話線引込柱に運転席ドアをこすりながら法面に乗り上げた。法面に乗り上げた衝撃で車は止まったが、止まった時の衝撃でハンドルを胸部に激突し、腎挫傷・肋骨骨折・肺気胸による出血性ショックで死亡した。	30199	17	10～ 29
2016	12	0 ～ 1	被災者は20時頃、トレーラーにH鋼27トンを積み、運送を開始した。午前0時頃、緩やかな右カーブでトレーラーが横転し側壁に運転席が激突した。	40301	17	30～ 49
2016	12	8 ～ 9	被災者は、建設工事現場に向かうため、つり上げ荷重25トンのラフタークレーンを運転していたところ、対向車線からはみ出したダンプトラックが運転席に衝突した。	30105	17	1～9
2016	12	8 ～	被災者は倒木等の撤去を行うため、事業場から現場まで2トントラックを運転していた。交差点を過ぎた片側2車線の緩やかな下りカーブで、被災者が運転する2トントラックが、前方追い越し車線を走行しているトラックを走行車線から追い越し、追い越し車線に進入したと	30106	17	30～ 49

		9	ころ、そのまま中央分離帯を乗り上げ、対向車2台と衝突し、1.5m下の側道に転落し、ガードパイプに衝突した。			
2016	12	11 ～ 12	被災者は、会社敷地内の除雪作業を単独で行っていた同僚に合流し、排雪作業を手伝うことにした。1回目の排雪作業で漁港内をトラックで走行中、誤って海にトラックごと転落した。被災者は、漁港内を浮いているところを発見されたが、溺死した。	40301	17	10～ 29
2016	12	5 ～ 6	中型トラックに乗って商品の積み込み先へ向かっている際、かなりのスピードを出して赤信号を無視して通過し、緩やかな左カーブを曲がりきれず、反対車線をはみ出し対向車（大型トラック）と正面衝突した。	40301	17	50～ 99
2015	8	9 ～ 10	被災者は、建設工事現場において、ミキサー車からコンクリートポンプ車へのコンクリート供給の作業時に、ミキサー車を後進させ所定位置に停車させるための誘導の業務を行っていた。被災者は、ミキサー車を停車させた後に体調不良となり、ミキサー車前方の日陰部分に座り込んでいたところ、ミキサー車の運転手が被災者に気付かずに発車したため、当該ミキサー車に轢かれたもの。	10901	7	10～ 29
2015	6	9 ～ 10	高速道路において、工事規制帯内で橋台の隙間の測定（推定）していたところ、バック走行してきた2tトラックに轢かれたもの。被災者は、高速道路会社より委託を受け、施工管理を行うため、出張作業で工事現場に立ち入っていた。	170209	7	1～9
2015	5	9 ～ 10	工作機械を設置するため当該機械をトレーラーの荷台に載せ工場に搬入していた。当該機械の置き場所を調整するため一度工場内に入れたトレーラーを外に出そうとしたとき、当該機械の上にはいた被災者が工場の入り口上部と当該機械に挟まれた。	30302	7	10～ 29
2015	8	19 ～ 20	港から内陸の食品工場に大豆等の穀物を運送するため、国道を大型トレーラーで走行中、右カーブにさしかかったところで当該車両が横転し運転手が運転室内に挟まれて死亡。車両が横転した現場は、下り勾	40301	17	1～9

			配7%が約6.5km続く長い下り坂途中の右カーブであった。			
2015	7	3 ～ 4	トレーラーで高速自動車道上り線を走行中に前を走っていたトラックに追突し死亡したもの。	11709	17	50～ 99
2015	8	16 ～ 17	他県の病院で作業を終え、自宅に向かうため社用車のワゴン車を運転中、高速自動車道のトンネル内上り車線において、車線規制を知らせるための標識車両に追突し、停車していたところ後続車に衝突された。	170209	17	10～ 29
2015	4	6 ～ 7	被災者は、平成27年4月27日1時頃、出発し、高速道路を運転中、インターチェンジ出口付近において、トラックが横転し、死亡したもの。死体検案書の結果、直接死因は外傷性くも膜下出血であった。	40301	17	50～ 99
2015	6	2 ～ 3	大型トレーラーを運転中に、下り坂カーブを曲がりきれずにガードレールを突き破り、約40m下の県道に転落し炎上したもの。6月28日午後2時に事業場を出発し、近畿地方の港で荷を積載して、翌日午前9時までに関東地方に所在する事業場に荷を届けることとなっていた。高速道路の使用が認められないことから、一般道で目的地に向かっていただけと推定される。	40301	17	10～ 29
2015	10	13 ～ 14	大型タンクローリーでレギュラーガソリン等を運搬中、高速道路インターチェンジの料金所から、下り本線に合流する緩やかな上り坂の左カーブを曲がりきれず、右側のガードレールに衝突して横転した。	40302	17	50～ 99
2015	1	10 ～ 11	被災者の運転する4トントラックが、高速道路上り線の走行車線を走行中（追い越し車線は工事のため通行規制されていた）、工事渋滞中の最後尾の車に衝突。当該衝突により、最後尾から数えて合計3台の車両が玉突き事故に巻き込まれた。被災者が運転する車両は衝突後炎上し、同人は全身火傷のため死亡。上記3台の運転者の負傷程度は軽度の打撲	40301	17	10～ 29
			国道下り線（片側3車線）において、中央側の各1車線を規制し、中			

2015	2	1 ～ 2	中央分離帯の補修工事を行っていたところに、大型トラック（最大積重量13.8t）が突っ込んだ。事故に巻き込まれ、土木作業員1人が死亡したほか、交通誘導員3人、クレーン運転士、トラック運転手が被災した。	30106	17	1～9
2015	9	9 ～ 10	被災者は、15トントラック（平台車）で荷物積み込み先に到着し、荷物の積み込みを完了して出発したが、通常走行経路であれば右折する交差点を直進し、突き当りの工場の門扉を突き破って建物外壁に衝突したものの。	40301	17	10～ 29
2015	6	10 ～ 11	荷（冷凍食品）の入庫後、時間が経過しても出発しないトラック（4t冷凍車）を不審に思った荷受け担当者が、トラック後部とプラットホームに挟まれている被災者を発見した。発見時、トラックの後部扉（観音開き）は開いたままの状態。入庫時のトラック停車場はプラットホーム側が下がる3度の傾斜がついている。	40301	7	30～ 49
2015	11	22 ～ 23	荷物を積み込み、高速自動車道を走行中、低速車を追い越し、走行車線に戻ったところ、路肩から走行車線にはみ出して停車していた故障車の右後方に追突し、ハンドルと車の間に挟まれた。	40301	17	100 ～ 299
2015	5	13 ～ 14	被災者は、木造家屋解体現場で発生したがれき等の産業廃棄物を4tトラックで中間処理施設に運搬し、廃棄物の荷降ろしを終えた後、トラックを近くの路肩へ移動し停車させ、トラックの後板（あおり）持ち上げて固定しようとしていたところ、後板を持ち上げ損ね、倒れた後板が被災者の身体に激突し、被災者はその場に転倒した。病院へ搬送されたが、翌日（5月31日）に死亡した。	30202	6	1～9
2015	2	11 ～ 12	敷鉄板（幅1.5m、長さ6m、厚さ2cm、重さ1.6t/枚）13枚の撤去を行うため、移動式クレーンを用いて20t級の重ダンプの荷台上で積込作業を行っていたところ、荷台が起き上がり、荷台上の作業員が飛ばされ、ずり落ちた敷鉄板上に転落した。ドクターヘリで病院へ搬送されたが、約12時間後に死亡した。被災者は保護帽を着用していたが、墜落時には外れていた。	30101	1	1～9

2015	9	13 ～ 14	商品の配達先において、トラックの荷台からビールケースを持って後ろ向きに下りる際に、後方に転倒して、地面に頭部を打ち付けた。	80201	2	50～ 99
2015	8	11 ～ 12	取引先へ竹輪を運ぶため保冷車（1.5トントラック）を運転中、広域農道のカーブに差し掛かった時、対向車の2トントラックが中央線を越え、対向車線にはみ出してきて衝突し、出血性ショックにより間もなく死亡したもの。	10102	17	10～ 29
2015	5	11 ～ 12	4tダンプの車検整備において、荷台を上げて車体と荷台の間に入り荷台昇降用油圧ホースを交換する作業中、荷台を上げた後、ストッパーを1つ設置したが荷台を下げて固定せずに、油圧ホースを取り外したため荷台が下降し、ストッパーが衝撃で外れ、車体と荷台の間で作業していた被災者の頭部が挟まれ死亡したもの。	80202	7	10～ 29
2015	12	10 ～ 11	トラック（最大積載荷重12.8t）の荷台上で長さ4mに玉切りされた材をトビロを用いて整理していたところ、誤って荷台（高さ約2.4m）から墜落したもの。意識不明の状態で見送られたが約8時間後死亡した。なお災害発生時、保護帽は未着用であった。	10401	1	1～9
2015	5	20 ～ 21	研修出張中、研修を終えて同僚とともに宿泊先ホテルに向かう途中、青信号である横断歩道（交差点）を歩いていたところ、右折して進入してきたトラックにはねられ、全身打撲により平成27年5月22日13時30分に死亡したもの。	90103	17	300 ～ 499
2015	4	11 ～ 12	被災者は岩石採取場において、ドラグショベルを使用し、碎石を4tトラックに積み込み、2kmほど離れた本社へ運搬する作業を行っていた。岩石採取場から一般道へ通じる構内道を走行中、被災者は傾斜11度の離合帯付近にトラックを停車させ、エンジンをかけたまま降車した際に、トラックが逸走し轢かれたもの。	20202	17	10～ 29
		4	湖岸道路（県道）を走行していた被災者運転のタンクローリーと、逆方向へ走行していた軽自動車とが、川に架かる大橋の中央付近で衝突し			

2015	7	5	たもの。その結果、タンクローリーは、反対車線を越えて歩道に乗り上げ、更に橋の欄干を突き破り約15メートル下の川に転落した。タンクローリーは、先頭部が押しつぶされ、車内に取り残された被災者は溺死した。	40301	17	10～ 29
2015	9	5 6	被災者は自動車道下り線で大型トラック（積載荷重20トン）で走行中、前方のトレーラーに追突、トラックは停車し、被災者はキャビン内に閉じこめられた状態となった。その後、被災者は高速道路会社の担当者と携帯電話で会話をしていたが、突然応答が切れた。その後警察が被災者のトラックが2台の大型車両に追突され、被災者が車外に放出されているのを発見。	40301	17	30～ 49
2015	12	0 1	被災者は、トラックを運転中、交差点で横転し、中央分離帯に衝突し死亡した。	40301	17	10～ 29
2015	10	4 5	配送先の敷地内において、荷の下敷きになっている被災者が発見され、同日死亡したもの。災害時、被災者は積み荷をトラックから降ろす作業中であった。	40301	1	30～ 49
2015	4	12 13	被災者は1tトラックを運転し、配達中、トンネルの出口付近の緩やかな左カーブにおいて、中央線をはみ出し、対向のトレーラーと正面衝突し、外傷性ショックで死亡した。トレーラーの運転手は軽傷である。	80109	17	10～ 29
2015	10	6 7	港湾道路で、同僚と作業の打ち合わせをするため路肩に停車していた車両積載型移動式クレーンに4tトラックが追突した。この弾みで、被災者が車両積載型移動式クレーンの前に止まっていた移動式クレーン（25t）との間に挟まれ、搬送先の病院で死亡が確認された。被災者は、同僚と車両の間で話をした後、運転席に戻ろうとしていたもの。	30309	17	10～ 29
		1	積荷を運んでいる途中、高速自動車道IC下り線を走行していたとき、高速道路本線上でトレーラーが停止（後退していた可能性有、調			100

2015	11	～ 2	査中) しており、発煙筒及び三角表示板は出されてなく、気付くのが遅れ追突した。多発性外傷、外傷性出血性ショックにより死亡した。	40301	17	～ 299
2015	12	～ 9	荷主先の構内において、トレーラーへのスチールコンテナ（馬鈴薯入り）積み込み作業終了後、出発準備中にトラクターヘッドとトレーラーの接続部付近の地上に倒れていた被災者を同僚（別のトラック運転手）が発見した。なお、被災者のヘルメットは脱落し近くに落ちていた。	40301	1	10～ 29
2015	8	～ 8	太陽光発電工事に伴う現地調査の現場において、被災者が運転する10tセルフトレーラーにてドラグショベルを搬入し、ドラグショベルを荷台から降ろすため、同僚が荷台脇にある荷台上昇ボタンを操作しているとき、後方から音が聞こえたため振り返ると、被災者が車道に仰向けで倒れていた。被災者は運転席から後ろ向きで降りようとした際に、運転席から転落したものの。入院加療中だったが、9月23日に死亡した。	80109	1	10～ 29
2015	6	16 ～ 17	現場から退出時、自車（ダンプ車）を斜路上に駐車したのち、降車して他車（ユニック車）の誘導を行い、誘導を終えて自車に戻る途中、斜路上に駐車していた自車が動き出したため、自車の前方に入り止めようとしたところ、他車の側面と自車の間に体を挟まれた。その後、入院治療を行っていたが、平成27年9月14日、敗血症による多臓器不全のため死亡したものの。	30309	17	1～9
2015	5	2 ～ 3	国道をトラックで走行中、対向車線を走行してきたトラックがセンターラインをはみ出してきて衝突し、双方の運転手が死亡した。	40301	17	30～ 49
2015	7	16 ～ 17	注文された商品を最大積載量1.5tのトラックで配達後、当該トラックを運転して事業場へ戻る途中、国道上において、対抗車線にはみ出し、進行方向の右端の擁壁に当該トラックが接触、その反動で進行方向左側のガードレールの上に、運転席を下にして横転したもので	80209	17	30～ 49



			ある。			
2015	1	2 ～ 3	一般国道上り線において、ランプから上り線が道路改良工事のため通行止めとなっていることから、被災者が上り線を走行する車輛に、迂回路へ向かうよう誘導していたところ、当該バイパス上り線を走行していたトラックが被災者の迂回指示に従わず、バイパスを直進したため、被災者はこれにはねられ、死亡したものの。	170201	17	50～ 99
2015	12	8 ～ 9	被災者は、隣接の冷凍倉庫会社の冷蔵庫に保管してある商品を受け取るため、同社に書類を提出して、元の作業場所に戻ろうとした際、傾斜している駐車場に駐車して運転手が乗車していなかった別会社の2トン保冷車が動きだし、被災者に激突したものの。	50101	6	1～9
2015	11	4 ～ 5	被災労働者が運転する中型貨物車が、北陸自動車道下り線を上越から柿崎に向かって走行中、片側2車線の見通しのよい直線で、別の追突事故により2車線をまたいで横向きで停止している普通貨物車（ライトバン）に接触後、同じく普通貨物車（ライトバン）に接触し路肩に停止していた別の中型貨物車に追突したものの。ブレーキ痕なし。	40301	17	1～9
2015	7	0 ～ 1	高速道路上、タイヤの破裂で右側車線に停車していた大型トラックに後ろから来た中型トラックが激突し、中型トラックの運転者が運転席に挟まれ、出血性ショックにより死亡した。	40301	17	10～ 29
2015	6	22 ～ 23	高速道路下り線パーキングエリアから本線に進入してきた被災者運転の中型トラックと下り本線上を走行してきた大型トラックが衝突し、中型トラックのドライバーが車外に投げ出され多発性外傷により死亡したものの。中型トラックは車道左側の盛土に乗り上げ横転。大型トラックは中央分離帯に車体右側面を接触したまま数十メートル走行して停止した。	40301	17	30～ 49
2015	12	7 ～ 8	上記現場において、被災者が運転するトラックが、中央分離帯にある高架道路の支柱に衝突し、全身を強く打ち搬送先の病院で死亡したものの。	40301	17	10～ 29
			ヒヨコを配送するトラック（2 t）の運転席側ドアと建物の壁にはさ			

2015	8	1 ～ 2	まれ被災したもの。被災者が当該トラックへヒヨコを積み込もうとしていたところ、何らかの理由でトラックが前方に動き出したのでトラックを止めようとしていたと思われる。災害発生時、サイドブレーキは引かれておらず、トラックの止めてあった場所は2度のこう配があった。	70101	7	10～ 29
2015	12	9 ～ 10	ダンプトラック荷台の最後部にある開閉式の「扉」を補修する作業において発生した災害。被災労働者1名が、当該扉（推定重量は約100キログラム）を開いた状態でその腐食部位を溶接によって補修していたところ、これを保持していた支柱が何らかの理由により脱落したために当該扉が落下し、これが被災労働者の頭部を直撃したもの。	40309	6	10～ 29
2015	5	8 ～ 9	被災者は同僚と2人でダンプトラックの運転席に取り付けられた無線アンテナを交換する作業をしていたが、同僚が運転席から外に出る際、荷台を昇降させるレバーに身体が触れ、レバーが下に下がったため、荷台が降下し、その時荷台の下で作業していた被災者が荷台とダンプトラックの車体との間に腰を挟まれたもの。	11709	7	1～9
2015	11	15 ～ 16	被災者は、古紙を積込んだトラックを運転し、高速道路を走行していたところ、高速線の上り線と環状線との合流地点にある左カーブを曲がりきれずに、進行方向の右側壁に衝突した後、車線合流後の右側壁に再び衝突し、被災したもの。同乗者はおらず、他車との接触はない。（単独事故）	40301	17	10～ 29
2015	5	11 ～ 12	防潮堤建設工事で被災者が土砂・セメント混合物（CSG）打設施工基盤面で、被災者はエンジン式ブロワーを背負いながら当該基盤面の清掃作業を行っていたところ、敷き均し用CSG材を運搬のため、バックしてきた最大積載量9.5トンのダンプ荷台の左後部と被災者の左頭部が接触し、被災者はバランスを崩して転倒し当該ダンプの左後輪に轢かれ死亡した。	30111	7	10～ 29
2015	8	1 ～	被災者は、所属会社が所有するトラックを運転し、国道を北上していたところ、交差点において、赤信号で停車していたトラックに追突し	80202	17	1～9

		2	た。			
2015	10	8 9	自社倉庫前の県道にて、発注していた荷物を運んできた運送会社の大型トラックが自社倉庫にバック入ろうとしたとき、近くにいた被災者が後方の南東方向から2トントラックが走ってきたのに気づき、「止まれ」の合図をしようとして車道に出たところ、2トントラックに轢かれたもの	80203	17	1～9
2015	10	0 1	被災者は、10月20日16時頃に東北地方を出発し、10月21日10時頃に中部地方に到着する予定で東京都内の圏央道内回りの第一通行帯を4tトラックで走行中、途中のICに進行していたところ、何らかの理由で前方注視をせず、事故渋滞のため停止中の10tトラックに追突して死亡したもの。	40301	17	10～ 29
2015	10	10 11	被災者は酪農組合の農家に家畜用飼料を運搬する作業を行っていた。被災時、運送先の農家の飼料小屋に7tトラックを停車させて飼料を吐出する準備作業中にトラックが逸走し約20m後進した。トラックは隣接する土手に衝突し横転した。逸走経路上に被災者が倒れており、下半身を轢かれていた。トラック後輪に血痕があったことから、被災者は逸走トラックに轢かれたもの。	40301	7	10～ 29
2015	2	3 4	国道を大型トラックで走行中、緩やかな右カーブでガードレール（154.2Kmポストと、154.3Kmポストの中間付近）に接触後、対向車線へはみ出し、一日市交差点東側（154.4Kmポスト付近）の右折車両用車線をまたぎ越して対向車と衝突した。なお、対向車の後続車両も事故を避けきれず軽く接触しているが、物損のみ。ブレーキ痕は見られなかった。	40301	17	30～ 49
2015	1	11 12	病院に医薬品を納品するために、社有車で高速自動車道を走行中、スリップ事故を起こし、弾みで中央分離帯に衝突し追い越し車線で停車していたところに後続の大型トラックが追突した。	80109	17	100 ～ 299
			被災者は、林道新設現場へ路盤用の再生骨材を運搬するため、骨材6.5立米（約7.8t）を積載したダンプトラック（最大積載量			

2015	7	9 ～ 10	8. 6 t) を運転し林道を走行中、林道脇の崖からトラックごと約5 5 m転落して被災した。発見時、被災者は会話ができる状態であつた が、救助活動中に容態が悪化し、救急搬送先の病院で死亡が確認され たもの。	20209	17	10～ 29
2015	12	11 ～ 12	高速自動車道上り線の路肩において、工具箱を後輪側に置いて停車し ていた大型トラックに、中型トラックが追突し、車外にいた大型ト トラックの運転手のはねられ死亡した。	40301	17	10～ 29
2015	9	12 ～ 13	9月25日23時に所属事業場で点呼を受け、4 tトラック乗務を開 始、事業場近隣で積載した雑貨を高速道路経由で目的地に運んだ。帰 路荷（プラスチックロール）を積みこみ、県道経由で戻る途中、下り 坂で道路を逸脱し、橋梁の欄干を超え、約10 m下の川原に転落し、 受傷した。療養中のところ、約2時間後に死亡した。	40301	17	10～ 29
2015	3	11 ～ 12	事業場所有の2 tトラックを運転して、事業場から取引先に製品を 搬送し会社へ帰社途中、市道を走行中、信号のないT字路で進行方向 前方のコンクリート擁壁に激突し、搬送先の病院で頸部損傷による出 血性ショックにより死亡した。	10805	17	10～ 29
2015	7	16 ～ 17	ダンプトラックの荷台昇降用シリンダーの油圧ホースの交換作業中、 ダンプトラックの荷台を上げて落下防止用のストッパーをセットし、 エンジンスイッチを切った状態で荷台と車体の間に入って作業を行っ ていたところ、ストッパーが破損して荷台が落下し、はさまれたも の。	30102	7	50～ 99
2015	1	11 ～ 12	労働者1名がダンプの荷台を上げて油圧ホースの交換作業を行ってい たところ、荷台が落下し、荷台とタイヤとの間に挟まれたもの。	11702	7	1～9
2015	4	0 ～ 1	被災者は、タンクローリー車を運転して市内の油槽所から隣の県内の 給油所へ配送に向かう途中の国道の片側1車線の左カーブで横転し、 ガードレール等をなぎ倒して約2メートル下の斜面に転落し、頭を強	40309	17	10～ 29

			く打ち死亡したもの。			
2015	12	8 ～ 9	被災者は、発電設備を搭載した社用トラックを運転し、1名で事業場から出張先へ向かっていた。インターチェンジの出口方向へ走行中、左カーブを曲がりきれず、側壁に激突し、トラックが横転。運転席にいた被災者が死亡したもの。	11409	17	100 ～ 299
2015	11	11 ～ 12	被災者は、中央分離帯のある片側2車線の国道をトラック（最大積載量2トン）を運転して荷の配送中に、信号の無い交差点で右折するために停車していたトラックに追突し、死亡したもの。追突されたトラックの運転者は、業務中で休業している。	40301	17	50～ 99
2015	12	3 ～ 4	バイクで新聞配達中の被災者は荷台の新聞を道路上に落としてしまい、新聞を拾い集めていたところ、西側から走行してきた10tダンブに轢かれ死亡した。	80205	17	10～ 29
2015	8	7 ～ 8	会社事務所から現場へ向かう途中、高速道路上り線において2トントラックを運転していた労働者が、何らかの原因で中央に寄り、その後左へ急ハンドルを切ったため、トラックが右側へ横転し、同乗していた労働者とともに被災したもの。	30309	17	30～ 49
2015	10	11 ～ 12	木造建築の建設工事現場において、被災者が4トントラックの高さ2.5メートルのキャビン上に立ち、床材を別のクレーン車で下すために玉掛け作業を行った後、地上に墜落し死亡した。いずれの場所から墜落したかは目撃者もおらず、不明である。被災時、保護帽の着用は不明であり、安全帯の使用はなかった。	40301	1	1～9
2015	2	0 ～ 1	高速自動車道上り線第一および第二走行車線を規制し、規制範囲内において高所作業車を設置した。労働者2名がバケットに乗車して、高速道路上部に跨るコンクリート橋の補修作業を行っていたところ、追い越し車線を走行していたトラックが規制範囲内に侵入してきて、トラックの荷台（高さ約3.8m）がバケットの底部に接触した。バケットに乗車していた2名の労働者は路上に投げ出されて1名が死亡し、1名が左足を骨折した。	30105	17	1～9

2015	3	7 ～ 8	4 tトラックで荷物を運んだ後、営業所へ戻る途中、高速道上り線で、道路左側のガードレールにぶつかった後、中央分離帯に衝突し、はずみで再度左側ガードレールにぶつかって、突き破り、高速道から高さ約3メートル下の町道に転落し、道路脇の電柱に衝突した。被災者は車外に投げ出され、頭の骨を折るなどの外傷性ショックにより約4時間後に死亡した。	40301	17	1～9
2015	7	18 ～ 19	被災者は、荷物運送のため25トントラックを運転中、高速自動車道下り線サービスエリアに向かう片道一車線の流出路において、右カーブを曲がり切れずに横転しコンクリート側壁に衝突したものの。	40301	17	30～ 49
2015	5	13 ～ 14	農道改良工事現場（延長561.8メートル、幅6メートル）において、被災者が、移動式クレーン機能付きドラグ・ショベルのバケットにフックを格納していたところ、同僚の運転する10トンダンプが14.6メートル前方から後退してきたため、ダンプ後部とバケットとの間に挟まれ、被災したものの。	30106	7	10～ 29
2015	11	9 ～ 10	被災者は国道事務所出張所において工事の打ち合わせを終えた後、会社所有の軽トラックに乗って会社に戻るため、国道トンネル内を市街地から郊外方面に向かって走行していたところ、対向車線にはみ出し、対向して来た大型ダンプトラックと正面衝突し、出血性ショックで死亡したものの。なお、大型ダンプトラックの運転手も休業4日以上を負傷となった。	30106	17	1～9
2015	5	15 ～ 16	被災者は、ダンプの荷台に廃材を積み込む作業において、荷台上で車両系建設機械の誘導を行っていたところ、バランスを崩し約3.3m下の地面に墜落したものの。	30309	1	30～ 49
2015	3	16 ～ 17	建設業を行っている事業場の土取り場の前方が下がった場所で、ダンプカーに積んだ土砂を下し、50cmほど前進させダンプカーの前面で用を足していたところ、動き出したダンプカーにひかれたものの。	30109	7	10～ 29
			被災者は荷主先でトラック（積載荷重3.55t）に荷積みしてもらった後、テントハウスで一人で荷締め作業を行っていた。トラック			

2015	9	14 ～ 15	の荷（4段に積まれた角材，ビニール包装）を，荷締め機械を用いて荷締め作業を行っていたところ，何らかの原因によりトラック上部から地面（コンクリート）に墜落し頭部を強打したもの。ヘルメットは着用していた。	40301	1	10～ 29
2015	3	16 ～ 17	事業場構内の土場において、構内で使用している樹皮運搬用のトラックを移動させようとした際に、当該トラック上から地面に転落し、頭部を負傷したもの。被災労働者は災害当日の晩に意識不明となり、2日後に急性硬膜下血腫により死亡した。なお、被災労働者がトラックのどの場所から転落したのかは不明である。	80109	1	10～ 29
2015	7	13 ～ 14	国道下り線の走行車線において、信号待ちしていた大型トレーラーに、被災者が運転する4 tトラックが追突したもの。	40301	17	10～ 29
2015	3	23 ～ 24	国道でトラックを運転中、下りの左カーブで霧も出ていたため、運転ミスによりガードレールにぶつかり、横転事故を起こし、全身打撲により死亡した。	40301	17	30～ 49
2015	2	9 ～ 10	粉粒体運搬車からセメント粉をサイロへ空気圧送しようとしたところ、タンク上面の投入口蓋から空気が漏れる音がしていたため、被災者が投入口蓋のハンドルを操作したところ、投入口から空気が一気に抜けたため、投入口蓋が勢いよく開き、被災者の右の額に激突し、脳挫滅症となり、粉粒運搬車から、3メートル下の地面に落下したものの。	80209	6	10～ 29
2015	5	22 ～ 23	出張先での業務終了後、社有車で帰社途中、東名高速道路の路肩に社有車を停車させて車外に出て、社有車に再び乗り込もうとした時、走行車線を走行してきたトラックに轢かれたもの。高速道路上で車外に出た理由は不明であるが、社有車の運転席パネル部分には、タイヤの空気圧異常を示す表示が出されていた。	120109	17	1000 ～ 9999
		15	国道のトンネルの入口から50 m付近を、死亡した被災者が運転し、			

2015	1	～ 16	同僚が助手席に乗車するトラックが対向車線にはみ出し、逆方向へ向かってきたトラックと正面衝突したものの。事故当時、トンネル内は一部アイスバーン状態であった。	30209	17	1～9
2015	6	12 ～ 13	被災者（派遣社員）は、休憩時間に昼食を食べるために、砕石プラントのホッパー前を歩行して移動中、砕石プラントのホッパーに岩石を投入するためにバックしてきたダンプ（車両系荷役運搬機械）の後輪に轢かれ、死亡した。（死亡日時 平成27年6月4日午前3時頃）	20201	7	30～ 49
2015	6	11 ～ 12	国道をLPガスボンベ配送業務のため3tトラックを運転中、道路壁面に接触した後に前方車両の10tトラックに追突し運転室大破により出血性ショックで死亡。医科大学のドクターヘリ医師により同日12：50に死亡確認された。	40309	17	1～9
2015	9	18 ～ 19	被災者はダンプ（10トン）を運転し、国道線の緩い右カーブを走行中、中央分離帯の切れ目からはみ出した対向車のトラック（10トン）と衝突し、ダンプ運転手が胸部打撲により死亡した。なお、トラックは、Uターンを行うために中央分離帯をはみ出し対向車線に進入した。	40301	17	1～9
2015	11	1 ～ 2	積み場に向かうために、被災者は大型貨物自動車を運転し、バイパス（下り方面）左車線を走行していたところ、前方を走行していた大型貨物自動車（以下、「大型トラック」という。）がパーキング入り口を過ぎた辺りで急停止し、その急停止した大型トラックを避けきれず、大型トラックの荷台に積んでいたH鋼に衝突し死亡した。	40301	17	50～ 99
2015	8	9 ～ 10	運転手と被災者の2人がパッカー車にて、災害発生場所である清掃所へ回収した空き缶を持ち込んだ。運転手は、運転席から合図者である被災者が見当たらなかったためトイレ等に行っているものと誤信し、被災者からの合図を待たずに運転席からパッカーを開けた後荷台をダンプさせ排出、続けて荷台を戻してからパッカーを閉めるという操作を行ったところ、被災者が荷台内に頭部を入れていたため、パッカーに挟まれて被災したものの。	150103	7	10～ 29



2015	9	8 ～ 9	<p>運送会社の労働者2名が各々運転するタンクローリー2台で出荷作業のため、工場内で尿素水を充填する作業を行っていた。別の労働者がタンクローリー（1台目）に充填を終え、計量測定を行っているときに、被災者がタンクローリー（2台目：最大積載荷重3270kg）の充填を行うため、尿素水タンクに繋がれたホースをタンクローリーに接続しようと荷台へ搭乗したところ、荷台（高さ97センチ）から墜落。（推定）</p>	40301	1	1～9
2015	6	3 ～ 4	<p>被災者が運転する中型トラックが、走行車線と高速バス停留所との分離帯に乗り上げて横転。後続の大型トラックと中型トラックの2台がよけきれずに追突し、全身を強く打って死亡したもの。後続のトラック運転手2人に怪我はなかった。被災者は、四国地方から中部地方まで荷物を運ぶ途中であった。事故当時、現場には強い雨が降っていた模様。</p>	40301	17	30～ 49
2015	4	0 ～ 1	<p>荷主先にてトラックへ荷を積込作業中に、荷台（高さ1.2m）より地面に墜落し、頭部を強打し死亡した。なお、被災者のヘルメットは発見時に脱げていた。</p>	40301	1	10～ 29
2015	5	0 ～ 1	<p>積載型トラッククレーン（つり上げ荷重2.93トン）を使用してトラックに鋼材（約1.3トン）を積み込むため、トラックの屋根上で作業していたとき、トラッククレーンのアウトリガが浮き上がり、逃げようとして高さ約2.4メートル下の地面に墜落した。病院へ搬送されたが、午後9時頃死亡が確認されたもの。</p>	80209	1	10～ 29
2015	9	9 ～ 10	<p>被災者は、積載荷重2.7tのウイング車の荷台から、パレット積み荷（重量約120kg）を卸すため、高さ約1mの荷台上で、手かぎ棒を使用して、荷台の奥にあったパレット積み荷を手前に引き寄せようとしたところ、手かぎ棒がパレットから外れ、その勢いで荷台から墜落し、左側頭部を強打したもの。</p>	40301	1	50～ 99
2015	11	3 ～	<p>被災労働者が運転する大型トレーラーが、国道を走行中、片側1車線の下り坂の緩やかな右カーブで、道路左側のガードレールと電柱に衝</p>	40301	17	1～9

		4	突して横転したものの。ブレーキ痕なし。			
2015	4	2 ～ 3	被災者運転のトラックが配送中に道路左側の縁石に接触し、反対車線を横断後、畑に転落、電柱に衝突した。病院へ救急搬送後、死亡が確認された。	40301	17	30～ 49
2015	8	8 ～ 9	P H S無線基地局の保守業務（半日作業）のため、現場に向けて片側一車線（上り）の国道の右カーブを乗用車で走行中、対向するトレーラーが蛇行しながら中央線をはみ出してきて衝突したものの。被災者が運転し、助手席に社長（右膝下粉碎骨折等）が同乗し、合計2名乗車。【第一当事者関係】①事業場名：略、②所在地：略、③運転者は打撲。合計1名乗車。	30301	17	1～9
2015	1	2 ～ 3	西方面に走行していた被災者の運転する大型トラックがセンターラインを越え、対向車線を走行していた大型トラックと衝突した。	40301	17	10～ 29
2015	4	18 ～ 19	建設現場での作業終了後、2 t ダンプトラックにて所属事務所へ帰社途中、高速下り線右ルートにてスリップし、道路左側のガードレールに衝突し死亡。同乗者も重傷を負った。	30201	17	10～ 29
2015	4	17 ～ 18	会社の駐車場の14 t 積みトラック荷台脇で、頭から血を流して倒れているところを同僚が発見したものの。	40301	1	10～ 29
2015	5	3 ～ 4	被災者は、隣県まで精肉を配送した後、事業場に戻る途中、バイパスの帰路方向に向かって下り坂になっている右カーブで対向車線にはみ出し、対向してきた自動車運搬用のトラックと正面衝突した。	40301	17	30～ 49
2015	1	0 ～ 1	酒造工場から焼酎の原料となる芋20 tを隣県の冷凍工場へ運搬するため、被災者運転のトレーラーが県道を走行中、片側1車線の右カーブで、曲がりきれず横転し、道路左脇の電柱に衝突。衝突の衝撃でキャabinは大破し、被災者は、シートとキャabin天井に身体が挟まれ、全身打撲、胸部圧迫、内臓破裂により死亡したものの。	40301	17	30～ 49

2015	11	2 3	被災者は、荷を積むために、目的地向かい国道をトラックで走行していたところ、対向してきた大型トラックと正面衝突した。被災者のトラックは道路をふさぐ形で停車し、大型トラックは路外へ転落した。大型トラックの運転者は業務中で、負傷により休業した。道路はほぼ直線で、路面は圧雪アイスバーンであった。	40301	17	10～ 29
2015	3	22 23	荷を運搬するため大型トラック（10 t ウイング車）を運転し道路を走行していたところ、反対車線を走行してきた大型トレーラーが中央分離帯を乗り越えて、被災者側の車線に進入してきた。大型トラックと大型トレーラーは正面衝突し、弾みで大型トラックは道路の左側にある石塀と金網フェンスに激突し炎上した。大型トラックの運転手は車外で死亡。トレーラーの運転手は重傷を負った。	40301	17	10～ 29
2015	5	13 14	被災者は、解体現場において発生した廃棄物を運搬するため、隣接する市に所在する廃棄物処理業者の処分場に向かってトラックを運転していたところ、道路脇の電信柱に激突し、死亡したものである。	30209	17	10～ 29
2015	1	7 8	仮設材輸送の為、車両積載型トラッククレーン（4 t 車）で午前5時に出庫し、近くのICから目的地方面に向けて高速道路走行中、途中ICの約2 kmの地点から道路左側の路肩およびガードレールに衝突した後、IC出口のガードレールに衝突したものの。	40301	17	50～ 99
2015	9	19 20	食品工場構内において、10 t トラックを出荷バースに接車後、トラックへ積込作業を行っていたところ、練り製品積載パレットを2枚積み込んだ時に、トラックが前方に動き出したため、トラックを止めようと前方に回り込んだ際に転倒し、トラックの左前輪に轢かれたものの。	40301	7	100 ～ 299
2015	2	11 12	高速道路において、3次元位置情報の測量的ため、被災者2名が専用車両に乗車し、時速50キロメートル程度で当該自動車道を走行しながら、計測していたところ、後続の大型貨物自動車に追突され、助手席に乗っていた労働者が頭を強く打ち、意識不明の重体で救急搬送され、翌日、死亡した。運転していた同僚も全身を強く打ち負傷。	80209	17	50～ 99

2015	4	11 ～ 12	原動機付自転車を運転し、訪問介護利用者宅から事業場へ向かい走行中、交差点付近で右側を走行していたトラックと接触、転倒したところ同車両の後輪に輪禍され、頭蓋骨骨折及び頭蓋内損傷により死亡したものの。	130201	17	10～ 29
2015	2	2 ～ 3	電話線工事における片側交互通行交通誘導作業時に、北方向から南方向に走行していた2トントラックが交通規制中の作業エリアに侵入し、交通誘導中の被災者が2トントラックと駐車中の作業車との間に挟まれ、搬送先の病院で死亡した。	170201	17	30～ 49
2015	8	1 ～ 2	被災者が運転するトラックが大型トレーラに追突し、腰を強打し死亡したものの。同乗していた者も両足の骨を折る重傷を負っている。	40301	17	10～ 29
2015	10	4 ～ 5	配送を終えてターミナルに戻り、トラック後方の観音扉を開けて空のコンテナを置き場に戻した。観音扉を閉めるためトラックを移動させて停車したが、トラックが動き出し、近くに停車していたトレーラーの連結部分にぶつかった。そのときトラックのドアが閉まり、降車しようとしていたあるいは乗り込もうとしていた被災者が、トラックのドアと運転席の間にはさまれ胸部圧迫で死亡した。1人乗務で発生状況を現認した者はいない。	40301	7	30～ 49
2015	8	16 ～ 17	事業場の資材置場にてトラックの荷台に資材を積荷する作業中に転落した。病院へ救急搬送後、死亡が確認された。	30201	1	10～ 29
2015	11	13 ～ 14	キャリアカーのエンジンの整備を行うためにデッキ（荷台）の一部を動かしていたが、エンジンの整備が終了し前側上段デッキを元に戻す必要があった。被災者が前側上段デッキの落下防止用に挿した後方ロック部の安全ピンを抜かずに水平に戻す作業を行ったため、前側上段デッキが水平にならず、後方ロック部を被災者が外したことから前側上段デッキの後方部が跳ね上がり、後側上段デッキとの間に被災者の頭部が挟まれた。	11701	7	30～ 49

2015	10	11 ～ 12	<p>跨道橋橋台の基礎工事現場において、クレーン機能付きドラグ・ショベルを用いて、現場内に敷設されていた仮設の鉄板を大型ダンプトラックに積み込み作業中、停車していたダンプトラックが突然逸走し始めたため、ダンプトラックの左後方で待機していた被災者が咄嗟に止めようとして、ダンプトラックの前方に回り込んだところ、前輪及び後輪に轢かれ、他臓器損傷による外傷性ショックにより1時間後に死亡した。</p>	30199	7	1～9
2015	2	9 ～ 10	<p>被災者は、ミキサー車を運転し、高速道路下りのJCTの減速車線（本線車道から離脱するための車線）を走行中、急に進路を変更しようと追越車線に出たところ、運転席のキャビンが追越車線を走行していた大型貨物自動車と衝突し、はずみで中央分離帯にぶつかり、そこに後続の普通乗用車と中型貨物自動車が相次いでミキサー車に追突したものの。被災者は車外に放り出され、約1時間後に死亡したものの。</p>	40301	17	1～9
2015	11	11 ～ 12	<p>配達のためトラックを運転中、別の追突事故により追越車線に停車中だった大型トラックに追突し、同日死亡した。</p>	80109	17	10～ 29
2015	7	14 ～ 15	<p>ダンプにより搬入した外構工事用の約6tのアスファルト合材を荷下ろしする作業において、ダンプの荷台の最後尾にある「チャンバー」と呼ばれる機械ロックを施すため、被災者が荷台を約20度まで上昇させ同僚がタイヤショベルを運転して後部のあおりをバケットで押さえた後、運転席内にある「チャンバー」のスイッチを入れようとした際、荷台が不意に下降し、何らかの目的で荷の下に入った被災者が荷台と車体の間に挟まれたもの。</p>	30202	7	1～9
2015	9	8 ～ 9	<p>被災者が仮置き場で廃棄物の中から段ボールを選別し、これを機械式ごみ収集車の投入口に投入する作業をしていたところ、誤って、機械式ごみ収集車の押込板に巻き込まれた。</p>	150102	7	1～9
2015	10	10	<p>コンテナトレーラーと合板材を搬出するための作業台に挟まれた災害コンテナトレーラーを後退させ作業台へ接続する作業を行う際被災者</p>	50101	7	10～

		11	がトレーラーに挟まれたものと思われる。			29
2015	11	14 ～ 15	商品（旋盤）搬送のため、高速道路をトラックで走行中、事故渋滞により停車中の前方車両に追突し、被災者は、全身打撲を負って、当日死亡したもの。なお、当該前方の車両（トラック）は、追突された勢いで、さらに前方の車両（一般乗用車）に追突した。本件事故により、前方のトラックの運転手1名も軽傷を負った。	40301	17	1～9
2015	3	16 ～ 17	観光バスを運転・運行していた被災者が片側1車線の高速道路を走行中、反対方面から対向してきたトラックが中央線をはみ出し、当該観光バスに衝突したもの。被災者以外に対向トラックの運転士1名、同乗者1名、観光バスの乗客19名負傷。	40202	17	10～ 29
2015	4	5 ～ 6	被災者は、車両運搬車（キャリアカー）を運転し国道4号線を走行中、信号待ちで停車していた大型トレーラーに追突し、その衝撃で身体が運転席に挟まれ死亡した。（追突された大型トレーラーの運転者は被災したが不休）。	40301	17	10～ 29
2015	3	16 ～ 17	事業場構内で廃棄物収集用のアームロール車（専用鋼製コンテナを、フック付動力アームを装備した専用貨物車両に当該アームで積み降ろしする車両）に、廃棄物を入れた専用コンテナを積む作業中、コンテナが車両のガイドローラーから外れ、フックからも外れ側方へ転倒、下敷きとなったもの。	30309	6	10～ 29
2015	10	4 ～ 5	大型車（12t）で高速道路を走行中、前方に横転した車両が走行車線上にあったため、ブレーキをかけながらハンドルを切って避けようとしたが、横転した車両に接触後、中央分離帯の支柱に衝突し、車外に投げ出され死亡したと思われる。	40301	17	1～9
2015	1	1 ～ 2	被災者がタクシーを運転して高速道路下り線を走行中、ジャンクション付近）で右側へ車線変更したところ、後方を走行していた2トントラックに追突された。追突されたタクシーはその後分岐点のガードレールへ衝突し、被災者は胸などを強く打ち、搬送先の病院で死亡し	40201	17	50～ 99

			た。			
2015	7	4 ～ 5	高規格幹線道路を運転中、パンクのために路肩に停車していたトラックに追突した。	40301	17	10～ 29
2015	8	6 ～ 7	被災者と合番者の2人で、土砂バキューム車に貼られていたステッカーを剥がす作業を行おうとしていたが、タンク内にある道具が必要となったため、タンクのハッチを開けて道具を取り出した。その後、被災者の合図で合番者がハッチを閉める操作を行った際に、被災者がハッチに頭・胸を挟まれ死亡したもの。	30199	7	100 ～ 299
2015	10	4 ～ 5	事業場から会社へトラックにて荷物を運送する途上、交差点を右折したところトラックが横転し、信号支柱に衝突して、運転していた被災者は頸髄損傷のため死亡した。	40301	17	10～ 29
2015	5	12 ～ 13	民家の下水路の工事のため、坂道に3トンダンプトラックを駐車していたが、当該ダンプトラックが無人のまま動き出し、推定であるが被災者は動き出したダンプトラックを止めようとしたが、止まらなかったものと思われ、約14m先の坂道突き当たりの倉庫とダンプトラックとの間に挟まれたもの。被災者は浄化槽部品の整備のために、当該工事現場に工具を借りに来ていたもの。	150103	17	1～9
2015	6	9 ～ 10	国道インターチェンジ付近で改築現場に向かう塗装工2名が乗った普通トラックが、右カーブを曲がった直後に中央車線を越え、対向車線を走行していた中型トラックと正面衝突したもの。普通トラックの助手席に乗っていた塗装工が外傷性ショックで死亡し、運転していた塗装工は顔面打撲の大けがをした。中型トラックの運転手は軽傷。	30209	17	1～9
2015	8	7 ～ 8	建設現場で使用する碎石を碎石工場でトラックに積み込み、同僚のトラックのシート掛けを手伝っているときに、自分の乗ってきたトラックが動き出し、シート掛けをしていたトラックと動き出したトラックにはさまれたもの。	30309	7	1～9
			トラックによるごみ収集作業中、次のごみステーションへ移動する際			

2015	5	11 ～ 12	に荷台に乗ったままの被災者から「移動了解」の合図があり、この合図を受けてトラック運転手はトラックを発進させたが、その直後に音がしたため下車して車両後方を確認したところ、頭部から出血して倒れている被災者を発見した。被災者は、救急搬送され加療を行っていたが5月13日に死亡した。	150103	1	100 ～ 299
2015	3	3 ～ 4	国道をトラックで走行中、事故車を避けようとしてハンドルを切ったところ、前方を走っていたダンプに追突し、助手席に乗っていた被災者が死亡したもの。	40301	17	100 ～ 299
2015	8	5 ～ 6	国道で信号の手前100メートル付近で、中型トラックが、前方で信号待ちで停車していた中型トラックの後部に衝突した。さらに衝突された中型トラックはその弾みで、前に停車していた大型トラックの後部に衝突した。計3台のトラックが関係する交通事故である。	40301	17	10～ 29
2015	7	11 ～ 12	送電線敷設の新設工事において、被災者が電柱の写真撮影をしていたところ、電柱の電圧確認を終えた現場作業員運転の後進してきたトラックに轢かれ、死亡したもの。	30203	7	50～ 99
2015	11	6 ～ 7	配送先事業場の構内において、トラック運転手である被災者が頭部から血を流し、トラック荷台の横で倒れていたもの。災害発生時は、1人で作業を行い、ヘルメットは被っていなかった。トラック荷台に積んだ荷の上で、シートを外す作業を行っていたところ、アスファルト路面に墜落したと推定する。なお、墜落高さは推定3.4m～4mである。	40301	1	30～ 49
2015	1	6 ～ 7	被災者が1名で荷積み後の4tトラックを運転して陸送する途中において、高速道のIC付近を走行中に、高速道路をふさぐように倒れてきた(いた?)木に接触して横転し、被災者は頭を強く打つなどして死亡したもの。	40301	17	10～ 29
2015	7	3 ～ 4	野菜を積んだワンボックス型バンを運転して自宅を出発し、事業場に向け国道を走行中、前方を走行していた大型ダンプトラックに追突したものの。	80109	17	1～9



2015	10	9 ～ 10	物流倉庫の新築工事現場において基礎杭の打設中、被災者が測量器で杭の垂直精度を計測後、杭に近づこうと幅約6mの鉄板が敷かれた道路を横断しようとした際に、バックしてきたダンプトラック（10t）の後輪に轢かれた。	30201	7	30～ 49
2015	5	13 ～ 14	傾斜のある河川敷においてドラグショベルを移動式クレーンとして使用し、4トントラックに土嚢の入ったフレコンパックを積み込む作業中、トラックが傾斜によりバックし、トラックの荷台で玉はずし作業を行っていた作業員（運転手）がドラグショベルのバケットとトラックのキャビンの間に挟まれ被災した。	30107	7	1～9
2015	2	14 ～ 15	平成27年2月6日、午後2時15分頃、被災者は、林業現場で伐採された間伐材を積載し、トラックで林道を走行していたが、当該林道を横断している側溝に設置してあったグレーチングが外れているのに気付いたため、同所の手前（下り方向）でエンジンをかけた状態でトラックを止め、運転席を降りて同グレーチングを直していたところ、逸走し始めた自分のトラックに轢かれ、「外傷性ショック」により死亡したもの。	40301	17	10～ 29
2015	2	15 ～ 16	道路建設工事現場内の重機に給油するため、被災者がタンクローリー（4輪駆動トラックの荷台にタンクを有するもの）で勾配16度のパイロット道路を登坂していたところ、パイロット道路の約32メートル下にタンクローリーごと転落した。パイロット道路は幅員10mであった。	80204	17	1～9
2015	3	9 ～ 10	国道を2トントラックで食品運搬中、なんらかの原因により、センターラインを越えて対向車（10トントラック）と正面衝突した。被災者は、車両から投げ出されて死亡。衝突されたトラックの運転手は意識不明の重傷。衝突されたトラックの後部にいたトラックも10トントラックに追突したため、その運転手も負傷した。	40301	17	50～ 99
		0	中型貨物自動車を運転し、目的地までの運行を行っていたところ、緩			30～

2015	2	1	い左カーブで対向車線に進入、対向してきた大型貨物自動車と衝突したものの。	40301	17	49
2015	3	15 16	被災者が、軽トラックを配達先住居の駐車場に停車させて降車したところ、無人の軽トラックが後退し、住居前道路脇の側溝に軽トラックが落ち、軽トラックと側溝の土手との間に被災者が挟まれて死亡したもの。配達先住居の駐車場の傾斜角は8度、道路の傾斜角は3度であったもの。	170209	6	1～9
2015	8	2 3	工事が終了したため、走行車線規制を解除し、規制中の看板を撤去して、カラーコーン回収のため低速で走行していたころ、大型トラックが標識車両に追突し、標識車両が前を走行していた機台車両に玉突き衝突した。標識車両は横転炎上。標識車両の運転者1名が死亡、機台車両に乗車していた3名がやけどなどで負傷したもの。	170201	17	10～ 29
2015	3	0 1	荷主構内において、バルク車の上でセメントの積込み作業中に墜落し、心肺停止で病院に搬送され、3月27日に死亡した。	40301	1	30～ 49
2014	1	5 6	被災者は、ガスボンベを積んで高速道路をトラックにて走行中、トレーラーに追突し、さらに後続のトラックが（被災者のトラックに）追突し、荷のガスボンベが散乱して計4台が絡む事故となった。この事故により、被災者と後続のトラックの運転手の2名が死亡した。	40301	17	30～ 49
2014	1	5 6	被災者は、特殊鋼等の金属部材を運ぶため出発し、高速道路を走行中、大型トレーラーに先行するトラックが衝突し、更に被災者のトラックが（先行するトラックに）衝突し、大型トレーラーに衝突した（先行する）トラックの運転手と、被災者の2名が死亡した。	40301	17	10～ 29
2014	1	8 9	最大積載量2トンの事業用貨物バンを運転し、宅配物の集荷場所に向かって下り坂の公道を走行していた際、キャビネット（運転台）後部が上がり前方に倒れたため、停車後、運転席から降りてキャビネットを戻し終えたところ、当該車両が前進し始めたため、キャビネットの前で止めようとしたが、当該車両とブロック塀との間に体を挟まれ	40301	7	10～ 29

			た。			
2014	1	8 ～ 9	配送先工場内の荷下ろし場所にて、自身が運転してきたトラックの後方の地面の上で、鼻から血を流して倒れている被災者が発見された（発見時、トラックの荷台後方に取り付けられたテールゲートリフターは倒した状態であり、そのゲートの床面には荷下ろし予定のドラム缶が置かれていた）。	40301	1	10～ 29
2014	1	11 ～ 12	被災者はトラックの運転手である。荷降ろしのため、トレーラー上のコンテナから、横付けしたフォークリフトのパレットに荷であるドラム缶を移し替える作業を行っていたところ、高さ136cmのコンテナから墜落した後、同じく落下したドラム缶（210kg）が頭部を直撃し、頭蓋骨骨折により死亡した。	40301	4	10～ 29
2014	1	19 ～ 20	荷物の配達作業中、道路にトラックを止め、運転席から降りたところ、トラックが不意に動き出し、轢かれた。	40301	17	10～ 29
2014	1	4 ～ 5	高速道路の緩やかな左カーブにて、前方のトラックに、被災者が運転するトラックが追突した。	40301	17	10～ 29
2014	1	10 ～ 11	道路補修現場にて、被災者は、道路上でアスファルト切削後の路面の厚みを写真撮影する準備を行っていたところ、切削後に搬出するアスファルト切削片を積み込むため後進してきたダンプトラックに轢かれた。	30199	6	1～9
2014	1	12 ～ 13	インターチェンジ上り線の進入のためのランプ橋にて、積載荷重20トンのトレーラーにオキアミを積んで搬送先へ向かっていたところ、当該トレーラーがガードレールを乗り越え転落し、つぶれた運転席（キャビン）に運転手のはさまれ死亡した。	40301	17	0
2014	1	16 ～ 17	被災者は、引越の積荷を運ぶ業務中、市道で同僚の運転するトラックの後退を誘導していたところ、電柱とトラックの間に挟まれ、出血性ショックで死亡した。	40301	7	10～ 29

2014	1	13 ～ 14	貨物自動車にてゴミ収集中、徐行していた貨物自動車の荷台で作業していた被災者は、下りカーブで荷台から道路に転落した。	150103	1	1～9
2014	1	9 ～ 10	被災者は、現場に到着後、前のダンプの荷卸しが終わるのを待つために待機していた。その際、被災者のダンプの前で待機していたダンプが無人のまま坂道で動き出し、約180m移動した後に被災者の車両に衝突した。被災者は、避難しようとダンプを降りたが間に合わず、両ダンプの間に挟まれた。	40301	6	10～ 29
2014	1	5 ～ 6	被災者は、顧客に荷物を配送するため会社を出発したところ、途中の道路にて停車し、荷台の下でパワーテイクオフシャフトに巻き込まれていた状態で発見された。	40301	7	10～ 29
2014	1	23 ～ 24	国道にて、被災者は、運転していた大型トラックから大きな音がしたため、道路脇に停車（白線跨ぎ）し、ハザードランプ等を表示し車体の前輪と後輪の間から車体下部を覗き込んでいたところ、後方から来た中型トラックに追突され、車体後輪に頭部を強くぶつけた。	40301	17	10～ 29
2014	2	16 ～ 17	被災者は、生産車であるトラックの最終塗装前のマスキング作業終了後、トラックが停車位置から左前方15メートルにある塗装ブースに移動するため、発進したところ、左後輪に轢かれた。尚、運転者はマスキングの状況を右前輪後方で確認後、トラックを発進させたが、誘導者から他の車両の通行のため、一度バックするよう指示があったので指示に従い、再度、誘導者の合図で発進したところ、事故が発生した。	11502	7	30～ 49
2014	2	5 ～ 6	夜間作業を終え、一人でトラックを運転して帰社する途中、道路脇の街路樹に衝突した。	30106	17	10～ 29
2014	2	12 ～	工事現場へ向かう途中、災害現場である踏切に進入したところ、積雪等の影響により当該トラックが立ち往生し、上り普通列車と衝突し	30203	17	1～9

		13	た。被災者は、衝突前に避難していたものの、衝突したトラックが踏切脇の電柱を倒し、その電柱の下敷きとなった。			
2014	2	9 ～ 10	被災者の乗る軽自動車は、顧客先に向かうためIC付近にて、IC出口ランプに向かう車列（渋滞中）の最後部に停車中、後続の3tトラックに追突され、前方停車中の10tトラックとの間に挟まれ大破した。	80409	17	30～ 49
2014	2	12 ～ 13	再生資源受け入れ先にて、被災者と同僚の2名が、塵芥車（パッカー車）後部を開け、回収した廃プラスチックを排出後、同僚が塵芥車後部を閉めた際、被災者が挟まれた。	150102	7	10～ 29
2014	2	10 ～ 11	被災者は、ロードサービス（パンク修理）の依頼を受け積載車で高速道路上の現場に向い、救援対象車の後方路肩に停車した。車から降り、積載車の前で救援対象車のドライバーと打ち合わせを行っていたところ、後方からトレーラーが積載車に追突し、その衝撃で押し出された積載車に被災者と救援対象車のドライバーの2名が下敷きになって死亡した。	11701	17	10～ 29
2014	2	7 ～ 8	敷地内に停車しているダンプトラックのサイドブレーキが凍結し、サイドブレーキが下がらない状態であったため、荷台を上げ被災者と同僚作業員の2名により凍結箇所の水をかけ溶かしていた。同僚作業員が運転席のステップの上でサイドブレーキの確認をしていたところ、荷台が突然下がり、車体の上にいる被災者がフレームと荷台に挟まれ死亡した。	11701	7	10～ 29
2014	2	14 ～ 15	被災者は、鋼製溶接式管継手用の「材料管」28本（合計約9.5t）を15tトラックに積み込む作業を、トラック運転手と共に行っていた。その際、荷台上の鋼管を荷台に固縛するため、トラックの左側あおりを下しかけたが、あおりに内側から外に向かって力が加わっていることに気づき、両名であおりを支えていたが支えきれず、被災者のみ落下した荷（5本）の下敷きになり、胸部圧迫により死亡した。	40301	5	10～ 29

2014	2	8 ～ 9	トラックの荷台に積んでいたほぼ六角形に束ねた荷（約520kg）を2つまとめて地面に仮置きしようと、労働者Aがフォークリフトを操作し、被災者がトラックの荷台に乗ってフォークリフトのつめが荷にかかっているか確認していた。労働者Aがつめを数センチ上げたところ、荷が被災者に向かって動き出し、荷とともに被災者が高さ約1.4m下の地面に墜落した。	40301	1	10～ 29
2014	2	2 ～ 3	被災者は、2tトラックで高速道路を走行中、渋滞のため停車していたところ、後方から走行してきた大型トラックに追突され、その反動で前方の4tトラックに追突した（観光バス1台、トラック4台の玉突き事故であった）。	40301	17	50～ 99
2014	2	14 ～ 15	運送のため2tトラックで会社を出発した被災者は、国道を走行中、ゆるやかな左カーブで対向車線にはみ出し、対向してきたローリー車に激突した。尚、走行していた道路に降雪による影響はなかった。	40301	17	50～ 99
2014	2	14 ～ 15	枯草を2tダンプを用いて収集作業中、下り坂に停車させていたダンプトラックが突然動き出し、これを止めようと運転席に移ろうとした被災者（運転者）が、ダンプトラックが擁壁に接触した際、運転室とそのドアの間に胸を挟まれ窒息し死亡した。尚、エンジンは停止させていた。	30106	7	30～ 49
2014	2	3 ～ 4	被災者の乗るトラックが高速道路の走行車線を走行中、走行車線上に停車していたトラックに気付き、回避のため急ハンドルを切ったが間に合わず、助手席側が停車していたトラックに衝突。運転者は肋骨骨折を負い、助手席の同乗者が死亡した。	40301	17	50～ 99
2014	2	3 ～ 4	最大積載荷重6.3tのトラックで走行中、赤信号のため減速していた最大積載荷重29tトレーラに追突した。	40301	17	10～ 29
2014	2	8 ～	町道にて、事務所から社用車（軽トラック）で現場に向かう途中で道路右脇の立ち木等に衝突し、85センチ下の空き地に転落した。その際、被災者は車外へ放り出され、軽トラックの下敷きになり、頭部等	30309	17	1～9

		9	を強く打ち死亡した。			
2014	2	3 ～ 4	高速道路を走行中、被災者はトラックに接触したため路側帯に停車し、事故処理のため警察の到着を待っていた。その後、本線を走行してきた別のトラックが、停車中のトラックに追突し、車外に出て路側帯にいた被災者が追突事故の巻き添えとなり死亡した。	40301	17	100 ～ 299
2014	2	18 ～ 19	被災者は、県道交差点改良工事現場付近にて、工事完了検査用書類に記載する現場の状況を、しゃがんだ姿勢で確認していたところ、交差点に進入してきた一般車両の軽トラックにはねられた。	30109	17	1～9
2014	2	17 ～ 18	被災者は、業務終了後事業場へトラックを運転して帰社途中、トンネル内で走行車線を走行していた際、走行車線の前方を走行していた大型トラックに追突し被災した。追突時、大型トラックの荷台に積み重ねていた鉄骨（荷台から1メートル程はみ出していた）が左胸に激突し、折れた肋骨が肺に刺さり死亡した。	11209	17	10～ 29
2014	2	21 ～ 22	被災者は、高速道路を走行中、後方から走行してきた大型トラックに追突され、その弾みで（被災者が運転する）トラックが法面方向へ弾き飛ばされ、運転席を下に向けた状態で横転した。	40301	17	10～ 29
2014	2	3 ～ 4	高速道路の走行車線を低速で走行していたトラックAに、被災者の運転するトラックBが追突。トラックBは追越車線側にそれで停車した。数分後、追越車線を走行してきたトラックCが、停車していた被災者のトラックBに追突した。	40301	17	10～ 29
2014	3	15 ～ 16	被災者は、大型ダンプトラックのライセンスランプの整備を行う作業中、ベッセル（荷台）を少し上昇させた状態で、ダンプトラックのシャシ後方から覗き込むような姿勢でライセンスランプ付近で作業を行っていた際、ダンプトラックのエンジンを始動したままでダンプレバーを中間位置にしていたため、ベッセルが徐々に上昇したとみられ、リアパンパーとベッセル後部に挟まれた状態で発見された。	80202	7	30～ 49
			土地整地工事にて、土砂運搬用ダンプカーの走行により汚れた道路を			

2014	3	13	清掃するため、被災者は池から散水車への給水を1人作業で行っていた。午後の打合せに現れず、電話連絡もつかない被災者を探したところ、給水を行っていた池に転落水没していた散水車の近くの水中で沈んでいる被災者が発見された。	30199	10	10～ 29
2014	3	18 ～ 19	古紙圧縮コンベヤー前にて、作業員が機械式ゴミ収集車を操作し、被災者とともに、回収した古紙の荷卸しと上昇させたテールゲート裏に挟まった段ボールの除去作業を終え、当該テールゲートを下降させたところ、被災者が当該テールゲートと当該収集車の後部に挟まれた。	150102	7	1～9
2014	3	18 ～ 19	被災者は、荷物を配達するため、片側1車線の道路左側に配達車両を路上駐車させ、反対車線側に位置する配達先に向かうため、配達車両の前方付近から道路を横断したところ、当該配達車両の後方から来たトラックにセンターライン付近で激突され、約4m先まで飛ばされ、地面に頭部を強打した。	40301	17	50～ 99
2014	3	8 ～ 9	住宅新築工事に据付けるユニットバスの部材を2トントラックで搬入した被災者は、荷卸し作業中、高さ1.2メートルの荷台から地面に墜落した（保護帽、安全帯未着用）。	40301	1	10～ 29
2014	3	12 ～ 13	道路の補修工事現場にて、舗装工事に使用する砂利を積んだトラックが後退した際、被災者が轢かれた。	170201	7	50～ 99
2014	3	21 ～ 22	トラックで走行中、被災者の運転するトラックが対向車線にはみ出し、対向車両と正面衝突した。	40301	17	30～ 49
2014	3	18 ～ 19	トラックで高速道路を走行中、中央分離帯のガードレールに衝突した。	40301	17	10～ 29
2014	3	3 ～ 4	中型トラックで自動車道を走行中、運転していたトラックが中央分離帯に接触し、横転した。	30209	17	1～9



2014	3	7 ～ 8	コンクリートポンプ車で打設準備のため、アウトリガー等のセッティング中、点検のため、ポンプ車の前方から底へもぐりこみ、油圧系統の配管等の点検を行っていた際、ポンプ車底部にあるドライブシャフトの回転部に作業服が巻き込まれ、頭部がシャフト部に当たった。	30209	7	1～9
2014	3	11 ～ 12	大型トラックで荷物を配送中、待機するため立ち寄ったコンビニ店の駐車場に車を止め、駐車場を歩いていたところ、駐車場から出て行くとした大型トラックの後輪に轢かれた。	40301	17	1～9
2014	3	14 ～ 15	トラックを運転中、ガードレールに接触し、反動で中央分離帯及び反対車線を越え、反対側ガードレールを破り、約5 m下に転落した。	40301	17	50～ 99
2014	3	8 ～ 9	積荷の確認をしようと、荷台のウイング部を少し開け、頭を入れ、目視していた際、足でウイングの開閉スイッチを押したところ、アオリとウイングに首を挟まれた。	40301	7	10～ 29
2014	3	10 ～ 11	緩やかなカーブの道路にて、被災者が運転する大型トラックが対向車線の歩道の縁石に乗り上げ、横転し、街路樹に衝突した。	40301	17	10～ 29
2014	3	23 ～ 24	トラックで自動車道を走行中、トンネル内で外壁にフロントを接触し、反動で縁石にフロントタイヤを接触した状態で走行し、トンネルを出たところで停止。内蔵破裂により死亡した。	40301	17	10～ 29
2014	3	11 ～ 12	ダンプトラックで国道を走行中、センターラインを超え、対向車線を走行していた大型貨物自動車と正面衝突し、死亡した。	150102	17	10～ 29
2014	3	21 ～ 22	飼料運搬車の荷台上にて、飼料用スクリューコンベアを分解し、点検作業を行っていた際、バランスを崩し、約3.9 m下の地面に墜落した。	11701	1	10～ 29
2014	3	2 ～	自動車道の走行車線を走行中、被災者運転の大型トラックが、前方でタイヤのバーストによりトンネル内の走行車線で停止していた大型ト	40301	17	30～ 49

		3	トラックに追突した。			
2014	3	4 ～ 5	大型トラックと大型トレーラーが正面衝突し、双方の運転手2名が全身を強く打ち、死亡した。	40301	17	10～ 29
2014	3	11 ～ 12	駐車場にて、軽トラックの荷台に積んでいた冷蔵庫を2名で降ろしていた際、軽トラック荷台上で冷蔵庫の上方を支えていた被災者が、軽トラックの荷台上から仰向けに転落した。尚、被災者は保護帽を着用していなかった。	150103	1	10～ 29
2014	4	0 ～ 1	自動車道にて、走行車線に停車していたトラック後部に被災者の運転するトラックが追突した。	40301	17	30～ 49
2014	4	16 ～ 17	コンクリート廃材をダンプの荷台に積込み、国道を走行中、下り坂の右カーブにて、車両が横転し、道路わきにある電柱に運転席が激突。運転していた被災者が死亡した。	150102	17	30～ 49
2014	4	5 ～ 6	国道をトラックで走行中、センターラインを越え追い越したところ、自動車と正面衝突した。	40301	17	300 ～ 499
2014	4	7 ～ 8	高速道路上にて、故障車の後方警戒業務を行っていた際、タンクローリーにはねられ、死亡した。	170201	17	100 ～ 299
2014	4	11 ～ 12	機材をトラックに載せ、トラックで自動車道を走行中、カーブに差し掛かったところ、ガードレールをなぎ倒し、運転席を下側にした状態で横転した。	30110	17	1～9
2014	4	14 ～ 15	敷鉄板相互を溶接により固定する作業を行っていた被災者は、右後方から前進してきた貨物自動車の前輪に巻き込まれ、死亡した。	30201	7	30～ 49
		15	製鉄所構内を自転車で走行中、T字路交差点にて、同一車線上に停車			1000

2014	4	～ 16	していたダンプトラックが左折したため、トラック後輪に巻き込まれた。	11001	6	～ 9999
2014	4	～ 10	ダンプカー後部のあおりをロックしている楔の1つを取り除かなかつたため、荷降ろし位置でダンプアップした際、あおりが開かず、荷が荷台の後部に偏り、ダンプカーが後輪を軸として回転し、ダンプカーがピットに墜落。キャビンがピットの端部に激突し、押し潰され、被災者が運転席内で死亡した。	150102	1	30～ 49
2014	4	～ 17	トラックで国道を走行中、交差点にて、赤信号により停車していたトラックに追突し、被災者が死亡し、同乗していた同僚及び追突された運転者の2名が負傷した。	30202	17	10～ 29
2014	4	～ 9	トラックを運転し、単独でプロパンガスの配送中、トラックを止め、降車した際、トラックが後退を始め、被災者がトラックを停止させるため乗り込もうとしたところ、トラックと道路脇の石垣との間に身体を挟まれ、振り落とされ、トラックの前輪に頭部を轢かれ、死亡した。	40309	7	10～ 29
2014	4	～ 3	2 高速道路を走行中、大型トレーラーに、後続の大型トラックが追突し、大型トラックを運転していた被災者が死亡した。	40301	17	50～ 99
2014	4	～ 3	2 前方を走行していた大型トラックが、その前方を走行する大型トレーラーに追突し、停車していた際、被災者が運転する大型トラックが、停車していた前方の大型トラックに追突。先に追突した運転手及び被災者が死亡し、先頭の大型トレーラーの運転手も負傷した。	40301	17	50～ 99
2014	4	～ 5	4 トラックを走行中、交差点に停止中の大型車両に追突した。	40301	17	50～ 99
2014	5	～ 8	7 鋼板コイル6本を積載したトレーラーを走行中、ブレーキが利かなくなり、前方のバイク及び軽トラックを避けようと急ハンドルを切ったところ、壁に激突し、トレーラーが横転した。	40301	17	10～ 29

2014	5	6 ～ 7	生コンクリート製造工場敷地内にて、傾斜面で砂利をホッパーに卸す作業中、ダンプにサイドブレーキが掛っていなかったため、ダンプが斜面を下り、車両外にいた被災者が、坂の途中にあった立木とダンプ前輪の間に頭を挟まれた。	40301	3	10～ 29
2014	5	11 ～ 12	廃品回収品をトラックから荷下ろす作業を行っていた際、被災者がトラックの荷台上で作業し、同僚が地上で荷の整理をしていたところ、被災者がトラックの後方で倒れているのが発見された。尚、ヘルメットは未着用であった。	80101	1	10～ 29
2014	5	1 ～ 2	交差点にて、赤信号のため停車していた大型トラックに、後続の中型トラックが追突。追突したトラックのドライバーが死亡した。	40301	17	50～ 99
2014	5	17 ～ 18	被災者は、ダンプトラックの荷台を上げ、エンジンを掛けた状態のまま運転席を離れ、ダンプトラックの荷台の下に立ち込んだ際、荷台が下がり、ダンプトラックの荷台と車体フレームの間に体を挟まれ、翌日発見された。	30199	7	10～ 29
2014	5	12 ～ 13	林道の山側法面にて、土砂をダンプトラックで搬出し、沢に向かって土砂を捨てようとしたところ、法肩から車両が転落。運転席キャビンがつぶれ、内部の被災者が下敷きとなった。	30106	1	50～ 99
2014	5	10 ～ 11	ダンプトラックの荷台上で解体物の木屑を整理する作業を行っていた際、荷台の最後尾から前のめりに地面へ墜落した。	30209	1	1～9
2014	5	10 ～ 11	高速道路を走行中、壁面に接触し、積み荷のバランスが崩れ、トラックが横転した。	40301	17	30～ 49
2014	5	11 ～ 12	車両運搬車を運転中、渋滞して停車していたトレーラーに追突し、トレーラーと車両にはさまれた。	80202	17	1～9

2014	5	19 ～ 20	事故車を発見し停車した大型トラックに、後方より被災者が運転する冷蔵冷凍車が追突した。	40301	17	50～ 99
2014	5	19 ～ 20	被災者は、大型トレーラで高速道路を走行中、道路本線とパーキングエリア分離帯に設けられた衝突緩衝用クッションドラム及び案内標識に激突した。	40301	17	10～ 29
2014	6	23 ～ 24	荷物を配送中、ハザードランプを点滅させ、減速していたトラックに、被災者が運転するトラックが追突した。	40301	17	10～ 29
2014	6	4 ～ 5	トラックで走行中、前方のトレーラーに追突した。	40301	17	10～ 29
2014	6	7 ～ 8	トラックのウィングボディ天井部の補修を行おうとウィングボディの屋根に登り、作業を行っていたところ、地面に墜落した。	40301	1	10～ 29
2014	6	10 ～ 11	スロープにトラックを止め、トラックから下車した際、サイドブレーキが甘かった為、車両が動き出し、被災者が車とフェンスの間に挟まれ、死亡した。	40301	7	10～ 29
2014	6	3 ～ 4	自転車で新聞配達中、交差点で大型トラックと衝突し、死亡した。	80205	17	10～ 29
2014	6	5 ～ 6	普通トラックで片側一車線道路を走行中、対向車線からセンターラインをはみ出してきた大型トラックに正面衝突された。	40303	17	1～9
2014	6	6 ～ 7	側道に貨物自動車を停車させ、買い物をしていた被災者は、貨物自動車が動いていることに気づき、貨物自動車の前に回り込んだところ、電柱と貨物自動車の間に体を挟まれ、死亡した。	40301	6	1～9

2014	6	9 ～ 10	給水車を傾斜が3度で緩やかな坂道になっている路上に停車した際、無人の給水車がゆっくりと動き出し、被災者は給水車を止めようと駆けつけたところ、給水車と擁壁との間にはさまれ、首などを強く打ち、死亡した。	150103	7	50～ 99
2014	7	10 ～ 11	大型トレーラーが、道路に白線をひく作業で徐行作業中のトラックに追突。トラック前方の路上で作業していた作業員らのうち2名が死亡し、1名が負傷。	170201	17	10～ 29
2014	7	10 ～ 11	大型トレーラーが、道路に白線をひく作業で徐行作業中のトラックに追突。トラック前方の路上で作業していた作業員らのうち2名が死亡し、1名が負傷。	30309	17	1～9
2014	7	9 ～ 10	トラックで走行中、センターラインを越え、トラックと正面衝突した。	150102	17	1～9
2014	7	16 ～ 17	カート道路から下（傾斜35度）へ転落した軽トラックの下敷きとなっていた被災者が発見された。	140301	1	30～ 49
2014	7	3 ～ 4	国道の交差点にて、自転車で新聞配達中、大型トラックと衝突した。	80205	17	10～ 29
2014	7	11 ～ 12	パワーゲート付きトラックから、貨物の入ったカゴ台車の荷下ろし作業中、カゴ台車を後ろ向きにパワーゲート側に引き出していたところ、パワーゲート端部から転落。カゴ台車が被災者の上に転落し、下敷きとなった。	80209	1	1～9
2014	7	1 ～ 2	荷物を配送中、荷台で配送する荷物の整理後、後ろ向きで荷台から降りようとした際、リアバンパーに足をかけたところ、足が滑り、約52cmの高さから墜落。後頭部をコンクリートの地面に強打し、死亡した。	40301	1	100 ～ 299

2014	7	15 ～ 16	自動車整備工場にて、トラックのオイル交換及びオイルエレメント交換中、交換したオイルエレメントにオイルを充填するため、同僚がエンジンを始動させたところ、トラックが走行し、出入口門扉部に衝突。被災者は門扉と前輪の間に挟まれ、死亡した。	11701	6	1～9
2014	7	13 ～ 14	高速道路のトンネル内の照明施設点検中、走行車線の規制を行っていた際、汚泥を運搬中のトラックが、最後尾にいた標識車に追突し、勢いで前方で矢印板設置を行っていた被災者に激突した。	170209	17	10～ 29
2014	7	6 ～ 7	トラックで荷を配送中、約20台が絡んだ事故に巻き込まれ、死亡した。	40301	17	10～ 29
2014	7	2 ～ 3	被災者は、コンテナトレーラーで走行中、歩道に接触し、ハンドルを切ったところ、橋の欄干に乗り上げるように衝突。車が橋の欄干に宙吊りになり、被災者は橋下の国道上に墜落した。	40301	17	1～9
2014	7	9 ～ 10	トラックが荷卸しを終え、後退する際、警備をしていた被災者を轢き、被災者は死亡した。	170201	17	50～ 99
2014	7	6 ～ 7	国道にて、貨物自動車を走行させカラーコーンを回収していた際、後方から走行してきた中型貨物自動車に追突し、荷台後方パワーゲート上にいた被災者らがはさまれた。1名が死亡し、1名が負傷した。	30106	17	10～ 29
2014	7	4 ～ 5	トラックを運転していたところ、高速道路のトンネル入口のコンクリート壁に激突した。	11009	17	10～ 29
2014	7	15 ～ 16	ダンプの荷台に乗り、ドラグショベルにより積まれた掘削土砂からゴミを取り除く作業中、ドラグショベルのバケットから退避しようと、ダンプのあたりと付近にあった脚立の上に足をかけたところ、墜落した。	30201	1	50～ 99
		13	軽自動車で行中、被災者の前方を走行していたトラックが交差点で			30～

2014	7	～	左折しようとしていたため減速したところ、被災者の後方を走行して	90101	17	49
	14		いたトラックに追突された。			
2014	8	2	被災者が運転する冷蔵トラックが、前方を走る大型トレーラーに追突	40301	17	1～9
		～	した。			
		3				
2014	8	4	国道を走行中、土砂崩れ復旧工事の片側交互通行地点にて、交互通行	40301	17	50～
		～	用仮設信号機に衝突し、車線規制用の鉄パイプが被災者の体を貫通			99
		5	し、死亡した。			
2014	8	5	保冷車で牛乳の配達中、急カーブを曲がる際、歩道の縁石に乗り上	80209	17	1～9
		～	げ、車ごと横転した。			
		6				
2014	8	13	ミキサー車の後方にて、ポンプ車投入ホッパーへのコンクリート投入	10901	7	30～
		～	準備作業を行っていた際、被災者は、後退してきたミキサー車とポン			49
		14	プ車との間に挟まれ、死亡した。			
2014	8	16	バイクで走行中、路上でUターンをしようとしたトラックに巻き込ま	170209	17	1～9
		～	れ、死亡した。			
		17				
2014	8	9	道路補修工事現場にて、トラックを傾斜地に停車させていた際、ト	30106	7	10～
		～	ラックが斜面を下る方向に動き出し、トラック後方にいた被災者が後			29
		10	輪でひかれ、外傷性ショック及び肺挫傷により死亡した。			
2014	8	11	バイクで郵便の配達中、道路を直進し、交差点に差し掛かったとこ	110101	17	50～
		～	ろ、対向車の軽トラックが急に右折し、衝突した。			99
		12				
2014	8	3	国道をダンプトラックで走行中、交差点の中央分離帯に正面から乗り	170209	17	1～9
		～	上げ、水銀灯のポールに激突し、死亡した。			
		4				
		11	トラックで市道を走行中、国道と交わる三叉路の交差点にて、交差点			10～



2014	8	8	12	の直前で一時停止したトラックを避けよう対向車線にはみ出し、歩道に乗り上げ、コンクリート擁壁に激突した。	10101	17	29
2014	8	13	14	貨物自動車の荷台から転落し、荷台上から落下した梁の下敷きになった。	11209	1	50～ 99
2014	8	1	2	コンテナ埠頭バースのエプロンにて、コンテナ船を係留させる綱に補助ロープを緊結し、トラックの前部けん引フックに取り付け、後進しけん引していた際、別の補助ロープをけん引フックに付け替えようとしたところ、トラックが前進徐行し、車両誘導する被災者らに激突した。	170209	6	100 ～ 299
2014	8	14	15	軽油を配達する為、スターターが故障しているタンクローリー車を駐車場の下り坂を利用し、エンジンを掛けようと車庫から駐車場に出そうと前に押したところ、車が片方の柱に寄り過ぎ、車と柱との間に体を挟まれた。	80204	7	1～9
2014	8	11	12	トラックに荷を積載し、国道を走行中、対向車線にはみ出し、トラックと正面衝突。衝撃で道路沿い住宅の車庫に突っ込んだ。	40301	17	50～ 99
2014	8	3	4	配達先へ走行中、エンジントラブルで停車中の大型トラックに追突した。	40301	17	1～9
2014	8	17	18	国道トンネル内にて、事業場に戻るトラックが対向車線を超え蛇行し、ワンボックスカーと正面衝突。トラックの助手席に搭乗していた被災者が死亡した。	30201	17	10～ 29
2014	8	18	19	車で移動中、反対車線を走行していたトラックが、センターラインを越えて飛び出し、衝突した。後部座席に座っていた被災者が死亡した。	120109	17	1000 ～ 9999
		13		工事現場の資材置場にて、被災者がダンプの荷台と車体との間にはさ			

2014	8	～ 14	まれているのを発見された。	30106	7	1～9
2014	8	9 ～ 10	おが屑を廃棄するため、指定された林道脇の捨て場にトラックを停車させ、トラックを降りた際、トラックが傾斜により逸走したため、トラックの運転席側のドアを開け乗り込もうとしたところ、トラックが林道脇の擁壁に向かって逸走し、擁壁により押された運転席側ドアとトラック本体に挟まれた。	60101	7	10～ 29
2014	8	11 ～ 12	配送先から事業場に戻るため、国道をトラックで走行中、対向車線からはみ出してきたタンクローリーと衝突した。	40301	17	10～ 29
2014	8	～ 14	13 工事現場に向かうため、トラックで県道を走行中、緩やかなカーブを曲がりきれずに路肩の電柱に激突し、助手席の被災者が死亡し、運転者が負傷した。	30202	17	1～9
2014	8	2 ～ 3	国道にて、被災者が運転する大型トレーラーと走行中の大型トラックが正面衝突した。	40301	17	30～ 49
2014	8	8 ～ 9	車両積載形トラッククレーンを後退させていたところ、ドラグショベルの整備を行っていた被災者は、トラッククレーンの後方荷台部分とドラグショベルのバケットの間に挟まれ、死亡した。	30109	7	30～ 49
2014	8	4 ～ 5	トラックからの荷降ろし作業中、トラックに近接した地面上に倒れている被災者が発見された。	40301	1	50～ 99
2014	8	23 ～ 24	大型トラックで高速道路を走行中、ガードレールを突き破り、トラックごと約14メートル転落した。	40301	17	10～ 29
2014	9	～ 15	セメント工場内にて、セメントタンクからタンクローリーのタンクにセメントを積載する作業中、ローリーのタンク上から墜落した。	40301	1	10～ 29

		16			
2014	9	12 ～ 13	駐車場にて、機械式ごみ収集車を停車し、排出板の不具合を調整しようとして、エンジンを始動させたところ、歯止めを乗り越え、走りだしたごみ収集車に轢かれた。	80109	7  10～ 29
2014	9	11 ～ 12	ダンプトラックを運転し、荷を運搬中、構内の坂道で停車し、降車していた際、トラックが逸走した為、被災者がトラックを止めようとトラックに近づいたところ、トラックにひかれた。	150103	7  10～ 29
2014	9	11 ～ 12	車両積載車で帰宅中、国道トンネル内のカーブにて、対向車線を走行中のダンプカーと衝突し、対向車線の側壁に激突した。	80202	17  10～ 29
2014	9	7 ～ 8	片側3車線の国道にて、被災者が運転するトラックが前を走るバイクと隣の車線を走る乗用車に相次いで追突。その後中央分離帯に衝突し、炎上し、トラックとバイクを運転していた被災者らが死亡した。	40301	17  50～ 99
2014	9	3 ～ 4	エンジンプローで路肩に停車中の大型トラックに追突した。運転手は全身打撲を負い、同乗していた被災者は頭を強く打ち、死亡した。	80102	17  50～ 99
2014	9	14 ～ 15	粉末生石灰をジェットパッカーローリー（粉粒体運搬車）のタンクからサイロへ圧送（圧縮空気）作業中、圧送用配管内に詰まりが生じたため、タンク内圧を抜いて逆流させようと、内圧解放弁を開け、併せてタンク上部のマンホール蓋を開けようとしたところ、残圧により蓋が吹き飛び、被災者に激突。反動でタンク上部から約2.5m墜落した。内臓出血によるショックで死亡した。	40301	6  30～ 49
2014	9	7 ～ 8	建設資材を積んだ大型トレーラーを運転していたところ、積荷の建設資材がトレーラー内で荷崩れを起こし、トレーラーのバランスが崩れ、カーブを曲がりきれず、ガードレールに衝突。ガードレールを突き破り、道路外の河川に車両ごと転落した。	40301	17  30～ 49
		10	ペットボトルの収集作業中、同僚の運転するパッカー車の荷台後部の		

2014	10	～	ステップに乗り、次の集積場所に向かっていた際、曲がり角で道路に	150103	17	1～9
		11	落下し、頭部を打ち、死亡した。			
2014	10	～	ホーム前でトラックに荷を積もうと後ろの扉を開けていた際、トラッ	40301	7	10～
		8	クが動き出し、止めようと追いかけたところ、別のトラックとの間に			29
			挟まれた。			
2014	10	～	トラックのルーフ上にて、解体用つかみ機を運転していた同僚に解体	30209	1	30～
		15	用つかみ機で丸太を荷台に載せる位置を合図していた際、荷台に置か			49
		16	れた丸太が転がり、被災者が転がった丸太を止めようとしたところ、			
			バランスを崩し、丸太と一緒にルーフ上から1.93メートル下の地			
			上に墜落した。			
2014	10	～	トラックが、荷積み作業のため冷蔵庫の搬出口につけようとバックし	10102	7	50～
		17	た際、トラックの後方にいた被災者に当たり、被災者の頭部がトラッ			99
		18	ク後部と搬出ゲート下部に挟まれた。			
2014	10	～	大型トラックを運転し、自動車道を走行中、工事のため止まっていた	40301	17	30～
		4	工事車両に追突した。			49
		5				
2014	10	～	県道走行中、折り畳み式のこぎりで支障木を除去しようとダンプト	40301	1	10～
		8	ラックの運転席の屋根に上ったところ、足を滑らせ、高さ2.9mの			29
		9	運転席の屋根からアスファルト舗装された路上に墜落した。			
2014	10	～	自転車で車道を走行中、左折のため停止している車を右側から追い越	130201	17	10～
		9	そうとしたところ、後方から走行してきた大型トラックにはねられ、			29
		10	死亡した。			
2014	10	～	トンネル内照明設備取替工事の規制内にて、撤去した資材をトラック	170201	17	30～
		4	に積み込み、路肩で積荷の点検を行っていたところ、高速道路を走行			49
		5	中のトラックが規制内に進入し、工事車両2台に衝突。車外で積荷点			
			検中の被災者が死亡した。			
		5	高速道路を走行中、タイヤがパンクした為、ハザードランプを点灯さ			50～

2014	10	6	～	せ、速度を落とし、走行していたところ、大型トラックに追突され、横転し、死亡した。	70101	17	99
2014	10	10	～	9 路上にて、トラック荷台の後部に仰向け状態で倒れている被災者が発見された。被災者は、くも膜下出血と、後頭部頭蓋骨陥没により死亡した。	40301	1	10～ 29
2014	10	6	～	5 国道をトラックで走行中、道路脇のガードレールに激突。バス停に停車中の大型トラック後部に追突した。	40301	17	30～ 49
2014	10	5	～	4 運転するトラックが自動車を走行中、後ろから走行してきたトラックに追突され、道路左側の法面に乗り上げ、横転した。	40309	17	10～ 29
2014	10	10	～	9 大型観光バスを運転し、国道を走行中、カーブで対向車線を走行していたトラックがバス側の車線にはみ出し、バスとトラックが正面衝突した。	40202	17	1～9
2014	10	14	～	13 被災者は、土砂をダンプトラックで砂置場まで運搬する作業中、T字路を曲がったところ、法面に衝突した。	30111	17	300 ～ 499
2014	10	24	～	23 国道にて、運転していたトラックが中央分離帯を越え、対向車線にはみ出し、対向車線を走行していた大型トラックと衝突した。	40301	17	1～9
2014	10	10	～	9 トラックを運転していたところ、前を走っていた車に追突し、さらに対向車線の大型トラックと衝突した。	30201	17	1～9
2014	10	10	～	9 軽貨物自動車を運転し、建設工事現場に向けて走行中、カーブで対向車線を越え、電柱に激突した。	30110	17	1～9
		6		工事現場へ向かおうと軽トラックを運転し、走行中、信号が無い交差			

2014	10	7	～	点にさしかかったところ、運転方向左側から直進してきた乗用車と衝突し、頭部を強く打ち、死亡した。	30108	17	1～9
2014	10	10	9	倉庫にて、清掃中、荷卸しのためにバックしてきたトラックと倉庫のバースに挟まれた。	40301	6	30～ 49
2014	10	11	10	パイプ椅子50脚を載せた台車をトラックのパワーゲートを用いて荷下ろしのため昇降中、パイプ椅子を載せた台車の一部がトラックの荷台に引っかかり、反動で台車と台車を支えていた被災者が共に転倒。被災者が台車に下半身をはさまれ、頭部が地面に激突した。	80409	2	10～ 29
2014	11	2	1	変電所設備工場の現場にて、移動式クレーンを現場から国道に誘導中、走行してきた軽トラックにはねられ、死亡した。	170201	17	30～ 49
2014	11	15	14	オークション会場内で、大型トラックの後進誘導中、隣に駐車していたトラックが発進したためその後輪にひかれた。	80109	6	1～9
2014	11	7	6	ダンプトラックの運転手である被災者は、休日に1人でダンプトラックの荷台を上げた状態でPTO等のグリスアップをおこなっていたところ、荷台と車体との間に挟まれて死亡しているのを発見された。	20202	7	1～9
2014	11	14	13	えん堤設置工事現場内の傾斜地にて、トラックへの車両系建設機械（ドラグショベル）の積み込み作業中、荷台に建設機械を積載後、トラック運転手である被災者がアウトリガーを収縮させたところ、トラックが逸走し、被災者がトラック後輪部にひかれ、死亡した。	40301	7	10～ 29
2014	11	7	6	住宅建築現場にて、市道の路肩にトラックを止め、被災者ら2名で車外で会話をしていたところ、トラックに激突された。	40301	17	10～ 29
2014	11	～	20	敷地内の駐車場を歩いていたところ、トラックに轢かれた。	40301	18	30～ 49

		21				
2014	11	1 ～ 2	被災者ら4人はワゴン車で移動中、自動車道のジャンクションに入ろうと減速したところ、後方から大型トラックに追突された。後部座席に乗っていた被災者が死亡した。	150101	17	300 ～
2014	11	6 ～ 7	食料品をトラックに載せ、国道を運送中、カーブで対向車線にはみ出し、対向してきた大型トラックと正面衝突した。	40301	17	1～9
2014	11	8 ～ 9	タンクローリーの車内の荷物を取り出し、降りようとしたところ、運転席から車外に仰向けに転落。額を車体に強打し、コンクリート床面に頭部を強打し、死亡した。	40301	1	10～ 29
2014	11	1 ～ 2	トラックで県道を走行中、右折のため停車していた前方車両に接触し、崖下に転落した。	40301	17	10～ 29
2014	11	8 ～ 9	トラック荷台で玉掛け作業中、荷台の反対側で物音が聞こえたため、見に行ったところ、荷台脇の地上で仰向けの状態で倒れている被災者が発見された。	40301	1	10～ 29
2014	11	8 ～ 9	同僚が機械式ごみ収集車の回転板の起動スイッチを押したところ、被災者が回転板に頭部を挟まれた。	150109	7	10～ 29
2014	11	9 ～ 10	ミキサー車がジブクレーン軌道間の通路を後退中、同通路を歩行していた被災者が轢かれた。	11501	7	10～ 29
2014	12	9 ～ 10	片側1車線道路のセンターライン上にて、交通誘導中、トラックにはねられた。	170201	17	100 ～ 299
2014	12	3 ～	小型トラックで走行中、センターラインを越えて対向車線を走行中の大型トラックと正面衝突し、頭を強く打ち、死亡した。	30199	17	10～ 29

		4				
2014	12	13 ～ 14	コンクリートミキサー車で県道を西進中、道路横のガードレールを乗り越え、下の川岸に墜落した。	10901	17	10～ 29
2014	12	4 ～ 5	自転車で新聞配達中、県道を横断していたところ、トラックにはねられた。	80205	17	10～ 29
2014	12	1 ～ 2	大型トレーラで高速道路を走行中、前方を走っていた大型トラックに追突した。	40301	17	300 ～ 499
2014	12	14 ～ 15	花を運搬中、運転する小型トラックが中央線を越え、道路反対側の車庫に衝突。田に転落した。	120109	17	100 ～ 299
2014	12	16 ～ 17	給油設備にて、トラックが後退していた際、事務所から出てきた被災者に接触した。	40301	6	1～9
2014	12	12 ～ 13	国道交差点にて、被災者の運転する中型トラックが、赤信号で停車中の大型トレーラーに追突し、死亡した。	40301	17	10～ 29
2014	12	11 ～ 12	貨車の最後尾に立ち、操車業務中、運転者へ無線にて緊急停止を伝えた際、制動が間に合わず、被災者が貨車を飛び降りたところ、トラックと衝突。貨車から落下してきたコンテナの下敷きとなった。	40309	4	10～ 29
2014	12	12 ～ 13	トラックで鶏を運搬中、高速道路のカーブを曲がり切れず、フェンスに激突。助手席に乗っていた被災者が車外に投げ出された。	10101	17	10～ 29
2014	12	17 ～	ダンプトラックにより土砂の運搬作業中、荷台と縦根太の間に頭部を挟まれていたところを発見された。	30309	7	1～9



		18				
2014	12	19 ～ 20	被災者が製品搬送用トラックの誘導をしていたところ、トラックの後方で倒れていた被災者が発見された。	11209	6	1～9
2014	12	22 ～ 23	トラックで走行中、緩やかなカーブを曲がりきれずに道路脇に設置された標識の支柱に激突した。	40301	17	100 ～ 299
2014	12	8 ～ 9	ピックアップトラックをコンクリート製の坂道にエンジンをかけた状態で車体前方を坂道の下に向けて停車し、降車し車から離れた際、トラックがゆっくりと坂を下っているのを確認し、走行する車体の前方に立ち入り、両手で押さえ停車させようとしたところ、車体の下に巻き込まれ、死亡した。	170209	7	100 ～ 299
2014	12	4 ～ 5	被災者は、トラックで荷の運搬中、信号待ちをしていた際、後続の乗用車に追突され、被災者が、トラックの後部で接触状況を確認していたところ、後続のトラックが乗用車に追突し、玉突き状態となり、乗用車とトラックの間に挟まれた。	40301	17	1～9
2014	12	8 ～ 9	被災者がトラックに保護帽を取りに向かった際、運転席から降りたところ、誤って足を踏み外し、地面に頭を強く打ち付けた。	150101	1	30～ 49
2014	12	8 ～ 9	配送先にて、荷降ろしを行っていた際、停車していたトラックが動き出したため、前方に回って止めようとしたところ、道路側面にある隣家の門柱とトラックの間で挟まれた。	40301	7	1～9
2014	12	5 ～ 6	ゴミ収集車が赤信号で交差点内に進入した際、左側から青信号で走行してきたダンプと出会い頭に衝突。ゴミ収集車を運転していた被災者が車外に投げ出され、全身打撲により死亡した。	80109	17	10～ 29
2014	12	12 ～	トレーラーを運転中、カーブに進入した際、道路右側の側壁に衝突し、衝撃で車両が横転。死亡した。	80109	17	10～ 29

		13				
2014	12	15 ～ 16	配送移動中、トンネル内で前方に停止していたトラックに追突した。	80102	17	30～ 49
2013	7	8 ～ 9	高架橋改良工事に伴う測量作業のため、車線規制を行おうとして路肩に待機していた作業員に、居眠り運転のトラックが突っ込み、この作業員を撥ねた。作業員は、車線規制を表示させる矢印板を、追い越し車線上に配置するため、路肩に待機していた。	170209	17	1～9
2013	10	14 ～ 15	建設現場（作業内容は、水道管敷設工事における水圧試験）へ水を運ぶため、近くの給油所で給水した水（50リットル）を軽トラック荷台のタンクに入れ運転中、軽トラックが反対車線に逸脱、電柱に衝突した。	30110	17	10～ 29
2013	4	1 ～ 2	国道にて、赤信号で停止していた軽自動車に、後方から走ってきた大型トラックが追突。追突の衝撃で軽自動車は回転し、前方に停車していた大型トラックに追突。軽自動車の運転手が死亡した。	170209	17	10～ 29
2013	3	7 ～ 8	国道で、被災者が運転するトラックが中央線をはみ出し、対向車線から来た大型バスと衝突し、被災者が死亡した。	40301	17	10～ 29
2013	9	6 ～ 7	2トントラックに3名が同乗し、建設工事現場へ向かっていたところ、追い越し車線から左に車線変更した際、後方から8トントラックに追突され、横転した。	30209	17	1～9
2013	8	4 ～ 5	被災者の運転する大型トレーラーが、路側帯に停車していた他の大型トレーラーに追突した。	40301	17	30～ 49
2013	11	3 ～ 4	国道で、被災者が運転する大型トレーラーが横転し、車外に投げ出され死亡した。	40301	17	1～9

2013	8	0 ～ 1	高速道路において、故障のため停車中のトラックに後続のトラック2台が追突し、追突した2台目のトラック運転手が全身打撲で死亡した。	40301	17	10～ 29
2013	2	5 ～ 6	軽トラックで会社から仕事先に向かう途中、道路の左側にあった電柱に衝突した。	80209	17	50～ 99
2013	1	4 ～ 5	被災者は、下り坂の路上で、ごみ収集車の運転席から降りて前方にあった可燃物ごみを収集していたところ、無人のごみ収集車が動き出し、腹部を激突された。	150109	6	30～ 49
2013	6	2 ～ 3	被災者は、事業場で対面点呼後、10トン大型トラックで目的地の倉庫に向かい、荷（堆肥袋）の積み込みを行った後、高速道路で配送先へ向かっていたところ、ジャンクション付近で渋滞して停車していた車両の列に追突した。	40301	17	10～ 29
2013	10	10 ～ 11	駐車場にて、セミトレーラの車体とトラクタの連結作業を行っている際、車体のサイドブレーキを掛けていなかったため車体が動き出し、トラクタの荷台部分から降りた被災者は、車体と隣のレーンにおいてあったコンテナ架台との間に挟まれ死亡した。尚、被災者は一人で作業をしており、災害を目撃したものはおらず、同僚が被災者を発見した。	40301	7	30～ 49
2013	12	23 ～ 24	本社で4トントラックに冷凍食品およびチルド品を積み込み支店へ戻る途中、下り線で中央分離帯に衝突した後、防音壁にぶつかり横転した。運転していた被災者は、頭を強く打ち、死亡が確認された。	40301	17	30～ 49
2013	10	3 ～ 4	片側1車線で路側帯の幅が狭い道路上にて、左前輪がパンクして路肩に停車していた中型トラックに大型トラックが追突。反動で中型トラックは、道路脇の側壁に衝突。中型トラックの運転者の被災者は、（中型）トラック左側と側壁の間に挟まれ、死亡したものの。	40301	17	50～ 99
		5	県外から市場に魚を運搬してきていた保冷車が、カーブを曲がりきれず、道路左側のガードレールや信号柱をなぎ倒しながら横転した。被			10～

2013	5	～ 6	災者は、つぶれた運転席に閉じ込められ、約2時間後に救出されたが、搬送先の病院で死亡した。	40301	17	29
2013	4	15 ～ 16	拡幅された国道の舗装工事現場において、道路の片側一車線ずつを交通規制しながらアスファルト舗装を行っていたが、次のアスファルト合材運搬用ダンプカーが到着するまでの間、予め予定していた取合部の埋め戻し作業に取り掛かったところ、碎石を積んでいた最大積載量3トンのダンプカーを目的位置へ後進させた際、当該ダンプカーの後方で作業していた被災者が轢かれた。	30106	7	50～ 99
2013	11	14 ～ 15	被災者は、トラックを運転していたところ、対向車線を走行していたトラックがセンターラインを越え、被災者が運転するトラックの車体右後部に激突した。	150103	17	1～9
2013	6	9 ～ 10	被災労働者は、2トントラック（LPG車）にLPGボンベ29本及び灯油一斗缶20数本を積み、配達のために県道を走行中、道路から右側へそれて横転し、側道の無人の駐車車両2台に相次いで衝突した。衝突後トラックは炎上し、被災労働者は運転席内で全身火傷を負って死亡した。尚、災害発生時の天候は雨であった。	80204	17	10～ 29
2013	8	14 ～ 15	被災者は、会社所有の自転車を使用して、事業場へ向かった。その後、途中の路上で、頭部を強くうっている被災者が発見された。	80209	17	30～ 49
2013	11	9 ～ 10	製鋼所で出た乾粉（副産物）をバキューム車で回収し、リサイクルセンターのリパルパー槽に降ろしていた際、バキューム車の後部ハッチを開け、乾粉を排出し、出きらなかったエプロン部の乾粉をほうきで掃き出していた被災者は、誤って閉じられたハッチと車体に挟まれた。	150102	7	10～ 29
2013	2	11 ～ 12	被災者はバイクで直進中、右折してきた普通乗用車と衝突し、さらに歩道の花壇に激突して死亡した。	90101	17	1～9

2013	11	11 ～ 12	スーパーの駐車場でトラック（3.5 t 荷台がアルミ製の箱型）から荷卸し作業をしていた被災者は、缶飲料44箱（約616kg）を載せたカートトラック（台車）をトラック後部のゲートに移動させていたところ、カートトラックと共に約1m下のアスファルト地面に転落し、パレットや缶飲料箱の下敷きになった。	40301	1	50～ 99
2013	10	10 ～ 11	被災者は、構内の設備の塗装作業終了後、軽トラックを使用し部材を片付け、構内の所定場所に軽トラックを戻そうと一人で運転中、何らかの理由で運転が困難な状態になり減速することなく工場の柱に激突した。災害発生直後、車は傾いたままタイヤが回転した状態で止まっており、被災者がブレーキを踏んだ形跡は認められなかった。	11501	3	30～ 49
2013	9	9 ～ 10	道路の端において、軽トラックのキャビン上で、梯子を使ってバス運行に支障のある木の撤去作業を行っていたところ、約1.6m下のアスファルト道路上に墜落した。	40202	1	50～ 99
2013	12	6 ～ 7	高速道路上り線において、インター分岐点より後方に設定した第2テーパー（車線規制）の起点位置で、被災者が一人で夜間用規制材と昼間用規制材を取り換える作業を行っていたところ、追越車線からトラックが進入し、被災者と衝突。被災者は中央分離帯あたりまで跳ね飛ばされ、死亡した。	170201	17	100 ～ 299
2013	4	16 ～ 17	被災者は、高さ3mのセメントローリー車のタンク上から墜落し、外傷性硬膜化血腫により死亡した。発見時、タンク中央付近にあるマンホールの位置に近いところに倒れていたところから、このマンホール付近で何らかの作業していたのではないかと推測されるが、被災者の一人作業時に発生した災害であるため、作業内容及び発生状況は不明である。	40301	1	10～ 29
2013	4	14 ～ 15	バルク車内の製品確認のため、バルク車に固定されたハシゴを昇っていた被災者は、コンクリート地面に墜落した。	11709	1	10～ 29
		13	国道上り線において、信号待ちをしていた車列に大型トラックが追突			

2013	7	14	し、計6台の車両が関係する交通事故となった。このうち、車列の最後尾で大型トラックに追突された3 t トラック運転手が死亡した。	40301	17	10～ 29
2013	7	11 ～ 12	走行中に故障した8 t トラック（ウイング車）の修理のため、作業員2名で現場に向かい、被災者を現場に残し、1名が必要な工具を営業所に取りに行き、再び現場に戻ってきたところ、トラック左後輪に被災者が巻き込まれていた。	170209	6	1～9
2013	3	11 ～ 12	被災者は、所属事業場構内で荷主の製材会社の労働者との共同作業で、トラックに住宅用加工材を積込む作業を行っていた。フォークリフト運転の荷主の労働者が最後の材を積み終え、フォークリフトを所定位置に移動させた際、材が落ちる音がした為、積込場所に戻ると、積荷の一部の木材2束（約160 kgと約30 kg）が地面に落下、そばに被災者が倒れていた。被災者は、直前に積み荷上でロープ掛けしていたが、災害時の現認者なく詳細は不明。	40301	1	30～ 49
2013	11	1 ～ 2	トラックでの配送作業で走行中、トンネル内照明工事のために停車していた大型トラックに追突した。	40301	17	1～9
2013	7	16 ～ 17	被災者は、ハンドガイドローラーでジャリ道を舗装していたところ、後進していた4トンダンプトラックに激突、転倒した際、左後タイヤに頭をひかれた。	30106	6	10～ 29
2013	3	2 ～ 3	国道でトラックを運転走行中、対向の大型トラックと正面衝突した。	40301	17	1～9
2013	5	11 ～ 12	荷主先にてトラックの上に乗し、サイロからチップを積み込む作業をしていたところ、トラックの上から墜落（約4メートル）し、頭部を強打した。	40301	1	50～ 99
2013	4	8 ～	8トントラック車で走行中、中央分離帯のガードレールに激突し、その後、約200メートル走行して停止した。	40301	17	30～ 49

		9				
2013	6	23 ～ 24	被災者はトラックを運転し高速道路を走行中、工事渋滞により停車していたトラックに後方から追突した。	40301	17	50～ 99
2013	1	13 ～ 14	被災者は、採石場でトラックに積み込んだ砂をコンクリート製品製造工場へ運搬するため、一人でトラックを運転して県道を走行していたところ、緩やかな左カーブにおいて、対向車線を突っ切って、ブレーキをかけることなく反対車線の道路沿いにある高さ約5メートルの法面をトラックで駆け上がり、その反動で車体が2回転して車体が大破した。	40301	17	1～9
2013	2	10 ～ 11	被災者は、得意先を回るため自社1トントラックを運転して片側1車線の県道を西方面に走行中、緩やかなカーブになっている所で、センターラインをオーバーし、前方より反対側車線を走行してきた大型ダンプトラックと正面衝突した。	80109	17	30～ 49
2013	2	0 ～ 1	タンクローリーを運転中、インタ出口付近左側分離帯に接触し、右にハンドルを切ったことにより中央分離帯に激突した後、中央分離帯に乗り上げ横転した。	40301	17	10～ 29
2013	8	5 ～ 6	被災者は、2トントラック（積荷はなし）にて荷主先へ行く途中、交差点手前で4トントラックに追突した。	40301	17	30～ 49
2013	3	9 ～ 10	産業廃棄物中間処理場において、廃棄物集積場からごみ収集車への廃プラスチック類積み込み作業中に発生した。被災者は、工場長と2人で、集積廃棄物からプラスチック類を選別しながら収集車後部の投入口に投げ入れる作業をしていたところ、投入口に設けられた回転板に上半身を巻き込まれた。工場長が回転板を反転させるボタンを押したが、被災者は咽頭部をひどく損傷しておりまもなく死亡が確認された。	150102	7	1～9
			被災者は、自ら運転する最大積載量7.6tのトラックの荷台に積ま			

2013	8	8 ～ 9	れたH鋼を降ろすため、H鋼を固定していたワイヤーロープを解いたところ、トラック助手席側最上段に積まれたH鋼1本が何らかの原因で落下して被災者に激突した。	40301	4	1～9
2013	7	5 ～ 6	生鮮食料品を配送のため国道を走行中、赤信号で停車していた大型貨物自動車（10トン）に追突し、後部下側に潜り込むような形で激突したため運転席が大破した。	40301	17	10～ 29
2013	3	4 ～ 5	サービスエリア入り口付近の本線上で2台の車両が絡む追突事故が発生し（第1事故）、その事故を避けようとしてサービスエリアの進入路方向へ入ろうとした被災者が運転するトラックが、サービスエリア進入路入り口付近で立ち往生していた一般乗用車に追突した。その後、当該トラックはバスに追突し、バスが他のトラックに追突し、多重事故となった。	40301	17	10～ 29
2013	5	3 ～ 4	配送のため国道を走行中、前に停車したカーキャリア車に追突し、運転席に挟まれ死亡した。	40301	17	1～9
2013	9	22 ～ 23	国道で、水道工事のため左車線に停車していたサインカー（交通整理を表示する車）に、国道を走行してきた自営業者が運転する4トントラックが追突。弾みで押し出されたサインカーに、前方で交通整理をしていた被災者（警備員）がはねられた。	170201	17	50～ 99
2013	5	16 ～ 17	産業廃棄物中間処理場で、建築廃材を入れたコンテナをトラックの荷台に載せようとして、後進するトラックを誘導していた被災者は、トラックとコンテナの間に挟まれて死亡した。	150102	7	1～9
2013	11	13 ～ 14	工場において、トレーラーの下にもぐり、エアーベローズの安全リリース弁に繋ぐホースジョイントを取付け作業中、車体を支えるエアーが抜けて車体さがり、頭部を挟まれ死亡した。	170209	7	30～ 49
2013	6	11 ～	高速道路で前方が渋滞していたため40km/hで運転走行中、およそ90～95km/hで走行していた後続車（トラック）に追突され	11403	17	10～ 29



		12	た。			
2013	10	14 ～ 15	走行中の大型トレーラーが、渋滞の最後尾にいたトレーラーに追突した。その弾みで、前にいたバイク1台と車3台が巻き込まれた。現場は片側1車線の道路で、事故当時は工事で片側通行になっており渋滞していた。	40301	17	10～ 29
2013	12	19 ～ 20	被災者（交通誘導員）は、サービスエリアの駐車場において自動車の交通誘導を行っていた。大型貨物自動車の本線より駐車場に入ってきた。当該トラックの運転手は、被災者の立ち位置に気づかず当該トラックを後進させたところ、被災者を大型車輪で轢いてしまった。	170201	17	10～ 29
2013	9	13 ～ 14	函渠設置工事の現場において、元請の現場管理を行う被災労働者が現場内を移動中、国道と地方道が交わる交差点（当該工事は、交差点の地中に函渠を埋設する工事）の北東に位置する地方道の横断歩道を横断しようとしたところ、国道から地方道に左折した大型トラック（一般車両）にはねられた。	30199	17	1～9
2013	8	3 ～ 4	被災者は、貝類を積んだトラック（冷蔵冷凍車）を運転し、事業場を出発。目的地の市場で荷を降ろした後、事業場に戻るため走行中、大型トレーラーに衝突した。衝突後、被災者の運転するトラックの左前方が大破し、隙間から車外へ放り出され、左後輪に腹部周辺を轢かれた。	40301	17	30～ 49
2013	11	3 ～ 4	被災者が運転する大型トラックと、軽乗用車が接触事故を起こしたため、路肩に車を止め、大型トラックと軽乗用車の間の路肩にいたところ、後方から走行してきた中型トラックが大型トラックに追突した。その事故により路肩上の二人が死亡した。	40301	17	10～ 29
2013	10	9 ～ 10	国道にて3トントラックが反対車線にはみ出し、対向の乗用車と接触、さらに乗用車の直後を走っていた2トンダンプと正面衝突した。	40309	17	1～9
		9	スラグ加工所において、加工されたスラグをホッパーからダンプトラックに積載し、所定場所に配置する作業中、別の作業をしていた労			100

2013	12	～ 10	働者が、同作業場所に立ち入り、後退して来たダンプトラックに轢かれた。	11001	6	～ 299
2013	10	6 ～ 7	タンクローリーに液化石油ガスを積載して国道右カーブを走行中、左側ガードレールに衝突し、その先のガードレールを突き破って約15m下の谷底を流れる川へと転落した。尚、被災者はシートベルトを着用しておらず、車外に投げ出されて頭部を打ち、死亡した。	40301	17	50～ 99
2013	10	5 ～ 6	走行中の4トントラックと、反対方面に走行中の大型トラックが正面衝突。被災者は全身を強く打ち、搬送先病院で死亡した。	40301	17	30～ 49
2013	1	4 ～ 5	自転車で朝刊配達をしている際、県道を渡ろうとしたところ、右から走行してきたトラックにはねられた。	80205	17	10～ 29
2013	12	4 ～ 5	高速道路において、1台目のトラックが故障により道路の左側に寄せた状態で停車し、後ろから2台目のトラックが接近し、急ハンドルにより右側に逸れ、中央分離帯に衝突。3台目のトラックが停車中の1台目の故障車に接触するも、回避し、4台目のトラックが接近し、回避できず故障車に正面から激突。5台目のトラックは右側にある中央分離帯に激突。この事故で、4台目の運転者が運転席に挟まれ死亡した。	40301	17	1～9
2013	1	3 ～ 4	アルミインゴットを積載したトレーラーを走行していたが、前日からの降雪により、橋上は凍結しており、スリップし左側の欄干に激突、操作不能となり、センターラインを超え、右側の欄干を突き破り、約17m下の谷に落下し、炎上した。	40301	17	30～ 49
2013	7	23 ～ 24	単独事故により追い越し車線をふさぐように停車したトラックに、被災者が運転するトラックが気づくのが遅れて追突した。追突して停車したところへ後続のトラックが衝突し、被災者は死亡した。尚、現場は片側三車線の緩やかな右カーブ。	40301	17	30～ 49

2013	5	2 ~ 3	<p>運転手（被災者）が飼料運搬専用（タンク形状）のトラックを使用し、積込先の構内で飼料の積込作業中、同トラック横に倒れているところを発見された（目撃者なし）。尚、発見時、同トラックのタンク上部に設けられた飼料投入用の扉は開いていたが、飼料はタンクに投入される前の状態であった（同タンク上部の高さは約3m）。また、安全帯の取付設備はあったものの被災者は安全帯、保護帽は未着用であった。</p>	40301	1	10~ 29
2013	7	18 ~ 19	<p>走行中ハンドル操作を誤り、道路右側ガードレールに接触し、進行方向が変わり、道路左側ガードレールを破壊し、さらに道路表示板を照らすための投光器支柱に衝突した。</p>	40301	17	30~ 49
2013	6	14 ~ 15	<p>出張中の交通事故。交差点内で、右折しようとした被災者のミニバイクと、直進しようとした相手側トラックが衝突した。</p>	90101	17	10~ 29
2013	4	12 ~ 13	<p>出張作業に向かうため、自動車で移動中に交通事故にあった。高速道路で渋滞のため停車中、後方から大型トレーラーに追突された。</p>	11102	17	50~ 99
2013	3	12 ~ 13	<p>道路わきの樹木伐採を行い、伐採した木をトラックに積み込んだ。積み込み作業が完了した際、走行してきた別のトラックに轢かれた。尚、現場は片側一車線道路で、路肩にトラックを止めカラーコーンを置き一車線を規制して作業を行っていたが、走行してきたトラックが停車していたトラック横を通過した際大きな音がし、その直後交通誘導を行っていたガードマンが、倒れている被災者を見つけた。</p>	30199	17	1~9
2013	2	10 ~ 11	<p>商品配達のため、被災者は、トラックを客先の駐車場に停車し、エンジンを切って運転席から降りた。被災者が、荷台で荷降ろし作業を行っていたところ、トラックが前に動き出した。被災者は、荷台から降り、運転席に行こうとトラック右横に行ったところ、動いたトラックと敷地の門柱の間に挟まれた。トラックが門柱から通り過ぎた後、被災者は倒れ、病院に搬送されたが死亡した。</p>	40301	7	100 ~ 299

2013	7	1 ～ 2	トラック走行中、前方の大型トラックに追突した。	40301	17	30～ 49
2013	11	9 ～ 10	トラックの運転操作を誤り、道路脇の水路へ落ちた際、胸を打ち付けたため死亡した。	10109	17	1～9
2013	3	5 ～ 6	自動車運搬用のトレーラー（乗用車6台積載）を運転していた被災者は、前を走行中の大型トラックに追突した。	40301	17	30～ 49
2013	2	4 ～ 5	トラックで配送先へ向かっている途中、パーキングエリア内において停車していたトラックに後方から追突し、死亡した。パーキングエリア内の駐車場が満車のため、進入路まで車列が並んでおり、最後尾に停車していたトラックに追突した。	40301	17	1～9
2013	1	15 ～ 16	翌日の運送に備えて自宅でトラックの整備を行っていたところ、リフトアップをしていたボトル型ジャッキがエンジンオイルの交換中に外れ、トラックの下敷きになった。	40301	7	50～ 99
2013	1	14 ～ 15	事業場敷地内において、被災者ら3名は最大積載量7.2トンの貨物自動車の荷台にフォークリフトを用いてコンクリートブロックを積む作業を行っていた。被災者は荷台の上（地上高さ約1.5m）で、荷台に乗せたブロックの位置を調整する作業をしていたところ、墜落した。	10901	1	1～9
2013	2	12 ～ 13	被災者は生コンの運搬のため、コンクリートミキサー車を運転して建設工事現場へ向かう途中、緩い下り坂に車を止め、エンジンを切らずに車を降り、道の状況を確認し、同車に戻ってくる途中、無人のまま動いていた同車に轢かれた。その後同車は、路肩のカーブミラーを倒し横転した。事故時の状況を目撃していた者はいなかった。付近の住民が被災者を発見し、救急車を手配したが、現場で死亡が確認された。	40301	17	10～ 29

2013	7	9 10	オートバイ卸売店において、被災者は同僚とオートバイ2段積みトラックの上段からバイクを地上に降ろす作業を行っていた。被災者は、テールゲートリフター上にバイクを載せ、リモコン操作によりテールゲートリフターを下降させていたところ、バイクとともに墜落し、その際バイクが被災者の身体上に落下した。	80109	1	1～9
2013	2	8 9	堤防上の道路（市道）において、軽貨物自動車を運転していた被災者は、交差点を左折する際、後方から進行してきた中型貨物自動車に衝突され、死亡した。	80109	17	10～ 29
2013	11	7 8	事業場事務所に集合し、1.5tトラックに被災者を含めた3人が乗車し、同僚が運転して物置トタン張替工事現場へ向かう途中、当該トラックが前方の車に追突しそうになったため、避けようとハンドルを右に切ったところ、対向車線を走行してきた乗用車と正面衝突し、体を圧迫され死亡した。	30202	17	1～9
2013	10	5 6	被災者は2tトラックを運転中、国道交差点において信号待ちをしていた大型ダンプに追突し、頭を強く打って死亡した。	40301	17	1～9
2013	11	13 14	被災者は、当該事業場の車庫でバキュームカーの底部に入り、タンク下部のし尿漏れ箇所の修理作業を行っていたところ、作業箇所の近くでタンク内を負圧状態にするために回転していたシャフトに上着が巻き込まれ、頸部圧迫により窒息死した。尚、作業当日、被災者1人で作業を行っていた。	150103	7	1～9
2013	5	10 11	被災者が高速道路を社用車で走行移動中、エンジンの故障で路肩内に停車しているトラックを発見したため、トラック前方の路肩内に車を停車し、降車して運転手にトラックの窓越しに話を聞いていたところ、後方から走って来た他社トラックが、停車しているトラックに追突した。この衝撃で、停車トラックが約20メートル前方に押し出されて被災者を撥ねた。	30199	17	10～ 29

2013	4	20 ～ 21	自動車道をトラック（積載荷重13t車）で走行中、追い越し車線を走行していた後続のトラックの左前部が、被災者の運転するトラックの右後部に接触した反動で、側壁などに衝突した。	40301	17	10～ 29
2013	6	10 ～ 11	被災者は、タンクローリー車のタンク内部にある隔壁の点検・補修作業を行っていた。タンク内は隔壁で4室に分けられており、運転席側から順に1室～4室とされ、その内3室から4室へ液漏れすることから、3室に圧縮空気を流し込んで圧力をかけ、被災者が4室内で間の隔壁からの液漏れ確認を行っていたところ、3室側へ反り膨らんだ形状の隔壁が一気に4室側へ膨らみ、膨らんだ隔壁が被災者の頭部に激突し死亡した。	11701	15	10～ 29
2013	9	10 ～ 11	被災者は、砂防ダム工事現場に向かって作業道（幅約3m）を走行していた。作業道がジグザグ道のため、方向転換出来ない坂路を後進にて登坂した際、ミキサー車ごと道端から作業道までの斜面を約20m転落した。	10901	17	10～ 29
2013	6	3 ～ 4	被災者は、国道で荷物を運搬中、やや右カーブの下り坂でトンネル内の非常駐車場側壁に激突した。	40301	17	30～ 49
2013	3	9 ～ 10	国道交差点で、製品の運搬のため、高岡市方向へ走行していた被災者運転の1.2トントラックが、信号待ちをしていた大型タンクローリー車に追突。病院に搬送されたが、死亡した。	11209	17	50～ 99
2013	9	4 ～ 5	上り線（片側2車線）で2台のトラックが接触。双方の運転者がトラックを道路左脇に前後に停車させ、事故処理等話し合った後、前方のトラック運転者は運転席に移動、後方のトラック運転者は後方のトラックの前にいたところ、別のトラックが後方のトラックに追突し、車外にいた運転者が後方のトラックの下敷きになり死亡した。	40301	17	10～ 29
2013	6	23 ～	トラックで走行中、落下物（タイヤ）に衝突したため、路肩に停車し、車両前方に降りて警察に通報していたところ、後続のトラックに追突された。被災者は、追突により押し出された自転車にはねられた	40301	17	100 ～

		24	上、間もなく両トラックが炎上したため全身火傷を負った。			299
2013	11	14 ～ 15	工事のため片側交互通行となっている区間において、工事用信号により信号待ちを行っていた車列最後尾の大型トラックに、中型トラックが追突し、中型トラック運転手が死亡した。	40301	17	30～ 49
2013	8	11 ～ 12	国道のトンネル内の緩やかなカーブにおいて、走行していた被災者のトラックの正面に、対向車線を走行していた大型トレーラーの荷台部分がスリップして中央線を大きくはみ出し、激突した。	40301	17	1～9
2013	11	9 ～ 10	国道の道路情報掲示板の点検作業に伴う交通誘導業務において、当該作業場所から約160メートル離れた位置で交通誘導業務を行っていた被災者は、停止合図に気が付かないで走行してきたトラックにひかれた。	170201	17	50～ 99
2013	5	5 ～ 6	被災者は、10トントラックで夜間運行に従事し、高速道路を走行して事業場へ戻る途中、道路のラインを引く作業を行っていた低速作業車の車列（走行車線を縦列に5台、時速10キロで走行）の最後尾を走行していた散水車に追突し、被災者運転のトラックは大破した。	40301	17	100 ～ 299
2013	8	16 ～ 17	顧客へ納品を終えた被災者は、帰社するために会社所有のトラックを運転し、国道を走行中ガードレールに衝突した（自損事故）。	11402	17	1～9
2013	2	14 ～ 15	被災者は、残土置場で工事現場から土砂を運搬してきたダンプカーの交通誘導に従事していたが、元請労働者がドラグショベルを操作して土砂の整地作業を始めたところ、仰向けの状態で土砂に埋もれた被災者が発見された。関係者の証言から、被災者はダンプカーの後方で誘導中に、ダンプカーから降ろされた土砂に巻き込まれたものと推測される。	170201	4	30～ 49
2013	12	10 ～	被災者は、リサイクルされる食品用発泡トレイを回収運搬するため、一人で所属事業場から塵芥収集車を運転し災害発生場所に向かった。災害発生場所に到着後、作業中なんらかの原因により塵芥収集車の	11709	7	30～ 49

		11	テールゲート内に転落し、圧縮板の内側に巻き込まれているところを、災害発生場所の所属労働者により発見された。			
2013	6	8 ～ 9	空コンテナヤードで、車内で順番待ちをしていたトレーラー運転手が仮眠から目覚め、前で順番待ちをしていた車がいなくなっていたため前方に進んだところ、運転者を起こすために運転席側に回ろうと自転車でトレーラーに近づいていた被災者（警備員）に気づかず、自転車ごと轢いた。尚、被災者は、当該地区で誘導業務を行っていた。	170201	6	30～ 49
2013	1	4 ～ 5	輸送業務において、納入先へ向かうためトラック車両で走行中、出口において、出口と本線の間で衝突し、被災者が車外に放り出された。	40301	17	10～ 29
2013	9	22 ～ 23	被災者は、店舗から取り外した重量約200キログラムの厨房機器を2トントラックのパワーゲートに乗せ、荷台に積み込もうとしたところ、厨房機器が傾き、支えようとしたが、パワーゲート上から車体左側に厨房機器と共に落下、被災者は厨房機器の下敷きとなった。	170209	7	10～ 29
2013	3	21 ～ 22	交差点の横断歩道の信号が青となり、被災者が横断歩道を歩行中、被災者の右手前方から来た右折車両が、横断歩道上で被災者をはねた。	170201	17	100 ～ 299
2013	3	13 ～ 14	乗用車で片側2車線の道路の交差点で右折待ちで停車中、後ろから来たキャリアカーに左後部を追突され、反動で対向車線に押し出されたところ、対向車線を走行していたダンプトラックに左側面から衝突され、運転していた被災者が死亡した。	170201	17	300 ～ 499
2013	5	12 ～ 13	SRC造・地下2階・地上4階の建物新築工事現場において、コラムシェルで掘削した土砂を現場から排出するトラックを、現場内において誘導する作業に従事していた1次下請の労働者が、後退してきたトラックに轢かれ、死亡した。	30201	6	300 ～
2013	9	6 ～ 7	被災者3名は事業場へ集合し、トラック（社用車）で新築工事現場へ出発した。左カーブを走行中、道路左側にあるガードレールに衝突し、運転手が車外へ投げ出されて死亡した。	30309	17	10～ 29



2013	1	5 ～ 6	被災者は、ゴミ収集先の物品納入口脇にある地下駐車場出入口付近に、自ら運転していた塵芥収集車を止め、ゴミ収集作業に取りかかっていたところ、下り側に当該塵芥収集車が動き、塵芥収集車の右後部側面と側壁との間に体を挟まれ、胸部圧迫により窒息死した。	150102	7	10～ 29
2013	11	2 ～ 3	トラック運転者である被災者は、追突事故を起こしたために自走不能となり、警察がくるまでの間、トラックを路上に停車させて運転席で待機していたところ、後方からトラックに追突され、後頭部に強い衝撃を受けた影響で死亡した。	40301	17	30～ 49
2013	4	10 ～ 11	被災者は、停車している貨物自動車の荷台上で、収集したごみ袋の荷卸し作業を行っていたところ、貨物自動車が発車し、体勢を崩してアスファルトの地面に墜落した。尚、被災者は作業時、安全带及びヘルメットは使用していなかった。	80209	1	100 ～ 299
2013	4	10 ～ 11	ゴミ収集車がバック走行で建物内の集積所に入ろうとした際、同ゴミ収集車の荷台上にいた被災者が、車両と車両の高さ制限を示す鉄骨との間に頭を挟まれ、死亡した。	150103	7	30～ 49
2013	8	7 ～ 8	被災者は、配送用トラックを運転していたところ、センターラインをはみ出し、対向車線を走っていた路線バスに正面衝突し、全身を強く打った。	10109	17	10～ 29
2013	8	6 ～ 7	被災者は、中型トラック（3.5 t）を運転し交差点にて信号待ちで停車していたところ、後方から時速60 kmで走行中の中型トラック（4.3 t）が追突し、被災者のトラックは追突の反動で前方に停止していたトレーラーに追突した。	40301	17	10～ 29
2013	7	5 ～ 6	被災者は夜間道路工事終了後、トラックで本社へ戻る途中、対向して来たタンクローリーと衝突した。	30106	17	1～9
		21	被災者は、引越作業で回収したリサイクル家電を2 tバン型トラックで3階まで運ぼうとスロープを上り始めた際、荷台に乗ってラッシン			30～

2013	2	～	グベルトを持ち荷台の冷蔵庫を支えていたところ、トラック後部の扉	40301	1	49
		22	が開いていたため、冷蔵庫とともに荷台から墜落し、墜落した被災者の右側頭部に冷蔵庫が当たり死亡した。			
2013	4	～	被災者は、2トントラック（ワンマン）にて配送を終えた後、翌日分の積荷を積むために荷主（木材加工）工場に向かう途中、4トンダン	40301	17	30～ 49
		17	プトラックに追突した。			
2013	11	～	国道配水管敷設替工事現場において、片側相互通行を実施していたと	170201	17	30～ 49
		15	ころ、進行していた軽トラックが、交通誘導のため反対側車線内で2			
		16	トントラックを停止させていた被災者をはね飛ばし、2トントラックに激突した。			
2013	6	～	国道路肩にトラック（4 t、チルド車）を停めて車内で作業中、後ろ	40301	17	50～ 99
		12	から来たパッカー車に追突された。トラックは50 m程前進し前方の			
		13	車両に追突し、その衝撃で被災者は車内にて全身を打撲した。			
2013	4	～	パッカー車の助手である被災者は、クリーンセンター内のごみピット	150102	6	30～ 49
		11	内（深さ約15メートルであるが、ごみが8メートルほどたまってい			
		12	たため、実質深さ7メートル）に墜落し、その後、被災者の上に圧縮されたごみ2トンが投入され、窒息死した。			
2013	11	～	発見者は、停車した隣のトラックが駐車場から出る際に違和感を感じ	40301	17	50～ 99
		1	たので、トラックを停車し脇を見たところ、被災者が倒れていたのを			
		2	発見した。しばらくして被災者が運転していたトラックが動き出した			
			ので発見者が慌ててサイドブレーキをかけた際、軽トラックが侵入してきて被災者をひいた。			
2013	11	～	被災者は大型トラックを運転中、信号待ちしていた大型トラックに追	40301	17	10～ 29
		0	突し、出血性ショックにより死亡した。			
		1				
2013	12	～	2トントラックを運転中、居眠りのため、前方大型トラック右後方に、車両左前部が追突。その弾みで追い越し車線を経て、中央分離帯	80209	17	1～9
		7	に、車両左前部が追突。その弾みで追い越し車線を経て、中央分離帯			
			ガードレールに車両右側面から激突。助手席に乗っていた被災者が死			

		8	亡した。			
2013	3	7	空積みの最大積載量24トンのコンテナトラックを、被災者を含む2名で誘導していたところ、この2名の誘導者で「ストップ」と声で停止の合図をしたが、運転者に届かず、そのまま後進したために、コンテナトラックの後方にいた被災者が、コンテナトラックと「輸出台」と呼称される鉄製の架台との間に挟まれた。	150109	7	30～ 49
2013	3	5 ～ 6	被災者は、会社の商品を得意先に納品するため、自社所有の4トントラックにて会社を出発し、ICを降りて国道を東に向かって運転中、交差点で信号待ちをしていた10トントラックの後部に追突し、死亡した。	80109	17	30～ 49
2013	9	2 ～ 3	被災者の運転する4トントラックが、対向車線に駐車していたトレーラー（牽引車は着いておらず無人）に正面衝突し、頭を強く打って死亡した。	40301	17	10～ 29
2013	12	16 ～ 17	道路維持工事完了後、同工事の規制標識撤去作業を行っていた。作業用車両2台が路肩車線に停車していたところへ、通り掛かった一般車両（3t積トラック）が追突した。衝撃で動いた車両と側壁との間に、車外にいた作業員1名が挟まれ、さらに高架下（高さ18m）へ墜落した。	30106	17	10～ 29
2013	11	10 ～ 11	車両により資源ごみの回収作業をしていたところ、車両を運転していた同僚が廃棄物の回収を終え、車両を発進させたところ、次の集積所に向かっていて被災者を轢いてしまった。	150102	17	30～ 49
2013	10	10 ～ 11	交通事故により渋滞が発生していたため、被災者の前方を走行していた大型トラックが減速の後に停車をした直後、被災者の運転する大型トラックが追突し、ハンドルで首を圧迫されて死亡した。	40301	17	10～ 29
2013	7	1 ～ 2	渋滞のために停止していた大型貨物車両（10t）に、被災者が運転する大型貨物車両（13t）が追突、玉突き状態となり、3台の大型貨物車両を巻き込んだ。追突した車両は損傷が激しく、運転者は搬送	40301	17	30～ 49

			先の病院で死亡した。			
2013	11	17 ～ 18	被災者は、雪の積もった村道で脱輪した車の救出作業に出向いた。作業終了後、被災者は事業場に戻る途中、村道を軽トラックで走行していたところ、積雪により脱輪して進行方向左側の斜面を約1.1m下の草地へ滑落し、胸や腹を強打して死亡した。	140101	17	10～ 29
2013	8	15 ～ 16	県道沿いに設置されたケーブル配線の移設工事現場において、交通警備の委託を受けた警備会社の警備員が、片側交互通行の交通誘導を行うため、片側通行区間の手前の道路中央付近で誘導を行っていたところ、走行してきた2トントラックにはねられ、出血性ショック死により、搬送先の病院で死亡した。	170201	17	30～ 49
2013	9	13 ～ 14	被災者は、勾配のある市道においてごみ収集車（以下「車」という。）を停車してごみの回収作業を行っていたところ、車が坂を下り始めた。そのため、運転席から車に乗り込もうとしたところ、運転席のドアが住宅のブロック塀に当たったために閉まり、乗り込もうとしていた被災者の体が、車体と運転席のドアに挟まれた。	150103	7	10～ 29
2013	7	13 ～ 14	被災者は、国道の上り線にトラックを停車させ、取引会社のライトバンと自社トラックとの間で荷の積み替え作業中、ライトバンが後方から走行してきたトラックに追突され、反動により前方に押し出されたことで、自社トラックとライトバンの間に挟まれた。	40301	17	30～ 49
2013	11	1 ～ 2	被災者は、3t普通貨物を運転して市内の店舗から最終配送先店舗に向かうため、国道の下り車線を走行中、交差点で進行方向が赤信号のため停車していた10t大型トラックの後部に追突した。被災者は、自車のキャビンに挟まれた。	40301	17	50～ 99
2013	7	8 ～ 9	仮設道路の撤去工事において、ダンプトラック（以下「トラック」）を用いて資材を運搬する作業を行うこととした。被災者は、現場内にトラックを停止させて運転席を下車した。その後、突然、無人のトラックが動き出し、それを止めようとした被災者がトラックと側壁との間に挟まれた。	30199	7	10～ 29

2013	3	7 ～ 8	大型トラックで高速道路を走行中、右に転進して中央分離帯に乗り上げ、下り反対車線路上に投げ出されたため、対向車に轢過され死亡した。	30309	17	10～ 29
2013	6	6 ～ 7	自社所有2トントラックで走行中、信号待ちで停車していた10トンダンプに後方から追突した。	40301	17	10～ 29
2013	2	4 ～ 5	信号待ちして停車していたトレーラーの後部に、被災者が運転していたトラック（積載荷重2トン）が追突し、その弾みで被災者は頭部を打撲して死亡した。	80109	17	30～ 49
2013	10	1 ～ 2	被災者は、トラック（最大積載荷重2.5トン）に荷を積み込んでいたところ、トラックが無人のまま前方に動き出したため、被災者がトラックの前から腕で押して止めようとしたが、トラックと金属製のトラックの間に挟まれた。	40301	7	30～ 49
2013	4	0 ～ 1	荷を配送するため首都高速を20トントレーラーで走行していた際、右カーブを曲がりきれず横転し路上に投げ出され、自車の下敷きとなり即死した。	40301	17	10～ 29
2013	8	0 ～ 1	被災者が運転する3トントラックが、渋滞中の10トントラックに追突し、もう1台も絡む玉突き事故が発生した。	40301	17	30～ 49
2013	12	5 ～ 6	被災者はトラックを運転していたところ、道路工事のため車線がS字になっている地点で、対向するトラックが反対車線に進入してきたため、正面衝突した。	40301	17	30～ 49
2013	9	16 ～ 17	被災者は、市道の歩道部にある街路樹の剪定等の作業（以下「街路樹工事」。）において、片側2車線道路の歩道側車道上で、工事に必要な範囲をカラーコーンで区切り交通規制をして行っていた。公道上で走行車両同士の交通事故が発生し、その車両のうち1台（トラック）が、交通事故の反動で街路樹工事の交通規制範囲に進入し、街路樹工	60101	7	1～9

			事に従事していた被災者が、当該トラックと街路樹工事に使用していた高所作業車の間にはさまれた。			
2013	11	14 ～ 15	被災者の運転するトラックが、信号待ちのため停車していた大型トラックに追突した。	40301	17	1～9
2013	12	14 ～ 15	鉄骨約2トンを積んだ4トントラックを運転していた被災者が、取引先の入口付近の道路上にトラックを停車させて運転席を離れたところ、路面の傾斜（勾配10度）によりトラックの車体がゆっくりと後退し始め、道路から道路北側の田地に転落した。車体の後退を止めようとして運転席付近にいた被災者は、車体と転席側の扉との間に身体を挟まれ被災し、胸部圧迫により窒息死した。	40301	7	50～ 99
2013	4	13 ～ 14	被災者は、荷積みホームで荷を被災者が運転する車両（4トントラック）に積んだ後、何らかの理由で当該車両と荷積みホームの間にいたところ、当該車両がホーム側に逸走し、車両と荷積みホームの間に挟まれた。災害発生後の状況から、災害発生時、車両はエンジンを切り、ギアはニュートラルの位置で、制動装置（サイドブレーキ）は引いてあった（かけてあった）状態であった。また、車止めは使用していなかった。	40301	7	10～ 29
2013	5	11 ～ 12	被災者は、道路除染用ショットブラストを使用して、道路の除染作業を行っていた。除染作業中、ショットブラストが故障したため傾斜約10度の坂にトラックを停車させてサイドブレーキを掛け、輪止めを1個設置した状態で運転者がトラックから降りたところ、トラックが輪止めを乗り越えて逸走し、ショットブラストを修理していた被災者に激突した。	30309	6	1～9
2013	10	0 ～ 1	被災者が高速道路の路肩にて、ハザードランプをつけて1tトラックを停車させていたところ、後ろから来た4tトラックに衝突され、横転した。そこに後ろから来た10tトラックが衝突した。被災者は、引越荷物の積み込み作業を終え、会社に帰社する途中であった。尚、	40409	17	1～9

			路肩に停車した理由は不明である。			
2013	7	12 ～ 13	営業を終え、市内の事業場へ戻るため国道を事業場所有の軽トラックにて南進中、道路脇の歩行者用信号柱に衝突し、同乗者が脳損傷により死亡した。	80209	17	1～9
2013	7	16 ～ 17	被災者は、空輸された部品を取りに行くため、会社所有の軽トラックを運転し、県道を走行中、対向車線に進入し、対向車線を走行していたワゴン車と正面衝突した。	11209	17	100 ～ 299
2013	7	13 ～ 14	所属事業場の駐車場内において、雑草等の廃棄物を指定場所まで運搬するため、廃棄物の積み終わった軽トラックにエンジンをかけたところ、運転操作を誤り前進したまま駐車場の端部から2.8m下の田んぼに軽トラックごと墜落。墜落時に胸部を強打し、外傷性血気胸にて死亡した。尚、駐車場はほぼ平坦で、墜落した駐車場の端部に車止めやガードレールは設置されていなかった。	30199	1	10～ 29
2013	12	13 ～ 14	アルミサッシ1枚を社有車（1t平ボデートラック）に積み込み国道を運送中、被災者トラックが対向車線に進入した。対向車線大型トラックは、被災者トラックを左に避けようとしたが路肩で避けきれず、対向車線（被災者走行車線）に入り被災者トラックを避けようとしたが、被災者トラックが走行車線に戻ってきた為、正面衝突した。	30202	17	10～ 29
2013	6	10 ～ 11	災害発生時、被災者は事業場への配達を終え、別の事業場へ配達を行うため、トンネル内をトラックで走行していた。このとき、前方を大型トラックが走行しており、そのトラックに被災者のトラックが後ろから衝突した。当該事故により、被災者は脳挫傷等で死亡した。尚、トンネル内は片側1車線（幅は約3m）で、ほぼ直線であった。	80109	17	1～9
2013	6	6 ～ 7	市道を走行中、右カーブの下り坂で被災者が運転する4tトラックがガードレールに接触し横転、出血性ショックにより死亡した。	30201	17	10～ 29
2013	6	6 ～	市道を走行中、右カーブの下り坂で同僚が運転する4tトラックが	30201	17	1～9

		7	ガードレールに接触し横転、脳挫傷により死亡した。			
2013	2	17 ～ 18	被災者は、建設現場での作業が終了し、帰社するため、3次下請事業主の運転する社有車に乗車した。高速道路で渋滞が発生し、被災者らの乗車している車が停車していたところに後続の大型トラックが追突し、助手席の被災者が死亡した。	30203	17	10～ 29
2013	6	10 ～ 11	無線操縦ヘリコプターによる農薬散布を4名で実施中、被災者は場所を移動するため、同僚が運転する2tトラックの荷台に農薬散布用無線操縦ヘリコプターを積載し、荷台上（荷台の長さ3m程度の後部のあおりを平たんにして、あおりに腰掛けるようにして）に搭乗し、無線操縦ヘリコプターを支えながら農道を移動中、トラックの荷台から転落した。	150109	1	1～9
2013	4	10 ～ 11	移動販売用の軽トラック（保冷車）に10kgの海産物（魚卵：メソタイコ）を積載し、訪問販売のため市内の集落へ向かう途中、国道（トンネル内：片側1車線の緩いカーブ）で、対向してきた普通トラックがトンネル内の壁に激突し、その弾みでセンターラインを越えて来たため、正面衝突した。	80209	17	1～9
2013	12	5 ～ 6	国道上（片側1車線の直線）において、自車大型トラックがセンターラインをはみ出し、反対車線の大型トラックに正面衝突した。双方の大型トラック運転手が死亡した。	40301	17	30～ 49
2013	10	12 ～ 13	国道を、社有車の軽トラックで自宅へ向かう途中、センターラインをはみ出し、対向してきたトラックと正面衝突した。	170209	17	30～ 49
2013	3	1 ～ 2	トラックを運転して国道を走行中、対向車線のタンクローリーがセンターラインを越え、当該タンクローリーの後部が運転席に衝突した。	40301	17	50～ 99
		7	被災者は、自社製品の敷わらを運ぶため、単独で10トンウイング車を運転し出発した。途中、国道の信号のない交差点で、右折のため停			10～



2013	1	8	～	車していたトレーラーに追突した。路面はブラックアイスバーン状態で、トラックがスリップして止まれきれずに追突した。尚、シートベルトの使用状況については不明である。	80109	17	29	
2013	2	21	～	22	被災者は、冷凍冷蔵車（6.5トン）に荷を積み、客先へ向けて片側1車線の高速道路を走行中、対向車線にはみ出し、対向してきたトラックと衝突した（道路状況 右カーブで圧雪アイスバーン）。	40301	17	50～ 99
2013	5	19	～	20	被災者は、配達で使用した資材を（積載量5.6tのトラック）荷台から下ろす作業を行い、車庫にトラックを入れた。被災者のトラックから「パン」という破裂音がしたため、近くにいた同僚が被災者の元に駆けつけ、トラックの後輪と車体の間に挟まれている被災者を発見した。消防隊員に救出されたが、搬送先で死亡が確認された。	40301	7	10～ 29
2013	5	16	～	17	最大積載荷量9900kgのダンプトラックを運転し、砂利を土場に運び終えた被災者が、事務所近くの路上でダンプトラックの荷台とシャシの間に挟まれた状態で発見された。尚、ダンプトラックには安全ブロックが備えられているが、使用されていなかった。	40301	7	10～ 29
2013	6	11	～	12	ダンプトラック運転手が、現場内で砂利を積み、4トンダンプを約50m先の砂利を下す場所までバックさせていたが、衝撃を感じ停止し確認したところ、同ダンプトラックの左後輪に轢かれ倒れている被災者を発見した。	30106	7	1～9
2012	3	2	～	3	配送のため、高速道路を4t冷蔵車で走行していたところ、事故を発生させて路上に停止していた2台の車両のうちの1台に衝突して横転、滑った状態で進み、その前方の路肩に停車していた2台の一般車両に衝突した。	40301	17	30～ 49
2012	8	11	～	12	被災者は契約事業場のごみ回収を終えた後、会社に帰着した。帰着後、被災者は会社敷地内の資源ごみ置き場に塵芥車を止め、運転席上部のルーフキャリア部に昇り、同所から荷箱（ホッパー）上部のルーフキャリア部に積んである資源ごみを置き場に投下する際、地上に墜落した。	150103	1	10～ 29

2012	12	20 ～ 21	被災者は積載荷重14 tのトラックで足場資材を運搬する途中、片側1車線の緩やかな下り坂で対向車線にはみ出し、直進してきた積載荷重2 tのトラックと正面衝突し、被災者並びに相手車の運転手が死亡した。	40301	17	10～ 29
2012	12	20 ～ 21	被災者は荷積みし、最大積載量2 tのトラックを運転して自宅へ戻る途中、国道（片側1車線の直線道路）において、中央線を超えた対向車（大型トラック、最大積載量14 t）と正面衝突し、脳挫傷により死亡した。なお、対向車の運転手も死亡した。	40303	17	1～9
2012	2	15 ～ 16	町道において、トラックの左後輪の外側タイヤ1本にチェーンを装着する作業中、ジャッキアップに使用していたジャッキが外れ、車体が横滑りし、車体とガードレールとに胸部がはさまれ、窒息死した。	10103	7	1～9
2012	5	14 ～ 15	軽トラックを運転し、助手席に同僚を乗せて訪問営業中、脇道から市道へ左折しようとしたところ、市道の右方向を走行してきた一般車両に衝突された。被災者は、その後運転席を降りて数歩、歩行した後に意識を失って道路上に倒れ、搬送先の病院で脳血管破裂による脳内出血により死亡した。なお、同僚は不休災害となる軽傷であった。	80209	17	10～ 29
2012	12	20 ～ 21	作業終了後、被災者は灯油を運搬するために会社の軽トラック（灯油少量ローリー積載）を運転して走行中、センターラインをはみ出し、対向してきた乗用車と正面衝突した。	80204	17	1～9
2012	2	10 ～ 11	国道を走行中、雪のためトラックが滑り、車線中央を塞ぐように停止した。被災者はタイヤチェーンを装着する為に、降りてトラック横にいたところ、反対車線を走ってきたトラックが被災者のトラックに衝突し、被災者は、衝突された（自身の）トラックに轢かれ死亡した。	40301	17	10～ 29
2012	2	8 ～ 9	トラックの助手席側から車内に置いていた弁当を取る際に、ステップから足を滑らせ転落し、地面に頭を強打した。	30107	1	10～ 29
2012	4	11 ～	被災者が運転するトラックは、信号待ちで停車していた大型トレーラーに追突した。	40301	17	1～9

		12				
2012	12	4 ～ 5	国道にて、被災者が運転するトラックと反対車線を走行する大型トレーラーが正面衝突し、トラックの運転手が死亡した。なお、現場は中央分離帯のない片側1車線の対面通行箇所であった。	40301	17	30～ 49
2012	5	0 ～ 1	被災者は、トラック（4t）にパイプ類（約1t）を積み込み、配送先に向かう途中の国道の交差点で信号停車中のトラックに追突し、救急搬送先の病院で肺出血により死亡した。	40301	17	50～ 99
2012	5	9 ～ 10	被災者は一般廃棄物の収集作業のためバッカー車を運転し、商業施設に到着し段ボールの積み込み作業を単独で開始した。同僚労働者が可燃ごみ、生ごみの収集のため、別の車両で当該商業施設に到着し積み込み作業を終えた後、被災者の不在を不信に思いバッカー車の投入口を覗き込んだところ、奥に巻き込まれているのを発見した。	150102	7	100 ～ 299
2012	8	8 ～ 9	被災者は同僚と2人でし尿収集車を使用して目的地に向かうため、収集車の運転を同僚が行い、被災者は後部ステップに立って乗った。市道上で後進して走行を開始し、約20mの位置で「ガクッ」と衝撃を感じたため停車して外に出たところ、収集車下に轢かれた被災者を発見した。	150109	17	1～9
2012	3	21 ～ 22	荷積先敷地内において、被災者は自分が運転してきたのトラック（2.9tの保冷車）と乗用車との間に挟まれた状態で発見された。	40301	7	10～ 29
2012	8	15 ～ 16	交差点で信号待ちの軽トラックにタンクローリーが追突し、軽トラックの運転手が全身を打ち死亡した。なお、タンクローリーはその後も止まらず、交差点を通過して対向車線側にはみ出し、7台に次々と衝突し、交差点から100mほど離れた建物に突っ込んで止まった。	30309	17	30～ 49
2012	12	9 ～ 10	被災者は農道で同僚労働者が運転する貨物自動車（土砂積載）を、ドラグ・ショベルの停車箇所までバックで誘導していたが、その際、貨物自動車後部とドラグ・ショベル後部の間に身体を挟まれた。	30107	18	1～9

2012	12	11 ～ 12	当日の作業を終えた被災者は、トレーラーにて荷主先から帰社する途中、片側2車線の道路を横道から右折するため、停止線を越えて道路に進入したところ、右方より道路を直進してきた大型トラックと衝突した。	40301	17	50～ 99
2012	9	6 ～ 7	被災者は配送先で荷卸後帰社するために県道を走行中、中央分離帯に乗り上げた後、道路左側のガードレールを突き破り、電柱に衝突した。	40301	17	50～ 99
2012	9	7 ～ 8	高速道路において、タンクローリー（14 t）が路側帯に停止していた大型トラック（12 t）に追突した後、トンネル内で横転し、運転していた被災者は、頭を強く打ち死亡した。	40301	17	10～ 29
2012	9	20 ～ 21	被災者は雑貨を積載した10 tトラックを運転し、高速道路を配送先へ向かっている際、前方を走行中の車両（移動式クレーン）の後方に激突した。	40301	17	10～ 29
2012	6	5 ～ 6	高速道路を走行していた被災者らのトラックが、前方を走行していたトラックに追突した。追突したトラックの助手席に乗車していた被災者が死亡し、運転手は入院加療を要した。	80109	17	30～ 49
2012	3	16 ～ 17	「超強力吸引車」のタンクに集めた粉を、タンクを傾斜させ、タンク後部のハッチを開けて、手作業で袋に投入する作業を行っていた。袋投入作業を終わり、傾斜させていたタンクを水平に戻し、ハッチを閉めたところ、閉塞部の清掃を行っていた被災者をはさんだ。なお、タンクの傾斜及びハッチの開閉は車両左側面前方にある操作レバーで油圧操作を行う。また、操作者は車両左後方に居る合図者の「タンクを水平に戻す」合図で操作した。	40301	7	10～ 29
2012	2	1 ～ 2	被災者は道路舗装工事現場内の勾配約2度の路面上において、他の作業員3名と施工ジョイント部分への合材搬入作業を行っていたが、坂道上方に停車していた無人の10 t ダンプ車が後退し始め、逃げ遅れた被災者は、左後輪に轢かれた。	30106	7	1～9
			被災者は会社のトラック（高さ2.8m、車両総重量5.195t）によりスー			

2012	1	6 ～ 7	パー流通センターへの納品後、会社に戻る途上、高さ制限（2.5m）のある道路を走行したところ、車の上部が制限桁に激突したことにより、死亡した。	80109	17	1～9
2012	1	8 ～ 9	被災者が運転する観光バスは、日帰りバスツアーで目的地へ向かって、高速道路のトンネル内の追い越し車線を走行中、突如、走行車線から追い越し車線へ車線変更してきたトラックに激突され、バスに乗車していた添乗員が死亡、運転手が足を打撲する怪我を負った。	90201	17	1～9
2012	9	8 ～ 9	現場事務所での朝礼後、3台（先頭車両：軽トラック、次走車両：電柱を積載した2tトラック、3台目車両：被災者が運転する穴掘建柱車）に分乗して現場に向かっていたところ、先頭車両が道を間違えた事に気づき減速をはじめたが、3台目で追走していた被災者はそれに気づかず、前方の2tトラックに追突したため、（2tトラックが）積載していた電柱が被災者の顔面に激突した。	30301	17	30～ 49
2012	11	10 ～ 11	けん引自動車で空のトレーラーをけん引して走行中、道路右側のガードレールを突き破り約20m下の川原に転落した。	40301	17	1～9
2012	4	4 ～ 5	高速道路にて、大型の故障車（A車）が路肩に停車していたところ、被災者が運転する大型車（B車）が中央車線を走行中突風にあおられ、左に斜行してA車に追突した。被災者は、降車し、A車の運転手と話し合いをしていたところ、後方から来た大型車（C車）がB車に玉突き衝突し、B車がA車に追突、A車が約1.5m前方に押し出された際、A車の前にいた両運転手に衝突、被災者は転倒し、死亡した。	40301	17	10～ 29
2012	2	7 ～ 8	2台のトラック（バン）のリアを向え合わせ、荷物の入ったカゴ車の積替えを行っていたところ、被災者が移動させていたカゴ車が倒れる音がした。被災者はカゴ車の脇で倒れていたが、意識はあり、外傷は確認されなかった。その後、被災者は、自らトラックを約30分運転し事業場に戻ったが、事業場到着後、徐々に声かけに応じなくなり、救急	40301	2	30～ 49

			搬送先の病院で死亡した。			
2012	7	0 ～ 1	被災者は帰りの荷を大型トラックに積み、事業場に運送するため高速道路を走行中、前方を走行していた冷凍車に追突し、全身を強打し死亡した。	40301	17	10～ 29
2012	6	10 ～ 11	水道管給水工事のため、2車線通行の県道を1車線通行に規制し、県道上で被災者と同僚で交通誘導を行っていた。被災者は西側を向いて誘導をしていたが、西側から進行してきた2 tトラックに激突され、14m程飛ばされた。	170201	17	10～ 29
2012	3	4 ～ 5	被災者は荷を運搬するためトラック（トレーラー）を運転中、国道の交差点で信号待ちをしていたところ、停車中のトラックの後方に追突した。	40301	17	10～ 29
2012	3	17 ～ 18	被災者はごみ収集車（パッカー車）内のダンボールを後方から排出するため、後方のテールゲートを上げダンブアップし排出、確認の後、テールゲートを下げ後方に回り、回転板等を起動させたところ、回転板に巻き込まれた。	150102	7	30～ 49
2012	7	12 ～ 13	大型トレーラー（30 t）で撤去電柱15本（1本1 t）を積み、インターチェンジのアクセス道路の本線を降りて料金所に向かっていたところ、道路右側の縁石に衝突し、横転した。運転していた被災者は車内に閉じ込められ、その後レスキュー隊員に救出されたが、救急搬送先の病院で死亡が確認された。	40301	17	10～ 29
2012	10	18 ～ 19	仕入れた商品を本社に搬送するため、被災者が単独で3 tトラックを運転していた。高速道路を走行中、トラックが道路左側の側壁に衝突し、弾みで中央分離帯のガードレールに衝突して横転し、死亡した。	80109	17	10～ 29
2012	11	11 ～ 12	リサイクル製品を2 t ダンプで搬入した被災者は、2 t ダンプを勾配1度～6度のアスファルト上に停車させ、運転席から降車し、約8m離れた当該処分場事務所に入っていたところ、当該ダンプ車が逸走したため、逸走したダンプ車の進行方向に回り込んだところ、当該ダンプ車と進行方向に停車していた別のトラックとの間に挟まれた。	80109	6	1～9

2012	11	8 9	被災者は岸壁通路において、トレーラ（最大積載荷重24.5t）の荷台から荷のロンジ（船体ブロックの材料）を当該岸壁上にあるパレット内に降ろす作業を行うため、300 t ジブクレーンのフック下に吊り付けた吊りビーム（通称天秤と呼ばれる、長い荷を吊る為の吊具）の玉掛け用具（ワイヤロープとチェーンで構成）の掛け位置の変更作業中、乗っていた荷のロンジから持っていた玉掛け用具と共に2.4m下の岸壁通路に墜落した。	11501	1	30～ 49
2012	12	11 12	国道を社用ため乗用車で走行中、対向車線の大型トレーラーの積み荷の鉄板（縦約3m、横約1.5m、厚さ約2cm、重さ800kg）30枚を固定したワイヤロープが切れ、鉄板25枚が落下、うち16枚が被災者らの乗用車を直撃し、乗っていた被災者3名が死亡した。	80409	17	100 ～ 299
2012	12	11 12	国道を社用ため乗用車で走行中、対向車線の大型トレーラーの積み荷の鉄板（縦約3m、横約1.5m、厚さ約2cm、重さ800kg）30枚を固定したワイヤロープが切れ、鉄板25枚が落下、うち16枚が被災者らの乗用車を直撃し、乗っていた被災者2名が死亡した。	80409	17	100 ～ 299
2012	2	19 20	中型トラック（4 t 車）を運転して高速道路を走行中、インター出口にある道路標識に衝突し、脳挫傷により死亡した。なお、この事故は、配送先に機械装置（重量2 t）を運搬中の自損事故であった。	40301	17	10～ 29
2012	2	4 5	走行車線を走行中の1台目のトラックに2台目のトラックが追突し停車、約5分後に追越車線を走行中の3台目のトラックが2台目のサイド部分に追突し、4台目の4 t トラックが3台目のトラックに追突した。この事故により、4台目のトラック運転手が死亡、1、2、3台目のトラック運転手も負傷した。	40301	17	1～9
2012	5	6 7	被災者がトラック（最大積載量7.1 t）の暖機を行おうと運転席のドアを開け、地上からエンジンキーを回したところ、トラックが前進し、前方の木材集積箇所へトラックが突っ込み、当該木材が運転席ドアを閉める形となり、被災者はドアとキャビン後方との間に上半身を挟まれ、心肺停止に至った。	70101	7	30～ 49

2012	7	12 ～ 13	高速道路の追越車線の舗装工事による車線規制の影響で渋滞し、最後尾に停車していた乗用車に大型トラックが追突して乗り上げ、さらに前方の自動車運搬車に衝突し、この3台の車両が炎上した。大型トラックの運転手は窒息死、乗用車の運転手は外傷性ショックにより遺体で発見された。また、自動車運搬車の運転手は自力で脱出し、頸部に軽傷を負った。	40301	17	50～ 99
2012	9	16 ～ 17	配達のため国道を社用車で走行中、左カーブにて中央線をはみ出し、対向してきた大型トラックと正面衝突した。	80109	17	1～9
2012	11	5 ～ 6	被災者は新聞配達のため、国道を原動機付自転車にて走行中、後方より走行してきたタンクローリーに激突され、死亡した。	80205	17	10～ 29
2012	3	3 ～ 4	被災者は、トラックで荷物を運んでいる途中、高速道路で接触事故が発生し相手車両が停車しなかったため、被災者は、同僚に連絡を取り、被災者車両、同僚車両で相手車両を停止させた。その後、相手車両の前方で被災者、同僚、相手の3名で話し合いを行っていたところ、別の車両が相手車両の後方に追突しそのはずみで相手車両に被災者と同僚及び相手が接触した。	40301	17	30～ 49
2012	7	9 ～ 10	道路災害復旧工事において、2tトラックに積込んだ間知ブロック（コンクリート製、約40kg）をドラグ・ショベルにより降ろす作業中、荷台の上で作業を行っていた被災者が転落し、救急搬送先の病院で死亡した。	30106	1	1～9
2012	11	12 ～ 13	被災者はバイクに乗り、集金のため客先へ向かっていたところ、交差点でトラックと衝突した。	80205	17	1～9
2012	3	14 ～	地滑り防止工事現場において、工事が完了した後の清掃・片付け作業を行うため、ダンプカーを現場事務所前に駐車していたところ、当該	30199	6	1～9



		15	ダンプカーが突然逸走し、被災者は逸走してきたダンプカーに激突し轢かれ、死亡した。			
2012	4	10 ～ 11	整備工場内でダンプカー（10 t）の修理（クラッチブースターの交換）作業中、シャシーとダンプ（上げた）させた荷台の間に体を入れて作業していた被災者は、シャシーと下りてきた荷台に挟まれ死亡した。	40301	7	30～ 49
2012	11	7 ～ 8	車両積載型小型移動式クレーン（積載荷重3 t）で住宅新築工事現場へ木材を運送し、荷降ろしのためにトラック荷台へ上がり、小型移動式クレーンの玉掛け作業を行った後、荷台から降りようとして転落し、地面で頭部を強打した。	40301	1	10～ 29
2012	1	9 ～ 10	被災者は事業場から職場のバイクにより顧客宅へ向かう途中、市道交差点において出会い頭にトラックと衝突した。	130201	17	100 ～ 299
2012	4	11 ～ 12	火災現場で焼跡の撤去作業を行っていた被災者は、横転した状態の焼けたトラックと停止していたドラグショベルのバケットの間に焼けガスを単独で片付けていたところ、焼けたトラックが倒れ、焼けたトラックとバケットとの間に胸部を挟まれ窒息死した。	30202	5	1～9
2012	6	8 ～ 9	被災者は作業場内の表土除去作業のためにダンプトラックを運転し（最大積載量36.5 tに対して約32 tを積載）、表土を作業場内の指定場所へ運搬していたところ、高さ約260mの地点からダンプトラックごと転落した。被災者は、転落中に運転席から投げ出され、高さ約200mの地点で保護帽を着用した状態で発見された。	30109	1	10～ 29
2012	7	19 ～ 20	雑誌等を運搬するために、被災者が単独で13 tトラックを運転し、高速道路から別の高速道路に合流する連絡路（ジャンクション）を走行中、キロポスト付近の急カーブを曲がりきれず、高架橋の壁（高さ約1 m）を乗り越えて10数m下の地上に墜落した。	40301	17	10～ 29
2012	8	4 ～	被災者は中型トラックで商品を配送中、高速道路サービスエリアの進入路において、トラックを駐車し仮眠をとっていたところ、後方より	40301	17	50～

		5	大型トラックに追突された。			99
2012	9	9 ～ 10	ごみ収集のため、こう配12度の下り坂にパッカー車（機械式ごみ収集車）を停車させ、ごみを搬入していたところ、パッカー車が前に動き出したため、前に回り込み停止させようとしたが、止まらずに轢かれた。パッカー車は、右前タイヤが溝に脱輪し被災者の体の上で停止した。	150103	17	100 ～ 299
2012	9	14 ～ 15	被災者は荷物を届けるため、配送先の通用口前の駐車場に車両を停車させ降車し、通用口に向かったところ、車両が動き出し、通用口の底下に張られている風除シートと車両との間に挟まれた。	40301	7	10～ 29
2012	8	17 ～ 18	被災者は社用車にて交差点を西に向け直進したところ、右折してきた移動式クレーンと衝突した。	80109	17	10～ 29
2012	1	11 ～ 12	木造家屋解体工事において、廃材をニブラを用いてダンプトラックに積み込む作業を行っていたところ、積み込み後、荷掛のため荷台の廃材上で荷均作業中に体勢を崩し、後ろ向きに約3mの高さから地面に墜落した。被災者は、頸髄損傷のため、入院先の病院で死亡した。	30309	1	1～9
2012	2	4 ～ 5	被災者が運転する4 tトラックは、高速道路を走行中、前方走行中のトレーラーに追突し、弾みで中央分離帯とガードレールに接触、炎上した。鎮火後、車内から被災者が遺体で発見された。	40301	17	1～9
2012	2	11 ～ 12	到着した貨物船からコンテナを陸揚げするにあたり、コンテナが載ったシャーシ（コンテナを載せた状態で着港したもの）をトレーラーで牽引し、貨物船と岸壁を往復する作業中、岸壁部分でコンテナ（間口2.4m×2.5m、奥行6m、約9t）がシャーシから右前方に飛び出すように崩れ、運転席に激突した。	40301	6	30～ 49
2012	4	22 ～ 23	社用車（2 tトラック）を運転して出張中、信号待ちしていた車両（20 tタンクローリー）に追突して死亡した。	11409	17	300 ～

2012	7	8 ～ 9	取引先へ商品を納入するため高速道路を走行中、ガードレールに激突し死亡した。	11209	17	1～9
2012	8	22 ～ 23	被災者は勤務を終えて通勤に使用している自転車に乗り、駐輪場を出て事業場の出口に向かって走行していた。階上にトラックを移動するための傾斜路（ランプウェイ）を横切ろうとしたところ、当該ランプウェイに左折して侵入してきた貨物自動車に激突され、死亡した。	80401	6	300 ～
2012	10	4 ～ 5	被災者が運転するトラックが、渋滞で停止していたワンボックス車に追突した。	40301	17	30～ 49
2012	10	5 ～ 6	4 t トラックにより、国道を配送のため走行中、交差点手前で車道を歩いていた歩行者をはね、対向車線に進入して対向車に衝突し、被災者（運転手）が死亡した。	40301	17	10～ 29
2012	10	5 ～ 6	卸売市場において、トラックの荷台で生のスルメイカが入った発泡スチロール製の箱が崩れないよう2名で手で押さえていた。次の場所へ移動するため、トラックをゆっくり走行させたところ、被災者がトラックの荷台から墜落した。	80109	1	10～ 29
2012	1	13 ～ 14	保冷トラック（積載荷重3 t）で商品配送中、国道交差点の右折レーンにおいて、右折待ちトラック（積載荷重3 t）に追突した（バス、トラック等計4台が絡んだ多重事故）。	40301	17	30～ 49
2012	2	7 ～ 8	現場移動のため、国道を自動二輪車で移動中、信号のない交差点から進入してきた軽トラックと接触し、「外傷性くも膜下出血、脳挫傷」により死亡した。	170201	17	10～ 29
2012	3	5 ～ 6	店舗前の出入口付近を清掃作業中、加害者の運転する中型トラック（平式、ロングボディー型、最大積載荷重2.4 t、全長約9m、全幅約2 m）が店舗前に駐車するため、後進してきて激突され、さらに店舗の柱部との間にはさまれた。	80209	6	10～ 29

2012	11	8 ～ 9	事業場から林道新設工事現場に向かうため、ダンプトラックを運転し、既設の林道を通行していたところ、路肩からダンプトラックとともに傾斜約40度の斜面を転落した。なお、ダンプトラックは斜面の立木に引っかかったが、運転者は車外に投げ出されたことでさらに下方に転落し、脳挫傷で死亡し、同乗者は肋骨等を骨折した。	30199	1	1～9
2012	8	16 ～ 17	道路維持修繕工事現場において、のり面除草作業のために2車線道路を片側交互通行に規制中、規制車線側から走行してきたトラックを停止させようとした被災者がトラックに轢かれた。トラックは、被災者と規制車両（車線変更誘導表示付き）に激突し、被災者はトラックに約30mひきずられて死亡した。なお、現場は緩やかなカーブの下り坂であった。	170201	17	10～ 29
2012	10	14 ～ 15	高速道路にて、車両故障したため路肩に停車させ、車外にて待機していたところ、後方からタンクローリーが停止中の車両に追突した。そのはずみで車両が押し出され、被災者が側壁にはさまれて死亡した。	40301	17	50～ 99
2012	11	16 ～ 17	建設現場で建築資材の積み下ろし業務を終え、高速道路を經由し帰庫するため、片側三車線の中央車線を積載量3 tトラック（空車）で走行していたところ、右側後方の追い越し車線から中央車線に進路変更してきたトラックが被災者のトラック右側後部に追突した。追突を受けた勢いで被災者のトラックが左前方へ回転しながら横転し、ガードレールに激突した。	40301	17	30～ 49
2012	1	13 ～ 14	道路開設工事現場において、10 t 積みダンプトラックが、丁張設置作業中の被災者と接触した。	30106	6	10～ 29
2012	1	14 ～ 15	被災者は事業場で生コン車に砂を乗せ建設現場に向かう途中の県道にて、左カーブでセンターラインを越え対向してきた軽トラックと衝突し、そのまま道路脇の側溝に転落し、死亡した。	10901	17	10～ 29
2012	5	4 ～	工業用薬品の納品のため出発した。高速道路（片側4車線）を走行中、トラック2台が接触し停車しており、被災者が運転していた10 t トラッ	40301	17	10～

		5	クがこれに追突した。			29
2012	8	8 ～ 9	被災者はトイレから工場へ戻る途中、重油タンクへの給油を終え、後退してきたタンクローリー（容量14kl）に轢かれた。	10109	7	10～ 29
2012	3	16 ～ 17	高速道路（片側二車線で見通しは良い状況下）で法面工事の交通整理作業を終え、路肩の車両に乗り込もうとした被災者は、走行してきたトラックにはねられ、全身を強く打って死亡した。	170201	17	100 ～ 299
2012	5	2 ～ 3	トラックでの配送を終えセンターに戻るため国道走行中、交差点で左折した直後、松並木の間から歩行者が出てきたため避けようと右に急ハンドルを切ったところ、歩行者が左ミラーにぶつかり、トラックは松並木に衝突した。当初被災直後は、意識があったもののふくらはぎの動脈を切断しており、救急搬送先の病院で失血死した。	40301	17	50～ 99
2012	5	8 ～ 9	被災者は碎石場内にて、傾斜地（斜度6度）に駐車してあった貨物自動車の発動機を始動させたところ、約15m惰性走行し、高さ約40mの崖状の絶壁から転落した。なお、被災者は、転落途中事故機から離れたものの、高さ約15mの段差上の平坦部分に、約25m墜落（滑落）した。	20201	1	1～9
2012	7	1 ～ 2	被災者はトレーラーを運転して配送先へ向かう国道を走行中に、対向車線を走行して来た4 tトラックがセンターラインを超え正面衝突してきた。この事故により、被災者は即死した。	40301	17	1～9
2012	7	1 ～ 2	被災者はトラックを運転し国道の走行車線を走行中、前方の普通車に追突して左前方の路肩に駐車した。普通車は衝撃で追い越し車線上に横向きに停車した。被災者は停車中の普通車のところに行き確認し、一旦自社のトラックの右後方部付近まで戻った。そこへ後続のトレーラーが追い越し車線を塞ぎいでいた普通車の左側を通過して被災者及びトラックに追突し横転した。被災者は横転したトレーラーの下敷きとなり死亡した。	40301	17	10～ 29

2012	8	3 ～ 4	国道で被災者の運転する4tトラックと相手方の運転する4 tトラックが正面衝突し、被災者は、頭部及び胸部を強く打ち死亡した。なお、災害発生現場は片側一車線であり、被災者側からは緩やかな左カーブとなっていた。	40301	17	1～9
2012	11	4 ～ 5	国道で発生した交通事故。事故の発生現場は、片側2車線の直線道路。赤信号で停止中のトラックに、被災者が運転する大型トラックが追突した。被災者は腹部などを強打し死亡した。	40301	17	1～9
2012	11	10 ～ 11	建設工事現場において、荷降ろし後のトレーラー（30 t）が、退場するために現場内の通路を50mほどバックし、方向を転換しようとしたところ、何らかの理由で通路にいた被災者を轢いてしまった。	30209	7	1～9
2012	11	15 ～ 16	被災者は、修理が終わり客先へ回送する車両を探して整備工場敷地内を歩いていたところ、別の労働者が修理のためバックで移動させていたトラックに轢かれた。	11701	7	30～ 49
2012	1	9 ～ 10	被災者は10 tトラックを運転して配送先事業場に到着した後、そのままトラックの運転席で仮眠し、朝方から荷卸しを行っていたところ、突然倒れ意識不明となった。救急搬送され一旦は意識が戻ったが、その後急性肺動脈血栓塞栓症により死亡した。	40301	90	10～ 29
2012	3	8 ～ 9	事業場の営業係の被災者が、顧客に商品を届けるため、会社の中型トラックに荷を積み会社を出発した後、高速道路を走行中に朝の通勤時間帯の渋滞で止まっていた自動車運搬車に追突した。この弾みで次々と玉突き衝突が起こり、被災者は救急搬送先の病院で死亡した。なお、現場は3車線のやや緩い右カーブであった。	80209	17	1～9
2012	3	5 ～ 6	国道で被災者が運転するトラックが緩いカーブの連続する下り坂で右側車線を走っていたところ、中央分離帯に衝突し、被災者は頭を強打して死亡した。	40301	17	10～ 29
2012	6	2 ～ 3	高速道路を走行中、追越し車線上に停車していた故障車に衝突した。	40301	17	50～ 99

2012	8	4 ～ 5	被災者はトラックで納品終了後、自社へ帰る途中、高速道路パーキングエリア出口合流付近のガードレールを突き破り、50m下の川へトラックごと転落し、全身打撲により死亡した。	40301	17	10～ 29
2012	8	10 ～ 11	高速道路で中央分離帯の草刈り作業で刈った草をプラスチック製の箕に入れ、パッカー車に刈草のみを投入すべきところ、箕も一緒にパッカー車に入れてしまったため、被災者がとっさに箕を取ろうとしてパッカー車の回転板に上半身を巻き込まれた。	60101	7	10～ 29
2012	4	5 ～ 6	被災者は本社で点呼を受けた後、11 tトラックに建築材料を積み込み、配送先へ向かうため国道を走行していたところセンターラインを越え、大型トラックに正面衝突した。	40301	17	30～ 49
2012	12	17 ～ 18	被災者が4 tトラックで荷を運搬中、下り坂のゆるやかな左カーブを曲がりきれずに右側壁に激突し、そのはずみで対向車線を走行してきた乗用車に衝突して横転し、ガードレールを突き破り停止した。	40301	17	1～9
2012	1	6 ～ 7	事業場から建設工事現場に向かうため、国道を軽トラックで走行中、対向車線を越え、進行方向右側の電柱に激突した。	30199	17	30～ 49
2012	9	0 ～ 1	国道で被災者の運転していた大型トレーラーが左カーブでセンターラインをはみ出し、対向してきた中型トラックに衝突した。	40301	17	10～ 29
2012	10	7 ～ 8	2 tトラックに運転手及び2名の労働者が同乗し建設工事現場に向かう途中、高速道路出口付近で前方を走行していた大型トレーラーを追い越そうとしたところ、トレーラー最後尾右側と運転していた2 tトラックの左前方が接触した後、2tトラックはトンネル左側壁に衝突し、同乗者が全身打撲により死亡した。	30209	17	1～9
2012	3	12 ～ 13	被災者は軽ワゴン車を運転していたところ、反対車線を走行していたトラックが車線をはみ出して来たため正面衝突となり、外傷性ショック（脳挫傷、肺挫傷）により死亡した。	170209	17	1～9

2012	4	9 ～ 10	被災者は支管入替工事で発生したアスファルト舗装殻をトラックで産業廃棄物処理を行う事業場に運搬していたところ、前方にて右折待ちをしていた10 tトラックに追突し、下半身を挟まれ、出血多量により死亡した。	30199	17	1～9
2012	6	4 ～ 5	被災者は事業場構内において、貨物自動車をバックで荷受用プラットフォームに付けるにあたり、貨物自動車の後部がプラットフォームから約2m離れた地点で運転者より荷崩れを防ぐため荷を支えるよう依頼され、プラットフォームから降りて荷台に乗り込もうとしたところ、貨物自動車が突然バックを開始し、貨物自動車とプラットフォームとの間にはさまれた。	40301	6	100 ～ 299
2012	10	11 ～ 12	樋門築造築堤工事現場において、樋門のコンクリートの打設作業中、コンクリートミキサー車が現場から出ようと前進した直後、この前方で作業していた被災者がコンクリートミキサー車に全身を轢かれ、死亡した。	30107	7	10～ 29
2012	11	9 ～ 10	住宅の解体工事現場にて、つかみ機を使用して廃材をトラックの荷台に積み込み作業中、荷台に載せた廃材上（幅約30 c m）で廃材の位置直しを行っていた際、位置直しを行っていた廃材（縦23 c m×横23 c m×長さ453 c m）とともに約2m下の歩道面に墜落し、脳挫傷により死亡した。	30202	1	1～9
2012	3	10 ～ 11	配送先から帰社するため、高速道路のトンネル内をトラックで走行中トラックがスリップし、その際シートベルト未着用であった被災者は車外に放り出され、運転していたトラックの下敷きになり、死亡した。	40301	17	1～9
2012	3	8 ～ 9	被災者は業務に伴い高速道路を走行中、前方のトラックに追突し、全身を強く打ち死亡した。	11301	17	1～9
		16	採石場から10 t ダンプトラックで碎石を資材置き場に運搬し、積荷を降ろした後、ダンプトラックの荷台が上がったままの状態では荷台下の			



2012	4	～ 17	修理をしていた時に安全レバーが不完全であったため、荷台が下がってきて挟まれた。	150102	7	1～9
2012	4	5 ～ 6	被災者は工事現場に向かうため、トラックに乗車し高速道路を走行中、トラックの後輪タイヤが破裂し、蛇行した後車両が横転した。乗車は4名おり、後部座席に乗車していた被災者が死亡。他1名が休業、2名は不休であった。	30302	17	10～ 29
2012	10	17 ～ 18	団地内公道を歩行していた被災者は、道路に駐車をしようとバック走行してきた大型トラックにひかれ、死亡した。	40301	17	1～9
2012	1	5 ～ 6	被災者は高速道路をトラックで走行していたところ、路面凍結のためスリップし対向車線に出てしまい、対向車線を走行していた車両を避けきれず、正面衝突した。	40301	17	10～ 29
2012	1	18 ～ 19	車両確認検査場にて車両を走行させたところ、後方車輪付近にいた被災者は後方車輪に巻き込まれ、死亡した。	11502	7	300 ～
2012	2	11 ～ 12	被災者を含む作業員2名が交差点付近で道路標示の貼付作業を行っていたところ、作業場所から約60m離れた道路上に被災者が駐車させた工事用車両が坂道を下ってきたため、車両を止めようと作業員2名で車の正面から止めに入ったが止められず、うち1名が車両にひかれて死亡した。	30106	7	1～9
2012	2	10 ～ 11	被災者が運転する社用車は、高速道路を走行中、中央分離帯の伐採作業を行うために片側2車線道路の中央側に停車していた貨物自動車に追突した。なお、現場にブレーキ痕は認められなかった。	40301	17	50～ 99
2012	3	3 ～ 4	トラック運転手複数名が、高速道路の片側3車線のうち中央分離帯側の追い越し車線と中央の走行車線に計3台のトラックを停車させ、路上で口論していたところ、別のトラックに追突され、2名が死亡した。	40301	17	100 ～ 299
		0	取材対象車両を高速道路で追尾中、対象車両がサービスエリアに入っ			100



2012	4	15 ～ 16	被災者は道路を曲がり損ねたため、車輛後方で後退の状況を確認していたところ、後退してきた車輛と電柱との間に挟まれた。	40301	17	30～ 49
2012	5	3 ～ 4	国道にて、赤信号で交差点に停車していた10 t トレーラーが青信号に変わり動き始めたところへ4 t トラックの自車が追突し、重傷を負って救急搬送されたが死亡した。	40301	17	30～ 49
2012	7	6 ～ 7	社用送迎車両を運転して空港内駐車場まで行った後、ロッカー室に向かうべく歩行中、横断歩道上で右折してきたトラックにはねられ、搬送先の病院で脳挫傷により死亡した。	50101	6	300 ～
2012	8	6 ～ 7	道路上でアルミ製のトラス状部材（長さ約5m）を積んだトラックを停車させ荷台のシート外し作業中、畳んだシートを積荷上から地面に投げ下ろそうとした際、バランスを崩し、シートと共に約4m下の歩道に墜落した。	40301	1	1～9
2012	8	7 ～ 8	アスファルトの骨材を10 t ダンプトラックに積み込んで客先に運搬し、荷下ろし待ちしている際、ダンプトラックの荷台から墜落し、頭部をアスファルト道路に強打し、救急搬送先の病院で死亡した。	40301	1	10～ 29
2012	2	11 ～ 12	被災者はトラックにて会社に戻る途中、信号で停車していたダンプに後方から激突、頭を強打し死亡した。	40301	17	30～ 49
2012	3	5 ～ 6	事業場構内にて、帰宅するため駐車場に向かって歩行者用通路を歩いていた被災者は、同事業場所属の自動車運転者が運転するトラックに轢かれ、搬送先の病院で死亡した。	40301	6	300 ～
2012	3	2 ～ 3	片側2車線の高速道路での交通事故。本災害の前に事故があり、乗用車は右側の追越し車線に、トラックは路側帯に停車していた。被災者の乗った高所作業車は左側の走行車線を走っていたが、追越し車線を走行していたトラックが追越し車線に停車していた事故車（乗用車）を避けようと走行車線に入ってきたために激突された。この衝撃で、被災者の乗った高所作業車は路側帯に停車していたトラックに激突し、	40301	17	10～ 29

			運転していた被災者は死亡した。			
2012	3	0 ～ 1	被災者の中型トラックは、渋滞で停車していた大型トラックに追突した。なお、被災者は頭等を強打し、搬送先の病院で死亡した。	40301	17	30～ 49
2012	2	3 ～ 4	被災者は赤土採取場へ向かうため県道を走行中、運転操作を誤り沿道にあるコンビニエンスストアの看板柱に激突し、大動脈破裂による出血性ショックにより死亡した。	40302	17	10～ 29
2012	6	6 ～ 7	営業所に戻った被災者は、空ケースを所定の場所に下ろし、トラックを停車場所に止めるため場内を移動した。開けたままの荷台後部扉を閉めようと一旦停車し降りたところ、止めた場所が緩やかな下り勾配だったため、トラックが逸走した。止めようと運転席に乗り込もうとしたが、停車していた別のトラックに接触し、自車の運転席ドアと運転席の間に胸部を挟まれ死亡した。	80109	7	100 ～ 299
2012	9	1 ～ 2	被災者が運転する大型トレーラーが対向車線にはみ出し、対向車の大型トラックと衝突し、全身打撲により死亡した。	40301	17	10～ 29
2012	12	16 ～ 17	解体工事現場において、トラックの荷台に積んだ廃材にロープ掛けをしようと荷台に上がろうとしたところ、車体脇のステップを踏み外して墜落した。	30209	1	1～9
2012	7	8 ～ 9	被災者はミキサー車に生コンを積み込み、住宅建築現場に向かって市道を走行中、道路外から進入した軽乗用車と衝突、ミキサー車は約50m先の反対車線で転覆（逆転）し、運転していた被災者が死亡した。	40301	17	10～ 29
2012	10	23 ～ 24	高速道路上り線において、追突事故により停車していた大型トラックに被災者が運転する大型タンクローリーが追突し、死亡した。	40301	17	50～ 99
2012	12	3 ～	被災者はダンプトラックで荷物の運搬業務を終え、会社へ戻る途中、交差点にて赤信号で停車していた別のダンプトラックに追突し、胸	40301	17	1～9

		4	を強打し死亡した。			
2012	1	7 ～ 8	護岸工事の資材積み込みヤードにおいて、被災者はダンプの積み卸しのため荷台上でシートを外していたところ、緩やかな坂に停止させていたダンプが動き出し、坂を下り岸側の急斜面に乗り上げて横転。荷台から落ちた被災者の上に積んでいた岩石が落下した。	40301	4	10～ 29
2012	2	7 ～ 8	トラックで走行中、道路脇に停車していた重機に後方から衝突し、全身を強打し、外傷性ショックのため死亡した	40301	17	10～ 29
2012	3	8 ～ 9	トラックを運転し、同僚とともに事業所から同社の中間処理工場に向かっていたところ、片側3車線の緩いカーブで道路左脇の縁石に乗り上げ、街路樹数本をなぎ倒しトラックの前部が大破した。その反動で、運転していた労働者と助手席に座っていた労働者が車外に投げ出され死亡した。	150102	17	10～ 29
2012	3	8 ～ 9	トラックを運転し、同僚とともに事業所から同社の中間処理工場に向かっていたところ、片側2車線の緩いカーブで道路左脇の縁石に乗り上げ、街路樹数本をなぎ倒しトラックの前部が大破した。その反動で、運転していた労働者と助手席に座っていた労働者が車外に投げ出され死亡した。	150102	17	10～ 29
2012	5	13 ～ 14	高速道路の上り車線において、道路工事で片側交互通行になっていたため停車していたところ、大型トラックが被災者が運転するキャリアカーに追突し、キャリアカーはその前に停車していた大型トラックに追突した。	80202	17	10～ 29
2012	5	13 ～ 14	高速道路の上り車線において、道路工事で片側交互通行になっていたため停車していたところ、大型トラックが被災者が運転するキャリアカーに追突し、キャリアカーはその前に停車していた大型トラックに追突した。	80202	17	10～ 29
2012	6	5 ～	被災者は片側1車線の道路で緩やかな左カーブを走行中、反対車線から	40301	17	30～

		6	はみ出してきたトラックと衝突し、全身を強く打って死亡した。			49
2012	7	3 ～ 4	被災者が運転するトラックが交差点に差し掛かったところ、左から来た乗用車に激突された。なお、交差点は夜間も3色点灯する信号機で見通しはよかった。	40301	17	10～ 29
2012	9	20 ～ 21	被災者は工場内でトラックの荷台に積み込まれた木材の荷絞め作業を行っていた。荷台上の木材に上り、スリングベルトにより荷絞め器で固定していたところ、約3m下の地面に墜落。頭部を強打し死亡した。なお、被災者はヘルメットをかぶっていたが、あごひもをしていなかった。	40301	1	10～ 29
2012	2	4 ～ 5	荷物を降ろした後、事業場へ戻るため高速道路をトラックで走行中、何らかの原因で運転を誤り、左側のガードロープに衝突した。	40301	17	1～9
2012	4	14 ～ 15	被災者は資材の運搬のため後退するトラックを誘導していたところ、道路上に停止しているバックホウと当該トラックとの間に挟まれた。	30107	6	10～ 29
2012	6	16 ～ 17	被災者は民家の納屋に網戸を取り付ける作業を行っていた。網戸の取付終了後、何らかの理由により、被災者が使用していたトラックが、当該民家敷地内の下り坂（勾配約5度）から市道へ動き出し、被災者が市道にある電柱とトラックに挟まれた。	30209	6	1～9
2012	6	4 ～ 5	大型トレーラーで国道を走行中、運転していたトレーラーが中央分離帯のフェンスを突き破って反対車線の土手に衝突横転し、その際に、腹などを強く打ち死亡した。なお、トレーラーには、最大積載量を超える化学物質が積載されていた。	40302	17	1～9
2012	11	2 ～ 3	被災者は高速道路を走行中、追い越し車線に停車中の大型トラックを避けようとしたが避けきれず追突し、頭蓋骨骨折等で死亡した。	40301	17	10～ 29
			タイヤのパンク修理作業において、タイヤを洗うために建屋外の水道			

2012	12	17 ～ 18	蛇口付近にいた被災者が、後進してきた同僚が運転するトラックに激突され、その反動で転倒した際に頭部をアスファルト地面に強打した。	80209	6	1～9
2012	4	7 ～ 8	トラック運転手である被災者は、積み込んだ荷物を目的地へ運送する途中、コンビニエンスストア駐車場でウイングを開けて積み荷の点検作業中、突然ウイングが下降し、トラックの荷台のウイングとあおりの間に頸部をはさまれ死亡した。	40301	7	50～ 99
2012	10	17 ～ 18	タンク車の車検整備のため、車体をジャッキ（前後4点）に乗せ後輪の板バネ付属品の交換を行っていたところ、車体が傾き、車体後部と作業床の間に腹部をはさまれ、内臓破裂で死亡した。	80202	7	10～ 29
2012	11	14 ～ 15	自動車道の草刈り及び樹木剪定作業中、被災者が塵芥車の前方で草木の集積作業を行っていたところ、塵芥車の運転手が被災者に気付かずに塵芥車を前進させてしまい被災者が轢かれた。	30106	7	30～ 49
2012	2	16 ～ 17	2 tトラックの下でギヤの整備中、回転していたプロペラシャフトに作業着が引っ掛かり左腕が巻き込まれ、作業着で頸部が圧迫され窒息死した。	11701	7	1～9
2012	9	15 ～ 16	信号のある交差点において、社有車であるライトバンに2名で乗車し、右折信号を右折していたところ、信号を無視して直進してきたトラック（最大積載荷重12 t）に助手席側の側部に追突され、助手席に乗車していた労働者が死亡、運転していた労働者が顔、胸等を負傷した。	80209	17	30～ 49
2012	1	4 ～ 5	高速道路で運送業務中の被災者が運転する大型トレーラが前方を走行していた大型トラックと衝突し、さらに中央分離帯に衝突した。	80401	17	1～9
2012	4	3 ～ 4	荷物を積み事業場に戻るため、大型トラックを運転し高速道路を走行中、事故で横転していた大型トラックに追突した。	40301	17	50～ 99
		9	被災者は橋梁の塗装工事現場において、吊り足場の組立作業を道路脇			

2012	10	～	で監視していたところ、国道を通行してきたダンプトラックのタイヤ	30105	17	1～9
	10		が外れ、直撃された。			
2012	1	～	被災者は、着岸したフェリーから牽引車とトレーラーを連結し、搬出			
	8		する作業を行っていた。牽引車とトレーラー部のブレーキのうち、一			
	9		部のブレーキのエアバルブの未開放に気づき、運転席から離れ、当該	40301	7	10～
			バルブを開放したところ、トレーラー側のブレーキが解除され、牽引			29
			車とトレーラーが動きだし、運転席に戻ろうとした際、牽引車とフェ			
			リーの内壁との間に体を挟まれ、骨盤骨折等により死亡した。なお、			
			船内の勾配は、約3度であった。			
2012	4	～	被災者はトラックで雑貨を運搬すべく、国道を目的地に向かう途中、			
	5		左カーブに差し掛かった際対向車線にはみ出し、対向車線を走行して	40301	17	30～
	6		いたトラックに正面衝突した。被災者は、頭等を強く打ち死亡した。			49
2012	5	～	被災者は目的地までの荷の運搬業務のため、箱型トラックを運転し片			
	22		側一車線の国道を走行中、緩やかな右カーブに差し掛かったところ、			
	23		車体が横転した勢いで運転席から放り出され、道路脇の電柱を倒しな	40301	17	30～
			がら路外に逸脱したトラックの荷箱と倒れた電柱の間に挟まれ、全身			49
			打撲により死亡した。なお、被災者は制限速度50 kmの道路上を80 k			
			mで走行し、シートベルトを着用していなかった。			
2012	6	～	被災者は荷を積み、出発地へ戻るため高速道路を走行中、追突事故に			
	0		巻き込まれた。その際、トラックの損傷程度を確認するため車外へ出	40301	17	10～
	1		たところ、後続の別のトラックに追突され、その反動で自社トラック			29
			が押し出されて自社トラックの下敷きになり死亡した。			
2012	6	～	資材センターにおいて、トラック荷台からの荷降ろし終了後、トラッ			
	18		クが前方へ逸走、置いてあったフォークリフトにトラックのドアが激			
	19		突したため、ドアとトラックの車体の間にいた被災者が挟まれ、死亡	30201	6	10～
			した。			29
			被災者はトラックに建材のサッシを積み目的地まで運送するため、高			
	0		速道路下り車線を走行していた。その際、運転を誤り、トンネルの入			



2012	7	～	1	口にトラックを衝突させ、トンネルの壁面にトラックをこすりながら数十m進んだところでトラックは止まった。救急搬送されたが、失血性ショックにより死亡した。	40301	17	10～ 29
2012	8	～	10 11	被災者は国道を社有の大型トレーラーを運転し商品を運搬中、左路肩下に転落、大破し、死亡した。なお、事故現場は直線道路で、路面は乾燥していた。	40301	17	30～ 49
2012	9	～	18 19	被災者は工事の打ち合わせを行なった後、社用車（1tダブルキャブトラック）を運転して宿泊先の旅館に向けて走行中、転回中であったスクールバスの右側面に衝突し、車両が炎上して焼死した。	30301	17	10～ 29
2012	9	～	16 17	他の事業場のトラック運転手がいも畑内にフォークリフトを立ち往生させたため、被災者がフォークリフトに乗りトラックで横方向から牽引し脱出させようとしたところ、フォークリフトがバランスを崩して横転し、運転していた被災者がフォークリフトから投げ出され、ヘッドガードと地面の間に挟まれ死亡した。	60101	2	1～9
2012	11	～	7 8	ダンプトラック（最大積載重量4t）を運転して道路工事現場に向かっていた被災者が、凍結路面でスリップしてカーブを曲がりきれずに路外に逸脱、横転し、車体と地面に挟まれて死亡した。	30106	17	10～ 29
2012	12	～	10 11	改修中の歩道において、当日舗装を予定していた一帯を被災者を含む複数の労働者で養生用にかけていたブルーシートをはがす作業及び除雪作業を行っていたところ、舗装作業開始場所まで舗装用アスファルトの合材を運搬するべく後進してきたダンプトラックにより激突され、被災者が轢かれた。なお、当該トラックが後進する際、誘導者による誘導は行われていなかった。	30106	6	1～9
2012	12	～	6	被災者は徒歩で新聞配達業務を行っていた。大方配り終え残り数部を持って片側一車線の国道の路肩を歩行中、後ろから走行してきたミキサー車にはねられ間もなく死亡した。ミキサー車は対向車の除雪車のライトがまぶしく、排土板が自車線にはみ出していたため減速しながら	80205	17	10～ 29

		7	ら左によって走行していた。路肩にいた被災者に気付きハンドルを切ったが、圧雪アイスバンのため滑って避けられず、車両左側方が被災者に接触し、左路外に逸脱した。			
2011	6	13 ～ 14	貨物トラックで鉄くずを製鉄会社に搬送していた被災者が、製鉄会社への搬送を終えて再び公道に出る直前、何らかの理由でトラックを降りて荷台の鉄製扉を開け、荷台を確認していたところ、突如扉が閉まったために、扉と荷台の間に頭頸部が挟まれて頭蓋骨骨折脳損傷により同日死亡したものの。	11009	7	100 ～ 299
2011	2	12 ～ 13	被災者が商品配達のため2 tトラックで事務所を出発し道路を走行中、約15分後にセンターラインをはみ出し反対車線の10 tトラックと正面衝突したものの。	80209	17	1～9
2011	2	13 ～ 14	サトウキビを集荷・運搬するため、積載型トラッククレーンの荷台にサトウキビを積み込んだ後、当該トラッククレーンのアウトリガーを被災者が収納したところ、下り坂であったため、当該トラッククレーンが動き出し、畑と道路の段差で横転したため、被災者が下敷となり死亡した。	40302	6	1～9
2011	11	10 ～ 11	工事現場に、労働者がダンプを運転して盛土として使用するシラスを降ろした後、現場でタイヤ（前輪）がはまり動けなくなったため、後続のダンプの運転者であった被災者が、動けなくなったダンプの脱出作業の補助をダンプ後ろで作業していたところ、ダンプ後方のブルドーザーとダンプ後部に挟まれ被災した。	40309	7	1～9
2011	3	9 ～ 10	被災者は、前日に回収した古紙の仕分け作業を行った後、駐車場に駐車していた車両の入れ替えを行うため、パッカー車（最大積載量2 t）を自ら運転して移動させた後、次に移動させる予定であったトラックに向かいパッカー車の後方を歩いていたところ、後退してきた他の労働者が運転するトラック（最大積載量4 t）とパッカー車の間に挟まれたものの。	150102	7	30～ 49
		5	被災者は、軽トラックを運転し新聞を配達中、中央線の無い道幅約5			

2011	6	6	～	メートルの市道にある橋の欄干（コンクリート製）に衝突した。被災者は、ドアと車体に上半身が挟まれ胸などを圧迫し死亡した。	80205	17	10～ 29	
2011	3	8	～	9	里道の下り坂で、3 t 車（トラック）の前輪横付近でアウトリガーを元に戻す作業を行っていた被災者が、下り坂を動き出した3 t 車の左前輪のタイヤの内側にある車軸と地面との間に挟まれた。（事故発生後、20日目に死亡）	60101	7	1～9
2011	1	23	～	0	被災者が運転していた大型トラックのライトが故障したため、高速自動車道下り線の路肩に停車し、トラックから降りて停止表示器材を置いていたところ、別の大型トラックが追突してきて、トラックとガードロープにはさまれて胸などを強く打ち即死した。	40301	17	30～ 49
2011	4	8	～	7	下り路線にて大型トラクター（トレーラーヘッド）を運行中、交差点を左折時に雨で濡れた路面でスリップし、中央分離帯に接触、歩道脇のフェンスを突き破って約10メートル下に転落、左足切断術後、療養中であったが、翌日夕方に出血性ショックにより死亡した。	40301	17	1～9
2011	5	3	～	4	被災者が、13トントラックを運転して、高速道路を走行していたところ、上り47.3kポスト付近で、前方の大型トラックに追突した。	40301	17	10～ 29
2011	6	10	～	11	カーセンター敷地内において、中古車を配送するため、被災者が、単独で中古車をキャリアカーへ積み込んでいた。その後、中古車を積んだ状態のキャリアカー横の地面に、被災者が仰向けで倒れていたのを、同センターに来店していた客が発見した。	40301	1	10～ 29
2011	6	8	～	7	被災者ら2名は災害当日の朝、事務所に集合し、会社の車両である1.5 tトラックを同僚が運転して、現場に向かった。高速自動車道を走行し、前方を走行する15 tトレーラーを追越そうと追越し車線に入った。15 tトレーラーの100m後方で、タイヤが滑り走行車線に入り、ハンドルを右に切ったが間に合わず、15 tトレーラー後方に追突した。助手席に同乗していた被災者が死亡した。	30202	17	30～ 49

2011	7	8 9	被災者は、積み荷を運ぶ準備のため、駐車場内において、トラクタ（牽引車）とコンテナセミトレーラ（被牽引車）を連結する作業を行っていたところ、車両が前方に動き出したため、トラクタ前面を両手で押さえ止めようとしたが、支えきれずに車体下に巻き込まれ、胸腹部圧迫による窒息により死亡した。	40301	7	10～ 29
2011	7	3 4	被災者は、配送先のコンビニエンスストアに到着し、納品伝票を店員に手渡し、納入作業を開始するため店外に出た。しばらくたって、商品が納入されないことに気がついた店員は、様子を見るため店舗横の駐車場に向かったところ、トラック前方で吐血し座り込んでいる被災者を発見した。被災者は救急搬送されたものの、後頭部骨折に伴う脳梗塞により20日後に死亡したものの。	40301	1	10～ 29
2011	7	9 10	10tトラックを運転して、荷を運搬途中、駐車場に車を止め、ウィング式の荷台の扉を操作中に荷台側面の扉に首を挟まれ死亡したものの。	40301	7	10～ 29
2011	8	4 5	被災者が運転するトラックが走行中、前方を走行していた10tトレーラーに後方から追突し死亡したものの。	40301	17	10～ 29
2011	11	4 5	被災労働者の運転する大型トラックは、信号待ちで停車していた大型トレーラーに追突した。追突された大型トレーラーは、更に前方に停車していた大型トラックに追突した。被災労働者は、1時間後に搬送先の病院で死亡が確認された。追突された大型トレーラーと大型トラックの運転者は、それぞれ軽傷を負った。	40301	17	10～ 29
2011	11	21 22	3名で翌日配送する鉄筋4束（9トン）を13トン積みトラックに積み込み、被災者は、2人を帰して、荷の積み込み状態の確認作業を行っていた。翌日出勤してきた労働者が、トラック横の地面で仰向けに倒れていた被災者を発見した。	11209	1	10～ 29
2011	12	14	被災者が軽トラックで走行中、前方の4tトラックに追突し、その後	40301	17	10～

		15	病院に搬送され、死亡したものの。			29
2011	6	6 ～ 7	雨の中を会社所有の2トントラックで移動中、高速自動車道下り線において、トラックがスリップし中央分離帯に激突し横転した。助手席に乗っていた被災者が死亡、外2名が負傷したものの。	30201	17	1～9
2011	8	14 ～ 15	軽トラック（事業場所有）でガードレールのない作業道（幅2.5 m）を走行中、運転操作を誤り、作業道から17メートル転落し、助手席の同乗者が車外に投げ出され死亡、運転者が被災したものである。	60209	17	10～ 29
2011	3	18 ～ 19	工場において11トントラックに荷物を積み込みしたが、荷主より移動を命ぜられたので近くの道路に移動して荷物の確認を行った。その後、通行人が停車している11トントラック左側面のウイング扉に被災者がはさまれた状態での発見し、病院に搬送されたが死亡したものの。	40301	7	10～ 29
2011	4	3 ～ 4	走行中、被災者が運転する2トントラックがセンターラインをはみ出し、対向車線から走行してきたユニック車に激突し、横転したものの。救急車により搬送中に死亡したものの。	40302	17	10～ 29
2011	4	2 ～ 3	被災者が交差点で信号待ちのため停車していたところ、後ろから居眠り運転と思われる大型車両に追突されたもの。被災者はパイプを運送するため、4トントラックを運転していた。	40301	17	1～9
2011	9	13 ～ 14	走行中、被災者が運転する自家用車がセンターラインをはみ出し、対向車線から走行してきたダンプトラックに激突し、死亡したものの。	80209	17	10～ 29
2011	9	13 ～ 14	納品先の敷地内で、納品の為に軽トラック運転中、隣車線に停まっていたフォークリフトに積まれていた鋼材（長さ750cm、幅20cm、厚さ約3cmを18枚）に衝突、頭部外傷により死亡したものの。	10109	3	1～9
2011	10	10 ～	道路を走行していた軽トラックが、同道路沿いの工事現場にバックで入ろうとしていた大型トラックに追突したものの。軽トラックを運転し	30199	17	1～9

		11	ていた運転手が重体、助手席に乗っていた同僚が死亡したもの。			
2011	1	16 ～ 17	荷をトラックで運送中、横転して10m程路面を滑り、ガードレールの支柱に激突し、頭蓋骨骨折により死亡した。	40301	17	100 ～ 299
2011	6	8 ～ 7	踏切内で下り電車と衝突したもの。	40301	17	100 ～ 299
2011	9	9 ～ 10	被災者は、現場入口確認のためトラック（積載荷重15t）を止めトラック前方を歩いていたところ、無人のトラックが動き出し被災者に激突、被災者は死亡したもの。	40301	6	100 ～ 299
2011	12	11 ～ 12	法面防災工事から出た残土を3トントラックで仮置場に運搬中、縁石に乗り上げ横転し、歩道の街路樹、電柱等に激突し、被災したものである。	30199	17	1～9
2011	12	9 ～ 10	被災者は、解体工事に伴うコンクリート廃材を10tダンプで処理施設まで運搬、廃材搬入の受付をするためダンプを降りてダンプ後方に移動したところ、停車中のダンプが後退し被災者に激突、死亡したもの。ダンプ停止箇所は、下り勾配の傾斜地（約4度）であった。	150102	6	50～ 99
2011	3	4 ～ 5	午前3時頃に3tトラックで会社を出発した被災者は、市内の片側一車線を走行中、何らかの原因で中央線を越え、対向車線を走行していた2tトラックと正面衝突し、両トラックの運転手が死亡した。現場は緩いカーブで、事故発生時は小雨が降っていた。	40301	17	100 ～ 299
2011	9	3 ～ 4	大型トラックでA支店からB支店に向けて出発後、路肩に故障のため停車中のトレーラーの右側後部に追突し、追突した車両の運転席後部で仮眠していた同乗者が車外に放り出され頭部及び胸部を強打した。同乗者は、2日後に多発外傷により死亡した。なお、運転手は、頸椎捻挫により2日間休業している。	40301	17	100 ～ 299
			坂道にコンクリートミキサー車を止め、コンクリート打設作業中、生			

2011	12	16 ～ 17	<p>コンの出が悪くなったことから、ミキサー車の前後を入れ替えようと、輪留めを外しサイドブレーキを解除したがロックが解除されず、ミキサー車の方向転換は出来なかった。その状態のまま、被災者は生コンの残量確認等のためミキサー車のステップ上で作業していた際、ミキサー車が動き出し110メートル下方のコンクリート壁に激突後横転しその下敷きとなった。</p>	10901	17	1～9
2011	12	9 ～ 10	<p>積載型トラッククレーンを使用して、当該クレーンの荷台に据え付けてあったステンレス製還水タンク（高さ2m、奥行1m、幅1m、重量260kg）を、隣に駐車させたトラックの荷台に積み込み、その後、当該トラックの運転席の屋根（高さ1.96m）に上がって作業を行った後、当該クレーンの荷台の方向を向いた形で当該クレーンのあおりに覆いかぶさっているところを発見された。（どのようにして転落したのかは不明。）</p>	30201	1	10～ 29
2011	4	15 ～ 16	<p>災害発生場所である当該事業場の資材置き場前の道路を、被災者が所属する事業場の労働者が車で通りがかったところ、ダンプトラックが右に横転しているのに気づいたので状況を確認したところ、当該事業場の労働者が、横転したダンプトラックの開けられた右側の窓の上部と地面との間に頸部を挟まれた状況で発見された。その後消防により救出されたが死亡した。災害発生状況を見た者はいない。</p>	150102	2	10～ 29
2011	5	8 ～ 9	<p>被災者は材料の配達のため、事業場よりトレーラーを運転し、工場に向かっていた。8時30分頃、トンネルに進入する手前で、反対車線から対向車両がセンターラインをオーバーしてきたため、被災者は左歩道側にハンドルを切ったが間に合わず、相手車両と衝突した。</p>	50202	17	100 ～ 299
2011	8	15 ～ 16	<p>コンクリートミキサー車（以下ミキサー車という）を用いて工事現場に生コンを搬入するため現場進入路を走行中、設置された規制ゲート内のこう配約7度の道路上にミキサー車を一旦停止させ、運転席を降りてミキサー車の後方に回り規制ゲートを閉める作業を行っていた運転者が、逸走してきたミキサー車に轢かれたもの。</p>	40301	6	1～9

2011	5	9 ～ 10	ごみ収集車により収集したゴミを集積場ピットに排出した後、運転手がごみ収集車のテールゲートを閉鎖するため降下させたところ、ごみ収集車内のゴミを除去していた助手の頭部がテールゲートと車体との間に挟まれた。	150103	7	30～ 49
2011	6	13 ～ 14	出張先の山林の土場において、同僚がフォークリフトを運転し杉の原木をトラックの荷台に運び、被災者が荷台で均す作業を行っていたところ、原木をトラックの荷台に下ろす際に原木がフォークから転がり落ち、荷台の外に落ちたため、同僚が原木が落ちた箇所を確認したところ、被災者が原木のそばで倒れており、救急車で搬送され脳挫傷および頸髄損傷により意識不明の重体となったが、その後死亡したものの。	40301	1	1～9
2011	12	8 ～ 7	商品配達のため道路を北進していた積載荷重800kgの保冷車と、事業場にて荷物を下ろしたのち道路を南進していた積載荷重26700kgトレーラーとが、団地入口付近の道路上にて正面衝突し、保冷車運転手が死亡し、トレーラー運転手が右ひざ等を打撲した。	80109	17	10～ 29
2011	3	9 ～ 10	上記トラックヤードにおいて貨物自動車（最大積載荷重13400kg）の後進を同車の後方にて誘導していた被災者が同車に轢かれたものの。	10701	7	30～ 49
2011	4	15 ～ 16	2tトラックにて国道を南下走行中、左カーブを曲がりそこない、反対車線にはみ出し、対向車の乗用車とトラックに接触衝突したものの。	80102	17	1～9
2011	4	23 ～ 0	被災者は荷物を積んだ4tトラックで山陽自動車道を東に向かって走行していた。その際に大型トラックに後方から追突され、4tトラックを運転していた被災者が死亡したものの。大型トラックの運転手は両足を骨折し、休業を伴う負傷を負った。	40301	17	10～ 29
2011	8	10 ～ 11	会社から工事現場へコンクリートミキサー車で生コンを運搬中に、道路の電柱に衝突したものの。自損事故である。（生コンの運搬のみ）	40309	17	30～ 49



2011	9	5 ～ 6	被災者は、ある事業場付属の寮より同僚4名と共に社用車で工事現場へ向かう途中、高速道路上で社用車の右後輪がパンクしたため路肩に停車させパンクの修理を行っていたところ、通行車両（大型トラック）にはねられ死亡したものの。	30302	17	10～ 29
2011	9	11 ～ 12	被災者が貨物自動車で高速道路を走行中、5.7キロポスト付近で、渋滞のため前方を走行していた2台の貨物自動車が相次いで減速停止したところ、その後方から追突したものの。被災者は運転席内で挟まれて死亡した。	40301	17	50～ 99
2011	12	11 ～ 12	被災者は国道の長い下り坂を9tトラックで運転中、下り坂の最後の右カーブにて曲がりきれずに左側ガードレールを突き破り電柱に接触、約1メートル下の畑へ転落横転して、頭を打つなどして被災した。	40301	17	1～9
2011	3	3 ～ 4	被災者が運転するトラックが山陽自動車道から小谷サービスエリアにつづく道路へ入った際に、当該道路の右側に停車していたトラックの左後方に衝突し、被災した。搬送先の病院で死亡した。	40301	17	50～ 99
2011	3	10 ～ 11	建設工事現場で使用する足場材料を被災者が自社のトラックで、一次下請会社の資材センターに行き、足場材の積込完了後、検収の為に待機をしているときに、エンジンを掛けたままトラックを離れ、自車の前方に向かったときに、自車が動き出し、前方に停車していたトラックの後部と自車の前部に頭部を挟まれ死亡したものの。	30309	7	30～ 49
2011	6	8 ～ 7	被災者は、配送先にて待機中、12トンウイングトラックに積載した荷物を確認しようと側面のウイングを顔が入る程度に半開し、サイドバンパーに足を掛けて荷台内を覗こうとした。その際、サイドバンパー付近にあるウイング開閉スイッチに右足先が触れてしまったためにウイングが閉まり、ボディのアオリとウイングに首を挟まれ宙吊り状態となり窒息し、病院に搬送されたものの13日後に死亡したものの。	40301	7	30～ 49
		4	26日午前4時20分ごろ、市道交差点で、ミニバイクに乗って新聞			

2011	6	5	配達をしていた被災者が、2トントラックと出会い頭に衝突。頭などを打って病院に運ばれ、間もなく死亡した。	80205	17	10～ 29
2011	6	10 ～ 11	採石現場において4.75トントラックで表土を切羽から下り坂を下りた先の表土置場に運ぶ際に、車両が右側の盛り土に乗り上げ、制御不能となったため、運転手は運転席から飛び出したかまたは投げ出され、車両に轢かれ死亡したもの。車両は運転手不在のまま40メートルほど走り、盛り土に乗り上げ横転して停止した。なお、車両の右前輪は車軸が折れた状態になっていた。	20201	7	30～ 49
2011	8	0 ～ 1	深夜における下水道工事に、地下埋設設備（ケーブル）の立会中、地下埋設位置を確認するため、現場付近の道路上に設置しているマンホールへ移動していたところ、後方から走行してきたトラック（2t）にはねられた。	110101	17	100 ～ 299
2011	8	22 ～ 23	自転車で道路上を走行中、後方から来た車に跳ねられたもの。	30309	17	1～9
2011	9	8 ～ 7	現場へ向け2台に分乗し出発。道路を走行中に先頭車両から後続車両へ連絡事項が生じたため左路側帯に先頭車両と後続車両が続けて停車し、会話をしていたところ、後続車両の後方部に大型トラックが衝突し、先頭車両と後続車両間にいた河野が挟まれ死亡、他2名が巻き込まれ負傷したもの。	30201	17	1～9
2011	11	4 ～ 5	被災者がごみ収集車を傾斜地でバックで移動させた際に、ごみ収集車の右後部が電柱に接触した。被災者がその様子を確認するため、当該電柱に駆け寄ったところ、ごみ収集車が後ろに下がり、電柱とごみ収集車に挟まれ被災したもの。	150109	7	1～9
2011	12	20 ～ 21	平成23年12月12日に高速道路上り線の登板車線にて、営業所に勤務する運転手（被災者）が運転する10トントラックが前方を走行していた大型トラック（牛を運搬中）に追突し、死亡したものであ	40309	17	10～ 29

			る。追突された大型トラックを運転していた運転手は、重傷である。			
2011	12	不明	2 tトラックで自社製品を納品するため取引先工場に早朝5時45分頃到着し、7時20分から始まる荷卸しまでの間に一人で荷解き作業を行っていた被災者が、積荷の固縛ロープを外そうとして誤って荷台から転落し、頭部を強打した。被災者はそのまま作業を継続して荷卸し完了し、9時前には取引先を出発したが、11時半以降連絡が途切れ、20時に取引先から50m程先の路上に停車したトラックの運転席から遺体で発見された。	11209	1	
2011	12	11～12	荷降ろし先でトラックに積まれた荷を下ろす作業中、トラック上荷台の荷物上（高さ2.6m）に乗り移動していたところ、足を踏み外しそのまま地上へ墜落した。なお、被災者はヘルメットを着用していなかった。	40301	1	30～49
2011	7	22～23	高速道路下線を大型トラック（10t）で走行中、渋滞の最後尾に停車中の大型トラックに追突した。（大型トラック3台と乗用車1台が絡む事故が発生）（搬送先の病院で、翌日1:10出血多量によりショック死した。平成23年8月18日災害調査実施、確定）	40301	17	30～49
2011	4	15～16	夕刊を配達していた被災者が、配達開始後1時間30分ほど経過した午後3時30分頃、市道交差点に北西方向からバイクで侵入したところ、北東方向から侵入してきたタンクローリーに出合い頭に衝突し腹部を強打。病院で治療を受けたが29日午前7時頃死亡した。当該交差点は信号や停止線のない道路であるが、見通しのきく交差点である。事故現場にブレーキ跡は無かった。当日の天気は雨。	80205	17	30～49
2011	5	15～16	被災者及びバキュームカーの運転者は、上り坂となっている道路の路側帯において、地下し尿貯槽からし尿の汲み取りを行っていた。汲み取りを終えた直後、バキュームカーが後退を始めたため、被災者及び運転者が車両後方から手で押さえたものの、車両は約3メートル後退を続けた。運転者が運転席に乗り込み車両を停止させたが、被災者が何らかの原因で転倒し、後退してくる車の左後輪に轢かれ、外傷性心	150109	7	10～29

			破裂により死亡したもの。			
2011	8	13 ～ 14	新築住宅工事現場に設置していた自社リース品であるくさび緊結式足場を解体して、最大積載量1 tの平ボディー車に足場部材を積み込んで自社の資材置場に戻ってくる道中で、運転手が単独の交通事故を惹起し、側溝わきに立っている電柱に衝突して助手席に座っていた技能実習生が死亡した。事故現場は道路の両側とも畑の見通しがいい片側一車線の直線道路であった。	80409	17	10～ 29
2011	3	20 ～ 21	被災者は、7 tトラックを使用し、複数の事業場から収集した飼料の原料（魚のあら等）を加工場に降ろし終え、当該トラックを運転して翌日の第一収集先事業場に駐車に行く途中、道路中央分離帯に乗り上げ、当該分離帯に植えられていた街路樹に衝突したもの。	80109	17	1～9
2011	4	11 ～ 12	被災者は、積載荷重11 tダンプトラックで高速自動車道を走行中、中央分離帯を乗り越え、反対車線のガードレールを突き破り、隣接して設置されているゴルフボールの防球ネットの鉄柱に衝突し、頭部を強打した。また、事故現場にブレーキ痕は無かった。被災者は、病院で治療を受けていたが7月21日午前0時0分に死亡した。	150102	17	10～ 29
2011	5	17 ～ 18	作業場所から約1.5 km離れた林道内において、帰社のため2 tトラックを運転中、道路走行上何らかの障害（動物の飛び出し等）がありハンドルを谷側に切ったところ、路肩から車両ごと墜落したもの。	30209	17	1～9
2011	9	11 ～ 12	被災者は、県道側溝清掃工事にかかる片側交互通行の交通誘導員として交通整理業務に従事していたところ、左車線を走行してきた軽トラックに轢かれ、救急車により病院に運ばれたが翌日死亡に至った。	170201	17	10～ 29
2011	12	15 ～ 16	被災者は、2トントラックを運転し、市内の事業場へ荷（製品材料）の積み込みに行く途中、渋滞で停車していたトラックに追突したものの。	150102	17	50～ 99
2011	1	10 ～	平成23年1月27日（木）午前10時45分ごろ、市内の工場で製造された船外機を港から輸出するため、トレーラーで国道を運送していたところ、片側1車線の右カーブでスリップし、対向車線を超えて	40301	17	100 ～

		11	河川敷に転落したもの（単独事故）。			299
2011	3	12 ～ 13	A県内の荷先から次の集荷先である町へ向かうためトラック（7 t）を 運転中、B県C市で道路に進入したところ、3台の車とガードレールに 衝突後、緩い下り坂を60 m程度走行し、ガードレールを突き破り、 約4 m下を併走する町道に落下し頭部外傷により同日15時50分に 死亡したもの。	40301	17	10～ 29
2011	4	8 ～ 9	被災者運転の保冷車が、前方で信号待ちをしていたタンクローリーに 衝突後、道路左側の道路標識に激突し死亡した。	40301	17	30～ 49
2011	4	16 ～ 17	平成23年4月13日午後4時40分頃、県道交差点（信号あり）に おいて、ダンプトラックと軽自動車が生交差点内で衝突し、軽自動車の 助手席に乗っていた労働者が死亡し、同運転席の同僚が重傷を負った もの。なお、軽自動車に乗車していた2名は資格試験の受験会場から 社用車で事業場に帰る途中であった。	90101	17	10～ 29
2011	5	15 ～ 16	建設用の鉄骨（1.5トン）をトレーラーに12本積む作業を2人で 行っていた。被災者が荷台で玉はずし、もう1人が4.8トン門型ク レーンで9メートル離れたヤードから鉄骨を移動させていた。ヤード で8本目をクレーンで垂直に吊り上げた時、荷台で待機していた被災 者が高さ1.25メートルの荷台から地上に墜落し、外傷性頭蓋内出 血で死亡した。ヘルメットは着用していた。	170209	1	10～ 29
2011	6	8 ～ 9	6月1日19時頃、トレーラーに鋼材21 tを積み込みA市に向けてB 市を出発。6月2日8時50分頃、高速道路・インターチェンジ上り 料金所手前の左カーブを曲がり切れずガードレールに接触し横転し た。	40301	17	100 ～ 299
2011	6	17 ～	社用車に4名が同乗し、彦根料金所の現場から帰社するために高速道 路を移動中、社用車の左前輪がパンクしたため、路肩に車を寄せてス ペアタイヤに交換する作業を行っていたところ、後方から来た4 tト	30301	17	10～

		18	トラックが車線をはみ出し社用車に接触して、社用車の後部右ドア付近にいた被災者をはねたもの。他の3名は監視役の者の声掛けにより退避したが、被災者は逃げ遅れたものである。			29
2011	6	17 ～ 18	被災者は10tトラックにA県で荷を積みB県に戻るため、国道下り線を走行していた。一方、事故の相手方は車両積載型トラッククレーンにC県で荷を積み、D県へ戻るため上り線を走行していた。同国道下り線側で2台が正面衝突するように衝突した。衝突後、相手方は車外に逃れたが、被災者は足がはさまれて車外に出られずにいたところ、出火し、運転席が延焼して焼死したもの。	40301	17	10～ 29
2011	6	1 ～ 2	平成23年6月20日午前1時40分頃、被災者が積み荷を搬送中、高速道路上り線（112.9ポスト）で、前方の工事による車線規制で速度を落とした前車に後方から追突した。（現場は直線道路で、霧雨）	40301	17	30～ 49
2011	8	14 ～ 15	道路（15.7キロポスト）下り線の右側車線を走行していた。後方から走行してきた2トン車が追突し、衝撃のはずみで左側車線方向に押し出されて縁石に乗り上げ横転した。車両は大破し、当社のドライバーは胸部に強い圧迫を受け死亡した。	40301	17	10～ 29
2011	8	16 ～ 17	被災者が、上記場所のT字路において、配電線工事の交通誘導業務を行っていたところ、交差点を左折しようと徐行で進入してきた軽トラックが急加速し、正面から激突され、軽トラックとともにビニールハウスのドアを突き破って押し倒されたもの。被災者は、転倒時の出血性ショックで同日午後5時43分に死亡した。	170201	17	30～ 49
2011	9	9 ～ 10	被災者は4tトラックを運転し引越荷物を運搬中に、町内の交差点で、左側ガードレールに接触後、その前方に停車中の10tトラックに追突し全身打撲により死亡。	40301	17	10～ 29
2011	10	1 ～ 2	A市内の配達先より戻る途中、高速道路上りB市内で、前方を走行中の大型トラックに追突した。	40301	17	50～ 99

2011	10	3 ~ 4	空車台車を回送し、配車センターにてトレーラーヘッドを切り離し中、トレーラーヘッドが前方に動き出した。それを止めようと運転席に乗り込もうとするも、隣の台車との間隔が狭く、ドアが隣の台車に押され、体がドアに挟まれた。その後、午前4時40分頃救急通報、病院に搬送されるも、同日午前5時40分外傷性心挫傷により、死亡したもの。	40301	7	10~ 29
2011	11	5 ~ 6	県内で通信設備の電気工事を終了後、トラックとバンに7名が分乗して会社に戻る途中、県内の高速道路下り線において、4名が乗車していた2トントラックの右前タイヤがパンクしたため、路肩に停止し、2名がパンク修理し、残り2名が当該車両の後方で交通整理を行っていたところ、後方より走行してきた大型トラックに3名が跳ねられ、いずれも死亡した。	30301	17	1~9
2011	11	5 ~ 6	県内で通信設備の電気工事を終了後、トラックとバンに7名が分乗して会社に戻る途中、県内の高速道路下り線において、4名が乗車していた2トントラックの右前タイヤがパンクしたため、路肩に停止し、2名がパンク修理し、残り2名が当該車両の後方で交通整理を行っていたところ、後方より走行してきた大型トラックに3名が跳ねられ、いずれも死亡した。	30301	17	1~9
2011	11	5 ~ 6	県内で通信設備の電気工事を終了後、トラックとバンに7名が分乗して会社に戻る途中、県内の高速道路下り線において、4名が乗車していた2トントラックの右前タイヤがパンクしたため、路肩に停止し、2名がパンク修理し、残り2名が当該車両の後方で交通整理を行っていたところ、後方より走行してきた大型トラックに3名が跳ねられ、いずれも死亡した。	30301	17	1~9
2011	2	11 ~	被災者が正社員として勤務していた営業所（以下、営業所）は、片側2車線の県道沿いにあるが、被災者が入社後マイカーで営業の仕事に行き、終えて営業所に戻る際、営業所前の当該県道の向こう側で被災者等が契約している駐車場にマイカーを止め、当該県道を渡ろうとし	90103	17	30~

		12	て横断歩道でない箇所で、信号で停車している車両の間を通過していたところ、右折車線を走行中の自家用車貨物自動車にはねられ、6日後に急性硬膜下血腫等により死亡			49
2011	9	15 ～ 16	被災者は剪定した枝葉を市内の同業者の広場へ一人で運搬途中に、トラックごと川に転落し死亡した。被災者は台風で折れた川沿いの桜の剪定と、その枝葉の運搬作業を行っていた。事故にあった現場の道幅は約2mと狭く、道路は登り坂で左にカーブしていた。	60101	17	1～9
2011	9	18 ～ 19	被災者が一人で工事現場から軽トラックで会社へ帰る途中、川の堤防でダンプと正面衝突し、全身を強く打って死亡。なお、ダンプの運転手（自営）、被災者の後ろを走っていた乗用車の男性、ダンプの後ろを走っていたオートバイの男性、計3名が軽傷（全員通勤途中）。	30201	17	10～ 29
2011	12	0 ～ 1	国道下り片側2車線の信号機のある交差点で、被災者の運転する中型トラックが赤信号で停車していた前方の大型トラックに追突した。これにより被災者は胸腹部内臓損傷による出血により、同日午前2時5分に死亡した。	40301	17	30～ 49
2011	12	2 ～ 3	高速自動車道出口の料金所手前で、運転していた大型トレーラーを降り、道路上にいたところ、トレーラーが動き出し避けきれずに壁とトレーラーに挟まれ死亡した。	40301	6	1～9
2011	3	10 ～ 11	被災者が、工事現場から別の工事現場へ土砂を運搬するために、10tダンプトラックを運転し走行していたところ、対向車線を走行中の4tトラックがセンターラインを越えてきたため、避けようとしたがガードレールがあったため避けきれず衝突をしたもの。現場は見通しの良い、片側1車線の道路である。	40301	17	10～ 29
2011	5	8 ～ 9	国道において、ダンプ運転者Aが運転するダンプが緩やかな左カーブを北進中、スリップして対向車線にはみ出し、南進中のダンプ運転者Bが運転するダンプと正面衝突、運転者Aは肋骨を2本骨折、運転者Bは外傷性肝破裂で間もなく死亡したもの。現場は片側一車線の緩やかな左	40302	17	10～ 29



			カーブ。事故当時は激しい雨が降っていた。			
2011	6	3 ~ 4	事業場北側のホームへ到着した20トン保冷車の運転手が、荷台上の全ての荷を降ろした後に、荷台の扉を開けたまま、事務所へ配送完了の報告に出向いた。この間にホーム上で別の作業を担当していた被災者が、荷台へ入り込んだ。運転手は事務所から戻り、荷台の確認をせず、扉を開けたまま事業場南側の燃料スタンドへ時速約25kmで移動したところ、荷降ろしたホームから約65m離れた地点で被災者が荷台から転落した。	50101	1	300 ~
2011	7	16 ~ 17	被災者が左官工事現場から作業を終え、軽ワゴン車に道具等を積んで事業場へ帰るため、市内の国道を北進中、対向車線を走行してきたトレーラーの牽引車が雨のため、緩いカーブでスリップして対向車線を越え、被災者が運転する軽ワゴン車と正面衝突し、被災者は、大動脈損傷に伴う胸腔内出血により死亡し、トレーラーの運転手も負傷した。	30209	17	1~9
2011	7	2 ~ 3	事故当事者である宮下が運転する大型トラックが、高速自動車道下り線走行車線を進行中、同車線の前方を走行していた大型トラックに衝突。事故当事者の宮下が頸椎骨折により死亡、第二当事者（追突された側）のトラック運転手が頭頸部外傷性症候群（ムチ打ち）を負ったもの。	40301	17	10~ 29
2011	10	21 ~ 22	被災労働者は、高速自動車道上り線を走行中、村内の218.7キロメートルポスト付近で単独事故を起こし、走行車線上に停車していたところに、後方から走行してきたトラックに衝突され、脳挫傷および全身打撲の重傷を負った。その後、搬送先医療機関で治療を施したが、同年10月31日18時03分に死亡した。	30202	17	10~ 29
2011	11	8 ~ 7	商品を得意先に納品後、軽貨物自動車を運転して次の納品先へ配送作業中、下り坂のゆるいS字カーブに差し掛かったところ、何らかの原因により道路中央線を横切り、反対車線の電柱に衝突した。心肺停止の状態ですぐに病院に搬送され、約2時間20分後に死亡した。	80109	17	30~ 49

2011	12	13 ～ 14	自動車道において、引越しの荷物を4 tトラックを使用して運送中、本線を降りてパーキングエリアへ向かう進入路を走行していたところ、本線から約100 m先の右カーブ付近で、道路脇のガードレールに運転していたトラックが乗り上げ、本線の下を通るカルバートボックスと呼ばれるコンクリートの壁に激突し、車両と壁との間に挟まれた。なお、この事故により同乗の関連会社の労働者も負傷した。	40301	17	1～9
2011	4	18 ～ 19	被災者は、責任者の指示により、同社の事務所内で待ち合わせた同僚をマイカーに同乗させ、工事現場に交通警備員として勤務するために、高速道路を走行していたが、高速自動車道下り線トンネル内でマイカーの故障により停車していたところ、走行してきた大型トラックが追突し、被災者と同乗者が死亡したものの。	170201	17	10～ 29
2011	11	15 ～ 16	都市ガスのガス管敷設工事現場において、休憩時間中に車線規制を行った道路上の作業帯に停めてあった4トンダンプトラックの前で被災者が休憩を取っていたところ、当該車両の運転手が被災者の存在に気付かず、当該車両に乗り込み、発進させたため、被災者が当該車両の右側前輪に背後から下敷きになるような形で背中から頭部にかけて轢かれ、死亡したものである。	30199	7	1～9
2011	1	22 ～ 23	市内の国道において、被災者の運転するトラック（最大積載量4トン）がセンターラインを越え、対向車線走行中の大型貨物自動車に衝突したものの。被災者は荷物を積み込み、配送先に向かう途中であった。	40301	17	10～ 29
2011	2	22 ～ 23	市内の県道交差点において、被災者の運転する中型貨物トラック（最大積載量2.6 t）が、対向車線を走行していた大型貨物トラックに衝突したものの。なお、被災者の運転するトラックが対向車線にはみ出し衝突しているが、被災者が右折しようとしていたか、何らかの理由で単に対向車線にはみ出したのかは不明である。	40301	17	1～9
			市内の2つの県道が交差する交差点において、片方の県道を北向きに走行していた被災者が運転する4 tトラックと、もう一方の県道を西			

2011	6	1 ～ 2	向きに走行していた10tトラックが衝突したものの。衝撃で被災者が運転していたトラックは横転し、その遠心力で被災者が車外に放り出された。なお、被災者は、南砺市の事業場でカット野菜を卸し、金沢市の自社に戻る途中であった。	40301	17	1～9
2011	7	6 ～ 7	町内の高速自動車道下り線において、荷物を搬送していた被災者の運転する4tトラックが、追い越し車線で作業中の平ボディ4tユニック車に追突した。現場は、追い越し車線の舗装工事のため、約2キロにわたり、走行車線のみ片側通行規制が敷かれていた。ユニック車には、車線規制のためのカラーコーンの設置確認をしていた警備員4名が乗車し、規制区間をゆっくりバックしていたもの。	40301	17	50～ 99
2011	9	2 ～ 3	市内の国道上において、被災者が運転するトラックが、信号待ちで前方に停車していたトレーラーに追突した。	40301	17	1～9
2011	10	0 ～ 1	大型トラックで荷の輸送中、中央分離帯の防護柵を越えて対向車線にはみ出し、対向してきた大型トラックと衝突し死亡したもの。対向車の運転手も足の骨を折る重傷を負った。	40301	17	50～ 99
2011	12	8 ～ 9	平成23年12月20日午前8時50分頃、高速自動車道上り線の1C付近のパーキングエリア入口で、建築用の足場を積んだ3トントラックが左カーブを曲がりきれず、道路右側のガードレールを突き破って横転し、運転していた被災者が死亡し、助手席にいた被災者が全身打撲で負傷したもの。	30201	17	1～9
2011	3	18 ～ 19	市内の店舗へ車両を輸送するため、車両搬送車で片側3車線道路の追い越し車線を走行中、前方にガス欠で放置されていた中型貨物自動車(4t、ハザードランプ点滅のみ)を避けきれず追突。	11701	17	10～ 29
2011	3	16 ～ 17	工場内で仕分けされた産業廃棄物を最終処分場に搬出するため、被災者の誘導の下、ダンプトラック(最大積載量8900kg)を工場搬出入口から工場内に後進にて進入させていたところ、被災者が同車両	150102	7	50～ 99

			の右側後輪に頭部を轢かれ被災したものの。			
2011	7	9 ～ 10	砂利採取予定地において、被災者は1人でダンプトラックと掘り機を交互に運転し、材木の搬出作業を行っていた。被災者が掘り機を運転し、無人ダンプトラックに材木を積んでいた際、同トラックが下りの坂を逸走したため、これを止めようとした被災者が誤って同トラックに轢かれたものと推定される。なお、同トラック運転席側の後輪に血痕が付着していた。	20202	7	1～9
2011	11	9 ～ 10	被災者は、車両運搬用トラックであるキャリアカーの油圧により開閉するテールゲート（車両後部の道板兼あおり、約200kg）の油圧シリンダーに接続される油圧ホースを交換後、油圧の作動に使われる作動油の補充を災害発生場所であるガソリンスタンドにおいて行っていたところ、倒れてきたテールゲートとコンクリート床面との間に挟まれたもの。	60101	5	1～9
2011	5	6 ～ 7	バイクで新聞配達中、片側2車線道路の中原街道を走行し、信号機のない交差点を右折する際、対向車線から直進してきた2トントラックと衝突したものの。	80205	17	1～9
2011	6	14 ～ 15	保養所の施設改修（側溝の補修）工事において、エンジンをかけたまま停車していた貨物自動車（2tダンプ）の運転者が運転席の外からエンジンを停止させたところ、貨物自動車が後方に逸走し、貨物自動車の後方で作業していた被災者がひかれたもの。サイドブレーキはかけられていなかった。貨物自動車には坂道発進補助装置が搭載されたためエンジンが起動している状態では逸走しなかった。	30106	6	1～9
2011	9	0 ～ 1	被災者が運転していた15トントラックが高速道路のトンネル内中央車線で炎上し、被災者が焼死したものの。なお、参考事項として本件発生前に災害発生場所付近で、2件の接触事故が発生している。（詳細は現在調査中）	40301	17	100 ～ 299
			当該事業場前の道路にトラックを止めて、フォークリフト運転手と協力して資材の積み込みを行っていた。被災者は荷台上で待機し、荷の			

2011	10	8 ～ 9	積み込み後に固定作業を行う予定であった。最初の荷を積み込んだフォークリフトが転回し事業場内に戻ろうとしたところ通りがかりの自動車の運転手から「落ちたぞ」と声をかけられ、振り向いたところ、道路上にあおむけに倒れている被災者を発見した。	30201	1	1～9
2011	10	11 ～ 12	配送作業を終え、トラックの荷台で配送先の荷の準備を行い、荷台から降りようとした際、バランスを崩し墜落したもの。6日後の10月23日に死亡した。	40301	1	50～ 99
2011	10	11 ～ 12	市道上で選定作業をしていた庭師作業員が乗った脚立に、同僚の庭師作業員が運転する軽トラックが衝突し、脚立が転倒、脚立に乗っていた作業員は転落し約12時間後に死亡した。脚立高さは2.4m、軽トラックの前に設置しており、同僚の軽トラック運転手が軽トラックを発進させるのに、脚立をよけるため後進しようとしたが、誤って前進させた。	60101	17	1～9
2011	12	6 ～ 7	飲食店のゴミを収集するため、パッカー車を駐車場に停車し、当該車輻から降りていたところ、当該車両と飲食店の外壁との間に挟まれているところを発見されたもの。通行人が発見した時には、後退のブザー音が鳴っていたが原動機は止まっていた。単独作業で、停車した場所は平坦であり、当該車輻はマニュアル車であった。	150102	7	50～ 99
2011	12	9 ～ 10	工事現場内から国道に出ようとする2トントラックを優先するため、同国道から工事現場敷地内に入場しようとしたワゴン車は、警備員（被災者）からの要請で一時停止をしていたところ、同国道上を走行してきた工事関係外の10トンダンプに追突され、そのはずみで敷地内にいた同警備員（被災者）にワゴン車が激突したもの。（略図のラインの下側が工事現場敷地内である。）	170201	17	30～ 49
2011	2	4 ～	被災者は市内にある工場で製品を引き取り、別の市内にある事業場へ納入するため、2月14日夜半にトラックで自宅を出発した。当日は雪が降っていた。その後、2月15日の午前5時30分ごろ鹿沼市高	80109	17	10～ 29

		5	谷 1 1 5 2 の県道左側 2 メートル下の空き地に転落しているトラックが発見された。			
2011	4	15 ～ 16	市内の事業場から 3 名でトラックに同乗し、建設現場に向かう途中、高速自動車道上のカーブで中央分離帯に激突した後、弾みで反対側のコンクリート壁に激突し、脳挫傷により死亡したもの。（同乗していた他の 2 名も負傷した。休業 6 0 日、休業 1 0 日）	30202	17	1～9
2011	5	13 ～ 14	大学キャンパスでパーティション用パネル（高さ 1 m×幅 1 m 厚さ 4 mm）を 4 t トラックボックス構造の荷台後方から建屋内へ搬入作業中、トラック内部からパネルをトラックパワーゲート上に搬出した際、風に煽られ、パワーゲートから高さ約 1. 2 m 下の地面に背面から墜落し平成 2 3 年 5 月 7 日に死亡したもの。（目撃者はいない）	40301	1	30～ 49
2011	8	9 ～ 10	被災者は、自ら軽トラックを運転し市内へ納品するため、高速道路を走行した。高速道路を走行中に後輪がパンクし、中央分離帯に接触した反動で軽トラックが横転し、出血性ショックにより死亡したもの。	10709	17	1～9
2011	9	0 ～ 1	高速自動車道を 4 トントラックで走行中、数分前に前方を走行していた大型トラック 2 台が事故を起こし、1 台が二車線を塞いで停車しており、被災者は、停車していた大型トラックに追突し死亡したもの。事故発生場所は、節電の影響で道路灯が消灯され、事故のため停車していた大型トラックもランプ類は消えていたため、付近一帯は暗闇となっていた。	40301	17	30～ 49
2011	9	3 ～ 4	お客様迎車のためタクシーを走行中、本線左車線にて、後続のトラックに追突され、タクシーは弾みで中央分離帯まで飛ばされ、追越し車線で停車した。被災者は、事故発生を営業所に電話連絡したが、直後に追越し車線を走行していた自家用車に追突され、被災したもの。なお、被災者に追突したのち自家用車は逃走したもの。	40201	17	300 ～
2011	10	4 ～	被災者は、タンクローリー車で国道を片側 2 車線の右側を走行中、中央分離帯の縁石に続いて設置されたガードレールを突き破り、反対車線を横断して、さらに、崖下への転落防止用のガードレールも突き破	40301	17	10～ 29

		5	り、約50メートルの崖下に転落し死亡した。			
2011	3	2 ～ 3	市内の国道において、車両4台が関係する交通事故が発生し、このうち大型貨物自動車を運転した運転手が搬送先の病院で死亡が確認された。	40301	17	1～9
2011	3	6 ～ 7	6時20分より予定されていた計画停電対策のため早出出勤し5時20分頃九十九里町須原の現場に向かい、その後1.5tトラックにて現場より会社倉庫に排水用パイプを取りに行く途中、県道大網白里線南今泉交差点にて3tトラックと衝突した。	30309	17	1～9
2011	5	14 ～ 15	利用者宅の訪問介護サービスを終了し、次の利用者宅に向かう前に一旦事務所に立ち寄るために自転車で走行中、交差点を横断していたところ、右折しようとしていたトラックと接触して転倒し、同日に死亡したもの。	130201	17	1～9
2011	10	0 ～ 1	平成23年10月4日午前0時40分ごろ、地方卸売市場南部市場内において、大型トラック（ウイング車、11トン）の荷の積卸作業を行っていたトラックの運転手が、トラック荷台の下で、意識不明の状態で見つかるのを発見された。その後、病院に搬送された被災者は処置を受けるも、平成23年10月15日午前10時27分に脳挫傷により死亡した。なお、災害発生時の現認者はいない。	40301	1	10～ 29
2011	3	8 ～ 7	配送センターにて積載荷重3.3トンの箱型トラック（ウイング車）に荷を積み終わったのでフォークリフトの運転者が地上からあおりが閉まるか確認後、あおりを下ろしたとき、荷台上で荷崩れ防止のためベニヤ板で固定をしていた運転手があおりにもたれかかるようにして前向きに地上から高さ1メートルの荷台からアスファルト舗装上に墜落し頭部を打撲した。	40301	1	1～9
2011	5	3 ～ 4	3t積トラックに荷を積んで、自社へ向けて高速自動車道上り線を走行中、PAの進入路に入ったところ、進入路の右路肩に駐車中の大型トラックに追突したもの。（追突された側の大型トラックは、当時、	40301	17	30～ 49

			混雑のためP A内に入れず進入路の右路側帯に駐車中であつた。)			
2011	7	6 ~ 7	配送先に向かう途中、片側2車線の国道上で被災者の運転するトラック(4トン車)がエンストしたため、レッカー車の到着を待っていたところ、大型トラックに追突され、頸部等を負傷し、同日死亡した。	40301	17	10~ 29
2011	7	5 ~ 6	トンネル内(下り線、トンネルから約5.8キロメートル地点)を走行していた2トン保冷車が、前方を走っていた10トンダンプに追突し、保冷車を運転していた被災者が出血性ショックにより死亡したものの。	10101	17	10~ 29
2011	7	23 ~ 0	国道をトラックで走行中、車両故障のために停車していた大型トレーラーに追突し、外傷性ショックで死亡したものの。	40301	17	50~ 99
2011	7	14 ~ 15	高速道路舗装工事の準備中、コーンで仕切られた工事帯内においてバックをしていた標識車両に、同工事区域の警備員である被災者が接触転倒、胸部を轢かれ搬送先の病院で死亡が確認されたものの。	170201	6	10~ 29
2011	10	12 ~ 13	被災者は、配達のため原動機付き自転車を運転中、道幅3.9m、緩い下り坂の左カーブ(中央線なし)において、坂を登ってきた対向車(10tトラック)と正面衝突し、頭部等全身を強打して約6時間後に死亡したものの。	110101	17	100 ~ 299
2011	10	2 ~ 3	片側2車線の国道の走行車線において、事業場に戻る途中の被災者が運転する2トントラックが信号待ちをしていた15トントラックに追突し、胸部を打った被災者が同日死亡した。	40301	17	30~ 49
2011	12	4 ~ 5	被災者の運転するトラック(4t)が、追い越し車線から走行車線に車線変更した際、走行車線側のガードレールに接触、その後前方の車両に追突したため、その場に停車。携帯電話で事故の報告をした後、トラックを路肩に移動しようとして乗り込んだ直後、後方から走ってきた車両がトラックに追突し、被災者はフロントガラスに頭を強打し、即死したものの。	100101	17	1~9



2011	12	17 ～ 18	配達中T字路に於いて車両（郵送用バイク）から投げ出された所に10トンミキサー車が直進、轢かれたもの。投げ出された原因については警察にて捜査中（加害者は身柄拘束中）転倒したバイク近くに緑石があった。	110101	17	300 ～
2011	6	6 ～ 7	被災者は午前3時40分頃に土曜日取引先で荷積み（電炉灰）を終えていた大型トレーラーに乗車し、町内にある事業場から納入先である精錬所に向け出庫した。出庫後、休憩を経て運転を再開し、午前6時35分頃に発生現場に差し掛かった際に、対向車と衝突したもので、その際に頭部を強打し死亡したものの。	40302	17	10～ 29
2011	2	0 ～ 1	路肩に車両運搬車を停めて中古車両の荷下ろし作業を単独でしていたところ、走ってきたトラックが当該車両運搬車に追突し、付近にいた被災者が巻き込まれて死亡したものの。	40301	17	1～9
2011	10	9 ～ 10	県内の事業場から県外にある個人住宅の浄化槽の設置工事現場へ向かうため、軽トラックを運転して片側1車線の県道上（緩やかなカーブ状）を走行中、何らかの原因により対向車線にはみ出し、対向してきた大型トラックと正面衝突した。被災者は全身を強く打っており、病院に搬送されたものの、同日、死亡した。	30110	17	1～9
2011	11	4 ～ 5	路側帯から本線に進入してきたトラックと衝突し、助手席に乗車していた労働者が外に投げ出されて死亡したものの。	40301	17	1～9
2011	11	0 ～ 1	物流センターから市内の事業場へ戻る途中、高速自動車道でガス欠になり、ロードサービスを呼び給油を依頼。運転していた4tトラックを路肩に止めてトラックの助手席脇で給油作業を見ていたところ、走行してきた大型トラックに追突され、4tトラックとガードレールの間で挟まれ死亡した。	40301	17	30～ 49
2011	4	1 ～ 2	道路上で、登坂車線にエンジントラブルでハザードランプをつけ、三角板を設置して駐車していたトレーラーに被災労働者が運転していたトラックが追突し、全身を強く打ち死亡したものの。	40301	17	10～ 29

2011	6	10 ～ 11	国道上で、光ケーブルの埋設工事のための交通整理をしていたところ、走行してきたトラックにはねられたもの。	170201	17	30～ 49
2011	11	13 ～ 14	被災者は、工事現場で発生した廃材をダンプトラックで中間処理業者まで運搬し、同処理業者の廃材置き場で廃材を降ろす作業に従事していた。午後1時30分頃、被災者と同じ業務に従事していた労働者Aが、同処理業者の廃材仮置き場付近で、被災者が被災者の運転していたダンプトラックの運転席側前輪タイヤの後方の地面に倒れているのを発見した。	40301	7	1～9
2011	12	2 ～ 3	市内で中型トラックへの荷積み後、出発した（6日1：00）。その途中、交差点で前から6番目に停車していた大型トラックに追突したもの。追突された大型トラックを運転していた労働者に怪我はなかった。	40301	17	30～ 49
2011	10	9 ～ 10	ゼオライトの採掘・加工業を営む事業場の工場内において、採掘したゼオライトを積載したダンプトラックが、荷卸しのため後退していた。その際、当該トラックが仕切用鋼板に接近し過ぎたため、運転手は一旦トラックを前進させ、再度、後退させたところ、被災者が頭から血を流し倒れているのを当該運転手が発見したもの。その後、被災者は病院に救急搬送されたものの、脳挫傷のため約5時間40分後に死亡したもの。	10909	7	1～9
2011	7	8 ～ 7	卸売市場内で他社のトラックの荷台上の荷物を片付け後、降りる際に足を踏み外して転落し、8月4日に脳挫傷で死亡したもの。	80109	1	10～ 29
2011	8	11 ～ 12	ジェットコンクリート車（コンクリート打設機械）の混合機部分の清掃作業において、エアレススプレーを用いてコンクリート型枠剥離剤を塗布していたところ、混合機内に転落した。	40301	7	50～ 99
2011	10	12 ～	高速自動車道をトラックで走行中、高速道路工事のために停車してい	40301	17	50～

		13	た大型トラックに追突し、運転席が大破してはさまれ死亡したもの。			99
2011	11	18 ～ 19	自社の整備工場内で自社の2 t ダンプトラックのクラッチ板を交換するために荷台を上昇させ、荷台昇降用オイルポンプを外している最中、何らかの理由により荷台が降下してきたのに気がつかず、事業者が現状を発見した時点で車体フレームと荷台との間に首をはさまれて意識がない状態で発見されたもの。（一人作業のため推定）	30199	7	1～9
2011	8	11 ～ 12	津波による被害を受けた橋梁補修工事現場において、歩道付近で歩行者の交通誘導業務を行っていたところ、走ってきた軽トラックにはねられた。なお、災害発生現場は見通しのよい右カーブで、ブレーキ痕はなかった。	170201	17	30～ 49
2011	12	6 ～ 7	資材置場から会社所有のトラックで工事現場に向かう際、トラックの前輪に掛けていた輪止を外し忘れていたことに気付き、トラックから降りて輪止を外したところ、トラックが逸走し、トラックの下敷きとなった。	30107	7	1～9
2011	8	17 ～ 18	被災者が営業活動を行い帰社途中、乗用車を運転して国道を走行していたところ、トラックに追突され、その衝撃で対向車線にはみ出し、対向車の大型トラックと衝突した。なお、追突したトラックの行方は不明である。	170209	17	1～9
2011	10	17 ～ 18	車両運搬車（カーキャリア）から車両を降ろしている作業中、車両運搬車（カーキャリア）下段の床上で倒れているのを発見された。	40301	1	10～ 29
2011	1	6 ～ 7	被災者は、営業所から米を運搬するため、5トントラックを運転し、配送センターに向かって国道を走行中、交差点において信号待ちのトラックの後部に追突被災した。被災者はシートベルトを着用していた。なお、追突された側のトラックの運転手に怪我はなかった。現場は片側2車線、見通しのよい直線道路、路面は一部が凍結していた。	40301	17	10～ 29

2011	2	13 ～ 14	被災者は、ダンプトラック（最大積載量10トン）で砂利運搬作業に従事していた。午前11時半頃4回目の運搬のための積込み後に、プラント敷地内において昼休憩を取った。午後12時過ぎに他の運転手が被災者のダンプの荷台が中途半端に上昇した状態になっているのを目撃している。午後1時になっても出発していないのを不審に思った同僚がダンプを見たところ荷台と車体に頭部を挟まれて被災しているのを発見したものの。	40301	7	1～9
2011	3	4 ～ 5	被災者は採石を積んだダンプトラック（積載重量9トン）で走行していたところ、左カーブにおいて対向してきたトレーラーが凍結路面でスリップしてガードレールに激突し、ジャックナイフ現象を起こして走行車線を塞いだため、ダンプトラックがトレーラーの左側面に激突して死亡したものの。トレーラーの運転手は負傷により入院。	40301	17	1～9
2011	4	8 ～ 7	大型トラック運転者である被災者は、一般住宅のユニット（鉄骨を箱形に溶接したもので、これを組み合わせて住宅の構造とする）2個を工場で積込み、輸送。荷下ろしするに当たり、防水シートを取り外すために荷の上に上がったところ、約3.9メートル墜落し、出血性ショックで死亡したものの。保護帽着用。なお被災者は登記簿上の取締役で、労災請求を契機とする調査で労働者性有と判断されたものである。	40301	1	10～ 29
2011	6	6 ～ 7	被災者は10トンダンプの右側前輪後方にあるマフラーの取付け金具の交換作業を行なうために事業場に隣接した車庫内に当該ダンプを入れ停止、作業空間確保のため、前輪を右に切ろうと、車外からエンジンを掛けたところ、ダンプが右側に約2.3メートル逸走し、被災者は、ダンプと車庫の間に胸部を挟まれ、死亡した。なお、現場の斜度は0度（水平）であった。	40301	7	1～9
2011	9	9 ～	被災者は午前4時頃、港の事業場に出勤し、トラクターヘッド（牽引車のみ）を運転して、前の乗用車を追い越すため、右に車線変更したところ、中央分離帯に接触し、反動で道路左脇の沢地に転落した。	40301	17	30～ 49

		10	(事故時は未牽引) 被災者は3日後の9月18日に死亡。現場は直線で、路面は乾いていた。天候は晴れ。			
2011	9	11 12	被災者は、ごみ焼却施設のプラットフォームで、機械式ごみ収集車で運んできたごみを施設のごみピットに棄てる作業の補助として従事していた。テールゲートを上げた状態でピット内にごみを棄てた後、運転手が被災者から合図を受け、テールゲートを下げたところ、被災者の上半身がテールゲートとごみ収集車との間に挟まれた。そのため運転手がテールゲートを上げたところ被災者がごみピットに墜落し死亡したものの。	150102	7	1~9
2011	10	3 4	被災者は、4トントラックで市内の荷主先に向けて走行しており、交差点で信号待ちのために停車していた時、後続車の10トントラックに追突された。被災者の運転する4トントラックは、交差点を越えて押し出され、フェンスに激突した。意識不明の重体となっていたが、平成23年10月26日、午後5時42分死亡。追突したトラックの運転手も軽傷を負った。	40301	17	1~9
2011	11	15 16	被災者を含む3名は、ホタテ漁終了後の計量作業を終え、漁港内に係留してある漁船にかごを戻すため、自社トラック(最大積載量1.45t)の荷台に被災者と同僚1名を乗せて走行中(時速約10キロ)、被災者が荷台から転落し頭部を強打したものの。病院に搬送されたが11月23日に外傷性くも膜下出血により死亡した。トラックのあたりは全て下ろされており、保護帽は被っていたがあご紐をしていなかった。	70201	1	50~99
2011	11	10 11	被災者は、荷主先工場のバラ出荷第2ゲートでバルク車(飼料運搬用タンクローリー)の荷台上に設置されている作業床(高さ3.28m、幅0.36m)に上がり、トウモロコシの飼料をバルク車に積み込んでいたところ墜落し、病院に救急車で搬送されたが25日に死亡したものの。ヘルメットは着用していたが、発見時は脱げていた。また、安全帯は装着していなかった。	40301	1	30~49

2011	11	11 ～ 12	被災者はトレーラーを運転して会社を出発し、県内でみかんを積み込んで（24 t 積載牽引）、市場へ荷下ろすため、高速道路を走行していたところ、ジャンクションの左カーブの右側ガードレールに衝突して横転し死亡したもの。	40301	17	30～ 49
2011	11	20 ～ 21	被災者はタンクローリーを運転していたが、雪道でスリップし、いわゆるジャックナイフ型に道を塞いで停車したため、トラクタヘッドの後輪のタイヤにチェーンを装着しようとしていたところ、名寄から留萌方向に走行してきたタンクローリー車が追突し、死亡した。現場は長い直線の下り坂が左にカーブしたカーブの出口付近で、事故時はアイスバーンに粉雪が薄く積もっていた。なお、両車のタンクは空だった。	40301	17	30～ 49
2010	12	8 ～ 9	事業場所有の2 tトラックで現場から事業場へ戻るため国道を走行中（片側2車線の第2走行車線）、ブレーキをかけたところ何らかの原因でスリップし第1走行車線走行中の乗用車に接触。その後、街路樹、店舗のフェンスに激突した。	30209	17	1～9
2010	12	10 ～ 11	住宅の下水道2次側配管工事において、工事で使用する生コンを被災者が取りに行く途中、工事現場から約40 m離れたJRの踏切（警報器、遮断機付き）で、被災者の運転するトラックが積雪により踏切内でスリップし立ち往生した。このため、工事現場から同僚を呼び、トラックの後押しをしてもらい脱出しようとしていたところ、列車がトラックに衝突したもの。	30203	18	1～9
2010	12	15 ～ 16	寿司海苔の入った段ボール箱を海苔検査場からコンベアで10 tトラックへ搬入する作業中、搬入作業補助をしていた被災者は、携帯電話で社長の指示を受けて、伝票を確認するため当該トラックの運転席に向かった。数分後、海苔検査場で勤務するパート労働者が、トラック運転席付近で倒れている被災者を発見した。すぐ病院に搬送され一時意識は回復したものの4日後に死亡した。トラックの運転席に乗り込もうとした際に、突風で煽られたドアに激突されて転倒し、頭部を	40301	6	10～ 29

			強打したとみられる。			
2010	12	14 ～ 15	生コンをコンクリートミキサー車で配達のため、高速道を走行中、速度超過により右側側壁にコンクリートミキサー車が接触・横転し、運転手が胸部圧迫により死亡したものの。	80209	17	1～9
2010	12	10 ～ 11	トラックで製材5 tを運送するために国道を走行中、ハンドル操作を誤り横転し、ガードレールや電信柱に激突したものの。	40301	17	10～ 29
2010	12	4 ～ 5	高速道路の登坂車線において、故障した被災者のトラックと救援にきた同僚のトラックの間に被災者が立っていたところ、走行してきた別会社のトラックが、走行車線から登坂車線に車線変更してきたため救援のトラックに追突し、被災者が故障したトラックとの間に挟まれ死亡した。追突した運転手も負傷した。	80109	17	100 ～ 299
2010	12	12 ～ 13	早めの昼食後、木材を取りに行くため自社のトラックを運転して走行中、緩やかな左カーブで対向車線にはみ出し、対向車（大型トラック）に正面衝突し、さらに後続の大型トラックに追突された。	80209	17	1～9
2010	12	21 ～ 22	トラックでコイル材（約13 t）を運搬中、左カーブを曲がり切れずにガードレールを突き破り、道路わきへトラックとともに転落したものの。	40301	17	1～9
2010	12	4 ～ 5	資材の運搬のため4 tトラックで走行中、対向してきた14 tトラックがスリップしてセンターラインをはみ出したため、4 tトラックの前部と14 tトラックの右後部が衝突し、4 tトラックの運転手が全身打撲で死亡した。災害発生場所は片側1車線、4 tトラックから見て右カーブで、当時は雪が降っており、路面はシャーベット状であった。14 tトラックの運転手は軽傷であった。	40301	17	30～ 49
2010	12	15 ～	被災者は災害発生日前日の夜、大型トラックに海産物を積み、配送先で荷下ろし後、空車で事業場に戻るため国道を走行中、災害発生地付近の左急カーブを速度超過のため曲がりきれず、対向車線にはみ出して進行方向右側の路外に逸脱し、車外に投げ出されトラックの下敷き	40301	17	1～9

		16	になり被災したものの。天候はくもり、路面は圧雪アイスバーンだった。			
2010	12	15 ～ 16	国道（片側1車線）に架かる橋梁の補修工事のため、片側を封鎖して交互に通行させていた。交通誘導に就いていた被災者が車線を封鎖していたところ、走行してきた4 tのトラックが所定の停止位置を超え、被災者に激突した。被災者は病院に運ばれたが、死亡した。	170201	17	10～ 29
2010	12	15 ～ 16	被災者は、大型トラックで土砂を建設現場から処分場に運搬するため走行中、道路左側の側溝に脱輪してハンドルを取られ、対向車線を横切り、道路法面を約10 m転落し、民家のブロック塀に激突した。	40301	17	30～ 49
2010	12	23 ～ 24	被災者運転の13 tトラックが、高速道路で渋滞していた車列の最後尾の車両に脇見運転のため追突し、計6台の玉突き事故となり死亡した。	40301	17	10～ 29
2010	12	1 ～ 2	イギリスに出張中、被災者を含む3名がタクシーで空港から宿泊先のホテルに向かう途中、片側3車線の一般道路を走行中に反対車線から大型トラックが中央分離帯を越えて被災者が乗車していた右側後部座席に激突した。被災者は全身を強く打ち、病院に搬送途中、死亡したもの。他2名の被災状況は調査中。	170209	17	1001 ～ 9999
2010	12	11 ～ 12	被災者は、魚市場から鮮魚を運搬するため4 tトラックを運転し国道を走行中、対向車線にはみ出して対向車の大型トレーラーと正面衝突したもの。相手方の運転手は軽傷であった。現場は見通しの良い直線道路で路面は乾燥していた。	40301	17	10～ 29
2010	12	3 ～ 4	交差点において、赤信号で停車していた大型トラックに被災者の運転する中型トラックが脇見または居眠り運転のため追突したもの。	40301	17	10～ 29
2010	12	11 ～	片側1車線の県道で大型トラックを運転中、先行車4台を追い越すため、先頭から2台目の被追越車（トラック）の右側を通過していたところ、当該車両も追い越しをかけたため、自車の左側面に被追越車が	150102	17	10～ 29



		12	接触したことから、その反動で対向車線わきの電柱に激突し、死亡した。			
2010	11	1 2	国道をトラックで走行中、下りのゆるい右カーブで被災者の運転するトラックが速度超過により道路脇に飛び出し、歩道の柵を突き破り約13m下の畑に転落し被災者は死亡したもの。	40301	17	10～ 29
2010	11	17 18	ビルの外壁の洗浄・塗装業務で使用していたくさび式の外部足場を解体し、足場材をトラックに積み終えたところ、トラック荷台横の一方のあたりが、積載された荷の重量に耐えきれなくなって、歪んで倒れた。この際、足場材がトラック横にいた作業員の上に崩れかかり、頭を強く打って死亡したもの。	30209	4	1～9
2010	11	0 1	トラックで農薬（クロルピクリン）を積載して走行中、国道の右カーブで道路が雨上がりの氷点下によるブラックアイスバーンになっていたため、トラックがスリップして横滑りになり、ブレーキが効かずに軌道修正ができず、対向車に接触した後、左側の崖下へ約20m転落した。この際、積載していた農薬の入っていた缶が破裂して急性薬物中毒を引き起こし死亡したもの。	40301	12	30～ 49
2010	11	7 8	県道交差点で、27人が乗った被災事業場のマイクロバスと運送会社の大型トレーラーが出合い頭に衝突し、双方の28人全員が病院に運ばれた。マイクロバスに乗っていた運転手以外の作業員26人は外国人で、このうちの7人が死亡した。マイクロバスは出勤途上、トレーラーはコンテナを輸送中であった。	11402	17	100 ～ 299
2010	11	7 8	県道交差点で、27人が乗った被災事業場のマイクロバスと運送会社の大型トレーラーが出合い頭に衝突し、双方の28人全員が病院に運ばれた。マイクロバスに乗っていた運転手以外の作業員26人は外国人で、このうちの7人が死亡した。マイクロバスは出勤途上、トレーラーはコンテナを輸送中であった。	11402	17	100 ～ 299
		7	県道交差点で、27人が乗った被災事業場のマイクロバスと運送会社の大型トレーラーが出合い頭に衝突し、双方の28人全員が病院に運			100

2010	11	8	～	ばれた。マイクロバスに乗っていた運転手以外の作業員26人は外国人で、このうちの7人が死亡した。マイクロバスは出勤途上、トレーラーはコンテナを輸送中であった。	11402	17	～	299	
2010	11	8	～	県道交差点で、27人が乗った被災事業場のマイクロバスと運送会社の大型トレーラーが出合い頭に衝突し、双方の28人全員が病院に運ばれた。マイクロバスに乗っていた運転手以外の作業員26人は外国人で、このうちの7人が死亡した。マイクロバスは出勤途上、トレーラーはコンテナを輸送中であった。	11402	17	～	299	
2010	11	8	～	県道交差点で、27人が乗った被災事業場のマイクロバスと運送会社の大型トレーラーが出合い頭に衝突し、双方の28人全員が病院に運ばれた。マイクロバスに乗っていた運転手以外の作業員26人は外国人で、このうちの7人が死亡した。マイクロバスは出勤途上、トレーラーはコンテナを輸送中であった。	11402	17	～	299	
2010	11	8	～	県道交差点で、27人が乗った被災事業場のマイクロバスと運送会社の大型トレーラーが出合い頭に衝突し、双方の28人全員が病院に運ばれた。マイクロバスに乗っていた運転手以外の作業員26人は外国人で、このうちの7人が死亡した。マイクロバスは出勤途上、トレーラーはコンテナを輸送中であった。	11402	17	～	299	
2010	11	8	～	県道交差点で、27人が乗った被災事業場のマイクロバスと運送会社の大型トレーラーが出合い頭に衝突し、双方の28人全員が病院に運ばれた。マイクロバスに乗っていた運転手以外の作業員26人は外国人で、このうちの7人が死亡した。マイクロバスは出勤途上、トレーラーはコンテナを輸送中であった。	11402	17	～	299	
2010	11	8	～	県道交差点で、27人が乗った被災事業場のマイクロバスと運送会社の大型トレーラーが出合い頭に衝突し、双方の28人全員が病院に運ばれた。マイクロバスに乗っていた運転手以外の作業員26人は外国人で、このうちの7人が死亡した。マイクロバスは出勤途上、トレーラーはコンテナを輸送中であった。	11402	17	～	299	
2010	11	18	～	交通調査員として集められた労働者が交通調査を2人一組あるいは3人一組で行っていた。被災者は2人一組で2時間交代で交通調査を行っていた。被災者は待機時間中に最寄のコンビニに買い物に行き、	170209	17	1	～	9
		19		交通調査している箇所に戻る途中、トラックにはねられ、病院に搬送されたが死亡した。					

2010	11	13 ~ 14	<p>依頼主（不動産業者）敷地の廃材等撤去作業において、敷地前面の道路（傾斜約7度の下り坂）に2台のトラックを縦列に駐車したところ、坂道の上手に駐車したトラックが駐車ブレーキが不十分であったため動き出し、下手のトラックの荷台後方にいた被災者がトラックの間に挟まれて、圧迫され死亡した。</p>	150103	7	30~ 49
2010	11	3 ~ 4	<p>被災者は最大積載量2.8tの貨物自動車で、国道を時速およそ70Kmで走行中、前方を走行していた4tパワーゲート付き貨物自動車に追突した。被災者がブレーキを踏んでいないことから、追突した被災者の脇見運転又は居眠り運転と思われる。</p>	40301	17	10~ 29
2010	11	3 ~ 4	<p>コンクリートミキサー車のエンジンがかかった状態で、固化したモルタルのはつり作業を担当していた被災者が、上半身をドラムに入れていたところ、ドラムが回転したため、ドラムマンホールと車体の手すりの間にはさまれたもの。</p>	30102	7	10~ 29
2010	11	14 ~ 15	<p>配送業務を終えて構内駐車場に停車してあった貨物自動車の運転席側のドアが開いており、その下で倒れている被災者が発見された。運転席に乗り降りする際に足を滑らせ、転落したとみられる。</p>	40301	1	50~ 99
2010	11	6 ~ 7	<p>事業場からダンプトラックにて自社の残土置場に向かう途中、走行車線左側のガソリンスタンドから飛び出してきた小型貨物自動車をよけようとして反対車線側の民家の車庫に激突したもの。</p>	40301	3	10~ 29
2010	11	8 ~ 9	<p>道路脇の側壁改修工事に際し、車線規制等工事開始前の準備のため警備員及び工事作業員が道路脇にて待機していたところ、走行車線を走行していた軽自動車（ワンボックス）に7tトラックが追突し、飛ばされた軽自動車が待機していた警備員並びに工事作業員に激突したのち横転した。この際、警備員が死亡、作業員2名および軽自動車運転手が負傷した。</p>	170201	17	30~ 49
		13	<p>被災者は、トレーラー（最大積載量46.50t）で重機を荷先に運搬した際、トレーラー車輪（16本装着）の内、後列左側タイヤ（直径90cm、チューブレス）の1本の空気が抜けている状況を認めた</p>			

2010	11	～	ため、自社整備工場に戻りタイヤの空気充てん作業を行っていたところ、タイヤに損傷があったため破裂し、風圧を受け、病院に搬送されたが死亡した。なお、空気の充てん作業は、タイヤを車両に装着された状態で行っていたもの。	40301	15	30～ 49
2010	11	～	鉄筋コンクリート造のアパートの解体工事において、解体したコンクリートの廃材を搬出するためドラグショベルでトラック（積載荷重10t）に積み込む作業中、トラックの運転手である被災者の姿が見えないことを不審に思ったドラグショベルのオペレーターがトラックの近くに行ったところ、トラックの横で倒れている被災者を発見した。倒れていた場所等から判断してトラック荷台のステップを昇ろうとした際に墜落したとみられる。3日後に死亡した。	30201	1	10～ 29
2010	11	～	自社のリサイクル工場において、ダンプトラックを運転して、荷台の残土（泥等）を泥乾燥ピットに降ろす作業を行っていた被災者が、ダンプトラックごと当該ピット（深さ6m）に転落し、搬送先の病院で死亡したもの。トラック荷台後部のあおりを固定した状態で荷台をダンプしたことにより、泥が落ちずトラックがバランスを崩したとみられる。	150102	1	50～ 99
2010	11	～	産業廃棄物処理業者の構内において、被災者がゴミ収集運搬車（パッカー車）で運搬してきた空缶を降ろす作業中、テールゲートの回転する鋼板に全身を巻き込まれたもの。テールゲート内に詰まっていた空缶を取り除く際に誤って作動スイッチを押したとみられる。	140101	7	1～9
2010	11	～	9 商談に向かう途中、国道の路肩に駐車していたところ、後方より大型トラックに追突され、搬送先病院で死亡した。	11709	17	100 ～ 299
2010	11	～	0 国道を走行中に、運転操作のミス、若しくは居眠り運転により走行車線をはみ出し、反対車線を走っていた中型トラックと正面衝突してしまつたもの。	150102	17	10～ 29

2010	11	7 ～ 8	高速道路上で発生した交通事故にかかる事故対応のため、2名で事故現場にパイロン等交通規制機材による路肩規制を行い事故調査を行っていたところ、普通4 t 貨物自動車にはねられたもの。他の1名は重体となった。	170209	17	10～ 29
2010	10	7 ～ 8	被災者（保護帽の着用なし）は、荷の搬送先において、商品搬入口で2 tトラックの荷台からテールゲートへカーゴを移動して降ろす作業をしていたところ、カーゴと共に落ち搬入口付近でカーゴ（荷と合わせ重量約300 kg）の下敷きとなっているところを発見された。被災者は、頭部骨折により死亡したものの。	40301	1	100 ～ 299
2010	10	17 ～ 18	被災者は車両（ダブルピック）に乗り、モータープールから集金のため顧客先に向かう途中、国道を右折しようとしていたところ、後方から乗用車に追突され、対向車線を走行していた2台を含む計4台が絡む多重衝突事故が発生し、被災者が死亡した。ほか2名が通勤災害で、1名に怪我はなかった。	40301	17	10～ 29
2010	10	16 ～ 17	製品をトラック（最大積載量4 t）で取引先に納入し、事業場に帰社する途中、広域農道を走行していたところ、対向車（大型ダンプ）と衝突し、その弾みで進行方向右側の民家のブロック塀に更に衝突して、運転していた被災者が全身打撲で死亡した。また、大型ダンプの運転手が右足を骨折した。	11209	17	10～ 29
2010	10	8 ～ 9	配送先敷地内において、荷降ろし作業後、スクラップ材（発泡スチロール）を積み込み、シート掛けをしている時、トラックのあおり部分（地上175 cm）から転落し、左頭部（ヘルメットなし）を打ち死亡した。	40301	1	50～ 99
2010	10	3 ～ 4	被災者は、20 tトレーラーを運転して、木材工場に原木（杉）を搬入し、受付までの待機中に原木を結束していたワイヤーロープを外していたところ、原木の1本（直径25 cm、長さ3.1 m）が不安定な状態であったため、トレーラーの荷台から落下し、被災者に激突した。	40301	4	1～9

2010	10	10 ～ 11	被災者は、4 tトラックに乗り、荷の積み込み先に向けて走行中、国道の交差点にて信号待ちのために停車していた車列に前方不注意により追突し、4台が関係する玉突き衝突となった。4 tトラックの運転席がダンプトラックの荷台部に押しつぶされ、被災者は死亡し、ダンプトラックの運転手が軽傷を負い休業した。なお、他の2車両（タクシー、トラック）の労働者にけがはなかった。	40301	17	1～9
2010	10	5 ～ 6	被災者はリサイクルゴミの回収作業を1人で行っていたが、ゴミを回収するためゴミ回収車を道路わき（左側）に停車し、運転席から降り、車両の前方を通ろうとしたところ、後方から来た加害車両（トラック）が脇見または居眠り運転のため被災者の車両に追突し、押しだされたゴミ回収車が被災者に激突した。	150103	17	100 ～ 299
2010	10	21 ～ 22	国道地下のケーブル撤去工事現場において、工事規制区域（左側車線。長さ約400m）に、走って来たトラック（4 t車）が赤信号を無視して突っ込み、保安柵等をなぎ倒して交通規制標識積載車両（2 tトラック）に追突した。この追突のため、交通規制標識積載車両が押し出されるようにガードレールに追突して横転し、被災者（工事責任者）が下敷きとなり死亡した。	30301	6	100 ～ 299
2010	10	3 ～ 4	13 tトラックで高速道路の登坂車線を走行中、本線路肩に違法駐車していたトレーラーに追突し、運転していたトラックのキャビンが潰れて車内に閉じこめられたもの。レスキュー隊により救出されて救急搬送されたが、搬送先の病院にて死亡が確認された。	40301	17	50～ 99
2010	10	21 ～ 22	きのこ栽培に使用したおがくずを貨物自動車に積み込むため、おがくずを入れたホッパー（0.92m×1.23m、高さ1.24m）をフォークリフト（最大積載荷重1.45 t）で高さ2.24mの位置に上げ、ホッパーからおがくずを貨物自動車の荷台に落とそうとしてホッパーの下部のストッパーを取り外した際、誤って貨物自動車のあおり（高さ2.14m）からコンクリート床に墜落したもの。	10109	1	30～ 49
		14				

2010	10	～ 15	クリーニングされた品物を配送のため店舗に向かっていたところ、国道でセンターラインをはみ出し、対向車のバスに正面衝突したものの。	11703	17	50～ 99
2010	10	11 ～ 12	公共下水道埋設、舗装復旧工事において、警備員が掘削車両の運搬車の誘導のために国道の一般通行車両を待機させていたところ、誘導員の後方にいた大型トラックにひかれて、死亡した。当該大型トラックは一般通行車両で、前方の確認が不十分であった。	170201	17	1～9
2010	10	4 ～ 5	3 tトラックを運転し、荷（日用品）の運送中、国道を走行していたところ、対向車線を走行してきた13 t 飼料運搬トラックと正面衝突した。また、対向してきた13 t 飼料運搬トラックの運転手も死亡した。いずれかの車両が前方不注意等によりセンターラインを超えたものの。	40301	17	10～ 29
2010	10	4 ～ 5	被災者は、資料運搬用13 tトラックを運転し、荷の運送中、国道を走行していたところ、対向車線を走行してきた3 tトラックと正面衝突し、死亡した。また、対向してきた3 tトラックの運転手も死亡した。いずれかの運転手の前方不注意等により、センターラインを越えたものの。	40301	17	50～ 99
2010	10	15 ～ 16	整備士から10 t ダンプトラックの左後方のテールランプとバックランプの修理をしてほしいと頼まれたことから、被災者がテールランプの裏側の隙間に体を入れて配線の状態を確認していたところ、バックランプに通電させようと変速ギヤをバックに入れた状態で整備士がトラックのエンジンキーを回したため、トラックが急に後退し、被災者はトラックの左後輪に轢かれて被災したものの。	11701	7	1～9
2010	9	7 ～ 8	トラックの近くに倒れている被災者が発見された。目撃者がなく詳細は不明であるが、被災者は当該木材加工場から出たおが屑をトラックに積載作業中、何らかの原因でトラックの荷台から転落したとみられる。	10409	1	50～ 99
		13	被災者の運転するトラックが信号待ちをしていた3台のトラックに追			10～

2010	9	～ 14	突した。	40301	17	29
2010	9	13 ～ 14	被災者が同僚1名とゴルフ場に設置させられている作業道路（坂道）の路面補修作業を行っていた。坂の上に被災者と同僚が乗ってきた2 tトラックを停車させ、路面の補修作業を行っていたが、強風等の影響で無人の当該トラックが坂道を下り出し、被災者と同僚がトラックに轢かれ、被災者がトラックの下敷きになったもの。ブレーキをかける等の逸走防止措置が不十分であった。	140301	7	30～ 49
2010	9	12 ～ 13	交差点で、横断歩道を自転車に乗り横断していたところ、左折してきた大型トラックに巻き込まれ、搬送先の病院で死亡した。	150101	17	50～ 99
2010	9	8 ～ 9	被災者の運転するダンプが走行中、スピード超過により左カーブを曲がり切れずに、右側の道路沿いにある街路樹（直径50～60 cm）に衝突、ダンプの右前部（運転席側）が大破し、被災者は運転席とハンドルの間に挟まれた。救急隊が救助し病院へ搬送したが死亡した。	30109	17	1～9
2010	9	17 ～ 18	対向車線の大型トレーラーのけん引車が道路脇のフェンスに激突後、中央線を越えて被災者の車線に進入してきたため運転席に激突し、全身を強打した。病院に搬送されたが翌日死亡。	40301	17	1～9
2010	9	11 ～ 12	事業場構内において、空荷のトレーラーとトレーラーの間（約3.3 m）にトラック（最大積載量13.9 t）をバックで駐車させるため、被災者はトラック後方で誘導を行っていたところ、切り返しのために前進したトラックの荷台部分とトレーラーの間に挟まれ死亡したもの。トラックに積まれていた廃材が荷台からはみ出していたため、当該廃材を荷台上に戻そうとしてトラックに接近したらしい。	11701	7	30～ 49
2010	9	9 ～ 10	草刈り作業のため高速道を走行規制作業中、走行車線で車両の監視員として黄旗を振り通行車両への注意喚起をしていた被災者が、走行規制に気付くのが遅れて矢印板設置個所に向かってきた3 tキャリアカーに轢かれ、矢印板2枚とともにキャリアカーに約7.1 m引きずら	30199	17	50～ 99



			れたもの。			
2010	9	3 ～ 4	小雨の早朝、濡れないようビニールで1部ずつ梱包された新聞をオートバイの荷台に載せて走行していたところ、新聞が荷崩れを起こし道路上に散乱した。オートバイから降りて、その新聞を回収中、前方不注意の大型トラックに轢かれて即死した。	80205	17	30～ 49
2010	9	0 ～ 1	高速道路の直線道路において、被災者の運転するトラックのエンジンが故障し、幅約2.5mの路肩に停車し、三角表示板を設置していた。加害車両のトラックが前方不注意のために被災者のトラックに追突し、被災者のトラックは横転し、被災者は死亡した。	40301	17	10～ 29
2010	9	11 ～ 12	リサイクル工場内にてパッカー車内のゴミの排出のため、パッカー車の後部のホッパを開け、排出板にてゴミの排出を完了し、助手作業員の被災者が排出板の掃除を終え、運転手に合図をし、運転手が運転席にある操作レバーでホッパを閉じる時に、被災者がゴミが残っていると思ってホッパ内に入ったため、挟まれて死亡した。	150103	7	10～ 29
2010	9	3 ～ 4	2tトラックを運転して印刷物を配送していた。途中の国道にて、赤信号で停車中の10tトラックの後部に追突し、全身打撲により死亡した。	40301	17	50～ 99
2010	9	10 ～ 11	当該事業場が施工する工事現場で用いる土砂を1人運転で最大積載量2tのダンプトラックにより建設資材置場から工事現場へ運搬途中、林道から約15m下の雑木林に転落した。	30199	17	1～9
2010	8	8 ～ 9	トラック（1.5t車、作業員3名が乗車）と観光バス（運転手1名、乗務員1名、旅行添乗員1名、観光客2名が乗車）が、峠のトンネル内において正面衝突し、トラックの運転者が死亡した。	30209	17	1～9
2010	8	9 ～ 10	関連会社の生コンクリート製造工場から、建設工事現場へ生コンクリートを運搬するため、コンクリートミキサー車に生コンクリート（体積4立方m、重量約9400kg）を積載し、林道を走行していたところ、運転操作を誤って路肩から転落したもの。数時間後、当該ミキサー車が斜面の樹木に衝突し、静止しているところを発見され、	10901	17	1～9

			運転席にいた被災者は病院へ救急搬送されたが、死亡が確認された。			
2010	8	3 ～ 4	断熱材を輸送するため、深夜に点呼を受けて本社を出発し、国道を走行中、センターラインをオーバーしてきた対向車と正面衝突したものの。	40301	17	10～ 29
2010	8	22 ～ 23	被災者は4 tトラックに家具類を積載し、高速自動車道の左車線を走行していたところ、左側の縁石に乗り上げ横転し、反対側の中央分離帯に激突して胸などを強く打ち、胸部を打ち死亡した。	40301	17	10～ 29
2010	8	4 ～ 5	被災者がトラック（13 t冷蔵車）を運転して高速道路を走行中、インターチェンジ出口の分離帯ガードレールに衝突し、そのまま土手から約1 m下へ転落・横転したものの。	40301	17	10～ 29
2010	8	16 ～ 17	事業場から農業機械を展示している場所へ農業機械を取りに行くため、事業場のトラック（1.5 t車）を運転して高速道のトンネル内を走行中、入口から50 mぐらいの位置で左側壁に接触し、そのはずみで反対車線を越えて右側壁に激突してトラックが運転席側を下に横転したものの。	80209	17	1～9
2010	8	23 ～ 24	4 t貨物自動車で長距離の運送作業中、左カーブで対向車線にはみ出し、対向してきた大型貨物自動車と正面衝突したものの。運転労働者は、病院に救急搬送されたが死亡が確認された。なお、対向車の大型貨物自動車の運転者も骨盤骨折等の重傷を負ったものの。	40301	17	50～ 99
2010	8	13 ～ 14	貨物自動車で道路を走行中、荷台に乗っていた被災者が荷台から転落したものの。	30101	1	1～9
2010	8	12 ～ 13	被災者は、荷の積み込みのため、空荷の10 tトラックを運転し、会社に向かう途中、片側1車線の国道を走行していたところ、信号待ちしていた2 tトラックに後方から追突し、胸部を強打して死亡した。	40301	17	10～ 29
			工場敷地内にある車両修理場建屋前で、被災者がミキサー車の操作レバーにもたれかかっていたところを発見された。このとき被災者には			

2010	8	17	意識があったが、熱中症を疑って病院に搬送したところ、頭部骨折が判明し、4日後に死亡した。発見直前、被災者はミキサ車の生コン投入口のへこみ部分を、ハンマーを用いて修理しようとしていて、ステップから転落したか地上で転倒したと考えられる。ヘルメットも安全帯も使用していなかった。	10901	99	10～ 29
2010	8	1	被災者の運転する大型トレーラーが県道を走行中、縁石に乗り上げ民家のブロック塀に衝突して横転しコンテナ部分が炎上した。被災者は運転席から投げ出された状態で発見された。	40301	17	10～ 29
2010	8	9	軽トラックで、当日の朝に出発して事業場へ荷物を届けて帰社する途中、国道の直線部分の終わる付近で運転操作を誤って、道路左側の歩道にある水銀灯の支柱に衝突した。病院に搬送されたが2日後に死亡した。	40301	17	1～9
2010	8	16	被災者が、業務で担当している会社を訪問するため、国道交差点の横断歩道を横断していたところ、同交差点を右折しようとしたトラックにはねられ、死亡したもの。	90103	17	50～ 99
2010	8	11	被災者運転の軽トラックが国道を走行中、運転を誤って中央分離帯を乗り越え反対車線に入ってきたトラックと衝突したもの。現場は片側2車線のほぼ直線の道路であり、後続車など4台が関係する事故となった。	40303	17	10～ 29
2010	8	16	土木工事現場から地盤改良の機械（17t）を大型トレーラーに積み帰社途中、長い下り坂でブレーキがベーパーロック現象を起こしてブレーキが効かなくなり、道路左側のコンクリート製防護壁に衝突した。その弾みで道路脇に駐車していた軽トラックに衝突し、被災者は車外に投げ出されて頭を強く打ち死亡したもの。	40301	17	50～ 99
2010	8	12	昼食を終えて、飲食店の駐車場に停めていたトラックに乗り込む際に、ドライバーが運転席に座らずギアを確認せずにエンジンを始動したところ、ギヤが入っていたため前進し、前方にいた被災者に激突し、被災者はトラックとフェンスに胸部を挟まれ圧死したもの。	40301	6	30～ 49

2010	8	2 ～ 3	4 tトラックを運転中していた被災者が、片側3車線道路の左側車線上で信号待ちのため停車していた10 tトラックに追突、死亡したものの。	40301	17	10～ 29
2010	8	7 ～ 8	事業場で冷凍食材を4 tトラックに積み込み、配送先に向かう途中に交差点に差しかけたところ、信号待ちで停止していたダンプトラックの後部に追突した。	40301	17	50～ 99
2010	8	9 ～ 10	山中の竹林において、被災者が2 tダンプトラックに積んだ筍用の肥料を荷台を傾けて降ろしていたところ、傾斜地であったため当該トラックが転倒し、運転席から降りて荷台を操作していた被災者が下敷きとなったもの。	60101	7	1～9
2010	8	21 ～ 22	高速道路を走行中、前方のトレーラーに追突し、2名が死亡したものの。	30302	17	10～ 29
2010	8	21 ～ 22	高速道路を走行中、前方のトレーラーに追突し、2名が死亡したものの。	30302	17	10～ 29
2010	8	11 ～ 12	国道のバイパス（片側1車線）で、走行中の普通トラックがセンターラインをオーバーし、対向車線を走行していた小型乗用車の側面に接触した後、小型乗用車の後続の大型トラックと正面衝突をした。普通トラックを運転していた運転手が重傷（その後病院で死亡）、小型乗用車に乗っていた家族連れ3名が軽傷、大型トラックを運転していた運転手が軽傷を負った。普通トラック運転手のわき見運転とみられている。	40301	17	30～ 49
2010	8	18 ～ 19	被災労働者（訪問介護員）の運転する軽乗用車が国道（片側1車線）を通行中、対向してきたピックアップトラック（普通貨物車）と正面衝突したため、死亡したものの。対向の普通貨物車がセンターラインを超えてきたとみられる。	130201	17	10～ 29

2010	7	5 ～ 6	被災者の運転する冷蔵冷凍車（最大積載量2100kg）が、パーキングエリアに進入しようとして減速した大型トラックに追突したものの。	40301	17	10～ 29
2010	7	2 ～ 3	国道を4tトラックで運転中、交差点にトラック2台（10t車と4t車）が信号待ちで止まっていた。しかし、被災者は過労による居眠りで赤信号に気付かず、停車している4tトラックに追突した。さらに4tトラックはその前のトラック（10t）に追突した。	40302	17	10～ 29
2010	7	11 ～ 12	貨物自動車（2tトラック）の荷台にかぼちゃの入った重さ約500kgのコンテナと労働者3名を載せ、コンテナが荷台よりも若干大きく、あおりを閉めないまま市道を走行していた。T字路交差点を右折する際、固定されていなかったコンテナとともに労働者3名が高さ0.7mの荷台から路上に転落し、1人が頭を強打し、約3時間後に死亡したもの。残り2人も頭部等打撲し、休業した。	60101	1	10～ 29
2010	7	0 ～ 1	積荷を積載し事業場へ運ぶため、高速自動車道を走行中、居眠り又はわき見運転のため、前方を走行していたトラック（10t）に追突し、被災者は追突した衝撃で車外へ投げ出され死亡した。	40301	17	1～9
2010	7	1 ～ 2	被災者である新聞配達員が、新聞配達中、対向車線からセンターラインをはみ出して運転していた会社員の軽トラック（酒気帯び運転）と正面衝突し、死亡したものである。	80205	17	10～ 29
2010	7	2 ～ 3	被災者は、トレーラーで国道を走行中、パーキングで休憩しようとしていた際、幅員減少を示す工事用ガードレールが設置されていることに気づかず直進したため、工事用ガードレールに激突した。その衝撃により、シートベルトを着用していなかったので運転席から車外に体を投げ出され、死亡したもの。事故当時は1時間に5.5mmの雨が降っていた。	40301	17	10～ 29
2010	7	19 ～	エンジントラブルにより、片側4車線の左端登坂車線に停車していた観光バス（乗客34人、乗員3人）に、後方から走行してきたトラック（2t）が追突し、トラックの運転手が全身を強打し死亡したもの	10104	17	30～

		20	の。トラックは、自社の製品（和菓子等）の配送を終えて、帰社途中であった。			49
2010	7	16 ～ 17	災害復旧工事現場内で土砂を2 t ダンプトラックで運ぶために下り坂をバックで移動中、運転を誤ってダンプが坂道を逸脱した。この際、被災者は運転席ドアと自生している斜面の木の間に首が挟まった。治療が続けられていたが、8日後に死亡した。	30108	1	1～9
2010	7	22 ～ 23	被災者は九州から首都圏へ雑貨を搬送中、高速道路の路肩に停車中に、後続して来たトラックに追突され、全身を強く打ち死亡した。被災者は事故当時、車外にいたとみられている。	40301	17	10～ 29
2010	7	17 ～ 18	被災者は被災当日、雑貨・郵便物等をトラックに積載し、運行事務所を出発した。配送後、次の目的地に向かっていたところ、国道のトンネル内で対向車線にはみ出し、対向してきたマイクロバスと正面衝突し、このマイクロバスに後続のRV車が追突したもの。この事故により被災者とマイクロバスの運転手（自営業）が死亡。マイクロバスの乗客37名およびRV車（家族連れ）2名が負傷したもの。	40301	17	300 ～ 499
2010	7	2 ～ 3	道路において、2 tトラックに12.6 tトラックが前方不注意により追突し、2 tトラックが横倒しになったところに、9.9 tトラックが激突したため、2 tトラックの運転手が死亡し、同乗者が重傷を負った。9.9 tトラック運転手は軽傷を負った。	10109	17	100 ～ 299
2010	7	7 ～ 8	工事用看板を設置するため道路脇に2 t ダンプを止めて作業中、停車していた同ダンプが動き出したことから被災者が同ダンプを止めようと車外からハンドルの操作をしたところ、体が同ダンプの下に入り、後輪で腹部等を轢かれ死亡したもの。なお、現場道路は4～6度の勾配がついていた。	30199	7	1～9
2010	7	3 ～ 4	被災者は積荷を積んだ4 tトラックで国道を走行していた。その際、前日の大雨で発生した土砂崩れのため片側交互通行が行われていた。この交通規制で停車していた10 tトラックに、4 tトラックを運転	40301	17	10～ 29

			していた被災者が追突し死亡したものの。			
2010	7	14 ～ 15	警備会社が、工事（歩道に設置されているマンホール内部の点検工事）における警備業務（歩行者の誘導等）の委託を受け、被災者（死亡）に災害発生地における警備業務を行わせていたところ、走行してきたトラックが前方不注意により歩道上に乗り上げて被災者を跳ね飛ばし、歩道上に駐車していた工事車両に衝突した後、車道で横転したものの。現場は見通しの良い直線道路だった。	170201	17	10～ 29
2010	7	15 ～ 16	国道（片側1車線の直線道路）で4 tトラックを運転していたが、対向してきた10 t ダンプと正面衝突し、トラック運転手が搬送先の病院で死亡した。	40301	17	10～ 29
2010	7	23 ～ 24	国道バイパス（片側1車線、追越禁止区間）を走行していた大型トラックが先行する軽乗用車を対向車線へ出て追い越し、走行車線へ戻ろうとしたが、対向してきた大型トレーラーと衝突した。大型トレーラーの連結部分から出火し、大型トレーラーの運転手が焼死した。大型トラックは追い越した軽乗用車とも接触しており、大型トラック運転手が重傷、軽乗用車運転手が軽傷を負った。	40301	17	300 ～ 499
2010	7	17 ～ 18	家電量販店から2 tトラックに2人が乗り、配達作業を行っていた。夕方、国道を走行中、助手席の労働者が眠っており、運転者も眠気を覚えたため、休憩できる場所を探しながら運転していたところ、道路左脇の交通標識に衝突し、助手席の労働者が死亡したものの。運転者は手を打撲する軽傷であった。現場は直線道路で、天候は晴れであった。	40301	17	10～ 29
2010	7	0 ～ 1	被災者は、当該事業場所有の大型トラック（最大積載量12.3 t）を運転し、配送先の事業場へ向い高速自動車道を走行中、バス停付近に停車中の大型トラックに、被災者が運転していた大型トラックが追突し、胸部打撲により死亡した。	40301	17	1～9
2010	7	4 ～	大型トレーラーに木のチップを満載し走行中、国道の緩やかなカーブで大型トレーラーが横転し、運転していた被災者が外に投げ出され、	40301	17	10～

		5	全身を強打したものの。			29
2010	7	12 ～ 13	重機を積んだトレーラーが事業場の敷地から道路へ出る際、被災者は路上で誘導した。道路上に出たトレーラーが前進した際に荷台に飛び乗ったところ、過って荷台と後輪の隙間に巻き込まれ死亡したもの。	40301	7	1～9
2010	7	16 ～ 17	被災当日の一般家庭へのケーブルTVの引込み工事が終わり帰社するため、被災者はトラック搭載式高所作業車を運転し国道を走行中、反対車線から居眠りもしくは脇見によりセンターラインをオーバーしてきた4 tトラックに正面衝突され、搬送先の病院で死亡が確認されたもの。	30301	17	1～9
2010	7	14 ～ 15	事業場内砕石場において、被災者は、脱水ケーキをダンプトラックに積載するために、ダンプトラックから脱水ケーキがこぼれ落ちない措置として、40 mmのふるいを通る砕石を別の労働者が運転するバックハウにより、ダンプトラック最後方に約2立方m積載させた。その後、被災者は、ダンプトラックをバックさせ脱水ケーキを積み込む位置まで移動させようとしたところ、ダンプトラックとともに、崖下の池に墜落したもの。	20201	1	10～ 29
2010	7	4 ～ 5	国道上において、故障中の大型トラックを修理するため、車体の下に入り、修理作業を開始した直後、後方より走行してきたトラックに追突された。追突された衝撃で故障車両が動き、被災者は左後輪タイヤに轢かれ、搬送された病院にて死亡が確認された。なお、作業中は故障車両のハザードを点灯させ、後方に停止表示機材を置いていた。	80202	17	10～ 29
2010	7	9 ～ 10	マンションの新築工事現場において、足場材を積載した移動式クレーン付きトラックを前から工事現場に入れて、その工事現場前の道路上にパイロン等を置き、歩行者の誘導をするために警備員が当該トラックの後方右端側に立っていたところ、走行してきた積載荷重4 tのトラック（居眠り運転）がパイロンを倒して突っ込み、警備員を約12 m先の電柱の植栽へ跳ね飛ばし、即死した。	170201	17	10～ 29



2010	7	0 ～ 1	国道のバイパスを走行中、対向車両（トラック）がセンターラインを越えて来たため、正面衝突したものの。	40301	17	30～ 49
2010	6	15 ～ 16	国道を走行中、片側2車線の道路の前方で反対車線工事規制のため、車線を1車線にして追い越し車線を対向車線としていたが、被災者は車線規制に気づかず（前方不注視とみられる）、車線縮小部に設置されたパイロンと土嚢に激突し、反対車線に飛び出して対向車両と正面衝突した。	40301	17	30～ 49
2010	6	4 ～ 5	被災者は、事業場から作業現場に向かうため、1人で清掃車を運転して、国道に合流しようとしていたところ、合流車線に駐車していたトレーラーに追突して被災し、同日死亡したものの。災害の直接原因は被災者の前方不注視であるが、被災者は86日間連続就労しており、このことによる過労も災害発生の一因になったものと目される。	150109	17	50～ 99
2010	6	12 ～ 13	被災者と事業主は、サンマ漁の準備のため、2tトラックを運転し国道を走行中、トンネル内の緩いカーブで居眠り又はスピードの出し過ぎにより対向車線にはみ出して、対向車の大型トラックと正面衝突したものの。被災者と事業主が死亡し、相手方のトラックの同乗者も負傷した。なお、死亡した2名はシートベルトを着用していた。	70201	17	1～9
2010	6	8 ～ 9	建設工事現場において、敷鉄板20枚を敷設予定地に運搬するため20tトレーラーを運転して到着した。立ち入りを規制するために張られたトラロープを外すため、下り傾斜の工事用道路に停車して下車したところ、駐車ブレーキが甘くトレーラーが動き出した。被災者は車を止めようとして運転席ドア付近にしがみついたが振り落とされ、そこにトレーラーに積んであった敷鉄板が落下して下敷きとなった。車止めなどの逸走防止をしていなかった。	40301	4	10～ 29
2010	6	9 ～ 10	ガソリンスタンドでタンクローリーに積載の油を荷卸するため、タンクローリー上の底弁をあけ、後方のローリーはしごから降りていたところ、足を滑らせ地面に落ち、頭を強打して死亡した。	40301	1	30～ 49

2010	6	15 ～ 16	セメント会社において、積み込んだ石灰石を計量後、再度積み込み場に戻ってきた被災者は、トラック（最大積載量9.1 t）から降車し、トラクター・ショベルの方に向かって歩き始めたとき、停止場所が緩やかな下り勾配となっていたためトラックが動き始め、止めようとして前面を押したが止まらず、約5 m逸走し、トラクター・ショベルのタイヤ（直径1.7 m）との間に挟まれた。トラックのエンジンは停止、サイドブレーキは掛けられてなく、車輪止めを使用する等の逸走防止もされていなかった。	40301	6	100 ～ 299
2010	6	15 ～ 16	被災者が、事業場構内においてフォークリフトを運転中、双方の前方不注意により、交差点で左側から来た8 tトラックと衝突し、フォークリフトから投げ出され、転倒したフォークリフトのヘッドガードと地面の間にはさまれ、死亡した。	50101	6	1～9
2010	6	10 ～ 11	作業道開設工事において、ドラグショベルを用いて被災者の運転するダンプトラック（車両総重量4 t）に土砂を積み込む作業を行っていた際に、被災者が運転席を離れ、ダンプトラック後方に移動したところ、サイドブレーキを十分に引いていなかったために後退してきた無人のダンプトラックとドラグショベルの間に胸部を挟まれた。なお、現場には6度の勾配があった。	30199	6	50～ 99
2010	6	17 ～ 18	被災者は、10 t ダンプカーを運転し、事業場に隣接する鉱山で製品の原料となる長石を積み込み、事業場内のプラントに運搬する作業を行っていた。長石を積み込んだ後、鉱山と事業場を結ぶ道路を下っていたところ、鉱山入口から300 m程度下った地点でダンプが横転、胸部を強打し、死亡したもの。側溝あるいは道路の段差にタイヤをとられたとみられる。	10909	2	1～9
2010	6	2 ～ 3	貯槽トンネルで使用する生コンクリートをバッチャープラントから現場へ持ち込むため、コンクリートミキサー車（10 t車）を運転し、斜路となっている作業トンネルを下っていたところ、車両のコントロールを失って左カーブの右側側壁面に衝突、反動で左側に設置して	30102	3	30～ 49

			あったあった計測小屋に突っ込み、右を下に横転したものの。			
2010	6	10 ～ 11	県道沿線の除草作業現場において、片側交互通行規制中の道路上で一般通行車両の交通誘導を行っていた被災者は、前方不注視で車線変更をせず走行してきた最大積載量11tトラックに激突され、そのまま前方に停車していた工事用1.5tトラックとの間に挟まれ死亡した。	170201	17	100 ～ 299
2010	5	9 ～ 10	被災者が運転する高所作業車（同人のみ乗車）が道路を走行中、対向車線を走行中のダンプがスリップし反対車線へ飛び出した。高所作業車の前部とダンプの後部とが衝突し、被災者は死亡した。被災者は他の3名と現場に向かう途中で、3台の車に分乗していた。	30301	17	50～ 99
2010	5	16 ～ 17	事業場指定のガソリンスタンドにて燃料を充填するため駐車し、運転席より離れたところ、車両（トラック）が前に自走し始めた。被災者が自力で静止させようとしたが、ガソリンスタンドの地形が緩やかな傾斜であったため止めきれず、車両はさらにガソリンスタンド脇を通る7.7mの公道をも横切って隣地の工場の万年堀に激突し、被災者は車両と万年堀との間に挟まれた。搬送先病院にて5日後に死亡した。	150109	6	10～ 29
2010	5	9 ～ 10	海岸高潮対策工事現場にて、交通誘導警備に従事していたところ、砂を積んだダンプカーの後進誘導を行った後、ダンプカーの死角に入り込み、ダンプカーの右側後輪に巻き込まれ、即死した。	170201	7	50～ 99
2010	5	2 ～ 3	被災者の運転する大型トラックが、国道の交差点で信号待ちをしていた運転手Aのダンプトラックに追突し、被災者は腹部からの出血多量で死亡した。さらに、押し出されたダンプトラックが運転手Bの大型トラックに衝突し、運転手AとBは足に打撲を負った。	40301	17	10～ 29
2010	5	2 ～ 3	被災者は、中型トラックで自動車専用道路を運行していた。災害発生時、前方で走行していた大型トラックが渋滞のため減速したところへ、被災者の中型トラックが追突し死亡したものの。	40301	17	10～ 29
			被災者は、4tトラックにて積荷（キャベツ）を受取り、市場に当該			

2010	5	11 ～ 12	積荷を運送するため国道を走行中、有料道路に入って200mほど反対車線を逆走していたところ、前方から大型トレーラー（33t）が走行して来たため、左車線にハンドルを切ったが、大型トレーラーも衝突を避けようと被災者側車線にハンドルを切ったため正面衝突したものの。	40301	17	1～9
2010	5	11 ～ 12	被災者は、鶏ふんを集めに自社の農場の堆肥舎前で、ダンプ（最大積 載荷重3.5t）の荷台に乗り、積んだ鶏ふんをスコップで均す作業 中、ダンプのアオリ（高さ2.35m）からコンクリート舗装面に墜 落し頭部を負傷し、6日後に死亡した。墜落防止措置を講じていな かった。	70101	1	30～ 49
2010	5	22 ～ 23	被災者は、高速自動車道を大型トラックに乗り走行中、ジャンクショ ン付近での渋滞の最後尾に追突し、トラック5台及び乗用車2台の計 7台がからむ多重衝突事故が発生した。一時自車に閉じこめられた被 災者は、医療機関へ搬送されたが死亡した。	40301	17	50～ 99
2010	5	10 ～ 11	被災者は、トラックで国道を進行していた。緩やかな下り坂の右カー ブ手前において、何かを避けるようなタイヤ痕が残っていることか ら、動物か何か左側から飛び出して来た可能性があり、それを避け るため急ハンドルを切ったとみられ、トラックが横転しカーブ手前の ガードレールを押し倒し、旧道へ転落した。	40301	17	10～ 29
2010	5	13 ～ 14	建設現場から事業場へ帰るため、ワゴン車で高速道を走行中、渋滞が 発生していて、最後尾で停車していたところ、後方から来た3tト ラックが追突し、はずみで前の車にも玉突き衝突し、乗っていたワゴ ン車が炎上して乗車していた2名が死亡した。また、玉突き衝突した 車両に乗っていた者が負傷した。	30302	17	1～9
2010	5	13 ～ 14	建設現場から事業場へ帰るため、ワゴン車で高速道を走行中、渋滞が 発生していて、最後尾で停車していたところ、後方から来た3tト ラックが追突し、はずみで前の車にも玉突き衝突し、乗っていたワゴ ン車が炎上して乗車していた2名が死亡した。また、玉突き衝突した	30302	17	1～9

			車両に乗っていた者が負傷した。			
2010	5	13 ～ 14	被災者は、食料品を輸送するため高速道路を走行中、トンネルの入口付近で3 tトラックと乗用車など計8台が絡む追突事故が発生し死亡したもの。	40301	17	10～ 29
2010	4	4 ～ 5	信号交差点が赤になったため、大型タンクローリー車が停車し、その後ろに被災者が運転する2 tトラックが停車したところ、後続の14 tトラックの前方不注意により追突され、衝撃により2 t車が前に押され、前方で停車していた大型タンクローリー車の下にもぐり込むように挟まれ、大量出血などにより搬送先の病院で死亡が確認されたもの。	40301	17	30～ 49
2010	4	3 ～ 4	トラクター（牽引車）をトレーラー（被牽引車）に連結した後、トラクターからトレーラーにエアブレーキ用ホースを接続したところ、同車両が前方に逸走したもの。発見時、同車両は前方の別のトレーラーの側面に斜めに接触した形で停車しており、被災者は同車両の運転席側ステップに足を掛け、開いた同側ドアに挟まれた状態であったことから、被災者は逸走した同車両を止めようとしてその運転席に乗り込もうとして被災したと推測される。トラクターのサイドブレーキは掛けられておらず、エアホースの接続により圧縮空気が送気されたため、ブレーキが解放されたとみられる。	40301	7	10～ 29
2010	4	7 ～ 8	2 tトラックで新聞販売店へ折り込みチラシの配達を終え、会社へ戻る途中に片側1車線の道路の右カーブにおいて、運転操作を誤り、センターラインを越えて対向車線の大型トラックと正面衝突し、全身を強打して即死したもの。	40301	17	30～ 49
2010	4	3 ～ 4	被災者は、トレーラーにコイル（約16 t）を積載して国道を走行中、交差点付近で中央分離帯に乗り上げて対向車線に入り、道路脇の電柱に激突した。道路構造等、天候、時間帯、運転操作ミスによるとみられる。	40301	17	50～ 99
			被災者は、取引先の有機センターへ鶏糞を搬入するため、鶏糞1次処			

2010	4	11	理（乾燥）場において、4 t の天蓋付きダンプトラックへ鶏糞を積み込む作業を行おうと、当該ダンプトラックの荷台の上に登り、天蓋をスライドさせながら開閉していたところ、何らかの事由により墜落した。現場には天蓋の取っ手が取れて落ちていた。墜落后、同僚が発見し、救急車にて搬送したものの、その後合併症を発症し、約2カ月後に死亡した。	70101	1	50～99
2010	4	8 ～ 9	タンクローリーで軽油の運搬を終え、帰社するため国道を走行中、ガードレールを突き破り約20 m下の川に転落したものの。	40301	17	1～9
2010	4	10 ～ 11	工事で発生した残土を土捨て場まで運搬していたダンプトラック（最大積載量11 t）が、運転を誤り作業道の路肩から約50 m下へ転落した。	30199	1	10～29
2010	4	5 ～ 6	飼料15 tを積んだトラックで走行していた。緩い左カーブにおいて前車の乗用車が左カーブを曲がり切れず（推定）右側路外の電柱に衝突し電柱が折れた。電柱が倒れたため道路を横断していたワイヤーロープが垂れ下り、後続を走行してきた被災者のトラックの運転席部が衝突し（推定）、対向車線を越えて右側路外に運転席部から転落したものの。乗用車を運転していた女性は軽傷。	40301	17	1～9
2010	4	14 ～ 15	被災者は、電力会社発注の電線支障木伐採作業現場において、片道交互通行規制のため、交通誘導業務を行っていた。規制側下り線の交通誘導中において、停止していた車両を誘導したところ、その後続の車両（軽トラック）が接近してきたため、車両誘導をしようとしたが、当該車両は脇見運転をしていて車線変更をしないまま直進し作業看板に衝突、そのまま被災者を跳ね飛ばした。被災者は死亡した。	170201	17	10～29
2010	4	23 ～ 24	大型トラックが国道を走行中、道路工事のため停車していたトラックの後部に追突し、キャビンがつぶれ圧迫死したものの。脇見運転とみられる。	40301	17	10～29

2010	4	14 ～ 15	被災労働者が運転していた大型トラック（11t）が道路脇の理容店に突っ込んだもの。現場付近は山間部で、下り坂と急カーブが断続的に続いている。スピードの出しすぎによりカーブを曲がり切れなかったとみられる。	40301	17	1～9
2010	4	18 ～ 19	国道を走行していた大型トラックが対向車線にはみ出し、対向してきた大型トラックと正面衝突したものである。衝突した2台の大型トラックの両運転手がともに死亡した。他に2台の車のはみ出した大型トラックに接触しているが、これら車の運転手等にけが人は無かった。	40301	17	10～ 29
2010	4	18 ～ 19	被災者は、大型トラックを運転して、長距離輸送のため国道を走行中、対向車（大型トラック）がセンターラインをはみ出し、別の大型トラック及び乗用車と接触した後、被災者が運転する大型トラックと正面衝突した。対向車の大型トラック運転者も死亡した。接触した別の大型トラック及び乗用車の運転者にケガはなかった。	40301	17	10～ 29
2010	4	20 ～ 21	バイパス道路で自損事故を起こし、自車から離れて通報を行っていたところ、後方より進行してきた大型貨物自動車前方不注意のため追突した。その反動で自車の後部と道路側壁に被災者がはさまれ、同日、死亡した。	170209	17	100 ～ 299
2010	3	22 ～ 23	タンクローリーを運転中、高速道路において工事渋滞していた車列の最後尾の大型トラックに追突し、大型トラックの後部とタンクローリーのタンクの間で運転席内で挟まれ、胸を強く打って死亡した。	40301	17	50～ 99
2010	3	11 ～ 12	工場建物内へのプレス機械等の移設作業を、労働者等4名により工場敷地内で行っていた。貨物自動車（平ボディー車、最大積載量9t）の荷台に積まれたプレス機械の荷卸し作業を行った後、被災者の姿が見あたらなくなったことから、敷地内を探したところ、隣地工場建物との間にある側溝内（深さ3.07m）で頭（保護帽を着用せず）から血を流して倒れている状況で発見し、搬送先の病院で死亡が確認された。	30302	1	1～9

2010	3	4 ～ 5	トレーラーダンプにて石炭を運ぶため国道を走行中、緩やかな下り坂にて路面凍結によりスリップしたためトレーラーが横転した。その際、運転者が路上に投げ出され、病院へ搬送されたが死亡した。	40301	17	100 ～ 299
2010	3	0 ～ 1	事故前日の夜に物流センターを出発し、高速道路を4 t 冷蔵車で走行していたところ、前方のトンネル内で発生した軽自動車による横転事故のため、停車・渋滞状態となっていたことに気付くのが遅れ、最後尾の10 tトラックに追突した。救出後病院に搬送されたが死亡した。	40301	17	100 ～ 299
2010	3	18 ～ 19	被災者は、一般住宅の改修工事現場での当日の作業が終了し、会社所有の軽トラックを運転して広域農道を使い現場から会社へと戻る途中、右カーブで道路左側の橋の欄干に衝突し死亡した。	30202	17	1～9
2010	3	12 ～ 13	トレーラーのトラクター（牽引車）とシャーシ（被牽引車）の接続作業のために、トラクターの上に乗り作業を行っていた。接続作業を行うため駐車していた駐車場がゆるやかな下り勾配であったため、トラクターが動きはじめた。被災者は慌ててトラクター部分から飛び降り、運転席に乗り込もうとしたところ、隣に駐車していたトレーラーと接続作業を行っていたトラクターに体を挟まれ死亡した。トラクターのサイドブレーキが引かれていなく、シャーシのブレーキは接続作業を行うために解除された状態だった。	40301	7	10～ 29
2010	3	13 ～ 14	国道を10 tトラックで走行中、交差点において信号待ちの為に停車していた大型ダンプトラックに追突した。	40301	17	30～ 49
2010	3	10 ～ 11	土砂採取場内において、土積み込み待ちのために勾配5度の坂道に停車していた10 tダンプトラックがサイドブレーキの引きが弱かったため突然後退し、右前輪に被災者の頭部がはさまれ死亡したもの。待ち時間を利用して荷台に付着した土の除去作業を行っていた被災者が、動き出した10 tダンプトラックを止めようと荷台から降りたところ、ひかれたものとみられる。	30107	7	50～ 99



2010	3	8 ～ 9	伐木作業現場から伐倒木の納入先へ、12tトラックで走行中、右カーブ後にある直線道路で運転者が操作を誤って道路左側に逸脱し、畑の入り口となっている取付道路側面に衝突して死亡した。路面は乾燥しており、強風等もなかった。	60201	17	1～9
2010	3	8 ～ 9	トラックに積み込んだアルミリサイクル原材料が走行中に落下するのを防止するため、荷台の上に乗る、積み荷の状態を確認していたところ、足を滑らせ墜落した。	150102	1	10～ 29
2010	3	2 ～ 3	荷積み後、配送のため高速道路を走行中、サービスエリアから合流部付近の緩やかな左カーブで後方から大型トラックに追突され、追突のはずみで、路肩に止まっていた大型トラックに衝突した。	40301	17	100 ～ 299
2010	3	9 ～ 10	11tタンクローリーでコンクリート原料を輸送中、運転操作を誤り、道路左側の電柱に激突し、全身を強く打ち間もなく死亡した。	40301	17	100 ～ 299
2010	3	20 ～ 21	林道において、被災者が運転する10tダンプトラック車（横幅約2.5m）が残土の置き場から掘削現場に戻る途中、林道（道幅4m）の路肩から約50m下の谷底の川に転落し、被災者は溺死した。	30106	17	10～ 29
2010	3	22 ～ 23	運転代行のための依頼先に向かうため、同僚と2人で乗用車にて道路を走行中、信号機のある交差点で、信号無視の大型トレーラーと出会い頭に衝突し、助手席に乗っていた被災者が死亡した。また、運転手とトレーラーの運転手もけがをした。	40209	17	10～ 29
2010	3	3 ～ 4	被災者は新聞配達店所有のミニバイクで朝刊を配達していたところ、後続のトラック2台から相次いで接触され、全身を打ち死亡したものである。	80205	17	1～9
2010	3	2 ～ 3	アスファルト製造工場の敷地内において、ダンプトラック（10t車）にアスファルトを積み込む際の前作業として、荷台にアスファルトのこびり付防止のための「軽油巻き作業」を行っていた被災者が、ダンプの助手席側のコンクリート上に倒れているのを別の事業場の労	40309	1	1～9

			働者が発見した。トラックの荷台から降りる際に足元が滑ったとみられる。			
2010	3	14 ～ 15	被災者は、ユーザーから預かったトラック（最大積載荷重2 t、積載型トラッククレーン）の車検を受けるため、予備車検場へ持込み予備検査を行っていた。コーナーランプの電球を取替えていた際、停車中の積載型トラッククレーンが後退したため、両手で止めようとして積載型トラッククレーンの後部と建物との間に挟まれ、死亡した。逸走防止措置を講じていなかった。	11701	7	1～9
2010	3	7 ～ 8	護岸工事現場へ2 tトラックで向かっている時、雨と速度超過によりカーブでスリップしてガードレールに衝突し、その反動で被災者は車外に投げ出された。意識不明の重体であったが、3日後に死亡したものの。被災者は、助手席に乗っており、シートベルトを着用していたかどうかは、警察が調査中である。	30111	17	10～ 29
2010	3	6 ～ 7	3 tトラックで国道を走行中、反対車線から10 tトラックが車線をはみ出して進入してきたため正面衝突したものの。双方の運転手が死亡した。	40301	17	100 ～ 299
2010	3	6 ～ 7	大型トラックを運転して、会社のある愛知県に帰る途中、センターラインをはみ出し、対向してきた3 tトラックと正面衝突し、2名とも死亡した。	40301	17	1～9
2010	3	3 ～ 4	配送先に向かうため、大型トラック（車両総重量22 t）で国道（片側2車線）を走行中に、運転の操作ミスにより、横転して中央分離帯に激突した。被災した運転手は頭部等を強打して搬送先の病院で死亡したものの。	150102	17	10～ 29
2010	3	11 ～ 12	サッカーの試合時に使用する広告用の看板を搬入するためのトレーラの誘導を競技場入り口のスロープにて行っていたところ、トレーラ運転者が車両周辺の安全確認を怠り、当該通路の壁とトレーラーの間に挟まれたものの。	90209	7	10～ 29
			被災者は、同僚の労働者と2人でフォークリフトで運ばれた段ボール			

2010	3	16 ～ 17	箱をゴミ収集車へ積込む作業を行った。段ボールの積み込み作業がほぼ終了したため、同僚はフォークリフトを移動させようとしていたところ、被災者の悲鳴が聞こえた。同僚が確認したところ、被災者はゴミ収集車の回転板（回転しながらゴミを圧縮する板）に上半身を巻き込まれていた。被災者は頭部の負傷により死亡した。	150103	7	1～9
2010	2	10 ～ 11	建設工事現場において、横断歩道を徒歩で横断中の被災者を走行中の軽貨物自動車が気付かず、被災者をはねた。5日後に死亡した。	30110	17	10～ 29
2010	2	11 ～ 12	砂利採取場へ砂を積みに行くため10tダンプトラックを運転中、道路の左側から犬が飛び出してきたため、避けようとしてハンドルを右に切ったところ、対向車線側の電柱に激突した。その際、胸部をハンドルに強打し、3日後に死亡したものの。	30209	17	10～ 29
2010	2	7 ～ 8	出勤する労働者2名を送迎車に乗車させて、国道を走行していたところ、下り坂のカーブを走行してきた10tトラックが脇見運転でセンターラインを越えて対向車線に入り、送迎車と正面衝突した。この事故で、送迎車の運転手と同乗の労働者2名の計3名が死亡したものの。	60101	17	50～ 99
2010	2	7 ～ 8	出勤する労働者2名を送迎車に乗車させて、国道を走行していたところ、下り坂のカーブを走行してきた10tトラックが脇見運転でセンターラインを越えて対向車線に入り、送迎車と正面衝突した。この事故で、送迎車の運転手と同乗の労働者2名の計3名が死亡したものの。	60101	17	50～ 99
2010	2	7 ～ 8	出勤する労働者2名を送迎車に乗車させて、国道を走行していたところ、下り坂のカーブを走行してきた10tトラックが脇見運転でセンターラインを越えて対向車線に入り、送迎車と正面衝突した。この事故で、送迎車の運転手と同乗の労働者2名の計3名が死亡したものの。	60101	17	50～ 99
2010	2	5 ～ 6	国道にて、被災者は15t車を運転し緩やかな左カーブに差し掛かった際、運転を誤ってセンターラインをはみ出した。その時、ブレーキをかけたが間に合わず、対向車の大型トラックと正面衝突した。搬送先の病院で死亡した。	40301	17	10～ 29

2010	2	5 ～ 6	被災者が、郵便物の長距離輸送のため4 tトラックで高速道路を走行中、接触事故で停車していた大型車に追突し即死した。同乗者はいなかった。	40301	17	100 ～ 299
2010	2	22 ～ 23	道路舗装工事のためのアスファルト路面剥ぎ取り作業準備のため、道路内でスプレーによるマーキングを行っていた労働者（現場代理人）が、後退してきたダンプトラックの左後輪に轢かれ即死した。災害発生当時は、工事のため作業現場の道路は通行止めとしていた。	30106	7	1～9
2010	2	20 ～ 21	道路を横断しようとして横断歩道を渡り始めたとき、右手より直進してきた2 tトラックに轢かれたもの。病院に搬送され入院加療中であったが、6日後に死亡した。	170201	6	300 ～ 499
2010	2	9 ～ 10	4 tトラックの運転手が配送の途中で傾斜のある道路路側帯にトラックを停車し、荷台の後部扉を開けて積荷の確認をしていたところ、駐車ブレーキの引き方が緩く、トラックが後退したので荷台から飛び降り、トラックの下敷きとなった。	40301	7	50～ 99
2010	2	13 ～ 14	廃棄物収集先の工場敷地内において、ゴミ収集車の誘導を行っていた被災者がゴミ投入作業のために出荷台の昇降階段へ向かうとき、ゴミ収集車の後方を通ったため、後退してきたゴミ収集車に激突され、出荷台との間に挟まれ死亡した。	150103	6	50～ 99
2010	2	8 ～ 9	現場に向かうため4 tダンプで市道を走行中、立ち木にアオリが引っかかったため、ジャッキアップしてダンプを横にずらそうとしたところ、サイドブレーキを引いていなかったため、傾斜によりダンプが逸走し、後方を歩いていた労働者に激突した。	30199	6	1～9
2010	2	5 ～ 6	中型貨物自動車が路面の凍結により中央分離帯を乗り越え、対向車線の電柱に衝突した。	40301	17	50～ 99
			建設現場に向かうため、トラックに労働者5名が乗り道路を走行していた時、信号機のない交差点に差し掛かったが、路面状況は圧雪アイ			

2010	2	8 ～ 9	スバーンであり一時停止できずにスリップして交差する国道に入り、走行していたトレーラーの側面に衝突した。トラックの助手席に乗っていた労働者が死亡、運転手が意識不明の重体、後部座席に乗っていた3名が腕等を骨折する重傷。トレーラーの運転手に怪我はなかった。	30107	17	10～ 29
2010	2	20 ～ 21	道路貨物運送事業場に、客先に発送する荷物を2 tトラックで持込み、受付事務所横のスロープに止め、トラックから離れ、受付で話している時に、サイドブレーキを引いておらずトラックが動き出した。この際、止めようとして、トラックとホームの間にはさまれたもの。	80109	7	1～9
2010	2	14 ～ 15	高圧ケーブル取替工事に使用する配管材料を、ワゴン車より変電所内へ積み下ろし作業を行っていたところに産業廃棄物を運搬するダンプトラックがわき見運転により突っ込んだもの。被災者は飛散した車体の一部が体にあたり、病院に搬送されるも3日後に全身打撲により死亡した。また、同じ作業を行っていた労働者も車体と変電所壁にはさまれ、頭部挫傷により即死した。	30301	6	1～9
2010	2	14 ～ 15	高圧ケーブル取替工事に使用する配管材料を、ワゴン車より変電所内へ積み下ろし作業を行っていたところ、産業廃棄物を運搬するダンプトラックがわき見運転により突っ込んだもの。被災者はワゴン車と変電所壁にはさまれ、頭部挫傷により即死した。また、同じ作業を行っていた労働者も全身打撲により死亡した。	30301	6	1～9
2010	2	16 ～ 17	被災者の運転するトラック（15 t）が降雪のため滑り、被災者は避難のため運転席から飛び降りたが、自車は対向車線からセンターラインをはみ出してきたトラック（15 t）に激突した。その衝撃で、付近でタイヤチェーンを装着するために停車していたトラックと自車との間に挟まれたもの。	40301	17	10～ 29
		2	被災者は、3 tトラック（冷蔵冷凍車）にて、配送先に荷物を届けた後に、事務所兼車庫に空車で戻る途中に、国道立体交差点の橋を			

2010	2	3	～	下ったところで、雪等で凍結していたことからスリップして、中央分離帯を越えて対向車線に進入し、対向してきた大型10tトラックの側面に衝突したものの。	40301	17	30～ 49
2010	2	11	～	被災者は大型ダンプへの給油のため、会社から2tローリー車で採石場に赴き、エンジンをかけたまま停車していた（運転手不在）。ダンプの右横にローリー車を乗りつけ、ダンプの前・後輪間にあるタンクに給油しようとしていた。その時、ダンプ運転手がダンプ左側からダンプの運転席に乗り込み、ハンドルを左に切って4m程後退、さらに右に切って前進したところ、破損したローリー車と、倒れている被災者を発見した。ダンプに轢かれたものとみられる。	80204	7	1～9
2010	1	4	～	朝刊配達後、販売店へ戻る途中、道路上に駐車していたトラックに追突したものの。被災者の前方不注意とみられる。	80205	17	30～ 49
2010	1	4	～	荷の運送のため高速自動車道を走行していた4tトラックが、前方不注意により渋滞の最後尾の大型トラックに追突し、4tトラックを運転していた労働者が内蔵圧迫により死亡したものの。4tトラックに追突された大型トラックの運転手は、首に軽傷。	40301	17	50～ 99
2010	1	2	～	国道バイパスの道路改良工事現場において、夜間の交通整理にあっていた警備員2名が、前方不注意で走行してきた4t貨物トラックにはねられ、1名が頭を強く打ち1時間後に死亡、1名が全治1週間の怪我を負ったものの。	170201	17	50～ 99
2010	1	6	～	被災者はフォークリフトによりトラックシャーシから荷卸し中、他の労働者がトラックシャーシを別の場所に移動すべくトラクタヘッドにより牽引して前進させた為、プラットフォームとトラックシャーシの間の敷鉄板ごと130cm下の地面に落下し、フォークリフトの下敷きとなり胸部圧迫により死亡したものの。	40301	1	10～ 29
				被災者が、原付バイクで集金に行く際、片側1車線の国道上のセン			

2010	1	17 ～ 18	ターライン付近で右折のため対向車線の車の通過を待っていたところ、後ろから走行してきたトラックが被災者に気付くのに遅れ、バイクに追突した。バイクは対向車線に押し出され、対向車線を走行してきた自動車にも激突され死亡した。	80205	17	30～ 49
2010	1	21 ～ 22	被災者が4 tトラックを運転し、高速道路を走行中、前方不注意により路肩と第1車線にまたがって停車中していた10 tダンプトラックに追突したものの。被害者は病院に搬送されたものの死亡した。	40301	17	10～ 29
2010	1	20 ～ 21	大型トラックを運転し、青森県から東京都内へ荷の運送を行った後、帰りの便として東京都内で荷を積み込んで戻る際、高速道路において、前方不注意により前を走行していた大型トラックに追突し、死亡した。	40301	17	50～ 99
2010	1	12 ～ 13	配送先の敷地内で4 tトラックの後部扉を開けて1人で荷下ろしの準備を行っていたところ、トラックの荷台から墜落し後頭部を強打した。病院に運ばれ治療中であったが、約1週間後に死亡したものの。災害発生時ヘルメットは着用していなかった。	40301	1	1～9
2010	1	11 ～ 12	自動車整備工場の作業ピット内でタンクローリーの修理作業中、ドライブシャフトを取り外したのでサイドブレーキが解除され、逸走防止措置をしておらず、タンクローリーが後進し、前輪がピットに落下して作業中の労働者に激突し、上半身がピットと車体との間に挟まれた。	11701	6	10～ 29
2010	1	6 ～ 7	被災者は工場へ荷を取りに行くため、国道を2 tトラックで走行中、中央分離帯の段差を乗り越え、対向車線を走っていた大型トラックと正面衝突し、頭などを強く打ち死亡した。警察によれば、現場は緩やかなカーブであり、被災者が運転を誤ったと推測される。なお、相手方の大型トラック運転手も足に軽傷を負った。	40301	17	10～ 29
2010	1	9 ～ 10	被災者は担当地域の客先に向かうため、営業車（2 tトラック）を運転し国道を走行中、センターラインをオーバーし、対向してきた10 tトラックに衝突した。詳細については、調査中。	80109	17	30～ 49

2010	1	4 ～ 5	配送先に積み荷のパンを届け、会社に戻る途中、国道のガードレールを突き破って約9 m下の川に転落、運転していた被災者は全身を強く打ち死亡、助手席の同僚男性も腕などに軽いけがを負った。現場は片側1車線の右カーブで、当時、路面は凍結していたとみられている。	40303	17	10～ 29
2010	1	13 ～ 14	アパート新築工事現場において、同僚が4 t ダンプトラックを後進させたところ、トラックの荷台の後部とガスタンク置場のブロック塀との間に腹部を挟まれたもの。目撃者がいないので、災害時に被災者がどのような作業を行っていたかは不明であるが、災害の直前までは、ガスタンク置場のフェンスの設置作業を行っていた。	30202	7	10～ 29
2010	1	22 ～ 23	被災者は、缶ジュースを積んだ普通トラック（3.5 t）を運転して、コンビニへ配達中、国道の片側2車線箇所の追い越し車線側を走行していたところ、運転操作ミスにより、隣車線の車を追い抜いた直後に車体が左右にふらつき始め、交差点付近の中央分離帯に衝突して車体が横転したもの。被災者は、全身を強く打ち、病院に搬送されるも約5時間後に出血性ショックのため死亡した。	40302	17	30～ 49
2010	1	14 ～ 15	国道で、社員の運転するダンプカー（10 t）が土砂（10 t 前後）を運搬中、道路を下って右カーブに差し掛かったところ、スピードの出し過ぎかよそ見運転等により、道路左ガードレールを突き破って30 m下の崖下に転落した。被災者は、病院に運ばれたが、頭部を打って死亡した。	20309	17	1～9
2010	1	12 ～ 13	最大積載量3500 kgのトラック荷台に建築資材を積み終え出発のための準備作業をしていた労働者が、トラック荷台（地面からあおり上部までの高さ約1.5 m）から転落した。頭部を強く打ち、搬送先の病院で死亡した。	40301	1	1～9
2010	1	12 ～ 13	トラックの不具合を直すため、高速道路の路肩に停止し、三角表示板と非常点滅灯をつけて車外車両下で作業中、後方から来たトラックが追突し、巻き込まれた。深夜時間帯で周りが暗く、見通しが悪かった。また、路肩での停車で、車体の一部が走行車線にはみ出してい	11209	17	30～ 49



			た。			
2010	1	4 ～ 5	大型トラックで左カーブを走行中、中央分離帯を乗越え対向車線に進 入したため、対向車線を走行してきた大型ダンプと乗用車に接触後、 衝撃で車外に転落し全身を強く打ち死亡したもの。	40301	17	10～ 29
2010	1	17 ～ 18	4 t トラックの荷台に型枠支保工の材料を高さ約 3 m 積み、トラック 荷台後部から資材がはみ出したのではみ出した部分に赤い布を取り付 けるため、暗闇の中、荷の上に乗取り取り付け作業中、墜落したもの。	30201	1	1～9
2009	12	11 ～ 12	被災者は2tダンプ車を運転し、土砂捨て場に向かう途中、何らかの理 由で車外に出ていたところ、停車中の車両が私道から竹藪に転落し被 災者に激突、車両と竹藪にはさまれた。	30199	6	10～ 29
2009	12	11 ～ 12	ガソリンスタンドでトレーラー（積載荷重24t）のトラクター部に給油 作業中の被災者が、左側のタンクに給油後、右側のタンクへ給油する ため同トレーラーの車体の下から給油ホースを通し、その給油ホース を取るために車体の下へ潜り込んだ時、同トレーラーが前進し右後輪 でひかれた。	80204	7	1～9
2009	6	14 ～ 15	20tフルトレーラー（前方と後方にトレーラーが付いているタイプ）に 飼料を積む作業中、被災者が後方のトレーラーにシートをかける際、 約3.1mの高さから地面に墜落した。	40301	1	100 ～ 299
2009	1	15 ～ 16	一般車両の通行する片側一車線市道の片側車線箇所を、カラーコーン で囲んだ中で被災者らが水道工事を行っていたところ、対向車線を走 行していた第三者の軽トラックが現場内に突入し、被災者がはねられ て死亡した。	30110	17	1～9
2009	11	8 ～ 9	被災者は2tダンプを運転し、牛舎工事現場に向かっていたところ、左 急カーブの上り坂において、被災者が運転していたダンプが中央線を はみ出し、対向してきた4tトラックと正面衝突した。被災者は搬送先 の病院で死亡、4tトラックの運転者は負傷した。	30201	17	1～9
			被災者は、タンクローリー（車両重量：3460kg、容量：軽油2907リッ			

2009	1	15 ～ 16	トル積載)を運転し、一人で配達していた。客先のダンプトラックに給油するため、平均勾配4度の畦道に止めてあったダンプトラックの後方にタンクローリーを停車させ、エンジンを掛けたまま給油準備のためにタンクローリーの前方を歩行していたところ、タンクローリーが前方に動き、タンクローリーの前部とダンプトラックの後部の間にはさまれた。	80204	7	1～9
2009	12	13 ～ 14	一般国道(片側一車線)をはさんで建屋が隣接している事業場において、道路向いの作業場へ移動するため、被災者が横断歩道のない道路を横断していたところ、被災者の右側から走行してきたトラックに衝突され、全身を強打した。	11709	17	10～ 29
2009	5	15 ～ 16	民家の造園工事において、代表者と被災者の2人で4tダンプトラックで、庭石の運搬作業を行う際、県道から現場へ通じる下り坂を後進させて下ることとなり、代表者が運転する当該トラックを被災者が声を掛け誘導していた。当該坂道を下り、代表者はまだ誘導終了の合図がないにも拘らず後方から被災者の声がしないため、合図が終わり被災者もいないと思い、さらに後進させたところ、まだトラックの後方にいた被災者に激突した。	30199	6	1～9
2009	10	10 ～ 11	現場出入口付近で道路清掃の作業を行っていた被災者が、土砂の仮置き場へ積込みに向かうため現場出入口から県道へ右折しようとした貨物自動車にはねられ死亡した。	30199	17	50～ 99
2009	9	17 ～ 18	個人住宅のシロアリ駆除作業を被災者1人で行った後、事業場へ会社所有の軽トラックで戻る途中、広域農道において、高速道路の橋台に単独で正面衝突した。	170209	17	10～ 29
2009	3	15 ～ 16	出張先の業務を終え営業車を運転して帰社途中、片側一車線の道路を走行していたところ、中央線をオーバーして対向車(乗用車)の右側面に衝突し、さらに、その後方から来ていたダンプトラックと正面衝突した。	80409	17	10～ 29
		3	ペットボトル容器を運搬するため、被災者が大型トラックを運転して			

2009	8	4	～	高速道路を走行していたところ、追い越し車線でパンクのため緊急停車していた4tトラックに追突した。	40301	17	30～ 49	
2009	7	4	～	被災者が国道を走行中、対向車線にはみ出し、対向車線を走行してきた大型トラックと正面衝突した。	40301	17	100 ～ 299	
2009	6	16	～	トラック（4t積）を運転して高速道路を走行中、登り勾配のトンネル内において、オーバーヒートのため本線上に停車していたトラックに追突した。	40301	17	100 ～ 299	
2009	6	23	～	24	建材を搬送するため、被災者は大型トラック（積載荷重：13t）を運転し、高速道路を走行中に前方の大型トラックに追突し、はずみで右車線の乗用車に接触した。被災者は全身を強く打って死亡、他の運転手は軽傷を負った。	40301	17	10～ 29
2009	5	10	～	11	被災者は、入金業務のため、事業所から約500mほど離れた銀行へ自転車で向かっていたところ、交差点で左折中のトレーラーに巻き込まれ被災した。なお、交差点信号は車道、歩道ともに青信号であった。	10109	17	30～ 49
2009	4	6	～	7	被災者運転の10tトラックが、国道において、前を走行していた4tトラックを追い越そうと反対車線にはみ出しところ、対向してきた10tトラックと正面衝突した。	40301	17	30～ 49
2009	9	20	～	21	トラックで片側一車線の国道を走行中、緩やかな左カーブの下り坂でカーブを曲がりきれず右側のコンクリート壁に衝突し、トラックが横転した。	40301	17	1～9
2009	9	5	～	6	トラックで目的地に向かう途中、路側に停車中の大型トラックに衝突した。このため、助手席に乗っていた作業員（被災者）がはさまれ死亡した。トラックの運転手及び大型トラックの運転手にはケガはなかった。	80109	17	10～ 29
					テニスコート改修整備工事で余った残土を、元請が指定した残土置き場に、被災者が4tトラックで運搬作業を行っていた。この日、6回目の			

2009	12	14 ～ 15	同作業を行うために、被災者は残土を積み込み現場を出発し、約94m走ったところで、飲料水を買うためにトラックのエンジンを止め坂道に停車。飲料水を買おうとした時にトラックが動きだし、トラックの左前方と自動販売機に身体をはさまれ死亡した。	30199	7	1～9
2009	9	17 ～ 18	被災者が自社倉庫敷地内の出入口付近（下り傾斜、最大勾配10度）に3tダンプカーを一時停車して、運転席から降りて移動していたところ、突然、停車していた位置から動き出し、敷地前の市道を横切り、向かいの民家のブロック塀に達する際、回り込んで止めようとした被災者がダンプカーの車両前部とブロック塀の間にはさまれ、死亡した。	30110	7	1～9
2009	8	3 ～ 4	被災者は、国道の路側帯を歩いて新聞配達を行っていたところ、前から来た大型トレーラーにはねられ死亡した。	80205	17	10～ 29
2009	2	9 ～ 10	林道整備事業にて、大型トラックで土砂運搬中、搬入場所手前で方向転換の際、トラックごと転落した。	30106	17	10～ 29
2009	7	12 ～ 13	大雨の中、同僚が運転するトラック（5人が乗車）で工事現場から会社へ戻る途中、同僚がハンドル操作を誤り、トラックが道路左側のガードレールを突き破り約3m下の畑へ転落し、後部座席に乗っていた被災者が死亡、残りの同僚4人が負傷した。	30209	17	10～ 29
2009	3	13 ～ 14	出先の工場内において、被災者が飼料積込用トラックのデッキ上部（地上高さ3.1m）で飼料の積込み作業中、トラックのデッキ上部から墜落した。なお、被災者は作業時、ヘルメット（飛来防止用）を着用していた。	40301	1	10～ 29
2009	12	7 ～ 8	前日に加工した食材をトラックにて配送中、県道の直進道路でハンドル操作を誤り、道路脇の街路樹に激突、後日死亡した。	10109	17	50～ 99

2009	5	13 ～ 14	被災者は、大型トラックの後輪エアサスペンションのエアスプリングを交換するため、リモコンでエアサスペンションにエアを送り、タイヤと荷台との間隔を広げた後、運転席側の後部タイヤとフェンダーとの隙間に上半身を入れ、エアホースのネジを工具でゆるめたところ、エアホースからエアが抜け出し、荷台が下がりタイヤとフェンダーとの隙間にはさまれた。	11701	7	1～9
2009	6	7 ～ 8	トラックに3人の作業者が同乗し、会社から建築現場に向かって高速道路を走行していたところ、大型トラックが割り込んできたため自車のアクセルを緩めた際、自車がスリップしてコントロール不能となり、中央分離帯に激突後、左側ガードレールを突き破り5m下に転落した。助手席に乗っていた作業者が死亡し、運転者と他の同乗者が負傷した。	30202	17	1～9
2009	6	16 ～ 17	被災者は、顧客から連絡を受けて営業所から客先へ荷を受け取りに行く途中、国道を走行していたところ、センターラインをオーバーしたため、対向してきたトラックと正面衝突した。	40301	17	1～9
2009	1	5 ～ 6	営業所から製油所にLPガスを詰めに行くため、8tの大型タンクローリーで営業所を出発、約40km/hの速度で現場の片側一車線カーブの下り坂にさしかかった時、路面が凍結していたため、タイヤがスリップして反対車線にはみ出し、先にスリップによる単独事故を起こし対向車線上に停車中であった乗用車に衝突した後、歩道のガードパイプを突き破って3m下の道路脇の河川敷に転落した。	40302	17	1～9
2009	8	4 ～ 5	被災者は、商品納入のため会社から一人で保冷車（2t）を運転し、客先を経由して次の納品先に向かおうと、国道（現場は片側二車線の緩やかな左カーブ）を走行中、中央分離帯に接触し、さらに道路左脇の案内標識柱に衝突した。	80409	17	10～ 29
2009	7	13 ～	高架道新設工事においてプレビームを設置後、パイプベント（仮設の橋脚）を撤去するように、移動式クレーンを用い滑車を介してワイヤーで引っ張り、パイプベントを水平に移動していたところ、パイプ	30105	5	30～ 49

		14	ベントが倒れて被災者を直撃した。			
2009	5	11 ～ 12	自動車道のジャンクション新設工事に伴う延長300m、幅員8m（片側車線の幅員4m）のアスファルト舗装作業において、当該路上に居た被災者が、移動のため時速約20km/hでバックしてきた4tトラック（積載形トラッククレーン）にひかれた。	30106	7	10～ 29
2009	1	5 ～ 6	工場側道で構内にいた他の作業者が運転席後部路上に倒れている被災者を発見し病院に搬送したが、翌日死亡した。	40301	1	30～ 49
2009	1	17 ～ 18	被災者の運転する2tタンクローリ車が走行中、進行方向路上にはみ出していた保冷車前部を避けようとして反対車線を走行しようとしたが、対向車が来たため、それを回避するため進行車線に戻ろうとして、保冷車に接触後、道路脇のガードレールに衝突し死亡した。	80204	17	1～9
2009	12	22 ～ 23	高速道路を4tトラックで走行中、ガードレールに接触し、その後、トンネル入口のコンクリート壁に衝突して死亡した。	40301	17	1～9
2009	10	15 ～ 16	下水道工事現場で、片側交互通行の誘導作業中、クレーン付きトラックを後進で移動させるための誘導を行っていた。運転手は下水道工事の立坑と電信柱の間を抜けるとき、誘導していた警備員が見えなくなり、誘導状況が確認できなくなっていたが、そのまま後進したところ、警備員をはねた。	170201	17	10～ 29
2009	11	13 ～ 14	被災者と事業主の2人でトラックにチップ材を積み込む作業を行っていたところ、被災者がトラックの荷台上（地上からの高さ357cm）で積み込んだチップ材の上にネットをかける作業中、荷台上から地上に墜落した。ヘルメットを着用しており、ヘルメットに墜落の際に付いたと思われる跡がある。	40301	1	1～9
2009	6	7 ～	被災者は事業場所有の普通トラックを一人で運転し、国道を走行していたところ、被災者運転の普通トラックがセンターラインを越え、対	40301	17	50～

		8	向車線を走行していた乗用車に接触、続いて乗用車の後ろを走行していた大型トラックと衝突した。			99
2009	10	4 5	芝の配達のための被災者運転のトラックが対向してきた大型トラックと正面衝突し、被災者と同乗していた女性が死亡した。県警の調査によると、国道の事故現場は緩やかな左カーブであり、被災者の運転していたトラックが衝突前から中央線を対向車線にはみ出しおり、ブレーキ痕はなく、事故原因は不明である。	60101	17	1～9
2009	5	8 9	社用車（軽ワゴン）でお客さんへ製品を配達するため、国道の峠付近の坂道を登坂走行中、タンクローリー車と衝突し、身体を強く打ちまもなく死亡した。	80209	17	1～9
2009	1	0 1	国道の中央分離帯付替工事のため、追い越し車線をカラーコーン等で規制し、交通誘導等警備業務に当たっていたところ、規制線を突破してきた12tトラックに衝突され死亡した。	170201	17	100 ～ 299
2009	12	0 1	高速道路で3車線を1車線に規制して夜間工事を行っている場所で、被災者の運転する4tトラックが前を走行中の10tトラックに追突した。追突されたトラック運転手は10日間の休業見込み。	40301	17	10～ 29
2009	9	16 17	被災者は、2tトラックで回収してきた資材（木材の平板等）を手作業で積み卸したあと、同僚への連絡のため2tトラック前方を歩いていった。2tトラック（勾配約2度の傾斜地に止めていた）が動き出したため止めようとしたが、そのまま2tトラックに押されて、段差のある約1m下で2tトラックの下敷きになった。	150102	7	10～ 29
2009	6	18 19	場内において、ダンプトラック（最大積載量：32t）に原石を積み込み、場内のプラントへ運搬していたところ、ダンプトラックが走行路（幅員：約10m）から約50m下の走行路へ転落した。被災者は転落中に車外へ投げ出されて死亡した。	20201	1	10～ 29
2009	4	16 ～	住宅特定工事において、既存の住宅の内装解体作業中、被災者が2tトラックの荷台上に配置され、ベランダから解体した襖等の建具を手渡された際、同荷台より墜落し、収容先の病院において死亡が確認され	30201	1	10～ 29

		17	た。			
2009	1	7 ～ 8	被災者は早出で出社し、同日運転する予定であったトラックの荷積み作業を約1時間行っていた。同僚が8時30分ごろ出社したところ、被災者が行方不明であった。被災者を捜していたところ、約2時間後に発見し、様子がおかしかつたので、病院に搬送したが後日死亡した。	10402	1	1～9
2009	12	21 ～ 22	被災者は、荷物の配送途中、二車線のうち工事規制により、右側一車線通行となり、渋滞となっていた同社のトラックに追突し被災した。	40301	17	30～ 49
2009	12	5 ～ 6	被災者は、荷物の配送途中、国道上でトンネル工事（片側一車線交互通行規制）により通行待ちのために停車していたトラックに追突し被災した。	40301	17	30～ 49
2009	11	23 ～ 24	トラックにて高速道路を走行中、工事のため渋滞していた最後尾の車両に追突し、病院に搬送されたが死亡した。	40301	17	30～ 49
2009	8	22 ～ 23	被災者は、国道の上り車線をトレーラーにて走行中、交差点で前方から走行してきた右折しようとした軽自動車の前部に接触し、横転して同国道に近接していた倉庫に突っ込み炎上して被災した。なお、当該トレーラーが交差点に進入した時、信号は赤で右折の矢印信号が出ていた。	40301	17	10～ 29
2009	8	14 ～ 15	野菜搬入のために商業ビルの業務用地下駐車場の受付で、トラックのエンジンをかけたまま受付手続きをした際、1階出入口付近に停車中の運送会社の2tトラックが無人のままスロープを下りだし、約40m先の曲がり角で壁に激突した。近くで交通整理をしていた警備員の被災者が壁との間にはさまれ、死亡した。	150101	7	30～ 49
2009	7	23 ～	2t納品のためにトラックを運転して物流センターへ到着後、受付事務所にて所定の手続きを済ませて納品場所へ移動するために発進させた。その際、事務所建物に沿って右折すべきところを運転操作を誤っ	10101	1	100 ～



		24	てそのまま直進し、緑石を乗り越え、さらに緩衝帯を突っ切り、柵を破りトラックごと海へ転落した。			299
2009	7	20 ～ 21	道路上にて被災者が運転していた中型貨物自動車は停車中の他の中型貨物自動車に追突した。	40301	17	50～ 99
2009	7	9 ～ 10	通信設備工事（家庭への電話開通、移転等工事）を行う個人事業者が、2軒目の工事を終え3軒目の家庭へ作業員1人と共に軽自動車に乗って移動中、対向車線を走行中の大型トレーラーが中央分離帯を乗り越えて対向車線にはみ出し、被災者の乗る軽自動車と正面衝突した。軽自動車はトレーラーと側壁にはさまれ、2人とも死亡した。	30301	17	0
2009	6	8 ～ 9	高速道路において、早朝に発生した事故により道路に漏れ出したオイルの処理を被災者が職長とともに走行車線を車線規制して作業していたところ、規制されていなかった車線を走行していた加害者のトラックが突然被災者の方に突っ込んできて、被災者が加害者のトラックとガードレールにはさまれ死亡した。	170209	17	30～ 49
2009	5	2 ～ 3	被災者が取引先へ行くために国道をトラックで走行していたところ、前方を走る大型トラックに追突して死亡した。	40301	17	10～ 29
2009	5	14 ～ 15	クレーンオペレーターと共に10tトラックに鉄骨の積み込み作業を行っていたところ、同トラック上で作業していた被災者は、鉄骨1本（80kg）とともに地面に崩れ落ちて死亡した。	11209	1	10～ 29
2009	3	5 ～ 6	被災者Aの運転するトラックが国道上り線を走行中、中央分離帯を乗り越え、下り線を走行していた被災者Bの運転するトラック（11t）と正面衝突し、両人とも死亡した。	40301	17	10～ 29
2009	1	11 ～ 12	高速道にてトラックを運転中、ジャンクション手前で渋滞している車群に追突した。	40301	17	100 ～ 299

2009	1	9 ～ 10	作業場内において、トラックの解体作業中、トラックキャabinを約45度チルトアップ（傾斜）しているときに、急にトラックキャabin落下防止ストッパーが外れてトラックキャabinが落下し、被災者がはさまれた。	80109	7	1～9
2009	6	15 ～ 16	2tダンプによる泥運搬作業中、運転操作を誤り、路肩の土堤を乗り越えてダンプごと約19m転落し、被災者は車外に投げ出された。	20201	1	10～ 29
2009	3	19 ～ 20	原付バイクで交差点を南行き右折中、北行中のゴミ収集車と衝突した。	80109	17	1～9
2009	3	4 ～ 5	高速道において、荷物を運搬するため高速道路を走行中、前方を走行する乗用車がガードレールに激突して本線に停止したため、後方を走行していたトラックがそれを避けるために停止したところへ被災者の運転していたトラックが追突した。被災者は、病院へ搬送中死亡した。	40301	17	50～ 99
2009	12	6 ～ 7	ドラッグストアにテールゲートリフター付き3tトラックにて配送のため向かっていたところ、バイパス下り線にてテールゲートリフターが格納されていないことに気付き、車両を路肩に停車させ、テールゲートリフターを格納して高速道に降りたところ、後続の10tトラックに追突され、車両ともどもはね飛ばされ被災した。	40301	17	10～ 29
2009	5	2 ～ 3	依頼を受けた建築部材を建設現場に会社トラック（4t）で運送中、右前輪がパンクしたため路肩に停車した。被災者は、タイヤ修理のため三角表示板を車後方に設置の上、車体右側の工具箱を開けて作業を始めたところ、大型トラックが三角表示板をはね飛ばした上、被災者のトラック後方右側に接触し、被災者を左後輪に巻き込んだ。	40301	17	10～ 29
2009	11	6 ～ 7	被災者の二人は、事業場に出勤し、2tトラックに乗車して土場の片付け作業に向かう途中、道路左の水路にトラックごと転落した。この事故により運転者が死亡し、同乗者は重症を負った。	30199	17	10～ 29

2009	10	9 ～ 10	被災場所において、関係請負人の作業者が工事に使用するために立上り管（L字型の鋼管、重さ45kg）2本を2tダンプトラックに積載する作業を行っていた。その際、同所に当日の工事現場の交通誘導を行う警備員として入場した被災者が、当該作業を手伝いトラックの荷台上にて立上り管の端部を持ち上げようとしてバランスを崩しトラックの荷台の上の高さ1.35mのあたりを超え地面に墜落した。	170201	1	50～ 99
2009	12	8 ～ 9	解体工事現場において、関係請負人の作業者が、ドラグ・ショベルを使用して、傾斜地（傾斜角約10度）に停めた貨物自動車（最大積載荷重1600kg）に解体した廃材を積み込んでいたところ、貨物自動車が動き出した。それを止めようとした現場の警備員が、その貨物自動車にひかれた。貨物自動車のサイドブレーキはかけられていた。実際の積載量2285kg（約140%）であった。	170201	17	50～ 99
2009	12	22 ～ 23	大型トレーラーに大型保冷車が衝突、車両を停車させて道路上で両運転手が話をしていたところ、停車していた大型保冷車に中型トラック（3.5t）が衝突し、中型トラックの運転手が死亡した。	40301	17	50～ 99
2009	12	1 ～ 2	直進中のトラックと右折しようとした5人乗りのタクシーが出会い頭に衝突し、タクシーの運転手と助手席の乗客が死亡した。	40201	17	50～ 99
2009	10	19 ～ 20	高速道路路面舗装工事のための車線規制作業を行うにあたり、路肩に工事用車両2台（作業車1、標識車1）を停車させ待機していたところ、走行車両を走行してきた13t貨物トラックが標識車の右側ドアミラーに接触した後、標識車と作業車との間で待機していた被災者をはねた。	170201	17	1～9
2009	10	7 ～ 8	埠頭岸壁において、検問ゲートでの出入管理を行っているとき、構内で異状を発見してその方向に向かったところ、後進してくるダンプの後輪にひかれた。	170201	7	30～ 49
2009	9	2 ～	鉄筋輸送中、国道にて乗用車がコンビニ駐車場内へゆっくり左折をしていたので、トラックが減速し、徐行をしているところへ被災者の運転するトレーラーが前方のトラックにノーブレーキにて追突した。追突	40301	17	10～

		3	した衝撃で、トレーラーの積み荷（鋼材）が前に飛び出し、この積み荷にはさまれた。			29
2009	7	7 ～ 8	スーパーマーケットのゴミ搬出口にて、ゴミ収集車のテールゲート内に被災者がはさまれた。当該作業を被災者は一人で行っていた。	150109	7	50～ 99
2009	5	10 ～ 11	被災者は、オートバイにて郵便配達中に東側より信号のない交差点へ進入したところ、南側より交差点に進入してきたトレーラーと衝突した。被災者は、搬送先の病院にて死亡した。	110101	17	100 ～ 299
2009	5	14 ～ 15	県道で被災者（経験6ヶ月）の運転するトラック（2t）が光ケーブルを埋設するため掘り起こした土砂を運搬中、道路を下って（傾斜2度）左カーブに差し掛かったところ、道路右ガードレールを突き破って40m下の川の河原に転落した。	30199	17	10～ 29
2009	4	4 ～ 5	被災者はミニバイクを運転し新聞を配達中、県道交差点で出会い頭にトラックと衝突し死亡した。	80205	17	10～ 29
2009	4	4 ～ 5	国道の交差点において、被災者の運転するトラックが信号待ちをしていたトラックに追突し死亡した。	40301	17	10～ 29
2009	2	14 ～ 15	コンクリート工場から近くの廃棄物処理場へミキサー車の洗浄に向かうため同工場を出発し、直線道路を約100m程進んだところ、道路左側の土手（高さは約3.1m）から転落した。なお、アスファルト舗装された道路幅は6.1m、土手の高さは約3.1m。	40309	17	1～9
2009	10	1 ～ 2	被災者は荷を運搬するため、4t車に乗務し国道バイパス上り線を走行していたところ、赤信号で減速した前方の大型トラックに追突し、死亡した。	40301	17	10～ 29
2009	10	12 ～	軽トラックを運転して商品の配送中、対向車線をはみ出し、対向して	80109	17	30～

		13	きた大型トラックと衝突した。			49
2009	9	3 ～ 4	4tトラックにて国道バイパス上り線を走行中、相手方対向車（3tトラック）がセンターラインをはみ出して走行してきたため正面衝突した。	40301	17	10～ 29
2009	9	3 ～ 4	コンビニ店配送センターから8コンビニ店への配送業務を終了し、同配送センターに帰路途中、国道バイパス下り線を走行中、3tトラックを運転していた被災者がセンターラインをはみ出し、上り線を約280m程逆走し、その時上り線を走行してきた対向車の4tトラックと正面衝突した。	40301	17	50～ 99
2009	7	3 ～ 4	被災者はパン配送のため3tトラックを運転中、後続車の12tトラックに追突された弾みで、前方の信号待ちで停車していた12tトラックに衝突し、搬送先の病院で同日死亡した。	40301	17	100 ～ 299
2009	3	5 ～ 6	国道の上り車線を走行していた4tトラックが、中央分離帯を乗り越え、下り車線を走行中の11tタンクローリーと正面衝突し、トラックとタンクローリーのいずれも前部が大破し、運転席にはさまれた両運転手は、搬送先の病院にて死亡が確認された。	40301	17	50～ 99
2009	8	4 ～ 5	会社所有の4tトラックにひよこ16,000羽を積み、2人で出発した。翌早朝に高速道下り線において前を走る大型トラックを追い越そうと追越車線に車線変更したときに、被災者が乗るトラックの助手席側が大型トラックの右後部に激突した。助手席の被災者が死亡した。	40301	17	30～ 49
2009	10	13 ～ 14	ビルトインコンロの取付工事現場に向かうため軽トラックに乗車中、信号待ちをしていたところ、対向車線から来たトラックに正面衝突され死亡した。	30203	17	10～ 29
2009	8	15 ～ 16	営業活動を終え、帰社するため県道の横断歩道を歩行中、右折してきた普通貨物車と衝突し死亡した。	90103	17	100 ～ 299
			高速道で行われていた舗装補修工事終了に伴い、車線規制解除のため			

2009	3	14 ～ 15	め、車線上に設置されたカラーコーン等の撤去作業を行っていた。被災者は低速で走行する2tトラックのテールゲートリフターに乗って移動していたところ、テールゲートリフターから転落した。	170201	1	30～ 49
2009	2	11 ～ 12	大型トラック（最大積載量14.8t、5tコンテナ2個積、実積載量14.4t）でタマネギを運搬中、片側二車線の左カーブ（制限速度50km/h）において、前方の車両を追い越そうとハンドルを右に切ったところ、車体が右に傾き、運転席側に横転した。被災者はレスキュー隊により救出され、病院に搬送されたが死亡、同乗者に怪我はなかった。	40301	17	100 ～ 299
2009	9	11 ～ 12	大型タンクローリーが国道交差点に差し掛かった際、信号が赤に変わり、停車しようとした前方の車に気付くのが遅れ、追突を避けようと対向車線にはみ出たところ、対向車線を走行してきた被災者が運転する普通トラックと正面衝突した。被災者は病院に運ばれたが死亡した。	40301	17	30～ 49
2009	10	8 ～ 9	県道において、Aが運転するダンプトラック（10t）と、Bが運転するコンクリートミキサー車が正面衝突し、Bは病院に運ばれたが死亡した。	10901	17	10～ 29
2009	1	5 ～ 6	国道（片側一車線）で鋼材を運搬中に、対向車線で4t車2台が接触事故を起こしていたため通過困難と判断して停車していたところ、対向車線で停車していたトラックに後ろから来たトレーラーがスリップして衝突し、その弾みで自車に衝突した。	40301	17	50～ 99
2009	11	3 ～ 4	被災者は、県道にて自転車で新聞配達の途中であったが、後ろから来たトラックにはねられた。	80205	17	10～ 29
2009	3	21 ～ 22	鋼材を運送していた大型トラック（13t）が、片側二車線の国道の路上に駐車されていたキャリアカー（ハザードランプ点灯）に追突し、大型トラックの運転手が死亡した。	40301	17	30～ 49
		4	被災者は、担当地域の新聞を配達するため、車を配達先付近に止め、			30～

2009	11	5	～	国道を徒歩で横断していたところ、大型トラックにはねられ、対向車線上に飛ばされたところを、さらに大型トラックにひかれた。	80205	17	49	
2009	7	9	～	トラックの荷台に鉄筋を載せ、工事現場へ搬送するため市道を走行中、右カーブを曲がろうとして路肩を踏み外しトラックとともに転落した。助手席に同乗していた被災者がシートベルトを着用していなかったことから被災者が車外に放り出され、トラックの下敷きになり病院で死亡した。	30201	17	10～ 29	
2009	9	16	～	17	被災者は、ふ頭の突堤のトレーラー待機場所においてバイクに乗り、トレーラーの誘導業務を行っていた。この作業中、ゲートを通らずにトレーラー待機場所に侵入してきたトレーラーが被災者の運転していたバイクを左前方タイヤで巻き込んだ。	170201	17	50～ 99
2009	8	1	～	2	国道で被災者が運転する8tトラックが、信号待ちで停車していた大型トラックに追突して死亡した。被災者が追突時ブレーキを踏んだ痕跡はなかった。	40301	17	10～ 29
2009	6	14	～	15	一方通行の道路を掘削するガス管の工事において、現場に到着後、2tダンプトラックの後進誘導中に当該ダンプにひかれ、病院に搬送されたが死亡した。	170201	6	50～ 99
2009	5	13	～	14	午後の作業開始前に原石運搬用の10tダンプトラック（構内専用車両）の荷台をダンプアップし、荷台に安全ブロックを掛けて、ホイスト部のグリスアップ作業を行っていた被災者が、荷台とホイストをつないでいたシャフトが破断したため、ホイスト部が落下しシャーシとの隙間にはさまれた。	10909	7	10～ 29
2009	5	11	～	12	トレーラーにコーヒー豆を積んだコンテナを運ぶ途中、国道片側一車線の右カーブを走行中、トレーラーは左側の側壁に衝突し横転。運転士は約10m下の高架下に転落し死亡した。	40301	17	1～9
2009	5	22	～	23	取引先工場へ向かう途中、高速道ジャンクション左カーブで単独自損事故を起こし、身体を強打した。	40301	17	30～ 49

2009	4	14 ～ 15	15tトラックの荷台上で積み荷の鉄スクラップの点検作業を行っていた被災者が、トラックの荷台高さ約3mから積み荷の鉄板とともに地上に転落した。	80109	1	1～9
2009	2	7 ～ 8	被災者は、資材置場の資材のストックの補充のために、軽トラックを運転し、建材店から資材置場へ建材を輸送中、センターラインをはみ出して、反対車線を走行中の4tトラックと正面衝突した。	30199	17	1～9
2009	2	10 ～ 11	被災者は営業所から2tトラックで出発し、配達先で荷降ろしを行った。帰社のため現地を出発し、国道を走行していたところ反対車線にはみ出し、反対車線走行中の軽自動車側面にあたりその後方大型貨物車と正面衝突した。発生時は晴れ（くもり）で路面はドライ。事故現場は緩やかな右カーブ後の直線で緩やかな上り坂。車両は空荷。	40301	17	10～ 29
2009	5	13 ～ 14	共同住宅改修工事現場において、産業廃棄物処理用のコンテナを貨物自動車（脱着装置付きコンテナ専用車）により被災者が誘導しながら据え付け作業中、当該貨物自動車の運転手が、前進するところギアが後進に入っていたのに気付かずアクセルを踏んだため、コンテナの後ろで誘導していた被災者は、コンテナに激突されそのままコンテナと花壇の壁の間にはさまれた。	170201	6	1～9
2009	4	8 ～ 9	事業場構内において、被災者の運転する貨物自動車に荷を積み込むために荷台後部の観音扉を開けたところ、前方から走行してきた協力業者の貨物自動車に当該観音扉が接触し、その反動で転倒、身体を強打した。	40302	6	50～ 99
2009	2	13 ～ 14	被災者は、納品のため、トラックに荷物を乗せて運転し、納品先の工場構内にトラックを停めて荷台から荷を降ろす作業の準備をしている時、トラックの荷台後部から地面に転落した。	40302	1	1～9
		8	地山掘削現場で、現場から土砂を搬出するため現場に通ずる勾配15度の道路上でドラグ・ショベルにより土砂を積んだ2tダンプカーが発進しようとした際、運転手がギアをバックに入れたが入りが甘く、ク			



2009	9	9	～	ラッチ接続の際にギアが抜けた状態となったが、そのままサイドブレーキを解放したためダンプカーが坂道を急速に後進、ロープで固定されていた漁船に激突して前に押し出し、反動で戻ってきた漁船が被災者を直撃した。	30109	17	1～9
2009	9	4	～	食品加工・販売会社の営業所に荷の受取りに来ていた運転手がトラックの車外にいたところ、納品のために後進で入場して来た別会社のトラックの左側の後輪、続いて前輪にひかれ死亡した。トラックにひかれる際に被災者は通路に横たわった状態であった。	40301	18	1～9
2009	8	6	～	路上にて、被災者が運転する4tトラックとタンクローリー車が正面衝突した。	40301	17	1～9
2009	7	14	～	ビル解体工事現場において、重機でデッキプレートを2tダンプに積み込んで現場から搬出する作業中、エンジンを切って停車していたダンプカーの運転席の前で、運転手と被災者が打合せをしていたところ、ダンプカーが動き出したため、2人で運転席を押しして停止しようとしたが、停止できずに逃げ遅れた被災者が前輪にひかれた。	30209	18	10～ 29
2009	1	22	～	トラクター（トレーラー（台車）の牽引車）の運転者である被災者がトラクターを傾斜路に停止させ、作業のため降車したところ、トラクターが逸走し始めたので、被災者は逸走したトラクターを停止させるため、運転席に乗り込もうとしてトラクターの右前輪に巻き込まれた。	50101	7	30～ 49
2009	12	11	～	被災者はトラックで20時頃所属事業場を出発、22時頃東京・翌日2時頃神奈川に立ち寄り、22時頃熊本を經由して24時頃に鹿児島取引先到着、約30分で荷降ろし・荷積みを終了した。翌翌日帰社のため、8時ごろまでアイドリング可能場所にて仮眠停車後、事業場指定のガソリンスタンドにて給油し、高速道路インターチェンジ入口から上り本線に合流する急カーブでガードレールと接触し横転した。	40301	17	50～ 99
				片側二車線道路の右車線を配送のため4tトラックで走行中、被災者の			

2009	12	14	15	運転するトラックが前方のトラックに追突した。その拍子に左側のガードレールに衝突、その後、現場はゆるやかな上り坂であったため、被災者のトラックが後進して事故を知って停車していた車両に衝突した。	40301	17	100 ～ 299
2009	10	8	9	トラックの運転手が荷降ろし先の事業場付近でトラックのウイング ルーフと荷台のアオリとの間に身体をはさまれていた。ウイング ルーフの開閉ボタンは、トラックの車体最後尾にあり、被災者がはさま れていた位置からは操作できず、開閉ボタンを押している間のみウ イングルーフが開閉するものであった。	40301	7	1～9
2009	9	12	13	営業所に荷物を配送するために4tトラックを運転していたところ、国 道の交差点において、信号待ちをしていたトラックに後ろから追突し た。	40301	17	10～ 29
2009	9	10	11	被災者が道路工事に伴う片側交互通行の交通誘導をしていたところ、 直進してきた大型トラックが停止していたバイクに追突し、その後被 災者をはねた。	170201	17	10～ 29
2009	8	4	5	配送センターへ荷物を取りに行くために3t車を運転中、片側一車線の 道路においてセンターラインをはみ出してしまい、対向車線を走って きたトラックと正面衝突した。相手は軽傷であった。	40301	17	10～ 29
2009	6	16	17	トラックで荷を配達に来た被災者が、荷をトラックから降ろす作業を 行っていたところ、トラック荷台の先端部に設けられた荷降ろし用の 昇降機から、荷とともに地面に転落し、荷を入れたカゴの下敷きと なった。なお、トラックは最大積載荷重2.4t、荷は瓶入り飲料27箱（1 箱50本入り）総重量約400kg、荷を入れたカゴは高さ1.7m、幅84cm、 奥行き64cmであった。	40301	1	10～ 29
2009	4	15	16	引っ越し業務を終え、引っ越し用トラックで高速道路を利用しての帰 社途中、前方を走行していた道路公団の作業用トラックに激突した。	40301	17	30～ 49
		15					

2009	4	～ 16	引っ越し業務を終え、引っ越し用トラックで高速道路を利用しての帰社途中、前方を走行していた道路公団の作業用トラックに激突した。	40301	17	30～ 49
2009	1	～ 10	荷（藁を圧縮梱包した束）を納屋に積み上げる作業において、被災者はトラック（最大積載量1.5t）の荷台（高さ約1.6m）から荷を降ろしていたところ、バランスを崩して地上に墜落した。	80209	1	1～9
2009	10	23 ～ 24	国道において大型トラック同士が正面衝突し、双方の運転手が死亡した。現場は片側一車線でJR線等をまたぐ跨線橋上で緩い坂で若干の左カーブとなっているが見通しは良い場所である。下り車線を走行していた運送会社所属のトラックが対向車線にはみだして衝突した。	40301	17	10～ 29
2009	10	～ 6	市内へ中型（4t）トラックで納品に行き、高速道を走行中、前方を走行していた大型トラックの右後部へ追突した。大型トラックを運転していた運転手は軽傷を負った。	40301	17	10～ 29
2009	3	5 ～ 6	交差点で新聞配達中（配達後、事業場に戻る途中であった）の作業者が乗っていたバイクにトラックが衝突した。	80205	17	1～9
2009	7	16 ～ 17	被災者が取引先での打ち合わせのため、トラックで走行中に、対向車がセンターラインをはみ出し、被災者が乗るトラックと正面衝突した。	11301	17	10～ 29
2009	2	11 ～ 12	被災者は、車庫（トラクターターミナル内）からトラクターだけで出発し、途中、別の車庫でコンテナトレーラー（最大積載荷重24t）を接続し、客先において荷の積込みを行った。車庫に戻るため、首都高速を走行中、JCTの二車線の左カーブにおいて、曲がりきれずに横転して、右側壁に衝突した。	40301	17	10～ 29
2009	1	9 ～ 10	市内の工場へ製品を納品するため、被災者は、軽トラックを運転し自社工場を出発、国道（工業団地内）を走行中に対向車線にはみ出したため対向してきた大型トラックと正面衝突した。これにより運転席が大破した。	10806	17	10～ 29

2009	7	12 ～ 13	被災者が2tトラックを運転して、会社事務所から営業先に向かう途中、減速中の大型ダンプに追突した。他に同乗していた経営者が負傷した。	80209	17	1～9
2009	4	5 ～ 6	荷物を配送するため4tトラックを運転していた被災者が、前方で信号待ちしていた大型ダンプに追突した。	40301	17	100 ～ 299
2009	4	8 ～ 9	2tトラックを運転して会社から工事現場に向かう途中、国道交差点で右折のため停車していたところ、後方より走行してきた大型トレーラーに追突され、その弾みで対向車線に押し出されて横転した。	30110	17	10～ 29
2009	3	15 ～ 16	トラックで道路を走行中、緩やかなカーブで対向車線を走行していたトラックと正面衝突した。	80204	17	1～9
2009	2	15 ～ 16	車両運搬用のキャリアカーのエンジンルームタンク内のオイル交換作業をしていた被災者が、何らかの理由で荷台に上がったところ、シリンダーで上下に駆動するデッキが不意に作動し、デッキの間にはさまれた。	40301	7	10～ 29
2009	1	7 ～ 8	トラックにて荷下し現場に向かう途中、高速道路ICから出たところ、渋滞のため止まっていた前方車に気付かずトラックに追突した。（計4台、7名が絡む玉突き事故）	40301	17	10～ 29
2009	10	4 ～ 5	交差点で信号待ちのために停止していた10tトラックに、被災者が運転する4tトラックが60km/時の速度で追突した。	40301	17	50～ 99
2009	9	22 ～ 23	積載量1.34tの大型トラックで荷物を運搬していた際、赤信号で停車していた大型トラックに気付き、ブレーキを掛けたが、間に合わず追突した。その反動で、追突された大型トラックが押し出され、前に停車していた一般乗用車へ追突した。	40301	17	10～ 29
		0	13tウイング車に自動車部品を積み、国道（片側二車線）を走行中、左			

2009	8	～ 1	側車線に駐車していた重トレーラーの右側後部に追突、横転し車両が炎上した。現場は、見通しの良い直線道路で駐停車禁止の区域である。	40301	17	10～ 29
2009	6	～ 10	高速道インター出口付近を中心に約1.5kmにわたって走行車線に規制をかけ、走行車線の路面改修工事を行っていたところ、追越車線を走行して来た4tトラックが、インター出口付近の走行車線で作業をしていた作業員11人、警備員1人、現場代理人1人の集団に突っ込み、4人が即死、2人が負傷した。	30106	17	1～9
2009	6	～ 10	高速道インター出口付近を中心に約1.5kmにわたって走行車線に規制をかけ、走行車線の路面改修工事を行っていたところ、追越車線を走行して来た4tトラックが、インター出口付近の走行車線で作業をしていた作業員11人、警備員1人、現場代理人1人の集団に突っ込み、4人が即死、2人が負傷した。	30106	17	1～9
2009	6	～ 10	高速道インター出口付近を中心に約1.5kmにわたって走行車線に規制をかけ、走行車線の路面改修工事を行っていたところ、追越車線を走行して来た4tトラックが、インター出口付近の走行車線で作業をしていた作業員11人、警備員1人、現場代理人1人の集団に突っ込み、4人が即死、2人が負傷した。	30106	17	30～ 49
2009	6	～ 10	高速道インター出口付近を中心に約1.5kmにわたって走行車線に規制をかけ、走行車線の路面改修工事を行っていたところ、追越車線を走行して来た4tトラックが、インター出口付近の走行車線で作業をしていた作業員11人、警備員1人、現場代理人1人の集団に突っ込み、4人が即死、2人が負傷した。	30106	17	30～ 49
2009	5	～ 14	製材工場で木端の積み込み作業中、荷台上の木端を均すために、トラックに備え付けられたタラップを昇っていたところ、何らかの原因でタラップから墜落した。	40301	1	10～ 29
		4	被災者運転の大型トラックが、支店から支店へ戻る途中、前を走行していた大型トラック1台に追突し、前部が大破した。被災者は約2時間			50～

2009	11	5	後に搬送先で死亡した。発生場所は高速道下り線である。当時は雨が降っており、ブレーキ痕はなかった。被災者の4月の健診に所見なし。	40301	17	99
2009	8	5 6	トンネル切羽近くで、ドラグ・ショベル旋回体後部と散水車の運転席右側後部にはさまれた。被災者は単独で散水車を運転し散水作業を行い、トンネル切羽等の点検を行うため散水車から降車したが、その際に散水車のエンジンを停止せず、ギアもセカンドに入ったままであったことから、散水車が前方に動き出し、ドラグ・ショベルとの間にはさまれた。	30102	7	30～ 49
2009	4	9 10	被災者が農場（養豚場）から本社敷地内にある処理場に4tバキュームカーで豚のし尿を運搬中、踏切内において立往生していたところ、普通列車と衝突した。被災者は列車の非常停止ボタンを押した後、付近に退避していたが、衝突によって飛散したバキュームカーや踏切設備等が衝突した。被災者の他、普通列車の運転士と乗客2人が負傷した。	70101	17	10～ 29
2009	6	10 11	採石場である事業場内において、コンクリートミキサー車（10t車）を一部改造した散水車で運搬通路（幅11.8m）を走行中、高さ37mの法面を車ごと転落し、被災者が投げ出された。この場所は採石側（切羽側）ではなく谷側の沢で角度30度ほどある。運搬通路は、角度15度、幅11.8mあり路肩には転落防止用のため高さ0.6～0.7mほど盛土されている。	20201	1	30～ 49
2009	2	17 18	作業終了（17時）後、現場の片付けをして、現場から国道をはさんで向かいにある現場事務所に戻るため、国道を横断中、4tトラックにはねられた。	30199	17	30～ 49
2009	7	4 5	石灰23tを積んだトレーラー（最大積載量26t）が、国道を走行中、対向車線を越えて路肩に突っ込み、道路橋脚に激突した。	40301	17	10～ 29
2009	7	13	被災者が自分のダンプカーを降りて、前のダンプカーの後部アオリのチェーンを掛けようとしたところ、後ろから動いてきた自分のダンプ	30199	7	10～ 29

		14	カーと前のダンプカーとの間にはさまれた。			
2009	4	10 ～ 11	2tトラックをレンタルし、帰社しようとしたところ、交差点で右折してきた大型トラック（12.5t）と衝突した。	11403	17	50～ 99
2009	4	12 ～ 13	客先に荷物を届け、帰社の途中で電柱に激突した。	40301	17	10～ 29
2009	2	8 ～ 9	国道を走行中、被災者は停車していた大型トラックに追突して対向車線にはみ出し、さらに対向してきた乗用車と衝突した。	80409	17	10～ 29
2009	12	16 ～ 17	事業場内で、水深約8mの沈澱池と呼ばれるため池に堤防を作り、ため池を二つに分ける整備作業を作業員4人で行っていたところ、被災者の運転する25tダンプトラックが、ため池に整備中の堤防の上に土砂を積み降ろしするため後進中、車両の右後輪付近から水中に転落した。	20201	1	10～ 29
2009	11	7 ～ 8	事業場敷地内において、被災者は事業場を出発する前に貨物自動車（2tトラック）を事務所の前に止め、運転席から降りて、事務所脇にある自動販売機で缶コーヒーを購入していたところ、傾斜により貨物自動車が動き出したので、貨物自動車の前方に出て止めようとしたが止められず、倒れて地面と車体との間にはさまれた。	40301	7	10～ 29
2009	11	2 ～ 3	高速道を7tトラックで走行中、右斜め前方の追越車線を走行していた4tトラックが前方の10tトラックに追突し、走行車線を走行していた被災者の7tトラックの直前に横向きで飛び出し激突した。	40301	17	10～ 29
2009	9	17 ～ 18	被災者は、パッケージセンターでの作業が終了し帰宅するため、自家用車を駐車している同構内の駐車場へ向かって歩いていたところ、駐車場を横切ろうと車道から右折してきたトラックに接触し右後輪に巻き込まれた。	80109	6	100 ～ 299
		16	建設工事現場で使用する資材等を最大積載量2tの貨物自動車で運搬作			

2009	7	～ 17	業中、幅員3.4mの未舗装道路を走行していたところ、下り左カーブで右側路肩から逸脱して斜面を転落し、当該道路下方約20m付近で車外に投げ出された。	30108	17	1～9
2009	6	10 ～ 11	道路維持修繕工事において、交通整理作業中、道路を走行してきた最大積載量2tのトラックに衝突された。	170201	17	30～ 49
2009	12	17 ～ 18	運転手はトレーラーをフェリーターミナルのトレーラー待機場所に後進で駐車し、車から降りてトレーラーの足を下ろそうとしたところ、左後方のタイヤ付近に被災者がトレーラーヘッド側に頭を向けてうつ伏せで倒れているのを発見した。被災者を病院へ搬送したが死亡した。被災者はフェリーに乗せるトレーラーの到着確認、保冷車の車内温度確認の業務を行っていた。	50202	7	30～ 49
2009	11	4 ～ 5	当日の午前3時頃、峠下の中継所において、被災者は運ばれてきた各社の新聞を2tトラックに積み、3時過ぎに中継所を出発した。事故までに途中4箇所の新聞販売店に新聞を降ろし次の販売店に向かって走行していたところ、事故現場の緩い左カーブで道路脇の約5m下の側溝に転落した。	40301	17	50～ 99
2009	8	7 ～ 8	被災者は、コンブ漁のため海岸と並行する国道の路肩に軽トラックを停車させ、そのそばに座って準備作業をしていたところ、加害者の大型トラックが軽トラック3台に追突したため被災者もその事故に巻き込まれた。なお、この追突事故で、作業員等4人が被災した。	70201	17	1～9
2009	7	3 ～ 4	被災者は牧場から競馬会関係施設まで競走馬を輸送中に、高速道路下り線で、被災者ら2人が運転する馬運車（大型トラック）が故障したため、路肩に停車し、被災者が車両の前で点検していたところ、大型トラックに追突された。被災者は追突の衝撃で動いた馬運車の下敷きとなった。馬運車に乗車していた同僚1人も負傷した。	40301	17	30～ 49
			被災者は、ゴミ収集車を運転して災害発生現場のゴミ置き場に停止させ、同僚2人とともにゴミの収集を行っていたところ、ゴミ収集車が後			



2009	6	8 ～ 9	進してきたため、これを止めようとゴミ収集車の後ろに回り込み、塀との間にはさまれた。ゴミ収集車のエンジンは停止されておらず、ギアはニュートラル、サイドブレーキを引いていたが、車止めは使用されていなかった。現場の傾斜は約3度であった。	150102	17	100 ～ 299
2009	3	18 ～ 19	被災者は、トラックヤードにおいて、トラックへの壁紙ロール（直径25cm、長さ80cm、重量10kg）の積み込み作業中、トラックの荷台上に積み上げられた荷（地上からの高さ2.2m）の上に乗し、荷受け作業を行っていたところ、直前に被災者後方に積み上げられていた荷が崩れ、この勢いで2.2m下のコンクリート床面上に墜落した。	40301	1	30～ 49
2009	2	10 ～ 11	ゴミ収集作業（戸別収集）において、ゴミ収集車の運転者と収集作業者2人により作業中、ゴミ収集車が町道を左折後、後進運転したところ、ゴミ収集車の後方にいた被災者を左後輪でひいた。	150103	6	30～ 49
2009	2	9 ～ 10	被災者は、運転手と二人でごみ収集の個別委託先であるホテルにおいて、可燃ごみの収集作業を行っていた。ごみ収集車のテールゲートを開けて可燃ごみを積込み、作業を終えたので、運転手が被災者に声をかけて運転席にあるスイッチでテールゲートを閉めた時に、悲鳴が聞こえたので、後部を見に行ったところ被災者が倒れていた。	150101	7	100 ～ 299
2008	9	14 ～ 15	会社所有の4tトラックに丸太を積載して県道を走行中、下り坂の右カーブで横転（助手席側が下）して道路左側の電柱に衝突した。運転席と助手席の2名が死亡した。	10409	17	1～9
2008	12	6 ～ 7	2tトラックで段ボールを運搬するため国道を走行中、交差点で市道からきた軽乗用車と接触し、そのはずみで住宅の塀に激突して死亡した。	40301	17	1～9
2008	6	11 ～ 12	市道の側溝整備工事において、被災者はドラグ・ショベルでダンプの荷台上のモルタル用の砂をほぐす作業を行っていた。作業終了後、居合わせた警備員にダンプを前進させるように依頼した。ところが、誤って後退させてしまったため、ドラグ・ショベルから降りてダンプ	30106	7	10～ 29

			との間にいた被災者がはさまれて死亡した。			
2008	7	19 ～ 20	10tダンプで橋梁下部工事現場へ土砂の運搬作業を行っていた。作業終了後、会社事務所へ戻る途中の県道トンネル付近の見通しの悪い左急カーブで被災者が運転していたダンプが道路から約50m下の谷へ転落した。	30106	17	50～ 99
2008	2	13 ～ 14	整備工場内でダンプ用の油圧シリンダーの漏れを修理するために、トラックの荷台を上昇させてホースを取り外す作業をしていた。整備工場内では高さに制限があったためトラックの荷台が十分に上げられないので、荷台の降下防止用に別の支柱を用い作業していた。その際、セットした当該支柱が外れてトラックの後輪のところにいた被災者は、トラックのサイドバンパーと荷台についているリアフェンダーにはさまれた。	11701	7	10～ 29
2008	11	3 ～ 4	被災者は、10tトラックを運転して国道を走行中、上下計三車線の見通し良い直線道路で対向車線にはみ出したため、対向車線を走行していた13tトラックに衝突して死亡した。	40301	17	30～ 49
2008	11	14 ～ 15	被災者はトラックを運転して事業場から廃油の収集を行った後、帰社する途中の国道の交差点で軽ワゴン車と衝突した。	150102	17	1～9
2008	8	1 ～ 2	13tの大型トラックに取引先からジュース入りペットボトル12tを積み込み、荷卸し地へ向かっている途中、国道の峠で道路左脇の松並木に衝突した。	40301	17	1～9
2008	2	11 ～ 12	コンビニの駐車場で駐車中の無人トラック（15t）が、後ろ向きに動き始めてコンビニ店舗前にいた被災者をひいた。	40301	7	50～ 99
2008	7	3 ～ 4	国道でトレーラーが中央線を越えて前方から来たトラックと正面衝突した。更に後ろから被災者が運転するトラックが追突した。衝突されたトラック運転手と追突したトラック運転手（被災者）が身体を強く打ち死亡した。	40301	17	30～ 49

2008	6	3 ～ 4	自動車道サービスエリアへの進入路において、被災者が運転する大型保冷車（10t）が同進入路右脇に駐車していた大型車3台に相次いで衝突した。被災者は、衝撃で開いた運転席側のドアから車外に投げ出されて身体を打って死亡した。	40301	17	30～ 49
2008	6	21 ～ 22	自動車事故により渋滞中の車両に被災者が運転する大型トラックが追突して死亡した。	40301	17	100 ～ 299
2008	2	9 ～ 10	被災者が市内で開催される会議に出席するため、被災者の運転する軽ワゴン車で国道を歩行中に対向車線にはみ出したため、対向してきた軽自動車に接触後、後続のトラックと正面衝突した。	130109	17	1～9
2008	8	13 ～ 14	産業廃棄物の最終処分場の改修工事現場において、ドラグ・ショベルで掘削した土砂を被災者が2tダンプトラックを使用して運搬していた。その際、道路左側路肩から9.3m下の崖下に転落し、被災者が車外に投げ出されて車体の下敷きになり死亡した。	30199	17	1～9
2008	10	4 ～ 5	国道交差点で新聞配達中のバイクとトラックが出会い頭に衝突した。	80205	17	30～ 49
2008	12	9 ～ 10	被災者は、歩道の舗装作業で使用する小型フィニッシャーの使用前点検を行っていたところ、被災者の後ろから後進してきたトラック（4t）と小型フィニッシャーにはさまれた。	30106	7	10～ 29
2008	10	4 ～ 5	高速道路の片側三車線上で、被災者が12tトラックを運転して左車線を走行中、左車線に車線変更してきたトレーラーに追突して死亡した。	40301	17	10～ 29
2008	12	4 ～ 5	貨物自動車（4t積）を運転してセメントの配送を行っていた途中、国道上で前方に信号停車していたトレーラートラック（24t積）にブレーキ操作することなく追突した。	40301	17	10～ 29
		1	国道走行中の4tトラックが、片側一車線の緩やかなカーブで歩道の縁			

2008	5	～ 2	石に乗り上げて標識板の支柱に激突して運転手が死亡した。	40301	17	1～9
2008	2	～ 23 24	被災者は、4tトラックにて荷受けをして所属事業場に向け出発した。 緩やかなカーブを過ぎ、国道交差点付近に差し掛かったとき、センターラインを90cm程越えたため、反対車線から走行してきた10tトラックと衝突した。（なお、被災場所は片道一車線の直線道路であった。）	40301	17	30～ 49
2008	5	3 ～ 4	大型トラックが交差点を左折して国道に入ってきた際、対向車線にはみ出したため被災者のトラックと衝突して死亡した。	40301	17	1～9
2008	8	～ 4 5	自動車道で路肩に停車していたトラックにトラックが追突した。さらに、後続のトラックが追突して追越車線内に停車したところに被災者が運転するトラックが追突して死亡した。	40301	17	50～ 99
2008	6	12 ～ 13	被災者は、トラックで国道を走行中、交差点付近で信号で停車中の13tトラックに追突して死亡した。	40301	17	1～9
2008	7	～ 10 11	被災者が、ドラグ・ショベルのバケットに備え付けられたフックからワイヤーを取り外そうとしていたところ、後背部から後進してきたトラックに激突されてバケットで強打して死亡した。	150103	6	1～9
2008	11	18 ～ 19	駐車場整備工事現場において、現場の照明のためにエンジンを掛けて前照灯を点灯したまま駐車していたトラックが、無人のまま前進し、前方で作業していた被災者がひかれた。トラックとドラグ・ショベルの前照灯を照明にして作業しており、トラックは、ギアをニュートラルにしてサイドブレーキを引いていたが、輪止め等措置は講じていなかった。	30199	7	1～9
2008	5	～ 11 12	被災者は、トラックで自動車道の走行車線を走行中、インターチェンジの加速車線から走行車線へ進入してきた乗用車と衝突し、その反動で中央分離帯と路側帯の防護壁に激突した後、横転した。	40301	17	10～ 29

2008	4	8 ～ 9	埠頭において、船内のバラの荷集積作業を行うため、岸壁を横切っていた被災者が大型トラックにはねられて死亡した。	50202	17	100 ～ 299
2008	8	5 ～ 6	交差点を右折していたトレーラーと国道を直進していた被災者の運転するトラックが衝突した。	80209	17	10～ 29
2008	6	10 ～ 11	事務所を自動車で出発してカーブを走行中にセンターラインをオーバーしてきた12tトラックと正面衝突した。	30202	17	1～9
2008	7	16 ～ 17	木材を搬出するための作業道において、木材運搬用トラックの運転者である被災者は、グラップルを操作してトラックに木材を積み込んでいたところ、トラックが下り始めた。被災者が、運転席付近に駆け寄り乗り込もうとした際、トラックが作業道脇の盛土部分に乗り上げて横転し、下敷きとなった。	40309	2	1～9
2008	12	23 ～ 24	被災者は、当該事業場所有の大型トラック（15t）を運転して荷を配達した後、国道を走行中に対向してきた大型トラックと正面衝突し、それぞれの運転手が死亡した。	40301	17	10～ 29
2008	1	7 ～ 8	事業所で自社の軽トラックに商品を積み込んだ後、商品の納品先に向かっている途中で道路脇の案内標識柱に激突して死亡した。	10109	17	1～9
2008	2	17 ～ 18	役場庁舎のトイレ用下水マンホール等の設置工事現場で余った残土の運搬作業を4tトラックで10回程度行った。残土の運搬作業を終えた被災者は、事務所に帰るためにトラックで国道を走行中、右カーブで対向車線にはみ出して対向車のトレーラーヘッドと正面衝突し、死亡した。	30110	17	1～9
2008	3	4 ～	トレーラーで鉄板の移送作業を行うためにトレーラーヘッド（牽引する車両部分）を時速15km/hで運転してセミトレーラーの置場へ向かっ	40301	3	1～9

		5	ていた。その際、構内道路上に置いていたブロック架台に激突して死亡した。			
2008	3	21 ～ 22	被災者は、大型トレーラーを運転して高速道路の上り線ランプウェイの左カーブを走行中、右側ガードレールに激突、横転して死亡した。	40301	17	50～ 99
2008	2	12 ～ 13	高速道路上り線をトラックで走行中、前方を走行していた鋼材を積んだ大型トレーラーに追突して車体にはさまれ死亡した。	40301	17	100 ～ 299
2008	2	8 ～ 9	被災者は朝礼を終えて農場の事務所から約500m離れた堆肥場で仕事を行うために軽トラックを運転していた。自動車道の高架下を通り、見通しの悪い十字交差点を走行中に自動車道の側道を直進中の普通自動車と出会い頭に衝突して死亡した。	60101	17	100 ～ 299
2008	12	14 ～ 15	被災者は、スーパーマーケットへ商品を配送するためにトラックを運転して国道を走行中、中央分離帯に乗り上げて自動車道の橋脚に激突した。	40301	17	50～ 99
2008	1	12 ～ 13	トラック（最大積載量36t）に荷（建築用部材）を積み、シートをかぶせるため、トラックの荷台（あおり部、高さ1.65m）に上がり作業を行っていたところ、アスファルトの路面に墜落して死亡した。なお、被災場所には被災者から4m離れた場所にヘルメットが転がっていた。	40301	1	30～ 49
2008	10	9 ～ 10	被災者は、同僚（運転手）とごみ収集運搬車（2tダンプトラック）を使用して、資源ごみの収集作業を行っていた。その際、路上（坂道）に停車していた無人の当該運搬車が前方に動き出したため、当該運搬車を止めようとした被災者が付近の電柱と車両前方右角部分に身体をはさまれ死亡した。	150102	7	30～ 49
2008	1	16 ～ 17	被災者が荷を運送中、国道上で対向車線からはみ出してきたトラックと正面衝突して全身を強く打ち死亡した。	40301	17	10～ 29

2008	12	23 ～ 24	被災者が運転の大型トラック（13.5t）と対向車の大型トラックが正面衝突して死亡した。現場は、片側一車線の見通しのよい直線道路である。	40301	17	1～9
2008	4	9 ～ 10	道路工事規制で停車中の被災者運転の乗用車にトラックが追突して被災者が死亡した。	80209	17	10～ 29
2008	1	9 ～ 10	被災者が2tダンプトラックでアスファルトがらを廃棄物処理場に行きに行った際、ダンプトラックが林道の法面に乗り上げて横転した。被災者は横転したダンプトラックにはさまれて死亡した。	30110	6	10～ 29
2008	7	9 ～ 10	被災者は大型トレーラーを運転して走行中、信号待ちで停車中の大型ダンプカーに追突して死亡した。	40301	17	30～ 49
2008	12	10 ～ 11	被災者は会社の軽トラックを運転して顧客宅へ行く途中、道路左側に停車していた大型トラックに追突して死亡した。	80209	17	1～9
2008	3	9 ～ 10	被災者は、設備の点検を行うため、自転車で別の工場敷地へ向かう途中、敷地の門を出て一般道の交差点の横断歩道（歩行者、自転車用）で信号待ちをしていた。信号が青に変わったため自転車に乗って横断歩道を渡っていたところ、同じく信号が青に変わり門から出て交差点を右折してきた2tトラックにはねられて死亡した。	11502	17	100 ～ 299
2008	2	10 ～ 11	被災者は荷降ろしのために傾斜地にトラックを停めてトラックの外へ出たところトラックが動き出した。それを止めようとしてトラックと共に10mの斜面を滑り落ちてトラックの下敷きとなって死亡した。	40301	7	10～ 29
2008	10	5 ～ 6	被災者が運転していたトラックに、対向車線の大型トラックが中央線を越えて正面から激突した。	40301	17	10～ 29
			国道で配電線改良（電柱抜柱）工事を片側交通規制で施工していたと			

2008	7	12 ～ 13	ころ、大型トラック（14t）が、交通規制誘導作業をしていた被災者を はねて死亡させた。その後、トラックは抜柱作業車に追突し、その弾 みで作業車がタクシー会社の建物内の駐車場に突っ込み、タクシーに 衝突した後、タクシーの傍らにいた作業員2名に衝突した。	170201	17	100 ～ 299
2008	9	1 ～ 2	事務所からトラックに乗車し現場へ向かっていた。自動車道を走行し ていた際、雨天のためタイヤがスリップして道路側面の防護壁に衝突 した。この時、助手席に乗車していた被災者が車外に投げ出されて死 亡した。	30203	17	1～9
2008	8	4 ～ 5	新聞配達のためバイクで道路を走行中、交差点で右折しようと減速し たところ、後方から来たトラックに追突された。	80205	17	10～ 29
2008	6	7 ～ 8	15tトラックで建築用木材を運搬した運転手が、納入先の事業場の敷地 内において、トラックの右横の地面に倒れているのが発見された。保 護帽は着用しておらず、その他、荷台からの墜落を防止する措置も講 じられていなかった。	40301	1	10～ 29
2008	6	21 ～ 22	工場構内の道路において、6人乗り1tトラックに乗車して交替する作業 者を迎えに向かっていたところ、走行中にハンドル操作を誤り左道路 脇縁石に乗り上げた後、反対車線側の建屋外壁（コンクリート造）に 激突して横転した。運転者は死亡し、助手席同乗者は軽傷（不休）を 負った。	11001	3	300 ～
2008	10	10 ～ 11	トンネル（全長1964m）内において、4名が入場してトンネル内の道路 端に設置してある反射材を清掃する作業を行っていた。道路両端に2名 ずつに分かれて清掃作業を行っていたところ、2名がトンネル内を走行 していた8tトラックにはねられて内1名が死亡した。	30199	17	10～ 29
2008	11	4 ～ 5	国道事故対策工事現場において、被災者は、国道で夜間道路工事の規 制解除をするために規制区間内に駐車していた工事規制車両の後方で 作業用コーンの積み込み等の作業をしていた。その際、10tトラックが 工事規制車両に衝突して被災者が工事規制車両と10tトラックにはさま	170201	17	100 ～ 299



			れて死亡した。			
2008	8	5 ～ 6	朝刊配達中、県道で被災者が運転する原付バイクに後ろから来たトラックがバイクを追い越そうとして接触して転倒した際に強打して死亡した。	80205	17	30～ 49
2008	3	6 ～ 7	住宅の新築工事現場に行くため移動式クレーンで国道を走行中、後方を走っていたトラックに追突されて、はずみでガードレールを突き破り、斜面を約20m転落して死亡した。	80409	17	1～9
2008	5	14 ～ 15	新聞料金の集金のために停留所でバスを待っていた際、軽トラックが突っ込んできてひかれた。	80205	17	30～ 49
2008	3	13 ～ 14	工場長である被災者がミキサー車を運転中に乗用車と衝突して横転し、車外に放り出されて下敷きとなった。	10901	17	1～9
2008	8	2 ～ 3	被災者は、トラックでバイパス(公道)の左カーブの追い越し車線で歩行中に中央分離帯に接触して案内標識の支柱と衝突し、車体の左側面を下に横転した。	40301	17	50～ 99
2008	8	22 ～ 23	被災者は事業場に戻ってくる途中、国道上で被災者が運転した大型トラックが前の大型トラックに追突して4台が絡む玉突き事故になり死亡した。	40301	17	10～ 29
2008	8	14 ～ 15	木造2階建ての解体工事現場で、解体現場横の路上にトラック(4t積み)を止めて解体後の廃材を積み込んだ後、ロープ掛けのためにトラックに積んだ廃材の上部(高さ約3.6m)に上がっていた時、バランスを崩してコンクリート路上に墜落した。	30209	1	1～9
2008	8	11 ～ 12	被災者が用務のために原動機付自転車で外出中、交差点付近で信号待ちしていたところ、後方から大型貨物自動車に追突されて転倒し、大型貨物自動車の右前輪でひかれた。	80409	17	1～9
			コンテナトレーラーに乗務後の被災者らは、事業場内で前輪を架台			

2008	12	13 ～ 14	(高さ約20cm)に乗せた状態のトレーラー牽引車両の下に潜り、エンジンオイルの交換作業を行っていた。このとき、別の作業者が当該車両のエンジンをかけたところ、突然、車両が前進して約11m先に移動した。このため、車両の下で作業していた作業員2名がひかれて1名が死亡した。	40301	7	10～ 29
2008	1	7 ～ 8	被災者は建設工事現場の交通誘導を行う警備員である。元方事業者の施工する新築工事現場内に鉄筋を運搬してきた大型トラック（15t積）を誘導している際、後進している同車後部に接触したため転倒して同車にひかれて死亡した。	170201	17	10～ 29
2008	7	3 ～ 4	バイクで朝刊配達をしている最中、交差点で右から来たトラックの前方に進入して接触した。	80205	17	10～ 29
2008	7	6 ～ 7	納品のために最大積載量2.3tの冷蔵冷凍車（以下、車両という）で水産物及びその加工品を運送中、国道から自動車道に合流する接続道路で右カーブを曲がりきれずにガードレール及び側道の木に激突した。被災者は、車外に投げ出された直後に惰性で走行した車両に激突されて死亡した。	40301	17	10～ 29
2008	2	5 ～ 6	2tロング車で自社へ帰路途中、自動車道で一時停止していた被災者車両へ8t車両が右後方より追突して被災者が死亡した。	80109	17	1～9
2008	11	13 ～ 14	貨物自動車（ダンプトラック）で土砂を工事現場から処理場に運搬する途中、前方に停車していたコンテナトレーラーに追突した。	40301	17	10～ 29
2008	8	2 ～ 3	高速道路サービスエリア入口で仮眠のために停車していた貨物自動車に、被災者が乗務していた貨物自動車に追突した。	40301	17	50～ 99
2008	4	6 ～	高速道路を4tトラックで走行中、後続車両（4t保冷車）が乗用車に追突した後、被災者が運転するトラックの右後部に追突した。トラックは	40301	17	50～

		7	追突された衝撃で横転して被災者が死亡した。			99
2008	3	10 ～ 11	国道拡張による法面工事現場において、コンクリート法面の補修作業を行っていた被災者が、休憩するために休憩場所へ向かって移動していた時、土砂搬入のために後進してきたトラックにひかれて死亡した。	30106	7	30～ 49
2008	12	15 ～ 16	被災者が2tトラックで持ち込んだ枝切りりしたものを廃棄物処理場に荷卸した後、被災作業者が約15度の傾斜のある場所に運転席を下方にする状態でトラックを停車させて運転席から離れたところ、トラックが下方に動き出したため、運転席のドアを開け乗り込もうとした時、側壁に押されたドアと車体の間にはさまれ死亡した。	60101	7	0
2008	12	5 ～ 6	被災者は、ホテル内に設置されている遊戯具の定期メンテナンス業務を行っていた。作業場所から車に積んである工具を取りに駐車場所に行き、作業場所へ戻るためにホテル敷地内を徒歩で移動していたところ、後進してきたリネン会社の車両にひかれて死亡した。	11702	6	30～ 49
2008	7	22 ～ 23	現場のガス管修繕工事が完了した後、被災者が3tダンプカーを運転して事業場まで戻り、坂道となっている道路にダンプカーを停めて事業場の門扉を開けたところ、無人のダンプカーが後進してきて門扉との間にはさまれてひかれ死亡した。	30309	7	1～9
2008	1	16 ～ 17	事業場内において、金属スクラップを積載したトラックが所定位置に駐車するために後退している際、走路上に隣接した作業場で作業を行っていた被災者が走路上に侵入してトラックに追突された。	11009	6	30～ 49
2008	12	10 ～ 11	運送会社のトラック（14.7t車）を棟内に誘導していた被災者が、後進するトラックの後部と建物の鉄筋コンクリート製の壁との間にはさまれた。	80109	7	10～ 29
2008	5	10 ～ 11	工場内の二酸化炭素ポンベの圧力ゲージの取替作業のために軽トラックで移動中、居眠りをしたため工場内道路（幅員18.6m）の側面建屋のコンクリート柱（壁）に正面衝突して死亡した。	11501	3	300 ～

2008	3	10 ～ 11	容器・梱包用廃プラスチックの分別等を行う事業場で、屋外に駐車してあったダンプが動き出し、ダンプとリサイクル用プラスチック置場の鉄柱との間にはさまれて死亡した。	11709	7	10～ 29
2008	2	8 ～ 9	木材置き場造成等工事現場で、停車中のダンプトラックの荷台後部付近で立っていた被災者に他のダンプトラックが後進してきたため、停車中のダンプトラックの荷台と他のダンプトラックの荷台にはさまれた。	30109	6	1～9
2008	2	5 ～ 6	4tの冷凍車を運転し高速道路を走行していたところ、運転席から出火したため車両を路側帯に停車したが、車外に避難できず、シートベルトをしたままの状態に焼死した。	40301	16	10～ 29
2008	1	16 ～ 17	国道上において、被災者が運転していたトラックと、反対車線から走行してきたトラックが正面衝突して被災者が死亡した。現場は峠の頂上付近で見通しが悪い場所であった。	40301	17	1～9
2008	10	5 ～ 6	被災者は、4tトラックを運転し自動車道を走行中、道路上で先に発生した車両火災により渋滞していた車列の最後尾の大型トラックに追突した。	40301	17	1～9
2008	12	12 ～ 13	工場の南側法面で刈り取った雑草を軽トラックに積み込むため、被災者は軽トラックの荷台に乗り、荷台にシートを敷いていたところ、軽トラックの荷台から60cm下のアスファルト面に墜落して死亡した。	10902	1	100 ～ 299
2008	3	14 ～ 15	事業場から取引先に商品を配達して帰社の途上で国道上で信号待ちで停車していた4tトラックに追突した。	10101	17	1～9
2008	10	16 ～ 17	被災者らは、伐倒し土場に集材した伐倒木（杉及び桧）をトラックに積載する作業を行っていた。グラップルでトラックの荷台に積載した伐倒木の整理をトラック運転手と被災者が行っていたところ、荷台の最後部で作業をしていた被災者が地上からの高さ1.6mのトラックのあおりの上から地面に墜落した。	60201	1	1～9

2008	3	8 ～ 9	被災者が軽貨物自動車です工事現場に向かうため、県道を走行中に反対車線を走行していた乗用車がセンターラインを超えてきて正面衝突した。	30301	17	1～9
2008	12	18 ～ 19	工事現場での作業を終了した後、当該事業場所有のワンボックス車に同乗して自社へ帰路の途中、国道交差点で同交差点を右折しようとした乗用車と衝突し、その弾みで電柱・ガードレール等に激突して後部座席にいた2名が車外に投げ出され死亡した。	30201	17	1～9
2008	12	18 ～ 19	工事現場での作業を終了した後、当該事業場所有のワンボックス車に同乗して自社へ帰路の途中、国道交差点で同交差点を右折しようとした乗用車と衝突し、その弾みで電柱・ガードレール等に激突して後部座席にいた2名が車外に投げ出され死亡した。	30201	17	1～9
2008	8	8 ～ 9	通用門手前にトラックを駐車して通用門の守衛室で書類手続き中の同僚のもとに向かったところ、駐車していたトラックが逸走し、トラックに激突された。	150101	6	100 ～ 299
2008	6	9 ～ 10	県道交差点でバキュームカーと軽乗用車が出会い頭に衝突してバキュームカーを運転していた被災者が死亡した。	150109	17	10～ 29
2008	12	12 ～ 13	自動車道パーキングエリア流入路で車内で休憩していた14tトラックに被災者が運転する10tトラックが衝突し、身体を強く打ち死亡した。	40301	17	300 ～ 499
2008	7	12 ～ 13	高速道路で大型トラックを運転中に、登坂車線を走行していた前方の大型トラックに追突し死亡した。	40301	17	100 ～ 299
2008	11	18 ～ 19	被災者は配送後、荷台の梱包材を廃材置場に下ろし、翌日配達分を積み込んだ後、所定の場所にトラックを停車させた。運転室内のあった梱包材を降ろすため、助手席側から乗車したところ、突然トラックが動き始めた。被災者は降車してトラック右前部を押して止めようとした。この様子を見た同僚も加わり2人で押したが停車せず、トラックに	40301	7	10～ 29

			押されまま周辺に駐車中の別のトラック右前部との間にはさまれた。			
2008	5	16 ～ 17	被災者は、運搬先事業場まで4tトラックにて荷を運送中、カーブを曲がりきれずに中央分離帯に衝突、横転して死亡した。	40301	17	10～ 29
2008	10	10 ～ 11	被災者は荷（丸棒）を運び帰社するため国道を走行中、追い越しをしたときにスリップしてガードレールにぶつかり運転席から投げ出されて死亡した。	40301	17	30～ 49
2008	10	6 ～ 7	雨が激しく降っている中、片側二車線の道路でトレーラーを運転走行中、道路にできていた轍にハンドルを取られて反対車線に飛び出したため、対向車線のトラックと接触して運転していた被災者が死亡した。	40301	17	50～ 99
2008	5	14 ～ 15	被災者が鋼材を積んだ大型トラックを運転して国道を走行中、交差点で信号待ちしていた大型トレーラーに追突した。	40301	17	10～ 29
2008	12	23 ～ 24	タクシー運転手の被災者が車庫に帰る途中、交差点で信号が赤のため停止した。信号が青になり交差点内に進入したところ、赤信号を見落として直進してきた4t保冷車に激突された。	40201	17	30～ 49
2008	11	4 ～ 5	ゴミ回収作業中に交差点で右折した際、中央分離帯に車両の右前輪が乗り上げて横転し、助手席の被災者が車外に投げ出されて車両の下敷きになった。	150103	17	30～ 49
2008	1	8 ～ 9	トラックの荷台で荷に掛かっているユニット用シートを取り外そうとしたところ、足を踏み外して転落した。	40301	1	30～ 49
2008	7	11 ～ 12	トラック・バス整備工場において、被災者が大型観光バスの洗車をしていたところ、その背後からタンクローリーが前進してきて当該大型観光バスとタンクローリーの間にはさまれて死亡した。	11701	7	10～ 29
		9	高速道路追越車線をトラックで走行中、路肩車線に急に入り200mほど			50～

2008	7	～ 10	走行したのち、路肩の側壁に車両左前が激突した。	40301	17	99
2008	5	～ 6	5 中型トラックにてプラスチック箱を積んで国道を走行中、センターラ インをはみ出して反対車線の道路沿いの空き地に駐車していた大型ト ラックに正面衝突した。	40301	17	30～ 49
2008	6	～ 11	10 自動車道でトラック4台が絡む玉突き事故で4台のうち最後尾から追突 した大型保冷車の運転手が死亡し、3台の運転手3名が休業災害となっ た。	40301	17	30～ 49
2008	3	～ 15	14 被災者が最大積載荷重20tのダンプトラックの荷台に約13tの砂利を積 んで、長さ約60m、幅員約5.5m、平均斜度約10度の採石工場内の車両 通行用道路を降りていた。その際、ダンプトラックが道路路肩を逸脱 し、約40度の路肩斜面を一回転半して約3.5m下の地面へ転落し、横倒 しとなったダンプトラックの下敷きになった。	20201	1	10～ 29
2008	1	～ 13	12 ゴミの収集中、作業員2名が収集車の後部の開口部付近に乗り、取っ手 につかまって移動していたところ、車が揺れたため2人とも道路上に転 落して1名が死亡した。	150103	1	30～ 49
2008	4	～ 12	11 被災者がツアー客を乗せて観光バスを運転し、高速道路を走行中、対 向車線を走行中の大型トラックの左後輪の前部外側タイヤがホイール を固定するボルトが破断したためタイヤが外れ、中央分離帯を乗り越 えてバスの運転席に激突した。	40202	17	50～ 99
2008	2	～ 10	9 交差点を進行中の路線バスに、左からきた大型トレーラが衝突し、そ の衝撃でバスの運転者は車外に投げ出されて死亡した。バスは、運転 者不在のまま約50m走行し、路肩に衝突して乗客13名が負傷した。	40202	17	50～ 99
2008	1	～ 17	16 道路舗装工事の現場において、被災者が単独で仮設の配水管の設置作 業を行っていた際、ダンプトラックの荷台の下と車台（シャーシ）と の間ではさまれているところを発見された。	30106	7	1～9
		9	上水道管敷設工事において、国道を片側一車線規制にして被災者が交			

2008	10	～ 10	通整理及び重機置場の誘導を行っていたところ、規制車線内で誘導予定の最大積載量4tのダンプトラックが後進してきたため、その後部に接触して倒されてダンプトラックと路盤の間にはさまれて死亡した。	170201	6	30～ 49
2008	7	～ 17	訪問先の事業場において、被災者が乗ってきたトラックの荷下ろしを行った後、当該事業場前の駐車場で待機していた同社社員が運転する車両総重量8tの中型トラックを事業場内に入れるため、幅5mの道路上で中型トラックの後方誘導を行った。誘導後、中型トラックがハンドルを左に切りながら前進したところ、車両後方が右側に振れたため車両右後方にいた被災者がトラックと民家のブロック塀の間にはさまれた。	40301	17	50～ 99
2008	2	～ 14 15	下水道工事後の市道の復旧舗装工事現場において、午後2時過ぎに舗装路盤の碎石敷き及び路面調整作業が終了した時、雪が降り始めていたため、同日の作業は終了することとした。現場内に置いてある工具類、ポリタンク等を集めた後、積載荷重1tのトラックに載せるために他の作業者がトラックを運転して現場方向に進入したところ、トラックが暴走してトラックに背を向けて歩いていた被災者をはねた。	30106	6	1～9
2008	10	～ 22 23	被災者は、トラックに積んであった木製パレットをフォークリフトで荷台から降ろすため、トラックの左側後方荷台あたりの高さまでフォークを上げた状態でフォークリフトを止めてウイングを開いた。更にバッテリーを下方へ開くため、バッテリーレバーを外したところ、積んであった木製パレットがバッテリーに寄り掛かり、その重みでバッテリーが勢いよく倒れて被災者を強打してバッテリーとフォークの間にはさまれた。	40301	6	50～ 99
2008	12	～ 16 17	倉庫壁面の窓枠の設置箇所の上部分の防錆塗装を行った際、貼り付けられていたマスキングテープをはがす作業を軽四輪貨物車の荷台を足場として行っていたところ、荷台から転落して死亡した。	80209	1	1～9
2008	10	～ 23	タンクローリーに重油を積むために国道を走行中、トンネル出口付近の左カーブで対向してきた10tトラックと衝突した。その反動で車外に	40301	17	10～



		24	放り出されて後輪にひかれた。			29
2008	4	9 ～ 10	木材（杉、直径約20cm～60cm、長さ4m～7m）を仮置き場から市場に運搬するため、車両積載形クレーンを備えたトラック（最大積載荷重2750kg）に木材を積む作業をしていた。積荷が終わり、トビグチを使用して木材の整理作業中、荷台サイドのバッテリー（あおり）（地上高さ1.42m）から墜落した。	60201	1	1～9
2008	11	9 ～ 10	軽トラックで商品の配達中、交差点で右側から走行してきた10tダンプトラックと出会い頭に衝突した。	80209	17	1～9
2008	10	10 ～ 11	被災者は、注文先の事業場に給食弁当を配達するため県道を走行していたところ、対向車線を走行してきたトラックがセンターラインをオーバーして被災者が運転する軽トラックと正面衝突した。さらに、軽トラックは後続のタンクローリー車に追突されて搬送先の病院で死亡した。	10109	17	30～ 49
2008	3	12 ～ 13	国道を走行中の2人乗務のトラック（積載荷重15t）が誤って側溝に脱輪した。その衝撃で運転席後部ベッドで仮眠していた交替運転手が側壁から突き出たコンクリートブロックに激突した。	40301	17	10～ 29
2008	2	14 ～ 15	被災者は、タイヤチェーンを装着するため路肩に停車して車体後部の方へ移動していた。被災者のトラック（積載荷重11.9t）を避けようとした後続のトラックが雪でスリップして両方のトラックの間にはさまれて死亡した。	40301	17	100 ～ 299
2008	12	15 ～ 16	軽自動車を運転して営業している際、国道と市道の交差点において、市道で信号待ちのため停車していた、国道を走行していたダンプカーが対向車を避けようとしてハンドル操作を誤り、軽自動車を巻き込んだ。	90101	17	1～9
2008	7	16 ～	トラックで営業先から戻る途中、対向車線からはみ出してきたトラックと衝突して死亡した。	80109	17	10～ 29

		17				
2008	12	14 ～ 15	<p>自社資材置き場での資材撤去作業において、クレーン機能付ドラグ・ショベルでH鋼材2本（500kg/本）を11tダンプトラックの荷台に積み込み、玉外しの時、ダンプトラックを約10度の傾斜地に停車していたため、後方に逸走した。この際、つり荷が振れたため被災者が荷台から墜落し、直後に落下してきた鋼材の下敷きとなった。</p>	30199	1	1～9
2008	12	14 ～ 15	<p>小学校内で給食用の食器の入ったコンテナの積み込み作業中、トラックのテールゲートの上で3個目のコンテナを荷台に積み込む時、突然、トラックが前に動き出したため、トラックのテールゲートから墜落して積み込んでいたコンテナが落下してはさまれた。</p>	10109	1	100 ～ 299
2008	8	15 ～ 16	<p>商品を積んだトラックで国道トンネル内を走行中、センターラインを越えてはみ出してきた対向車両（10tトラック）と正面衝突して双方の運転手が死亡した。</p>	80109	17	1～9
2008	8	7 ～ 8	<p>帰社するため自動車道をトラック（13t）で走行中に車体が道路左側面のワイヤ及び防音壁に接触し、横転、炎上した。</p>	40301	17	10～ 29
2008	4	2 ～ 3	<p>国道をトレーラーで走行中、スピードの出し過ぎからカーブを曲がりきれずにガードレールを突き破り30m下の湖に転落して死亡した。</p>	40301	17	30～ 49
2008	6	12 ～ 13	<p>被災者はパッカー車を運転してゴミ回収先から事業場の駐車場に戻り、サイドブレーキをかけてエンジンをかけたまま停車した。回収物を降ろすために運転席から車両後部に回ったところ、パッカー車が無人のまま後退して下敷きとなった。</p>	80109	7	10～ 29
2008	12	3 ～ 4	<p>新聞配達業務のため原動付自転車（一種）に乗って交差点（信号機あり）を直進したところ、交差点右側（片側二車線）から赤信号を無視して進入してきたゴミ収集車（2t）に側面衝突された。</p>	80205	17	30～ 49
		16	<p>街路樹の刈込み作業終了後、後片付け及び清掃作業をしていたとこ</p>			

2008	6	～ 17	ろ、後退してきた2tトラックにひかれた。	30199	17	1～9
2008	5	22 ～ 23	道路清掃作業（路肩排水枘等の清掃）のため、自社車両センターから「高圧洗浄車とバキューム車、3人の班」で出発して道路上を走行中に車線変更した際、ハンドル操作を誤り、左の歩道側街路樹に接触した反動で右に横転（1回転近く）した。運転者は死亡した。	150109	17	30～ 49
2008	11	8 ～ 9	塗装を終えた製品（金属製フレーム重さ約200kg）をフォークリフトを用いて4tトラックの荷台に積み込んだ後、荷台上で作業員4名とトラックの運転手1名の計5名で製品を回転させたところ、高さ約1mの荷台の端から被災者が後ろ向きに墜落して死亡した。	11209	1	10～ 29
2008	6	7 ～ 8	小学校の通学路の交通安全員である被災者が、学校付近で校外学習に向う観光バスの誘導を手伝うため車道に出たところ、バスの横を通過しようとした大型トラックにひかれ死亡した。	120109	17	30～ 49
2008	5	6 ～ 7	40フィートコンテナとトレーラーヘッドの連結作業を一人で行っていた。連結作業が終了し、シャーシの足の収納後、トレーラーが動き出してトレーラーヘッドとトレーラーの横に置いてあったコンテナシャーシ（40フィートコンテナが積んであるもの）との間にはさまれ死亡した。	40301	6	50～ 99
2008	5	9 ～ 10	工場内のテストコースにおいて、トレーラー走行時の振動騒音試験を実施中、部品の不具合があったため、試験技術担当の被災者は車体の下部分を点検をしていた。被災者が事務所に移動して打ち合わせしているものと思い込んだ運転者が、トレーラーを事務所に移動させるため動かしたところ、点検中の被災者をひいた。	11502	7	1000 ～ 9999
2008	5	13 ～ 14	集金に向かう途中、反対車線にはみ出して相手車両と正面衝突した。	90101	17	10～ 29
2008	7	10 ～	老人福祉施設へ自転車で出向きリフォームの打ち合わせをした後、帰社途中の交差点の歩道を横断中に左折してきた大型貨物車と衝突し	30209	17	1～9

		11	た。			
2008	5	4 ～ 5	20tトレーラーに荷（コピー用紙）を積載して事業場から訪問先へ向かって走行していたところ、車体が側壁に衝突した。被災者は車外に投げ出されて高架道路より約10m下の河川敷まで墜落して死亡した。	40301	17	10～ 29
2008	4	6 ～ 7	商品納品のため国道をトラックで走行中に交差点を通過しようとした際、左側から自転車が進入してきたため、それを避けようとしてハンドルを切ったところ、中央分離帯、対向車線（2車線）及び対向車線側の歩道を乗り越えて歩道脇の建造物に激突して死亡した。事故当時の車道側の信号は青であった。	40301	17	10～ 29
2008	8	12 ～ 13	被災者らは高速道高架橋つなぎ目部分の段差解消工事（伸縮継手補修工事）を道路規制を行った上で実施していた。当該段差解消工事が終了し、被災者らが道路規制を解除しようと片付け作業をしていたところ、後方から来た13tトラックが道路規制をしていた作業場所に進入して駐車していた標識車や被災者などに追突した。この事故により2名が死亡、2名が負傷した。	30199	17	10～ 29
2008	4	12 ～ 13	訪問先から帰社するために高速道を走行中、渋滞のため前車が減速したところへ追突した。	40301	17	30～ 49
2008	1	4 ～ 5	国道の歩道舗装工事終了後、ドラグ・ショベルを4tトラックに積み込む作業のため、車道にカラーコーンとバーで規制をしていた。規制した脇の車道をトラックが通過していたところ、警備員が工事規制内から車道に出たため4tトラックの左前部に衝突した。	170201	17	50～ 99
2008	4	20 ～ 21	被災者の運転する軽貨物車が交差点にさしかかった時、交差走行する普通貨物自動車に側面を衝突されて死亡した。	150101	17	30～ 49
2008	10	23	工場に荷物運搬のため国道のトンネルを出たところを4tトラックで走行中、反対車線を走行していたトレーラーが車線をはみ出して、被災	40301	17	10～ 29

		24	者が運転していた4tトラックに正面衝突して死亡した。			
2008	10	5 ～ 6	自転車で新聞配達途中に交差点で信号待ちをしていたところ、右折してきたトラックが対向車線をはみ出して被災者に激突した。	80205	17	10～ 29
2008	12	9 ～ 10	ビル新築工事現場内において、配管設置のための掘削工事等を行っていた被災者が、配管部品を取りに現場内を移動していたところ、現場敷地内にバックで入ってきたトラックと建設中の躯体との間にはさまれ死亡した。	30199	7	1～9
2008	3	8 ～ 9	解体工事現場において、ドラグ・ショベルで解体したコンクリートガラをダンプに積み込んで搬送する作業中、荷台で作業していた作業者が地上に降りたところ、動きだしたダンプと建物外壁にはさまれて死亡した。	30209	7	1～9
2008	1	12 ～ 13	火力発電所放水路基礎杭移設工事ならびに関連除去工事において、警備業務の委託を受けている事業場の作業者が、地盤改良作業で発生する廃泥を搬出するタンク車の誘導作業を行っていたところ、バックで走行していたタンク車にひかれた。	170201	7	300 ～ 499
2008	12	11 ～ 12	し尿収集運搬用のバキュームカー（最大積載量3.65t）のタンク上（高さ1.7m）でホースを取り外す作業を行っていた際に、バキュームカーが前進したため、際にタンク上から墜落した。バキュームカーは運転手が被災者に合図をして、被災者が作業を中断したことを確認後に前進させた。被災者は保護帽を着用していなかった。	150103	1	10～ 29
2008	4	4 ～ 5	新聞配達中に自転車で国道を横断する際、トラックにひかれた。	80205	17	10～ 29
2008	12	6 ～ 7	前日にじん芥車で収集した段ボール古紙を、納品先に納品し退出する際、被災者はじん芥車を納品先構内から路上に出して車両を止めて運転席から離れて閉門しようとした。その時じん芥車が逸走したため、これに気付いた被災者が車両に駆け寄ったところ、門の壁とじん芥車	80209	17	1～9

			にはさまれて死亡した。			
2008	6	22 ～ 23	被災者は、最大積載量2950kgのトラックで、食料品2.3tを運搬中に道路上で減速中の前方大型車両に追突した。前方車両運転手も軽症を負った。	40301	17	50～ 99
2008	3	13 ～ 14	道路補修工事のための路面測量中に通過車両にはねられ死亡した。	30106	17	1～9
2008	8	12 ～ 13	高速道の追い越し車線において、ジョイント部分における消音のための舗装作業を行っていた。舗装作業の終了後、規制を解除して現場から離れようとしていたところ、工事中であることを表示している標識車に13tトラックが後方から追突して標識車付近にいた被災者らが追突したトラックや標識車の下敷き等になり2名が死亡、2名が負傷した。	170201	17	50～ 99
2008	6	3 ～ 4	国道上の交差点の信号が赤になったので、前方に停まっていたトラックの後に停めたところ、後ろから来たトラックに追突されて被災者の乗っていたトラックが前方のトラックに追突してはさまれて死亡した。	40301	17	100 ～ 299
2008	3	3 ～ 4	自転車で朝刊配達中に信号のない交差点を進行していて、後方から来たトラックにはねられて死亡した。	80205	17	10～ 29
2008	5	11 ～ 12	被災者は、最大積載荷重が12.9tのウイング付き貨物自動車のウイング左前方のシリンダー付近からの油漏れの点検中にウイングにはさまれて死亡した。	40301	7	100 ～ 299
2008	1	3 ～ 4	ごみ収集のため、3名で2tトラックにてごみ収集に向かう途中、国道の中央分離帯の縁石に乗り上げて横転した。	150102	17	10～ 29
2008	3	17 ～	建設現場から事業場に戻る途中、片側一車線道路で対向車と衝突した。	30203	17	1～9

		18				
2008	2	11 ～ 12	事業場の西側出入口付近の未舗装の市道上で、バックしてきたゴミ収集車にひかれて死亡した。	150109	17	10～ 29
2008	12	5 ～ 6	被災者は、弁当（朝食用）配送のため、軽トラック保冷車で目的地に向う途中、橋上の路面が凍結していて、スリップし、スピンしてガードレールに衝突して運転席より投げ出されて死亡した。	10109	17	30～ 49
2008	10	7 ～ 8	被災者は郵便物をトラックで運送中、運転していたトラックの荷台の荷を確認していたとき、トラックが後退して被災者が当該トラックに巻き込まれて死亡した。	40301	7	30～ 49
2008	6	9 ～ 10	マンション管理人である被災者が荷物搬出入業者のトラックと電柱にはさまれ死亡した。	170209	17	100 ～ 299
2008	5	12 ～ 13	トレーラーで港内岸壁を走行中に構築物に接触してトレーラーヘッドが自走できない状態になった。このためトレーラーヘッドをレッカーで移動するために被災者は、運転席を整理して降りる際、海に転落して死亡した。	40301	1	10～ 29
2008	11	17 ～ 18	飲料水をトラックに積み自動車道を走行していた。2台前を走行していた乗用車が猪をはねて停止したため、前方を走行していた高速バスが乗用車を避けながら減速して車線変更したところ、後方を走行していた被災者の車両が減速しきれずに高速バスに追突して死亡した。	40301	17	10～ 29
2008	7	3 ～ 4	国道上で、走行していたトレーラーが対向車線にはみ出して対向車線を走行していた大型トラックと衝突した。更に後続トラックが追突した。本件災害により、2名（トレーラー運転者及び大型トラック運転者）が死亡し、1名（後続トラック運転者）が重傷を負った。	40301	17	30～ 49
2008	5	14 ～	自動車部品を積んでいた2tトラックを駐車場所に誘導していたところ、転倒してトラックの後部ステップと壁の間にはさまれて死亡し	80109	7	10～ 29

		15	た。			
2008	7	13 ～ 14	事業場構内でクレーン積載形の4tトラックに荷物（プレカット材）を積み込んだ後、同僚1名と共に荷締め作業を行っていた。被災者は、積み込まれた荷物の上（地上高さ約2.5mの位置）で当該作業をしていたところ墜落して死亡した。	50101	1	10～ 29
2008	12	12 ～ 13	灯油の配達作業のため坂道に灯油タンクを積んだトラックを止めて、10数m下った場所で灯油タンクからポリタンクに灯油を入れる作業をしていたところ、後退してきたトラックと道路脇の電柱の間にはさまれた。	80204	17	1～9
2008	8	7 ～ 8	農場の敷地内において、2tトラックAが故障したため、2tトラックBでけん引して約1.5m移動させて止めた。この時、被災者はAトラック、同僚がBトラックを運転していた。その後、Bトラックの運転手は、後方のAトラックが近づいてくるのが見えたため、後方確認を助手席の作業者に依頼した。助手席の作業者がBトラックの後部を見たところ、Aトラックの前部との間にはさまれている被災者を発見した。	70101	7	1～9
2008	3	3 ～ 4	高速道路上でトラックを運転していた際、後方から来た大型トラックに追突されて、その勢いでガードレールを突き破り、トラックごと法面をすべり約6.6m下の側道に転落して死亡した。	40301	17	30～ 49
2008	10	5 ～ 6	被災者は定期便の2.8tトラックを運転中、国道の赤信号で停車中の20tトレーラーに追突した。	40301	17	10～ 29
2008	9	16 ～ 17	牧場内に堆肥場を新築する工事において、4tダンプトラックで運搬してきた土砂を埋め戻し場所に搬入する作業を行っていた。被災者が運転席で4tダンプトラックの荷台を上昇させたところ、4tダンプトラックが右側に横転しドアにはさまれて死亡した。	30209	2	1～9
2008	9	6 ～ 7	被災者がタンクローリーを傾斜地（斜度8度）に停車させて汚水を積み込み（吸引）作業中、タンクローリーが後退し、後輪の下敷きになり死亡した。	150102	7	10～ 29



2008	8	14 ～ 15	2.75tダンプトラックで建築廃材を中間処分場に運搬中、スピードの出すぎでカーブを曲がりきれずに橋の欄干に激突した。	30209	17	1～9
2008	12	1 ～ 2	被災者は4tトラックで、国道を走行中に、赤信号で停車中のトレーラーの後部に追突した。現場は、直線で平坦な道路である。	40301	17	10～ 29
2008	7	2 ～ 3	空車の大型トレーラーで荷積地へ向かうために事業場を出発した後、休憩をとるために国道上り車線にあるバス専用の停車場所に停車してトレーラーの後方にいたところ、大型トラックが追突した。被災者は大型トラックと大型トレーラーの間にはさまれた。	40301	17	100 ～ 299
2008	7	8 ～ 9	国道のライン引き工事現場の交通誘導場所へ向かうため、車を降りて道路を横断しようと車道に出た際に走行してきた2tトラックにはねられた。	170201	17	50～ 99
2008	7	11 ～ 12	採石場内において、石を運搬するため重ダンプを運転して約15度の坂道を登っていた際に、ダンプの駆動軸の連結部品（ユニバーサルジョイント）が破損脱落してダンプが制御不能となり、坂を逆走して調整池にダンプごと転落した。	20201	1	1～9
2008	3	2 ～ 3	10t大型トラックで雑貨品を輸送中に前方を走行するトラックに追突して運転手が死亡した。なお、追突されたトラックの運転手に怪我はなかった。	40301	17	30～ 49
2008	2	5 ～ 6	被災者の運転する大型トレーラーと中型トラックが交差点内で衝突して、交差点そばのコンビニエンスストア駐車場に双方の車両が進入して大型トレーラーが横転した。横転後、被災者は運転席から救出され、病院へ搬送されたが死亡した。なお、中型トラックの運転者も運転席から投げ出されて負傷した。	40301	17	10～ 29
2008	4	8 ～	施工現場に向かう途中で、被災者が元請所有の2tダンプトラックのエンジンを停止してダンプから降りて会社の上司を待っていたところ、	30209	6	1～9

		9	停車したトラックが後退してきて、その下敷きとなり死亡した。			
2008	9	1 2	被災者は大型貨物自動車を運転中に前方を走行していた乗用車と物損事故を起こした。大型貨物自動車の運転席から降車して現場を確認しようとして歩行していたところ、後方から走行してきた他社の大型貨物自動車にはね飛ばされて死亡した。また、大型貨物自動車は乗用車にも衝突して助手席に乗車していた者も死亡した。	40301	17	10～ 29
2008	8	14 15	国道トンネル内（片側一車線）において、被災者の運転する大型トラック（10t積）が走行中、トンネル内でセンターラインをはみ出して対向してきた保冷車と正面衝突して双方の運転手2名が死亡した。	40301	17	10～ 29
2008	9	10 11	ドラグ・ショベルの修理依頼を受けた被災者が、工事現場でドラグ・ショベル後部のエンジン修理をしていたとき、工事のため路上に駐車していた4tダンプトラック（土砂をほぼ満載）が3%の傾斜路を無人で後退してきて4tダンプトラックの後部とドラグ・ショベルの間にはさまれて死亡した。	11702	6	1～9
2008	6	14 15	赤信号のために停車していた乗用車等に、被災者が運転していたトラック（普通貨物自動車：積載量1.5t）が追突し、死亡した。現場は見通しのよい直線道路（下り勾配1度）であり現場にはブレーキ痕はなかった。	80209	17	1～9
2008	2	9 10	墓誌の設置工事を終了し、同社の加工工場に軽トラックで向かっていった途中の国道で対向車線にはみ出して、対向してきた大型トラックに正面衝突した。	30209	17	10～ 29
2008	12	5 6	高速道を4tトラックで走行中に前を走っていた10tトラックに追突した。追突後、車体が2m程度10tトラックにめり込んだ状態で約20km引きずられた後に10tトラックが停車した。その時には、4tトラックは全焼しており、その運転席から遺体が発見された。	40301	17	10～ 29
2008	12	20 21	一般道をトラックで走行中、軽自動車に追突されたため、運転席から降りて歩いていたところ、走行してきたトラックにひかれた。	40301	17	30～ 49

2008	4	10 ～ 11	タンク改修工事に従事していた被災者は、休憩が終わり作業現場に戻ろうとして屋内の現場に入るために設けた仮設の出入口で靴等の履き替えていた。そこに隣の現場（同一元請の別の請負）から出た廃材を積み込むためのトラックが仮設の出入口に突っ込み被害者をはねた。	30302	6	30～ 49
2008	12	17 ～ 18	ダンプトラックを使用した土砂運搬作業の終了後、荷台の土砂の清掃作業を行った後、ダンプトラックより転落して死亡した。災害発生時にヘルメットは着用していなかった。	30106	1	30～ 49
2008	5	1 ～ 2	自動車道の下り線で、被災作業者が運転する大型トレーラーが中央分離帯を突き破り、上り線側路肩に停車した。その際、被災作業者は車外に投げ出され死亡した。シートベルトは着用していなかった。	40301	17	30～ 49
2008	10	18 ～ 19	被災者は荷積み箇所では荷積み後、次の荷積み場所に向かって4tトラックを運転走行していたところ、前方赤信号で停車していた大型トラック（13t）の後部に追突して死亡（即死）した。	40301	17	50～ 99
2008	9	9 ～ 10	被災者は跨線橋の道路舗装工事現場で既設アスファルト路面の切削作業終了後、当該作業終了地点側から約90m（上り勾配を）後進してきたアスファルト廃材運搬用ダンプトラックの左後輪にひかれた。	30106	7	10～ 29
2008	3	7 ～ 8	被災者は、午前5時頃、荷を積んだ20tトレーラーを運転して納品先へ向け事業場を出た。走行中、緩い下り右カーブにさしかかったところ、トレーラーがカーブを曲がり切れずに道路脇の法面に激突、横転し死亡した。	40301	17	1～9
2008	11	15 ～ 16	製品を冷蔵庫に運搬するため、被災者がトラックを運転して公道上を走行していたところ、当該トラックが公道の脇にある岸壁から海中に転落した。その後、被災者は自力でトラックの運転室から脱出したが、大量の水を飲み死亡した。	80209	17	10～ 29
2008	2	10 ～	多量の降雪が続き駐車場に停めてあった貨物自動車（トレーラー）が雪に埋もれ自走できなくなったため、被災者はドラグ・ショベルのバケットのフックと貨物自動車の牽引用フックにワイヤロープを掛けて	40301	7	1～9

		11	牽引した。牽引後、被災者が貨物自動車のワイヤロープを取り外そうとしたところ、貨物自動車が約6度の傾斜を逸走し、貨物自動車前面とバケットの間にはさまれて死亡した。			
2008	11	10 ～ 11	被災者は、除雪車に改造するために荷台を傾斜させていた7tダンプトラックの後ろで、同車の前部バンパー部品の製作を行っていたところ、荷台の最後部に積んであった2tのコンクリートブロック（除雪車のスノープラウとのバランスを取るためのおもり）が落下し、被災者が下敷きとなった。	11701	4	1～9
2008	5	9 ～ 10	被災者がセメント材を積み込んだタンクローリーを運転し、自社の生コンプラントに戻る途中に国道の緩い下りの左カーブで中央分離帯に接触後、対向車線を越えて高さ約2m下の路外に転落、タンクローリーが横転した。	10901	17	30～ 49
2008	9	14 ～ 15	被災者は単独でコンクリートミキサー車のドラム内に付着したコンクリート片の除去作業を行っていた。作業開始約1時間後ミキサー車横でうずくまっている被災者が発見された。除去状況を確認していたところ、手元の操作レバーでドラムを回転させ、ドラム内の羽と内壁にはさまれ被災した。	40301	7	50～ 99
2008	7	12 ～ 13	被災者は工事現場で不足した資材を調達するため、2tトラックを運転し走行中、センターラインをはみだしたため、対向車線を走行してきた4tトラックと正面衝突し、衝突の際の衝撃により、2tトラックは元の車線にはじき飛ばされたため、このトラックの後方を走行していた乗用車に追突された。	30203	17	1～9
2008	12	13 ～ 14	ホテルで食器洗浄業務を終えた被災者が、市道をはさんで向かいにある別のホテルの食器洗浄業務の応援のため市道を渡っていたところ、トラックにはねられた。	150101	17	1000 ～ 9999
		12	被災者を含む3名は午前中の作業を終え、次の現場に移動するため、路上に駐車していたトラックの輪止めを被災者が外したところ、トラックが前方へ逸走を始めた。被災者と同僚1名はトラック前方に回り込			50～

2008	12	～ 13	み、逸走を止めようと抵抗したが、トラックと屋根付駐車場の鉄柱の間にはさまれ死亡した。なお、災害発生時、トラックのギヤはニュートラルになっており、サイドブレーキは未使用であった。	40301	17	99
2008	6	3 ～ 4	被災者はフルーツを積み込んだトレーラーを運転して国道上を走行中、赤信号で停車中のトレーラーに追突し死亡した。	40301	17	10～ 29
2008	9	8 ～ 9	被災者は、ミルクローリー（牛乳集荷用タンク車）を運転して各酪農家で牛乳を集め終えて乳製品工場へ向けて町道を走行中、1灯式信号機のある交差点に差し掛かったところ、左から来た乗用車と出会い頭に衝突した。その衝撃で右路肩より路外へ逸脱し、ミルクローリーが1回転して運転席が大破し死亡した。なお、被災者側の信号機は黄色の点滅であった。	40301	17	10～ 29
2008	7	12 ～ 13	被災者は、トレーラー（積載重量19.3t）を運転し、片側一車線の国道上を走行中、左カーブに差し掛かったところ、カーブを曲がりきれずに路外に逸脱し、横転した。なお、トレーラーは、時速40km制限の当該カーブへ時速60km程度で進入した。	40301	17	1～9
2008	10	19 ～ 20	13t箱形冷凍車を搬入口前にバックで駐車し、エンジンをかけたままで翌日朝の搬入に備えてパレット移動に用いるジョルダーというレール状の人力運搬機2本を冷凍車内から下ろし冷凍車の扉を閉めた。直後に冷凍車が搬入口の方に動き出したため車を止めようとしたが止めきれず、保冷車の後部扉部分と搬入口のエプロン（床面高さ105cm、厚さ35cm）に保冷車の方を向いた状態で身体をはさまれ死亡した。	40301	6	10～ 29
2008	10	12 ～ 13	自社所有の冷凍冷蔵庫敷地内において、被災者は、大型トラック（ウイング車）の荷台上にのぼり、積載された荷（657箱・1箱約10kg）の確認を行っていたところ、仰向けの状態のまま1.2m下の地面に墜落した。なお、被災者は保護帽を着用していなかった。	40301	1	30～ 49
		9	建設現場に生コンを納入後、工場に戻るため本線車道に出ようした			

2007	4	～ 10	際、交通誘導のため歩道の街路樹横にいた被災者に気付かず、左折を開始したため、街路樹とミキサー車左後輪部分の間に被災者がはさまれた。	10901	17	10～ 29
2007	1	19 ～ 20	被災者が運転する48tトレーラー（積荷鉄屑30t）が、下りの左カーブで横転し電柱に衝突した。	40301	17	1～9
2007	12	～ 17	砕石場内において、砂を30tダンプトラックで運搬し、所定の場所に降ろすためUターンしていたところ、Uターン場所の路肩が突然崩壊したため、ダンプトラックが転落した。	20201	1	10～ 29
2007	11	～ 18	現場から会社へダンプトラックで帰る途中、道路の陥没にハンドルを取られて、対向車線側の土手に衝突した。	30106	17	10～ 29
2007	9	23 ～ 24	国道で、7tトラックに荷を積んで国道を走行中、工事のため渋滞中の車列に追突し運転席が大破し、死亡した。	40301	17	50～ 99
2007	7	3 ～ 4	7tトラックで国道を走行中、道路左側の歩道に設置された案内標識柱に衝突し、助手席の作業者が死亡した。	40301	17	30～ 49
2007	4	6 ～ 7	被災者が運転していた2tトラックが、片側一車線の国道を走行中、対向車線にはみ出して15tトラックと正面衝突した。	40301	17	100 ～ 299
2007	3	12 ～ 13	コンクリートミキサー車のドラム内部に付着したコンクリートをはぎ落とす作業が終わり、はぎ落としたコンクリートを排出させるためにドラムを動かしていたところ、被災者がドラムホールと車体の間にはさまれた。	10901	7	10～ 29
			被災者は3tトラックに積んだ精米袋を降ろした後、事務所に伝票を届けようとトラックを駐車場に停めて一旦運転席から離れたが、サイ			

2007	9	11 ～ 12	ドブレーキを引き忘れていたためトラックが突然動き出した。そのこ とに気付いた被災者はトラックにかけより、運転席のドアを開けサイ ドブレーキを引こうとしたが、トラックはそのまま前進し、18.3 m進んだところで右前部が電柱にぶつかり、被災者は運転席ドアと車 体にはさまれ死亡した。	80209	7	1～9
2007	1	7 ～ 8	自動車道のトンネル入口で軽自動車が車線内でスリップ横転したとこ ろに別のトラックが追突、トンネル内で停車していた。後方から被災 者の運転するトラックがトンネル入口に近づき、停車していたトラッ クに気付いたが、追突を避けようとしてトンネル入口の壁に激突し た。	40301	17	30～ 49
2007	10	17 ～ 18	工事現場から社用車で会社に帰る途中にインターチェンジ付近で車の タイヤがパンクしたため、路側帯に社用車を停車しパンク修理をして いたとき、後続の大型トラックが社用車に追突し、社用車が被災者に 激突した。	30309	17	10～ 29
2007	9	10 ～ 11	トレーラー荷台部分の屋根（ウイング）を開閉させる油圧シリンダー が油漏れするため修理していたところ、ウイング部分が下がり、荷台 との間にはさまれた。	40301	7	10～ 29
2007	8	9 ～ 10	工事が終了したため、被災者が2 t ダンプトラックを運転し、現場か ら会社事務所へ戻る途中、交差点において、赤信号で停車中の3 t ダ ンプトラックに追突した。	30110	17	10～ 29
2007	8	20 ～ 21	事業場の敷地内において、携帯電話の操作を行いながら、駐車場に向 かっていた被災者が整備士の運転する10 t トラックにはねられた。	40301	7	50～ 99
2007	6	21 ～ 22	高速道の追越車線にて、右前輪タイヤがパンクしたため追越車線の路 肩に寄せて停車していた車両積載形トラッククレーン車に、被災者が 運転する大型トラック（最大積載重量13.6 t）が追突し、死亡し た。	40301	17	30～ 49
		11	被災者は、住宅用外壁材を積んだ4 t トラックで国道上を走行してい			

2007	12	～ 12	たところ、緩やかな左カーブをそのまま直進する形でセンターラインを超え、反対車線の擁壁に激突した。	40301	17	1～9
2007	8	～ 6	魚市場で4 t 保冷トラックに鮮魚を積み、国道上を走行中、左カーブで対向車線と歩道を越えて道路から約3. 7 m下のコンクリート工場敷地に転落した。	40301	17	1～9
2007	5	～ 2	国道を10 t 積大型トラックで走行中、道路の中央線を超えて、対向車線を走行していた大型トラックと衝突した。	40301	17	30～ 49
2007	9	～ 8	被災者がトラックを運転中、国道交差点において、信号待ちしていたトラックに後方から追突した。	40301	17	1～9
2007	4	～ 16	被災者が大型トラックを運転中、国道交差点において、信号待ちをしていた大型トラックに後方から追突した。	40301	17	30～ 49
2007	10	～ 12	被災者は、国道（片側2車線）を2 t トラックの助手席に乗り走行中、トラックの積荷が強風により飛ばされる恐れがあったため、駐車灯を点け左側車線に停車し、積荷等を点検していたところ、後方から走行してきた3. 5 t トラックに追突され、2 t トラックと3. 5 t トラックとの間にはさまれた。	30110	17	1～9
2007	5	～ 11	被災者は、停車中の10 t 積ダンプトラック上（高さ約3 m）において、積み荷のコークスのサンプルを取ろうとしていたところ、同ダンプがゆっくり後退し始め、同ダンプと共に停止場所後方の斜面に転落した。被災者は同ダンプ荷台から飛降りた後、同ダンプにひかれた。	40301	6	1～9
2007	1	～ 7	同僚が運転する4 t トラックで片側二車線の道路を走行中、反対車線からの自転車の飛び出しと対向車のハイビームのライトが目に入ったため、車線変更しようとしたところ、道路左端に無灯火で停車中の大型トラックに衝突した。4 t トラックの助手席に乗車していた被災者	40301	17	1～9



			が死亡した。			
2007	7	6 ～ 7	4 tトラックに食材を積み込み、配達する途中、被災者の運転するトラックが高速道の建設現場に突っ込み、フェンスを突き破り、鉄骨に激突した。	10109	17	30～ 49
2007	4	5 ～ 6	車庫の横に駐車していた4 tトラックにエンジンを掛けたところ、突然、車体が後退し、車体の右前方が車庫の壁に激突し、停車した。被災者は、激突した際、ドアと車体の間にはさまれた。	40301	7	10～ 29
2007	3	4 ～ 5	被災者は手押し車に新聞を積んで、道路を横断しようとしたところ、トラックにはねられた。	80205	17	10～ 29
2007	9	12 ～ 13	被災者運転の4 tトラックが高速自動車道を走行中、6 tトラックに追突されたため、被災者が対向車線上に退避したところ、別のトラックに衝突された。	40301	17	10～ 29
2007	11	8 ～ 9	鋼矢板75本を輸送していたトレーラーが国道上で転覆した。	40301	17	10～ 29
2007	9	7 ～ 8	被災者は会社の車である軽のワンボックスカーに乗って工事現場に向かってトンネル内を走行していたところ、対向車のトラックが前車のトレーラーに追い越しをかけ、中央線を越えてきたために正面衝突した。	30301	17	10～ 29
2007	5	6 ～ 7	4 t積貨物自動車に食品を積載し、配送先に向かう途中、国道下り線において、右折のため道路中央側車線に停止していた10 t積大型貨物自動車に追突した。	40301	17	10～ 29
2007	3	9 ～ 10	現場で使用するドラグ・ショベルを2 tダンプトラックで搬入し、勾配9～13度の路上で下り方向に停車し、運転席を離れたところ、トラックが前方に逸走を始め、左前方の斜面に左前輪を乗り上げて右側に横転した。このとき、当該トラックの運転手であった被災者が運転	30110	2	10～ 29

			席に駆け寄り、横転したトラックの下敷きになった。			
2007	7	14 ～ 15	デリックを使用して、台船に鉄くずを積み込む岸壁道路上の作業現場において、鉄くず積み込み終了後の空バケット（縦2.2m、横4.15m、高さ1.04m）前にいた被災者が、鉄くずバケットを積んで後退してきたトラック（積載荷重3.5t）の荷台と空バケットにはさまれた。	80109	17	1～9
2007	3	4 ～ 5	タンク台車を牽引し国道を走行中、前方から大型トラックがセンターラインをはみ出してきたため、ハンドルを左に切りブレーキを踏んだが避けきれず正面衝突した。	40301	17	100 ～ 299
2007	3	4 ～ 5	魚市場で鮮魚を降ろして帰る途中、対向車線にはみ出し、対向車と正面衝突した。	40301	17	10～ 29
2007	6	2 ～ 3	高速道路を走行していた大型トレーラーがセンターラインを越えて反対車線を走行し、反対車線を走行していた2台の車両に次々と衝突した。衝突された2台のうち、2台目の2tトラックを運転していた被災者が死亡した。	40301	17	10～ 29
2007	9	11 ～ 12	軽トラックを運転して資材置場から工事現場まで型枠材を運送中、一般道路の右カーブにおいて道路左側の電柱に衝突した。	30111	17	1～9
2007	12	11 ～ 12	ワンボックス車を運転し商品を配送後、帰社するため国道を走行中、対向してきた大型トラックが中央車線をはみ出してきて正面衝突された。	80109	17	30～ 49
2007	8	9 ～ 10	4t冷蔵車を運転し荷物の配送を終え配送センターに帰る途中、踏切（警報機、遮断機あり）内に進入したが道幅が狭く、対向車をかわすことができず踏切内で立ち往生し、電車に衝突された。	40302	17	10～ 29
2007	7	6 ～	工事現場へ向かうため、国道を走行中、右側車輪を中央分離帯の縁石に乗り上げ、ガードパイプに接触して横転、そのまま中央分離帯内に	30199	17	10～ 29

		7	ある高速道路の橋脚に激突した。			
2007	10	3 ～ 4	鶏糞を輸送するため、国道を中型トラックで走行中、下り坂の急カーブで走行車線をはみ出し、さらに道路上から下方の雑木林にトラックごと転落した。	80109	17	10～ 29
2007	4	16 ～ 17	工事現場で出た土砂を、2 t ダンプで土捨場まで運搬し、荷下ろし後、再び工事現場へ戻るため、ダンプの切り返しを行っていたところ、作業道沿いの約7 m下の斜面にダンプと共に転落し、ダンプの下敷きになった。	30199	1	1～9
2007	11	2 ～ 3	自動車道を走行中、対向車線にはみ出し、対向車線を走行していた4 tトラックと正面衝突した。	40301	17	30～ 49
2007	2	16 ～ 17	コンクリートポンプ車に残ったコンクリートを押し出すため別のポンプ車（4 t）を横付けし、水圧でコンクリートを吐出させた後、取り出されたコンクリートを一輪車で運んでいた作業者が、ポンプの使用を終えて駐車地点に戻ろうとバックしてきた4 t車にひかれた。	30199	6	30～ 49
2007	11	1 ～ 2	被災者は、魚市場へ鮮魚を運搬するためトラックを運転していた際、走行車線ガードレールに接触したため走行車線のガードレールの状態を確認していたところ、対向車が被災者の車に衝突し、そのはずみで被災者をはねた。	170209	17	50～ 99
2007	11	13 ～ 14	ダンボールの回収作業のため、パッカー車にダンボールを入れていて、テールゲートにはさまれた。	40301	7	50～ 99
2007	6	11 ～ 12	20 tトレーラーに荷（古紙）を積み込んだ後、荷締め作業を開始した。荷の最後部の位置に荷締めベルトを掛けていたところ、荷台の煽りから足を踏み外して3. 2 m下の地上に墜落した。	40301	1	50～ 99
		2	被災者は、10 tトラックを運転し、高速道路を走行中に、事故で停車していた乗用車に接触したため、トラックを道路脇に停めて、接触			50～

2007	8	3	相手の乗用車脇に立って運転手と話をしていた際、別の後続車両（10 tトラック）が停車中の乗用車に追突し、その反動で回転した乗用車に巻き込まれた。	40301	17	99
2007	11	1 2	自動車道料金所手前のカーブで、運転していたトラックが横転した。	40301	17	10～ 29
2007	7	3 4	国道を走行していたトラックが左カーブを曲がりきれず、右側に横転し、ガードレールに衝突した後、路外逸脱し、更に転覆した。	40301	17	10～ 29
2007	2	13 14	卸売市場内の廃棄物集積場において、廃段ボールを回収に来た業者のトラック（廃棄物収集車）が、段ボールの集積場に向かって後進中、付近に立っていた被災者をひいた。	150101	7	1～9
2007	8	16 17	対向車線走行中のトラックの積荷が落下し、被災者が運転していた車を直撃した。	80109	4	1～9
2007	8	12 13	工事現場の近くの踏切で大型トラックが立ち往生し、これに気付いた被災者が踏切の外にトラックを誘導していたところ、特急電車が接近し、被災者が踏切内の非常ボタンを押したが間に合わず、特急電車とトラックが衝突した。被災者は衝撃で引きずられたトラックの下敷きとなった。	170201	6	1～9
2007	10	10 11	1. 5 t 積み箱型保冷車で牛乳を小学校へ配達するため、校内の荷物置場前に保冷車を駐車して運転席から降りたところ、保冷車が無人で逸走し、保冷車の前に回り止めようとした被災者が引きずられ死亡した。	40301	7	10～ 29
2007	7	1 2	大型トラックにて鉄粉10 tを運搬する途中、国道交差点で信号待ちをしていた乗用車とトラックに次々と追突した。	40301	17	30～ 49

2007	12	13 ～ 14	工場加工品を納品のため、4 tトラックを運行中、国道を走行中、渋滞のため停車していた最後尾のトラックに追突した。	11209	17	1～9
2007	7	16 ～ 17	商品を送るため国道を走行していた被災者が運転するトラック（3.5 t）と、対向車線を走行してきたトラック（2.5 t）が正面衝突し、被災者が死亡した。	80209	17	30～ 49
2007	2	5 ～ 6	自動車道において、大型トラック同士の追突事故で追い越し車線に停車していた車両に、被災者が運転する4 tトラックが追突した。さらにその後、被災者の車両は後続のトラックに追突され、被災者は運転席から投げ出された。	40301	17	1～9
2007	11	19 ～ 20	被災者が、営業所に帰る途中、被災者が運転する1.5 t積トラックが対向車線へはみ出し、対向車線を走行していた4 t積トラックの側面に衝突し、その後対向車線を横断し、縁石を乗り越え法面に衝突した。	80109	17	10～ 29
2007	8	15 ～ 16	事業場構内に於いて、配送業者所有のトラック（3 t）が製品積み込みのため後進していたところ、左後方に駐車していた自社所有の保冷車（1.15 t）の開放していた左側面扉に接触した。その弾みで扉が閉まり、保冷車に製品の積み込み作業を行っていた被災者がはさまれた。	10109	7	30～ 49
2007	2	9 ～ 10	住宅地造成工事現場内の交差点中央付近で水道管設備の点検作業を行っていたところ、近隣の住宅新築工事現場に資材を搬入し、帰ろうとした2 tトラックにひかれた。	30110	7	1～9
2007	10	2 ～ 3	県道を走行中、道を間違えたため、Uターンをした際、看板ポールに激突した。	40301	17	10～ 29
2007	4	9 ～ 10	現場で発生した土砂を2 tダンプで残土捨場に運搬中、道路脇から崖下（約70 m）へ転落した。現場は、ゆるいカーブでガードレールは設置されていない。	30199	17	1～9

2007	2	6 ～ 7	4 tトラックにより事業場へ荷物を配送するため、自動車道を走行中、インターチェンジ出口手前の自然渋滞が発生している所で、大型ダンプカーに追突した。	40301	17	10～ 29
2007	12	16 ～ 17	被災者は、現場の塗装工事が終了した後、軽トラックを運転して会社事務所へ向かう途中、県道上の道路幅が狭くなっている所で停車していた対向車の軽トラックに衝突し、横転した。	30209	17	1～9
2007	12	8 ～ 9	被災者は一人で軽トラックを運転し、みかん農園に設置された散水用パイプの水抜き作業を行った後、再度軽トラックを運転してみかん農園内の未舗装道路（傾斜角15度～20度）を下り、農園内の倉庫に戻る途中、みかん農園入り口付近にある立木に激突した。	60101	3	1～9
2007	8	18 ～ 19	ブレーキが壊れていた農民車（農作業用トラック）をカーキャリアー（車両運搬車）に積む際に、被災者がその農民車を運転してカーキャリアーの荷台に載せたところ、そのまま前進し、カーキャリアーの2段目の荷台と被災者の体が激突し、農民車のあおりの部分にはさまれた。	11701	3	1～9
2007	12	6 ～ 7	被災者は、国道西行2車線道路で、4 tトラックを運転していたところ、右折しようとして停車していた10 tダンプカーの後部に追突した。	40301	17	10～ 29
2007	6	12 ～ 13	トレーラーで河川堤防上の道路を走行中、急なカーブにさしかかったところで運転を誤り、横転し、土手を転落した。	40301	17	10～ 29
2007	7	14 ～ 15	大型トレーラーで荷（古新聞等）を運搬し、帰社の途中、高速線北行ききのトンネル内走行中、入り口から約240m入ったところで側壁に衝突し、車外に投げ出され、自車の下敷きとなった。	150103	17	30～ 49
2007	5	10 ～	道路上において、トラックの荷台に積載していたU字溝等のコンクリート製品を降ろした後、トラックの車止めを外して、運転手がトラックから離れたところ、勾配約12度の坂道をトラックが前進で下	10901	17	10～

		11	り始めた。運転手は、トラックを追いかけて、運転席の扉を開けた後、運転席に乗り込んだが、トラックが歩道の縁石等に乗上げた衝撃等により運転席から墜落した後、トラックの右後輪にひかれた。			29
2007	2	13 ～ 14	シャーシ置き場にて、運転手がトラックから降車して、トラックヘッドとコンテナを搭載するシャーシ部分の分離作業をしていた際に、トラックヘッドが動き出した。これを止めようと、運転手が運転席に乗りようとしたが、動き出したトラックヘッドとトラックヘッド右前方に置かれていた別のコンテナ側部との間にはさまれた。	40301	7	10～ 29
2007	1	9 ～ 10	歩道整備工事現場において、西行き車線を通行止めとし、もう一方の車線で自動車を交互通行させるため交通誘導を行っていたところ、加害者が運転する軽トラックに衝突された。	30199	6	10～ 29
2007	6	13 ～ 14	被災者は同乗者2名とともに工事現場に向かうため、トラック（1250kg）で本社を出発して高速道路を走行していた。走行中に突然車両が揺れだしたため、ハンドル操作で立て直そうとしたが蛇行の末、2、3回横転して、運転していた被災者が死亡した。	30301	17	30～ 49
2007	9	10 ～ 11	国道上で、断熱材を配達中、渋滞のため停止していたところ、後続の大型トラックに追突され、前のトラックとの間にはさまれた。	80109	17	1～9
2007	9	8 ～ 9	被災者は14tトラックの荷台に乗り、シートを外し、荷台の前方へかたづけていた。荷台のあたりは左右にそれぞれ前後2枚あり、右側の運転席側のみ倒している状況であった。被災者が荷台の右側を運転席側に歩いている際に、荷台より地面へ転落した。	40301	1	1～9
2007	6	4 ～ 5	4tトラックを運転し、事業場から貨物輸送を行っていた被災者が、国道上で前を走行中のトラックに追突した。	40301	17	30～ 49
2007	4	7 ～ 8	木造住宅新築工事に資材を運んで来たトラックが路上に駐車しようとして坂道をバックした際、警備員をひいて死亡させた。	170201	17	50～ 99

2007	6	2 ～ 3	高速自動車道を走行中の被災者が運転する中型トラックが後続の大型トラックに追突され、中型トラックが横転した。	40301	17	1～9
2007	3	3 ～ 4	国道をトラックにより走行中、前方を走行していたトラックの後部に追突した。	40301	17	10～ 29
2007	3	17 ～ 18	トレーラーに製材（10 t）を積載し走行中、下り坂の左カーブにおいて曲がりきれずに横転し、対向車線を走行してきたトラックと正面衝突した。	40301	17	10～ 29
2007	11	9 ～ 10	1人でLPガスボンベの配達（交換）を行っていたところ、顧客宅付近の空地（若干の勾配有り）に配達用のトラックを駐車して降りた際、トラックが後進して民家のブロック塀との間にはさまれた。	80204	7	10～ 29
2007	8	15 ～ 16	15 t車で飲料水を配送途中、自動車道サービスエリアで、ウイングの扉を開け荷崩れの確認をしていたところ、スイッチに触れ、ウイングが閉まりはさまれた。	40301	7	30～ 49
2007	2	16 ～ 17	作業が終了し撤収作業に入り、停車中の運搬用自社トラックの荷台に用具を積み込む作業中に荷台に乗っていた被災者がバランスを失って荷台から後向きに道路に墜落した。	80209	1	30～ 49
2007	12	4 ～ 5	片道1車線の一般道路でトラックを運転中、側道に無灯火で停車していた大型トラックに追突した。	40301	17	30～ 49
2007	9	5 ～ 6	自社トラックで自動車道を時速約60 kmで走行中、交差点で信号待ちしていた車に衝突した。	40301	17	30～ 49
2007	11	3 ～ 4	国道（片側1車線）上で、被災者が5 t車両積載形トラッククレーン車を走行中、対向車の大型トレーラーと正面衝突した。	40301	17	1～9



2007	7	8 ～ 9	トラックにて発電機を配送中、交差点手前左側に停止していた2 tトラックに追突し、その衝撃で被災者の運転していたトラックと追突されたトラックが反対車線に飛び出し、対向車と衝突した。	80409	17	10～ 29
2007	1	10 ～ 11	被災者は、取引先に商品を納品し事業場に戻るため、高速道路を走行中に、前を走っていた車が急停車したのに間に合わず追突した。	10409	17	10～ 29
2007	12	16 ～ 17	被災者は、ターミナル敷地内にある積み込みトラックにおいて、高さ約3 mのトラックのタンクローリー上で灯油18 k lの積み込み作業中に、タンクローリーから後ろ向きで1回転するように地面に墜落した。	40301	1	1～9
2007	7	12 ～ 13	国道バイパスで、渋滞で停止していたキャリアカーに追突し、キャリアカーの後部の栈橋が運転席前面ガラスを突き破り、被災者に激突した。	40301	17	30～ 49
2007	12	22 ～ 23	被災者が運転する大型トラック（最大積載量12.8 t）が、高速道路を夜間走行中、インターチェンジの本線と出口の分岐に衝突した。	40301	17	10～ 29
2007	4	13 ～ 14	被災者が自転車に乗って集金業務中に、青信号を横断しようとした際、トラック（4 t車）が左折してきたため、自転車ごと巻き込まれ被災した。	80209	17	10～ 29
2007	8	7 ～ 8	高速道路下り線において、渋滞のため停車中の車列最後尾の2 tトラックに被災者が運転する大型トラック（10 t）が追突し、大型トラックの運転席が炎上した。	40301	17	10～ 29
2007	7	9 ～ 10	工事現場に向かうため、ダンプカー（4 t）で国道を走行していたところ、左カーブで反対車線にはみ出し、対向車線を走行してきたダンプカー（10 t）と正面衝突し、被災者が運転していたダンプカーの運転席が大破した。	30106	17	30～ 49
		4	高速道路リフレッシュ工事の車線規制に使用するクッションドラムに			10～

2007	5	5	～	水を入れるため、高速道路上を走行していた給水車の右後輪が破裂し、給水車が横転した。運転していた被災者が車外に投げ出された。	30106	17	29
2007	6	4	～	被災者がワンボックス車にて、県道を走行していたところ、センターラインを越えた対向車線の10tタンクローリー車に衝突された。	40303	17	10～ 29
2007	6	1	～	被災者は、事業場所有のトラックを運転し、客先に向けて国道を走行中、前方のトレーラーに追突した。	40301	17	10～ 29
2007	5	13	～	被災者は1人で商品の配送していた。トラックからの搬入が終わり、トラック後部の扉を閉じようとした時、傾斜地に停車させたトラックのサイドブレーキが十分効いていなかったため、トラックがゆっくりバックした。あわてて人力で止めようとしたが、商品搬入口のプラットホームとトラック後部にはさまれた。	80109	7	1～9
2007	4	16	～	被災者は、トラックの荷台上にて荷取り作業に従事していたが、束ねた部材の一部が長尺部材のため荷台に積み込めなかったため、長尺部材以外の部材を積み込もうとトラックの荷台から飛び降りたところ、安全帯が引っ掛かり荷が動揺し、トラックの荷台から落下した荷が着地した被災者を直撃した。	30201	4	1～9
2007	5	10	～	被災者は、トラックから荷を卸すため、運転席から降りていた。作業者がフォークリフトで積荷を降していたところ、突然トラックが動き出し、トラックの前で、ロープを片付けていた被災者がトラックと工場内の鉄柱との間にはさまれた。	150109	7	50～ 99
2007	8	5	～	工事現場での作業終了後、資機材とともに会社倉庫へトラックで移動中に、道路の路肩に停車中のトラック後部左側に追突した。	30309	17	1～9
2007	8	5	～	ダンプトラックにて貨物運搬中にセンターラインオーバーで対向車に衝突した。	40301	17	1～9

2007	3	15 ～ 16	道路左側をバイクで走行していたところ、停車しようとして左側に寄ってきたトラックと接触した。	80205	17	30～ 49
2007	2	5 ～ 6	トラックを運転し、自動車道インターチェンジに向かうランプウェイ（左カーブ）を走行中、右側ガードレールを突き破って横転した。	40301	17	30～ 49
2007	2	17 ～ 18	小型トラック（最大積載量850kg）を運転し施工状況の確認に工事現場へ向かう途上、国道（片側2車線）の信号交差点（三差路）において、右折のため停止していたところ、後方から乗用車が追突したために同トラックが前方に押し出され、対向車線（追越車線）を直進してきた10tトラックと衝突し、車外に投げ出された。	30107	17	50～ 99
2007	2	2 ～ 3	国道を13tトラックで走行中、鉄道線の屋根付き停留所に衝突し、その際に停留所構造物の鉄骨が突き刺さり、死亡した。トラックはそのまま約50m進み、市内線の電灯のポールに衝突して停止した。	40301	17	100 ～ 299
2007	4	10 ～ 11	被災現場路上でマンホール金蓋異音補修工事を終了し、バリケード撤去作業中、南から走行してきたトラックに追突された。	30309	17	1～9
2007	12	10 ～ 11	クリーンセンター内の資源ごみ集積場において、収集した紙ごみ（ダンボール）を2tトラック（収集車）から下ろす際、集積場所に近づけるためにトラックを後退させ、ブレーキをかけようとしたところ、トラック運転者が誤ってアクセルを踏み込んだため、トラックの後方にいた被災者がトラックに激突され、トラックと壁の間にはさまれた。	150109	6	10～ 29
2007	8	12 ～ 13	被災者が大型タンクローリーを運転して、高速道路を走行中、前方の大型貨物自動車に追突した。タンクローリーから出火した。	40301	17	10～ 29
		7	客先訪問のため社用車を運転中に、高速道路インター出口渋滞のため			

2007	2	8	渋滞の最後尾に停車していたところ、後方から来たトラックが追突し、計5台が絡む玉突き事故となり3台が炎上し、当該車を運転していた被災者は死亡した。	80209	17	50～ 99
2007	10	4 5	国道を大型トラックで走行中、赤信号で停車中の大型ダンプに追突した。	40301	17	10～ 29
2007	10	10 11	自動車部品を運搬するため、4 tトラックで高速道路を走行中、集中工事に伴う渋滞のため停車していた大型トラックに追突した。	40301	17	100 ～ 299
2007	2	8 9	営業先に出掛けようとして社有車駐車場に向かっていた作業者が、入構して搬入口に縦列駐車をしようとしてバックしてきた大型トラック後部に激突され、ひかれた。	10805	6	100 ～ 299
2007	3	16 17	護岸工事において、現場内に敷鉄板5枚（1枚約900kg）を運搬してきたダンプトラック（積載荷重4 t）の荷台から敷鉄板をドラグ・ショベルを使用（用途外使用）して3人で荷卸し作業中、ダンプトラックの荷台にいた被災者が墜落した。被災者はヘルメットが外れた状態で横向きに地面に倒れていた。	30107	1	1～9
2007	9	17 18	被災者は、駐車場でトレーラーのトラクターヘッドとシャーシの切り離し作業を行っていた。その際、トラクターヘッドが動き出したため、被災者はこれを止めようとドアを開け身体を乗り入れようとしたが、ドアが右隣に止めてあったコンテナに接触し、ドアにはさまれた。	40301	7	30～ 49
2007	2	4 5	国道の中央分離帯のガードレール取替工事で追い越し車線を規制して施行していた。工事作業終了後、作業員4名で追い越し車線に車を止め、機材の撤去作業を行っていたところ、4 tトラックが標識車に追突し、その前方で作業をしていた2名が押し出された標識車にはねられた。	170201	17	30～ 49
			国道の中央分離帯のガードレール取替工事で追い越し車線を規制して			

2007	2	4 ～ 5	<p>施行していた。工事作業終了後、作業者4名で追い越し車線に車を止め、機材の撤去作業を行っていたところ、4 tトラックが標識車に追突し、その前方で作業をしていた2名が押し出された標識車にはねられた。</p>	170201	17	30～ 49
2007	10	23 ～ 24	<p>高速道上で、貨物の運送中、被災者が運転していた車が、渋滞で止まっていたところ、後方から10 t車が追突してきた。</p>	40301	17	1～9
2007	8	4 ～ 5	<p>店舗への配送終了後、国道を走行中、S字カーブの場所にて、被災者が運転していたトラックがセンターラインを超えて、大型ダンプカーに正面衝突した。</p>	40301	17	30～ 49
2007	2	13 ～ 14	<p>国道を東進していた被災者運転の2 tトラックがセンターラインをはみ出し、対向車線を西進していた14 tトラックと正面衝突した。</p>	40301	17	30～ 49
2007	7	9 ～ 10	<p>被災者が、生コンの材料となる砂利などをトラックで運搬し、生コンプラントで砂利を降ろした帰り、堤防道路を北に走行中に南進してきた対向車と衝突し、その後堤防を転落し堤防下の民家の石垣に激突した。</p>	20202	17	30～ 49
2007	12	21 ～ 22	<p>被災者は、道路工事現場事務所において新入警備員の配置等についての打ち合わせをした後、当該道路工事現場にて就労中の自社警備員に声をかけるため、国道の脇のガードレールの間から道路北側の作業現場へ横断しようとしたところ、国道を西進してきた12 tトラックにはねられた。</p>	170201	17	30～ 49
2007	3	3 ～ 4	<p>工業団地内にて車内で仮眠を取り、翌日トラックを発進させ約480 m直進走行したところで、路上駐車中の無人トラックに衝突した。</p>	40301	17	10～ 29
2007	5	10 ～	<p>被災者は、事業場の軽トラックで国道を走行していたところ、被災者の軽トラックがセンターラインをオーバーしたため、対向車線を走行</p>	80209	17	10～ 29

		11	していた大型トラックと正面衝突した。			
2007	11	2 ～ 3	大型トレーラー（29.3 t 積み）に大型角パイプ3本（合計27.6 t）を積んで国道を走行中、対向車線を越え、ガードレールを突き破り、道路と平行している水路（石積み、幅2 m強、深さ1.5 m程度）に転落、横転した。	40301	17	1～9
2007	10	6 ～ 7	被災者が運転するトラックが交差点を黄色点滅側から直進したところ、右側から赤色点滅信号の一時停止を怠った乗用車が進入し、被災者トラックの側面部に衝突し、その反動で被災者は助手席側の窓から投げ出され反転したトラックの下敷きとなった。	40301	17	100 ～ 299
2007	7	5 ～ 6	配送が終了したので、会社へ帰社する途中、直進道路をライトバンで走行中にセンターラインをオーバーしたため、対向車と衝突した。	40301	17	50～ 99
2007	7	2 ～ 3	自動車道を走行中、バス停に駐車していた大型トラックに後方から追突した。	40301	17	10～ 29
2007	12	12 ～ 13	自動車道トンネル内で、電気設備の保守点検のため、車線規制用の規制車を停止し、交通誘導員が誘導を行っている中で、規制用の機材の設置を行っていたところ、一般のトラックが突っ込み、機材の荷下ろしを行っていた被災者が、相手のトラックと規制車の間にはさまれた。	30301	17	10～ 29
2007	4	16 ～ 17	荷を4 tトラックに積み、会社へ戻る途中、国道上やや登り勾配となった左カーブ地点にて、トラックを運転中の被災者が運転操作を誤り、センターラインをオーバーし、反対車線を走行していた4 tトラックと正面衝突した。	40301	17	10～ 29
2007	12	23 ～ 24	被災者は、荷物を運ぶため高速道路を走行していたところ、被災者の運転するトラックと別のトラック、乗用車の計3台が絡む事故が発生した。	40301	17	10～ 29

2007	11	3 ～ 4	片側1車線の国道のカーブ付近で、南方向に運転していた被災者のト レーラーと、北方向に運転中の対向車トラックが正面衝突して、車両 が炎上した。	40301	17	1～9
2007	1	13 ～ 14	国道の片側一車線、緩やかな坂道のカーブ地点において、被災者の運 転するトラックが対向車線にはみ出し、別のトラックと正面衝突し、 道路脇に転落した。	10805	17	10～ 29
2007	4	8 ～ 9	採石場にて散水のため使用していたタンクローリーをドラグ・ショベル により牽引しながら採石場の仮設道路（勾配15度）を下りていた ところ、牽引用に使用したワイヤロープを掛けていたタンクローリー 後部の突入防止装置が腐蝕により折れてワイヤロープが外れたためタ ンクローリーが逸走し、工事用道路を下った先の採石集積場に乗り上 げた後、約15m下にタンクローリーが転落し、運転席にいた被災者 が死亡した。	20201	1	10～ 29
2007	3	14 ～ 15	得意先である森林組合構内で、トラックの荷台に丸太を積み込んだ 後、ワイヤー締めを行い、その点検中に荷の上から地面に落下した。	40301	1	30～ 49
2007	9	6 ～ 7	事故で渋滞した車列の最後尾の乗用車にトラックが突っ込み、最後尾 の乗用車に乗車していた運転者と助手席の同乗者が死亡し、その前方 の2台のトラックの運転者も玉突きにより負傷した。事故の2時間前 に、現場から約3.5km先で、事故が発生し、通行止めとなり、約 2km渋滞していた。	80209	17	1～9
2007	9	6 ～ 7	事故で渋滞した車列の最後尾の乗用車にトラックが突っ込み、最後尾 の乗用車に乗車していた運転者と助手席の同乗者が死亡し、その前方 の2台のトラックの運転者も玉突きにより負傷した。事故の2時間前 に、現場から約3.5km先で、事故が発生し、通行止めとなり、約 2km渋滞していた。	80209	17	1～9
2007	11	10 ～	資材配送センター敷地内の駐車場で融雪装置の点検作業を行っていた	170209	6	300 ～

		11	被災者が2 t ダンプトラックにはねられた。			499
2007	6	14 ～ 15	国道上において、被災者の乗った大型トレーラーに軽トラックが衝突し、はずみで大型トレーラーが反対車線側の酒店倉庫に突っ込み押し潰された。	40301	17	30～ 49
2007	8	18 ～ 19	工事現場での作業終了後、被災者が運転する会社所有の作業用トラックに同僚2人を同乗させ会社の駐車場に向かって国道を走行中、道路左側の案内標識柱に衝突した。	30108	17	10～ 29
2007	12	17 ～ 18	ダンプトラック（最大積載量11900kg）の荷台を上げ点検作業中、荷台が降下して車体との間にはさまれた。	40301	7	100 ～ 299
2007	11	8 ～ 9	国道上において、被災者運転の大型トラック（11 t 車、白ナンバー）と大型キャリアカーが正面衝突した。	80109	17	1～9
2007	8	8 ～ 9	建設会社の経理監査業務に向かうため、被災者は乗用車で自動車道走行車線を走行中、渋滞により車列の最後尾に停車した。そこへ、追い越し車線を走行してきた大型トラックが前方のバスを追い越そうとして走行車線に車線変更した際、停車中の被災者の乗用車に追突、乗用車が炎上した。	170209	17	1～9
2007	7	19 ～ 20	車検を終えた散水車（車両重量6.5 t）の車体フレーム内側の腐食状況を上司に確認してもらうため、2本の油圧シリンダーで構成される車両リフト装置（能力12 t + 12 t）のシリンダーを上昇させ、車両を約55 cmリフトアップしたところ、車両がバランスを崩し横転したため、右後輪側でリフト操作していた被災者が車両の下敷となった。	80202	7	100 ～ 299
2007	3	5 ～ 6	貨物自動車（19 t トレーラー）に積み込んだ荷物（飼料）を運送するため国道を走行中、被災場所（緩やかな左カーブで上り勾配）の路肩に設置してあったガードロープを乗り越え、崖下の河川に転落し	40301	17	50～ 99



			た。			
2007	10	10 ～ 11	<p>作業者は、産業廃棄物（非鉄雑品）を8 tトラックにより取引先において荷卸後、地上からトラックの右側面のおおりを上げようとしていたところ、当該トラックに積んで来た「さし枠」を荷台に載せようとしていた重機のアタッチメントの先端が当該おおりに激突し、その反動でおおりが被災者を直撃した。</p>	80109	6	1～9
2007	12	14 ～ 15	<p>被災者はトラックでプロパンガスのボンベを個人宅に配達中に、信号機のある十字路の交差点において、直進していたトラックの前部と、右側から直進してきた乗用車の助手席部分が激突し、被災者のトラックが横転した。</p>	40301	17	1～9
2007	2	9 ～ 10	<p>製品を保管している倉庫会社の倉庫前において、作業者2人が製品（2パレット）をトラック荷台に固定するためラッシングベルトをかけていた際、1人が荷物の反対側に周り、ベルトを受け取るため待っていたが、暫く待っても届かなかったため様子を見に戻ったところ、荷台下へ横向きになり、倒れていた。入院治療していたが、死亡した。</p>	11409	1	10～ 29
2007	12	12 ～ 13	<p>荷（ケース物の塩ビ管2 t程度）の運送中、国道バイパスを4 tトラックで走行していたところ、前方にいた大型トラックに追突した。</p>	40301	17	10～ 29
2007	12	23 ～ 24	<p>被災者は4 tトラックに荷物を積み込み高速道路を走行中に、被災者運転のトラックと乗用車、4 tトラックの計3台がからむ追突事故となった。病院へ搬送されたが死亡した。</p>	40301	17	30～ 49
2007	10	10 ～ 11	<p>事業場構内のフェンス外構工事現場にて、休憩時間の飲み物を持ってきた被災者が、斜面（傾斜2度）にトラック（2 tダンプ）を停め運転席から降りたところ、サイドブレーキが掛かっておらず、またギアもニュートラルであったため、車両が無人で動き出してしまった。被災者はこれを止めようと運転席に向かったが、動き出した車両にひかれた。</p>	10909	7	10～ 29

2007	1	19 ～ 20	会社から2名が車で工事現場に向かうため、国道を走行中、対向車線からセンターラインを越えてきたトラックと正面衝突した。	30203	17	1～9
2007	2	2 ～ 3	4 tトラックを運転し、首都高速線上りの左カーブを曲がったところ、ブレーキをかけたが間に合わず、渋滞で停止中のトラック2台に追突した。	40301	17	1～9
2007	4	6 ～ 7	被災者は、タクシー（乗客なし）を運転し走行中であったが、対向車の2 tトラックが突然センターラインをオーバーして被災者タクシーの側面（運転席斜め前）に衝突した。	40201	17	100 ～ 299
2007	5	5 ～ 6	被災者は、タンクローリーを用いて所属事業場から、配送先に液化石油ガス（9180kg）を運搬するために出発し、自動車道の料金所に向かうインターチェンジ合流路左カーブでカーブを曲がりきれず、タンクローリーが横転した。	40302	17	30～ 49
2007	2	7 ～ 8	被災者は、勤務先が中にある工場の入門チェックを受けた後、勤務先へ行くため、踏切横断待ちの車両の後方を通り抜け道路を横断しようとしたところ、反対車線から進入してきた車両と停車中の車両との間にはさまれた。	11301	18	50～ 99
2007	6	15 ～ 16	荷物をおろし、帰路の途中、国道上で、左側壁に当車両が接触し、左側のガードレールに衝突した。	40301	17	30～ 49
2007	12	7 ～ 8	作業員3名が4 tダンプカーに乗車し、会社から現場へ向かう途中、自動車道ジャンクション付近で道路左側の側壁に衝突し、うち作業員1名が折れた鉄製手すりに直撃された。	30199	17	1～9
2007	6	18 ～ 19	現場内路盤整正作業において被災者は2 tダンプトラックを運転し、現場内で砂利を運搬する作業をしていたが、現場内通路において、運転席ドアにはさまれ、駐車車両に接触した状態で発見された。	30106	3	10～ 29
		7	廃棄物リサイクルセンターにおいて、被災者（警備員）が始業前に場			

2007	2	8	内の清掃作業にあたっていたところ、廃棄物の荷下ろしのため公道からセンター場内へバックで進入してきたダンプトラック（4 t）が被災者に激突した。	170201	7	50～ 99
2007	8	12	資源ごみの回収作業中、作業車（2 tトラック・平ボディー）の荷台後部に乗り、次の集積場に向かい移動中に、荷台より転落した。ヘルメットは着用していなかった。	150103	1	50～ 99
2007	6	11	会社の倉庫内で、回収してきた古紙等を3 tトラックから降ろしている最中にサイドブレーキをかけていなかったため、当該トラックが逸走し、それを止めに行った作業者が隣の家と当該トラックの間にはさまれた。	150102	6	1～9
2007	6	23	資材置場から別の資材置場に機材を移動するために、2 tトラックに機材を積み込み、高速道路を利用して運搬中、機材が荷崩れを起こしたのでこれを直すためトラックを路肩に駐車して被災者が道路に出たところ、後ろから走行してきたトラックにはねられた。	30104	17	10～ 29
2007	5	15	トラックを止め荷卸の作業を行っていたところ、後方より走ってきたワンボックスカーに追突され、トラックとの間にはさまれた。	40301	17	100 ～ 299
2007	3	17	研究所敷地内道路上にて積載形トラッククレーンとトラックを前後に並べて駐車し、足場材の積み込み作業を行っていた。足場材の積み込みが終了したので、トラッククレーンのアウトリガーを上げたところ、現場は勾配約5度の坂道であったため、トラッククレーンが後退し、積み込み作業を行っていた被災者が荷台の車両の間にはさまれた。	30209	7	1～9
2007	9	6	資材置き場内において、2 tトラックで現場に資材を配達のため、出入り口の坂にトラックを止め、車から降りて金属製の観音扉を開けようとしたところ、止めたトラックが動き出し、門扉との間にはさまれ、さらに門扉ごと押し出されトラックにひかれた。	30201	6	1～9
			被災者は、運行管理者一般講習会受講後、営業所に向かうため、港湾			

2007	9	17 ～ 18	道路を原動機付自転車で走行していた。交差点において、港湾道路第1通行帯に荷待のために停止していた大貨トラックが、左折しようとして発進したところ、前方安全確認を怠ったため、トラックの直前に停止していた被災者に衝突した。	40301	17	10～ 29
2007	5	22 ～ 23	トラック（冷蔵冷凍車）で青果を運搬中、赤信号で停止していたトレーラーに追突し、衝撃でトラック（冷蔵冷凍車）が炎上し、トラック（冷蔵冷凍車）を運転していた被災者が死亡した。	40301	17	10～ 29
2007	2	5 ～ 6	配送先へ荷を運搬するため、高速道をトラックで走行中、半径75mのカーブに差し掛かったとき、同カーブを曲がりきれず、側壁に衝突、高速道の橋脚に引っかかり車体が宙づりになった。被災者はトラックから投げ出されて高架下に転落した。	40301	17	30～ 49
2007	9	7 ～ 8	機械を運搬する際、車両積載形トラッククレーンの荷台に当該機械をおさえるために被災者含めた3名が搭乗した。下り坂にさしかかったところ、突然車両積載形トラッククレーンのブレーキが効かなくなり、運転者が「ブレーキが効かない」と叫んだところ、荷台搭乗者3名が危険を察して飛び降り、2名は軽い軽症で済んだものの1名が翌日に死亡した。	30109	1	10～ 29
2007	3	11 ～ 12	病院に医療機器を設置し、ホテルに帰るためライトバンに作業員3名が乗り国道を走行中、信号が変わり減速していたところ後ろから来た大型トラックに追突され対向車線に跳ね飛ばされ横転し、1名が死亡した。	80109	17	30～ 49
2007	11	1 ～ 2	高速道路をトラックで走行中、工事規制帯に駐車していた工事車両（散水車）が逸走し、規制帯から走行車線に進入したところに、被災者が運転するトラックが激突した。	150102	17	50～ 99
2007	2	12 ～ 13	下水道工事において、下水管の布設にあたりマンホールの墨取りの作業を2人1組（一人が道路上、もう一人がマンホールの中）で行っていたところ、工事車両の4tトラックが後進走行してきて道路上で作業していた被災者がひかれた。	30110	6	10～ 29

2007	12	15 ～ 16	被災者が、4 t ダンプトラックの荷台で荷のアスファルトに保温シートをかける作業中に荷台から転落した。	10804	1	10～ 29
2007	1	17 ～ 18	事務所へ戻るために自動車道を走行中に、タイヤがパンクしたため修理しようと車の外に出ているときに、後方から来たトラックに追突された。	170209	17	1～9
2007	1	19 ～ 20	被災者が運転するトラックがセンターラインを越えて、反対車線を行ってきた乗用車と正面衝突した。	40301	17	10～ 29
2007	7	11 ～ 12	国道を2 t トラックで走行中、緩やかな左カーブでセンターラインを越え、反対車線を走行してきた10 t トラックと衝突した。	40301	17	10～ 29
2007	12	17 ～ 18	客先の納品が終了し、会社に戻るため2 t トラックにて自動車道下り線を走行中、前を走っていたダンプカーに追突した。	80201	17	1～9
2007	10	8 ～ 9	事業場が所有し、被災者が専用で使用していたダンプトラック（最大積載量2 t）を被災者が事業場の敷地内で一人で点検をしていた。被災者から廃品を受け取るために来社した顧客が被災者がダンプトラックの荷台とシャーシの間にはさまれているのを発見した。	30209	7	1～9
2007	11	9 ～ 10	工場内の通路上に仮置きしていた鉄屑等を所定の置場に移動しようとして、4 t トラックを後退させていたところ、同通路上を通行していた被災者に気付かず、ひいてしまった。	150102	6	1～9
2007	7	6 ～ 7	被災者は当該事業場のトラックを運転し、工業用ゴム製品を運送中、3車線高速道路最右車線を走行していたが、同車線に停止していたトラックをよけようとして、左車線に車線変更しようとしたが、よけきれずにトラックと接触し、左車線に飛び出し、後方からきたミキサー車に追突された。	40301	17	1～9

2007	8	5 ～ 6	屋根の防水材を2 tトラックで配送先に運搬中、停車中の故障車に追突した。	40301	17	1～9
2007	4	10 ～ 11	道路改良工事において、工事の際に発生する不要な土砂を残土仮置場まで運搬し、降ろす作業を2 tトラックの運転者である被災者が行っていた。被災者は残土仮置場で2 tトラックの車体と荷台にはさまれた状態で発見された。	30106	7	10～ 29
2007	12	10 ～ 11	タンクローリー内の灯油・軽油をセンター内の地下貯蔵庫へ下ろす作業を行っていた際、高さ約2.7 mのタンクローリーの上部から墜落した。被災者はトレーラーの運転手でもあり、当該作業を単独で行っていた。	80109	1	1～9
2007	11	6 ～ 7	配達先（8件配達予定の6件目）で、3 t車トラックについているゲートリフターを使って、商品を積んだカーゴを降ろそうとした際、ゲートリフターからカーゴと一緒に落下し、その時に地面とカーゴにはさまれた。	80109	1	30～ 49
2007	10	2 ～ 3	舗装先行工事現場での仕事を終え、会社のダンプトラックで事務所へ戻る途中、交差点でトラックと衝突した。ダンプトラックに同乗していた者が死亡し、運転手は負傷した。	30106	17	1～9
2007	7	17 ～ 18	訪問先での入浴介護業務が終了し、訪問入浴車で事業場に帰る途中、警報機、遮断機のない踏切に進入したところ、2両編成の列車と衝突した。50 mほど列車の下で引きずられて停止した。助手席にいた被災者が車内で押しつぶされ即死した。	130201	17	10～ 29
2007	2	8 ～ 9	道路工事の仮資材置き場において、道路に散布する固化剤を入れたフレコン（1 t）をドラグ・ショベルでつり上げ、2 tダンプに積み込む作業を行っていた際、ダンプの荷台にてフレコンのつりロープをドラグ・ショベルのフックから外す作業を行なうために待機していた被災者が、荷台から1.3 m下のアスファルト舗装面に墜落した。フレコンやドラグ・ショベルが被災者に接触した形跡はない。	30106	1	10～ 29

2007	7	23 ～ 24	帰社のため、大型トラックで自動車道を走行中、交通事故により渋滞した車列の最後尾で停車中の大型トラックに追突した。	80109	17	1～9
2007	5	11 ～ 12	工場の荷物搬入口の外で搬送してきたコンテナを3 tトラックの荷台から降ろす作業をしていた時、転倒して搬入口側に頭を、トラック側に足を向けて倒れていたところを同僚に発見された。入院治療中に死亡した。	10109	1	30～ 49
2007	6	20 ～ 21	高速道に入る連絡道路で4 t車を運転中、道路右側のゼブラゾーンに停車中の大型トレーラーに追突した。	40301	17	30～ 49
2007	2	5 ～ 6	納品先から次の納品先へ向かうため国道上り車線を走行中、運転を誤り中央分離帯に設置してあるコンクリート製の橋桁に激突した。	40301	17	10～ 29
2007	8	6 ～ 7	積載荷重13 tのトラックで荷を運搬中、道の駅の駐車場において、積荷の確認のためウイングをあおりより約1 m上げ、積荷を確認し積荷から降りようとしたところ、足を滑らせウイングのスイッチに足が接触し、ウイングが不意に閉じたため、ウイングとあおりにはさまれた。	40301	7	30～ 49
2007	7	2 ～ 3	国道交差点において、信号待ちをしていたトレーラーに被災者のトラックが追突した。	40301	17	1～9
2007	3	1 ～ 2	大型トラック（積載過重約10 t）で国道上り車線を走行していた被災者が、道路工事渋滞で停車していた車両の列に突っ込み被災した。	40301	17	50～ 99
2007	10	11 ～ 12	トラックが交差点を右折しようとして横断歩道に進入した際、よそ見をしていて被災者をひき、被災者は約2～3 m跳ね飛ばされた。	80409	17	10～ 29

2007	9	11 ～ 12	プラスチック工場において、印刷不良のヨーグルトプラスチック容器 2袋（1袋約10kg）を構内の廃棄置場に運んでいたところ、バック してきたトラック（4tウイング車）の後輪にひかれた。	10805	6	100 ～ 299
2007	8	5 ～ 6	自動車道において、故障で路肩に停車していたトラックに、被災者が 運転するトラックが追突した。	40301	17	100 ～ 299
2007	2	22 ～ 23	高速道を走行中、前輪がパンクしたため、走行車線上左側に停車し タイヤ交換を行った。作業終了後、ジャッキ等を片付けている際、後方 から走行してきた車両に追突され、自車両と側壁にはさまれた。	40301	17	50～ 99
2007	4	12 ～ 13	被災者は、会社を10tトラックで出発した。国道上において道路工 事中により片側通行になっていたため、前方で停車中だったトラック に気付くのが遅れ後方から追突した。	40301	17	10～ 29
2007	1	13 ～ 14	被災者は2tトラックを運転し配達先から帰社途中、国道において、 2台前を走行していた大型トラックとその後続車である4tトラック が減速したが、被災者の2tトラックは減速することなく4tトラッ クに追突し被災した。	40301	17	10～ 29
2007	1	1 ～ 2	被災者は、24tトレーラー（実重量約17t）を運転し、国道を走 行中、ゆるい右カーブ（下り勾配）において道路左側約2m下の水田 に転落、車体が逆転し下敷きとなった。	40301	17	30～ 49
2007	4	2 ～ 3	自動車道の下り車線をトラックで走行中に、前を走っていたトラック に衝突し被災した。	40301	17	10～ 29
2007	1	15 ～ 16	下水道管を敷設するために、道路の片側1車線をカラーコーン等によ りバリケードをし、工事を行っていた。被災者がこのバリケードの内 側で交通整理（交互通行）を行っていたところに、2tトラックがバ リケードを突き破り被災者に激突した。	30110	17	1～9
		13	工所用敷鉄板19枚（1枚の重さ1.6t）を大型トレーラーを用い			



2007	1	14	～	て運送中、急ブレーキをかけたところ、荷台の鉄板が崩壊し、運転席を押しつぶし、運転者とその同乗者が死亡した。	40301	17	1～9	
2007	1	14	13	～	て運送中、急ブレーキをかけたところ、荷台の鉄板が崩壊し、運転席を押しつぶし、運転者とその同乗者が死亡した。	40301	17	1～9
2007	8	5	4	～	国道を4 tトラックで走行中、車両が路肩に接触したため、ハンドルを逆に戻したところセンターラインをオーバーし対向車線を走行してきた大型トラックと正面衝突した。	40301	17	50～ 99
2007	3	19	18	～	事業場から、酒類を納品するために2 tトラックで県道を走行中、左側に停車させて、強風のために荷台のビニールシートがはがれていないか確認していたところ、後方より走行してきたトラックに追突されてトラックの間にはさまれた。	80209	17	1～9
2007	8	12	11	～	研修センター駐車場にあるごみ集積場で、作業者がごみ集積場の鉄製の扉を開け、立っていたところ、約1.5 mの距離をバックしてきた収集車と集積所の扉にはさまれた。	150103	6	1～9
2007	4	14	13	～	被災者は同僚と2名で3 tトラックの荷台を昇降させるパワーアームの修理作業をしていた。修理にあたり、パワーアームの元に取り付けてある安全ピンを取り外すために荷台下部で作業中、荷台が落下し被災者を直撃した。	11701	7	1～9
2007	12	5	4	～	4 tトラックで荷物の配送を終えて、自社へ戻るため県道を走行中、センターラインをはみ出して、対向車の11 tトラックと衝突した。	40301	17	50～ 99
2007	2	5	4	～	乗用車で新聞配達中、配達先の住宅から別の住宅に向かうため国道に出たところ、国道を走行してきたトレーラーと衝突した。	80205	17	10～ 29
2007	3	3	～	最大積載量3.15 tトラックで本社営業所から建築資材（塩ビ管）を運んでいた被災者が、国道上で、前方の信号が赤から青に変わった	40301	17	50～	

		4	ため減速せずに走行した際、信号で徐行していたトレーラに気付いて急ブレーキをかけたが間に合わず、そのまま追突した。			99
2007	3	9 ～ 10	被災者は顧客に軽ワゴン車で商品配送した帰路、交差点に進入したところ、右側から走行してきたトラックが軽ワゴン車右側面に激突し、被災者が死亡した。	11209	17	1～9
2007	7	5 ～ 6	事業場から現場へ空のコンクリートミキサー車で向かう途中、県道の右カーブを曲がりきれず、左側のガードレールを突き破り、約10m下の畑に転落した。被災者は、転落時に車外へ放り出された。	40301	17	1～9
2007	5	7 ～ 8	高架橋補修工事のため、工事箇所の下になる自動車道で交通誘導を行っていた作業者が、工事車両（トラック）を誘導中、バックしてきたトラックに激突されて倒れ、トラックの左後輪にひかれた。	170201	17	30～ 49
2007	10	5 ～ 6	国道上り車線を貨物自動車で行中、前方を走行していた貨物自動車に追突した。	40301	17	1～9
2007	7	23 ～ 24	交通事故の影響で渋滞し停車していたトラックに被災者のトラックが追突した。	40301	17	30～ 49
2007	4	9 ～ 10	先山から出た山砂（表土）を20tダンプに17t程度積んで、約300m下の堆積場に降ろすため、坂道（勾配約10度）を下りていたところ、緩いカーブを曲がりきれずに直進し、約20mの崖下に転落した。	20201	1	1～9
2007	3	12 ～ 13	下り車線を走行中の4t車がセンターライン（グリーンベルト）を越え、上り車線を走行中の被災者の運転する大型車に正面衝突した。	40301	17	10～ 29
2007	7	12 ～ 13	工場からスクラップの機械（プレス重さ約9t）を大型トラックで運搬する途中、自動車道ジャンクションにおいて大型トラックが、ガードレールを突き破り、道路外で横転、被災した。	80109	17	10～ 29

2007	12	3 ～ 4	一般国道を南進していた被災者が、交差点で信号待ちのために停車していたトラックに追突した。	40301	17	10～ 29
2007	5	2 ～ 3	貨物自動車を運転し、食料品を運送するため、国道を走行中、赤信号で停止しようとしていた10t貨物自動車に追突し、更に前方を走行していたワンボックスカーに衝突した。	40301	17	50～ 99
2007	11	3 ～ 4	自動車道（片側1車線）をトラックにて走行中、左カーブに入ったとき、タイヤがスリップし、道路右側の中央分離帯に接触後、道路左側のガードレールに激突し、反動により対向車線に侵入し、対向車線を走行してきたトラック2台と衝突して被災した。	40301	17	50～ 99
2007	6	22 ～ 23	国道を走行中、赤信号で停車していた大型トラックに追突した。	40301	17	1～9
2007	3	2 ～ 3	国道において、被災者のトラックが右折しようとして停車していたところ、後続のトラックが荷台の左側に追突、その弾みで被災者のトラックが対向車線に押し出され、対向してきた大型トラックと正面衝突した。	40301	17	50～ 99
2007	5	15 ～ 16	10tトラックに積んだ住宅資材の荷締め中に積荷の上(GLからの高さ3.5m)から墜落した。	40301	1	50～ 99
2007	4	22 ～ 23	国道上り線を4tトラックで走行中、センターラインをオーバーし、大型トラックと正面衝突した。	40301	17	50～ 99
2007	9	11 ～ 12	被災者は、自動車道下り線（片側1車線）において、4tの保冷車を運転中、道路舗装工事のため片側交互通行となっていた場所で、工事係員の指示で停止していた大型トラックに追突した。	40301	17	50～ 99
		6	4t冷凍車で県道を走行中、信号感知器、街路樹、水銀灯に激突し信			10～

2007	8	7	号付の交差点を通過したところで横転した。	40301	17	29
2007	7	9	被災者は、壊れたガードレールの復旧工事のため、同僚5名とトラック2台で工事場所付近の国道の歩道（幅員約6m）に乗り付け、トラックを降りて、車道をはさんでほぼ真向かいの工事場所へ向かおうとして幅員約12mの同国道の車道を歩いて横断していたところ、左側から黄信号で直進してきた2tトラックにはねられた。	30309	17	1～9
2007	6	12	工事現場に軽自動車で向かう途中、国道で右折しようとして停車していたところ、大型トラックに追突され、対向車線にはみ出し、対向車線を走行してきたダンプトラックと正面衝突し、衝突のはずみで電信柱に激突した。乗車していた2名のうち助手席に乗っていた被災者が死亡した。	30199	17	10～29
2007	1	7	2t保冷車に牛乳などの日配食品を積載し、自動車道下り線を走行中、見通しの良い片側二車線の緩い下り直線の走行車線を走行中に先行車両（25t貨物）に追突した。	40301	17	30～49
2007	9	3	積載荷重6.5tの保冷車で国道を北進中、緩やかな左カーブで対向車線にはみ出し、道路脇の民家のブロック塀に衝突した。	40301	17	10～29
2007	5	16	商品搬送に使用した空ケースを10tトラックに積み込みを行っていた被災者が、トラックの脇に倒れている状態で発見され、入院したが、その後死亡した。	10109	1	50～99
2007	4	9	北進中の大型トラックが対向車線にはみ出し、南進中の大型トラックと正面衝突した。	40301	17	10～29
2007	10	12	被災者は旅館敷地内で普通トラックから荷下ろし作業を行っていたところ、同旅館内に品物を運ぶため停車させていた別業者の普通トラックが無人のまま動き出し、坂道を下り被災者に激突し、自社の普通トラックとの間にはさまれた。	80109	17	10～29

2007	2	3 ～ 4	被災者は、冷凍車を運転して自動車道を走行中、前方を走行していた大型トラックに追突した。	40301	17	100 ～ 299
2007	10	3 ～ 4	国道の交差点で、被災者の運転する10tトラックが、赤信号で停止しようとしていた別の運送会社のトラックに追突した。	40301	17	1～9
2007	9	17 ～ 18	被災者は、同社資材置場の門扉から12m南側の敷地内でエンジンがかかったままのトラックの下敷きになり死亡しているのを同僚に発見された。車両積載形トラッククレーン（積載量2t）を運転し、単独で資材置場に行き、一旦降車して当該門扉の鍵を開けようとしていたところ、傾斜のため当該トラックが動き出したためひかれたものと思われる。	30199	7	50～ 99
2007	12	3 ～ 4	被災者が運転する普通貨物自動車が、凍結路面でスリップして対向車線にはみ出し、路肩脇にある路端を示す支柱に激突した後に斜面に乗り上げて横転し、衝撃で車外に投げ出され、対向車線を走行してきた11tトラックにはねられた。	170209	17	1～9
2007	9	19 ～ 20	トレーラーのヘッドのみで県道を走行していたところ、片側2車線の入り坂で、左側路肩から約1m下の空地に転落横転した。	40301	17	10～ 29
2007	12	13 ～ 14	被災者は、製材品を積み込んだ後に会社へ戻るため国道を走行していた。走行方面前方で片側交通規制のため停車している小型トラックに追突し、その反動で対向車線にはみ出して対向のトレーラーと正面衝突し、その衝撃で車外へ放り出され自車の左前輪にひかれた。	40301	17	30～ 49
2007	2	5 ～ 6	信号機の設置された片側2車線の国道交差点において、信号機が赤になったため、センターライン寄りを走行していた乗用車3台、トレーラー（被害車両）が順次、減速した。被害車両後方を走行していたトレーラー（加害車両同）が停車しきれず、被害車両の後部に追突し左	40301	17	100 ～ 299

			手車線にはみ出した。加害車両運転手が死亡し被害車両運転手が軽傷を負った。路面は濡れていたが、凍結はしていなかった。			
2007	6	7 ～ 8	道路維持業務のため、軽トラックを運転し現場に向けて町道を走行中、左カーブで反対車線側の路外に逸脱する事故を起こした。事故（約1時間）後、通行人に発見された。現場路面は乾燥、ブレーキ痕は無く、発見時の状況からシートベルトはしていなかった。	30199	17	30～ 49
2007	8	4 ～ 5	大型トレーラーを運転していた被災者は、国道直線地点で対向車線にはみだし、対向車の大型トレーラーと正面衝突した。	40301	17	10～ 29
2007	7	17 ～ 18	被災者はフェリー乗船港へ向かって自動車道を走行中、中央分離帯のボックスレールに衝突した。	40301	17	10～ 29
2007	6	12 ～ 13	民有林の造材現場で原木（長さ3.2m、直径10～20cm）を口グロダーでトレーラー（10t）に積み込む作業を行っていた。被災者は、トレーラーに積まれた原木をトビにより、荷台上（高さ1.37m）でならしていた際、誤って荷台の原木の上から道路上に墜落した。なお、被災者はヘルメットを被っていなかった。	40301	1	1～9
2007	2	17 ～ 18	被災者は、林道災害復旧工事現場において、同僚とともに、翌日から の暴風雪予報に備えて資材等のビニールシート掛けの作業のため、2 tトラックで資材置き場の土場に移動し、作業を行っていたところ、 停車していた当該トラックが約5度の緩やかな傾斜を逸走し、停車し ていたドラグ・ショベルと当該トラックとの間にはさまれた。	30199	7	10～ 29
2007	12	13 ～ 14	被災者は、荷台スライド式車両運搬車（2tトラック）にトラクター・ショベル（機体総重量約3t）を積み込み、定位置に荷台をスライドさせようと油圧レバーを操作したが油圧ではスライドできなかったため、荷台に装着されているウインチをトラクター・ショベル 運転席側の車体にフックを掛け、荷台をスライドさせていたところ、 荷台と運転席キャビンの間にはさまれた。	40301	7	1～9

2007	10	9 ～ 10	被災者は不整地運搬車の荷台前にあるつり上げ装置を使用し、エンジンを詰めた袋（1袋約400kg）をトラックへ積み込む作業をしていた。12袋積み終わったときに、停車していたトラックが後方にゆっくり動き出したため不整地運搬車の荷台にいた被災者がトラックに乗り込んで止めようとしたが、トラック右側のドアと不整地運搬車のあおりの間にはさまれた。	60101	7	1～9
2007	10	22 ～ 23	被災者は国道を走行中、センターラインをはみ出し、対向車のトレーラーと正面衝突した。	40301	17	10～ 29
2007	8	13 ～ 14	片側道路規制をし、交通誘導をしていた被災者に、トラックが突っ込み、被災者をはねた。	170201	17	10～ 29
2007	8	21 ～ 22	国道上において、反対方向から走ってきたトラックが対向車線をはみ出したため、作業者が運転するトラックと正面衝突した。	40301	17	1～9
2007	7	15 ～ 16	建築現場から回収した建築廃材を積載形トラッククレーンに積載して、自社のリサイクルセンターに向けて国道を走行中、交差点で信号待ちのため停車中のトレーラーに追突した。	150102	17	10～ 29
2007	7	15 ～ 16	道路脇からボールが飛んできたため、運転者がブレーキを掛けたはずみで荷台に積んでいたタンクが進行方向に移動し、荷台に乗っていた被災者がタンクと荷台前部にはさまれた。	170201	6	100 ～ 299
2007	3	10 ～ 11	被災者は引越し荷物を積んだ4tウィング車で本社を出発し、交差点を右折したところ、対向してきた4tトラックと衝突し、車外に放り出され自車とガードレールの間にはさまれた。	40301	17	10～ 29
2006	11	15 ～ 16	被災者は、当該災害発生場所付近において、渋滞のため停車していたところ、車列の最後尾のタクシーに4トントラックが追突し、玉突き状態となり、車列の最後尾から2番目に停車していた被災者が死亡し	80209	17	1～9

			た。			
2006	12	10 ～ 11	大型トラックが高速道路の下り線のほぼ直線の道路を走行中に、路肩に停止していた被災者のトラックの後ろに衝突した。	40301	17	1～9
2006	4	22 ～ 23	貨物自動車コンビニエンスストア配送センターを出発し、順にコンビニ店舗へ荷を降ろした後の帰路途中、路上において、相手方貨物自動車と正面衝突した。	40301	17	30～ 49
2006	12	10 ～ 11	被災者は高速道路（片側2車線道路）を走行中、下り勾配左カーブを曲がり直線に入ったところで、追越し車線が規制され走行車線が渋滞しているのに気づき、急ブレーキをかけたが間に合わず、渋滞最後尾の大型トラックの左後ろをかすめて左側に回避した後、左側路肩の法面に左タイヤを乗り上げ走行し大型トラックとその前2台の車を避けたところで横転し、その前に停車していたライトバンに衝突した。	40301	17	30～ 49
2006	11	13 ～ 14	被災者は同僚と2人で車庫においてキャリアカーのテールゲートのワイヤ取替え作業を行っていた。テールゲートを人力で支えて徐々に降ろす作業中、ゲートを支えきれなくなりゲートが倒れてきて、ゲートと地面の間に挟まれた。	80109	7	10～ 29
2006	12	0 ～ 1	被災者は、被災当日朝に車庫を出発し、客先に荷物を運搬した。昼頃納品が終了したため会社に帰社する旨の電話を掛けた後、国道を空荷で走行中、信号待ちで停車していたトラックに後方から追突した。	40301	17	1～9
2006	12	17 ～ 18	勤務先の作業が終了した被災者は、事務所に戻る途中、横断歩道で右折してきたトラックにひかれた。事故当時、豪雨であった。	10101	17	10～ 29
2006	12	9 ～ 10	塗装工事現場を施工するため、トラックに機械を積んで労働者3名で現場へ向かっている途中、トラックが車道を走行中に車道の左脇にあった樹木に衝突し、助手席に搭乗していた被災者が死亡し、運転手及び同乗者が軽傷を負った。	30209	17	1～9



2006	12	5 ～ 6	被災者は配送のため自社4トン冷凍車を運転して事業所を出発し配送先に向かっていたが、交差点で信号待ちで停車していた大型トラックに追突した。	40301	17	1～9
2006	4	20 ～ 21	A支店所属の被災者は、A支店からバキュームカーを運転して客先に出張し、本社所属の作業員らと作業を行い、同社のB事業所に行って機材を降ろした後、午後6時頃、解散した。翌日、B事業所に隣接した川に当該バキュームカーが転落しており被災者が遺体で発見された。	40301	10	30～ 49
2006	12	23 ～ 24	国道及びその隣接地において被災者を含む6名の作業員が工事を行っていたところ、走行してきた4tトラックが現場付近に配置していた交通誘導員の制止を振り切り作業場所に突入、被災者をはねた。	30301	17	1～9
2006	12	8 ～ 9	高速道路の走行車線を大型貨物自動車、前方を走行していた普通貨物自動車に追突した。	40301	17	10～ 29
2006	7	3 ～ 4	国道を4トントラックで走行中に、道路標識に正面衝突した。	40301	17	10～ 29
2006	12	14 ～ 15	被災者はダンボール製箱を納入するため、納品先へ4トントラックを運転し現地へ向かった。納品先へ到着し入場門守衛所前にトラックを止めて入門手続きしていたところ、止めた場所が下り坂であったためトラックが動き出し、被災者がトラックの後ろに回って止めようとしたが間に合わず、トラックのバンパーと納入先の公道を挟んだ向かい側にあるブロック塀との間に挟まれた。	40301	17	30～ 49
2006	12	3 ～ 4	国道の交差点上で、被災者運転のトラックが信号待ちをしていたトラック（13トン）に追突した。	40301	17	50～ 99
2006	12	5 ～ 6	国道を走行していた大型トレーラーが道路側面の擁壁を乗り越え海岸に転落、運転手が全身を強打した。	80109	17	10～ 29

2006	12	3 ～ 4	荷受先に向かうため国道を4トントラックで運送中、交差点で信号待ちをしていた大型トレーラーに追突した。	40301	17	30～ 49
2006	10	6 ～ 7	被災者は、新聞配達のためバイクを運転して道路を走行中、交差点から飛び出してきた軽トラック車と衝突した。	80205	17	10～ 29
2006	12	5 ～ 6	大型トレーラーで道路を走行中、縁石に乗り上げ道路標識2本をなぎ倒して旅館に突っ込んだ。被災者（運転者）は車外に投げ出された。	40301	17	10～ 29
2006	11	8 ～ 9	被災者ら4名は、2台のトラックに2名ずつ分乗し、会社から工事現場に向かう途中、対向車線を走行してきた大型保冷車がセンターラインをはみ出し、そのまま2台と相次いで正面衝突した。	30202	17	1～9
2006	12	5 ～ 6	被災者は2tトラックを運転し、納入先に荷物を配送するため、事業場を出発し、三車線の高速道路の中央車線を走行していたところ、急に後部車輪がロックし、左側にハンドルを取られてガードロープに接触し、その反動で横転したところへ後方から走行してきた大型トラック（13t）が避けきれずにキャビン部へ追突した。	40301	17	30～ 49
2006	12	4 ～ 5	国道を運行中、交差点で信号待ちをしていたところ後続のトラックに追突され、前方に大型の先行車両が信号待ちで停車中であったところに後続車両の追突により運転席側が先行車両に激突した。	40301	17	100 ～ 299
2006	10	10 ～ 11	被災者は、建築工事現場の残土をダンプを運転して運搬する業務に従事していた。被災者は、ダンプの荷台の上がりの状態が悪かったため、荷台を上げた状態で荷台下のシャーシの上に上がり油圧系統等の状況を見ていたとき、荷台が降下し荷台とステップとシャーシの間にはさまれた。	30201	7	1～9
		4	被災者は、木材を積み込んだ大型トレーラー（全長約16m、最大積載量25t）を運転し、目的地へ向かう途中、国道（片側1車線）の			

2006	12	5	左カーブ（なだらかな下り坂）を曲がりきれず、反対車線を横切り、 反対車線側の山の斜面に乗り上げた後、反対車線側の防護柵を突き破り、道路から約4 m下の空き地に転落した。	40301	17	1～9
2006	12	8 ～ 9	被災者は、工事現場で使用する機材を取りに行くため、10 t ダンプトラックを運転して町道（幅3～4メートル）を下り方面に向かって走っていたところ、上り方面に向かってきた4 t トラッククレーンと向かい合わせとなった。被災者は、後方にある退避スペースですれ違いをしようとして後進したところ、左側車輪を脱輪し、64メートル下方の河原に車体ごと転落し、運転席から投げ出された。	30106	17	10～ 29
2006	12	12 ～ 13	被災者が運転するトラックが高速道路を走行していたところ、渋滞の最後尾のトラックに追突した。	40301	17	50～ 99
2006	12	22 ～ 23	電気工事を終了し、工事現場からライトバンにて事業場へ戻る途中、国道の交差点で右折しようとしていた大型トレーラーに追突し、ライトバンを運転していた労働者と同乗していた労働者の2名が死亡した。	30301	17	10～ 29
2006	12	22 ～ 23	電気工事を終了し、工事現場からライトバンにて事業場へ戻る途中、国道の交差点で右折しようとしていた大型トレーラーに追突し、ライトバンを運転していた労働者と同乗していた労働者の2名が死亡した。	30301	17	10～ 29
2006	12	13 ～ 14	スーパーに水産加工品を納品するため、4.5 t 保冷車で国道を走行中、赤信号で停車していたダンプに追突し、当該保冷車を運転していた労働者と同乗車の2名が死亡した。追突されたダンプの運転手1名も負傷した。	80109	17	10～ 29
2006	12	13 ～ 14	スーパーに水産加工品を納品するため、4.5 t 保冷車で国道を走行中、赤信号で停車していたダンプに追突し、当該保冷車を運転していた労働者と同乗車の2名が死亡した。追突されたダンプの運転手1名も負傷した。	80109	17	10～ 29

2006	12	16 ～ 17	工事作業を終わり資材置場兼駐車場に帰る途中、前方の右折しようとしていた軽自動車に気づかず追突し、反対車線に飛び出したところ対面のトレーラーに衝突した。	30110	17	1～9
2006	12	21 ～ 22	トラック等の入庫・出庫管理をしていた被災者が、出庫前のフルトレーラーの被牽引車（後方台車）にひかれた。	170201	7	50～ 99
2006	9	14 ～ 15	水道管の布設工事で、管の布設後、埋め戻しを行うため、砂を積んだダンプトラックをバックで、ドラグ・ショベルに寄せているときに、ダンプトラックとドラグ・ショベルに挟まれた。被災者は、ドラグ・ショベルの運転者で、クレーン使用のドラグ・ショベルを使用しており、被災者は布設時に使用したクレーンのフックの格納作業を行っていた。	30110	7	1～9
2006	5	0 ～ 1	4 tトラックの荷台にトラクターを積み移動中、運転手が道を間違え、急ブレーキを踏んだため、荷台上のトラクターが滑動し、荷台に乗っていた被災者がトラクターとトラックのプロテクターの間に挟まれた。	60101	17	1～9
2006	12	6 ～ 7	インターチェンジ付近で本線への進入路を走行中、カーブを曲がりきれず、ガードレールに衝突した。	40301	17	50～ 99
2006	11	15 ～ 16	国道トンネル入口付近において、4トントラックが渋滞で停車していた最後尾のタクシーに追突し、同タクシーが押し出されて前方に停車していたトレーラー、自家用乗用車、4トントラックの順に玉突き追突をして、タクシー運転手、2トントラック運転手の2名が死亡、自家用乗用車の運転手及び最後に追突された4トントラックの運転手の2名が軽傷を負った。	40201	17	100 ～ 299
2006	12	5 ～ 6	被災者が3 tトラックで国道を西に走行中、高速道路高架下で仮眠のため停車していた10 tトラックに追突した。	40301	17	50～ 99

2006	9	5 ～ 6	4トントラックにて、荷物を運搬する途中、高速道路パーキングエリア出口付近で、事故で渋滞していたトラックAに追突した後、当該パーキングエリアより出てきたトラックBに接触し、中央分離帯に衝突した。	40301	17	30～ 49
2006	12	0 ～ 1	被災者は、同僚1名と共にゴミの収集作業を行っていたが、住宅地区で、袋小路の奥にある住宅のゴミを収集するため、同僚が運転するごみ収集車の後方で、誘導作業を行っていたところ、ごみ収集車に轢かれた。	150103	17	30～ 49
2006	12	14 ～ 15	残土処分場にて車両（4ドアタイプのいわゆるピックアップトラックであり、場内のみの運行につきナンバープレートの交付なし）の下敷きになってるのが発見された。	20201	6	10～ 29
2006	10	4 ～ 5	荷物を運ぶため国道を走行中、信号待ちをしていたトレーラーに後方から追突した。	40301	17	1～9
2006	12	4 ～ 5	事業場へ熱延コイル（3コイル、25.5トン）を大型トレーラーで輸送中、国道の左カーブを曲がりきれず、対向車線にはみ出し、ガードレールを突き破って横転した。	40301	17	300 ～
2006	12	15 ～ 16	被災者は一般国道道路改良工事の工事現場内においてトラック等の車両の誘導を行う警備員で、現場内において車両積載形トラッククレーンの後退中に被災者が轢かれた。	170201	6	100 ～ 299
2006	12	8 ～ 9	被災者は、市内の事業場から金属バリをトラック（普通貨物自動車）に積んで自社へ運搬途中、交差点で信号待ちしていた乗用車に追突した。	150102	17	10～ 29
2006	12	16 ～ 17	被災者は無線中継局の施工不良個所の巡回点検工事を行っていたが、作業終了後に宿泊先に4tトラック（トラック積載型小型移動式クレーン）で移動中、国道において、点検のため路肩に停車中の大型トレーラーに追突した。運転者が負傷し、助手席に同乗していた被災者	30301	17	1～9

			は死亡した。			
2006	12	10 ～ 11	高速自動車道下り線で、走行車線規制を実施しつつ、走行車線右側の白線引きを行っていた。作業はマーカー車により行い、運転手、オペレーター（作業車右側のステップに乗車）、材料等調整者と品質管理者（後部ステップに乗車）の4名が従事していたところ、11tトラックがマーカー車の右側部に追突し、オペレーターと材料調整者が被災し、オペレーターが死亡した。	30199	17	10～ 29
2006	11	18 ～ 19	倉庫新築工事現場での作業を終え、被災者らがトラックで、同事業場に帰る途中の市道上において、ハザードランプをつけないで停車していた10tトラックを追い越そうとした際に10tトラック後部に激突した。	30201	17	1～9
2006	11	17 ～ 18	被災者が片側2車線の国道の追越車線を軽トラックで走行中、前方で右折待ちをしていたダンプトラックに追突した。	30302	17	1～9
2006	11	13 ～ 14	工場へ製品を配送途中、標識点検工事のため車線規制で渋滞し停車していた車両に追突した。	11209	17	30～ 49
2006	11	15 ～ 16	高速道路において被災者の4tトラックが追い越し車線走行中、同車線でライン引き工事を行っていた大型トラックに追突した。	40301	17	100 ～ 299
2006	11	17 ～ 18	被災者は、2トン保冷車を運転して配送業務を行ない、配送を終えて会社へ戻るため走行していたところ、反対車線を走行してきた2トンダンプが車線をはみ出し、被災者の前を走行していた軽自動車と被災者の車両に相次いで衝突し合計4台の事故となり被災した。	80109	17	10～ 29
2006	11	5 ～ 6	国道にて渋滞により停車中、後方より大型トラックに追突され、弾みで前方のトレーラーに衝突した。	40301	17	1～9

2006	11	23 ～ 24	被災者は自走によりトラック（8 t）を陸送するため、午後5時ごろ金沢を出発した。午後8時ごろギヤの不具合を感じ国道の路肩にトラックを停車させ、車体の下に潜り修理をしていたところ車が動きだしプロペラシャフトに衣服が巻き込まれた。	40309	7	10～ 29
2006	11	17 ～ 18	被災者は、フェリー乗り場内において、トラック等が乗船する際の誘導等の作業を行っており、次に乗船させるトラックを探していたところ、同乗り場内で、トレーラーのシャーシ等を船に積み込む作業を行っていた別会社のトレーラーの運転手がトレーラーのヘッド部分のみを運転し、次に船に積み込む予定になっていたドラグ・ショベルの位置まで行く途中、走行路を右折したところで、被災者に激突した。	170209	6	50～ 99
2006	9	10 ～ 11	被災者は県道においてガードレールの補修作業に従事していたところ、走行中の大型トラックにはねられた。	160101	17	100 ～ 299
2006	11	3 ～ 4	被災者はサッシガラスを運搬するために3 t 車両積載形トラッククレーンで県道を西進中、市道を南進していた大型トラックが点滅中の赤信号を一時停止せず交差点へ進入したため、被災者の運転する車が大型トラックの側面へ衝突した。	40301	17	1～9
2006	11	4 ～ 5	前日の夕方に10トントラックに電化製品を積み込み、被災当日の午前1時すぎに自宅を出てトラック置き場へ行き、同トラックを運転して国道を走行中に、下り左カーブにおいて対向して来た砂糖運搬のトレーラーと衝突した。	40301	17	10～ 29
2006	11	9 ～ 10	被災者が検針業務で原動機付自転車に乗っていたが、信号機の無い交差点で、直進していたところ、進行方向に向かって右側より2 t トラックが一時停止をせずに交差点に進入し接触した。	80204	17	1～9
2006	11	2 ～ 3	高速道路で10トントラックが乗用車に追突し、乗用車は大破し走行車線上に斜めに停車した。その後、乗用車の前方にトラックを停車させ、トラックから降りて乗用車の後方に立っていたところ、走行車線を走行してきた後続の10トントラックに追突され、停車していた10t	40301	17	30～ 49

			トラックと乗用車の運転手が死亡した。			
2006	9	10 ～ 11	倉庫において、米穀集荷作業中、2 tトラックのあおりから転落した。	80209	1	1～9
2006	11	23 ～ 24	4 tトラックを運転し、国道を目的地に向け走行中、反対車線を走行してきた3 t 保冷車がセンターラインを越えて正面衝突した。	40301	17	10～ 29
2006	11	11 ～ 12	一般家庭用不用品回収の為、被災者及び同僚の2名で民家庭先に2トントラックを駐車し、不用品の積み込みを行っていたところ、庭先から一般道へ続く坂道へトラックが後進し始めた為、被災者がトラック後部を押さえて止めようとして右後輪付近と民家敷地内に置かれていた石とに挟まれた。	80209	7	1～9
2006	11	7 ～ 8	被災者は、会社所有の2トントラックを運転し、生イカを購入後、商店へ納品するため、国道を走行中、対向車線をはみ出し、10トン清掃車と正面衝突した。	10102	17	30～ 49
2006	11	5 ～ 6	国道の走行車線で、被災者の運転する大型トラック（14.5トン）が渋滞中の車列に衝突し、計3台が絡む交通事故となり、被災者と衝突されたトラックの運転手の2名が死亡した。	40301	17	30～ 49
2006	11	0 ～ 1	被災者はトラックで高速道路の追越車線を走行中、走行車線側に車線変更しようとした際に、走行車線を走行していた軽自動車と接触し、さらに道路の側壁（防音壁）に正面から衝突した。	40301	17	50～ 99
2006	11	0 ～ 1	国道を大型トラックにて走行中、渋滞により停車していたタンクローリーに追突した。	80109	17	1～9
2006	11	13 ～ 14	国道において、オートバイで新聞を配達していたところ、飲酒運転の乗用車に衝突された。	140301	7	50～ 99



2006	10	16 ～ 17	被災者が市道（優先道路）を営業車で走行中、対向車線を走行していた4トントラックが脇道から進入してきた2トントラックに激突されたはずみで車線を横断し、被災者の車に激突した。	90201	17	50～ 99
2006	9	12 ～ 13	片側1車線の公道で右折する為に停車中、後方より前方不注視の大型貨物車が追突、反対車線に押し出されたところを直進してきた別の大型貨物車に衝突された。	80202	17	50～ 99
2006	10	22 ～ 23	被災者は、中型トラックで客先に電機関係部品を運搬中、国道の交差点において、赤信号で停止していた大型トラックに追突した。	40301	17	30～ 49
2006	2	9 ～ 10	被災者は工場改修工事に向かうため、ダンプトラックの助手席に同乗していたが、ダンプトラックが交差点手前で信号待ちをしていたトラックに追突した。その衝撃で、荷台に積んでいたコンプレッサーが滑り助手席の後部のプロテクターごと被災者に激突した。	30309	17	10～ 29
2006	2	9 ～ 10	工場改修工事に向かうため、ダンプトラックを運転していた被災者は、交差点手前で信号待ちをしていたトラックに追突した。	30309	17	1～9
2006	10	16 ～ 17	学校の樹木の剪定作業を終了した後、剪定で生じた枝葉などの切りくずを4トンのトラックに載せて処分場に捨てるため、校門から道路に出たところ、ガードレールに車体の左脇部分が接触した。運転者があわててトラックを後退させたところ、校舎の塀とトラックの荷台後部とに被災者が挟まれた。	30199	7	1～9
2006	10	14 ～ 15	宅地造成現場において資材搬入のために停車していた3トンダンプトラックが、傾斜8度から10度の坂道を約26メートル後退し、地下車庫の型枠解体作業をしていた被災者に激突した。	30109	6	10～ 29
2006	10	3 ～ 4	被災者は目的地へ向けてトレーラーを運行中、国道で左カーブを曲がりきれず、右側に横転し、被災した。	40301	17	30～ 49

2006	10	7 ～ 8	スーパーへ卵を輸送するため4 tの保冷車を運転し、高速道路の追い越し車線を走行していたが、走行車線へ車線変更したところスリップし、左側のガードロープに接触し転倒した。	40301	17	10～ 29
2006	10	11 ～ 12	被災者らはイベントの来場者誘導を町から委託され、その準備作業となる道路路側帯へのロードコーン設置作業を行っていた。被災者がトラック荷台上からロードコーンを道路上の作業員に手渡し、指定された区間にロードコーンを設置した。現場責任者から一部がまばらな箇所があると連絡を受け、手直しするために向かう途中で、荷台から墜落した。	170201	1	100 ～ 299
2006	10	23 ～ 24	同僚と二人で、帰社の為同僚が運転する自社の乗用車で高速道路から自動車道へ入った。右車線走行中左車線からトラックが幅寄せし右へ回避して、中央分離帯へ接触した。前輪右側のタイヤが破損した為、車道左側の路肩へ停車し被災者がタイヤ交換を行っている最中に、後方から来たトラックにはねられた。	10109	17	100 ～ 299
2006	9	11 ～ 12	ゴルフ場での道路整地作業中、2トントラックを下り坂のカート道に停車させ、被災者がトラックから降りたところ、トラックが動き出したので、被災者はトラックの運転席側の窓から体を入れ、止めようとしたが、22メートル走行した箇所でトラックに轢かれ仰向けに倒れているのが発見された。	30199	7	1～9
2006	10	11 ～ 12	国道上で渋滞のため停止していた被災者を含む3台の後方から停止のため減速していたトラックにさらに後方から来たトラックが追突し、5台の多重追突事故が発生した。被災者は2 tトラックを運転しており、救急車で搬送する途中、死亡した。	40301	17	1～9
2006	10	21 ～ 22	勤務先から目的地へ14トントラックにて荷を取りに行く途中、左カーブで反対車線のガードレールを突き破り、約6mのがけ下へ転落した。現場は蛇行が続く山道であった。	40301	17	1～9
2006	10	11 ～	高速道路の出口で、信号待ちで停車していたトラック（13トン）	40301	17	30～

		12	に、被災者の運転するトラック（3.3トン）が追突した。			49
2006	10	23 ～ 24	目的地まで荷物を搬送するため、国道を走行中、交差点で信号待機中の2台のトラックに追突した。	40301	17	30～ 49
2006	10	13 ～ 14	国道線上における歩道設置工事において、U型側溝等の目地詰め用セメントに用いる砂等の土壌を載せた猫車を押して運搬していた被災者が、背後から後進してきた最大積載量3トンの小型移動式クレーン搭載型トラックに激突された。	30106	6	1～9
2006	10	11 ～ 12	タクシー運転手が客を送っていった帰りに、片側一車線の緩やかなカーブを抜けた直線でセンターラインをはみ出してきたトラックに正面衝突された。	40201	17	10～ 29
2006	10	18 ～ 19	被災者は物流センターのプラットホームに4トントラックを着ける前に、プラットホームの前でバックしていたトラック荷台後部の観音開き扉を開けていたところ、駐車レーン横の柱と開けた扉の内側の間に挟まれた。	40301	6	10～ 29
2006	10	11 ～ 12	配送の準備のため、トレーラー（空コンテナ2台連結）を目的地まで運搬し、同僚が前部トレーラーの補助脚を立てた後、被災者が運転席を降り、カプラー（トレーラーとの連結）を外した所、僅かの傾斜でトラクター（運転台）が前に動き出したため、止めようと運転席のドアを開け乗り込もうとしたとき、ドアが建物の壁に当たり、ドアにはさまれた。	40301	7	10～ 29
2006	10	11 ～ 12	解体現場建物内において、積載荷重3.3トンのトラックに廃材の畳を積み込み、トラックを移動させるときに、被災者は積んでいた畳が建物内の梁に当たらないことを確認するため、荷台の端部上に上がり、運転者が被災者と合図をしながらトラックを移動させていたところ、被災者が梁と畳に挟まれた。	30209	7	10～ 29
		17	商品を引き取りに行き、県道を2トントラックを運転して事業場へ戻			10～

2006	9	18	る途中、下りの左カーブを廻りきれずに横転し、反対車線の電柱に衝突した。	40301	17	29
2006	9	8 9	出張先構内において、荷物（家畜用飼料、一袋約40kgの布製）をトラックに積込む作業を終え、荷台上で荷物を治具（手鉤）にて整えていたところ、治具が荷物に完全に引っかかっていない状態のまま整えようとしたため、その反動でトラック後部から地面に約2m転落した。	40301	1	10～ 29
2006	9	11 12	国道において、道路側面の除草作業中、刈り取った草を機械式ごみ収集車（パッカー車）投入口から積み込む作業を行っていたとき、機械式ごみ収集車（パッカー車）の回転板に挟まれた。	30199	7	50～ 99
2006	9	4 5	国道をトラックにて走行中、交差点で信号待ちをしていたトラックに追突した。	40301	17	10～ 29
2006	9	6 7	10tダンプで建設現場に砂を運搬するため、国道を走行中、トンネル出口付近において、センターラインを越えて対向してきた4tトラックと正面衝突し、双方の運転手が死亡した。相手方運転手は冷凍食品を運搬中であった。	40301	17	30～ 49
2006	9	15 16	自転車で夕刊配達中に交差点を横断中、右折してきたトラックと衝突した。	80205	17	10～ 29
2006	9	20 21	8. 7トントラックで荷を運搬中、国道の左カーブ下り坂にて、センターラインを超えて反対車線の道路脇コンクリート壁に激突した。	40301	17	50～ 99
2006	9	18 19	被災者は、当日目的地までワゴン車を運転し客先に荷物を届け、戻るため高速道路を走行していたところ、前方を走行していた乗用車がガイドロープ支柱に衝突し、その弾みで中央分離帯のガードレールにぶつかり停止した。被災者は左車線に車を止め、乗用車の運転席に近づいたところ、後方から来た4トントラックにはねられた。	50101	17	10～ 29

2006	9	13 ～ 14	午後12時30分頃、配送作業を終え、帰社途中に高速道路において、3車線の一番左の車線を走行中、故障のため停車していたトレーラーに追突した。	40301	17	1～9
2006	8	1 ～ 2	4tトラックに荷（家具）を積み、会社を出発し、高速道路を走行中、前方を走行していた10tトラックに追突した。	40301	17	10～ 29
2006	9	13 ～ 14	被災者は配送先から会社に帰るため、国道を走行中、信号待ちで停車していたトラックに追突した。	40301	17	50～ 99
2006	9	11 ～ 12	被災者は、市場からトラック（3t車）に荷物を積み、会社に運ぶため、自動車道下り車線の一番左車線を走行中、2台前の普通貨物自動車エンジントラブルにより路肩に移動しようと減速した。その際、その後ろを走っていた大型トラックも減速したため最後尾を走行していた被災者がその大型トラックに追突した。	80109	17	10～ 29
2006	9	4 ～ 5	高速道路を目的地へトラックにて走行中、停車中の車両に追突した。	40301	17	100 ～ 299
2006	9	6 ～ 7	国道のトンネル出口付近で、被災者が運転する4トントラックと建設会社の土砂運搬用ダンプが正面衝突を起こし、双方の運転手2名が死亡した。	40301	17	10～ 29
2006	9	10 ～ 11	被災者が3トンごみ収集車を運転して同僚と2名にて古紙回収を行っているとき、12メートル下の山林に転落し、車と木にはさまれた。また、助手席に乗っていた同僚も、負傷した。	150102	17	100 ～ 299
2006	9	15 ～ 16	県道の舗装工事において、片側2車線の道路を1車線規制し、車線のライン消去作業中、制限速度をオーバーしたトラックが規制区域内に突進し、当該規制区域内で工事車両の誘導していた被災者をはねた。	30106	17	30～ 49
		5	出勤時間が1時間遅れた被災者は、4トントラックを運転して、定時			50～

2006	7	6	～	に出発した先行車の手伝いに向かっていたところ、停車中のトラックに追突した。	40301	17	99
2006	8	20	～	翌日の運行の準備のため被災者がコンテナに乗ったとき、サイドブレーキの引きが甘く、当該トラックが停車している場所に多少の傾斜があったため、トラックが後方に走り出し、被災者はコンテナから慌てて降りたが、後方に走るトラックをよけきれずに、地面とトラック下部にはさまれた。	40301	7	50～ 99
2006	9	1	～	高速道路のカーブにおいて、被災者運転のトラックが横向きの状態で下り線2車線をふさぎ、そこに後続のトラック等が次々と衝突し、被災者が死亡した。	40301	17	30～ 49
2006	9	1	～	先頭を走っていたと見られる大型トラックがスリップし、横転したところに、後続の車両が次々と衝突、被災者のトラックを含む計21台が絡む多重事故となり、被災者が死亡した。	40301	17	30～ 49
2006	9	10	～	カーキャリア（キャリア部は2段式で、車5台分積載可能）で車2台を積載し、運搬先に運搬した。2台目の車を降ろすため車のあるカーキャリアの上段部に上り車に乗り込もうとしたとき地面に墜落した。	40309	1	1～9
2006	9	14	～	国道で、被災者がトラックを運転中、信号待ちしていたトレーラーに追突しかけたためとっさに避けようとしたが追突し、追突後もそのまま左斜め前方に前進し約30m先の縁石に衝突した。	40301	17	10～ 29
2006	8	0	～	医薬品搬送のため、4tトラックを運転し、国道を目的地へ向かう途中、停車中の大型トラックに追突した。	40301	17	10～ 29
2006	9	10	～	客先宅へ訪問する際に、客先宅付近の国道上に自動車を停車させ、自動車の右側（車道側）に立って後部座席に積んでいた荷物を客先に持っていくために準備していたところ、後方から走行してきたトラックに衝突された。	90103	17	10～ 29
		13		被災者等は軽自動車に乗り、客先に向って営業所を出発した。途中、			

2006	7	～ 14	国道を走行しているとき、信号機が赤に変わったので停止していたところ、後続の4 tトラックが被災者等の乗っていた軽自動車に追突した。	90103	17	30～ 49
2006	9	～ 12	2 tトラックで宅配便の集配作業中、国道から集荷取次店のガソリンスタンドに入ろうとしたところ後続の大型トラックに追突された。	40301	17	30～ 49
2006	9	～ 15	公道である坂道（傾斜角12度）に塵芥車を駐車し、が運転席から降りたところ、無人のまま塵芥車が坂道を下り、前方に駐車していたダブルキャブに衝突、追突されたダブルキャブは衝撃で押され90度横転し、前方に駐車していた2トンダンプに衝突、その際、ダブルキャブと2トンダンプの間にいた作業員がダブルキャブの下敷きになった。	60101	6	10～ 29
2006	9	～ 10	本社構内の屋外通路において、被災者が業務打合せのため携帯電話で話しをしていたところ、近くに停まっていた4トントラックが被災者の背後から後退してきて被災者に激突し、轢かれた。	80109	6	300 ～ 499
2006	9	～ 5	国道と小道が交わる、信号及び横断歩道のない十字路交差点で、国道から右折して小道に進入しようとしたトラックが、新聞配達のため小道を渡っていた被災者の乗る自転車をはねた。	80205	17	30～ 49
2006	5	～ 3	出荷の為、普通貨物自動車により港へ向かう途中、信号待ちで停車中の大型貨物自動車に追突した。	40301	17	10～ 29
2006	6	～ 23	国道を大型トレーラーに鋼材（型鋼）を積んで走行中、急ブレーキをかけたところ、積荷の鋼材が前方にずれ運転席を押し、運転者がハンドルとシートに挟まれた。	40301	17	10～ 29
2006	8	～ 11	事業場内において、トラック（最大積載荷重7500kg）荷台に取り付けたオープンコンテナにバラ物の古紙を入れ、オープンコンテナ上で均し作業をしていたところ、古紙の上で作業していたため足元が滑り、高さ2.5m下のコンクリート床面に墜落した。	80109	1	1～9

2006	8	6 ～ 7	タンクローリーを運転し、事務所に向かい国道を走行中、対向車線にはみ出し、トラックと正面衝突した。	40301	17	30～ 49
2006	8	5 ～ 6	高速道路のカーブを曲がりきれなかったトラックが、ガードレールに衝突し横転した。そのため、トラックの運転手がトラックから投げ出され、運搬していた塩化ビニール（粉末状）が運転手にかかった。	40301	17	0
2006	6	6 ～ 7	国道を4トントラックで運転中、駅前の信号機に激突した。	40301	17	10～ 29
2006	6	5 ～ 6	前日の20時に出社し、トラックに乗り引越し先へ向かって高速道路を走行中、インターチェンジ付近で事故で渋滞していた最後尾の車に追突した。	40301	17	10～ 29
2006	8	13 ～ 14	被災者は労働者を軽トラックで会社所有の畑に送った後、畑から会社に戻る途中道路（幅約5m）右端のコンクリート製電柱（会社事務所から約110メートル）に激突した。	10109	17	10～ 29
2006	8	8 ～ 9	マンションの新築工事現場において、トラック運転手がトラックを移動させたところ、被災者がマンション1階階段の壁とトラックの荷台にはさまれた。	170201	7	10～ 29
2006	8	8 ～ 9	1. 5トントラックを運転し、当事業場から目的地へ自動車部品の納品のため、片側三車線の高速道路を走行中、事故渋滞で中央の車線で停車していたところ、後方からきた大型トラックに追突された。この追突により渋滞で車列していた計7台の自動車が玉突き事故となった。	40301	17	1～9
2006	7	21 ～ 22	高速道路で目的地に向かう途中、左側壁に衝突し、はねかえり中央分離帯に衝突後、また、はねかえり左側壁に衝突した。	40301	17	10～ 29
		7	被災者が、乗用車で建替工事現場へ向う途中、飲酒運転を行っていた			10～



2006	8	8	～ 8	タンク車が、右側にはみ出し正面衝突した。	30201	17	29
2006	8	14	～ 15	非常勤職員としてホームヘルパーの業務に従事していた被災者が、訪問介護の一環で、患者を近くの診療所へ連れて行く途中、トンネル内で、対向する2 tトラックと正面衝突した。	130201	17	10～ 29
2006	7	5	～ 6	荷物を、目的地へトラックにて輸送中、高速道路のトンネル内の右追い越し車線に故障停車していたトラック（運転手は退避）に後方から激突し、そのはずみでトンネルの左側壁に激突した。	40301	17	30～ 49
2006	8	4	～ 5	乳製品を積んで目的地に向かっていた大型トラックと対向してきた普通乗用車が正面衝突し2台とも5～10 m下の崖下に転落した。	40301	17	10～ 29
2006	7	12	～ 13	店改装工事現場から道路向かい側のコンビニエンスストアに買物に行き、戻るため道路を横断していたところトラックにはねられた。	30201	17	1～9
2006	7	2	～ 3	11 t 冷蔵トラックを運転中、燃料切れで路側帯に3分の1程度入って停車していたトレーラーに追突した。	40301	17	30～ 49
2006	7	9	～ 10	高速道路上り線にて乗用車を運転中に、インター料金所から入る進入路と本線の合流地点よりやや西の付近で大型トラックが乗用車に追突し、そのはずみで乗用車が前にいた普通トラックに追突、このトラックがさらに大型トレーラーにも追突した。乗用車は炎上し、運転者と同乗者が死亡した。	11301	17	50～ 99
2006	7	9	～ 10	高速道路上り線にて乗用車を運転中に、インター料金所から入る進入路と本線の合流地点よりやや西の付近で大型トラックが乗用車に追突し、そのはずみで乗用車が前にいた普通トラックに追突、このトラックがさらに大型トレーラーにも追突した。乗用車は炎上し、運転者と同乗者が死亡した。	11301	17	50～ 99

2006	8	15 ～ 16	被災者が詰め所から約16m離れた事務所に歩いて向かう途中、詰め所前に被災者が停めていたトラックが後ろ向きに事務所に向かって動き出し、事務所前に停めてあったフォークリフトの後部と動いてきたトラックの荷台との間に被災者が挟まれた。詰め所から事務所までは約3.5度の下り勾配となっていた。	80109	7	10～ 29
2006	7	16 ～ 17	労働者2名にて、仕事を終えトラックにて帰社途中、車線変更していたところ、3車線目に駐車していた11tトレーラーの後部に追突。助手席側が大破し、助手席に同乗していた被災者が死亡。	11702	17	10～ 29
2006	8	14 ～ 15	国道を被災者が4tトラックで走行していたところ、赤信号のため停止していた大型トラックに追突した。	40301	17	30～ 49
2006	7	13 ～ 14	被災者は食品配達のため軽保冷車を運転し走行中、運転を誤り橋の欄干に激突した。	80209	17	30～ 49
2006	7	9 ～ 10	国道のトンネル内を目的地へ配達する為に走行していたところ、トンネル出口の信号で渋滞し、停止していた車輻に追突した。	40301	17	10～ 29
2006	6	12 ～ 13	小学校の耐震工事の納品のため現場に入った納入業者の運転者が、校内に入ってトラックを止めて門を閉めようとしたところ、無人のトラックが傾斜地を動き出して約30メートル後退し、運転者が轢かれた。	40301	6	1～9
2006	6	16 ～ 17	国道（見通しの良い片側1車線）において、走行していた被災者運転のトラック（最大積載量840kg）が、センターラインを越え、対向車線を走行していたトラック（11t）と正面衝突をした。	80209	17	10～ 29
2006	7	0 ～ 1	道路拡幅工事現場において、昼休中に、現場敷地内の歩道橋の下の日陰で、被災者が横になって休憩していたところ、後進しながら現場に入ってきた10tダンプに轢かれた。	30106	6	1～9

2006	6	5 ～ 6	トラックにより目的地に向かう途中、高速道路インターチェンジ付近の料金所のコンクリートガードに接触しながら、ETCゲートを通り過ぎ、約70mを走行し道路わきのガードレールを突き破って、約4m下方の市道に転落した。	40301	17	1～9
2006	7	1 ～ 2	上り走行車線で緊急舗装補修の為、本線規制を行い補修作業を行っていた。規制終点側のカラーコーンが一般車両により飛ばされたため、労働者が1人で資材車に乗り、コーンを直した後、バックで戻ろうとしていたとき、途中でマーキング作業をしていた被災者をひいた。	30106	17	10～ 29
2006	7	15 ～ 16	被災者が運転し他1名が同乗した軽自動車が、公園北側の入り口に到着したが、入り口付近にタクシーが駐車していたので、入り口扉の手前の道路中央に駐車し、被災者が運転席から降りて、入り口扉を開場するため扉に向かった。同乗者が軽自動車を扉に近づけるため運転したが、軽自動車が暴走し、駐車していたタクシーに接触し、被災者を巻き込んで扉を突き破り、先の植え込みで停止した。	60101	17	50～ 99
2006	6	5 ～ 6	朝刊配達中、センターラインのあるゆるやかなカーブを過ぎた所でセンターラインを飛び出し、対向車と衝突した。	80205	17	30～ 49
2006	7	11 ～ 12	被災者は、積載重量7トンのトラックを運転し、片側一車線の国道上を事業場へ戻るため走行中、左カーブに差し掛かったところ、対向車線を走行してきた積載重量2トンのトラックが、カーブを曲がりきれずに対向車線まではみ出して、正面衝突した。	40301	17	1～9
2006	7	17 ～ 18	牛の飼料を酪農家へ運搬した後、目的地から会社に戻るため国道を走行中、右カーブにおいて対向車線を走行してきた4tダンプがセンターラインをはみ出し正面衝突した。	40301	17	10～ 29
2006	7	17 ～ 18	現場作業を終え、現場から会社へ戻るため4トンダンプを運転して国道を走行中、左カーブにおいて対向車線にはみ出し、対向してきた11トン平ボディトラックと正面衝突した。	30106	17	10～ 29
		13	片側2車線道路の右車線走行中、前方の交差点を左折するために左車			

2006	6	～	線に車線変更したとき、その前方に信号待ちで停車中の列後部の大型	40302	17	10～
		14	トラックの後部に激突した。			29
2006	7	6	大型トラックを運転し、高速道路を走行中、事故渋滞で徐行していた	40301	17	100
		～	前方のトラックに衝突した。			～
		7				299
2006	5	11	取引先で、20トン平ボディトラックに古紙の積み込み作業中、荷台	40301	1	100
		～	の古紙にシートを掛けていたところ荷台から足を滑らせ高さ約3メー			～
		12	トルのところから落下した。			299
2006	4	5	国道の交差点で乗用車と被災者が運転するトラックが出会い頭に衝	150102	17	30～
		～	突、運転手は死亡、助手席にいた助手は打撲の怪我を負った。			49
		6				
2006	7	2	大型トレーラーにより目的地まで集成材を運搬中、通常の経路が土砂	40301	17	1～9
		～	崩れで通行止めとなったため、う回して、国道を走行中、左カーブを			
		3	曲がりきれず対向車線のガードレールに衝突して横転、運転者と同乗			
			の助手が車外に投げ出された。			
2006	6	20	トレーラーにて目的地へ向かうため、高速道路のトンネル内の走行車	40301	17	10～
		～	線を走行中、右前輪がバーストし、右側にハンドルを取られトンネル			29
		21	内の右壁に激突、その状態でトンネルを通過し上り車線と下り車線の			
			間にあるコンクリート壁に激突した。			
2006	7	18	被災者は、定時終業時刻後に、歩行者用通用門から退出するため、正	30202	17	100
		～	門前の構内横断歩道上を自転車で走行していたところ、構内入場のた			～
		19	めに左折して来た運送業者の定期便トラックに轢かれた。			299
2006	6	11	被災者は、目的地へ産業廃棄物12トン積んだ20トントレーラーを	40301	17	10～
		～	運転して県道を走行中、カーブを曲がりきれずに約3メートル下の田			29
		12	に転落した。			
		17	杭打ち工事を終え、帰るため4名が2台に分乗して出発した。1台は			
			運転者と被災者が乗車し杭打ち機を積んでいた。高速自動車道に入り			10～

2006	7	～ 18	走行していたところ、左カーブでトラックが横転し、被災者は死亡。 運転者は骨折した。	11709	17	29
2006	6	～ 7	被災者外1名は、1トントラックに同乗（被災者は助手席に乗車）し、工事現場に向かうため、片側一車線の県道を走行中、センターラインを超えて走行してきた対向車（ワゴン車）と衝突した。	30309	17	1～9
2006	6	～ 11	同僚運転手と被災者の2名で一般家庭からのビン・カンごみの回収のため、2トントラックで住宅街を20km/h程度で走行していたところ、後方でビン回収袋の落ちる音と被災者の声があったため、トラックを停車させサイドミラーで確認したところ、落ちた回収袋とともに路上にうつ伏せで倒れている被災者を発見した。	150103	1	10～ 29
2006	6	～ 20	被災者が営業所に戻るためトラック（1トン車）を運転し、国道バイパス上り線を走行中、センターラインをオーバーし、下り線を走行中のトレーラー（20トン車）と衝突した。	80109	17	1～9
2006	6	～ 15	4tダンプにてダム工事現場から土砂搬出のため県道を南下中、別の4tダンプと鉢合わせのため、待避所まで後退しようとしたところ、誤って県道からダンプごと約18m下の川まで転落した。	30101	1	10～ 29
2006	7	～ 20	県道を南進中、左キャビンが側壁に衝突し、左前輪が側溝に落ちたまま走行を続けていたが、左カーブを曲がりきれず直進し農機具庫に衝突後、休耕田に転落した。	40301	17	30～ 49
2006	6	～ 9	牛の飼料である牧草を大型トレーラーにより運搬してきた被災者が、トレーラー後部扉付近で血を流して座り込んでいるのを、出勤してきた職員が発見した。被災者発見時、トレーラー後部扉は開いており、飼料（牧草1塊約400キロ）の一部が被災者横に崩れ落ちていた。	40301	6	1～9
2006	7	～ 10	被災者は建設現場に仮設通路用の鉄板をポールトレーラーを使用して運送していたが、傾斜角5度の通路上でポールトレーラーのドローバーの短縮作業を行っていた際にトレーラー部が下方に滑ったため、トレーラー後部とドローバーとの間に挟まれた。	40301	7	10～ 29

2006	6	14 ～ 15	宅配便のトラック運転手である被災者が、トラックを道路脇に止め、荷台の後部にまわって荷物を積み込んでいたところ、他者の運転する乗用車が追突し、トラックと乗用車にはさまれた。	40301	17	10～ 29
2006	6	0 ～ 1	赤信号で停車中のトラックに、荷を運搬している途中の被災者の運転するトラックが追突した。	40309	17	10～ 29
2006	5	7 ～ 8	高速道路を走行中、大型車3台による交通事故が発生した。被災者のトラックは、前から2台目を走行していた。	40301	17	100 ～ 299
2006	5	17 ～ 18	被災者は国道を走行中、長い下り坂でカーブを曲がりきれずに、横転・転覆しガードレールを突き破り、がけ下まで転落し炎上した。	40301	17	50～ 99
2006	6	11 ～ 12	建築現場から残材を回収し、自社の加工場へ戻るためトラックを運転していた被災者が、交差点で右折のため停車中に、対向車線を走行してきた10tダンプが衝突した。	30201	17	1～9
2006	6	13 ～ 14	被災者は、トラック（11t）の荷台に乗せた馬を降ろす際、馬を繋いでいた紐を解くため、トラック側面のパイプに足をかけ、横張りのワイヤに掴まり解いていた時、掴まっていたワイヤが切れてコンクリート床面に転落した。	40301	1	30～ 49
2006	6	1 ～ 2	被災者が運転していた大型トレーラー（海上コンテナ用）が、国道の右カーブを走行中、左に外れ、民家に激突した。	40301	17	100 ～ 299
2006	6	13 ～ 14	被災者はトラックへ引越しのための積み込み作業が完了し、当該トラックが方向転換するので、安全確認のために当該トラックの後方へ移動し、誘導している際に、後進中の当該トラックと電柱に挟まれた。	40301	17	10～ 29
		17	目的地へ購入した普通貨物車を運転して運搬中、交差点において大型			

2006	5	～ 18	トラックに追突した。	40301	17	1～9
2006	6	～ 5	被災者の自宅から2 tトラックを運転して配送先へ向かう途中の国道の交差点において、赤信号で停止していた10 tトラックに追突した。	40301	17	1～9
2006	6	～ 18	風倒木搬出現場で4 tトラックに風倒木を積み込み、ストックヤードまで輸送のため林道の下り坂を走行中、林道より約15メートル下の林道まで転落した。	60201	17	100 ～ 299
2006	6	～ 6	料金所において、被災者は業務に就くため、作業場所に向かう途中、ETC運用しているレーンを横断した際に、通過中の車両（大型貨物12.4トン）にはねられた。	170209	17	10～ 29
2006	5	～ 4	被災者が運転するトラックが、片側一車線の道路を走行していたところ、対向車線を走っていたトラックが反対車線にはみ出し、被災者のトラックと衝突した。	40301	17	50～ 99
2006	5	～ 14	国道において、最大積載量55トンのトレーラーが、国道の側溝清掃作業に伴う片側交互通行規制で停止していたトラックに追突した。このとき付近で交通整理をしていた被災者が押し出されたトラックに轢かれた。	30199	17	30～ 49
2006	3	～ 22	翌日午前4時までに目的地へ採石を運ぶため、被災者は採石を積んだダンプトラックを運転し自宅を出発し走行途中、ダンプトラックが横転した。	40301	17	1～9
2006	5	～ 3	納品先へ4トントラックにて道路上を走行中、渋滞があり停車していたところ、後続車の大型冷凍車が被災者車両に追突し、前方に停車中の大型車との間にはさまれた。	40301	17	1～9
2006	5	～ 5	国道と県道が交差する、交差点において、バイクに乗り新聞配達中の被災者が大型トレーラーの左側面に衝突した。	80205	17	10～ 29

2006	5	10 ～ 11	納入先の工場において7トントラックから納入品のドラム缶を降ろす作業にあたり、荷台からドラム缶を降ろす前に納入先の荷卸ろし作業者が入荷指示リストと納入品を照合するため、ドラム缶の側面に張られているラベルを確認しようとしたところ、ラベルが荷卸ろし作業者の位置から確認できなかったため、被災者がドラム缶を回転させようとしたところ、バランスを崩し、ドラム缶と共に墜落した。	40301	1	1～9
2006	4	5 ～ 6	被災者はオートバイにて朝刊配達中、交差点を右折しようとした際、後方を走行していたトラックに追突された。	80205	17	1～9
2006	5	1 ～ 2	前方を走行していた大型トレーラーがスリップして側壁に衝突し、走行車線をふさぐ形で停車したところへ後続のトラック等9台が次々に追突し、最後尾で衝突した大型トラックを運転していた被災者が死亡した。	40301	17	30～ 49
2006	5	3 ～ 4	国道において、被災者が、道路工事に伴う工事看板等を撤去していたところ、走行してきたトラックにはねられた。	170201	17	10～ 29
2006	4	2 ～ 3	高速道路を運行中、休息を取ろうとパーキングエリアに進入したところ、同パーキングに停止中の車両に追突した。	40301	17	30～ 49
2006	3	15 ～ 16	青果を積んだ大型トラックを運転して、目的地に向かっていった。高速道路上で行われていた道路工事で車線が制限されて狭隘になっていたところを走行中、右側の工事用防護柵の柱に運転台右前角が激突し、運転台が破損して被災した。	40301	17	30～ 49
2006	3	3 ～ 4	被災者の運転する普通貨物自動車が、交差点手前で信号待ちのため停車していた大型トレーラーの後部に追突した。	40301	17	30～ 49
		12	帰港した被災者は、事業主及び事業主の息子と3名で、約500m離れた漁協市場に運んだ後、空になった箱をトラックに載せ、事業主が			



2006	3	～	13	運転し、他の2名が荷台に乗り箱が転がらないよう監視していた。市場を出発して時速20Km/h弱位で左カーブを過ぎたところで被災者がトラックから転落した。	70201	17	1～9
2006	4	～	4	3 荷物を取りに目的地へ向かうためトレーラーで国道を走行中、前方を走行していたトレーラーが喫茶店に入るため左折しようとした際、被災者の運転するトレーラーが追突した。	40301	17	1～9
2006	4	～	8	9 被災者は、タンクローリーによるLS油の配達業務中に、現場に到着し、積みおろしの準備を実施した後、運転席（高さ1mくらい）のPTOスイッチを作動させようとし墜落した。	10804	1	10～ 29
2006	4	～	14	15 工事現場に生コンクリートを運ぶため、県道をコンクリートミキサー車で運転途中、左カーブを曲がり切れず横転し対向車線を突っ切り、道路右側のコンクリート壁に衝突した。	10901	17	10～ 29
2006	5	～	7	8 敷地内スロープに停車していたダンプが逸走し、スロープ下部の駐車場に停車していた、もう1台のダンプ後部で作業をしていた被災者に激突した。被災者は停車していたダンプ、及び逸走してきたダンプに挟まれた。	30199	6	30～ 49
2006	5	～	7	8 敷地内スロープに停車していたダンプが逸走し、スロープ下部の駐車場に停車していた、もう1台のダンプ後部で作業をしていた被災者に激突した。被災者は停車していたダンプ、及び逸走してきたダンプに挟まれた。	30199	6	1～9
2006	5	～	5	6 ゴミ置場の近く（緩やかな右カーブの下り坂）に、ゴミ収集車を停めてゴミを収集しようとしたところ、停車中のゴミ収集車が動きだしたため止めようとして、ゴミ収集車と民家のブロック塀の間に挟まれた。	150103	7	1～9
2006	5	～	14	同僚2名とともに吸上車によるくみ取り作業を行うため、ドライバーである被災者は吸上車を駐車し、ギアをニュートラルにしてサイドブレーキをかけた後、運転席を離れたが、駐車した場所が斜面（約2	150109	17	100 ～

		15	度) になっていたため、約8メートル逸走してきた吸上車と電柱の間に挟まれた。			299
2006	4	4 ～ 5	4トントラックに荷物を積んで次の目的地に帰るため、国道を運転中、反対車線の大型トラックがセンターラインを越えて来て正面衝突した。	40301	17	10～ 29
2006	5	19 ～ 20	国道上り線で、被災者が運転する冷蔵車(3.5トン車)が前方のトラック(8.4トン)に追突し、後続の軽トラックも被災者の車両に追突した。	10109	17	30～ 49
2006	4	10 ～ 11	工事用立て看板を設置するため、現場で位置決めをしていたところ、作業用1トントラックが後退してきて(勾配約6度)、トラックを静止しようとした被災者がトラックとガードロープの支柱に挟まれた。	30199	7	10～ 29
2006	4	8 ～ 9	国道をトラックで走行中、中央分離帯を越え下り線に進入し、下り線走行中の乗用車と衝突した。	50101	17	50～ 99
2006	2	23 ～ 24	被災者は15tトラックに乗り、午後5時頃出発し、午後11時10分頃、高速道路のサービスエリア入口にて、被災者の乗るトラックが柱に衝突した。	40301	17	10～ 29
2006	4	9 ～ 10	木造住宅解体工事現場において廃材をダンプトラックに積み込んでいた際、被災者及び同僚が荷台前壁上部の鋼板に上がり、荷台に積み込んだ廃材を整頓しようとして廃材を手前に引っ張ったところ、廃材を掴んでいた手が滑り、その反動で高さ2.5メートルの荷台前壁上部から墜落した。	30202	1	1～9
2006	4	5 ～ 6	被災者は、配達途中において、県道で、車を止め、道路反対側の配達先に配達後、車に戻ろうとしていたところ、トラックにはねられた。	80209	17	1～9
2006	3	15 ～	トレーラーに荷物の積込後、荷台のシート掛け及び荷締めを完了後に、荷台上(高さ約3.8m)から足を滑らせて地面に転落した。	150102	1	10～ 29

		16				
2006	4	4 ～ 5	被災者は、事業場を出発し、荷積みを行なった後、各地で荷降しを行い、国道を走行中、対向してきたトラックと正面衝突した。	40301	17	1～9
2006	4	12 ～ 13	高速道路において、被災者は運転するトラックがパンクしたので、路側帯にトラックを止め、ハザードを点灯させた後、レッカー車の到着を待つため、トラックの前方約26mで待機していたところ、後方より別のトラックが、被災者が運転していた停車中のトラックに追突し、その勢いで追突されたトラックが前に飛び出し、被災者が側壁と追突されたトラックの間に挟まれた。	40301	17	100 ～ 299
2006	4	12 ～ 13	10トントラックで野菜・果物を市場などへ運送中、高速道路上のトンネル内で逆走してきた乗用車と正面衝突した。	40301	17	1～9
2006	4	14 ～ 15	営業に向かうため軽自動車で県道を走行中、対向車線にはみ出したトラックと衝突した。	80209	17	30～ 49
2006	4	3 ～ 4	被災者は1人で水洗金具等の製品を積んだ4tトラックにて所属事業場を出た、翌日、客先の事業場へ搬送後、ダンボールの空箱を積み込み、帰路についた。国道を走行中、前方の4tトラックが右折のために停車したところに後方から追突し、死亡した。	40301	17	10～ 29
2006	3	16 ～ 17	引越しの荷を積んで被災者と助手の2名で高速道路を走行中、渋滞で停車中のトラックに追突し、運転していた被災者が死亡した。	40301	17	50～ 99
2006	4	5 ～ 6	12トントラックで高速道路を走行中、前方を走行していた10トントラックが道路左側のガードレールに激突して横転し、これに追突した。	40301	17	30～ 49
		15	土砂を積載した32トンダンプカーを被災者が運転して、上方にある			10～

2006	4	16	土砂置き場に運搬中、ダンプカーごと16.3メートル下の道路に転落し、車外に放り出された。	20201	1	29
2006	3	15 16	商品搬入のため、坂道に車輛を駐車させておいたところ、その車輛が少しずつ後退してきたため、とっさに被災者が力で止めようとしたが止めきれず、さらにその後方にあった門柱との間に体が挟まれた。	80102	7	30～ 49
2006	3	8 9	被災者は、配達先で、コンクリート二次製品の荷卸しのため、トラックを路肩に駐車し、荷台後方に回ったところ、トラックが後退を始め、逸走したトラックとともに2.5m下の草地に転落した。	40301	1	30～ 49
2006	3	23 24	国道をトラックにて走行中、交差点にて対面走行してきたトラックに正面衝突した。	40301	17	10～ 29
2006	4	21 22	積荷（鮮魚）を客先へ配送する途中、被災者が運転する20トントラックが、前方を走行していた大型トレーラーに追突した。	40301	17	1～9
2006	3	6 7	国道上り線を東進中のトラックが中央線を越え、同下り線を西進中のトラック2台に衝突した。更に後続のゴミ収集車と正面衝突し、ゴミ収集車を運転していた被災者が死亡した。	150103	17	1～9
2006	2	11 12	会社の構内において、被災者が、建築廃材を載せたトラックを重量計に乗せた状況の写真を撮影していたところ、別のトラックがバックで進入し、被災者がトラックに激突された。	30199	6	1～9
2006	3	8 9	被災者は、現場の型枠をばらす時に使用していた電動ドリルの調子が悪いため、コードの部分を修理するために軽トラックの荷台の後ろへ行きカッターで電動ドリルのコードを削っていた。そのとき、運転手がその軽トラックに乗りバックし、作業していた被災者が轢かれた。	30107	17	1～9
2006	3	5 6	被災者はトラックを運転して一般道を走行中、緩い右カーブにて左側のブロック塀に激突し、そのはずみで反対車線に飛び出し、歩道との間のガードレールに激突した。その際に被災者は運転席から外に投げ	40301	17	50～ 99

			出され、自分が運転していたトラックに轢かれた。			
2006	3	12 ～ 13	4トンウイング車両にて走行中、カーブでハンドルをとられスリップし、運転席側を下に横転、そのまま路外に逸脱して電柱に激突した。	40301	17	50～ 99
2006	2	10 ～ 11	被災者は、車検の終了した軽自動車を積んだ車両運搬用のトラックを運転し、客先に向かって店を出発した。搬送途中、左岸の土手を走行しているとき、道路左側にはみ出しトラックと共に転落した。	80202	17	10～ 29
2006	3	3 ～ 4	国道の交差点で、信号待ちをしていた停車中のトレーラーに新聞を配達していた3トントラックが追突し、3トントラックを運転していた被災者が死亡した。	40301	17	10～ 29
2006	3	11 ～ 12	出張途中、交差点にて信号待ち停車中に、後続車のトラックが追突。その弾みで前に停車中のタンクローリーに追突し被災者の車が大破。車に同乗していた3名のうち1名が死亡、2名が重軽傷を負った。	170209	17	10～ 29
2006	3	10 ～ 11	木造住宅（一部二階建）の解体作業中、2トンダンプの荷台で木材の整理作業をしていたがバランスを崩し約2メートル転落し、反動でダンプの燃料タンクに強打した。	30209	1	1～9
2006	3	6 ～ 7	乳牛の搬送のため、酪農家牛舎前に搬送用トラック（車両後部にモーター駆動ワイヤ開閉形式のパワーゲートが装備されている）を横付けし、他の作業者が10tトラック側面にあるスイッチを入れパワーゲートを開ける操作を行ったところ、約20°開いた時点で開閉用ワイヤロープが切断したため、ゲート後方で待機していた被災者にゲート本体が直撃した。	40302	6	1～9
2006	3	0 ～ 1	家庭ごみ収集作業中に、市道を時速30キロで走行中の機械式ごみ収集車より労働者が転落した。	150102	17	1～9
2006	3	2 ～	被災者は、原動機付自転車に乗って、受け持ち区域の新聞配達業務に従事中、県道交差点（信号機なし）において、大型トレーラーと接触	80205	17	30～ 49

		3	した。			
2006	2	11 ～ 12	機械電気工事現場において、被災者がマンホール（深さ1.25m）内で止水作業を行っていた時、他の労働者がマンホール横に止めてあった2tダンプトラックを前進させたところ、マンホールの外に出ていた被災者に激突した。	30301	6	10～ 29
2006	2	4 ～ 5	被災者は納品先よりトラックで帰路中、高速道路上で前走のトラック2台が接触転倒したところに追突した。また後続のトラック1台も追突し、トラック4台の多重追突交通事故が発生した。被災者が乗車していたトラックと他1台より出火炎上し、被災者は車両に取り残されていたため死亡した。	40301	17	50～ 99
2006	1	15 ～ 16	営業先より帰社途中、交差点内横断歩道を歩行していたところ、左折しようとしたダンプトラックに接触した。	80109	17	50～ 99
2006	2	16 ～ 17	木造倉庫を解体し、廃材の片付け作業のため、4トントラックに廃材を積み込む作業中、トラックの荷台への積載を容易にしようと、トラックを移動させるため後退させたところ、後方にあったドラグ・ショベル（解体のアタッチメントを付けたもの）とトラック後部の間に被災者がはさまれた。	30209	7	10～ 29
2006	3	8 ～ 9	工場構内通路（屋外）において、被災者がパレットに乗った荷を運ぶため、フォークリフトの爪の幅の調整をしていたところ、工場内の設備解体工事の廃材を搬出するために構内へ入場していたトラックが、バックで走行してきたため、トラック荷台の後部とフォークリフトのバックレストの間に挟まれた。	11709	7	300 ～
2006	2	4 ～ 5	4tトラックを運転して電線を運搬する途中、国道を走行中に反対車線にはみ出し、対向して来た大型トラックの側面に衝突した。	40301	17	1～9
2006	3	14 ～	小口径配水管布設替工事の現場において、市道上にて誘導していたト	170201	6	1～9

		15	トラックに警備員がひかれた。			
2006	2	19 ～ 20	構内において、トラックの荷台に配電盤を積み込み、あおりを下げた状態で荷台に上がり荷締めを行っていたところ、約1メートルの高さから墜落した。	40301	1	30～ 49
2006	2	7 ～ 8	2トントラックに同乗し、現場へ向うため、高速道路を走行していたところ、追い越し車線より乗用車が急に車線変更したので、急ブレーキをかけ、ハンドルを追い越し車線側に切ったところ、追い越し車線を走行していたキャリアカーが衝突した。	30199	17	1～9
2006	2	18 ～ 19	トレーラーに荷積みを終え、荷と荷の間に挟んでいたりん木に足を乗せ荷締め作業を行っていたところ、りん木から足を踏み外し、地面に墜落し被災した。	40301	1	30～ 49
2006	1	0 ～ 1	側道から国道へ右折（西行き）しようとしている工事車両の誘導補助のため、左側（西行き）からの一般車両を制止する目的で国道を横断し西行き車線に出ようとしたところ、右側（東行き）から走行してきたコンテナトレーラーに衝突された。	170201	17	100 ～ 299
2006	2	13 ～ 14	被災者は、事業場所有の軽トラックで客先から帰社するため、市道上（片側二車線）を走行中、道路左の電柱に衝突した。	170209	17	100 ～ 299
2006	2	10 ～ 11	ワンボックスカー（最大積載量1000kg）で宅配便の荷物を配達中、配達先の事務所の前のスペースに当該車両を止め、荷を卸すため荷台に入ったところ、車両が動き出したため荷台から飛び降り車両を支えようとした。しかし、車両を支えきれず車両に押されて、事務所前の斜面を降り、道路を横断し、工事現場のバリケードを突破し、現場にあった25tラフテレーンクレーンのアウトリガーと当該車両との間に挟まれた。	40301	7	1～9
2006	2	9 ～	建設工事現場に生コンクリートを納入するため、現場で立ち会っていた被災者が、動いているミキサー車の後方で生コンクリートをポンプ	80109	7	10～

		10	車に流し込むためホッパーの準備中にポンプ車とミキサー車との間に挟まれた。			29
2006	2	6 ～ 7	大型トラックを運転して港へ飲料水を運ぶ途中、国道において左カーブを曲がりきれず、右側へ横転し、そのまま対向車線のガードレールに衝突した。	40301	17	1～9
2006	2	7 ～ 8	4 tトラックに積荷（電子部品約300kg）を積んで高速道路を走行中、トンネル手前の緩い左カーブで、中央分離帯のガードレールに激突する単独事故を起こし、はずみで運転席から車外に転落した。	40301	17	10～ 29
2006	2	9 ～ 10	可燃ごみの収集作業中、バックしてきたゴミ収集車の左後輪にひかれ被災。作業は運転者と、被災者を含む収集作業員2名の計3名で行っていた。	150103	7	10～ 29
2006	1	15 ～ 16	廃車予定の軽貨物自動車から2本の後輪を取り外し、更にエンジンを取り外すため、当該自動車の下に潜って仰向けの姿勢でエンジン周囲にある部品等の取外しの作業中、車体後部を支えていた馬ジャッキが車体前方方向に倒れ、これによって落下した車体後部のエンジン部分と地面の間に挟まれた。	80205	7	30～ 49
2006	1	13 ～ 14	被災者は、トレーラーに荷を積み込んだ後、車輛整備のためにエアサスペンションで車体とタイヤの間に隙間をつくり、上半身を入れてブレーキ等の調整作業をしていたが、エアサスペンションが突然破裂をした為、上げていた車体が下がってしまい、タイヤとの間ではさまれ被災した。	40302	7	100 ～ 299
2006	1	4 ～ 5	被災者は、国道に10トントラックを止め停車し、所用をすませ、運転席に戻ろうと自分のトラックの右前方で横を通過する車を待っていたところ、大型トラックが被災者のトラックの後部に追突。被災者は、自分のトラックの前輪に轢かれた。	40301	17	10～ 29
2006	1	13 ～ 14	搬入するため縦列駐車をして待機しているトレーラー（24t）を誘導しようと近寄ったところ、トレーラーが突然発進したためトレーラーと接触した。	170201	17	100 ～ 299



2006	1	4 ～ 5	被災者は4 tトラック（冷蔵冷凍車）で製品を配送し、事業場へ戻るため高速道路の走行車線を走行していたところ、S字カーブの下り坂でガードレールに接触し、片輪が高さ1 mのコンクリート側壁に乗り走行車線をふさぐ形で運転席を下に横転し、後から来た10 tトラックに激突され死亡した。	40302	17	50～ 99
2006	1	7 ～ 8	被災者は社有車で現場事務所を出て現場に向かっていた。緩いカーブにおいて、対向車線を走っていたトレーラーがスリップし、被災者の走行車線上にトレーラーの荷台部分がはみ出したため、当該トレーラーの荷台部分と被災者の車両が衝突した。	30309	17	30～ 49
2006	1	13 ～ 14	国道で、被災者が運転する4トントラックが、道路左側のコンクリート壁に衝突したはずみで対向車線側のガードレールに衝突した。	40301	17	10～ 29
2006	1	5 ～ 6	化学薬品を積載した貨物自動車（最大積載量7.1トン）を運転し、国道の緩やかな右カーブの下り坂を走行中、道路左側の橋の欄干を突き破り、がけ下に約8メートル転落した。運転者は車外に投げ出された。災害時は気温－5度であり、橋の上の路面は凍結していた。	40301	17	50～ 99
2006	1	11 ～ 12	ゴミ収集車でゴミ収集作業にあたっていたところ、車が動き出し被災者が止めようと立ちはだかったところ轢かれた。	150103	7	1～9
2005	5	14 ～ 15	事業場の敷地内を歩行移動していたところ、後退してきたゴミ収集車にひかれた。	170209	7	1～9
2005	8	23 ～ 24	国道を大型トラックで走行中、赤信号で停車中の他の大型トラックに追突した。	40301	17	50～ 99
2005	2	17 ～	軽トラックで国道を走行中、対向車線をはみ出して街路樹に激突した。	80204	17	1～9

		18				
2005	8	5 ～ 6	トラックを運転して国道を走行中、対向してきたトレーラートラックに積んであったアース・ドリルの折りたたみ式ブームが被災者が運転するトラックの前方にはみ出したため、これに激突した。	40301	17	10～ 29
2005	11	5 ～ 6	冷凍トラックで国道を走行中、センターラインをはみ出して、対向して来た他のトラックと衝突した。	40301	17	50～ 99
2005	2	6 ～ 7	トラックで国道を走行中、夜間工事を終えて資材積込みのために誘導員を配置し道路通行規制して停車していた工事車両に激突した。	80201	17	1～9
2005	10	11 ～ 12	トラックに空ビンの荷積み作業中、荷台から地面に転落した。	40301	1	1～9
2005	12	16 ～ 17	軽トラックで、走行中、対向してきた路線バスと衝突した。	30301	17	10～ 29
2005	8	14 ～ 15	軽トラックで走行中、直線道路でセンターラインをはみ出し、対向してきた他のトラックに正面衝突した。	80209	17	1～9
2005	11	15 ～ 16	国道脇の草刈作業において、交通整理を行っていた時、走行してきたトラックにはねられた。	170201	17	10～ 29
2005	4	13 ～ 14	大型トラックで国道を走行中、交差点で信号停車中の大型トラックに追突した。	40301	17	50～ 99
2005	7	14 ～	砂防ダム建設工場の現場において、丸太を運搬するため、同僚が坂の頂上に止めておいたトラックを後退させようと、エンジンをかけず	30108	6	10～

		15	に、サイドブレーキを解除したところ、トラックが動き、40m離れた坂の下で作業していた被災者に激突した。			29
2005	6	2 ～ 3	トラックで高速自動車道を走行中、追突事故のため走行車線に停車していたトラックに追突した。	40301	17	10～ 29
2005	6	23 ～ 24	大型貨物自動車を運転中、道路工事に伴う片側交互通行のため停車していた別の大型貨物自動車に後方より追突した。	40301	17	1～9
2005	6	5 ～ 6	トラックを運転中、信号のある交差点において、赤信号にて停車中のタンクローリーに追突した。	40301	17	10～ 29
2005	1	8 ～ 9	ダンプトラックを運転中、警報機と遮断機がない踏切において列車と衝突した。	30109	17	10～ 29
2005	5	21 ～ 22	トラックを運転中、右カーブから直線へ変わるところで、ブロック塀に衝突した。	40301	17	1～9
2005	9	16 ～ 17	ダンプトラックの荷台をせり上げた状態でエンジン等の点検作業を行っていたところ、降下してきた荷台とダンプトラックのシャーシとの間に挟まれた。	30199	7	10～ 29
2005	9	18 ～ 19	トラックで国道を走行中、対向車線の大型トラックがコンビニエンスストアに入ろうと左折し、その大型トラックに積載されていた鉄骨が車体より後方に5mはみだしていたため、左折により大きく被災者が運転するトラックの前方にはみ出し、当該鉄骨に衝突した。	40301	17	10～ 29
2005	10	9 ～ 10	トラックで高速自動車道を走行中、中央分離帯のガードレールを突き破り、対向車線に飛び出し横転した。	40301	17	10～ 29

2005	6	4 ～ 5	トラックで高速自動車道を走行中、トンネル内で壁に衝突する自損事故を起こして追い越し車線に停車し、車外に出て立っていたところ、走行してきた他のトラックにはねられた。	40301	17	10～ 29
2005	6	13 ～ 14	大型トラックを運転中、片側1車線のトンネル内で対向車のダンプトラックと正面衝突した。	40301	17	10～ 29
2005	7	11 ～ 12	乗用車で県道を走行中、反対車線を走行していたトラックがセンターラインをはみ出してきたため、これに正面衝突した。	30309	17	1～9
2005	2	1 ～ 2	トラックで高速自動車道を走行中、追越車線から走行車線へ車線変更していた前方走行中の他のトラックに後方より衝突した。	40301	17	50～ 99
2005	3	1 ～ 2	トレーラートラックで走行中、左カーブの道路を曲がりきれず、対向車線にはみ出し、道路右側のガードレールに接触した後、元の車線を越えて道路左脇の雑木林及び法面で停車した。	40301	17	10～ 29
2005	4	2 ～ 3	トラックで国道を走行中、高さ5mの橋下へ転落した。	11301	17	10～ 29
2005	8	5 ～ 6	トラックで片側2車線の道路の追い越し車線を走行中、中央分離帯を乗り越え、対向車線を突っ切って道路脇の電柱に激突した。	40301	17	10～ 29
2005	7	7 ～ 8	資材置場でダンプトラックにグリスアップしていたところ、荷台後部のあおりと荷台との間に挟まれた。	30199	7	10～ 29
2005	3	0 ～ 1	マンション解体工事現場において、廃材を運搬する貨物自動車のタイヤを洗浄するため当該貨物自動車の運転手に後退を合図した被災者が後退してきた貨物自動車と出入口のコンクリート壁との間に挟まれ	30209	7	1～9

			た。			
2005	1	11 ～ 12	乗用車を運転中、交差点において、大型トラックと衝突した。	120109	17	100 ～ 299
2005	1	10 ～ 11	県道の交差点において、ダンプトラックと乗用車が衝突し、道路脇の工事に従事していた被災者がダンプトラックと掘削の法面との間に挟まれた。	30106	17	1～9
2005	9	14 ～ 15	トラックから降車してパイロンのバリケードを移動させていたところ、5度の傾斜があったためトラックが前進し始めてしまい、これを停車させようとトラックの前側を押さえ続けたが停車させられず、ひかれた。	10109	6	1～9
2005	4	14 ～ 15	軽トラックでガラ等を残土置場に運ぶため、置場内をバックで走行中、道路斜面から30m下へ転落した。	30199	18	1～9
2005	3	7 ～ 8	フェリーの車両甲板において、被災者が牽引車（トラクター）で荷を積載した荷台（セミトレーラー）を牽引して船外に出るため、牽引車を荷台に連結した後、運転席から降りて牽引車と荷台をケーブルで繋ぐ作業を行っていた時、船員が荷台前方のアウトリガーを上げたところ当該車両が動き出しスロープ部分を暴走、被災者が止めようとして運転席に飛び乗ろうとしたが、スロープの手すりと牽引車との間に挟まれた。	40301	7	10～ 29
2005	10	9 ～ 10	軽トラックで牛乳の配達中、県道でセンターラインからはみ出して、対向車線を走行していたミキサー車と正面衝突した。	80209	17	1～9
2005	3	18 ～ 19	鶏舎間の道路を歩行中、ブロイラーを出荷するためバックで走行してきたトラックにひかれた。	70101	17	30～ 49

2005	7	19 ～ 20	車両積載形トラッククレーンを運転中、下り右カーブで左側のガードレールを突き破り、15m下の川へクレーン車両ごと転落した。	80109	17	1～9
2005	10	12 ～ 13	トラックで片側1車線の国道を走行中、信号待ちのため停止しようとしていた他のトラックに追突した。	40301	17	10～ 29
2005	4	21 ～ 22	ライトバンで高速自動車道を走行中、前方を走っていた乗用車がセンターラインを越えて対向車線にはみ出したはずみで、対向してきた大型トラックがライトバンの前に飛び出し、被災者のライトバンと正面衝突した。	80109	17	10～ 29
2005	4	4 ～ 5	徒歩で新聞配達中、道路を横断しようとしたところ、走行してきたトラックにはねられた。	80205	17	10～ 29
2005	3	14 ～ 15	ダンプトラックの荷台を上昇させ、整備作業中、荷台が下降し、荷台とシャーシとの間に挟まれた。	11701	7	1～9
2005	10	13 ～ 14	土木工事現場で使用を終えた型枠材等をダンプトラックに積み込み、資材置場までの搬送中、荷台から落下した一輪車を拾うため、ダンプトラックを後退させていたところ、路肩から脱輪、ダンプトラックとともに2m下の水田に落下した。	30199	1	1～9
2005	3	21 ～ 22	トラックで県道を走行中、交差点において右折のために停車していた軽自動車に追突した。	40301	17	30～ 49
2005	11	3 ～ 4	トラックに積み込んだ建築用資材をラッシングベルトで荷台に締付け作業中、使用していた荷締め機の持ち手の金具が外れ、その反動で3m下の歩道上に墜落した。	40301	1	1～9
		14	給水車で国道を走行中、カーブを曲がりきれず、路肩歩道の擁壁に乗			50～

2005	2	～ 15	り上げて給水車が横転し、運転手側のドアの下敷きとなった。	170201	17	99
2005	6	15 ～ 16	トラックで県道を走行中、緩やかな右カーブでセンターラインをはみ出し、対向してきた大型トレーラートラックの側面に衝突した。	80109	17	10～ 29
2005	6	13 ～ 14	ダンプトラックで片側1車線のトンネル内を走行中、対向して来た大型トラックがセンターラインをはみ出し、衝突した。	40301	17	100 ～ 299
2005	12	6 ～ 7	トラックで国道を走行中、道沿いの駐車場脇の水路に転落した。	40301	17	10～ 29
2005	9	11 ～ 12	工場横にコンクリートミキサー車を停車させるため、被災者が運転席側のドアを開けて後方を確認しながらバックさせていたところ、車両のドアと工場の壁が激突、そのはずみで運転席から投げ出され、壁と車両のドアとの間に挟まれた。	40302	7	10～ 29
2005	8	7 ～ 8	トラックで高速自動車道を走行中、トンネル内で故障により左車線に停車していた大型トレーラートラックに追突した。	40301	17	50～ 99
2005	10	0 ～ 1	トラックを運転中、上り坂左カーブで、対向車線にはみ出して対向してきたダンプトラックと乗用車に相次いで接触し、そのままガードレールを突き破り、田んぼに転落した。	80109	17	1～9
2005	7	1 ～ 2	トラックで国道を走行中、センターラインをはみ出してきた対向車と正面衝突した。	40301	17	100 ～ 299
2005	2	1 ～ 2	大型トラックに荷を積込み、帰社する途中、国道上に停車していた大型トラックに追突した。	40301	17	30～ 49

2005	11	11 ～ 12	ほ場整備に用いられた他社使用のドラグ・ショベルを運搬するため、 キャリアトラックの荷台に積載し緊結作業を実施後、下り坂のため無 人で動き始めたキャリアトラックを止めようとして被災した。	40301	17	10～ 29
2005	10	15 ～ 16	伐採木の積込み作業のためダンプトラックの荷台に上がっていたとこ ろ、バランスを崩し、3m下の道路に墜落した。	150102	1	1～9
2005	12	6 ～ 7	国道のバスレーンにおいて、積雪のためタイヤチェーン装着の準備 中、後方より大型車が突っ込んできて、被災者に激突した。	40301	17	300 ～ 499
2005	12	3 ～ 4	トラックで走行中、センターラインをはみ出してきた対向の貨物自動 車と衝突した。	40301	17	10～ 29
2005	12	9 ～ 10	道路上にてダンプトラックの点検を行っていたところ、ダンプトラッ クの荷台を上げ下げさせる油圧ポンプに動力を伝達するシャフトに衣 服を巻き込まれて被災した。	80409	7	10～ 29
2005	11	10 ～ 11	貨物自動車で走行中、前方の信号待ちで停車していた貨物自動車に追 突した。	40301	17	50～ 99
2005	11	0 ～ 1	貨物自動車で走行中、前方の信号待ちで停車していた貨物自動車に追 突した。	40301	17	10～ 29
2005	5	22 ～ 23	大型トラックでバイパスを走行中、故障により路肩に止まっていたト ラックに衝突した。	150102	17	30～ 49
2005	2	9 ～ 10	ワゴン車で国道を走行中、センターラインをはみ出してきた対向のト ラックと衝突した。	80109	17	50～ 99



2005	8	21 ～ 22	大型トレーラートラックで国道を走行中、左急カーブを曲がり切れず に対向車線にはみ出し、対向の乗用車及びタクシーに接触し横転し た。	40301	17	10～ 29
2005	6	16 ～ 17	トレーラートラックに鋼管（12トン）を積載し、工場構内を15kmの速 度で走行中、交差点で左から来た別のトレーラートラックの後部に衝 突した。	50201	3	100 ～ 299
2005	1	16 ～ 17	ダンプトラックで生コン車を現場まで先導し、生コン車を現場にバッ クで誘導するため、ダンプトラックから降り生コン車の方へ回り込も うとしたところ、ダンプトラックが下がってきた。これを見た被災者 はダンプトラック後方に回り止めようとしたが、停車中のドラグ・ ショベルとの間に挟まれた。	30106	7	30～ 49
2005	12	8 ～ 9	タンクローリーで走行中、対向してきたダンプトラックがセンターラ インをはみ出してきて正面衝突した。	150102	17	1～9
2005	7	11 ～ 12	トラックを運転中、追い越し禁止区間の左のゆるいカーブで、先行車 を追い越そうと対向車線へはみ出したところ、対向してきた大型ト ラックに衝突した。	40301	17	1～9
2005	12	6 ～ 7	高速自動車道インターチェンジ付近において、道路舗装工事を行うに あたっての交通規制の準備作業中、トラックが規制エリア内に突入 し、規制エリア内で発電機に燃料を補給していた被災者がはねられ た。	170201	17	30～ 49
2005	4	3 ～ 4	トラックで高速自動車道を走行中、前方不注意によりハンドル操作を 誤り、道路左側に設けられたガードレール及び水銀灯に激突して、運 転席より車外に投げ出され自車にひかれた。	40301	17	50～ 99
2005	6	10 ～ 11	軽トラックで国道を走行中、欄干に激突した。	80109	17	30～ 49

2005	9	3 ～ 4	トレーラートラックで国道を走行中、道路を外れて川に転落した。	40301	17	30～ 49
2005	12	10 ～ 11	コンクリート等の廃材を積んだトラックを停車して運転席を離れたところ、12度の勾配でトラックが動き出し、停車させようとしたが、トラックが縁石に乗り上げて横転し運転席側の下敷きとなった。	30110	2	1～9
2005	8	15 ～ 16	トラックの荷物を降ろすため運転席から降りて荷台の扉を開けていた時、トラックが前進したためトラックの前で停止させようとしたが、敷地のフェンスとトラックとの間に挟まれ、転倒した。	40301	6	10～ 29
2005	8	3 ～ 4	普通トラックを走行中、停車して荷物の点検していた大型トラックに追突した。	30104	17	10～ 29
2005	12	0 ～ 1	トラックで走行中、右カーブに差し掛かったところで路肩からはみ出し、電柱に激突したはずみでトラックが横転し、被災者がトラックの下敷きとなった。。	40303	17	1～9
2005	10	1 ～ 2	国道を走行中、対向するトレーラートラックの積荷の材木が荷崩れを起こし、運転席を直撃した。	40301	17	50～ 99
2005	12	23 ～ 24	国道を走行中、S字カーブでトラックがバランスを失い、ガードレールにのしかかるように横転し、前方の鉄道高架橋の橋桁に激突した。	40301	17	30～ 49
2005	6	16 ～ 17	灯油の配達のためローリー車を停車し、車から降りて作業にかかろうとした時に、無人の車が被災者の方へ逸走し、車の荷台と建物の壁との間に挟まれた。	80204	7	1～9
2005	2	5 ～ 6	トラックで国道を走行中、交差点付近において車両同士の事故により停止していた他のトラックの後部に追突し、その後、交差点左前方にある家屋へ衝突した。	40301	17	50～ 99

2005	4	6 ～ 7	新聞配達途中、住宅街の信号のない十字路を原動機付き自転車（バイク）で直進中、交差点の右側から進入してきたトラックと衝突した。	80205	17	10～ 29
2005	12	14 ～ 15	軽トラックで県道を走行中、トンネル入口の側壁に衝突した。	80209	17	1～9
2005	8	15 ～ 16	清掃車を公園内に駐車するため、公園入口の車止めを外して清掃車を公園内に入れて一旦停車させ、運転席を離れて再び車止めの鍵を掛けようとしたところ、清掃車が動き出し、ひかれた。	150109	7	1～9
2005	1	5 ～ 6	トラックで高速自動車道を走行中、トンネル内で対向車線の自損事故の影響で停車していた大型トラックの列に追突した。	10109	17	30～ 49
2005	10	8 ～ 9	自社車庫内において、コンクリートミキサー車の暖機運転のため、運転台のドアを開いて運転台に乗らずにキーを回したところ、ギヤが1速に入っていたため急に動き出して、運転台のドアが車庫内右側の壁に激突し、ドアと運転台との間に挟まれた。	20201	7	10～ 29
2005	7	13 ～ 14	国道で大型貨物車を運転中、停車中の大型貨物車に追突した。	40301	17	10～ 29
2005	1	22 ～ 23	トラックで国道を走行中、停車中のトラックに追突した。	40301	17	1～9
2005	10	13 ～ 14	茶畑において作業中、トラックの後方で下敷きとなった。	60101	7	1～9
2005	5	11 ～	原動機付き自転車（バイク）に乗り営業中、市道交差点においてトラックと衝突した。	90101	17	10～ 29

		12				
2005	4	1 ～ 2	トラックに荷の瓦を積み込む作業中、トラックの荷の上から地面へ墜落した。	40301	1	10～ 29
2005	9	11 ～ 12	軽貨物自動車の助手席に乗り移動中、見通しの悪いカーブで、対向車線からセンターラインをはみ出してきた貨物自動車と正面衝突した。	40301	17	10～ 29
2005	9	22 ～ 23	トラックで高速自動車道を走行していたところ、車両同士の事故で停車していた大型車両に追突した。	40301	17	100 ～ 299
2005	6	6 ～ 7	トラックで高速自動車道上り線の追い越し車線を走行中、トンネル内で走行車線を走行していた乗用車と接触し、そのはずみでトラックはトンネルの右側壁に衝突しトラックのドアが外れたため被災者は車外へ投げ出された。	40301	17	10～ 29
2005	9	15 ～ 16	国道を原動機付き自転車（バイク）で走行中、後方より走行して来たトラックが接触して転倒し、トラック後輪に巻き込まれた。	80205	17	30～ 49
2005	9	10 ～ 11	高速自動車道で運転していたトラックが故障したため、路側帯に停車させ、車の点検を行っているとき、後方から大型トラックが追突し、トラックと道路側壁との間に挟まれた。	40301	17	30～ 49
2005	1	5 ～ 6	高速自動車道を走行中、前方で追突事故を起こして2車線を塞いでいた大型トラックに追突した。	40301	17	100 ～ 299
2005	12	20 ～ 21	国道を走行中、路面が凍結していたためにジャックナイフ現象を起こし、トレーラートラックが横滑りのうえ転覆した。	40301	17	50～ 99
		3	トラックで走行中、バイパスの車線左側のコンクリート壁に衝突し			30～

2005	8	～ 4	た。	40301	17	49
2005	3	22 ～ 23	トラックで直線道路を走行中、前方の渋滞の最後尾の乗用車を積載したキャリアカートレーラーに追突した。	40301	17	10～ 29
2005	1	0 ～ 1	トラックで国道を走行中、対向車線にはみ出し、対向してきたワゴン車と正面衝突した。	80204	17	10～ 29
2005	3	9 ～ 10	下水道工事現場において、被災者が交通誘導を行っていたところ、トラックが急に後進し、そばにいた被災者に接触した。	170201	7	30～ 49
2005	10	5 ～ 6	冷凍コンテナを運び出す作業中、コンテナと配電盤を接続していたケーブルを配電盤から離す際に、コンテナを積んだトラックが後進し、コンテナと配電盤との間に挟まれた。	40301	7	30～ 49
2005	7	22 ～ 23	トラックで高速自動車道を走行中、前方で事故が発生し、前を走行していた大型トラックが急停車したところに追突した。	40302	17	1～9
2005	7	0 ～ 1	トラックで高速自動車道を走行中、工事のため、左側を車線規制しており、前方を走行していた他のトラックが減速し、右側へ車線変更しているところへ追突した。	40301	17	30～ 49
2005	8	14 ～ 15	トラックで高速自動車道を走行中、前方走行中のダンプトラックに追突し、挟まれた。	40301	17	1～9
2005	9	6 ～ 7	国道の急な左カーブで曲がりきれずに横転し、ガードレールの支柱に激突し挟まれた。	40301	17	1～9
		5	トラックで高速自動車道を走行中、インターチェンジ付近において渋			10～

2005	12	～ 6	滞のため停車していた大型トラックに追突した。	40301	17	29
2005	8	4 ～ 5	トラックで走行していたところ、信号待ちの大型トラックに追突した。	40301	17	1～9
2005	5	11 ～ 12	トラックで追越車線を通行していた際に工事のため急に停車した前のトラックに追突した。	30199	17	1～9
2005	5	13 ～ 14	トラックで、右折して駐車場に入る際に停車していたトラック荷台に激突した。	40301	17	10～ 29
2005	1	2 ～ 3	交差点で信号待ちのためトラックを停車中、後方から来た他のトラックに追突され、さらに前方に停車中のトレーラートラックの荷台が被災者を直撃した。	40301	17	10～ 29
2005	11	14 ～ 15	鋼材をトラックの荷台へ搬入するため、トラックの荷台にて鋼材の積み込み作業をしていたところ、荷台から転落した。	11209	1	1～9
2005	9	12 ～ 13	普通トラックで国道を走行中、交差点で信号待ちをしていた大型トラックに追突した。	40301	17	10～ 29
2005	7	11 ～ 12	国道上で、大型トラックが、大型トレーラートラックと正面衝突した。	40301	17	1～9
2005	6	2 ～ 3	トラックで追越車線へ進路変更をしたところ、追越車線を走行していた乗用車が後方から接触し、はずみで中央分離帯のガードフェンスを突き破り、対向車線を走行していた移動式クレーンと衝突した。	40301	17	10～ 29
		4	側道車線上において、停車中のトラックの荷台後方で積荷のシートを			

2005	11	～ 5	直していたところ、大型トレーラートラックが追突した。	170209	17	1～9
2005	7	15 ～ 16	トラックで高速自動車道の出口を走行中、渋滞で前方停車中のトラックに追突した。	80209	17	1～9
2005	10	20 ～ 21	自動車で高速自動車道を走行中、トンネル内で車が故障し、車の外部にいたところ、後部から別のトラックが故障車に突っ込み、被災者に激突した。	170209	17	10～ 29
2005	4	19 ～ 20	乗用車を運転中、高速自動車道上で単独事故を起こした軽乗用車の後ろに停車し、110番通報した直後、トレーラートラックに追突された。	80409	17	1～9
2005	12	5 ～ 6	高速自動車道が雪のため通行止めとなり、渋滞で停まっていた貨物自動車に被災者が運転していた貨物自動車追突した。	40301	17	10～ 29
2005	8	8 ～ 9	トラックの荷台に向かって歩行中、他のトラックが後進してきて、2台のトラックの荷台との間に挟まれた。	30201	7	50～ 99
2005	6	22 ～ 23	ゴミ収集車でゴミの回収作業中、軽トラックにはねられた。	150103	17	1～9
2005	2	15 ～ 16	住宅新築現場にダンプトラックで砂利を搬送し降車したところ、ダンプトラックが動き出したため、後方に回り込んで止めようとした際、駐車していた他車とダンプトラックとの間に挟まれた。	30202	7	1～9
2005	2	7 ～ 8	運転席に乗り込まない状態で、暖機運転を行うためにトラックのエンジンを掛けようとした際に、ギアがリバースに入っていたままエンジンを掛けたためトラックが急発進し、隣に停車していたトラックとの間に挟まれた。	40301	7	10～ 29

2005	10	9 ～ 10	ごみ収集作業で事業所からのごみを積込み後、収集車の後部につかま り走行中、転落した。	150109	1	1～9
2005	3	13 ～ 14	乗用車で国道交差点を横断中、側方から来た大型貨物自動車と衝突し た。	170209	17	10～ 29
2005	3	7 ～ 8	ダンプトラックを運転中、交差点で一旦停止を怠り交差点に進入した ため、軽自動車と衝突した。	30106	17	30～ 49
2005	1	16 ～ 17	国道のセンターライン付近で、鳥の死骸の回収をしていたところ、走 行してきたトラックに激突された。	30309	17	1～9
2005	9	22 ～ 23	大型トラックで高速自動車道を走行中、トンネル内で前方を走行して いた大型トレーラートラックに追突した。	40301	17	10～ 29
2005	7	11 ～ 12	トラックで高速自動車道を走行中、前方を走行中のトラックと接触 し、その後中央分離帯に衝突した。	40301	17	50～ 99
2005	11	13 ～ 14	オートバイで県道を走行中、交差点において、側方から進行してきた トラックに衝突された。	90101	17	10～ 29
2005	7	4 ～ 5	トラックで高速自動車道を走行中、サービスエリアに入ったところ、 駐車していたトレーラートラックに衝突した。	40301	17	1～9
2005	10	9 ～ 10	ライトバンを運転中、片側1車線の緩やかなカーブで対向車のトレー ラートラックに積載されたドラグ・ショベルが荷台上から落下し、ラ イトバンに激突した。	170209	17	1～9



2005	6	10 ～ 11	トラックを運転中、国道の片側1車線の直線道路で走行していたところ、対向車線にはみだし、他のトラックと衝突した。	40309	17	30～ 49
2005	3	5 ～ 6	大型トレーラーにて国道を走行中、急な左カーブの下り坂で曲がり切れず横転し、山斜面に衝突した。	40301	17	30～ 49
2005	11	19 ～ 20	高速自動車道を走行中、トラックの荷台に空いていた穴から道具箱が後輪に触れ、これがブレーキとなってトラックが制御不能となり横転、被災者が横転したトラックの下敷きとなった。	30302	17	1～9
2005	8	9 ～ 10	自転車で交差点の横断歩道を渡っている時に右折してきた大型トラックにはねられた。	120109	17	10～ 29
2005	8	11 ～ 12	国道を走行中、渋滞中の車両に追突した。	40309	17	1～9
2005	10	1 ～ 2	大型トラックを運転中、道路左側のコンクリート製擁壁に衝突した。	40301	17	30～ 49
2005	12	18 ～ 19	トラック荷台にH鋼を2段積みにし、さらに3段目にH鋼を積もうとし、天井クレーンで持ち上げ荷台上に仮置きし、改めて平積みに変えようとしたところ、H鋼が崩れて被災者とともに荷台下に落下した。	40301	1	1～9
2005	4	2 ～ 3	国道バイパスのインターの導入路付近トラックで走行中、対向車線にはみ出し、他のトラックと正面衝突した。	40301	17	50～ 99
2005	12	3 ～ 4	トラックで走行中、他のトラックに追突した後に、中央分離帯のガードレールに衝突した。	40301	17	10～ 29

2005	12	4 ～ 5	トラックで走行中、渋滞最後尾の大型トラックに追突した。	40301	17	100 ～ 299
2005	12	4 ～ 5	トラックで追越車線を走行中、渋滞中の車列の最後尾に停車していた保冷車に追突した。	40301	17	100 ～ 299
2005	8	14 ～ 15	駐車場でトラック荷台に乗って、積み荷確認をしていたところ、荷台のあおり部に足を掛けた際に滑って転落した。	80201	1	1～9
2005	6	15 ～ 16	新聞配達中で原動機付き自転車（バイク）を運転し国道を走行していたところ、後方から走行してきたトラックに追突された。	80205	17	1～9
2005	1	6 ～ 7	資材置場において、ダンプトラックから荷降ろし作業中、同車両が動き出し、勾配が10度の下り坂の途中付近で、車両右後輪でひかれた。	30199	7	1～9
2005	7	4 ～ 5	県道交差点で、大型トラックが発進した直後に、後続の被災者の運転するトラックが追突した。	40301	17	10～ 29
2005	9	20 ～ 21	タンクローリーで国道を走行中、右カーブで曲がりきれずガードレールを越え、10m下の川に転落した。	40301	17	1～9
2005	2	1 ～ 2	バイパスを走行中に、前を走行中のトラックが停車中の大型車に気がつかず追突し、被災者はブレーキを踏んだものの間に合わず当該トラックに追突した。	40301	17	1～9
2005	10	15 ～ 16	木材市場内にて、落札した木材をトラックに積み込み、ワイヤ掛けの固定の際に、荷台の木材上から地面に転落した。	10409	1	1～9

2005	5	18 ～ 19	トラックで走行中、道路左側の側溝に脱輪して電柱に衝突し、助手席に乗っていた被災者が死亡した。	11702	17	1～9
2005	2	1 ～ 2	高速自動車道を走行中、登坂車線に停車中のトレーラートラックに追突し、運転席に挟まれ脱出不能となってから火災が発生し焼死した。	40301	17	100 ～ 299
2005	3	14 ～ 15	交差点で信号待ちの車列の最後尾で停車直前であった被災者の運転するトラックに他のトラックが追突した。	40301	17	1～9
2005	2	5 ～ 6	トラックで走行中、歩道にある案内標識に激突した。	170201	17	1～9
2005	12	2 ～ 3	自動車運搬用トレーラートラックで高速自動車道を走行中、渋滞により徐行していた前方車両に追突した。	40301	17	30～ 49
2005	6	21 ～ 22	トラックで走行中、国道の交差点で、信号待ちの別の大型トラックに追突した。	40301	17	30～ 49
2005	12	16 ～ 17	倉庫ヤード内で、荷積みが完了した輸出用海貨コンテナを別の場所に移動するため、コンテナを載せたトレーラーにトラクタを連結しようとして、トラクタをバックさせたところ、トレーラーに貨物搬入票を挟み込んでいた被災者が、トラクタとトレーラーとの間に挟まれた。	50201	6	10～ 29
2005	4	2 ～ 3	トラックで国道バイパスを走行中、センターラインをはみ出し、対向車線を走行中の被災者の運転するトラックと正面衝突した。	40301	17	10～ 29
2005	4	17 ～	事業場敷地内に駐車していたトラックを移動させるため、その前方に駐車しており進行の妨げとなっていた他の車を別の場所に移動させ、	150102	6	10～

		18	元のトラックに向かっていたところ、後方に逸走してきた他のトラックに激突され、駐車していた別の車両との間に挟まれた。			29
2005	12	16 ～ 17	トラックで高速自動車道を走行中、インターチェンジで下りようとしたところ出口案内板の支柱へ激突した。	40301	17	10～ 29
2005	7	0 ～ 1	ダンプトラックの荷台を上げ、プロペラシャフト部にグリスアップしようとしていたところ荷台と下部フレームとの間に挟まれた。	30106	7	10～ 29
2005	11	10 ～ 11	トラックで運搬した建築資材を現場に降ろす作業を行っていた被災者が、下り坂で動きはじめたトラックのドアと車体との間に挟まれた。	40301	17	30～ 49
2005	9	5 ～ 6	トラックで走行中、赤信号で停車中のトレーラートラックに追突した。	40301	17	10～ 29
2005	3	5 ～ 6	赤信号で停車中のトレーラートラックに、被災者が運転するトラックが追突した。	40301	17	10～ 29
2005	7	11 ～ 12	国道のセンターラインの塗替え塗装を行っていたところ、当該現場の脇を通過しようとした大型トラックにはねられた。	30199	17	1～9
2005	12	12 ～ 13	県道における大型送迎バスの接触事故後、被災者が車外に出て被害状況を携帯電話で連絡していたところ、対向車線を走行してきたトラックにはねられた。	40201	17	10～ 29
2005	10	17 ～ 18	県道で、交通誘導の後片付け作業中、看板等をトラックに積んだ際にトラックが坂道を下りだしたため、前側に回りトラックを止めようとしたが、止めることができず、ひかれた。	170201	17	50～ 99
		16	駐車場内にある浄化槽の点検用の蓋を開け、内部をのぞき込んでいた			10～

2005	8	～ 17	ところ、トラックにひかれた。	170209	7	29
2005	4	7 ～ 8	トラックで高速自動車道を走行中、インターチェンジ出口付近の右カーブを曲がりきれず、防音壁に激突し横転した。	40309	17	30～ 49
2005	4	8 ～ 9	高速自動車道を走行中、車線前方に割り込んで来た車両を回避しようと急ハンドルを切ったところ、左側壁に接触し、反動で右側壁に衝突、車外へ放り出された。	40302	17	100 ～ 299
2005	3	3 ～ 4	トラックで走行中、前方の大型トレーラートラックに追突した。	40301	17	30～ 49
2005	9	17 ～ 18	トラックで走行中、前方を走っていた乗用車がセンターラインをはみ出して、対向してきたダンプトラックの側面に衝突した。そのはずみで、同ダンプトラックが、被災者のトラックに衝突した。	40301	17	10～ 29
2005	9	17 ～ 18	ダンプトラックで国道を走行中、対向して来た乗用車がセンターラインをはみ出して、同トラックの側面へ衝突した。そのはずみで、同トラックもセンターラインをはみ出してしまい、同乗用車の後ろを走って来ていた他のトラックにさらに衝突した。	30199	17	1～9
2005	7	11 ～ 12	トラックで国道を走行中、信号待ちで停車していた他のトラックの後部に追突した。	40301	17	50～ 99
2005	8	5 ～ 6	ガソリンスタンド敷地内に軽自動車を停車し、車内にいたところ、国道を走行してきた大型トラックがガソリンスタンド内に突っ込んで、被災者が乗っていた車に衝突した。	80205	17	1～9
2005	2	9 ～ 10	国道のポールの塗装作業で、工事中を知らせる案内板を回収するために後進してきた貨物自動車が、交通誘導をしていた被災者に激突した。	170201	6	10～ 29

2005	3	9 ～ 10	トラックで国道を走行中、右折車線を走行していた他の乗用車の左後部に追突し、さらに右折車線で停車していた他のトラックに追突、はずみで追突されたトラックが前に押し出され、前方に停車していたトラック等に追突した。	40301	17	10～ 29
2005	9	7 ～ 8	トラックを運転し、走行していたところ、農道との交差点で農道から出てきた軽トラックが被災者のトラックの右側に衝突し、そのはずみで被災者のトラックは道路左側歩道の縁石に乗り上げ、さらに40m先の道路右側の水田に転落し、水田の擁壁に激突した。	40301	17	1～9
2005	7	14 ～ 15	トラックで国道を走行していたところ、左カーブを曲がる際ガードレールに激突し、側溝に転落した。	30199	17	1～9
2005	3	11 ～ 12	道路工事現場で交通誘導の準備をしていたところ、走行してきたトラックがそれに気づいて急ブレーキをかけたため蛇行し、中央分離帯に激突、被災者はトラックと中央分離帯との間に挟まれた。	170201	17	50～ 99
2005	12	5 ～ 6	トラックで国道を走行中、交差点で前方を走行していた大型トラックが赤信号で減速したため、ブレーキをかけたところ、道路が積雪でシャーベット状になっていたため、滑って追突した。	40301	17	100 ～ 299
2005	10	23 ～ 24	トラックで走行中、交差点付近において、信号待ちで停車中の他のトラックに追突した。	40301	17	10～ 29
2005	2	15 ～ 16	トラックで国道を走行中、信号待ちで停止していたトラックに追突した。	40301	17	10～ 29
2005	3	12 ～ 13	洗車場において洗車作業を行っていたところ、サイドブレーキの効きが悪く、洗車中のトラックが後方に下がってきて、後ろにいた被災者がコンクリート壁との間に挟まれた。	40301	7	10～ 29
		21	大型トラックで国道を走行中、なんらかの原因で対向車線にはみ出			10～

2005	3	～ 22	し、対向してきた大型トラックに正面衝突した。	40301	17	29
2005	2	11 ～ 12	国道の待避所で停車していた車の運転席に戻ろうとした際、他の車が車後部に追突した。そのはずみで被災者は転倒し、さらに他の車にひかれた。	40301	17	30～ 49
2005	3	11 ～ 12	ダンプトラックをやや傾斜のある道路片側に停車させ荷下ろし後、運転席を離れて作業の打合せを行っていたところ、無人の同トラックが後退で動き出し30m走行した後、側溝に横転し、同側溝内で集水枳取付部の型枠組立作業をしていた被災者に激突した。	30107	6	50～ 99
2005	3	21 ～ 22	トラックで国道を走行していたところ、対向車線の大型トラックがセンターラインをはみ出して正面衝突した。	40301	17	1～9
2005	7	5 ～ 6	信号のある見通しのよい交差点をトラックで走行中、他のトラックと出会い頭に衝突した。	40301	17	10～ 29
2005	10	6 ～ 7	高速自動車道舗装工事において、交通規制中の作業エリアを走行中のダンプトラックが中央分離帯付近の段差から脱輪したため、ドラグ・ショベルでけん引した。けん引後ワイヤロープを被災者が外していたところ、ダンプトラックが前進し、バケットとダンプトラックとの間に挟まれた。	30106	7	1～9
2005	5	1 ～ 2	大型トラックで高速自動車道を走行中、緩やかな左カーブのトンネル内に軽貨物自動車が燃料切れで停車しており、これを避けきれず接触した。このため、降車し、軽貨物自動車の状況を確認していたところ、後続の大型トラックに追突されて前進した軽貨物自動車に弾き飛ばされ、さらに大型トラックにひかれた。	40301	17	50～ 99
2005	10	18 ～	リースしていたドラグ・ショベルを、運搬してきたトレーラーに載せたまま点検するため、ゆっくりと走行していたトレーラートラックに乗り込んだ被災者が、トレーラートラックの荷台と後輪との隙間に転	80409	7	1～9

		19	落とし挟まれた。			
2005	9	15 ～ 16	軽トラックを運転中、工場棟の取付け道路の路肩から前輪が逸脱し、 軽トラックごと高さ6mの法面を転落した。	11709	17	30～ 49
2005	6	17 ～ 18	軽トラックで砂利道を走行中、対向車が砂利によりハンドルをとられ て横向きになり、そこへ被災者が運転する軽トラックがさしかかり対 向車の側面に衝突した。	30203	17	1～9
2005	10	8 ～ 9	駐車場でトラックを清掃中、荷台を後方にスライドさせ運転席との間 に隙間を設け、そこに立ってホースで水洗していたところ、前進して きた荷台と運転席との間に挟まれた。	40301	7	1～9
2005	2	5 ～ 6	納品のため道路左側に停車し、降車中に後方より追突された。	40301	17	50～ 99
2005	9	2 ～ 3	トラックで国道を走行中、歩行者用信号が赤になり前の車両が止まっ たところに追突し、ハンドルと座席との間に挟まれた。	50101	17	10～ 29
2005	8	8 ～ 9	トラックで走行中、先方のトラックが赤信号で停車したところへ追突 した。	30199	17	1～9
2005	6	4 ～ 5	トラックで走行中、交差点を横断しているところへ、他のトラックが 右側から信号無視して進入し、衝突した。	40301	17	1～9
2005	6	5 ～ 6	トラックで県道を走行中、対向車のダンプトラックと正面衝突した。	40301	17	30～ 49
2005	3	8 ～	タンクローリーで国道を走行中、下り坂の左カーブを曲がろうとした	10901	17	50～



		9	ときに横転し、対向車線で信号待ちをしていた他の車両と衝突した。			99
2005	11	17 ～ 18	トラック内に車のキーを閉じ込めてしまったため、車の窓のガラスコーナーのゴムに指を引っ掛けて、力を入れて引っ張っていたところ、指が外れた勢いで仰向けに転倒し、隣から発進した大型トラックの後輪でひかれた。	40301	7	10～ 29
2005	9	4 ～ 5	トラックで走行中、高速自動車道のインターチェンジ付近にて、事故で渋滞している最後尾の乗用車に追突した。	40301	17	30～ 49
2005	12	13 ～ 14	水道管理設工事現場で誘導を行っていた被災者が、休憩時間に停車中のトラックの前に座って弁当を食べていたところ、突然トラックが発車し、ひかれた。	170201	17	10～ 29
2005	1	11 ～ 12	高速自動車道において、作業員7人が、道路脇の目隠し板の撤去作業及び単管パイプの解体作業を行っていたところ、走行してきた大型トラックが規制帯に突っ込み、被災者らに激突した。	30199	17	10～ 29
2005	6	12 ～ 13	国道を走行中、信号待ちをしていたトラックに衝突した。	40301	17	30～ 49
2005	12	0 ～ 1	高速自動車道インターチェンジ出口付近において、左カーブを曲がりきれずに道路右側へ横転し、そのはずみで、車外に投げ出され、横転したトラックの下敷きとなった。	150102	17	30～ 49
2005	10	2 ～ 3	道路上の散乱物を片付けていたところ、停止していた車に後続車が追突し、衝撃で動いた車にひかれた。	40301	17	10～ 29
2005	1	13 ～ 14	マンション新築工事現場内で、場内の仮設道路に敷き並べられた鉄板をズレ止めのためアーク溶接作業を行っていた被災者が、向きを変えようと後進したダンプトラックにひかれた。	30201	6	1～9
		9	軽貨物自動車にて荷物を運搬中、国道の交差点付近において、右折し			

2005	6	～	てきた対向車両を避けた際、対向車線にはみ出し、直進してきたトラックと正面衝突した。	40301	17	1～9
2005	9	～	18 トラックで高速自動車道を走行中、インターチェンジで右カーブを通過しようとした時にガードレールに接触し、その反動で車が横転した。	40301	17	10～ 29
2005	3	～	16 建設現場から運搬してきた泥土を、産業廃棄物処理施設内の深さ3.7mの処理槽に廃棄するため、ダンプトラックの運転席において、荷台を上昇させたところ、車両前部が浮き上がり、半回転した車両とともに処理槽内に転落した。	150102	1	10～ 29
2005	10	～	13 公園内にある詰所へ自転車で向かう途中、トラックと接触して転倒した。	150109	17	10～ 29
2005	12	～	12 トラックにて荷物の搬送中、国道の交差点において、ダンプトラックに追突した。	40301	17	10～ 29
2005	3	～	5 横断歩道を渡っていたところ、交差点に進入してきたトラックに激突された。	30106	17	300 ～ 499
2005	3	～	0 圧縮式ごみ収集車へのダンボールの積込み作業において、プラットホーム上からごみ収集車のホッパー内にダンボールを投入していたところ、作動中の回転板に巻き込まれた。	11709	7	10～ 29
2005	6	～	5 トレーラートラックで県道を走行中、停止中の大型トラックに追突した。	40301	17	1～9
2005	1	～	4 自動車で行中、道路合流地点で、信号待ちをしていたトラックに追突した。	40301	17	1～9

2005	9	1 ～ 2	料金所で料金收受業務を行っていた被災者が、異常E T C表示が出たレーンに向かおうとしてレーンを横断したところ、大型トラックにはねられた。	170209	17	100 ～ 299
2005	4	15 ～ 16	軽トラックを運転中、ゆるいカーブを曲がりきれずに対向車線にはみ出し、対向車線を走行してきたトラックに衝突した。	30202	17	10～ 29
2005	10	10 ～ 11	構内を詰所に向けて歩行中、バックで走行してきたトレーラートラックに激突された。	30201	7	50～ 99
2005	4	16 ～ 17	駐車場出口において、交通誘導中、停止を振り切って突っ込んできた自動車に激突された。	170201	6	100 ～ 299
2005	6	9 ～ 10	ミキサー車を後進させる際に道路脇から竹等がはみ出していたため、ミキサー車の材料投入口付近のステップ上に乗し、竹をよけながらしばらく進んだとき、路肩が崩れてミキサー車とともに1.8m下に転落し、ミキサー車の下敷きとなった。	80209	5	1～9
2005	12	0 ～ 1	トラックで走行中、渋滞のため停車していた別の大型トラックに追突した。	40301	17	1～9
2005	5	11 ～ 12	トラックで高速自動車道を走行中、低速で走行中の工事作業標識車に追突してトラックが横転し、車から投げ出された。	40301	17	30～ 49
2005	5	23 ～ 24	トラックで高速自動車道を走行中、土手に乗り上げて横転し、車外に投げ出された。	40301	17	30～ 49
2005	7	5 ～	トラックを運転中、渋滞で停車していた前方トラックに追突した。	40301	17	10～ 29

		6				
2005	8	19 ～ 20	木材をトラックに積み終え、シート掛け中に、荷台から降りようとしたところ、足がシートに絡まり転落した。	40301	1	10～ 29
2005	6	14 ～ 15	トラックの荷台で計量器の積込み作業中、バランスを崩しコンクリート地面に転落した。	50101	1	1～9
2005	10	10 ～ 11	資源物回収車の荷台に乗って移動中、荷台の後部から転落した。	150103	1	30～ 49
2005	7	1 ～ 2	大型トラックで高速自動車道を運転中、インターチェンジの出口で仮眠のため駐車中の大型トラックに衝突した。	40301	17	30～ 49
2005	7	9 ～ 10	トラックで国道を走行中に、対向車と正面衝突した。	40301	17	10～ 29
2005	12	5 ～ 6	大型トレーラートラックで高速自動車道を走行中、走行車線上で前を走っていた大型トラックの後部に衝突、そのはずみで牽引車が被牽引車に押し出されて追越車線に膨らんだところ、後続の大型トラックに衝突された。	40301	17	50～ 99
2005	12	3 ～ 4	トラックにて走行中、国道の交差点において、赤信号で停車中のトラックの後方に追突した。	40301	17	50～ 99
2005	9	6 ～ 7	トラックを運転中、国道交差点において赤信号で停車中のトラックの後方に追突した。	40301	17	100 ～ 299
		2	自転車に乗って道路を横断していたところ、右側から来た普通貨物自			10～

2005	12	～ 3	動車にはねられた。	170201	17	29
2005	8	0 ～ 1	高速自動車道において、渋滞のため停車中の車両に被災者の運転する大型トラックが追突、炎上した。	40301	17	10～ 29
2005	9	0 ～ 1	市道交差点にて、出会い頭に右側から来たトレーラートラックと衝突した。	130101	17	1～9
2005	7	1 ～ 2	自車（トラック）の前を走行していた乗用車が、居眠り運転のために対向車線にはみ出し、それを避けようとした対向車と衝突した。	40301	17	30～ 49
2005	9	11 ～ 12	トラックに荷物を積み込む際、トラックのステップに足をかけ、荷台にあった空のパレットの一番上に手をかけて昇ろうとしたところ、手にかけてパレットがずれ、後方に転落した。	40301	1	1～9
2005	2	15 ～ 16	トラックの後方にて誘導中、バックしてきたトラックと停止させていた一般車両との間に挟まれた。	170201	7	100 ～ 299
2005	6	15 ～ 16	トラックで国道を走行中、交差点において、前方で信号待ちをしていた他のトラックに追突した。	80209	17	10～ 29
2005	11	11 ～ 12	トラックを運転し交差点を青信号で直進中に、左方より赤信号で進入してきた他のトラックが左後部のアルミコンテナに衝突したため、前方ガードレール及び電柱に衝突して横転した。	10109	17	50～ 99
2005	7	4 ～ 5	普通貨物自動車を運転中、渋滞のため停止していた大型貨物自動車に追突した。	40301	17	30～ 49
		6	トラックの助手席に乗り高速自動車道を移動中、道路の継ぎ目で車両			100

2005	4	7	～	が大きくバウンドし、スリップしながら助手席側の側壁に衝突して車体が横転した。	30199	17	～	299	
2005	1	23	～	24	大型トラックで高速自動車道を走行中、左カーブに差し掛かったところ、曲がりきれず車両が横転した。	40301	17	50～	99
2005	3	1	～	2	トラックで国道を走行中、停車していたトレーラートラックの後部に追突した。	40301	17	10～	29
2005	2	9	～	10	ダンプトラックで国道の交差点を走行中、交差点を右折していた対向の乗用車に衝突した。	40301	17	1～9	
2005	3	5	～	6	トラックで国道を走行中、前方で減速していたトラックへ追突した。	40301	17	10～	29
2005	10	19	～	20	トラックで交差点を右折しようとした際、直進してきた対向車と接触した。	80209	17	1～9	
2005	1	14	～	15	タンク（高さ3.6m）の上部に設置されているハッチを閉めていたところ、誤って足を滑らし、地上に墜落した。	40302	1	10～	29
2005	5	11	～	12	大型トラックで県道を走行中、信号待ちで停車中の大型トラックに追突した。	40301	17	30～	49
2005	3	0	～	1	高速自動車道において被災者が路肩規制終了後、後尾警戒を実施していたところ、走行車線を走行してきた大型トラックが標識車に追突したはずみで押し出された標識車が被災者に激突した。	170201	17	30～	49
					建設現場で大型ミキサー車より小型ミキサー車へ生コンクリートを積				

2005	3	15 ～ 16	み替える作業場所において路上を歩いていたところ、下り坂に停車中の大型ミキサー車が無人で動き出し、小型ミキサー車に伝票を渡すために構内を歩行中の被災者が小型ミキサー車と大型ミキサー車との間に挟まれた。	10901	6	10～ 29
2005	9	8 ～ 9	トラックの荷台に鉄くずを固定していたロープを解いていたところ、構内を走行していた他のトラックに激突された。	80409	6	1～9
2005	9	5 ～ 6	トラックで国道を走行中、赤信号で停止していた大型トラックに追突した。	40301	17	30～ 49
2005	3	4 ～ 5	トラックで国道を走行中、駐車中のトレーラートラックに追突した。	40301	17	10～ 29
2005	12	4 ～ 5	高速自動車道のインターチェンジ合流付近において、大型トラック同士の追突事故によりトラックが停止していたところに、後方から走行してきた被災者の運転する大型トラックが追突し、炎上した。	40301	17	50～ 99
2005	4	4 ～ 5	交差点において、被災者の運転していたタンクローリーと交差点右側から来た普通トラックが衝突し、両車とも炎上した。	40301	17	1～9
2005	7	6 ～ 7	国道を走行中に、右カーブにさしかかる直前に、前方から対向車がセンターラインをはみ出してきて正面衝突した。	40301	17	30～ 49
2005	12	3 ～ 4	トラックを運転し国道交差点で信号待ちをしていたところ、後ろから大型トラックに追突されたはずみで、前に止まっていたトラックに玉突き衝突した。	40301	17	50～ 99
2005	6	16 ～	収穫した梅を回収するため、軽トラックにて回収場所へ行く途中、車ごと道路から転落した。	170209	1	10～ 29

		17				
2005	2	1 ～ 2	国道をトラックで走行中、対向車線を走行してきた大型トラックが、カーブのところで前方車両を追い越すため、センターラインをはみ出してきて正面衝突した。	40301	17	10～ 29
2005	8	19 ～ 20	国道をトラックで走行中、中央分離帯を乗り越えてきた対向車に正面衝突した。	40301	17	30～ 49
2005	3	23 ～ 24	トレーラートラックで国道を走行中、道路上に落ちていた落下物（アスファルト塊）に乗り上げ、ハンドル操作が利かなくなり、道路に隣接した石垣に激突し、トレーラートラックが炎上した。	40301	17	10～ 29
2005	3	14 ～ 15	バックで工場内に進行してきたトラックに激突され、鉄骨との間に挟まれた。	11209	6	1～9
2005	11	5 ～ 6	工事現場へトラックで向かっていたところ、交差点で前方のタンクローリーが大型ダンプトラックと衝突し、後方を走行していた被災者のトラックが横転したタンクローリーと衝突した。	30199	17	10～ 29
2005	11	5 ～ 6	工事現場へトラックで向かっていたところ、交差点で前方のタンクローリーが大型ダンプトラックと衝突し、後方を走行していた被災者のトラックが横転したタンクローリーと衝突した。	30199	17	10～ 29
2005	7	6 ～ 7	国道を走行中、左カーブを曲がりきれずにセンターラインをはみ出して対向車のトラックと正面衝突した。	40301	17	0
2005	1	5 ～ 6	県道の左端にトラックを駐車し、被災者が荷下ろし作業をしていたところ、別のトラックに追突された。	10104	17	1000 ～ 9999
2005	4	17 ～	飼料運搬用バルク車の上で、フォークリフト積込みのためフレコンパックの位置調整をしていたところ、高さ2.7mのバルク車の上から転	40301	1	10～ 29



		18	落した。			
2005	4	13 ～ 14	トラックで走行中に、信号のある交差点においてワゴン車と出会い頭に衝突した。	80101	17	1～9
2005	3	21 ～ 22	芝をトラックに積み込み、国道を走行中に横転、道路脇の擁壁に衝突、道路に投げ出された。	40301	17	1～9
2005	6	14 ～ 15	切羽より原石をトラックで運搬作業中、トラックが作業道路から60m下に転落した。	20201	1	1～9
2005	1	1 ～ 2	国道を走行中、信号待ちをしていた大型トラックに追突した。	40301	17	10～ 29
2005	3	21 ～ 22	トラックで走行中、橋からトラックごと運河に落下した。	40301	17	10～ 29
2005	4	5 ～ 6	トラックで国道を走行中、緩やかな右カーブで、対向車線からはみ出して向かってきた大型トレーラートラックにほぼ正面から衝突した。	30309	17	10～ 29
2005	4	8 ～ 9	砕石プラントにおいて、ダンプトラックの荷台を上げて、荷台下のシャフトのグリスアップ作業をしていたところ、降下してきた荷台とフレームとの間に挟まれた。	20202	7	10～ 29
2005	3	13 ～ 14	工事現場に、車両積載形トラッククレーンに積載された鉄骨資材を搬入するため、坂道をブレーキを掛けながら下りていたところ、途中でブレーキが効かない状態となり、擁壁側で誘導していた被災者が、車体と擁壁との間に挟まれた。	30201	7	10～ 29
		9	木材をトラックに積み込む作業中、積み込んだ木材の上で均し作業を			10～

2005	12	～ 10	行っていたところアスファルトの地面に墜落した。	10401	1	29
2005	12	14 ～ 15	トラックで国道を走行中、中央分離帯を乗り越え、対向してきたタンクローリー車と正面衝突した。	80209	17	10～ 29
2005	12	14 ～ 15	トラックで国道を走行中、中央分離帯を乗り越え、対向してきたタンクローリー車と正面衝突した。	80209	17	10～ 29
2005	6	2 ～ 3	自動車を運転中、縁石に左後輪が接触し、右ハンドル切ったが、左カーブの箇所であり、進行方向右側に設置してあるガードレールに衝突、運転席側を下に横転した。	40301	17	100 ～ 299
2005	10	17 ～ 18	トラックの荷台上でコンクリート製ブロックをフォークリフトで荷積み作業中、1段目の荷と2段目の荷の間に設置してあった枕木を調整していたときに荷台から転落した。その際、2段目に積んであった荷が被災者の上に落下した。	40301	1	30～ 49
2005	8	14 ～ 15	オートバイを運転し、丁字路の交差道路を直進したところ、当該交差点にバックで進入してきたトラックと衝突した。	110101	17	10～ 29
2005	12	2 ～ 3	トラックで国道を走行中、交差点で青信号に変わって発車直後の前車に追突した。その際に追突した前車の積荷（単管パイプ）が被災者のトラックのフロントガラスを突き抜けて被災者に激突した。	40301	17	1～9
2005	10	4 ～ 5	トラックで国道を走行中、信号機柱2本に衝突し、さらに民家のブロック塀に衝突した。	40301	17	10～ 29
2005	10	9 ～ 10	トラックで国道を走行中、対向車線を走行していた別のトラックと正面衝突した。	40301	17	10～ 29

2005	12	0 ～ 1	個人住宅工事に使用する材料を運搬中、標識柱に激突した。	30202	17	10～ 29
2005	8	4 ～ 5	国道を走行中、交差点で信号待ちのトレーラートラックに追突した。	40301	17	10～ 29
2005	7	3 ～ 4	ベニヤ板の運搬中、道路左側のガードレールに接触後、100m先の道路案内板の支柱に衝突し、横転した。	40301	17	50～ 99
2005	12	12 ～ 13	国道を走行中、信号待ちで停車していた大型トレーラートラックに追突した。	40301	17	1～9
2005	12	12 ～ 13	国道を走行中、信号待ちで停車していた大型トレーラートラックに追突した。	40301	17	1～9
2005	7	20 ～ 21	前方の交差点の信号待ちで大型トラック、乗用車及び大型トレーラートラックが停止しているところに、被災者が運転する大型トラックが追突した。	40301	17	50～ 99
2005	6	12 ～ 13	大型トラックで高速自動車道を走行中、先行するトラックに追突し、そのはずみで大型トラックの後部バンパーがガードレールに接触して対向車線にはみ出し、そのまま右側に横転した。	40301	17	10～ 29
2005	6	2 ～ 3	高速自動車道において、運転していた大型キャリアトラックがパンクしたため、車両を路肩に停車し、車外前方にて修理依頼の電話をしていたところ、後方から来た大型トラックがキャリアトラックに追突し、キャリアトラックとガードレールとの間に挟まれた。	40309	17	10～ 29
2005	4	3 ～	貨物自動車で高速自動車道を走行中、パーキングエリアへの入路の三角地帯のガードレールに激突し、さらにその先にある点滅灯に激突し	40301	17	1～9

		4	た。			
2005	4	4 ～ 5	国道を走行中、緩い左カーブのセンターライン上で、被災者が運転するトラックの運転席右側と対向車のトラックの運転席右側が接触した。	40301	17	10～ 29
2005	11	14 ～ 15	大型タンクローリーで牛乳を輸送中、県道の下り坂で、右カーブを曲がりきれず大型タンクローリーが横転した。	40301	17	50～ 99
2005	6	4 ～ 5	大型トラックで走行中、国道の交差点において、信号待ちで停車していた大型トレーラトラックに追突した。	40301	17	30～ 49
2005	11	11 ～ 12	国道において、工事現場の手前で前の車両に続いて停止しようとして減速したところ、後続のトラックが追突してきたため、そのはずみで対向車線に押し出され、対向車線を走行してきた大型観光バスと正面衝突した。	40301	17	10～ 29
2005	10	5 ～ 6	ビル解体工事に使用する重機をトラックの荷台から降ろす作業を行った直後に転倒、トラックに激突した。	30209	3	10～ 29
2005	3	13 ～ 14	国道を走行中に、被災者が運転していた軽トラックが対向車線にはみ出し、対向してきた大型トラックと正面衝突した。	10105	17	10～ 29
2005	1	15 ～ 16	軽トラックで国道を走行中、対向車線にはみ出し、対向してきたダンプトラックと正面衝突した。	80209	17	30～ 49
2005	8	18 ～ 19	国道を大型トラックで走行中、対向車線にはみ出し、対向してきた大型バスと正面衝突した。	40301	17	30～ 49
		7	トラックで走行中、右折のため停車していた車両積載形トラックク			

2005	8	～ 8	レーンに追突した。	40301	17	1～9
2005	6	～ 24	トラックで国道を走行中、信号のあるT字路の交差点を青信号で直進していたところ、トレーラートラックが右折してきたため、衝突した。	40301	17	50～ 99
2005	6	～ 14	道路上のマンホール内の点検作業中、トラックをマンホール近くに移動し降車したところ、トラックが5m後進し、当該マンホール付近で一般車両の見張りを行っていた被災者がひかれた。	30110	17	1～9
2005	10	～ 11	排水処理場の汚泥を汲み取る作業で作業車を河川管理敷地内の斜路に停車し、右後輪に角材を車輪止めとして1つ取り付けていたが、作業車が後方に動き出し、タンクゲージの確認等のため車体の後方にいた被災者が作業車にひかれた。	150103	7	1～9
2005	7	～ 14	国道の路肩に乗用車を止め、準備作業で車外にいたところ、後方より走行してきた大型トラックに衝突された。	80209	17	1～9
2005	2	～ 3	新聞配達のため、路肩に普通乗用車を止め車から降りたところ、後方から走行してきたトレーラートラックが普通乗用車に追突し、側にいた被災者が巻き込まれた。	80205	17	30～ 49
2005	6	～ 9	道路舗装工事用で使用したマカダムローラーを回収するため、当該ローラーを運転して重機運搬車に載せた後、当該ローラーから降りようとしたところ、運転席から転落した。	30106	1	1～9
2005	6	～ 10	トレーラートラックを移動し、後退させたところ、トレーラートラックの誘導作業に従事していた被災者がひかれた。	40301	7	50～ 99
2005	12	～ 12	斜面（勾配4度）に停めてあったタンクローリーが突然動き出したため、タンクローリーを止めようとしたが、誤ってタンクローリーのバンパーと積み重なった岩石に雪が積もったものとの間に挟まれた。	40302	7	1～9

2005	4	15 ～ 16	ごみ収集車で収集後、埋立地に移動し、ごみを下ろした後で空になったごみ収集車のパッカー内部の洗浄を同僚がテールゲートを上げた状態で行い、その後、テールゲートを下げたときに、被災者がパッカーとテールゲートとの間に挟まれた。	150103	7	10～ 29
2005	10	16 ～ 17	ダンプトラックにて砂を堆積場（砂山）に下ろすために、堆積場のスロープ（勾配10度）を後進で登っている途中、路肩が崩れ、車体前方が左側に傾いて5m下に落下した。このとき、被災者が運転席から投げ出され、横転したダンプトラックの下敷きとなった。	40301	1	30～ 49
2005	4	5 ～ 6	トレーラトラック（空車）で国道を走行中、対向車両と正面衝突した。	40301	17	10～ 29
2005	10	17 ～ 18	トラックで町道を走行中、路外に逸脱した。	30309	17	10～ 29
2005	4	5 ～ 6	トレーラトラックを運転中、対向してきた他のトレーラトラックと正面衝突した。	40301	17	30～ 49
2005	8	2 ～ 3	大型トラックで高速自動車道を走行中、渋滞停車中の最後尾の別の大型トラックに追突し、運転席に挟まれた。	40301	17	30～ 49
2005	1	9 ～ 10	冷凍車で国道を走行中、対向車線にはみ出し、対向車の大型トレーラトラックと接触し、さらに後続の乗用車に衝突した。	40301	17	30～ 49
2005	9	12 ～ 13	トラックで国道を走行中に、赤信号で停車していた前方のトラックに追突した。	40301	17	30～ 49
		14	車で信号機のある交差点を走行していたところ、信号を無視したト			

2005	11	～ 15	トラックが交差点内に進入し衝突した。	130201	17	1～9
2004	8	～ 15	工場の商品搬入口に保冷車をバックで停めて、店舗から運んできた箱を降ろした後、工場前の道路で保冷車の下敷きになっているところを発見された。	10104	7	10～ 29
2004	7	～ 4	高速自動車道を大型トラック（25t車）で走行中、故障のため登坂車線で停車していた大型トラックに追突し、その衝撃で2台の大型トラックが中央分離帯に衝突した。	40301	17	100 ～ 299
2004	1	～ 14	トラックで走行中、道路脇の電柱に激突し、同乗者であった被災者が車外に投げ出された。	30209	17	1～9
2004	12	～ 9	上水道管布設工事現場において、交通誘導を行っていた被災者は、材料等を搬入して来た2tトラックが、道路脇に置かれていたカラーコーンを車体の下に巻き込んだことに気付き、道路脇に停車したトラックの左前下部にもぐり込む格好でコーンを取り除く作業をしていたところ、発進したトラックにひかれた。	170201	7	10～ 29
2004	8	～ 10	県道の除草作業現場において、ある地点で草を積み終え、次の積み込み地点までトラックを移動させていたところ、トラックの荷台に乗っていた被災者が路上に転落した。	30199	1	10～ 29
2004	6	～ 15	トラックで走行中、道路の中央線を超え対向車の乗用車と正面衝突した。	170209	17	10～ 29
2004	1	～ 12	自社工場の生コンを生コンミキサー車で納入先の工事現場に配送終了後の帰社途中、林道の左カーブを通り過ぎた直線路にさしかかったところ、林道左側の路肩から35m下の谷に転落し、その際、車外に投げ出され運転していた生コンミキサー車の下敷きとなった。	10901	1	10～ 29
			フェリーの車両デッキ内において、下船のため、トレーラーを前進さ			

2004	7	6 ～ 7	せようとした際、後部台車のブレーキを解除していなかったことに気づき、トレーラーを下車して、後部台車のブレーキを解除したところ、トレーラーが動き出した。このため、被災者はトレーラーを止めようと運転席に行ったところ、ドアがフェリーの鋼製柱にぶつかり、しまったドアに挟まれた。	40302	7	30～ 49
2004	6	12 ～ 13	4tトラックおよび8人乗り普通乗用車に分乗し高速自動車道を走行していたところ、前方に停車している大型トラックを確認、追い越し車線に車線変更したが、道路中央車線上に落下物（幅3m、奥行き2m、高さ60cm）があったため、急ブレーキを掛けたが、間に合わず、当該落下物に衝突した後、その先に停車していた大型トラックに衝突した。	100109	17	1～9
2004	9	13 ～ 14	もみ殻を4tトラックに積み込むため、トラックの荷台上で、ホッパーから荷台上に出されたもみ殻を敷き均す作業を行っていた際、荷台上にいた被災者が、積み込んだもみ殻に足を取られ、バランスを崩し、約3.5m下の地面に墜落した。	170209	1	1～9
2004	12	17 ～ 18	栈橋に停泊中のフェリーにトレーラーを積み込む作業中、トレーラーを切り離しトラクターのみで下船しようとしたが、ピンが外れておらず、トラクターを降りピンを外す操作をしたところトラクターが動き出した。急いで運転席に乗り込もうとしたところ、トラクターの運転席側が別のトレーラーに接触し、しまりかけたトラクターの扉に挟まれた。	40301	7	10～ 29
2004	6	5 ～ 6	ダンボール用ロール紙をトラックにて搬送し、荷降ろしのためトラックの荷台上にて荷にかけていたシートをはがしていていたところ、高さ2.6mの荷台の上より墜落した。	40301	1	50～ 99
2004	7	14 ～ 15	県道舗装工事の一方通行規制区間において、軽ワゴン車がゴムホースの片付け作業中の被災者をはねた。	30106	17	10～ 29
2004	6	13	最大積載量3tの貨物自動車の荷台においてジュースの箱を積む作業を行っていた被災者が、あおりに寄り掛かったところ、あおりの留め金	40301	1	10～



		14	が外れていたことからあおりが倒れ、荷台の上から墜落した。			29
2004	4	12 ～ 13	ピアノ4台（荷の重量量500kg）を、2 t 車を使用し、運送する途中、 高速自動車道で、前を走行していた保冷車に追突し、車両が炎上し た。	40301	17	10～ 29
2004	7	3 ～ 4	県道を4 tトラックにて走行中、前方を走行していた10 tトラックに追 突した。	40301	17	100 ～ 299
2004	6	2 ～ 3	トラックで、高速道路を時速90kmで走行していたところ、前を走って いた大型トラックに追突し、前方に投げ出され、自車にひかれた。	40301	17	10～ 29
2004	11	13 ～ 14	擁壁工事用のブロックを積んだ2 t 貨物自動車のブロック荷卸作業が一 段落したので、当該貨物自動車を前進で移動さようと発進させたところ、 貨物自動車の左前側で水抜きパイプの切断作業を行っていた被災 者に激突した。	30106	7	10～ 29
2004	12	12 ～ 13	配送のため、トラックで信号停車中、後方より車両が追突してきた。	170209	17	30～ 49
2004	7	1 ～ 2	被災者の運転する4 tトラックが、信号で停車していた4 tトラックお よび10 tトラックの後部から追突した。	40301	17	30～ 49
2004	3	5 ～ 6	4 tトラックで国道を走行中、下り車線で追突事故を起こしたトラック の積み荷である塗料入りのドラム缶が飛び出してきた。被災者はそれ に乗り上げ、中央分離帯を越えたところで下り車線を走ってきた大型 トラックと衝突した。その際、ドラム缶に引火し爆発した。	40301	17	10～ 29
2004	1	14 ～	高速道路を4tトラックで走行中、重機を積載し走行していたトレー ラーに追突した。その際、前車の積載していた重機のバケットが自車 トラックに刺さり、その状態で前車に約500m引きずられ路肩に停止し	40301	17	1～9

		15	たところへ、後方から来た大型トラックに追突された。			
2004	4	12 ～ 13	高速自動車道インター近くで、大型トラックが被災者運転の4 t トラックに追突したため、トラックは弾みでガードロープに衝突、横転し、被災した。	40301	17	100 ～ 299
2004	8	15 ～ 16	4tトラックを運転して国道を走行中、中央線をはみ出し、対向車線を走行していた10tミキサー車と衝突した。	30202	17	1～9
2004	12	20 ～ 21	タンクローリーを運転して国道を走行中、対向車線を越え道路右側の電柱に激突した。	40301	17	30～ 49
2004	5	15 ～ 16	自社駐車場にホイールクレーンを入れるため、駐車場内のトラックを一般道へ出そうとしたが、バッテリーが上がって動かなかった。駐車場から一般道へは、若干下っているなのでこの下り坂を利用してエンジンを掛け、ホイールクレーンでトラックを引っ張ろうと玉掛けワイヤロープをトラックとホイールクレーンの牽引フックに掛けようとしたところ、トラックが動き出し、ホイールクレーンとトラックの前面に挟まれた。	30199	17	1～9
2004	3	5 ～ 6	国道でトラック同士の追突事故が発生し、積荷のドラム缶の一部が中央分離帯を飛び越えて上り線を走行していたトラックに激突した。ドラム缶に激突されたトラックは、その弾みで中央分離帯を乗り越えて下り線に飛び出し、下り線を走行していたトラックに正面衝突した。衝突した2台のトラックは炎上し、このトラックの運転手2名が死亡した。	40301	17	10～ 29
2004	12	6 ～ 7	国道において、ゆるい右カーブの上り坂を走行中に対向車と正面衝突した。	40301	17	30～ 49
		8	トラックの荷台から荷（ドラグ・ショベルのベース部分（重量約2.6			10～

2004	9	～	t) ) を荷降ししていたところ、高さ1.34mの荷台から荷とともに墜落し、荷の下敷きになった。	40301	1	29
2004	2	～	13 ゴルフ場内の舗装修理を行うため、公用車を用いて自宅から修復資材 14 を運び出し、ゴルフ場に向かう途中、乗用車に追突され、弾みで左助手席側から車外に放り出された。	10109	17	1～9
2004	8	～	18 集荷先民家そば路上に停車させていた集荷用トラックが後進し、当該 19 トラック後方にいた被災者が、トラック後部とコンクリート擁壁（民家塀）に挟まれた。	40301	17	30～ 49
2004	2	～	17 トラックに積載してあった発電機をクレーンで下ろすための準備をし 18 ていたところ、トラックの荷台から高さ約1.25m下の地面に墜落した。	30106	1	1～9
2004	1	～	21 高速自動車道を走行中、前を走っていた大型トラックに追突した。 22	40301	17	30～ 49
2004	4	～	9 トラックを運転中、前からきた大型トラックがセンターラインを越え 10 てきたため避けられず正面衝突した。	170209	17	100 ～ 299
2004	11	～	15 コンクリートミキサー車のドラム内部の攪拌ブレードを溶接修理する 16 前処理としてドラムの中に入りブレードに付着したコンクリートをハンマーで除去していた被災者が、作業する個所を変えるためドラムを少し回すよう上司に依頼し上司が車外からエンジンを始動したところミキサー車が急にバックし、同時にドラムも回転したため、被災者がドラムの開口部と車体との間に挟まれた。	10901	7	10～ 29
2004	5	～	13 火災現場から出た廃棄物を4tトラックで運送中、堤防上の県道から道 14 路下の用水路に転落した。	30209	17	10～ 29
		11	トラクター・ショベルの修理を終え、会社に戻るため普通貨物自動車			10～

2004	4	～ 12	を運転して県道を走行中、道路脇の街路樹に激突した。	11702	17	29
2004	12	12 ～ 13	自社車庫を出発して、配送作業のため高速道路を走行途中、車両点検のため路側帯に停車し、トラックから降りて車両前方を点検していたところ、停車中のトラックに後方からトラックが追突してきたため、反動で停車中のトラックに激突された。	40301	17	10～ 29
2004	11	0 ～ 1	砂防ダム建設現場へ生コンを納めるため、ミキサー車を運転中、林道から、約30m下の川へ転落した。	10901	17	10～ 29
2004	11	10 ～ 11	墜落防止用ネットを4tトラックに積み込むため、同ネットが入った保管ケースをフォークリフトでトラックの荷台上に置き、保管ケースから荷台に移し替える作業中、荷台からアスファルト舗装された地面に転落した。	170209	1	10～ 29
2004	6	7 ～ 8	水路の草刈作業を行うため、事業場所有の2tダンプを運転して現場に到着した被災者が、水路脇にダンプを停車していたところ、当該ダンプが傾斜を後退し始め、被災者ととともに約1.4m下の水田に転落した。	30107	1	30～ 49
2004	11	2 ～ 3	大型貨物自動車を運転し高速道路を走行中、路肩に停車したトレーラ右車体部分と接触した後、さらに渋滞で停車中の大型貨物自動車後部に追突した。	40301	17	30～ 49
2004	6	4 ～ 5	直前を走行していたトラックが中央車線をはみ出し、対向車線を走行していたトラックに接触し、その反動で接触した直前を走行中のトラックが被災者のトラックと正面衝突した。	40301	17	100 ～ 299
2004	9	3 ～ 4	4 tトラックで国道を走行中、前方に停車していた14 tトラックに追突した。	40301	17	10～ 29
2004	3	3 ～	軽貨物自動車で新聞配達中、三差路交差点を直進し民家の石垣に衝突した。	80205	17	10～ 29

		4				
2004	9	10 ～ 11	4tトラックの荷台に積んであった金属製角パイプ4束をトラックの荷台から降ろすため、束に金属製バールを差し込む作業をしていた時、バールが滑り、バランスを崩して荷台からコンクリート床面に墜落した。	11209	1	10～ 29
2004	9	9 ～ 10	国道を大型トレーラーを運転して走行中、連続したS字カーブを通過したとき車両が横転し、ガードレールに接触しながら橋の欄干に衝突し、被災者は車内より投げ出され、約8m下の川に墜落した。	40309	17	30～ 49
2004	4	21 ～ 22	トレーラー型タンクローリーを運転し、高速道インターチェンジより本線合流のためランプウェイを走行中、運転を誤まりランプウェイガードレールに接触横転、本線中央分離帯の縁石に激突した。	170209	17	30～ 49
2004	11	8 ～ 9	10tトラックに積み込まれた機械装置の荷張り作業を行っていたところ、バランスを崩し約4m下のコンクリート地面に墜落した。	40301	1	30～ 49
2004	9	3 ～ 4	空のドラム缶およそ20本を積んだ14tトラックを運転中、ガードレールを破り5～6m下に転落した。	40301	17	100 ～ 299
2004	8	13 ～ 14	4tトラックで国道を走行していたところ、対向車線にはみ出し、対向してきたトラックの側面に衝突した後、ガードレールに衝突、さらに対向してきた軽自動車と正面衝突した。	40301	17	10～ 29
2004	7	5 ～ 6	高速自動車道を走行中、わき見運転のため追越車線から走行車線に入ってきたトラック（3.1t）に追突されたはずみで、道路左側のコンクリート壁に激突した。	40301	17	1～9
2004	4	2 ～ 3	大型トレーラーを運転中、道路と並走する線路上にトレーラーが横転した。	40301	17	30～ 49
		13	急な坂をトラックで下っていたところ、宅地の土手に乗り上げ、片輪			10～

2004	6	～	走行の状態となり民家の手前で横転し、民家のブロックの壁にぶつ	150103	17	29
		14	かった。			
2004	10	～	トラックを運転中、センターラインを超えてしまい対向してきた大型	80209	17	30～
		11	トラックと正面衝突した。			49
2004	9	～	2tトラックで配送する途中に、渋滞で停車していたトラックに追突し	40301	17	1～9
		5	た。			
2004	8	～	被災者運転の大型トラックが道路左側の防護壁に接触、その後道路反	40301	17	10～
		3	対側の中央分離帯の金網フェンスに衝突した。			29
2004	6	～	国道を大型トラックで走行中、中央線を越えた対向車と衝突した後、	40301	17	30～
		5	対向車線にはみ出しさらに、走行してきた大型トラックと衝突した。			49
2004	6	～	被災者運転の普通トラックが中央線を越え、対向車線の大型トラック	40301	17	50～
		5	と正面衝突した。			99
2004	3	～	信号待ちのトラックに、被災者の運転するトラックが追突した。	40301	17	50～
		1				99
2004	1	～	トラックに荷物を積込み、目的地まで運送する途中、雪のため、県道	40301	17	30～
		8	の路肩にトラックを止めてチェーンを取り付けていたところ、後方か			49
			ら4 tトラックが衝突し、自転車と相手車との間に挟まれた。			
2004	12	～	片側1車線の緩やかなカーブをトラック（最大積載量3.2 t）で走行	40301	17	30～
		20	中、中央線をはみ出したため、対向車のトラックと正面衝突した。			49
			漁港の浮橋棧において、岸壁から浮橋に渡るための橋（渡橋）の端			

2004	10	13 ～ 14	部（浮棧橋側）に敷いた鉄板に穴を明ける作業を二人で行っていたところ、発電機やエンジンウェルダ等荷台に積んだ最大積載量2.25tのトラック（車両積載形トラッククレーン）が駐車していた渡橋から浮棧橋側にバックし、作業を行っていた2名の作業者に激突した。	30111	6	1～9
2004	8	6 ～ 7	4tトラックで高速道路を走行中、トンネル出口の側壁に接触し、約70m先の中央分離帯のガードレールに衝突した。	30209	17	10～ 29
2004	7	15 ～ 16	ダンプトラックに鉄製水槽（縦3.2m×横1.9m×1.6m、重さ約2t）を載せて、水の運搬を行った後、残った水を場内へ散水するため、ダンプトラック荷台後部に乗った被災者がダンプアップしながら移動する作業中に、ずり落ちてきた水槽とダンプトラックの後部扉板との間に挟まれた。	40301	7	10～ 29
2004	6	13 ～ 14	急な坂をトラックで下っていたところ、宅地の土手に乗り上げ、片輪走行の状態となり民家の手前で横転し、民家のブロックの壁にぶつかった。	170101	17	1～9
2004	4	10 ～ 11	国道を走行中のタクシーが右折しようとしたとき、タクシーの側面に、後続の2tトラックが衝突し、タクシーの運転手が被災した。	40201	17	1～9
2004	3	22 ～ 23	国道を走行中、前方を走行していた乗用車がUターンの為、走行車線にて急停止した。そのため、後続の車両が次々に急ブレーキをかけて停車したが、被災者の運転するトラックは停止しきれず、前方のトラックに追突した。	40301	17	50～ 99
2004	3	21 ～ 22	国道において、給油所に入るため停車していたトレーラーに被災者が運転する大型トラックが追突した。	40301	17	30～ 49
2004	3	1 ～	夜間道路舗装工事現場において、片側交互通行規制中、ガードマンが車線中央にて先頭車両（4tトラック）を停車させたところ、後続車（11tトラック）が先頭車両に後ろから追突した。その際、先頭車両が	170201	17	30～ 49

		2	押し出され、ガードマン2人が跳ねられ、死傷した。			
2004	3	11 ～ 12	4tトラックで帰社途中、道路交差点にて信号待ちで停車していた大型トラックに後ろから追突した。	40301	17	10～ 29
2004	1	7 ～ 8	汚泥運搬用のバキュームカーの始業前点検を運転手と被災者で行っていた際に、運転手が、タンク後部の油圧式で開閉するハッチを50～60cm開けてタンク内の汚泥の量を確認するためのフロートや、バルブの働きが正常であるかを点検し、これを終えたためにハッチを閉じようとしてレバー操作したところ、被災者がハッチに挟まれた。	150102	7	30～ 49
2004	8	16 ～ 17	荷置場において、つり上げ荷重35 t 移動式クレーンで建築用鋼材を貨物自動車に3本を2段で水平に積み込む作業で、上段の鋼材を積み込んでいたところ、下段の鋼材上でつり荷の収まる位置を確認していた被災者が約2.8m下の地面に墜落した。	11209	1	1～9
2004	5	6 ～ 7	高速自動車道トンネル内をトラックで走行中、トンネル内の道路左側の車両退避所出口部の側壁に衝突し、車外に投げ出された。	40301	17	50～ 99
2004	8	5 ～ 6	軽トラック（保冷車）で国道を走行中、交差点で対向から右折しようとした乗用車と衝突した。	80109	17	50～ 99
2004	6	1 ～ 2	高速自動車道を2 t トラックにて走行中、前方を走っていた大型トレーラーの後部に追突した。	40301	17	50～ 99
2004	12	17 ～ 18	パッカー車から、荷降ろし場に収集したダンボールを降ろした後、テールゲート内に小さいダンボール屑が残っていたので、これを取ろうとしたときに、他の作業者がテールゲート内の回転板の起動ボタンを押したためテールゲート内に挟まれた。	80109	7	10～ 29
		11				



2004	6	～ 12	トラックで高速自動車道を走行中、自動車道の側壁に激突し、運転者はシートベルトを着用していなかったので車外に投げ出された。	40301	17	1～9
2004	4	4 ～ 5	4 t トラックで走行中、道路脇の建物に激突した。	40301	17	10～ 29
2004	4	3 ～ 4	4 t トラックでバイパスの加速車線から本線に入ろうとしている時、加速車線のゼブラゾーンに停車していた10 t トラックに衝突した。	40301	17	10～ 29
2004	3	9 ～ 10	車両積載形トラッククレーンのジブが、市道に突出し一般車通行の支障となるため、ジブの向きを前から横へかわすこととなり、エンジンを始動し運転席から降りた時にトラックがずるずると前進し、気を利用せクレーンのフックを外すため前にいた被災者がトラック前面と塀に挟まれた。	170201	7	10～ 29
2004	6	4 ～ 5	バイクを運転し、走行中、交差点を右折しようとしたところ、後方から走行してきたトラックに追突された。	80205	17	1～9
2004	4	4 ～ 5	国道を4トントラックで走行中、センターラインを越え、対向車線を走行していた大型トラックと衝突、また、その後続を走行していたトラックにも衝突した。	40301	17	10～ 29
2004	11	3 ～ 4	国道を4 t トラックにて芝を運送中、交差点に赤信号で停車していたトラックに追突した。	40301	17	1～9
2004	7	16 ～ 17	自動車販売店に自動車を降ろす作業中、キャリアカー後方において後片付けを行っていたところ、走行してきたトラックがキャリアカー後方に追突し、被災者がトラックとキャリアカーとの間に挟まれた。	40301	17	1～9
2004	10	2 ～	県道を2 t トラックで走行中、他の2 t トラックと正面衝突し、さらに	40301	17	30～

		3	その直後、被災者のトラックに軽自動車が発生した。			49
2004	12	10 ～ 11	軽トラックに乗って、同社が施工する工事現場にセメントの空き袋を回収に行っていたところ、林道から約20m下の谷川の河原に軽トラックごと転落した。	30106	17	10～ 29
2004	2	3 ～ 4	大型トレーラー（25 t）で国道を走行中、路肩に止まっていたトラックに気づくのが遅れ追突し、そのはずみでハンドルを取られ左ガードレールに接触、ガードレールを突き破ってトラックもろとも約10m下に墜落した。	40301	17	10～ 29
2004	12	15 ～ 16	32 t ダンプトラックのオペレーターとして、切土場所から盛土場所まで、土の運搬を行っていたところ、一定速度のまま路肩マウンドを乗り越え、法面（のりめん）下にダンプトラックとともに転落した。	30106	1	100 ～ 299
2004	4	4 ～ 5	4 t トラックを運転走行中、前方の赤信号で停止しようとした10 t トラックに追突した。	40301	17	1～9
2004	4	10 ～ 11	トラックに荷物を積み込み、国道を走行中、左カーブで対向車線にはみ出し、対向のトラックと正面衝突した。	40301	17	10～ 29
2004	6	9 ～ 10	貨物自動車（トラック）で国道を走行中、下り坂の左カーブで走行中の車線を逸脱、対向車線路側のガードレールに衝突横転し、車両ドア等に挟まれた。	170209	17	10～ 29
2004	7	16 ～ 17	国道を3 t トラックで走行中、センターラインをはみ出して対向車のトラックと接触し、次に後続のトラックと衝突した。	11209	17	1～9
2004	10	3 ～ 4	国道を自社所有のトレーラーで走行中、交差点で信号待ちをしていたトレーラーに後方から衝突した。	40301	17	10～ 29
		3	荷物を運送するため、高速道路を10 t トラックで走行中、前方を走行			

2004	9	4	～	中のトラックが事故を起こして横転しているところへ追突し、自身のトラックも横転、大破炎上した。	40301	17	10～ 29	
2004	4	15	～	16	トラックで荷物の運送中、インター付近で大雨のためスリップし、道路側壁に車体が激突し、その衝撃により車外に放り出された。	40301	17	10～ 29
2004	12	11	～	12	道路の舗装工事のため4 t ダンプトラックの後退を誘導していたところ、当該道路の後方から走行してきた軽トラックにはね飛ばされて、誘導していた前記4 t ダンプトラックに激突した。	170201	17	1～9
2004	11	10	～	11	大型コンクリートミキサー車で、生コンを運ぶため県道を走っていたところ、ハンドル操作を誤って車が横転し、その勢いで路肩側のガードレールを突き破り側溝の水路に転落した。	10901	17	10～ 29
2004	9	5	～	6	トラックで走行中、対向車（トラック）が誤って車線を越えてきて正面衝突した。	30199	17	1～9
2004	9	3	～	4	高速道を走行していたトラックに被災者が運転していたトラックが追突し、被災者は運転席に挟まれ脱出できなくなった。このため追突されたトラックの運転手が発炎筒をたいて待機していたところ、その後、後方から走ってきた別のトラックが、被災者が閉じこめられたトラックに追突した。	40301	17	30～ 49
2004	2	10	～	11	国道舗装修繕工事に伴い、交差点の中央分離帯付近で歩行者の誘導を行っていたところ、4 t トラックが信号待ちをしていた車に追突し、中央分離帯に乗り上げ、さらに被災者をはねた。	170201	17	100 ～ 299
2004	7	12	～	13	自動車販売会社の建屋改修工事において、足場組立業者の手元作業をしていたところ、バランスを崩して2階屋根から約8m墜落した。	40301	17	10～ 29
2004	6	6	～		4 t トラックを運転中、対向車線を走っていたトラックがセンターライ	40301	17	10～

		7	ンをオーバーして正面衝突した。			29
2004	4	9 ～ 10	タンクローリーを運転中、右折しようとしたトラックと接触し、タンクローリーが横転した。	40302	17	10～ 29
2004	12	5 ～ 6	トラックで高速道路を走行中、カーブを直進し道路左側側壁に衝突、車外に投げ出された。	40301	17	10～ 29
2004	9	15 ～ 16	11 tトラックにて走行中、前方で赤信号のため停車していた10 t ダンプカーに追突した。	40302	17	10～ 29
2004	8	0 ～ 1	4tトラックで走行中、交差点で運転操作を誤り、中央分離帯（高さ約20cm、幅約2m）を乗り越え、反対車線の大型貨物自動車に接触、運転手が車外に放り出された。	30199	17	1～9
2004	6	4 ～ 5	普通貨物自動車で荷物を配送中、交差点において、赤信号で停車中の大型10 tトラックに追突した。	40302	17	10～ 29
2004	12	12 ～ 13	国道を走行していた大型トラックが、対向車線にはみ出し、走行中の被災者が運転する大型トラックと正面衝突した。	40301	17	1～9
2004	2	0 ～ 1	駐車場において、被災者と同僚の2名で、ゴミ収集車のテールゲートを開け、ゴミを取り除く作業を行っていたが、作業終了後、同僚がテールゲートを閉める際、テールゲートと車体の間に挟まれた。	150109	7	10～ 29
2004	6	1 ～ 2	高速自動車道を大型トラックで運行中、料金所手前1kmの地点で前方の4 tトラックが減速したことに気付かず追突し、さらに道路側壁に衝突した。	40301	17	30～ 49
2004	10	16	配達途中、道路上においてトラックにはねられた。	40309	17	10～

		17						29
2004	5	11 ～ 12	高速道路料金所において徒歩でブース間を移動中、ETC用レーンに進入してきた車両に接触した。	170209	17			100 ～ 299
2004	3	10 ～ 11	河川巡視業務を終え、横断歩道を自転車で渡ろうとしたところ、走行中の2 tトラックにはねられた。	30199	17			1～9
2004	2	10 ～ 11	10 tトラックの修理作業中、車両後部のフデ塗りを行っている時に、他の作業者がそのトラックを移動する準備として、ブレーキ用のコンプレッサーにエアを溜めるためエンジンをかけたところ、ギアがバックに入っており、10 tトラックがバックして被災者が金属製の棚との間に挟まれた。	11701	7			1～9
2004	3	14 ～ 15	工具を買いに行くため、青信号になった交差点に自転車で進入したところ、左折してきた大型トラックに巻き込まれた。	11701	17			1～9
2004	3	8 ～ 9	構内において荷物配達先までの道順を同僚の運転手に教示してもらうため、前後約2mの車間を空けて停めた2台のトラックの間に地図を広げて、後車の運転手に道順を聞いた。話を終えて車に戻った後車の運転手が、別れた後も同じ場所にしゃがんで地図を広げていた被災者に気づかず、右にハンドルを切ってトラックを発進させたところ、前車の運転手である被災者はトラックに巻き込まれてひかれた。	40301	7			100 ～ 299
2004	8	4 ～ 5	高速自動車道で、路側帯にタクシーを止め、パンクを修理中、後方から来たトラックにはねられた。	40201	17			50～ 99
2004	7	13 ～ 14	交差点において、被災者運転のバイクが直進中、右折してきた大型トラックと接触した。	90101	17			10～ 29

2004	12	18 ～ 19	スーパー駐車場の誘導係を行っていた被災者が、当該駐車場から出庫していき車を国道上で誘導していたところ、走行してきた軽自動車にはねられた。	170201	17	30～ 49
2004	3	9 ～ 10	4tダンプトラックで国道を走行中、対向車線で追突事故を起こし、車線を越えてきた大型貨物自動車と正面衝突した。	40302	17	1～9
2004	11	6 ～ 7	自動販売機で飲み物を購入するため、駐車スペースにトラックを駐車し、道路の反対側に渡るため横断歩道を歩行中、走行してきた大型トラックにはねられ、さらに後続のキャリアカーにもひかれた。	50101	6	30～ 49
2004	6	23 ～ 24	国道管渠（下水道）築造工事現場において、交通整理業務を行っていた被災者が、工事現場内から掘削土砂を積み、仮置場に向かうため国道に出ようとした4tダンプトラックにひかれた。	170201	7	10～ 29
2004	12	15 ～ 16	建設現場で使用した足場をトラック（1.5 t 積み）に積み帰社する途中、トラックなど4台が衝突する事故に、トラックの運転をしていた被災者が巻き込まれた。	30201	17	10～ 29
2004	3	11 ～ 12	原付バイクで停車していたところ、後方より大型トラックに追突された。	90101	17	10～ 29
2004	2	8 ～ 9	高速道路のトンネル内で、前方の事故で停車していた車列最後尾の大型貨物自動車（10 t トラック）に、被災者の運転する普通貨物自動車（4 t トラック）が追突した。	40301	17	10～ 29
2004	10	5 ～ 6	国道上で、交通規制の誘導中、走行中の大型トレーラーにはねられた。	170201	17	30～ 49
2004	4	3 ～ 4	国道を普通トラックにて走行中、前方の信号待ちで停止中の大型トラックに追突した。	40301	17	10～ 29

2004	11	2 ～ 3	国道を走行中、交差点で信号待ちをしていた大型トレーラー後部に、 追突した。	40301	17	10～ 29
2004	6	13 ～ 14	台風接近に伴い、現場の状況確認を行うため、被災者が会社の軽ト ラックを運転し、現場に向かう途中、国道に設置された車両感知器柱 に衝突後、横転した。	30202	17	1～9
2004	11	18 ～ 19	国道バイパスで10t大型トラックで走行、15t大型トラックと正面衝突 した。	40301	17	10～ 29
2004	9	9 ～ 10	店舗解体工事において使用する資材等を調達するため、4トントラック を運転し、構内を走行中、敷地境界に設けられた幅3.6mの非舗装直線 道から敷地外左側の高さ3.7m下の雑草地にトラックとともに転落し た。	30201	1	1～9
2004	5	9 ～ 10	4トントラックで国道を走行中、左カーブを曲がりきれず右側の約4m 下の山林に転落した。	40301	17	30～ 49
2004	11	8 ～ 9	スクリー車（10tトラック）の荷台の上で、建屋に固定されたサイロ からパーライト（粉状の鉱物）をスクリー車の荷台へ移送するた め、シュート（サイロ下部と荷台上の投入口を連結する袋状のもの） を取り付ける作業を行っていたところ、墜落した。	40301	1	1～9
2004	6	3 ～ 4	4tトラックに荷物を積んで、国道を走行中、信号待ちで停車中の大型 ダンプ（10t）に被災者の運転する4tトラックが追突した。	40301	17	1～9
2004	4	0 ～ 1	タンクローリーで国道を走行中、対向車線より7tトラックが中央分離 帯を飛び越え、被災者の運転するタンクローリーに衝突した。	40302	17	100 ～ 299
		5	荷を積込んだ10 t トラックを運転中、橋の手前から左へ車道を外れ、			100

2004	2	～ 6	ガードレールを倒し、そのまま直進し、約5m下の川へ墜落した。	40301	17	～ 299
2004	12	12 ～ 13	国道で大型トラックを運転していたところ対向車線をはみだし、前方から来た大型トラックと正面衝突した。	40309	17	10～ 29
2004	10	10 ～ 11	物置として使用している高さ（最高）3.5mの1階スレート葺き建屋の解体作業において、トラック荷台に乗って、屋根スレートを1枚ずつ引き落とそうとして墜落した。	30209	1	1～9
2004	2	11 ～ 12	工事現場で掘削した土をダンプカーに載せて4kmほど離れた残土置き場に運搬・処理していた被災者が、残土置き場内でダンプカーの荷台と車体フレームとの間に挟まれた。	30107	7	10～ 29
2004	6	5 ～ 6	国道を運転中、左カーブを曲がりきれず、センターラインをオーバーして反対車線に出てしまい、対向車と衝突した。	40301	17	1～9
2004	11	0 ～ 1	高速道路で、工事による渋滞で停車中のトレーラーに被災者運転の4t車が追突し、更に後続の乗用車に追突された。	80204	17	30～ 49
2004	6	13 ～ 14	トラックで国道を走行中、反対車線を走行していたダンプ車がスリップし、センターラインを越えて飛び込んできたため、よけきれず、当該ダンプ車に激突した。	40301	17	10～ 29
2004	5	2 ～ 3	国道を走行中、信号待ちで停車中の車両に追突した。	40301	17	1～9
2004	12	5 ～ 6	2tトラックで交差点に進入したところ、右側交差路から進入してきたライトバンに衝突され左側交差路のガードレールにトラックが激突し、その衝撃で被災者が車外に投げ出された。	40301	17	50～ 99
		11	車両修理のため2 t ダンプトラックの下に入り仰向けの姿勢でドライブ			30～



2004	12	～	シャフトを外していたところ、車両が自然に下り坂を下がったため右	11701	7	49
	12		後輪でひかれた。			
2004	2	2	トラックで高速道を走行中、前方を走行中の大型トレーラーの後部に	40301	17	10～
		～	追突した。			29
		3				
2004	4	10	保険業務で自転車乗車中、左折するトラックに巻き込まれた。	90103	17	100
		～				～
		11				299
2004	6	13	トラックの確認作業を行うために、車道に立っていたところ、走行し	30105	17	100
		～	てきたトラックに接触された。			～
		14				299
2004	8	15	トラックで国道を走行中、渋滞で前方に止まっていた競走馬輸送ト	30209	17	10～
		～	ラックに追突した。			29
		16				
2004	8	4	トラックで国道を走行中、前方を走行していたトレーラーに追突、積	40301	17	50～
		～	荷のコイルが運転席後部まで荷ずれを起こし、運転席にいた被災者が			99
		5	挟まれた。			
2004	8	11	トラックで走行中、国道の分離帯が途切れているところで右折のため	40301	17	10～
		～	停車していた他のトラックに追突した。			29
		12				
2004	6	15	共同車庫（トレーラ置場）敷地内で、トラクタとトレーラを連結する	40301	7	30～
		～	作業をしていた被災者が、連結した際にランディングギアを巻き上げ			49
		16	ていたところ、当該車両（トラクタ、トレーラとも）のブレーキが			
			しっかり掛かっておらず、また敷地が若干傾斜していたため、車両が			
			動き出し、あわててその車両を止めようとしたときに、トラクタの左			
			側タイヤに巻き込まれひかれた。			
		4	国道の交差点で、信号待ちのトラック2台の後方から被災者が乗った別			

2004	5	5	のトラック1台が追突し、計3台の玉突き衝突となったもの。	40301	17	1～9
2004	2	5 ～ 6	国道修繕工事の車線規制準備作業中に規制用のバリケードの配置確認作業のための作業車にひかれた。	170201	6	100 ～ 299
2004	2	12 ～ 13	トラックへの鉢物台車の積込み作業においてトラックに装着されたりフトに鉢物台車とともに乗り上昇させたところ、台車上の鉢物が倒れた。これを直そうとリフト上を移動した際にリフトより転落した。	80109	1	50～ 99
2004	10	15 ～ 16	県道を軽トラックで走行中、対向車線に飛び出し、対向車線を走行中の大型トラックと正面衝突した。	10104	17	10～ 29
2004	1	10 ～ 11	トラックの荷台のシートをはずしている際、足を引っ掛けて転落した。	40301	1	1～9
2004	5	13 ～ 14	採石場において、採取し破碎された土石を積載した10 t ダンプトラックを運転し、構内の中腹にある土石選別プラントに運ぶため、山道を下っていたところ、運転操作を誤り、ダンプトラックが山腹に突っ込み横転し、そのはずみで被災者は車外に投げ出された。	20201	3	10～ 29
2004	4	23 ～ 24	トラックを運転し、高速道路を走行中、トンネル入口のトンネル側面に衝突した。	40301	17	50～ 99
2004	5	6 ～ 7	大麦を積載した大型トレーラー（30 t）を運転し、国道を走行中、下りのカーブで横転した。	40301	17	30～ 49
2004	2	11 ～ 12	片側2車線で上り線が緩い下り坂の右カーブのにおいて、被災者がトラックを運転していたところ、対向車線を走行していたトレーラーが中央分離帯を乗り越え被災者のトラックに正面衝突した。	40301	17	30～ 49

2004	10	13 ～ 14	トラックを運転中、渋滞で停止していた前のトラックに追突した。	40301	17	1～9
2004	8	4 ～ 5	トラックで国道を走行中、前に止まっていたトラックに追突した。	40301	17	10～ 29
2004	1	3 ～ 4	トラックを運転し国道を走行中、前方を走っていたトラックが急停車したため後続の車が次々に巻き込まれ衝突し、そのうちの1台に追突した。	40301	17	100 ～ 299
2004	7	7 ～ 8	トラックで高速道を走行中、自動車道対向車線に飛び出し、対面から走行してきた乗用車と正面衝突した。	30201	17	10～ 29
2004	7	7 ～ 8	トラックで高速道を走行中、自動車道対向車線に飛び出し、対面から走行してきた乗用車と正面衝突した。	30201	17	10～ 29
2004	9	7 ～ 8	高速道のガードレール脇で規制作業の準備を行っていたところ、走行してきた一般車のトラックが被災者に激突した。	170209	17	1～9
2004	7	5 ～ 6	軽自動車で国道を走行中、方向指示器を点滅させて右折待ちをしていたところに、後方からきた8 t トラックに追突され、対向車線に押し出された。その時、対向車線を直進してきたトラックと正面衝突した。	80205	17	10～ 29
2004	8	14 ～ 15	ダンプカーで国道を走行中、前方で右折するため停車中のトラックに追突した。	30199	17	10～ 29
2004	4	17 ～	アスファルトフィニッシャーの運搬作業中、舗装工事現場近くの下り坂に停車したトラックにアスファルトフィニッシャーを積み込み、トラック横で積荷の確認作業中にトラックが動き出し、被災者がトラッ	40309	7	10～ 29

		18	クの横を追いかけて走っているときにトラックの後輪に巻き込まれた。			
2004	3	3 ～ 4	トラックで国道を走行中に、チェーン装着のために国道上に停車していた別のトラック後部に追突した。	40301	17	1～9
2004	9	14 ～ 15	貨物トラックを運転中、高速道路分離帯に衝突し乗っていた車両が炎上した。	11301	17	100 ～ 299
2004	1	16 ～ 17	配達のためトラックで県道を走行中、被災者の運転する車がセンターラインを越えて反対車線側に進入し対向車線を走行中の大型ダンプ車に正面衝突した。	40301	17	10～ 29
2004	1	0 ～ 1	コンテナ着脱装置付トラック修理後の試運転中、被災者は、燃料タンクとサイドバンパーの間に立ち、オイルポンプの音を上から聞いていたところ、下降してきたミドルフレームについているチルトセンサーに挟まれた。	11502	7	1～9
2004	8	2 ～ 3	4 t 車で高速道を走行中、前方を走行中のトレーラーに追突した。	40303	17	1～9
2004	9	14 ～ 15	3 t 冷凍冷蔵車を運転中、下り坂左カーブで、横転、右ガードレールに激突した。	40301	17	50～ 99
2004	10	20 ～ 21	乗用車で高速自動車道上り線を走行中、雨のためスリップして中央分離帯に衝突して180度反転して止まった。被災者らは、車外に出て後続車に事故発生を知らせるために本線上に立っていたところ、後続車の大型トラックにはねられた。	30301	17	30～ 49
2004	8	5 ～	トラックで高速自動車道のトンネル内の走行車線を走行中、前方を走っていた大型トラックに追突しそうになったため、追突を避けるた	40301	17	1～9

		6	め、右にハンドルを切ったが避け切れず、大型トラックの右後方に追突し、さらに右側壁に衝突し、はずみでトラックが横転した。			
2004	12	7 ～ 8	送迎バスに乗車するため駐車場に向かっていた被災者が、給食の配送を終え、給食棟にバック走行していた配膳車に激突された。	130201	6	100 ～ 299
2004	11	23 ～ 24	トラックを運転し国道を走行していたところ、対向車がセンターラインを越え激突した。	40301	17	30～ 49
2004	6	10 ～ 11	コンクリートミキサー車を運転して、県道を走行していたところ、県道と国道とが交差するT字路に進入する際、停車することなく正面の民家の石垣に衝突し、その弾みで外れた生コンクリートタンクが運転席後部を直撃し被災した。	10901	17	30～ 49
2004	3	0 ～ 1	木造2階建てアパートの解体工事現場において、解体した廃材を10tダンプトラックの荷台に積み込み、積み込んだ廃材が運搬中飛散しないようネット掛け作業を行っていたところ荷台から墜落した。	30202	1	1～9
2004	9	9 ～ 10	町道において、対向車線のトラックが雨のためスリップし、センターラインをはみ出して来て、被災者の運転するトラックと正面衝突した。	40301	17	10～ 29
2004	3	11 ～ 12	合材プラントのホッパー内部で、ホッパーを振動させるバイブレーターの取付けボルトの締め付け作業を行っていた際、碎石運搬業者のダンプから誤って碎石が投入されたため被災した。	10804	4	10～ 29
2004	11	7 ～ 8	工場入口に、ミキサー車を停止して車から離れ、資材を持ってミキサー車に戻ったところ、停止してあったはずのミキサー車が無人のまま動き出したので、ミキサー車の前に立ち自力で止めようとしたてミキサー車の下敷きになった。	10901	7	10～ 29
2004	3	22 ～	10tトラックで国道を走行していた際、道路工事による片側交互通行のため停止中の乗用車に追突した。	40301	17	50～ 99

		23			
2004	2	0 ～ 1	車庫内において、ごみ収集車のタイヤチェーンの状態を点検をしようとしていた作業者が、横に停車していたごみ収集車のエンジンがかかっていたので近づいたところ、ごみ収集車後部の回転するパッカー（圧縮）部分で挟まれた。	150103	7 ～ 299
2004	2	4 ～ 5	タンクローリーで国道を走行中にセンターラインを超え、対向車線の大型トラックに激突した。	40302	17 50～ 99
2004	3	18 ～ 19	個人住宅の庭の造園作業が終了し、8.5tトラックを誘導しようと国道上に出たところ、走行してきた軽貨物トラックにはねられた。	170209	17 1～9
2004	12	10 ～ 11	3 t トラックで高速自動車道を走行中、中央分離帯に衝突した。	30202	17 1～9
2004	4	13 ～ 14	牛乳用タンクローリー（2t）を運転し、集配先に向かって走行中、交差点で左折しようとした時、後方から走行してきたトラック（10t）に追突され横転し、信号機柱に激突した。	10101	17 50～ 99
2004	6	4 ～ 5	4tトラックに乗り荷物の運搬作業中、交差点で、赤信号で停車していた8tトラックに追突した。	40301	17 30～ 49
2004	12	22 ～ 23	10 t 積大型トラックを運転し、高速自動車道を走行していたところ、同じ走行車線の前方を走行していた大型トレーラーに気付いたが発見が遅れ、追い越し車線に車線変更をしたが避けきれず追突し、反動により中央分離帯のガードレールに衝突横転した。	40301	17 100 ～ 299
2004	9	4 ～ 5	会社の商用車を運転して商品配送中、他車との接触により物損の交通事故に遭ったため、車を反対車線路側帯に停車させ、道路を横断し公衆トイレに立ち寄り用を足した後、自車に戻るため、横断歩道付近の	80209	17 1～9

			道路を横断中、左方より直進してきた2 t 貨物自動車にはねられた。			
2004	2	4 ～ 5	積載量約14 t の貨物自動車に紙製品を積み、国道を走行中、対向車線のタンクローリー車がセンターラインを超え、被災者の運転する貨物自動車に正面衝突した。	40301	17	30～ 49
2004	10	5 ～ 6	対向の上り線で15tトラックが落下タイヤに乗り上げ中央分離帯に衝突する事故が起こり、積荷固定ワイヤロープが切れ、積荷である石油タンク外壁鉄材（長さ6m幅3m重さ6.5t）が下り線へ落下した。直後に下り線を走ってきた被災者の4tトラックはこれに衝突し、全焼した。	40301	17	10～ 29
2004	5	18 ～ 19	4 t トラックで国道を走行中、緩い左カーブのセンターラインをはみ出したため、対向する10 t トラックに衝突した。	40301	17	50～ 99
2004	3	13 ～ 14	工事現場に7t車で鉄板型枠を搬送してきた被災者が、荷降場所近くの下り勾配の路上に停車し、運転席から降りたところ車が動き始めたため、車前で押しとめようとしたが、そのまま下敷きとなった。	40301	7	10～ 29
2004	6	1 ～ 2	トラックで国道を走行中、信号停車中の25 t 大型保冷車の後部に追突した。	40301	17	1～9
2004	12	10 ～ 11	高速道の法面（のりめん）にて草刈作業の片付け（集草・積込）作業をしていたところ、集めた草と共に法面（のりめん）から道路上へ滑り落ち、落ちた際に積み込みのため移動中であった4tゴミ収集車にひかれた。	60101	17	10～ 29
2004	3	1 ～ 2	高速道路上で、トラックを運転中、工事渋滞中の車列最後尾の乗用車に追突した。	170209	17	1～9
2004	3	1 ～ 2	高速道路上で、トラックを運転中、工事渋滞中の車列最後尾の乗用車に追突した。	170209	17	1～9

2004	11	12 ～ 13	自動車道の本線への進入のループにおいて、減速不十分のため運転中のコンテナ車が横転し、ガードレールのポールに激突した。	40301	17	30～ 49
2004	11	18 ～ 19	国道を走行中、反対車線を走行してきたトラックが追越のため車線をはみ出してきたため正面衝突した。	40301	17	10～ 29
2004	9	18 ～ 19	シャーシ置き場においてシャーシを縦に並べて駐車させる作業中、他の労働者が、トレーラーを後退させたところ、地上にいた被災者が、トレーラー後部とシャーシの間に挟まれた。	40301	7	30～ 49
2004	2	2 ～ 3	道路整備工事の夜間作業所内において、作業エリア外を横断中、一般通行車両（大型タンクローリー）にはねられた。	30106	17	50～ 99
2004	5	5 ～ 6	バイクでの朝刊配達を終えて帰店途中にトラックと衝突した。	80205	17	10～ 29
2004	2	3 ～ 4	2tトラックで走行中、自動車道入口付近にて走行車線前方が工事のため通行止めになっていたため右側の車線に変更しようとしたところ、右側車線後方より走行してきた4tトラックに追突され、停車していた工事中トラックに激突した。	40301	17	50～ 99
2004	12	14 ～ 15	倉庫から搬出されたコーヒー豆の袋（重さ60kg）合計267袋を、20 tシャーシの荷台へ順次積み込む作業をしていたときに、シャーシ荷台のあおりを乗り越えて、約2m下の地上へ墜落した。	40301	1	30～ 49
2004	11	4 ～ 5	高速道路の本線上でカラーコーンの撤収作業に従事していたところ、背後から時速80kmで規制帯域に進入してきた13 tトラックに激突された。	150101	17	1～9
2004	5	8 ～	追い越し車線を走行中、中央分離帯を越えて、対向車線の相手車両（3tトラック）が進入、先行車両に衝突した後、被災者運転のタク	40201	17	300 ～



		9	シーに衝突した。			499
2004	12	7 ～ 8	荷物をトラックの荷台に積み込む作業中、被災者がトラック後部荷台の扉を開け立っていたところ、同僚の運転手が被災者の位置を確認することなくトラックを後退させたためトラック後部と建物（ドッグシェルター）との間に挟まれた。	40301	7	50～ 99
2004	1	10 ～ 11	営業活動中、反対側の歩道へ渡るため、片側3車線の道路で渋滞している車の間をすり抜けようとして、走行してきた軽トラックにはねられた。	170209	17	30～ 49
2004	10	15 ～ 16	トレーラーを運転中、トレーラーの左横を走行していた2tトラックと接触し、そのはずみでガードレールに衝突した際、運転席から投げ出された。	40301	17	30～ 49
2004	5	16 ～ 17	業務終了後、自転車で事務所へ帰社途中、交差点で右折のため発進したトレーラーに接触した。	170209	17	50～ 99
2004	2	7 ～ 8	トラックへの荷積み作業中に、後退してきた車両とプラットホームに挟まれた。	40301	7	50～ 99
2004	12	3 ～ 4	トラックの、荷降ろしのため車外で準備中、突然車体が前進し始めたため、被災者はこれを止めようと両手で押さえたが止まらず、同車の前に停車していた別のトラックとの間に挟まれた。	40309	7	1～9
2004	8	10 ～ 11	輸入原木（約36t）をトレーラーに積み国道を走行中、緩やかな下りカーブを曲がり切れずにガードレールや建物に衝突しながら数m蛇行し横転、被災者が車外に投げ出されところに積荷の原木が落下した。	40301	17	1～9
2004	3	5 ～ 6	トラックで高速道路を運転し、サービスエリアに入ろうと入口から2車線ある進入路右車線を進行中、駐停禁止の進入路右側に仮眠のため停車中のトレーラー（ハザードランプ点灯ナシ）の左後部に追突し、運転席に挟まれた。	40302	17	30～ 49

2004	1	7 ～ 8	建設現場での測量作業のため社用車に乗り合って現場へ向かう途中、 交差点で右折信号に従い右折しようとしたところ、信号を無視して交 差点に進入してきた直進対向車に左側面から衝突された。	170209	17	10～ 29
2004	12	7 ～ 8	予防治山工事において、ドラグ・ショベルを用いて抜根を2.5 t 貨物自 動車に積み込む作業中、被災者が当該貨物自動車を止め、運転席から 降りたところ、貨物自動車が急に動き出したことから、それを止める ため、被災者が貨物自動車の荷台に取り付けられた昇降設備をつかん だものの、停止せず、そのまま被災者はバランスを崩し、右後輪にひ かれ死亡した。	30199	6	30～ 49
2004	12	15 ～ 16	車両積載形トラッククレーンの荷台に積載された玉切された杉の上か ら、バランスを崩し、約2m下の地面に墜落した。	60201	1	10～ 29
2004	10	13 ～ 14	道路の清掃作業で、国道上に落ちていた落下物を回収するため、パト ロールカーを停車させ後部のハッチドアを開け片付けの準備を始めた ところ、後方から来た大型トラックに追突された。	30106	17	30～ 49
2004	12	6 ～ 7	大型トラック（積載荷重10t）で高速道路を走行中、走行車線に停車し た別のトラックに追突した。	40301	17	50～ 99
2004	7	6 ～ 7	軽貨物自動車を運転して配送先に向かう途中、交差点左側から来た自 動車と衝突した。	40303	17	1～9
2004	9	11 ～ 12	公園造成工事現場の木製杭の回収作業中、トラックの荷台から balan スを崩し転落した。	30109	1	1～9
2004	1	14 ～ 15	ダンボールを積載したパッカー車が、荷下ろし場所へ向かって、バッ クで進入した際に後輪で近くで作業していた被災者をひいた。	80109	7	1～9

2004	6	11 ～ 12	歩道舗装工事において、ダンプトラック（4t）の荷台からアスファルト合材を降ろす作業後、ダンプトラックを少し前進させたところ、バ ランスを崩した被災者がトラックから後向きで地上に墜落した。	30106	1	1～9
2004	7	9 ～ 10	建物の外溝工事において、ダンプトラックを運転して土砂を現場へ運 び入れ、所定の場所へバックで進入していたところ、そこで待機して いた被災者が、ダンプトラックと建物の間に挟まれた。	30199	7	30～ 49
2004	6	6 ～ 7	大型トラックで高速自動車道の本線から料金所へ向かう途中のスロー プにおいて、スピードを超過していたためカーブを曲がり切れず防音 壁に衝突した。	40301	17	10～ 29
2004	5	4 ～ 5	トラックで高速道路を走行中、工事渋滞による車列の最後尾の大型ト ラックに追突した。	40301	17	30～ 49
2004	11	2 ～ 3	単独事故を発生させたトラッククレーンをレッカー移動するため、同 僚が行っていたジャッキの位置決め作業を近くで見っていたところ、傾 いていた同クレーンの荷台のあおりが突然開き、あおり部に溜まって いた積荷のガードレール資材が被災者に落下・激突した。	40302	4	1～9
2004	9	18 ～ 19	小型トラックで高速自動車道を走行中、中央分離帯に接触し、横転し た。	80201	17	10～ 29
2004	7	6 ～ 7	雨中の国道をダンプで走行中、車線変更したところスリップしたので 慌ててハンドルを切り返したところ、そのまま中央分離帯を乗り越え て対向車と衝突した。	30209	17	1～9
2004	4	4 ～ 5	バイクで新聞配達中、後ろから来た大型トレーラーに衝突された。	80205	17	10～ 29
2004	2	1 ～	トラックで国道を走行中、凍結した車道に停車中のトラックに追突し た。	40301	17	10～ 29

		2				
2004	12	4 ～ 5	国道をトラックで走行中、路肩にトラックを停車し、車外に出ていたところ、後方より走行してきたトレーラーに追突された。	40301	17	100 ～ 299
2004	11	10 ～ 11	ゴミ集積所内において作業中、停車していたゴミ収集車が緩い下り坂で後ろに動き出し、車とゴミ集積所の柵との間に挟まれた。	150102	6	10～ 29
2004	6	3 ～ 4	トラックで国道を走行中、赤信号のため停車中の大型貨物自動車に追突した。	40301	17	50～ 99
2004	8	12 ～ 13	4 t トラックで国道を走行中、バイクを追い越し走行車線に戻ったところ、ガソリンスタンドへ入るために停車していたトラックの後部に追突した。	40301	17	30～ 49
2004	4	5 ～ 6	大型トレーラーにて高速自動車道を走行中、燃料切れおよびエンジントラブルのため、路肩に停車し三角表示板を立てて車両左前部分で修理していたところ、後ろから走ってきた大型トラックがトレーラに衝突し被災した。	40301	6	30～ 49
2004	1	9 ～ 10	交差点において、赤信号で停止中の大型トラックに、被災者の運転するトラックが後ろから追突し、衝撃により運転席がつぶれた。	40301	17	10～ 29
2004	3	13 ～ 14	車体重量32 t の鉱山用ダンプの修理作業で、車体下にもぐり修理をしていたところ、動いたダンプ右後輪にひかれた。	11702	7	10～ 29
2004	5	16 ～ 17	土地の片付け作業で杭をトラックの荷台に乗せるため、トラックを杭の近くまで移動させようとバックしたところ、トラックの死角となった杭の近くにおいて何らかの作業を行っていたと思われる被災者に激突した。	90102	6	1～9

2004	12	5 ～ 6	2t保冷車で国道を走行中、対向車線を走行していたトラックが車線をはみ出し、保冷車と正面衝突した。	80101	17	1～9
2004	9	5 ～ 6	大型車で国道を走行中、交差点にて、赤信号で停止中の別の大型車に追突した。	40301	17	10～ 29
2004	11	3 ～ 4	13 t トラックを運転中、時速35kmで前方を走行していた大型トレーラーに激突した。	40301	17	50～ 99
2004	2	14 ～ 15	資源ごみ回収中、次のゴミステーションまで収集車の後部荷室内に被災者を乗せドアを開けたまま時速約15kmで走行していた。30m程走行したところで右カーブに差し掛かり曲がった際にパリンという硝子の割れる音がしたため、運転者が車を停車し荷室を見るとビンの入ったカゴと一緒に転落している被災者を発見した。	150109	1	100 ～ 299
2004	10	5 ～ 6	作業を終え普通トラックに6人が乗り高速自動車道を走行中、大型トラックを追い越そうとして接触し、追い越し車線に飛び出して停車した。このとき運転者がトラックの車内に閉じ込められたため、助けようとしていたところに、後続の2台の大型トラックが突っ込んだ。	30104	17	1～9
2004	10	5 ～ 6	作業を終え普通トラックに6人が乗り高速自動車道を走行中、大型トラックを追い越そうとして接触し、追い越し車線に飛び出して停車した。このとき運転者がトラックの車内に閉じ込められたため、助けようとしていたところに、後続の2台の大型トラックが突っ込んだ。	30104	17	1～9
2004	10	5 ～ 6	作業を終え普通トラックに6人が乗り高速自動車道を走行中、大型トラックを追い越そうとして接触し、追い越し車線に飛び出して停車した。このとき運転者がトラックの車内に閉じ込められたため、助けようとしていたところに、後続の2台の大型トラックが突っ込んだ。	30104	17	1～9
2004	5	10 ～	トラックで県道を走行中、道路左側の歩道縁石に乗り上げ、田んぼに	40301	17	30～

		11	横転し電柱に激突した。			49
2004	2	8 ～ 9	町道のガス配管工事において、片側車線の間付近で交通整理を行っていた警備員が、入り口の警備員の誘導で走行してきた4 tトラックにひかれた。	170201	17	100 ～ 299
2004	10	0 ～ 1	3tトラックで片側一車線の道路を走行中、センターラインを越え対向車のトラックと衝突した。	40301	17	1～9
2004	4	5 ～ 6	バイクで朝刊を配達中、狭い道路より一般道路へ出たところ、右側から来たトラックと衝突し、20～30m引きずられた。	80205	17	100 ～ 299
2004	1	5 ～ 6	4 tトラックを運転中、燃料切れにより交差点の手前で停車したため、トラックから降りてキャビンを上げて助手席側でエア抜き作業を行っていたところ、後方から走行してきたバスがトラックの後部に追突したため被災した。	40301	17	1～9
2004	11	1 ～ 2	国道を走行中、前方の交差点に停車していた大型トレーラーに追突した。	40301	17	10～ 29
2004	10	2 ～ 3	店舗前の道路上に止めた車両運搬車の荷台部分で積み込み準備の作業を始めたところ、車両運搬車後方から走行して来た粉体運搬車に追突された。	40301	17	50～ 99
2004	8	5 ～ 6	新聞配達中、配達先の敷地から出たときに、左方から来たダンプカーと衝突した。	80205	17	50～ 99
2004	2	15 ～ 16	大型トレーラーに鉄骨材を積載して走行中、右折のため停車していた乗用車に気づきブレーキをかけたところ、荷台に積んでいた鉄骨材4本（長さ10m、幅90cm、高さ30cm、重量21 t）が前に滑り運転席を直撃した。	40301	17	1～9

2004	6	22 ～ 23	高速自動車道を走行中、車線中央に停車中の大型ダンプに追突した。	40301	17	10～ 29
2004	7	2 ～ 3	4 t 保冷車が走行中、中央分離帯に乗り上げた後、ガードフェンスの支柱に衝突した。このため、運転席後部の寝台で仮眠していた被災者が車外へ投げ出された。	40301	17	1～9
2004	3	3 ～ 4	トラックで走行中、対向車線にはみ出し対向車の右側面に衝突した。	40301	17	30～ 49
2004	11	9 ～ 10	高速道路舗装工事現場内で、交通誘導作業中、工事現場内をバックで進行して来たダンプトラックにひかれた。	170201	6	30～ 49
2004	6	14 ～ 15	林道の用水路付け替え作業において、側溝敷設後、タンパーでの埋め戻し材の締め固め作業中、碎石を積んで後進してきた4 t ダンプトラックに激突され、タンパーとダンプトラックの左後輪の間に挟まれた。	30107	7	10～ 29
2004	2	1 ～ 2	高速道を大型トラックで走行中、本線車線とインターチェンジに向かう減速車線との分岐点で両道路を分けるガードレールに衝突した。	40301	17	30～ 49
2004	10	8 ～ 9	大型トレーラーから荷降ろしするため荷台に上り、シートを外す作業中、バランスを崩し墜落した。	40301	1	10～ 29
2004	10	3 ～ 4	普通貨物自動車で国道上を走行中、信号待ちしていた大型貨物自動車に追突した。	40301	17	10～ 29
2004	5	10 ～ 11	20tトレーラーを運転中、スピードの出し過ぎの為、カーブを曲がりきれずトレーラーが横転し、運転していた被災者が下敷きになった。	40301	17	10～ 29

2004	6	2 ～ 3	高速自動車道を走行中、別のトラックとタクシーが接触事故を起こして、停車しているところに、追突した。	40301	17	10～ 29
2004	8	4 ～ 5	町道を大型トラックで走行中、センターラインを越えて対向車線側の電柱に衝突した。	40301	17	30～ 49
2004	6	7 ～ 8	バイクの積み込み作業中、トラックのパワーゲートの調子が悪いため、最上部で動かなくなったゲートにぶらさがったところ、突然ゲートが落下し、落下したゲートとトラック荷台の縁に挟まれた。	40301	7	50～ 99
2004	5	12 ～ 13	トラックで高速自動車道を走行していたところ、道路左側のガードレールとフェンスを突き破って約10m下の町道に転落した。	40301	17	1～9
2004	4	8 ～ 9	一般ごみ収集用トラック（2t）で走行中、荷台に乗っていた作業者が転落した。	150103	1	10～ 29
2004	4	2 ～ 3	高速自動車道をトレーラーで走行中、前方で多重衝突事故があり、これらの車両との衝突を避けようと、左ハンドルを切ったところ、ガイドロープを突き破り、約4m下の雑木林に転落した。	40301	17	300 ～ 499
2004	2	3 ～ 4	高速自動車道において、大型トラックを運転中、前を走っていた大型トレーラーに追突した。	40301	17	30～ 49
2004	7	12 ～ 13	高速自動車道でサービスエリアに入ろうとして減速した車両積載形トラッククレーンに追突した。	40301	17	10～ 29
2004	10	8 ～	車両点検を行うため、15t大型トレーラーのトレーラーをトラクタから切り離す作業を行っていた際、トレーラー部分を支えるジャッキを動力により昇降させるための準備作業を鉄製のクランク型ハンドル（縦	40301	6	50～



		9	40cm×横50cm×太さ3cm重さ約5kg) を使用して手動で行った後、ハンドルを抜かずに動力稼動スイッチを入れたところ、ハンドルが動力により回転し被災者に当たった。			99
2004	4	2 ～ 3	4 tトラックで国道を走行中、左カーブで対向車線にはみ出したため、対向してきた大型トレーラーと正面衝突した。	40301	17	10～ 29
2004	9	16 ～ 17	4tダンプカーに乗り帰宅しようとしたところ、近くに止めていたドラグ・ショベルの運転席ドアが開いていたため、乗っていたダンプカーを止めて、当該ドラグ・ショベルの運転席ドアを締めようとした際、ダンプカーが動き出し手で止めようとしたが、止めきれずダンプカーとドラグ・ショベルの機体の間に挟まれた。	80209	7	1～9
2004	5	12 ～ 13	トラックで高速道を走行していたところ、道路左側のガードレールとフェンスを突き破って約10m下の町道に転落した。	40301	17	10～ 29
2004	11	9 ～ 10	訪問販売のため徒歩で営業活動中、信号機のある交差点の横断歩道を青信号で横断していたところ、右折してきたトラック(2 t) にひかれた。	80209	17	10～ 29
2004	8	18 ～ 19	4 tトラックを運転中、道路の右カーブで左側(助手席側)に横転し、トラックの運転席の屋根部がガードロープの支柱で押し潰され被災した。	80209	17	1～9
2004	6	3 ～ 4	トラックで走行中、道路の中央分離帯に設置された標識に激突横転し、さらに、距離をおいて後ろから来たトラックに衝突された。	40301	17	50～ 99
2004	3	10 ～ 11	建設現場から発生する残土を受け入れる作業場において、入場してくるトラックに廃棄場所を指示し、伝票を受け取る業務を行っていたところ、残土を廃棄し終え、バックしてきたダンプトラックにひかれた。	170209	6	1～9

2004	1	4 ～ 5	トラックで走行中、対向の大型トレーラーが緩い左カーブでセンターラインを越えて飛び出し衝突した。	40301	17	50～ 99
2004	2	7 ～ 8	トラックを運転し、トンネルを走行中、トンネル出口付近でブラックアイスバーンによりスリップして、トンネル側壁に衝突し、更にトンネルを抜けたところにある中央分離帯に激突、横転した。	40301	17	30～ 49
2004	3	10 ～ 11	トラックにおがくずを積込み、荷台にシートを掛けていたところ、トラックの荷台（高さ約3m）から墜落した。	10401	1	10～ 29
2004	11	23 ～ 24	トラックで国道を走行中、上記災害発生場所で対向車線にはみ出して対向車のトラックと正面衝突した。	40301	17	30～ 49
2004	8	7 ～ 8	舗装用材料を積載した大型ダンプトラックを運転中、進行方向左側から交差点に進入してきた積載形トラッククレーン右側面のアウトリガー一部に衝突した。	40301	17	100 ～ 299
2004	8	8 ～ 9	電柱移設工事において、トラックを後退させようとしたところ斜面上に止まっていたトラック（エンジン停止中）が徐々に前方に動きだし、トラック前方に回り込み停止させようとしたが停止させることができず、トラックとその前の建柱車に挟まれた。	30301	7	10～ 29
2004	1	23 ～ 24	フェリーに乗船するため国道を走行中、対向車線を走行してきた大型トラックと正面衝突した。	40301	17	30～ 49
2004	9	8 ～ 9	コンクリートミキサー車を運転中、対向車線をダンプカーが走行してきたため、いったん停止し窓から身を乗り出した状態でバックしたところ、道路幅が3mほど狭くなっている地点にさしかかったときに助手席側の後輪が脱輪し、路肩から転落横転し立木とミキサー車の間に挟まれた。	40301	17	10～ 29

2004	12	20 ～ 21	フォークローダーを使用してトラック上の丸太を荷降ろしし、ローダーを所定の場所に置いたあと、トラックの向きを変えたとき、近くで作業をしていた同僚にトラックがぶつかった。	40301	7	10～ 29
2004	10	14 ～ 15	トレーラーの積載重量を計量するため車両計測器にトレーラーを移動し、計量後トレーラーを前進させハンドルを左に切ったところ、近くにいた被災者がトレーラー荷台後部と建物の外壁との間に挟まれた。	11209	7	10～ 29
2004	2	10 ～ 11	保冷車（最大積載量2t）を運転中、交差点で右折のために停車中の前方のダンプへ後方から追突した。	80209	17	10～ 29
2004	9	7 ～ 8	工事現場に向うため、会社を車両3台で出発した。先頭を走行していた小型貨物自動車は信号待ちのため停止したところへ、2台目を走行していた普通貨物自動車がブレーキを掛けたが間に合わずに衝突し、普通貨物自動車を運転していた被災者が死亡した。	30106	17	10～ 29
2004	7	1 ～ 2	牛乳の運搬を終えて会社に帰る途中の休憩において、国道沿いのドライブインの駐車場にトラックを停車させて下車したところ、トラックが突然自走した。このためトラックを止めるためにトラックの前方に入ったが、そのままトラックの下敷きとなった。	40301	17	50～ 99
2004	5	7 ～ 8	国道でセミトレーラーを運転中、運転を誤り道路の下に転落した。	40301	17	10～ 29
2004	10	1 ～ 2	青果物を市場に運搬するため4tトラックで国道を走行中、交差点で信号待ちのため停車中のトレーラーに追突し、車内に閉じ込められた。	80109	17	1～9
2004	10	9 ～ 10	2t保冷車を運転中、町道の緩い右カーブにおいて道路左側に転落した。	10102	17	10～ 29
		13	集荷作業のため土産物店横の歩道にトラックを駐車し、荷台に積み込			

2004	10	～ 14	み作業中、車両が動き出したため、慌てて運転席に乗り込もうとしたが、間に合わず店舗のコンクリート壁とトラックの荷台との間に挟まれた。	40301	17	1～9
2004	8	～ 2	25tトラック（冷凍車）を運転し、国道を走行中、突然、対向車線にはみ出し、中央分離帯を越えて道路右側のガードレールを突破、側道に飛び出し、車外に放り出されトラックの下敷きとなった。	40301	17	100 ～ 299
2004	3	～ 12	国道を大型トラックで走行中、カーブした登り坂に差し掛かったところ、対向してきた大型トレーラーが道路中央線をオーバーし、これと衝突した。	40301	17	10～ 29
2004	11	～ 24	トラック（4t）に家具を積載し緩やかな右カーブを走行中、反対車線のトラックがセンターラインを超えて来て衝突し、さらに後続のトラックに追突され、車体が炎上した。	40301	17	30～ 49
2004	10	～ 19	トレーラーを運転中、国道の左カーブを曲がりきれずに道路右側へ逸脱横転し、その反動で車外へ放り出され車の下敷きになった。	40301	17	1～9
2004	9	～ 1	単独で野菜を運搬するため、緩い右カーブの道路を大型トレーラーで走行中、道路わきのガードレールに接触後、車両感知器の支柱に衝突し炎上した。現場は緩い右カーブであった。	40301	17	1～9
2004	9	～ 20	トレーラーで農産物を運搬中、カーブを曲がりきれず、5m下の畑に転落して死亡した。	40301	17	10～ 29
2004	2	～ 11	宿泊先のホテルから健診会場に徒歩で向かっていたところ、国道と町道との交差点で、右折したダンプトラックにひかれた。	130109	17	10～ 29
2004	1	～ 24	冷凍車で国道を走行中、他の大型トラックと正面衝突し、双方の車両の運転者が死亡した。	40301	17	10～ 29

2003	12	9 ～ 10	パワーゲート付き4tトラックで荷物を搬入し、パワーゲート上（高さ地上より約106cm）にパレットを置いて荷物を積んでいたときに、脚を踏み外して仰向けに転落した。	40301	1	10～ 29
2003	12	4 ～ 5	10tトラックで国道を走行中、信号待ちで停車しようとしていた前方の大型トレーラーの後部に気付くのが遅れて追突した。	40301	17	10～ 29
2003	12	2 ～ 3	大型トレーラーで国道を走行中、積荷の鉄製ドラム（直径約1.2m、幅約1.6m）1個が路上に落ちたため、通行中の2名に手伝ってもらって排除作業をしていたときに、後続車のトラックが突っ込んできて手伝者1名を含む2名をはねた。	40301	17	10～ 29
2003	12	8 ～ 9	建設解体会社の資材置場で、4tダンプの運転席と鉄柱との間にはさまれた。	30209	7	1～9
2003	12	6 ～ 7	トレーラーで木材を運送し木材店の敷地にトレーラーをバックで入れようとしたところ、トレーラーの左後部車輪が道路脇の路肩からはみ出して脱輪したため、木材を運送してきた荷主がグラップルを操作してトレーラーの荷台から木材を降ろし始めたときに、トレーラーが左に横転し運転手がトレーラーの荷台の下敷きになった。	40301	7	10～ 29
2003	12	10 ～ 11	4tトラックで駐車場から道路に出たときに、右から来た4tトラックと衝突した衝撃で運転席が前方に傾き、フロントガラスが外れたため、路上に投げ出されて自分のトラックにひかれた。	10109	17	50～ 99
2003	12	2 ～ 3	バイクで左車線を走行中、交差点で青信号であったので直進しようとしたときに、対向車の大型トラックが右折したので右に避けたが避けきれずに大型トラックの左側後部に衝突した。	40302	17	100 ～ 299
2003	12	6 ～ 7	高速道路の料金所の13レーンの異常を確認したので、通行券の補充に行こうとしていた同僚と2人で料金所に行って同僚が通行券を補充している間に13レーンの車を11レーンの出口側に誘導し、12レーンを横切ったときにレーンに入ってきたトラックにひかれた。	170209	17	100 ～ 299

2003	12	5 ～ 6	10tトラックに雑貨を積んで自動車道を走行中、路面がぬれて一部凍結した下り車線で発生した玉突き事故に巻き込まれた。	40301	17	10～ 29
2003	12	2 ～ 3	故障車を荷台に積んで固定しているときに、後方より脇見運転の4tトラックが追突してきたため、積み込んだ故障車と4tトラックとの間にはさまれた。	11701	17	30～ 49
2003	12	12 ～ 13	自動車交通事故の処理のため、事故現場の道路上で交通整理中に走行中のトラックにひかれた。	40201	17	50～ 99
2003	12	9 ～ 10	木造住宅建設工事で、基礎工事用の重機を搬入するため道路で重機を載せたトラックの誘導中に、バックしてきたトラックとブロック塀との間にはさまれた。	170201	17	10～ 29
2003	12	16 ～ 17	フォークリフトのパレット上の積荷（PP紐、一束の質量20kg、パレット上の個数30束）を13tトラックの荷台に積み込んでいるときに、荷台より地上（1.42m）に転落した。	40301	1	10～ 29
2003	12	15 ～ 16	2tトラックで葬儀用具を会社に持ち帰るため国道を走行中、ハンドル操作を誤って車両が横転し車内で頭部を強打した。	80409	17	100 ～ 299
2003	12	19 ～ 20	海上コンテナをトレーラーで運ぶ作業で、敷地内の空いてる場所へコンテナを置くためトレーラーと台車を連結するピンを外したときに、トレーラーが動き出したのであわてて運転席に乗り込もうとして運転席ドアと隣にあったコンテナとの間にはさまれた。	40301	7	10～ 29
2003	12	10 ～ 11	ダンプ・トラックで国道を走行中、信号で停止していたダンプ・トラックに追突した。	40301	17	1～9
2003	12	4 ～	国道の舗装作業において、一般車両の誘導警備業務を行っていたときに、猛スピードで交差点を突破してきた2tトラックにはねられた。	170201	17	50～ 99

		5				
2003	12	13 ～ 14	トラックで国道を走行中、交差点で赤信号のため停車していたダンプ・トラックに気づくのが遅れて追突した。	40301	17	30～ 49
2003	12	1 ～ 2	時速100kmの大型トラックで高速自動車道を走行中、前方を時速60kmで走行していたトレーラーに追突した。	40301	17	10～ 29
2003	12	20 ～ 21	トラックに荷を積んで国道を走行中、道路わきの駐車禁止区域に駐車していた2台のトラックに追突しトラックの助手席に乗車していた者が死亡した。	40301	17	100 ～ 299
2003	12	15 ～ 16	駐車場において、コンテナトレーラーのトラックから降車して、トラックヘッド部とコンテナを搭載したシャーシの連結部の取外しを行っていたときに、トラックヘッドのサイドブレーキをかけていなかったため無人のトラックヘッドが動きだしたので、これを停めるためトラックヘッドに飛び乗ろうとして隣に停車していたコンテナとトラックヘッドとの間にはさまれた。	50101	7	1～9
2003	12	10 ～ 11	軽ワゴン車で自動車道を走行中、車線規制のため停車していたところに後方からきたタンクローリー車に追突された。	30302	17	10～ 29
2003	12	16 ～ 17	自動車道路面の補修工事で、誘導員が追い抜き車線から急に走行車線に進路変更してきた大型トラックにひかれた。	170201	17	30～ 49
2003	12	5 ～ 6	配達先から営業所へもどるためトラックで国道を走行中、センターラインを越えて対向の大型トレーラーと衝突した。	80109	17	1～9
2003	12	16 ～	工場構内のチップ置き場で、ダンプカーの荷台から転落したダンプ運転手が頭部から血を流して倒れていた。	40301	1	30～ 49

		17				
2003	12	11 ～ 12	3.5t積み平荷台トラックに足場部材を積んで走行中、渋滞で停止中のトレーラーに追突した。	80409	17	10～ 29
2003	12	10 ～ 11	大型建設機械を低床トレーラー（最大積載量30t）に積んで国道を走行中、トンネル天井にクラッシャー上部を擦ったため、道路脇の車両待避所にトレーラーを止めてクラッシャー上部へ上がって点検していたときに、地面へ墜落し頭部を激突した。	40301	1	1～9
2003	12	2 ～ 3	大型トラックで国道を走行中、路肩にはみ出して停車中の大型トラックに追突した。	40301	17	30～ 49
2003	12	2 ～ 3	トラックをパーキングエリア内の駐車場に停めるためエリア内の減速車線を走行中、減速車線に駐車していた大型トレーラーに追突した。	40301	17	10～ 29
2003	12	9 ～ 10	バイクで食材買出しのため走行中、ワゴン車と衝突した。	140201	17	1～9
2003	12	4 ～ 5	4tトラックで国道を走行中、前方不注意により交差点で赤信号のため停止していた大型トレーラーに追突した。	40301	17	1～9
2003	12	18 ～ 19	バイクで郵便配達のため青信号で国道を左折したときに、駐車場へ入ろうと右折してきた軽トラックと激突した。	110101	17	50～ 99
2003	12	1 ～ 2	荷物を空港まで運ぶため大型トラック（13t）で国道を走行中、インターの道路左端に駐車していた大型トラック（ハザードランプ点滅中）の後部に追突した。	40301	17	1～9
		5	新聞配達中、バイクに積んでいた新聞が飛んでしまったので、国道に			30～



2003	11	～ 6	落ちていた新聞を拾っていたときに10tトラックにはねられた。	80205	17	49
2003	11	1 ～ 2	6tトラックに配合飼料6tを積んで国道を走行中、左側の縁石に乗り上げて横転した。	40301	17	30～ 49
2003	11	18 ～ 19	国道の路側帯に停車中のトラックの運転席に座ったまま、意識を失っているところを発見された。車両乗降時に足を滑らせ頭をうった痕跡があった。	40301	1	100 ～ 299
2003	11	4 ～ 5	OA機器を運搬するため大型トラックで自動車道を走行中、ゆるやかな右カーブの下り坂で道路左側のガードロープ（4本）を突き破って5m下の一般道に転落した。	40301	17	1～9
2003	11	6 ～ 7	原綿を10tトラックに積んで走行中、途中の駐車帯で同僚の運転していた15tトラックの後方に自分の運転していた10tトラックを駐車しトラックの前でタバコを吸っていたところ、トラックが動き出して同僚のトラックとの間にはさまれた。	40301	17	10～ 29
2003	11	16 ～ 17	運送作業が終了したので土場でダンプ・トラックの荷台を上げ、荷台とシャーシーの間で充填器でグリスを充填しているときに、荷台が落下してきてシャーシーフレームと荷台との間に頸部をはさまれた。	40309	7	10～ 29
2003	11	13 ～ 14	土砂を4tダンプ・トラックに積んで町道（道幅約2.8m）を走行中、道路左側の約5m下の川に転落した。	30110	17	1～9
2003	11	3 ～ 4	製材品を運んで10tトラックで走行中、国道のトンネル出口付近で4tトラッククレーン車が車線をはみ出してきて正面衝突した。	40301	17	10～ 29
2003	11	3 ～ 4	トラックで国道を走行中、トンネルの出口付近の緩いカーブで対向車線を越えて相手のトラックに激突した。（双方の運転手が死亡）	40301	17	100 ～ 299

2003	11	3 ～ 4	トラックで高速道路を走行中、運転手が前方不注意で前走の大型トラックに追突したため、後部座席で仮眠をしていた者が車外に投げ出された。	40301	17	50～ 99
2003	11	16 ～ 17	ダンプ・トラック（積載荷重4.1t）でリサイクルセンターに空缶等の金属塊の回収に行き、その職員が天井クレーン（2t）で金属塊を積み込む作業中に、荷台上にいて金属塊が当たりそうになったので避けるためトラックから飛び降りたときに、後方に滑るような状態で落ちて床面に頭を打ちつけた。	150103	1	10～ 29
2003	11	11 ～ 12	糞尿車2台を急な坂道に縦列に駐車させた状態で客先において汲み取り作業を行っていたところ、前方に停車していた車両が徐々に後退し、後方に停車していた車両との間でホースの片付けをしていた者が両車両の間に身体をはさまれた。	150103	7	1～9
2003	11	6 ～ 7	14tトラックで自動車道を走行中、片側1車線の緩やかなカーブで左側路側帯にはみ出して壁に接触したため、ハンドルを右側に切ったところ対向車線を越えて道路脇にある陸橋の橋脚に衝突した。	40301	17	100 ～ 299
2003	11	1 ～ 2	トラックで首都高速道路の工事現場脇を走行中、工事車両専用出口以外の部分から車線に進入してきたダンプカーの側面に衝突した。	40301	17	10～ 29
2003	11	8 ～ 9	トラックでコンプレッサーを搬送中に、ハンドルをとられて対向車線に大きくはみ出し対向の11tトラックと激突し、助手席に乗っていた者が死亡した。	150102	17	1～9
2003	11	16 ～ 17	引越作業が終了しバイク（50cc）で4tトラックの後方を走行中、前方のトラックがバス停のバスを避けるため中央車線に車線変更したときに、停車中のバスに気付くのが遅れたためバス右後方に追突して転倒し、中央車線側へ投げ出されたところへ中央車線を走行してきた大型ダンプにひかれた。	40301	17	50～ 99
		8	ごみ収集車で最初のごみ収集地において補助者と2名で可燃ごみの投入を終えたのち、ごみ収集車の位置を移動していったんエンジンを切っ			10～

2003	11	9	たがゴミ収集車が前進で動き出し、車両の右前輪付近にいた者がひかれた。	150103	7	29
2003	11	22 ～ 23	舗装補修工事において、歩道と車道を区画するラインを引く作業をセンターライナーで行っていたときに、交通誘導員の停止指示を無視して現場内に突っ込んできた飲酒運転の軽トラックにはねられた。	30106	17	10～ 29
2003	11	14 ～ 15	トラックで国道を走行中、センターラインをはみだして対向車と正面衝突した。	40301	17	10～ 29
2003	11	5 ～ 6	トラックで高速道路を走行中に接触事故を起こしたため、相互の車両を路肩に駐車して路上で話し合いしているときに、別のトラックが後方へ追突してきてトラック3台が玉突き状態となり、トラック間にいた者が相方の車両との間にはさまれた。	40301	17	50～ 99
2003	11	14 ～ 15	2tトラックから木製の電柱10本をドラグ・ショベルで荷降ろしする作業で、7本目を降ろそうとしたときに、トラック荷台から丸太1本とともに墜落し、下敷きになった。	30199	1	1～9
2003	11	3 ～ 4	4tトラックで国道を走行中、対向車線の大型トレーラーがガソリンスタンドへ入ろうと急に右折したため、避けようとして右にハンドルを切ったが避けきれず、トレーラー後部にキャビン左部が衝突し、反動で反対車線へ突き飛ばされて対向車線を走行してきたトラックと衝突した。	40301	17	30～ 49
2003	11	12 ～ 13	トラックで走行中、センターラインを越えて対向車線を走行する乗用車と衝突し、道路脇の民家に突っ込み民家とともに炎上した。（トラックの運転手と乗用車の運転手が死亡）	40301	17	30～ 49
2003	11	6 ～ 7	トラックで自動車道を走行中、ジャンクションの下りカーブでスピードが出すぎていたため、右側ガードレールに接触し横転した。	40301	17	30～ 49
		5				

2003	11	6	4tトラックに引越し荷物を積載して国道を走行中、赤信号で停車していたトラックの後部へ追突した。	40301	17	10～ 29
2003	11	17	勤務先で不足した清掃道具を補充するため、保管場所である会社出張所に自転車で向かっているときに、市道から脇道に入ろうと左折してきた大型ダンプにひかれた。	150101	17	30～ 49
2003	11	5	小型トラックで資材を運送した帰りに走行中、前走の車に追突して運転席ではさまれたときにエンジンから出火し、両下腿骨折と火傷を負った。	30106	17	10～ 29
2003	11	17	灯油の配達を終えてタンクローリー（2t）で走行中、国道の交差点手前で横転し交差点脇にある電柱に衝突した。	80204	17	1～9
2003	11	5	トラックに空コンテナを積んで高速道路を走行中、側壁に激突した。	40301	17	50～ 99
2003	11	14	工事現場から他の工事現場へ向かうため堤防道路を軽トラックで走行中、車線をはみ出してきた4tトラックと正面衝突した。	30209	17	1～9
2003	11	10	トレーラー（47t積み）でL型アングル（鋼材）を運搬して倉庫前の公道上で他社の労働者がフォークリフト（11t）で荷降し作業中に、高さ約1.6mのトレーラーの荷台から結束した鋼材（重さ：1t、長さ：約2m、幅40cm、高さ約30cm）が転がって落下し、トレーラーとフォークの間をいたトレーラーの運転手の頭部を直撃した。	40301	4	50～ 99
2003	11	5	大型トレーラー（38t台車）にクレーン用カウンターウエイト（重さ約35t）を積んで走行中、交差点を左折したときにトレーラーが横転し、運転席部分が中央分離帯の標識塔に衝突した。	30309	17	10～ 29
2003	11	9	早朝パート（午前5時から9時）を終え、傘をさして駐車場の自分の車へ向かうため、工場敷地内の通路を歩行中に、バックで走行してきた	10104	7	300 ～

		10	配達用の3tトラックにひかれた。			499
2003	11	23 ～ 24	トラックで2車線の高速道路を走行中、外側のガードレールに激突した 反動で中央分離帯のガードレールに激突し、再び反動で外側のガード レールに激突し、さらに前方を走行中の10tトラックの後部に接触横転 し、そのまま中央分離帯のガードレールに激突した。	40301	17	30～ 49
2003	11	1 ～ 2	大型トレーラ（20t）で国道を走行中、急な左カーブを曲がりきれずに 横転しガードレールや水銀灯に激突した。	40301	17	30～ 49
2003	10	4 ～ 5	建設工事現場にリースするガードマンボックスを運搬するため、2tト ラックで国道を走行中、市道に右折しようとして曲がりきれずに国道 上に停止していたトレーラーに追突した。	80409	17	10～ 29
2003	10	13 ～ 14	弁当の空容器を回収するためバンで走行中、中央分離帯の植木の手入 れのため駐車していた2tトラックに衝突した。	10109	17	50～ 99
2003	10	3 ～ 4	トラックで自動車道を走行中、インターチェンジで自動車道から出る ため減速したところに後続車両に追突され、防音壁に激突して車両が 横転し運転席で下半身をはさまれた。	40301	17	30～ 49
2003	10	0 ～ 1	納品のため4tトラックで高速道路を走行中、左側車線から大型トラッ クが急に割り込んできたので衝突を避けようとして右に急ハンドルを 切ったときに、センターライン沿いのガードフェンスに衝突し、その 反動で路肩側のフェンスにはね返ったときに車外に放り出され自分の トラックの下敷きになった。	40301	17	10～ 29
2003	10	16 ～ 17	大型トラックで鉄くずの回収作業に行って林道を走行中、運転を誤っ て崖下（高さ5m）に転落した。	11209	17	10～ 29
2003	10	23	雑荷を積んでトラックで走行中、交差点を赤信号で停車中の2台の車を 追い越して交差点に進入してきた乗用車に衝突され、水路に転落して	40301	17	50～ 99

		24	溺死した。			
2003	10	4 ～ 5	トラックで国道を走行中、対向のトラックに衝突された。	40301	17	10～ 29
2003	10	18 ～ 19	作業機材を引き取るため6tトラックで工事現場に着き、エンジンをかけたままトラックを下車して車両後部へ回って小型移動式クレーンを操作したときに、トラックが後方へ動き出したので止めようとしてトラックと停車していた50tクレーン車との間にはさまれた。	40301	6	10～ 29
2003	10	10 ～ 11	取引先で荷を積んで10tトラックで高速道路を走行中、国道との合流地点の手前の左カーブを曲がりきれずに右側のガードレールを乗り越えて横転した。	40301	17	10～ 29
2003	10	7 ～ 8	トラックで国道を走行中、緩やかな左カーブにおいて対向車線にはみ出し10tトラックと正面衝突した。	40301	17	100 ～ 299
2003	10	23 ～ 24	大型トラックに荷を積んで走行中、道路左側の商店に入ろうとして減速した大型トレーラーに追突した。	40301	17	10～ 29
2003	10	21 ～ 22	12t保冷車で県道を走行中、製紙工場のコンクリート製の門に突っ込み、そのまま敷地内に停車していたトレーラーに激突した。	40301	17	10～ 29
2003	10	4 ～ 5	荷の運搬のためトラックで高速道路を走行中、インター手前で渋滞のため停車していた大型トラックに追突した。	40301	17	30～ 49
2003	10	1 ～ 2	トラックで配送中、交差点で乗用車と出会い頭に衝突し、そのはずみで交差点脇の電柱に激突した。	40301	17	30～ 49
		20	印刷物を4tトラックに積んで国道を走行中、ガードレールがない片側			10～

2003	10	21	～	一車線の左カーブの山道で運転を誤り道路から約50m下にトラックとともに転落した。	40301	17	29
2003	10	8	～	トレーラーに積まれてコンテナ蔵置場に搬入されてくるコンテナに蔵置位置をチョークで書き込む作業を行っていたときに、先に搬入を終えて蔵置場から公道へ出ようとしていたトレーラーに牽引された空シャーシの後部と作業中のコンテナとの間にはさまれた。	50101	7	10～ 29
2003	10	18	～	4tトラックに食肉の皮と脂などの残滓を積み込んで走行中、県道の下り坂左カーブで対向車線にはみ出したのち右側コンクリート擁（よう）壁に激突した。	150103	17	1～9
2003	10	15	～	事業場内において、10tダンプ・トラックに重機で建設廃材の木材片を積み込んだのち、荷台上（高さ3.35m）で荷台から飛び出している木材片の整理作業中に、荷台の縁から足を滑らせて地面に頭から墜落した。	150102	1	1～9
2003	10	11	～	ビルの解体作業に伴うガラの積み込み作業において、10tダンプ・トラックの左側前輪に車輪止めをしてスロープ上（傾斜角7.8度）に停車していたところ、手元作業員が車輪止めを外したためにダンプ・トラックがスロープを下り車道に出たので、止めようと立ちふさがったときに車道を走行中の大型観光バスの後部との間にはさまれた。	170201	17	50～ 99
2003	10	15	～	営業活動のため原付自転車で走行中、後方からきたダンプカーに追突され車に巻き込まれた。	80409	17	50～ 99
2003	10	2	～	4tトラックで国道を走行中、対向車線を走行中の10tトラックと正面衝突し、双方の運転手が死亡した。	40301	17	30～ 49
2003	10	2	～	10tトラックで走行中、反対車線を走行していた4tトラックがはみ出してきて正面衝突し双方が死亡した。	40301	17	10～ 29

2003	10	0 ～ 1	大型保冷車（車長12m、積載10t）に冷凍魚介類を積んで高速道路を走行中、右前輪が破裂して中央分離帯に乗り上げて横転し、車外に放り出されて自車の下敷きになった。	40301	17	10～ 29
2003	10	11 ～ 12	杭工事で使用した資材を搬出するため、傾斜のある道路上に貨物自動車（11t車）を止めて資材を積み込み、荷締めを確認していたときに貨物自動車が後方に動き出し、貨物自動車の後部に止めてあった移動式クレーンとの間にはさまれた。	80409	7	1～9
2003	10	11 ～ 12	貨物自動車をリサイクルセンター敷地内に入れるため、敷地入口の扉を開けてもらおうと貨物自動車を降りて入口扉の右側の塀に取り付けられたベルを押そうとしていたときに、サイドブレーキの引きが甘かったため貨物自動車が動き出し、貨物自動車と塀の間にはさまれた。	150102	6	10～ 29
2003	10	1 ～ 2	トレーラーで国道を走行中、前方を走行していたダンプカーが鹿を避けようとして中央線を越えて対向車線のトラックに接触し、急停車したところへ追突した。	40301	17	10～ 29
2003	10	9 ～ 10	打ち合わせのため、事務所を出て駐車場に向かって構内の横断歩道を歩行中に、右折してきたトラックの後輪にひかれた。	11301	6	1000 ～ 9999
2003	10	15 ～ 16	13tトラックの屋根の雨漏り補修のため、屋根上（高さ3.6m）で作業を していて墜落した。	11701	1	10～ 29
2003	10	4 ～ 5	9tトラックで自動車道を走行中、片側3車線の左側車線を走行していた大型トラックのタイヤが脱輪して中央車線に転がり、前方を走っていた大型トラックに接触したので、追い越し車線に車線変更したところ、再び転がってきたタイヤに乗り上げてハンドルを取られ左側側壁に衝突した。	40301	17	10～ 29
		3	冷蔵冷凍車（大型トラック25t）で物流センターへ荷卸してホームから約5mほど前進させ停車し、冷凍車後部右側に立って開いている扉を閉			100



2003	10	4	めようとしていたところへ、トラック（2t）が冷凍食品を積もうとバックしてきたため、冷蔵冷凍車とトラックとの間に頭部をはさまれた。	40301	7	～ 299
2003	9	10 ～ 11	木材搬出用の林道（幅員約4m）の補修作業で、2tダンプ・トラックで土砂を運搬中に路肩より12.1m下の窪地に転落しダンプ・トラックの下敷きになった。	60201	1	1～9
2003	9	5 ～ 6	トラックに荷物を搬入するため、搬入口に着けるため指定の搬入口前方でトラックから降りてトラック後方のパワーゲートを開いていたところ、トラックが前方に動き出したので前に回って押さえようとしたが止められず、後方にあった看板のポールとトラックの間にはさまれた。	40301	7	100 ～ 299
2003	9	3 ～ 4	8.6tの貨物自動車に約5tの金属製棚を積載して国道を走行中、前方のトラックに追突した。	40301	17	10～ 29
2003	9	12 ～ 13	大型トレーラーで国道を走行中、交差点で信号待ちをしていた大型トラックに追突した。	40301	17	1～9
2003	9	14 ～ 15	道路維持管理のため、橋上で路側帯の土砂の清掃をしていたときに走行してきたトラックに激突された。	30309	17	1～9
2003	9	14 ～ 15	大型トラックで高速道路を走行中、渋滞で徐行していた最後尾の大型トラックに追突した。	40301	17	50～ 99
2003	9	14 ～ 15	片側2車線の道路の右車線を2tトラックで走行中、同じ車線を時速10kmで走行していた道路清掃車に追突した。	40301	17	100 ～ 299
		13	研修のため乗用車で国道を走行中、交差点で信号待ちしていたところ			10～

2003	9	～ 14	へ後方より走行してきた4tトラックに追突され、助手席に乗車していた者が死亡した。	30202	17	29
2003	9	7 ～ 8	乗用車で走行中、渋滞のため徐行運転していたときに、2台後方を走行中のトラックが追突してきて前後の車にはさまれた。	30301	17	10～ 29
2003	9	15 ～ 16	15tトラックに故紙を積み込み国道を走行中、交差点において右折レーンで右折信号待ちをしていたダンプ・トラックに追突した。	40301	17	10～ 29
2003	9	13 ～ 14	個人住宅の工事現場から廃棄物を積んで国道を2tトラックで走行中、居眠り運転により対向車線に飛び出して競走馬用の輸送トラックと正面衝突した。	30201	17	100 ～ 299
2003	9	9 ～ 10	漬物の原料（なす）を仕入れるため、小型トラックで高速道路を走行中、トンネル出口付近でハンドル操作を誤って道路左側のガードレールに激突した。	10103	17	10～ 29
2003	9	3 ～ 4	大型トラック（13t）で国道を走行中、片側交互通行のため停車していた大型トラックに追突した。	40301	17	30～ 49
2003	9	2 ～ 3	6tトラックに野菜を積んで国道を走行中、赤信号のため停車していたトラックに追突した。	40301	17	10～ 29
2003	9	11 ～ 12	大型トラック（最大積載量13.7t）にタイヤ7tを積載して自動車道を走行中、大型トラックに追突した。	40301	17	50～ 99
2003	9	4 ～ 5	15t積み冷凍車で自動車道を走行中、S字カーブを曲がりきれずに運転席側がスノーシェッド側壁に衝突した。	40301	17	10～ 29
			解体現場のコンクリート塊をドラグ・ショベルでダンプ・トラックに			

2003	9	14 ～ 15	積み込む作業で、ダンプの運転席から降りたときに、荷台に積み込んだコンクリート塊の位置を調整するためドラグ・ショベルで荷台上のコンクリート塊を引っ張ったため、ダンプが後退してダンプのドアとドラグ・ショベルのカウンターウエイトとの間にはさまれた。	30201	6	1～9
2003	9	11 ～ 12	敷地内において、翌日配送する荷の積み込み作業の段取りのため、2tクレーン車の荷台上で土台として使用していた角材を整理していて荷台から転落した。	40301	1	10～ 29
2003	9	4 ～ 5	2tトラックで国道を走行中、タイヤパンクの修理のため前方に駐車していた10tトラック（乗車者なし）の後部に追突し、ハンドルと座席シートの間にはさまれた。	40301	17	30～ 49
2003	9	20 ～ 21	19.25tトレーラにベニヤ板（18.9t）を積載し国道を走行中、峠を通過し市街地に入る手前からブレーキが効かなくなり、前方を走る大型トラックと接触したのち運転席から路上に飛び降りたが頭蓋骨を骨折した。	40301	17	10～ 29
2003	9	14 ～ 15	道路沿いの法面（のりめん）工事において、現場事務所側（海側）から工事施工場所（山側）に行くため道路を歩行横断中、走行してきた2tトラックにはねられた。	30199	17	1～9
2003	9	5 ～ 6	自動車道料金所で、収受業務を開始するためブースへ通じる地下道を通って料金収受ブースに入ろうとしたときに、鍵を忘れたためETC専用のレーンを横断して同僚から鍵を借り、自分の担当ブースへもどるため再度レーンを横断しようとしたときに、そのレーンを通過しようとした10tトラックにひかれた。	170209	17	30～ 49
2003	9	7 ～ 8	11t貨物トラックで自動車部品を納入先に搬送し、工場内の通路上で部品の荷崩れを荷台（高さ約1m）上で直しているときに、足を踏み外してコンクリート舗装面に転落し頭部を激突した。	11502	1	100 ～ 299
2003	9	5 ～ 6	20tの大型トレーラーで自動車道を走行中、左カーブを曲がり切れずに右側のガードレールに衝突し、ガードレールを突き破って斜面を滑り横転し、約5m下の自動車道に落ちトラックと激突した。	40301	17	10～ 29

2003	9	5 ～ 6	高速道路の舗装改良工事において、工事場所の1km手前の個所に工事標識の看板を設置しようとしているときに、蛇行運転をしてきた4tトラックが飛び込んできて作業員4名のうち1名が死亡した。	30106	17	30～ 49
2003	9	5 ～ 6	保冷車で市場に魚を配送して帰社途中、交差点で乗用車と出会い頭に衝突し車外に放り出された。	80109	17	30～ 49
2003	9	0 ～ 1	電気通信ケーブルを搬送して県道を走行中、道路中央ライン寄り右折待ちしていたときに、後続の10tトラックに追突され衝撃で対向車線に飛ばされ、さらに対向の10tトラックに衝突されて助手席の者が死亡した。	30301	17	10～ 29
2003	9	5 ～ 6	14tトラックで走行中、国道の交差点で信号待ちで停まっていた大型トラックに追突した。	40301	17	30～ 49
2003	8	4 ～ 5	2tトラックで新聞社の印刷工場から専売所に新聞を配送してもどる途中、県道の交差点で信号待ちをしている10tトラックに追突した。	40309	17	50～ 99
2003	8	3 ～ 4	4tトラックに荷物を積み高速道路を走行中、事故で停車していたトレーラーに追突した。	40301	17	50～ 99
2003	8	11 ～ 12	小型冷凍車で食材の配達を終えて国道を走行中、渋滞で停車していた前方のトラック（4t車）に追突した。	80109	17	10～ 29
2003	8	5 ～ 6	13tトラックで高速道路を走行中、前方の10tトラックが突然車線に割り込んできたため追突し、2台とも道路脇のガードロープを突き破って約5m下の農道に転落した。	40301	17	100 ～ 299
2003	8	15 ～	トラックで配達先へ向かう途中、交差点で左から来たトラックと衝突した。	40301	17	10～ 29

		16				
2003	8	0 ～ 1	国道で路盤調査中、片側交互通行の車両誘導を行っていたときに、軽貨物自動車が進んで来て民家の塀との間にはさまれた。	170201	17	30～ 49
2003	8	13 ～ 14	購入した建設廃材（鉄屑）を建設工事現場へトラックで取りに行き、キャビン上で重機オペレーターに荷台への積み込み位置等を指示していたときに地上に転落した。	11209	1	30～ 49
2003	8	0 ～ 1	トラックで脇道から国道に出ようとしたときに、時速60kmで走行してきた大型トラックと衝突した。	80209	17	1～9
2003	8	21 ～ 22	トレーラーで約22tの鶏ふんを積んで国道を走行中、センターラインを越えてガードレールを突き破り約5m下の川に転落した。	40301	17	50～ 99
2003	8	0 ～ 1	生コンクリート（1.75m <sup>3</sup> ）をコンクリートミキサー車（最大積載量3,950kg）で工事現場に運搬中に、市道（幅員3m）の路肩から約20m下の谷の斜面に転落した。	30106	17	10～ 29
2003	8	15 ～ 16	大型トレーラー（最大積載量20t）にフォークリフトで木材を積み込む作業で、トレーラ荷台に乗って専用の手工具で重なっている木材を並べ直すため手前に引っ張ろうとしたときに、手工具が握っていた手から外れ、その反動でバランスを崩してトレーラー荷台の木材上（高さ約2m）からアスファルト床に転落した。	40301	1	1～9
2003	8	4 ～ 5	トラックで国道を走行中、追越車線で右折待ちの大型トレーラーの後部に追突した。	40301	17	10～ 29
2003	8	6 ～ 7	冷蔵・冷凍セミトレーラー車（後車部分）を引き取るため、トレーラー車のヘッド（牽引車部分）を運転して国道を走行中、運転席の下付近に取り付けてあるスペアタイヤが突然脱落して後輪がこれに乗り	40302	17	1～9

			上げたため車がバランスを崩し、対向車線を越えて水田に転落した。			
2003	8	19 ～ 20	バイパス関連工事の仕事を終えてトラック（2t平ボデー）で国道を走行中、橋の欄干に衝突して運転席が大破し、助手席に乗っていた者が助手席にはさまれ死亡した。	30301	17	1～9
2003	8	0 ～ 1	断裁した鉄板を積んだ10tトラックで国道を走行中、非常停車帯に停車していた大型トラックに追突した。	11209	17	30～ 49
2003	8	1 ～ 2	県道をトラックで走行中、道路上に駐車していた大型トラックに追突した。	40301	17	10～ 29
2003	8	21 ～ 22	4tトラックで国道を走行中、中央分離帯を乗り越えて対向車線を直進し、緩い左カーブのところから道路を外れて沿道の民家の乗用車、住宅一階の一部を壊して停止した。	40301	17	1～9
2003	8	23 ～ 24	普通貨物自動車を運転して自動車道を走行中、雨で濡れた左カーブで普通乗用車がスリップして停車したため、後続のトラック14台と乗用車4台が絡む衝突事故が発生し死亡した。	40301	17	1～9
2003	8	23 ～ 24	11tトラックで国道を時速120kmで走行中、前走の乗用車に追突してさらにその前を走行していた4tトラックに追突し、11tトラックの運転手および乗用車の2名の計3名が死亡した。	40301	17	1～9
2003	8	15 ～ 16	事業場内のリサイクルプラントにおいて、コンクリートと分離した鉄筋を積載した10tダンプ・トラックを移動させようとしたところ、バッテリーが上がっていてエンジンがかからず、そのままエンジンがかかっていない状態で約10m走行し、約13m下の調整池に転落した。	20201	1	10～ 29
2003	8	3 ～ 4	中央市場より鮮魚・貝類を積んで走行中、居眠り運転により道路への出口分岐点に設置されているクッションドラムに衝突した。	40301	17	30～ 49
		3				30～

2003	8	～ 4	4tトラックで国道を走行中、路肩に停車中の10tトラックに追突した。	40301	17	49
2003	7	～ 1	魚市場からトラックで帰社する途中、道路から路肩下に転落した。	10102	17	10～ 29
2003	7	5 ～ 6	トラックを運転して国道を走行中、前方を走行中の4tトラックに追突し、そのはずみで縁石にぶつかって対向車線に出て大型トレーラーと衝突した。	40301	17	10～ 29
2003	7	5 ～ 6	トラックで配達先へ向かう途中、交差点で右折待ちのため停車していたトラックに追突した。	40301	17	50～ 99
2003	7	22 ～ 23	自動車のオークションで購入した社用の大型トラックを運転して走行中、道路脇に停車していたパトロール車に追突して運転席から投げ出された。	80109	17	50～ 99
2003	7	3 ～ 4	ワンマンの10tトラックで高速道路を走行中、路面が降雨で濡れていたためスリップし、中央分離帯に激突・横転し車外に投げ出された。	40301	17	10～ 29
2003	7	11 ～ 12	工事現場へ向かうため普通貨物自動車で行中、緩やかな左カーブで対向車線に飛び出し普通貨物自動車（ごみ収集車）と衝突した。	30209	17	10～ 29
2003	7	15 ～ 16	レンタル物品の回収打合せのため顧客先の駐車場に4tトラックを止め降車したところ、車が斜面に沿って動き出したので、あわてて同乗の助手とともに車の前に回って止めようとしたが押さえ切れず、別の車との間にはさまれた。	80409	6	1～9
2003	7	～ 0	駐車場で運転していた2tトラックから別の車に乗り換えるため、トラックを車庫に止め同じ駐車場に止めてあった別の車に向かって歩き出したところ、サイドブレーキを引き忘れていたトラックが駐車場	170209	7	1～9

		1	の勾配で動き始めたので、トラックの前方に出て止めようとしたが止まらず、トラックと駐車場のひさしの柱との間にはさまれた。			
2003	7	3 ～ 4	軽トラック（保冷車）に荷を積込んで走行中、流通センター内の市道交差点（信号機なし）を一時停止をせずに進入したため、右側から直進してきた10t大型トラックと衝突した。	40301	17	1～9
2003	7	22 ～ 23	トラックで走行中、峠の崖からトラックごと転落した。	40301	17	30～ 49
2003	7	23 ～ 24	フェリーで港に運搬されてきたトレーラーを客先へ届けるため、トラックターヘッドを運転して走行中、自動車道のS字の右カーブで曲がりきれず中央ガードレールに接触し、左カーブになったときに車両が右側に傾いて、そのままの状態です約40m走行したのち横転し、運転席部分を路面に打ちつけた。	40301	17	30～ 49
2003	7	10 ～ 11	ドラグ・ショベルのバケットの交換作業中に、勾配4度の道路をエンジンのかけたままの無人のダンプトラックが後進してきて、ドラグ・ショベルとダンプ・トラックとの間に頭部をはさまれた。	30106	7	30～ 49
2003	7	16 ～ 17	倉庫の間の通路上に鉄骨屋根を設置する工事で、組み上がった鉄骨の塗装作業を行うため、通路の南西の端に高所作業車を設置して作業台を4.2mの高さに付けて「はけ塗り」作業を行っていたときに、大型トラックが通路西側から入ってきて高所作業車のアームに激突したため作業台から転落した。	30201	6	1～9
2003	7	11 ～ 12	1.5tトラックで引込線工事現場に向って走行中、右折のため停車していた2tダンプに追突した。	30301	17	50～ 99
2003	7	13 ～ 14	4t積みトラック積んである荷（印刷用原版、質量約218kg）を、荷台上で人力により移動していたときに、荷に掛けていた手が滑った反動で約1m下の舗装面に後ろ向きで転落した。	80401	1	10～ 29



2003	7	13 ～ 14	材木を積んだトラックで国道を走行中、緩やかな右カーブで電柱に衝突し頭を強打した。	40301	17	10～ 29
2003	7	14 ～ 15	配電線の支障木伐採作業で、次の伐採場所へ軽トラック2台で移動中に、1台が県道の下り勾配の緩い左カーブを直進して道路脇の杉に激突し横転した。	60201	17	10～ 29
2003	7	20 ～ 21	普通貨物自動車（4t車）で国道を走行中、信号待ちのため停車していた普通貨物自動車（4t車）に追突した。	40301	17	10～ 29
2003	7	6 ～ 7	高速道路のパーキングエリア駐車場において、ほうきとちり取りを持って清掃作業をしていたときに、動き出した大型トラックの右前輪に巻き込まれた。	150109	17	50～ 99
2003	7	0 ～ 1	2tトラックで食料品の配送中、交差点から右折しようとしたときに左方向から走行してきた大型ダンプ・トラックと衝突し、衝撃で車外に投げ出された。	40301	17	30～ 49
2003	7	6 ～ 7	保冷車で国道を走行中、直線からカーブに差し掛かったところで対向車両と正面衝突した。	40301	17	1～9
2003	7	5 ～ 6	1.5tトラックで国道を走行中、路肩に停車していた大型トラックに追突した。	80109	17	1～9
2003	7	4 ～ 5	一般道をトラックで走行していた途中で休憩時間を多く取り過ぎ、遅れそうになったため急いでいた。高速自動車道のインターに入って左ループを走行中、ループを曲がりきれず運転席を下にして横転し、そのままカードレールと運転席との間にはさまれた。	40301	17	10～ 29
2003	7	12 ～	2t保冷トラックで国道を走行中、豪雨のため車がスリップして追い越し車線にはみ出して車が横向きになったときに、後方から来たトラック	40301	17	50～ 99

		13	クに追突された。			
2003	7	20 ～ 21	大型トラックで走行中、国道のトンネル内で運転操作を誤り反対車線に飛び出し、対向の大型貨物自動車と正面衝突し、相手方も即死した。	40301	17	10～ 29
2003	7	7 ～ 8	自動車道を2tトラックで走行中、中央線を越えて反対車線を走っていた9tトラックと正面衝突し、助手席の者が死亡した。	40301	17	10～ 29
2003	6	9 ～ 10	材料を引き取りのためダンプ・トラック（2t、空車）で現場へ向かう途中、センターラインをオーバーして民家のコンクリート塀に激突した。	10905	17	1～9
2003	6	3 ～ 4	2t保冷車に製品を積み込んで走行中、国道の片側2車線の左側に休憩のため駐車していた大型トレーラーに追突し、車外に放り出された。	40301	17	30～ 49
2003	6	5 ～ 6	ガソリンを積んでガソリンスタンドへ配送途中、対向車が中央分離帯をなぎ倒しながら飛び込んできて衝突された。	40301	17	100 ～ 299
2003	6	2 ～ 3	大型トラックで国道を走行中、トンネルを出たところで片側一車線のセンターラインをオーバーし対向の4tトラックと正面衝突した。	40301	17	10～ 29
2003	6	11 ～ 12	顧客に品物を配達するため軽トラックで走行中、対向車線からはみ出してきた乗用車と正面衝突した。	170209	17	300 ～
2003	6	1 ～ 2	タクシーに乗客を乗せ首都高道路を走行中、後方から来た大型トラックに追突されてタクシーが大破し、乗客は死亡、運転手は意識不明となったのち死亡した。	40201	17	50～ 99
2003	6	0 ～	営業を終了して会社のライトバンで国道を走行中、緩い左カーブで対向車線にはみ出し大型トラックと衝突した。	80109	17	10～ 29

		1				
2003	6	7 ～ 8	大型トラックに荷を積み高速道路を走行中、別の事故で止まっていた車に追突した。	40301	17	10～ 29
2003	6	23 ～ 24	工場で荷物の積み下ろし作業を行っている途中で、工場から徒歩で国道を横断して向かい側にあるガソリンスタンドに行き、その帰りに大型トラックにひかれた。	40301	17	10～ 29
2003	6	15 ～ 16	2tトラックで走行中、渋滞のためゆっくり走っていたところへ4tトラックに追突され、そのはずみで前を走行していた10tトラックに追突した。	40301	17	10～ 29
2003	6	9 ～ 10	4tトラックで国道を走行中、通常は黄色の点滅信号であるため前のトラック（10t）が徐行運転しているものと予想して通常通りのスピードで走行していたところ、10tトラックが実際には停車していたため右前方から10tトラックに衝突した。	40301	17	30～ 49
2003	6	3 ～ 4	15tトラックで国道を走行中、交差点で信号待ちをしていた大型トレーラーに追突し、そのとき大型トレーラーにはみだして積載されていた鋼材に激突した。	40301	17	10～ 29
2003	6	8 ～ 9	荷物をトラックに積んで自動車道を走行中、事故による渋滞のため止まっていた大型トラックに追突した。	40302	17	30～ 49
2003	6	5 ～ 6	新聞配達のため国道を自転車で走行中、後方からきたトラックにはねられた。	80205	17	30～ 49
2003	6	13 ～ 14	2tトラックをL型溝前面の掘削された道路脇に止めて碎石の埋戻し作業を行っていて、トラックを動かそうと運転席に乗りドアを開けたままエンジンをかけたところ、トラックが1mほど後退して運転席の脇にあった電柱にドアがぶつかったので、前進させようとアクセルを踏み	30106	7	30～ 49

			込だときに、運転席から転落し前進したトラックと電柱との間にはさまれた。			
2003	6	0 ～ 1	倉庫に保管していた配合飼料（牛の餌、500kgフレコンバック10袋分）をバルク車で牧場に到着し、サイロに入れるためバックで車を着けて車の後部に回りレバー操作を行っていたところ、傾斜地のため車がバックしてきて車のフレームとサイロのステーとの間に腹部をはさまれた。	40301	7	50～ 99
2003	6	5 ～ 6	冷凍車（最大積載量12.9t）でエンジン約9tを搬送し、仮眠して高速道路を走行中、反対車線からはみ出してきた普通トラックと正面衝突した。	40301	17	50～ 99
2003	6	5 ～ 6	4t保冷車で走行中、中央分離帯に接触した後にハンドル操作が不能となって対向車線に飛び出し、10t保冷車と正面衝突した。	40301	17	10～ 29
2003	6	4 ～ 5	朝刊配達のため、軽トラックで販売所を出発し私道から出て公道に出たところで、右側からきた乗用車に追突され横転した。	80205	17	1～9
2003	6	10 ～ 11	ダンボールをトラックに積み込む作業で、同僚がトラックを動かしたときに荷台にいた者がバランスを崩して転落しかけ、とっさに目の前の建物柱につかまったがそのまま柱ぞいに落下し、柱を留めてあるボルトに差し込まれていた鉄製パイプが下腿部に刺さった。	150103	1	1～9
2003	6	5 ～ 6	4tトラックで国道を走行中、交差点付近で故障のためハザードを点滅させ左車線に停車していたトラック（積荷は木材）に追突し、キャビンが押し潰された。	40301	17	100 ～ 299
2003	6	4 ～ 5	トラック（最大積載量14.5t）に積荷（コイル状の鋼板11.85t）を積んで国道を走行中、緩やかな左カーブを直進したため道路外の空地を通り抜け民家に突っ込んだ。	40301	17	30～ 49
		15	乗用車で自動車道を走行中、事故渋滞が発生していたので減速したと			

2003	5	～ 16	ころ、後方を走行していた大型トラックに追突され、後部座席に乗車していた者が乗り上げてきたトラックと前部座席との間にはさまれた。	11403	17	50～ 99
2003	5	～ 10	トラックでガス工事現場のガラを処理場まで運搬・投棄して現場にもどる途中、幅員約5mの道路で対向車とすれ違う際に左により過ぎてトラックごと路肩から水路に転落した。	30199	17	1～9
2003	5	～ 10 11	キャリアカーに車を搭載して国道を走行中、道路工事の渋滞で停車していた4tトラックに追突し、反動で中央分離帯に乗り上げて対向車と衝突したときに、搭載していた車が前方に移動したため、搭載していた車とハンドルとの間にはさまれた。	80202	17	1～9
2003	5	～ 12 13	25tトラックで高速道路を走行中、前方を走行中の最低速度違反の30tトレーラーに前方不注意により追突した。	40301	17	10～ 29
2003	5	～ 16 17	橋梁工事で使用した敷き鉄板18枚を積んだトレーラーで走行中、県道から国道に出る丁字路で曲りきれずに谷に転落した。	40301	17	10～ 29
2003	5	～ 10 11	ダンプ・トラックを金属スクラップとして持ち帰るためのガス溶断作業で、車体から切り離れた荷台を逆さにして1名の作業者が荷台の底部を溶断し終えたが溶断した個所が落下せず、その後、ボンベを交換するため荷台から離れていたときに、ドスンという音がして荷台底部が落下し同僚がその下敷きになった。	11009	4	1～9
2003	5	～ 3 4	石灰工場で、サイロからタンク車への石灰粉の積込み作業を終了し、タンク車上部から昇降用はしごで地上に降りようとしたときに、はしごから地上に墜落した。	40301	1	50～ 99
2003	5	～ 5 6	トラックに清涼飲料を積んで時速50キロメートルで走行中、坂道で対向車線にはみ出して、前から来た大型ダンプと正面衝突した。	40302	17	10～ 29

2003	5	13 ～ 14	トレーラーでドラグ・ショベルを搬送し帰社のためトレーラーで走行中、左カーブで右側に転落して電柱に激突した。	40301	17	10～ 29
2003	5	9 ～ 10	建材店で購入した砕石を4tダンプで資材置場へ運ぶ途中、運転を誤って道路と並行して流れている川へダンプごと転落した。	30109	17	10～ 29
2003	5	19 ～ 20	営業活動を終えて社用車で高速道路を走行中、スリップして追い越し車線上に停車していたところへ、後続の2台の貨物自動車に衝突された。	80109	17	1～9
2003	5	13 ～ 14	現場で使用するグレーチング枠を軽トラックに積んで走行中、対向車のバスと正面衝突した。	30110	17	1～9
2003	5	12 ～ 13	大型トラックで国道を通行中、対向のトレーラーと衝突して、双方の運転者が死亡した。	40301	17	10～ 29
2003	5	12 ～ 13	トレーラーで国道を走行中、緩やかなカーブで対向車線から大型トラックがセンターラインを越えてきて正面衝突し双方運転者が死亡した。	40301	17	10～ 29
2003	5	2 ～ 3	10tトラックで高速道路を走行中、夜間無料開放の料金所を減速せずに通過した対向車がハンドル操作を誤って道路左側の縁石に乗り上げ、バランスを崩して対向車線にはみ出してきて正面衝突した。	40301	17	30～ 49
2003	5	21 ～ 22	10tトラックで荷物を積んで国道を走行中、カーブを曲がり切れずに国道から外れ、川のコンクリートの護岸に激突し、トラックに押し潰された。	40301	17	10～ 29
2003	5	3 ～ 4	大型トラック（最大積載量9400kg）に荷を積んで高速道路を走行中、大型トレーラーに追突した。	40309	17	10～ 29

2003	5	6 ～ 7	タクシーで走行中、交差点で進入してきた4tトラックと出会い頭に衝突し、衝撃でタクシーがガードレールに激突し運転手が死亡した。	40201	17	100 ～ 299
2003	5	0 ～ 1	化学製品をタンクトレーラー（23t）に積んで自動車道を走行中、左カーブを曲がりきれずに車両が横転（時速50キロメートルで走行、制限速度は40キロメートル）した。	40301	17	30～ 49
2003	4	6 ～ 7	高速道路をトラックで走行中、追越車線を走っていたトラックが走行姿勢を乱して走行車線に停車したため、それを避けようとしたトラックに後続のトラック等7台が次々と玉突き衝突した。	40301	17	10～ 29
2003	4	6 ～ 7	高速道路をトラックで走行中、追越車線を走っていたトラックが走行姿勢を乱して走行車線に停車したため、それを避けようとしたトラックに後続のトラック等7台が次々と玉突き衝突した。	40301	17	10～ 29
2003	4	1 ～ 2	4tトラックで国道の緩い左カーブの走行車線を走行中、対向のトレーラーが右カーブで中央線を越えてきたために避けきれず衝突した。	40301	17	1～9
2003	4	9 ～ 10	トラックで走行中、信号待ちをしていた大型トラックに追突し、助手席に乗っていた者が死亡した。	80209	17	30～ 49
2003	4	15 ～ 16	ベントナイト粉を10tダンプ・トラックに積んで国道を走行中、ガードレールを突き破って高さ15mの崖下に転落した。	40301	17	50～ 99
2003	4	5 ～ 6	配送のため保冷車を運転して国道を走行中、信号機のある交差点で前方の大型トレーラー後部に追突し、運転席が押しつぶされた。	40301	17	10～ 29
2003	4	16 ～ 17	軽トラックで顧客先に向って農道を走行中、交差点に差しかかったところで町道側より出てきた乗用車と衝突した。	80203	17	10～ 29

2003	4	21 ～ 22	接岸したフェリーからシャシー（トレーラーの荷台にあたる部分）を荷揚げする作業で、トレーラーヘッドとシャシーを繋いでシャシーの脚を巻き上げたのち、トレーラーの運転手に作業が終わった合図をす るため移動していたときに、隣奥のトレーラーが動き出したため2台のトレーラの間にはさまれた。	50202	7	10～ 29
2003	4	15 ～ 16	テトラポットの製造現場において、ホッパーと斜台（ミキサー車の後輪を乗せるためのもの）をトラッククレーンの荷台に乗せる作業を行っていたところ、荷台に乗せた斜台が地上に落下してきて下敷きになった。	30111	4	10～ 29
2003	4	5 ～ 6	4tトラックで自動車道を走行中、中央分離帯に接触して反動でトラックが横転し、車外へ投げ出されてトラックの下敷きになった。	40301	17	10～ 29
2003	4	4 ～ 5	普通トラックで国道を走行中、センターラインを越えて対向車線へはみ出し、前から来た大型トラック（タンクローリー）と正面衝突した。	40309	17	30～ 49
2003	4	14 ～ 15	2tトラックを事務所付近に停車させ、運転席から降りて納入先の労働者とトラック荷台の土砂を確認したあと、もう1台のトラックのところに行こうと歩いているときに、2tトラックが後方に動き出したため、後部あおりを両手で押えて止めようとしてひかれた。	30209	7	1～9
2003	4	16 ～ 17	4tトラックによる荷物の集荷業務を終了したので駐車場にトラックを駐車し下車したところ、トラックが右後方に動き出したため、隣に駐車してあったトラックとトラック運転席の側面との間にはさまれた。	40301	7	10～ 29
2003	4	5 ～ 6	トラックで自動車道を走行中、走行車線をはみ出して車線左隣のバス停の車線内に進入し、停車中のトレーラーに追突した。	40302	17	10～ 29
2003	4	3 ～ 4	大型トラックで国道を走行中、信号のない交差点内で脇道から進入してきた大型トラックの後部に追突した。	40301	17	10～ 29



2003	3	13 ～ 14	乗用車で取引先を回って会社へもどる途中、国道の路肩部分に駐車して休憩していたところへ、後方から走行してきた大型トラックが乗用車に追突したため乗用車が押し出され、前方に駐車していた大型トラックとの間にはさまれた。	170201	17	30～ 49
2003	3	18 ～ 19	普通貨物自動車に同乗して高速道路を走行中、後輪がパンクしたので路側帯に停車して2名が降車して様子を見ていたときに、走行してきた普通貨物自動車に追突され、車外にいた2名が車体とガードレールにはさまれ1名が死亡した。	30201	17	1～9
2003	3	5 ～ 6	大型貨物自動車（10t）で堤防道路（幅員6m、中央線有り）を走行中、反対車線の普通貨物自動車（4t）と中央線付近で衝突し、大型貨物自動車が反対車線を越えて路肩から堤防下に転落した。	40301	17	10～ 29
2003	3	1 ～ 2	木材を積んだ20tトレーラで国道を走行中、右カーブで道路脇の田に転落した。	40301	17	30～ 49
2003	3	23 ～ 24	大型トラックで高速道路を走行中、ジャンクション付近で3台が絡む多重事故が発生したため追越車線上に停車していた大型トラックに追突した。	40301	17	10～ 29
2003	3	0 ～ 1	トラックのオイルを交換し、ギアをバックに入れたままハンドブレーキを引かない状況でトラックのステップに乗り、ドアを開けた状態でエンジンをかけたところトラックが後進し、コンクリート壁にトラックが接触したときにトラックの扉にはさまれた。	40301	3	1～9
2003	3	10 ～ 11	家屋解体で出た柱・梁等を搬出する作業で、ダンプ・トラックの荷台上でグラップル付建設機械でつかんだ梁（松材、質量270kg）を外してグラップルを引き抜いたときに、梁が回転しその反動で梁とともに墜落し、落下してきた梁で頭部を強打した。	30209	1	1～9
2003	3	7 ～	7tトラックで高速道路の建設現場へ製品の運搬中、現地近くで道を間くため下り坂の途中でトラックを停車させ、車から降りて通行人に道	10901	17	10～

		8	を尋ねていたところ、停車中のトラックが動き出し前方にいたためひかれた。			29
2003	3	5 ～ 6	客先の工場で商品を積んで片側2車線の国道を走行中、トンネル入口で擁（よう）壁に衝突した。	40301	17	10～ 29
2003	3	4 ～ 5	トラックで鋼材を運搬中、緩やかな左カーブで反対車線にはみ出して電柱に衝突し、横転・炎上した。	40301	17	10～ 29
2003	3	14 ～ 15	トラックに2名乗車して県道を走行中、運転手本人がよそ見をしていたことに気付いて急に左側へハンドルを操作したところ、歩道との境にある縁石を飛び越えて民家のブロック塀に激突し、同乗していた者が死亡した。	11702	17	1～9
2003	3	3 ～ 4	新聞配達のため国道をバイクで走行中、後方から来た大型トラックに追突された。	80205	17	30～ 49
2003	3	11 ～ 12	河川改修工事において、田畑に農機を乗り入れるための傾斜路に打設する外壁用の生コンを搬入し、やや傾斜した堤防上の道路に止めたミキサー車の後方で打合せをしていたところ、ミキサー車が後退し始めたので運転席にもどろうとしたときに、畑に転落したミキサー車にはさまれた。	10901	1	30～ 49
2003	3	10 ～ 11	営業用軽トラックで工事現場に向かう途中、下りカーブを曲りきれずに道路脇に設置してあるガードレールの支柱に正面より激突し、フロントガラスを破って車外に放出され、約5m下の雑木林に転落した。	30209	17	1～9
2003	3	3 ～ 4	4tトラックで走行中、大型トラックに追突されて橋の欄干に激突した。	40301	17	1～9
		21	10tトラックに競走馬を積んで高速道路を走行中、追い越し車線を走行			

2003	3	～ 22	してきたトラックに追突されて横転大破し、運転手と運転席後ろの寝台で休憩していた者が車外に投げ出され、休憩していた者が死亡した。	40301	17	50～ 99
2003	3	23 ～ 24	4tトラックを運転して走行中、対向のトラックが追い越しのために走行車線に出たときに正面衝突された。	40301	17	50～ 99
2003	3	4 ～ 5	ダムの付替道路のトンネル工事において、現場にコンクリートを搬入してきたコンクリートミキサー車が工事用の取付け道路で横転し、車両の下敷きになった。	40302	2	1～9
2003	3	3 ～ 4	トラックで国道を走行中、信号待ちをしていた4tトラックにノーブレーキで追突した。	40301	17	10～ 29
2003	3	17 ～ 18	トラックで運送先から会社へもどる途中、下りの緩やかな左カーブでセンターラインを超え、反対側道路脇の監視カメラの鉄柱に衝突して横転した。	30199	17	30～ 49
2003	3	3 ～ 4	新聞配達のためバイクで走行中、信号機のない交差点で左折したときに後方からトラックに追突された。	80205	17	10～ 29
2003	3	6 ～ 7	資材を積んである2tトラックで現場へ行く途中、会社から出てきた25tラフタークレーンと衝突した。	30109	17	1～9
2003	3	3 ～ 4	新聞配達のためバイクで走行中、信号機のない交差点を右折したときに、正面から来たトラックに衝突された。	80205	17	50～ 99
2003	3	5 ～ 6	光ケーブル設置のためのマンホール・管路点検作業で、国道の片側3車線のうち1車線を規制していたときに、4tトラックが規制車線に進入したまま走行してきて警備員3名をはね、うち1名が死亡した。	170201	17	50～ 99

2003	3	16 ～ 17	小型トラックで灯油配達途中、赤信号で停車中のトラックにノーブレーキで追突した。	80204	17	10～ 29
2003	3	22 ～ 23	トラックで高速道路を走行中、登板車線で前方を走行していた大型車に追突した。	40301	17	30～ 49
2003	3	14 ～ 15	道路脇の街路樹に雑草抑制剤を歩きながら噴霧し、抑制剤を積んだ小型貨物自動車その後方について運転していたところ、走行してきた大型貨物自動車小型貨物自動車の右側後部に追突し、そのはずみで小型貨物自動車が押し出され、抑制剤を噴霧していた者をはねた。	60101	17	10～ 29
2003	3	7 ～ 8	コンクリート製造会社に砂を運ぶため国道を走行中、地吹雪による視界不良のため先頭の乗用車が徐行したところに後続の大型トラック、ダンプ等が追突する事故にまきこまれた。	40301	17	10～ 29
2003	3	13 ～ 14	水道料金滞納整理のためバイクで市道を走行中、反対車線に進入して逆行し、トラックと正面衝突した。	170209	17	10～ 29
2003	3	11 ～ 12	おがくずを回収するため、フォークリフトで3.5tトラックの荷台最上部まで投入した。おがくず上部を平にしてシートをかけるため、荷台後部扉の固定はしごを使っておがくず上（高さ2.72m）に上り作業をしていて地上に墜落した。	80409	1	1～9
2003	3	5 ～ 6	トラックで国道を走行中、交差点で信号待ちしていたトラックに追突した。	40301	17	1～9
2003	3	2 ～ 3	夜間の道路舗装工事において、アスファルト合材を降ろすために後進してきた10tトラックの後輪にひかれた。	170201	7	1～9
		6	ドラグ・ショベルで排土を10tトラックへの積み込む作業中、傾斜地に			

2003	3	7	～	停車していたトラックが動き出したので止めようとしたところ、トラックが横転し下敷きになった。	30106	7	1～9
2003	3	11	～	打合せを終え、会社へ乗用車でもどる途中、国道で対向車線にはみ出し大型トレーラーと正面衝突し、さらに後続のごみ収集車2台に追突された。	80201	17	50～ 99
2003	3	10	～	自動車道を走行中、乗用車・トラックを含む3台が関連する交通事故が発生し、4tトラックを運転していた者が死亡した。	40301	17	1～9
2003	3	16	～	資材置場の入口付近で、入口の鍵を置こうとしていたときに、バックで資材置場に車両積載型クレーンが進入してきて、入口の壁と車両積載型クレーンとの間に頭をはさまれた。	30209	7	10～ 29
2003	2	11	～	納品後トラックで走行中、対向の大型タンクローリー車がセンターラインを越えてきて正面衝突された。	40301	17	10～ 29
2003	2	4	～	客先へトラックで納品に向かう途中、信号機のある交差点で赤信号を無視して進入してきたダンプカーに激突された。	80209	17	50～ 99
2003	2	14	～	損害調査員が乗用車で事故現場へ向かう途中、自動車道で渋滞のため停車していたときに大型タンクローリーに追突された。	90103	17	100 ～ 299
2003	2	6	～	4tトラックに工事部品を積んで国道の追越し車線を走行中、走行車線を走行していた10tトラックが右寄せをしてきて接触し、トラックはそのまま高速道路の橋脚に激突した。	40301	17	1～9
2003	2	5	～	コンクリートボックスを建設現場へ運搬途中、国道の信号のある交差点で大型トレーラーを赤信号で進入させたところ、青で進入した普通トラックと出会い頭に衝突、はずみで国道脇のコンビニエンスストア駐車場に駐車中の別の小型トラックに衝突して炎上した。	40301	17	30～ 49

2003	2	5 ～ 6	トラックで荷下ろし業務を終え、センターへもどる途中で交差点に差し掛かったときに、反対車線を走行していたトレーラーが中央分離帯を乗り越えて門型道路標識に接触したため、標識が折れて本線上に落下し運転席を直撃した。	40302	17	10～ 29
2003	2	3 ～ 4	4t平積みトラックで国道を走行中、片側車線が工事のため前方に停車していた鋼材積載トレーラーに追突し、トレーラー荷台から後方に突き出していた鋼材が運転者を直撃した。	40301	17	30～ 49
2003	2	20 ～ 21	トラックで自動車道を走行中、前方の工事車両が車線を急に変更したため避けきれずに追突した。	80209	17	1～9
2003	2	5 ～ 6	新聞配達のため自転車で県道を移動中、後ろから来た4t保冷車にはねられ、道路脇の小川に転落した。	80209	17	30～ 49
2003	2	9 ～ 10	家庭ゴミの収集作業で、傾斜のある集積場所に収集車を停車させ作業を行っていたところ、車両が動き出したのでこれを止めようとして車両側面部分と公道脇のコンクリート壁との間にはさまれ、勢いでその先の斜面を転げ落ちた。	150109	6	100 ～ 299
2003	2	5 ～ 6	雑貨の入った荷をトラックに積み込み高速道路を走行中、前方の車に追突した。	40301	17	50～ 99
2003	2	5 ～ 6	自動車道で、故障で路肩に停車中の大型トラックに後続車が追突するなど4台が絡む衝突事故が発生し、追突した車両を運転していた者が死亡した。	40301	17	10～ 29
2003	2	5 ～ 6	自動車道で、故障で路肩に停車中の大型トラックに大型トラックが追突し、はずみで追い越し車線に飛び出し、大型トラックと運転していたトラックが次々に追突した。	40301	17	1～9
		5	青果物運送のため大型トラック（13t）で走行中、工事により片側交互			50～

2003	2	～ 6	通行で停車していた大型トラックに追突した。	40301	17	99
2003	2	21 ～ 22	米（12t）を目的地の倉庫まで運送し、入口フェンスを開けて構内に 入ったのち、トラックを停車して開けた入口フェンスを閉めようとし ていたときに、トラックが動き出してひかれた。	40301	7	10～ 29
2003	2	19 ～ 20	工事現場での作業を終了して3人がワゴン車で帰宅の途中、トンネル内 でトラブルがあったのでトンネル内で停車しているところへ、冷蔵ト ラックに追突され2名が死亡した。	30105	17	1～9
2003	2	19 ～ 20	工事現場での作業を終了して3人がワゴン車で帰宅の途中、トンネル内 でトラブルがあったのでトンネル内で停車しているところへ、冷蔵ト ラックに追突され2名が死亡した。	30105	17	1～9
2003	2	10 ～ 11	トラック（4t車）で営業所にもどる途中、右折のため停車していた大 型トラックの左後方に追突し、路上に放り出され頭部を強打した。	40301	17	10～ 29
2003	2	9 ～ 10	土砂を積んで側道を走っていたダンプ・トラック（4t）が、信号のな い交差点で本線を走っていた乗用車（ワンボックス車）に衝突し、乗 用車は田んぼに転落、ダンプ・トラックははずみで本線の街路灯に運 転席側から激突し、ダンプ・トラックの運転手が死亡した。	30199	17	1～9
2003	2	17 ～ 18	雨が降っていたため、前日までに工事が終了していた民家の新築基礎 工事現場の様子を4tダンプ・トラックで見に行く途中に、対向車の3tト ラックと衝突し車外に投げ出された。	30199	17	10～ 29
2003	2	17 ～ 18	現場での作業を終えて6人乗りトラックで会社にもどる途中の国道交差 点付近で、前方の道路工事のため渋滞となっていたところに、4tト ラックが突っ込み関係車両4台の追突事故となった。	30209	17	1～9
2003	2	10 ～ 11	ゴミ運搬車からゴミをピット内に落とす際に、運転手が後部に他の者 がいたことを確認せずにパッカーを動かしたため、頭部をパッカーに はさまれ、さらにピット内に転落した。	150109	7	10～ 29

2003	2	6 ～ 7	3tトラックに家具を積載して国道を走行中、駐車場から出てきたトラックを避けようとして対向車線に飛び出し、大型ミキサー車と衝突した。	40309	17	50～ 99
2003	2	22 ～ 23	4tトラックで荷を配送した帰路、国道を走行していたときに対向車（大型トラック）がセンターラインを超えてきて衝突された。	40301	17	50～ 99
2003	2	16 ～ 17	ゴルフ場内で袋詰めにした落ち葉収集のため、2tトラックをカート道の坂の頂部に停車して運転手が運転席を離れたところ、無人のトラックが坂を下り始めたので、坂の途中で作業をしていた者が進行方向から避難しようと移動したが、トラックが坂を下る途中で脇にあった立木に接触して向きが変わり、避難している者の方に来てひかれた。	60101	6	30～ 49
2003	2	14 ～ 15	2tトラックで配達を終えて会社にもどる途中、国道バイパスの交差点で信号待ちをしていたトラックに追突した。	40301	17	30～ 49
2003	2	9 ～ 10	客先に車で荷を届けたあと市道交差点で停車していたときに、対向してきたトラックが交差点内で他車と衝突したはずみで衝突してきた。	80209	17	10～ 29
2003	2	9 ～ 10	堤防散歩道整備工事において、ダンプ・トラック（最大積載荷重3t）から荷台に積んだ砂利を下ろすため、荷台に乗ってかぶせていたシートをはがした後、あおりに足をかけて降りようとしたときに、荷台から約1.3m下に墜落した。	30106	1	10～ 29
2003	2	6 ～ 7	自動車道を大型トラックで走行中、中央分離帯のガードレールに激突して車道をふさいだところへ、後続車5台に追突され死亡した。	30301	17	50～ 99
2003	2	16 ～ 17	採石場のプラントの投入口で、20tダンプ・トラック（一人乗り）の荷台を上げて採石をプラントの投入口に投入し、荷台を下げたところ、近くにいた作業者が荷台先端部と運転席との間に頭部をはさまれた。	20201	7	10～ 29



2003	1	9 ～ 10	火災で消失した家屋の残材を、ダンプで空地に運び込み降ろしているときに、ダンプ・トラックの横（脇）を歩いていた者に荷台の残材（コンクリート片約100kg）がこぼれ落ち頭部を直撃した。	130201	4	300 ～ 499
2003	1	20 ～ 21	鋼材34tを載せた36tの大型トレーラーで国道を走行中、コンクリート製中央分離帯に乗り上げて横転した。	40301	17	10～ 29
2003	1	0 ～ 1	機械式ゴミ収集車（最大積載量2.75t）で古紙回収作業に出掛け、帰社時間になっても帰らないので、管理者が回収場所に出向いて収集車を調べたところ、収集車の内部で死亡していた。	80109	7	10～ 29
2003	1	10 ～ 11	フォークリフトで、機械装置の一部の荷（高さ約265cm×幅約85cm×奥行約80cm、質量約900kg）をトレーラー上のコンテナに積込中に、荷がバランスを崩して横転したので、コンテナ内で作業の指揮をしていた者が倒れた荷を避けようとしてバランスを崩し、地上に転落（高さ約70cm）した際にアスファルトの地面で頭部を強打した。	50101	1	30～ 49
2003	1	5 ～ 6	トラックで事業場を出発して国道を走行中、交差点で停車中のトラックに後部から追突した。	40301	17	10～ 29
2003	1	23 ～ 24	自動車道をトラックで走行中、1.5km先で発生した事故に伴う交通規制により渋滞していた最後尾の車両に追突した。	40301	17	50～ 99
2003	1	7 ～ 8	下水道管渠（きょ）築造工事で、当日に使用する資材の不足に気づいて乗用車で取引先に資材を取りに行く途中、信号のない交差点で左から来た4tトラックと出会い頭に衝突した。	30110	17	10～ 29
2003	1	10 ～ 11	工場内において、トラックの荷台から不織布をロール状にしたものを卸す作業中に、高さ1.3mの荷台から転落し、そこへ荷台に積んであったロール（378kg及び221kg）が落下してきた。	40301	4	30～ 49
		4	トラックで自動車道を走行中、片側2車線の緩やかなカーブを曲がりき			50～

2003	1	5	～	れずに路肩から外れて法面（のりめん）に乗り上げて横転し、炎上・焼死した。	40301	17	99	
2003	1	11	～	12	営業業務を終え自転車で帰社途中、交差点を横断中に左折してきたトラックに激突された。	90101	17	1～9
2003	1	10	～	11	造船工場において、15tトラックの荷台上で荷を固定していたレバースロック（7つ）の取外し作業中、最後のレバースロックが手で動かなかったために、単管パイプ（長さ0.7m）をレバーに差し込んでレバースブロックを緩めようと操作したときに、荷（1.6t）がバランスを崩したため、高さ0.4mのあおりを乗越え荷とともに1.4m下のコンクリート道路に墜落した。	40301	1	30～49
2003	1	5	～	6	50ccバイクで新聞配達中、バイク後方から来たトラックがバイク右後方に接触したため転倒し頭部を打った。	80205	17	30～49
2003	1	22	～	23	4tトラックで商品配送のため道路を走行中、左カーブで右側路肩ガードレールに接触・横転し、車体とガードレールとの間にはさまれた。	80109	17	1～9
2003	1	15	～	16	10tトラックの荷台後部床面の腐食個所の鉄板張替作業後に、後部あおり（質量約150～200kg）と荷台床面との間に胸部をはさまれた。	150102	7	100～299
2003	1	13	～	14	大型トラックで砕石プラントからコンクリートへ砂利を運搬中、国道の出口から約20m手前で大型タンクローリーと正面衝突したため、ガソリン約10キロリットルを積んだタンクローリーが爆発し2台とも炎上した。	40301	17	10～29
2003	1	13	～	14	大型トラックで砕石プラントからコンクリート工場へ砂利を運搬中、国道の出口から約20m手前で大型タンクローリーと正面衝突したため、ガソリン約10キロリットルを積んだタンクローリーが爆発し2台とも炎上した。	40301	17	30～49

2003	1	5 ～ 6	普通貨物自動車で走行中、センターラインを越えて対向の4tトラックと正面衝突した。	150101	17	1～9
2003	1	14 ～ 15	同僚と2台の40tトレーラーで建設工事現場から建設資材の鉄板を会社まで運搬中、交差点で前方赤信号で停車していた同僚のトレーラー後部に追突し、衝撃で積載していたそれぞれの車両の鉄板が運転席を突き破り、追突したトレーラー運転手が全身打撲で死亡した。	40301	17	30～ 49
2003	1	14 ～ 15	舗装修繕工事現場において、走行中の軽トラックの運転手（76歳）が居眠り運転で歩道縁石を乗り越えて約30m走行し、下校中の小学生および工事の誘導員をはねた。	170201	17	30～ 49
2003	1	13 ～ 14	空車の2t普通トラックで会社に帰るため国道を走行中、渋滞で停車中の大型トラックに追突した。	40301	17	1～9
2003	1	14 ～ 15	クレーンでフレコンバックから飼料を投入中に、トラックの荷台（高さ2.6m）から転落した。	40301	1	30～ 49
2003	1	0 ～ 1	看板の保守点検作業で、外周の点検作業中に走行してきたトラックに道路上ではねられた。	30309	17	1～9
2003	1	11 ～ 12	冷凍車（最大積載量12.9t）で野菜約10tを配送して国道を走行中、事故で破損した中央分離帯の緊急補修工事のために渋滞中の車の列に追突した。	40301	17	1～9
2003	1	14 ～ 15	看板設置作業を終えてトラックで帰る途中、運転者が居眠り運転をして右カーブを曲がれずに歩道に乗り上げて街路樹に激突したため、助手席に同乗していた者が両下腿骨折したので病院で感染症を防ぐため薬剤の投与を続け、症状が安定した14日後に両下腿骨折の手術を行ったところ、手術中に心筋梗塞を起し心肺停止となった。	30309	17	1～9

2003	1	20 ～ 21	4tトラックに積込み作業終了後、プラットホームから離そうとした時に商品を落下させてしまったので、落下した商品を積込むためトラックを停めてトラックとプラットホームの隙間に屈んだときに、サイドブレーキをかけていなかったためトラックが後進し、トラックとプラットホームの間にはさまれた。	80109	7	50～ 99
2002	1	3 ～ 4	工場からチップが積載されているトレーラーを牽引して走行中、右カーブを曲がりきれずに道路左側のガードレールを突破して約4.5m下の河川敷に転落した。	40301	17	10～ 29
2002	3	1 ～ 2	トレーラーに石材を積んで国道を走行中、カーブを曲がりきれずにガードレールを突き破り2m下の休耕田に転落した。	40301	17	1～9
2002	12	19 ～ 20	自動販売機への商品供給等のためトラックで首都高速道を走行中、他の首都高速道から車輛が強引に合流してきたため、トラックがこの車輛に追突した。	80109	17	10～ 29
2002	3	5 ～ 6	冷凍車（4t）で配達のため走行中、信号で停止中の大型トラックに追突した。	40301	17	30～ 49
2002	11	10 ～ 11	架空電線の張り替え工事で、2車線道路を片側通行にするためカラーコーンを出しているときに、後方から走行してきた軽トラックに跳ねられた。	170201	17	100 ～ 299
2002	10	13 ～ 14	仮設資材置場前の道路上で、2tトラックの荷台に積んだ荷の上に乗って結束していたロープを外そうとしたときに、荷の上（高さ約2.3m）から道路上に転落した。	30199	1	30～ 49
2002	7	16 ～ 17	2t ダンプを使用した伐採木の撤去作業で、伐採木を積み込んだ荷台で伐採木を押さえていてダンプから墜落した。	150109	1	1～9
		1	大型トラックAで自動車道を走行中、前方を走行していた大型トラック			

2002	12	～ 2	Bに追突し、弾みで中央車線に飛び出した大型トラックAに後続の大型トラックC及び乗用車2台が次々に衝突し、トラックCの運転手が死亡した。	40301	17	30～ 49
2002	3	22 ～ 23	荷物の配送のためトラックで国道を走行中、交通規制（工事中の片側通行）のため停車していた大型トラックに追突した。	40301	17	30～ 49
2002	11	2 ～ 3	トラックで首都高速道を走行中、分岐付近で他のトラックと衝突して横転し車体の下敷きになった。	40301	17	30～ 49
2002	8	21 ～ 22	トラックで国道を走行中、前方で信号待ちしていた大型トラックに追突した。	40301	17	50～ 99
2002	9	6 ～ 7	トラックで走行中、交差点で信号待ちをしている10 tトラックに追突した。	40301	17	30～ 49
2002	9	23 ～ 24	トラックで自動車道を走行中、スリップして逆向きに停車していた乗用車とその車を避けるために止まった乗用車の2台に追突し、はずみで道路左側壁を破って停止したが、ハンドルと運転席との間に挟まれた。	40301	17	50～ 99
2002	11	3 ～ 4	バラセメント車で走行中、交差点で信号待ちをしていた4 t車に追突した。	10901	17	10～ 29
2002	1	4 ～ 5	トラックで国道を走行中、対向車が中央線を越えてきたので回避したときに左側ガードレールに接触して横転した。	40301	17	30～ 49
2002	12	12 ～	大型貨物自動車で自動車道を走行中、前走の大型貨物自動車に追突しキャビンは大破した。	40301	17	10～ 29

		13				
2002	11	7 ～ 8	工事に使用した道具類の撤収のため軽貨物自動車で国道を走行中、緩やかなカーブを抜けた見通しの良い道路のセンターライン付近で前方から来た大型貨物自動車（10 t）と衝突した。	30201	17	30～ 49
2002	12	8 ～ 9	会社のトラックで工事現場に向って走行中、コンビニエンスストアに寄るため右折したときに、直進のトラックと激突し助手席の同僚が死亡した。	30209	17	1～9
2002	12	6 ～ 7	4 tトラックで椅子を納品して国道を走行中、反対車線で発生した追突事故の弾みで中央分離帯を乗り越えてきたタンクローリーに衝突され、トラックごと約5m下の法面に転落した。	40301	17	10～ 29
2002	10	13 ～ 14	4 tトラックで高速道を走行中、単独事故を起こした普通車に後方から走行してきた大型トレーラーが追突し、そのトレーラーに追突した。	40301	17	100 ～ 299
2002	1	9 ～ 10	荷卸したトラックで走行中、交差点で右折のため止まっていた車4台の最後尾に追突し運転台に挟まれた。	40301	17	10～ 29
2002	12	0 ～ 1	ごみ収集パッカー車の後部のテールゲートの機械に、脚部から背中中央部までを挟まれた。	150103	7	1～9
2002	5	5 ～ 6	トラックに荷物を積んで国道を走行中、片側2車線の左側に停車していたコンテナ車に追突した。	40301	17	10～ 29
2002	9	12 ～ 13	トラックで高速道路を走行中、中央分離帯に衝突した。	40301	17	10～ 29
2002	12	3 ～	路線バスで圧雪状態の自動車道を走行中、前車のトラックがスリップして横転したのでそれを避けようとしたが避けきれず、横転したト	40202	17	100 ～

		4	トラックに衝突した。			299
2002	12	0 ～ 1	年末の終礼に出席するため自家用車で国道を走行中、交差点で信号無視のトレーラートラック（30 t）に衝突された。	11501	17	10～ 29
2002	10	12 ～ 13	トラックに荷を積んで走行中、道路の中央分離帯に衝突し40m先で横転した。	40301	17	30～ 49
2002	12	4 ～ 5	大型トラックで高速道路を走行中、トンネル入口付近で外側のガードレールに衝突して道路中央付近に停止していた乗用車に追突し、さらに約200m先のトンネル入口のコンクリート壁に激突した。	40301	17	10～ 29
2002	11	16 ～ 17	歩道を横断歩行中に右折してきたトレーラーに轢かれた。	150101	17	1～9
2002	7	13 ～ 14	県道を大型トレーラーで走行中、下り坂の右カーブを曲がろうとして横転し、左側のガードレールを突き破って10m下に転落した。	40301	17	30～ 49
2002	12	21 ～ 22	1 tトラックで帰社するため走行中、会社の手前約300mの路上に駐車していたトレーラーに衝突した。	80209	17	10～ 29
2002	10	23 ～ 24	8 tトラックに荷を積んで自動車道を走行中、インターチェンジの料金所を突破して県道沿いの地下道入口の擁壁に衝突した。	40301	17	1～9
2002	12	11 ～ 12	15 tトラックに鉄筋13 tを積んでマンション新築工事現場に到着し、移動式クレーンで鉄筋を降ろしているときに、トラックが前方に動き出したので荷台上で玉掛け作業をしていた者が荷台から飛び降りてトラックを止めようとして、トラックと土手との間に挟まれた。	40301	7	50～ 99
		5	冷凍冷蔵車（積載荷重3 t）に青果物を積み県道を走行中、対向のト			50～

2002	5	～ 6	トラック（積載荷重6 t）と衝突し反対側の堤防下に転落した。	40301	17	99
2002	6	～ 12	3 t トラックに醤油及びみりんを約2.4 t 積んで国道を走行中、左カーブの登り坂で欄干に接触して横転しながら反対側の欄干及びガードレールに衝突した。	40301	17	10～ 29
2002	12	～ 12	25 t ダンプトラックに採石場で出たズリを積んでプラントに向かう途中、路肩より約60m下にダンプごと転落した。	20201	1	30～ 49
2002	12	～ 17	トンネルの補強工事において、用水路の管理道路（幅3.8m、アスファルト舗装）上を歩行中に、後進してきた4 t トラックに跳ねられた。	30107	17	1～9
2002	1	～ 22	食品を輸送するため大型トレーラーで走行中、橋のところで道路左側の防護柵を突き破って約11m下の河川敷に転落した。	40301	17	1～9
2002	12	～ 8	資材置場の通路で携帯電話で話をしていたところ、他の現場に向うために通路を後進してきたトラック（積載型小型移動式クレーン付き）の左後輪に頭部を轢かれた。	30110	6	10～ 29
2002	12	～ 10	廃車するトレーラーの部品（タイヤ、ミッション、燃料タンク等）を2 m後方のトレーラーに移すため、前方のトレーラーのサイドブレーキをゆるめてタイヤに歯止めをしてジャッキアップしたところ、トレーラーが歯止めを乗り越えて後方へ動き出したので、止めようとして前方と後方のトレーラーの間に挟まれた。	11701	7	1～9
2002	12	～ 10	トイレ清掃のため、用具等を載せた一輪車を押して構内の道路を移動していたときに、貨物自動車（構内専用車）が方向転換するためバックしてきて左前輪に轢かれた。	11001	6	30～ 49
2002	12	～ 7	普通貨物自動車に6人が同乗して工場現場に向けて走行中、運転を誤って流出車線に入ったので走行車線に戻ろうとしたところ、走行車線を	30209	17	1～9



		8	車両が走行していたため、これを避けようとして流出車線と走行車線を分岐しているガードレールに衝突、転倒し3人が死亡した。			
2002	12	7 ～ 8	普通貨物自動車に6人が同乗して工場現場に向けて走行中、運転を誤って流出車線に入ったので走行車線に戻ろうとしたところ、走行車線を車両が走行していたため、これを避けようとして流出車線と走行車線を分岐しているガードレールに衝突、転倒し3人が死亡した。	30209	17	1～9
2002	12	7 ～ 8	普通貨物自動車に6人が同乗して工場現場に向けて走行中、運転を誤って流出車線に入ったので走行車線に戻ろうとしたところ、走行車線を車両が走行していたため、これを避けようとして流出車線と走行車線を分岐しているガードレールに衝突、転倒し3人が死亡した。	30209	17	1～9
2002	12	16 ～ 17	勾配（10度）の住宅の進入路にトラック（1.5 t）を停車し、後部ドアを開けて荷物を取り出そうとしたときに、トラックが後進して車体に巻き込まれた。	80109	7	10～ 29
2002	12	8 ～ 9	トラック（最大積載量15 t）の荷台上で、石膏ボードを固定している台付ワイヤーを外すために積荷上を移動中、2.5m下の地面へ墜落した。	40303	1	100 ～ 299
2002	2	8 ～ 9	4 t トラックで走行中、信号待ちで並んでいる車の列に追突した。	40301	17	10～ 29
2002	4	2 ～ 3	ダム工事現場で法面吹付用機械を4 t トラック（クレーン付）に積み国道を走行中、中央線をはみ出して対向車と正面衝突した。	170209	17	30～ 49
2002	6	6 ～ 7	トラックで国道を走行中、信号機付交差点を右折してきたトレーラーと衝突した。	40301	17	30～ 49
		4	コンテナヤードでトラクターをコンテナに連結して発車しようとしたが、コンテナのエア抜きバルブを開け忘れたため動かなかったため降			

2002	11	5	車してバルブを開けたところ、トラクターのサイドブレーキをかけていなかったためトラクターが動き出し、止めようとして運転席に飛び乗ったときに、車体が右に寄って運転席の扉と隣に止めてあったコンテナとの間に挟まれた。	40301	7	10～ 29
2002	11	5	トラックで国道を走行中、交差点でハンドル操作を誤って中央分離帯にあった信号柱に激突した。	40301	17	10～ 29
2002	12	1	工事現場のエンジン発電機のオイルタンクにA重油を入れるため、タンクローリーをバックで下がっていたときに、路肩に寄りすぎて8.5m下に転落しタンクローリーから投げ出された。	80204	1	10～ 29
2002	11	5	トラックで高速道を走行中、渋滞のため本線上に約50mに亘って停滞中の車群の最後尾の大型トラック（15 t ウイング）に追突した。	40301	17	50～ 99
2002	12	20	工事現場の交通誘導業務を終了し、当日の作業報告を行うため事務所近くの駐車場から事務所へ徒歩で国道を横断中、走行してきたトラックに跳ねられた。	170201	17	30～ 49
2002	12	16 17	マンションの新築工事において、トラックの荷台（高さ約90 cm）に積んである廃材等の上に乗って軽自動車の後方にあるコンテナに廃材を投げ込んでいたときに、荷台の上で転倒し側面に立ててあったベニヤ板の上端に後頭部を打ちつけた。	30201	2	10～ 29
2002	11	13 14	ガソリンスタンドで小型タンクローリー（3 k?）に軽油を入れて走行中、右カーブで車体のバランスを崩して横転し、そのままガードレールを破って道路脇の溝（深さ約3m、幅約6m）に車体ごと転落した。	50101	17	100 ～ 299
2002	12	12 13	大型トレーラー（20 t）で輸入したカニ籠を運搬するため走行中、対向してきたトラックとすれ違い時に後部が接触し、対向車線側の路外に逸脱横転した。	40301	17	30～ 49
		14	水道連絡管布設工事において、ダンプトラックで残土を集積場所に運			

2002	12	15	んで現場に戻り、次の残土を積み込むため後進していたときに、左後方でとんぼを用いて土均しをしていた者を後輪でひいた。	30110	7	1～9
2002	12	10～11	現場近くの市道上（勾配6度）で、工事で使用された重機をトラックに積んでいるときに、トラックが後方に自走したので止めようとしてトラック運転席ドアと道路沿いのブロック塀との間に挟まれた。	40301	7	1～9
2002	5	4～5	得意先へ荷物を運送するため4 tトラックで国道を走行中、交差点で大型トラックに追突した。	40301	17	10～29
2002	12	4～5	自動車部品を積んだトラックで高速道を走行中、前方で発生した追突事故のため中央分離帯付近に停止していたトラックに追突した。	40301	17	100～299
2002	12	16～17	貨物自動車で商品の配達を行うため町道を走行中、道路右側の法面に衝突した。	170209	17	300～
2002	11	8～9	道路舗装工事において、4 t ダンプを土砂積み込み場まで約30m後進していたときに、異常を感じたので下車してダンプ後方を確認したところ、工事現場の誘導員を左後輪で轢いていた。	170201	6	30～49
2002	3	3～4	10 tトラックで国道を走行中、信号待ちしていた搬送用トラックに追突した。	40309	17	10～29
2002	8	0～1	タンクローリー車（積載荷重20 t）で国道を走行中、車が横転してセンターラインを越えて対向車線側のガードレールに激突した。	40301	17	100～299
2002	7	7～8	塩化ビニールパイプの荷を積んだトラック2台で県道を走行中、交差点で後方を走行していたトラックが信号待ちしていた同僚の運転するトラックに追突し、同僚は全身打撲で死亡した。	40301	17	50～99
		4	ダム工事現場に資材を運搬するトラック（4 t車）がダム近くで脱輪			

2002	12	5	したと会社に電話があり、会社からトラック2台が出て救出し3台で帰社する途中、1台のトラックが反対車線にはみ出して対向の10 t ダンプと正面衝突した。	40301	17	10～ 29
2002	11	10	空調機修理の打合せのため乗用車で国道を走行中、反対車線を走行していた大型トラックが中央車線を越えてきて正面衝突した。	170209	17	30～ 49
2002	10	15	自動車道の保全工事において、規制区域内で行っている樹木剪定、除草、排水溝・集水マス清掃等の安全確保のために旗振りをしていた者をバキューム車が巻き込んだ。	30199	7	30～ 49
2002	11	16	下水道管布設工事において、簡易舗装のための砕石を2 t 積ダンプから投入しているとき、別の2 t ダンプで待機中の者が砕石投入中のダンプに近づき、下降してきた荷台と車体との間に挟まれた。	30110	7	10～ 29
2002	10	19	24 t トレーラーに玉ねぎ（20 t）を積んで自動車道を走行中、左カーブで道路右側のガードレールに衝突して横転した。	40301	17	10～ 29
2002	11	17	工事終了間際に、ドラグショベルのライトの前で作業日報を記入していたときに、4 t トラックがバックしてきたため荷台とドラグショベルのタイヤとの間に挟まれた。	30110	7	30～ 49
2002	11	17	客先での営業を終えてトラックで走行中、前方の追突事故を目撃して減速した乗用車に追突し、さらに前方の事故車両に衝突して横転した。	80109	17	1～9
2002	11	19	トラックに荷物を積んで走行中、赤信号のため停車していた大型10 t トラックに追突した。	40301	17	10～ 29
2002	10	24	片側2車線のうち内側1車線をコーンで通行規制して中央分離帯脇の排水溝の清掃作業を行っているところの交通監視中、工事区域内（規制車線内）で待機していた2 t ダンプトラックが背後から走行してきて	170201	17	50～ 99

			轢かれた。			
2002	11	16	下水管理設工事において、振動コンパクターを使用して路盤碎石の転	30110	7	100
		17	圧をしていたときに、後方から方向転換をするため後退してきた2 t ダ			~
			ンプと振動コンパクターのレバーとの間に挟まれた。			299
2002	10	15	自動車道の上り線に停車していたパトロール車に、後方より走行して	170201	17	100
		16	きた10 t トラックが衝突しパトロール車に乗車していた警備員2名が死			~
			亡した。			299
2002	11	22	自動車道の上り線に停車していたパトロール車に、後方より走行して	170201	17	100
		23	きた10 t トラックが衝突しパトロール車に乗車していた警備員2名が死			~
			亡した。			299
2002	6	2	2.7 t 普通貨物自動車で高速道路を走行中、前方で発生した事故渋滞の	40301	17	50~
		3	ため停止していた大型貨物自動車に追突し、さらに走行車線に停止中			99
			の2台の大型貨物自動車に衝突した。			
2002	7	3	トレーラーで高速道を走行中、後方から来た大型トラックに追突され	40301	17	10~
		4	弾みでトレーラーが道路左側の壁に衝突して横転した。			29
2002	12	21	トラックで運転計画にそって配送業務中、交差点で信号待ちしていた	40301	17	50~
		22	大型ダンプカーに追突した。			99
2002	2	15	2 t トラックで国道を走行中、対向車線を走行してきたバンと衝突し	40301	17	10~
		16	た。			29
2002	2	7	事業所のワゴン車2台で工事現場に向けて国道を走行中、ゆるやかな	30201	17	10~
		8	カーブで先頭車が対向のダンプトラックと衝突し、ワゴン車の2列目に			29
			乗っていた者が死亡した。			
2002	10	2	トラックで国道を走行中、前方の4 t トラックが左車線に大型車が駐車	40301	17	10~
		~	していたため右車線に車線変更したため追突した。			29

		3				
2002	11	13 ～ 14	2 tトラックで家屋廃材を積んで走行中、ガードレールに接触して横転したところに対向のトラックが衝突し、さらにこのトラックに後続の乗用車が追突した。	150102	17	10～ 29
2002	7	1 ～ 2	同僚のトレーラーが故障により走行不能となったため、整備管理者が修理及びレッカー車による移動のため現場側道で作業を行っていたときに、車線変更しようとした4 tトラックがスリップして停車中のトレーラーに激突したのち管理者を跳ねた。	40301	17	30～ 49
2002	10	13 ～ 14	小売店の駐車場で、ごみ収集車で段ボールの回収作業中に収集車の回転板に上半身を巻き込まれた。	150102	7	10～ 29
2002	11	16 ～ 17	林道新設工事において、2 t積みダンプに現場内の切土を積みバックで約80m離れた盛土場所まで運搬しているときに、林道（幅員約7m）の路肩から約18m下の谷へ転落した。	30106	1	1～9
2002	7	1 ～ 2	セメントを積んで途中で仮眠を取ったのち牽引パラセメント車で走行中、右カーブで道路左側の橋の欄干に衝突し約10m下の川岸に転落した。	40301	17	10～ 29
2002	2	11 ～ 12	トラックで自動車部品を積んで国道を走行中、対向車線を横切りガードレールに激突した。	80209	17	30～ 49
2002	10	3 ～ 4	大型トラックで高速道を走行中、前を走っていた大型トレーラーに追突したのち中央分離帯のガードレールを突き破って反対車線に飛び出し、荷物を輸送中であつたトラックに衝突して運転手を死亡させた。	40301	17	30～ 49
2002	5	12 ～ 13	鋼材を積載した10 tトラックを運転して走行中、国道の交差点で停車していた10 tトラックに追突した。	40301	17	30～ 49
		23	高速道路の出口附近の工事区間において、出口分岐点に設置した工事			50～

2002	10	～	用電光表示板に用いる発電機にガソリンを給油していたところへ走行	150109	17	99
		24	していた13 tトラックが突っ込み、作業中の2名が跳ねられた。			
2002	10	～	高速道路の出口附近の工事区間において、出口分岐点に設置した工事	150109	17	50～
		24	用電光表示板に用いる発電機にガソリンを給油していたところへ走行			99
			していた13 tトラックが突っ込み、作業中の2名が跳ねられた。			
2002	10	～	国道の拡張工事において、工事に伴う片側交互通行の車両誘導を行う	170201	17	10～
		16	ための「交通誘導警備員」研修を受けていたときに、走行してきたラ			29
			イトバンにはねられ路肩のコンクリート塀に頭及び腰を打ちつけた。			
2002	10	～	4 tトラックでコーンスターチ（袋物）の受け取りに来て積み込みが終	40301	7	1～9
		20	了したが、その後も同じ場所に停まっていた夜になってトラックのド			
			アと倉庫前の柱との間に挟まれているのが発見された。			
2002	2	～	ワゴン車で国道走行中、センターラインを越えてきた対向車と衝突し	80109	17	10～
		5	て運転席が下敷きになった。			29
2002	10	～	ガソリンスタンドで保冷車に給油しその場で洗車を行っていたとこ	80109	7	10～
		0	ろ、保冷車が動き出して（エンジンは動いていなかった）道路を横断			29
		1	し堤防に衝突しそうになったので、それを制止しようと保冷車の前方			
			に回り込んで保冷車と堤防との間に挟まれた。			
2002	11	～	トラックで取引先に向けて走行中、自動車道で路側の防音壁に接触し	40301	17	1～9
		5	200m先で車体が横転して車外に投げ出された。			
2002	8	～	荷物積み込みのためトラックで取引先へ向かう途中、対向の車が車線	40301	17	50～
		12	変更時に急ブレーキをかけて停車中の乗用車に接触し、ハンドルを右			99
			に切った反動で中央分離帯を乗り越えてきて正面衝突された。			
2002	7	～	トラックに荷物を積み国道を走行中、右カーブでハンドル操作を誤っ	40301	17	1～9
		17	て左側に横転しながら路肩の石垣に激突した。			

2002	11	7 ～ 8	トラックで高速道路を走行中、片側3車線の中央の道路から左車線に車線変更していたときに前方のトレーラーに追突した。	40301	17	30～ 49
2002	1	0 ～ 1	2 tトラックで国道を走行中、ガードレールにぶつかったのち中央分離帯に衝突した。	40301	17	1～9
2002	6	3 ～ 4	道路上でカーキャリアーに車を積み込む作業で、カーキャリアーの上段に車3台積み込んだのち下段に積み込むため、上段床の昇降装置のボタンを押した状態で物を差込んで固定し、自動的に床部を上昇させながらカーキャリアーの左後部横から手を入れて上段部に積み込んだ車の下側をフックで固定していたときに、上段の床の端部と車体の梁部との間に挟まれた。	40301	7	30～ 49
2002	9	15 ～ 16	7番ゲートの施検後に右隣6番ゲート担当者からRESEALの作業方法を聞かれたので、タンク専用シャーシーの左後輪二軸の間に入り説明していたところ、ゲートクランクから発進の合図を受けたトレーラーの運転手が発進したため、後輪に轢かれて転倒し両足を骨折した。	170209	7	50～ 99
2002	10	15 ～ 16	林道と隣接している残土捨場で、11 t ダンプトラックを用いて林道工事現場の掘削土石を排出作業中に路肩が崩れたため、67m下の谷底へダンプもろとも転落し車外に投げ出された。	30106	1	10～ 29
2002	9	7 ～ 8	トラックで自動車道を走行中、緩やかな下りカーブでスリップして中央分離帯に衝突横転し、その衝撃で車外に放り出された。	170209	17	1～9
2002	10	10 ～ 11	15 tトラックで走行中、トンネル内で観光バスが故障して白煙を上げていたため後続車が徐行運転をしていたところへ追突（大型トラックに）した。	40301	17	1～9
2002	5	3 ～ 4	トラックで高速道路を走行中、前方で別のトラックによる追突事故があつて積荷の鋼材が本線上に散乱したため、後続の車両はこの鋼材を避けるために次々に停止していたところに追突した。	40301	17	30～ 49





2002	8	4 ～ 5	15 tトラックで国道を走行中、トンネルを出たところの対向車線が登坂車線を含む2車線となっていたためセンターラインを超え大型トラックに正面衝突した。	40301	17	10～ 29
2002	4	2 ～ 3	2 tトラックを回送するため自動車道を走行中、後続の大型トラックに追突され中央分離帯に衝突して横転した。なお、大型トラックの運転手が降車して追突した車に近寄っていたときに後続の大型トレーラー、大型トラックに衝突された。	40301	17	10～ 29
2002	9	9 ～ 10	4 tトラックで貨物配送のため高速道を走行中、中央分離帯のロープに接触してバランスを崩したところに後続車が衝突した。	40301	17	50～ 99
2002	10	23 ～ 24	トラックを駐車場へ駐車するため後退しているときに、何かにぶつかって乗り上げたような衝撃があったので運転席から降りて見ると、労働者がトラックの下に横たわっていた。	30209	7	10～ 29
2002	3	3 ～ 4	トラックで国道を走行中、対向車線を走行中のトラックが正面衝突し2名が死亡した。	40301	17	50～ 99
2002	6	6 ～ 7	10tダンプトラックに生コン用の砂を積んで走行中、対向車を避けようとして土手下に転落した。	40301	17	30～ 49
2002	2	3 ～ 4	2 tトラックで高速道路の左側車線を走行中、後方より中央車線を走行してきた大型トラックが左側車線に進入してきて追突され、はずみで路肩壁、中央分離帯に衝突して横転した。	40301	17	10～ 29
2002	2	5 ～ 6	大型トレーラーで荷物を運び、宿舎で休憩をとって再び遠距離にある下の場所に向けて走行中、前方のトラックに接触して横転した。	40301	17	30～ 49
2002	3	14 ～	建材を2 tトラックで現場へ運送し帰社のためトンネル内を走行中、対向のトレーラーが緩い左カーブではみ出して前方を走行していた乗用	80209	17	10～ 29

		15	車に接触し、さらトラックに正面衝突してきた。			
2002	4	6 ～ 7	幌付4tトラックにロールペーパー及び雑貨を積んで国道を走行中、荷崩れがあったと思いエンジンを切らずにサイドブレーキだけをかけて路肩に停車し、トラックの後部に回りシートをめくって点検しようとしたときに、急にトラックが後進して大腿部をトラックのシャフトに巻き込まれた。	40301	17	10～ 29
2002	4	2 ～ 3	大型トラックで走行中、トラックに追突しそのトラックが横転したので、車から降りて横転したトラックに駆け寄ろうとしたときに、後続の車が突っ込んできて2名の運転手が死亡した。	40301	17	30～ 49
2002	2	5 ～ 6	トラックで国道を走行中、赤信号のため停車中の大型トラックに追突した。	40301	17	1～9
2002	11	3 ～ 4	トラックで国道を走行中、センターラインをはみ出して対向車と正面衝突した。	40301	17	1～9
2002	8	12 ～ 13	トラックに鉄骨を積み雨が降る国道を走行中、停車中のトラックに追突した。	40301	17	50～ 99
2002	9	7 ～ 8	トラックで走行中、右後輪がバーストして中央分離帯に接触しそうになったので左側にハンドルを切ったところ、走行車線を飛び出してしまい、助手席にいた者が車外に放り出されて防音壁に激突した。	30110	17	30～ 49
2002	1	4 ～ 5	10tトラックに鋼材を積み走行中、下りの左カーブを曲がりきれずに5m下の崖に転落した。	40301	17	10～ 29
2002	2	5 ～ 6	4t保冷車でコンビニの配送センターへ向けて国道を走行中、緩い左カーブで対向車線にはみ出し10tダンプと正面衝突した。	40301	17	10～ 29

2002	9	5 ～ 6	発泡酒（5.7 t）を積んだ13 tトラックで国道を走行中、この道路と平行して建設された高速道路の中央分離帯にある橋脚に激突した。	40301	17	1～9
2002	12	11 ～ 12	会社所有のトラック（5.5 t）でコンクリート製品の荷積みのため国道を走行中、信号待ちをしていた大型トラックに追突した。	40301	17	1～9
2002	8	11 ～ 12	トラックに商品を積み自動車道を走行中、作業中の道路維持作業車に追突した。	80109	17	1～9
2002	8	21 ～ 22	営業所を出て帰宅途中で別の営業所の社員と待ち合わせるため県道を走行中、対向の大型トラックがはみ出してきて車に衝突された。	80201	17	1～9
2002	3	21 ～ 22	貨物運送のため大型トラックで自動車道を走行中、対向の乗用車が中央線を越えてトラックの右前面に衝突し、その反動でトラックはスリップして走行車線側のガードロープに接触して跳ね返され、対向車線側のガードロープを破って路外に転落した。	40301	17	100 ～ 299
2002	9	14 ～ 15	住宅新築工事において、玄関先の外溝工事のため止めてあった2tトラックからスコップで碎石を降していたときに、トラックが突然後方に動き出し、トラック荷台のあおりと玄関先の柱との間に挟まれた。	30202	7	1～9
2002	4	15 ～ 16	首都高速道をトレーラーで走行中、4台前方を走行中の乗用車が急停車したため玉突き衝突した。	40301	17	10～ 29
2002	8	3 ～ 4	4tトラック（保冷車）に冷凍鮪を積んで走行中、前を走っていた大型トレーラーに追突した。	40309	17	50～ 99
2002	8	16 ～	道路工事現場で、前日までに掘削した残土をダンプ（9t）にドラグショベルで積み終えたとき勾配約12度の仮道からダンプが動きだした	30106	6	10～

		17	ので、ドラグショベルの運転席から飛出してダンプの運転席に乗ってダンプを制止させようと併走していて轢かれた。			29
2002	10	4 ～ 5	大型トラックで走行中、3車線の中央車線前方を走行していたトラックに追突し、その弾みで左側壁に激突して横転した。	40301	17	100 ～ 299
2002	7	0 ～ 1	建築部材積込みのため4tトラックで国道を走行中、前方を走っていたトレーラに追突した。	40301	17	10～ 29
2002	8	9 ～ 10	トンネル出口より約50mの地点で交通誘導中、走行してきた4 tトラックが規制区間範囲を見誤ってセーフティコーンをなぎ倒しながら突っ込んできた。	170201	17	10～ 29
2002	8	0 ～ 1	新幹線関係の電気工事（配管、配線、アース棒の取付）を柵内で行って工具類の点検をしたのち、巻尺を持って堤防道路を横断しようとしたときに道路を走行してきたタンクローリーに撥ねられた。	30301	17	1～9
2002	7	10 ～ 11	団地のプロパンガス集合貯蔵庫ボンベの交換で、2tトラックを貯蔵庫前の坂道に駐車し貯蔵庫内の空ボンベの確認をしていたときに、駐車していたトラックが後ろに下がったためトラックを追いかけて運転席側からトラックを止めようとしたときに、トラックとガードレールとの間に挟まれた。	40309	17	1～9
2002	8	9 ～ 10	貨物用トラック（最大積載量4.5t）でH形鋼5本（長さ12m、合計約2 t）と軽量鉄鋼等を運搬し、荷降しスペースを空けるため工場前の駐車場にトラックを停車し荷卸の段取りをしていたところ、駐車場横を通った10 t ダンプの運転席上部に鋼材が引っかかったため鋼材が跳ね飛ばされ、トラック横にいた者にあたった。	80109	4	1～9
2002	8	11 ～ 12	軽自動車に3名が乗り町道を走行中、大型ダンプカーと衝突し2名が死亡した。	90103	17	1～9

2002	8	11 ～ 12	軽自動車に3名が乗り町道を走行中、大型ダンプカーと衝突し2名が死亡した。	90103	17	1～9
2002	10	12 ～ 13	4 tトラックで食肉を搬送中、対向車線にはみ出して大型トラックと正面衝突した。	40301	17	10～ 29
2002	6	0 ～ 1	自動車道の法面の草刈作業終了後、部材を回収するため3.5tトラックで走行車線から非常駐車帯へ進入しようとしていたときに後続のトラックに追突され、非常駐車帯で待機していた者がトラックと法面との間に挟まれた。	30199	17	50～ 99
2002	10	22 ～ 23	6tトラックで国道を走行中、インター付近で登坂車線に故障で駐車していた10tトラックに追突した。	40301	17	50～ 99
2002	8	16 ～ 17	現場作業を終えて帰社するため2 tトラックのエンジンを掛けて動き出したが、車止めがあることに気づいて車から降りて前輪の車止めを取り除いたときに、トラックが無人のまま動き出して轢かれた。	30108	7	1～9
2002	8	10 ～ 11	ダンプトラック（11.5 t）に道路養生の砂利を積載して運搬途中に、作業用道路（傾斜約10度）に車両を止めて運転席を降り同僚（重機オペ）のところへ歩いて向かっていたときに無人の車両が動き出し、左後輪で轢かれた。	20202	6	1～9
2002	6	15 ～ 16	国道のゆるやかな右カーブの地点を10t保冷車で走行中、反対車線を走行中の10tダンプがはみ出してきて保冷車の正面とダンプの右後方が激突した。	40301	17	30～ 49
2002	7	12 ～ 13	走行中の20tトラックが、スピードを落とすことなく停止線を突破して車線規制のため置いていた車両（2tトラック）の脇で規制区間の車両誘導を行っていた者に激突し、約30mはじき飛ばした。	170201	17	50～ 99
		11	ダム工事用道路工事でダンプトラックに土砂を積んで走行中、道路外			30～

2002	8	～ 12	に転落して下敷きとなった。	30106	17	49
2002	3	5 ～ 6	魚介類を運ぶためトラックで高速道路を走行中、急に左側に寄って路肩を逸脱し工事現場の足場及び橋脚に接触して横転した。（居眠り運転）	40301	17	50～ 99
2002	7	14 ～ 15	テレビの共同アンテナ及び関連施設の点検のため県道を2人で歩行中、進行してきたトラックに轢かれた。	30301	17	10～ 29
2002	7	14 ～ 15	テレビの共同アンテナ及び関連施設の点検のため県道を2人で歩行中、進行してきたトラックに轢かれた。	30301	17	10～ 29
2002	8	9 ～ 10	散水車を停止して給水作業を行っていたところ、散水車が動き出して接触し水路に落ちたところへ散水車の後輪も落ちたため、後輪と水路壁との間に挟まれた。	30106	6	30～ 49
2002	7	22 ～ 23	建設用資材配送のため4tトラックで国道を走行中、交通渋滞により停止していた25 tトラックにブレーキをかけないまま追突した。	40301	17	1～9
2002	7	15 ～ 16	牛乳工場の商品搬送用プラットホームにトラック（3.9t）をバックで付け運転席から降りようとしたときに、トラックが下がったためトラックとプラットホームとの間に誘導者が腹部を挟まれた。	40302	7	30～ 49
2002	9	3 ～ 4	大型トラック（10t）で国道を走行中、赤信号で停止中の大型トレーラーとトラック（4t車）に追突した。	40301	17	100 ～ 299
2002	12	23 ～ 24	トラックで国道を走行中、前を走っていた大型トラックが赤信号で停車しようとしたところに追突した。	40301	17	10～ 29
		1	大型トラックで国道を走行中、赤信号で停車中の大型トラックに追突			30～

2002	6	～ 2	した。	40301	17	49
2002	7	13 ～ 14	軽自動車で営業のため国道を走行中、対向の4tトラックが中央分離帯を乗り越えてきて衝突された。	80109	17	10～ 29
2002	7	6 ～ 7	原付バイクで新聞配達中、交差点を右折したところで右方向からきた車と激突した。	80205	17	10～ 29
2002	7	14 ～ 15	除草作業で道路に散らばった草を収集していたときに、後方より走行してきた4 t 冷凍車に激突された。	30199	17	10～ 29
2002	7	14 ～ 15	90ccオートバイで郵便物の午後の集配のため、郵便局から出て国道を横断しようとして信号待ちをしていたときに、信号を無視して進入してきた10tトラックに跳ねられた。	110101	17	30～ 49
2002	3	5 ～ 6	配送センターで荷物を載せトラックで走行中、信号待ちをしていた大型トラックに追突した。	40301	17	1～9
2002	6	9 ～ 10	乗用車で住宅新築工事現場から次の工事現場への移動中、車ごと川へ転落した。	30202	17	10～ 29
2002	6	4 ～ 5	トラックで国道を走行中、対向車線の脇からバックで出てきたトラックと衝突した。	40301	17	10～ 29
2002	11	13 ～ 14	2 t トラックで国道を走行中、対向車線にはみ出して4 t トラックと正面衝突した。	40301	17	1～9
		7	自宅から工事現場に向かってトラックで走行中、反対車線のトラック			10～



2002	6	8	～	が直前で右折したためセンターラインを超えて対向車線側に入り、後方から来た大型タンクローリーと正面衝突して車外に放り出された。	11209	17	29
2002	12	8	～	ダンボールケースを3tトラックに積み国道を走行中、対向の10tダンプカーと衝突した。	40301	17	10～ 29
2002	9	3	～	トラックで国道を走行中、対向車線にはみだし対向の大型トレーラーと正面衝突した。	40301	17	10～ 29
2002	6	19	～	自動車道をトラックで走行中、雨天のためスリップして横転し後続車に追突された。	11403	17	1～9
2002	10	1	～	金属製パイプを運搬するため国道を4tトラックで走行中、前方で約200mにわたり渋滞が発生していて、最後尾の大型トレーラーに追突した。	40301	17	10～ 29
2002	7	20	～	大型冷凍車（11t）で高速道路を走行中、トラック、路線バス、乗用車など9台の玉突き衝突事故に巻き込まれた。（合計：3人死亡、45人が重軽傷）	40301	17	100 ～ 299
2002	6	9	～	高速道路のポットホール埋め戻し工事のため路肩に停車していた標識車に、本線を走行していた大型トレーラー（14t）が追突し、警備員が跳ね飛ばされて高架下の町道に墜落した。	170201	17	10～ 29
2002	7	15	～	林道復旧工事現場に生コンクリートを運搬するためコンクリートミキサー車で林道（幅3mの砂利道）を走行中、林道の路肩から約7m下の沢に転落した。	10901	17	10～ 29
2002	6	13	～	機材センターへ仮設資材を取りに行くため軽トラックで国道を走行中、交差点で前方で右折しようとした車輛3台に玉突き衝突した。	170209	17	50～ 99
		4		大型トレーラー（20.5t）で冷凍品（19.7t）を配送中、下りカーブで横			100

2002	7	～ 5	転して橋の欄干に衝突した。	10102	17	～ 299
2002	4	7 ～ 8	トレーラーで荷を卸し数時間の仮眠ののち自動車道を走行中、道路分岐点の緩やかなカーブで道路側面に衝突した。	40301	17	10～ 29
2002	5	4 ～ 5	トラックで国道を走行中、前の大型トラックに追突した。	40301	17	30～ 49
2002	6	5 ～ 6	10t自動車で走行中、前の車を追い越すため追い越し車線に出たときに、中央分離帯に接触しその弾みで走行車線を走行中のトラックに接触して運転手が車外に投げ出された。	40301	17	30～ 49
2002	12	2 ～ 3	作業を終えて4t貨物自動車で自動車道を走行中、運転を誤って前方のワゴン車に追突接触し、ハンドルを取られてガードレールに激突した。	170209	17	1～9
2002	9	6 ～ 7	クレーン付トラック（8t）に約4tのワイヤーメッシュを積んで国道を走行中、対向車線に入って路肩（高さ約1.5m）から転落して電話線の電柱に激突した。	40301	17	10～ 29
2002	6	1 ～ 2	国道を走行していた21tトレーラーが、工事のため片側通行規制で停車していたトラックに接触して対向車線にはみ出し、走行してきた4tトラックと正面衝突した。	40301	17	10～ 29
2002	12	4 ～ 5	3tトラックで国道を走行中、はみ出し禁止区間で対向車線にはみ出し走行中の14tトラックと正面衝突した。	40301	17	100 ～ 299
2002	6	13 ～ 14	国道を軽トラックで走行中、前方のトラックを追い越そうとして反対車線にはみ出したときに、直進してきたトレーラーと正面衝突した。	30106	17	50～ 99
		11	大型タンクローリーで温泉のホテルへA重油14klを配達するため走行			50～

2002	9	～	中、急勾配の下り坂右カーブで道路左側の山肌に激突し、その後転覆	40301	17	99
		12	した。			
2002	5	14	キヤスター付きコンテナ（給食用食器等が入ったもので空の状態の質	40301	1	10～
		～	量は140kg）を小学校の敷地内にある調理場に運搬する作業を1人で			29
		15	行っていて、2tトラック（冷蔵冷凍車）後部にある昇降リフター上で			
			コンテナの下敷きとなり仰向けで倒れているところを発見された。			
2002	4	10	外訪活動のためバイクで走行中、交差点で右側から走行してきた大型	90101	17	10～
		～	ミキサー車に衝突された。			29
		11				
2002	6	18	リサイクルセンターでコンクリートの荷降し後、ミキサー車の外れて	40302	1	1～9
		～	いた雨カバーを修理しようとして高さ約3.4mのステップから墜落し			
		19	た。			
2002	5	15	取引先で集金し自家用車で帰社途中、うどん店の駐車場から出てきた	30199	17	1～9
		～	2tトラックと衝突した。			
		16				
2002	6	13	大型トラックにコンテナを積み込み雨から防ぐため荷台に上りシート	10109	1	10～
		～	掛けをしていたときに、荷台上から地上へ転落した。			29
		14				
2002	9	4	大型トラックで国道を走行中、大型トラックに追突し、さらに中央分	40301	17	10～
		～	離帯にある水銀灯に激突した。			29
		5				
2002	6	9	防犯灯の交換作業中に転落した。	30301	1	1～9
		～				
		10				
2002	5	5	トラックで国道を走行中、対向車線へはみ出してトラックと正面衝突	40301	17	1～9
		～	した。			
		6				

2002	5	0 ～ 1	ごみ収集車を運転して国道を走行中、中央分離帯に接触したはずみで左側壁、さらに中央線ガードレールに激突し、運転手が車外に投げ出された。	150103	17	30～ 49
2002	12	6 ～ 7	大型トラックで自動車道を走行中、前を走行していた大型トレーラーに追突した。	40301	17	10～ 29
2002	1	7 ～ 8	大型トレーラーで国道を走行中、右カーブを曲がりきれずに左側の法面に激突し、さらに、運転席側が電柱に激突した。	40301	17	1～9
2002	6	15 ～ 16	タンクローリーに積載したセメントをサイロに降ろすためハッチへ上ったときタンク内部圧力が抜けてハッチが跳ね上がり、その影響で地面に転落した。	40301	1	30～ 49
2002	6	9 ～ 10	1.5tトラックで国道を走行中、緩やかな下り坂でセンターラインをオーバーし対向のトラックと正面衝突した。	50101	17	10～ 29
2002	11	13 ～ 14	4tトラックで県道を走行中、対向の大型ダンプ（9.7t）と正面衝突した。	40301	17	10～ 29
2002	10	1 ～ 2	積み荷を配送するため8 tトラックで国道を走行中、対向のトレーラーが中央線をはみ出してきて正面衝突した。	40301	17	10～ 29
2002	9	16 ～ 17	レストランの解体工事で出た廃材を4 tトラックに積み自動車道を走行中、トラック右後方のタイヤがパンクしてバランスを失い横転した。	170209	17	1～9
2002	3	16 ～ 17	納品のため高速道を走行中、故障のため路肩に停車中のトラックに衝突した。	80209	17	1～9

2002	9	2 ～ 3	保冷トラック（4t車）で高速道路を走行中、前を走行していたタンクローリー車に追突した。	40301	17	30～ 49
2002	11	6 ～ 7	大型トラックで自動車道を走行中、左のフロントタイヤがパンクして路肩に停車していた大型トラックに時速約80km/hで追突した。	40301	17	50～ 99
2002	6	15 ～ 16	県道をトマトを積んだトラックで走行中、対向のトラックが中央線をはみ出してきて正面衝突した。	40301	17	10～ 29
2002	1	3 ～ 4	国道をトラックで走行中、信号停止していたトラックに追突した。	40301	17	10～ 29
2002	6	8 ～ 9	砂利採取現場の土捨場において、残土を積んだダンプ（4t）を誘導者の指示のもと後進していたところ、後進しすぎて水の溜まっている残土捨場（深さ約12m：うち水深約5m）にダンプごと転落して水没した。	170209	1	1～9
2002	3	0 ～ 1	建設現場へ生コンを運搬するため林道を走行中、左カーブの所で生コン車が横転し運転者が運転席で挟まれ胸部を強打した。	10901	17	30～ 49
2002	6	2 ～ 3	10tトラックを運転して国道を走行中、道路脇に停車して自動販売機を利用するためにトラックから降りたときに、サイドブレーキを確実に引いていなかったためトラックがバックしたので、トラックの後部に回って止めようとしたときトラックが路肩から脱輪しその下敷きになった。	40301	7	30～ 49
2002	2	1 ～ 2	鋼管を積載したトレーラーで国道を走行中、緩やかな下り坂から左カーブの上り坂に差し掛かったところで横転し対向車線側のガードレールに激突した。	40301	17	10～ 29
		14	国道の道路工事現場で、片側交互通行の交通誘導作業中に走行して来			50～

2002	6	～ 15	た普通トラックに跳ねられた。	170201	17	99
2002	6	14 ～ 15	オイルターミナルにおいて、タンクローリーにガソリン等の積み込み作業を行っていて転落し頸椎を損傷した。	40301	1	100 ～ 299
2002	5	15 ～ 16	配達先から支店へ戻るため社長が運転する1.5 t トラックの助手席に乗って走行中、国道の下り車線で道路脇のコンクリート柱に衝突し頭などを強打した。	40301	17	1～9
2002	5	4 ～ 5	フレコンバックを積んで国道を走行中、対向車のトラックがセンターラインを超えてきて正面衝突した。	40309	17	30～ 49
2002	12	5 ～ 6	バルク車（飼料運搬車・積載4 t）で農家へ飼料を配達後、会社へ戻るため県道を走行中、運転を誤って道路右側にある喫茶店の駐車場へ突入したのち駐車場の崖下（高さ約2m）の畑に転落した。	40301	17	10～ 29
2002	10	4 ～ 5	同僚と普通貨物自動車で市場で仕入れを終えて事業場へ帰る途中、運転手が居眠りをしたため路肩に停車していた大型貨物自動車に追突し、助手席の者が死亡した。	80109	17	10～ 29
2002	5	16 ～ 17	電柱建替え工事の段取り作業を行っていたところ、走行してきたトラックが駐車していた建柱車に追突したため、建柱車と高所作業車の間にいた者が両車に挟まれた。	30106	17	10～ 29
2002	4	2 ～ 3	20 t トレーラーに石膏ボードを積んで首都高速を走行中、中央分離帯に接触し衝撃で反対車線に投げ出された。	40301	17	10～ 29
2002	4	13 ～ 14	大型トラックで機械を積んで国道を走行中、道路左側のガードレールに接触して横転し運転席に挟まれた。	150109	17	1～9
		16	下水道工事現場にセメント袋を運ぶため、袋を担いで国道を横断しよ			

2002	5	17	うとしたところ、右方から走行してきた大型貨物自動車（最大積載量13.5t）に激突した。	30110	17	1～9
2002	2	21 ～ 22	トラックで国道を走行中、赤信号で停車中の大型トラックに追突した。	40301	17	100 ～ 299
2002	3	9 ～ 10	ごみ収集車で一般家庭ごみの収集中、収集車後部のごみの投入口のステップ（幅約22cm）に立ち乗りして次の収集所へ移動して、運転手が収集場所に収集車を近づけるためバックで右旋回したところ、掴んでいた蓋が突然下に落ちたため反動でステップから落ち、後退してきたごみ収集車に轢かれた。	150103	7	30～ 49
2002	9	2 ～ 3	4t車で走行中、右側面中央部の排気マフラー付近から出火していたため先路上にトラックを停止させて、運転席から降り消火活動をしているところ、後方から来たトラックに跳ねられた。	40301	17	30～ 49
2002	5	15 ～ 16	下水道工事において、歩道部分に管を布設し埋め戻しのちバックホウで敷鉄板（約800kg）を敷き並べるため、バケットのフックに玉掛け用ワイヤーを掛け鉄板の荷掛け用の穴にC形フックを掛けて吊り上げいつたん地面に垂直に同鉄板を置いたところ、穴からフックが外れたので近くにいた者が後ろに下がったときに車道に出てしまい、走行してきたトラックに跳ねられた。	30110	17	30～ 49
2002	4	12 ～ 13	10 tトラックで荷物を積んで国道を走行中、トンネル出口すぐの右カーブで谷に転落した。	40301	17	1～9
2002	4	5 ～ 6	建築資材を積んだ4 tトラックで国道を走行中、対向車線の4 tトラックがセンターラインをはみ出して来て正面衝突した。	40301	17	1～9
2002	9	14 ～ 15	得意先を訪問して軽トラックで事業場へ帰る途中、対向車線で脇見運転の大型トラックに衝突された。	80209	17	1～9

2002	5	13 ～ 14	4tトラックで搬送した空ペットボトルを配送先側がフォークリフトにより荷降ろし作業を行うのをトラック荷台の上に昇って手伝って、バランスを崩して荷台から転落した。	40301	1	30～ 49
2002	4	0 ～ 1	工事現場の工事用仮設道路上（盛土）で昼休憩中、ゴザを敷いて寝ていた者が造成工事場所までバックで移動していた2tトラックに轢かれた。	30199	18	10～ 29
2002	4	13 ～ 14	2tダンプを運転して畑を作るための土石（約700kg）を運搬中、農道の急カーブで道路に隣接した段差（約40cm）に片方のタイヤが乗り上げたためにダンプが傾いた状態で停車し、ダンプのドアを開けて運転席から外に出ようとしたときにダンプが横転し下敷きとなった。	30199	17	1～9
2002	5	18 ～ 19	2tトラックのオートマチックトランスミッション交換のため、油圧式リフトを使用してトラックを1m50cm持ち上げ前作業となるプロペラシャフトの取り外しを行ったところ、トラックが後方に動き出したためジャッキから滑り落ちてトラック前部に頭部を打たれた。	11701	6	10～ 29
2002	5	0 ～ 1	トラック（2t）で販売先に製材製品を納入して会社に帰る途中、運転を誤って対向車線に進入し対向の路線バスと正面衝突した。	10401	17	30～ 49
2002	5	13 ～ 14	工場で牛乳17tをタンクローリーに積み他の工場に向かうためカーブを時速約60kmで走行していたときに、曲がりきれず横転し電柱に衝突した。	40301	17	100 ～ 299
2002	6	6 ～ 7	車両で走行中、赤信号で停車中であった車両に追突しかけたため右ハンドルを切り回避しようとしたが間に合わず追突した。	40301	17	100 ～ 299
2002	9	5 ～ 6	荷降しを終えて会社へ戻るため県道をトラックで走行中、反対車線にはみ出して対向のトラックと正面衝突した。	40301	17	1～9
		5	11tトラックで国道を走行中、センターラインを越え反対車線にはみ出			10～



2002	2	～ 6	して前方から来た3tトラックと正面衝突した。	40301	17	29
2002	4	～ 12	セメント工場へ4tトラックで原料の受け取りに行き、トラックを止めて運転席より降りようとしたときに運転席（高さ約1m）から転落した。	10901	1	1～9
2002	4	～ 12	大学食堂に卵の配達に行きトラックの荷台上で仕分け作業をしていたところ、トラックが後退したので飛び降りトラックに轢かれた。	80109	6	10～ 29
2002	12	～ 13	出張作業を終え会社に戻るため乗用車で走行中、駐車していた車両に衝突した。	40301	17	30～ 49
2002	5	～ 8	自動車道インター付近を走行中、事故で渋滞していた前方の車に追突したのち、中央分離帯に再度激突し運転席が押しつぶされた。	40301	17	1～9
2002	4	～ 11	運送業者が運搬してきた積み荷（ヨシズ）をトラック（10t、平ボディ）の荷台から降ろす作業中、積み荷の上（高さ約3m）から足を滑らせ地上に墜落した。	80109	1	1～9
2002	3	～ 12	軽トラックを運転して県道を走行中、右折しようとした軽乗用車と衝突して弾みで横転して対向車線に飛び出し、さらに対向車線を直進していた軽乗用車と衝突した。	80201	17	1～9
2002	4	～ 14	整備工場において大型トラックのタイヤ交換のためエアコンプレッサーで空気充填を行っていたときに、鉄製リム（環状の部品）が吹き飛んで顔面に当たった。	40301	4	10～ 29
2002	10	～ 3	冷凍車で高速道を走行中、三重衝突となり最後尾で車線をふさぐように止まった大型トラックに追突した。	40301	17	10～ 29
		3	炊いた飯500kgを工場からスーパー等へ配送するため車で国道を走行			10～

2002	11	～ 4	中、赤信号で停止しようとして減速していた10tトラックに追突した。	40309	17	29
2002	9	3 ～ 4	10 tトラックに荷を積み自動車道を走行中、トンネル内で前方を走行していた大型トレーラーに追突した。	40301	17	50～ 99
2002	3	17 ～ 18	17 棧橋に停泊中の渡船に当日の午前中に貸し出していた灯油のポリ缶容 器を回収するため、貨物自動車で行き棧橋より約7.0m下の海底まで貨 物自動車ごと転落した。	80204	18	1～9
2002	4	17 ～ 18	車を納車して事業場へ帰るため国道を走行中、運転していたトラック が左側ガードレールの衝突した。	80202	17	1～9
2002	6	1 ～ 2	トラックに荷物を積んで走行中、ハンドルの操作を誤って中央分離帯 を越えて反対車線のトラックに衝突した。	40301	17	1～9
2002	7	5 ～ 6	食品団地の配送センターからスーパーへ食品を配送するため保冷車 (4t) で県道を走行中、反対車線を走行していたトラックがはみ出し てきて正面衝突した。	40301	17	50～ 99
2002	1	15 ～ 16	書類受け渡しのため自動車で行く中、前方を走行中のトレーラーの運 転席側に接触し、その弾みでもう1台前方の車輻に接触したのち、対 向車線にはみ出し対向車線を走行中のトレーラと正面衝突した。	40301	17	30～ 49
2002	4	5 ～ 6	ダイカスト部品(約3 t) を積んだ10 tトラックで国道を走行中、右 カーブの場所で道路左側に飛び出して高さ約7m下の川に転落した。	40301	17	10～ 29
2002	4	11 ～ 12	現場から現場へ2台の高所作業車で移動中、前を走行していた高所作業 車が荷を落として停車したのを後の高所作業車が気付かずに追突し、 助手席に同乗していた者が死亡した。	170201	17	100 ～ 299
		6	百貨店へ板ガラスを軽トラックで搬送し帰社のため国道を走行中、側			50～

2002	3	7	壁に激突した。	170209	17	99
2002	3	17	海産物を積んだトラック（最大積載荷重10 t）で走行中、アクアライ	40301	17	30～ 49
		18	ン入口の右カーブで後輪がスリップして車体が振れ、右側の道路壁に 車体が衝突した。			
2002	10	3	トラックで高速道の片側2車線の右側を走行中、前方を走っていたト	40301	17	10～ 29
		4	トラックが左へ車線変更して前方を走行していたトラックの後部に追突 したため、追突されたトラックが左側の路肩に激突して右車線まで横 転したところへ衝突した。			
2002	3	2	10 tトラックで営業所から本社に向かって走行中、道路を逸脱してト	40301	17	10～ 29
		3	トラックごと川に転落し、運転手は全身打撲で死亡、助手が軽傷を負っ た。			
2002	9	5	コンクリート柱7本を積んで14tトラックで国道を走行中、交差点の赤	40301	17	50～ 99
		6	信号で停車していた大型トラックに追突した。			
2002	11	11	店舗の向側にある銀行へ向かうため国道を徒歩で横断中、左方向から	80209	17	1～9
		12	来た普通貨物自動車に跳ねられた。			
2002	4	15	道路工事現場でトラックの荷台からアスファルト合材を工事用の機械	30106	1	10～ 29
		16	に投入していて、荷台より落下し頭部を強打した。			
2002	3	14	11tトラックで資材置場へ土を運搬中、交差点を右折しようとしたとこ	30201	17	1～9
		15	ろに直進してきた11tトラックと衝突した。			
2002	4	3	荷卸し作業が終了したので後部ドアを閉めようとトラックの後部にま	40301	7	100 ～ 299
		4	わりこんだときに、サイドブレーキが完全に引かれていなかったた め、トラックが後退しトラックとホームとの間に挟まれた。			

2002	1	14 ～ 15	2 tトラックの助手席に乗って配達先から会社へ戻る途中、国道上で運転者がジュースを取ろうと脇見をしてハンドル操作を誤り、トラックの片輪が歩道に乗り上げて約10m走行した後、歩道上の電柱に激突したため胸などを強打した。	40301	17	30～ 49
2002	2	8 ～ 9	荷卸しを終えて帰社のためトラックで国道を走行中、対向車がセンターラインを越えてきて正面衝突した。	80109	17	10～ 29
2002	3	13 ～ 14	交通安全施設（標識、ガードレール、カーブミラー）の新設・補修工事で出た廃材を積載型トラッククレーンへ積み込む作業中、移動するために積載型トラッククレーンを動かしたとき左前方車輪に接触した。	30199	7	30～ 49
2002	4	9 ～ 10	社宅新築工事で、既設木造2階建建物を解体して出た廃材を搬出するため、10 t ダンプトラックの荷台に乗り、クランプアタッチメントを取り付けたバックホーでの廃材積みの誘導及び荷台上の廃材の整頓作業を行っていたときに、荷台上から約3m下のアスファルト上へ墜落した。	30209	1	1～9
2002	3	0 ～ 1	10 tトラックへフォークリフトを用いて杉丸太の積み込作業中、トラックが後方へ動き出したのでフォークリフトを飛び降り後進を止めようとしてトラックの荷台と他のトラックの前部との間に挟まれた。	40301	7	1～9
2002	3	11 ～ 12	養鶏場から死んだ鶏を処分場に運ぶため軽トラックで走行中、赤信号を無視して交差点に進入してきた普通トラックと交差点内で衝突した。	70101	17	1～9
2002	2	15 ～ 16	マンション新築工事現場の入口で、警備員が生コン車の現場入場の誘導をするため公道へ出たところ、走行してきたトラックに跳ねられた。	170201	17	30～ 49
2002	3	11 ～ 12	営業先に向かうため軽トラックを運転して県道を走行中、対向車線からセンターラインを超えて走行してきたトレーラーと衝突した。	170209	17	1～9

2002	7	21 ～ 22	空荷の13 tトラックで国道を走行中、トラックが前走の車に衝突した。	40301	17	10～ 29
2002	11	5 ～ 6	トラックで走行中、車両火災のため停車していたトラックに追突した。	40301	17	10～ 29
2002	10	2 ～ 3	主要地方道の下り坂のカーブで、道路が凍結していたため乗っていたトラックがスリップしてガードレールに接触し、電柱に衝突した。	40301	17	10～ 29
2002	3	6 ～ 7	一方通行の道路上で、パッカー車の運転者が他の作業員を手伝うためパッカー車から降り、道路反対側にある塵芥収納庫に出されたごみを回収するためパッカー車前方から道路を横断していたときに、走行してきたトラックに跳ねられた。	150102	17	1～9
2002	3	13 ～ 14	製品配達のためライトバンで町道を走行中、右側の砂利採取場から町道に進入してきたダンプトラックと出会い頭に衝突した。	10806	17	10～ 29
2002	8	22 ～ 23	10 tトラックに荷を積み国道を走行中、大型トレーラーに追突し、さらに別の10 tトラックに追突された。	40301	17	10～ 29
2002	5	4 ～ 5	自動車道を大型トラックで走行中、他の大型トラックと衝突した。	40301	17	50～ 99
2002	9	4 ～ 5	トラックにドラム缶を積んで自動車道を走行中、後方より走行してきた10 tトラックに追突されて路肩の土手に乗り上げ横転した。	40301	17	30～ 49
2002	3	14 ～	町道改良工事で、ボックスカルバート設置後の埋め戻し作業中、土砂を運搬してきた10 t積ダンプを誘導するため徐行しているダンプの後	170201	6	1～9

		15	方から左前方に向けて歩行しているときに、ダンプの左前部に接触して転倒し左前輪で腹部を轢かれた。			
2002	6	1 ～ 2	10tトラックを運転して国道を走行中、トンネル内で信号停止していた10t冷凍車に追突した。	40301	17	10～ 29
2002	3	13 ～ 14	国道の路側整備工事現場において、路側に止めていたトラックの荷台でコンプレッサのホースを片づけていて、誤って道路下約10mの海岸に転落した。	30106	1	1～9
2002	12	21 ～ 22	4tトラックを運転して走行中、大型トラックがセンターラインを超えて来たため正面衝突した。	40301	17	10～ 29
2002	12	7 ～ 8	事業場から作業場所へ軽トラックで走行中、道路渋滞で停止していたところに、対向車線を後方から追い抜いてきたダンプトラック（10t）に車体右後部を追突された。	30201	17	1～9
2002	8	5 ～ 6	油圧重機部品をトラックに積み国道を走行中、赤信号で止まっていたトラックに追突した。	40301	17	10～ 29
2002	2	8 ～ 9	大型トラックを運転して製品等を運送途中、上り勾配の道路路側帯に駐車して車外に出ていたところ、トラックが後進を始めたのでトラックを追いかけ止めようとして運転席側のドアと近くにあった立木の間挟まれた。	40301	7	10～ 29
2002	7	3 ～ 4	二人で集荷センターでそれぞれのトラックに荷物を積み込み、配達先であるスーパーへ向かう途中、信号待ちで停車していた同僚の車両へ追突した。	40301	17	50～ 99
2002	5	5 ～ 6	10tトラックでアスファルト鋼材を廃材置き場に降ろした後に国道を走行中、上がったままの荷台が道路標識に衝突し、トラックが横転した。	40301	17	10～ 29

2002	7	23 ～ 24	6 tトラックに市場から青果物を積んで自動車道を走行中、追い越し車線を走行してきた10 tトラックが車体右後部に接触し、はずみで6tトラックが横転した。	40301	17	10～ 29
2002	1	9 ～ 10	10tの貨物自動車にプラスチック容器を積み込んで搬送し、容器を降ろし公道に車を移動したときに、公道ガードレールと同車左側あたりとの間に首を挟まれた。	40301	7	10～ 29
2002	2	8 ～ 9	築堤工事においてダンプ車（10 t）の誘導をしていた者が、誘導を終えて納入伝票をもらう為に誘導場所からダンプの前面に移動したときに、ダンプに残った土を完全に落とすために動かしたダンプ車の左前輪に頭部と頸部を轢かれた。	30107	7	30～ 49
2002	2	16 ～ 17	建設工事現場から社有車で会社に戻る途中の市道で追突事故を起こしたので、同乗していた者が後続車に事故を知らせるために道路に立っていたところ、後から走行して来たトラックがスリップしたため社有車とトラックとの間に挟まれた。	30199	17	1～9
2002	1	14 ～ 15	貨物自動車（2 t）で自動車道を走行中、前方の貨物自動車（2 t）が渋滞で減速していることに気づくのが遅れ、あわてて右回避しようとしたが避けきれず、左助手席部分が前方車両の右後部に衝突し助手席の同乗者が即死した。	30202	17	30～ 49
2002	1	16 ～ 17	配水管の移設工事の完了後、断水作業に伴う濁水処理確認のため道路上の消火栓バルブ脇で点検作業をしていたときに、下水道工事（他社施工）の埋め戻し用土砂をバック走行で搬入してきた4 t ダンプトラックに轢かれた。	30110	17	10～ 29
2002	2	22 ～ 23	貨物トラックで走行中、前方で乗用車、10tトラック、ライトバンの3台の玉突き事故があり、ブレーキをかけたが間に合わず停止中の10tトラック後部に追突した。・（停車中の3台の車両の乗員は車両から離れて避難していたため負傷しなかった）	40301	17	30～ 49
2002	1	15	倉庫から鋼材（コイル）をトラック荷台に積み込み、倉庫を出て荷物にシートを掛ける作業をしていたときに荷台から足を踏み外し、約1m	40301	1	10～

		16	下に背面から転落し後頭部を強打した。			29
2002	1	5 ～ 6	会社のワゴン車を運転して客先に製品を配達する途中、10tトラックと衝突した。	11409	17	10～ 29
2002	1	6 ～ 7	重油（約1000?）をタンクローリー（最大運搬量14kl）に積んで国道を走行中、長い下り坂の路面が凍結していたためスリップし、陸橋から柵を突き破って約7m下の草地に転落した。	40302	17	10～ 29
2002	10	3 ～ 4	鉄骨を積んだ大型トラックで走行中、対向車線に入ったのちガードレールを突き破って3m下の道路に転落した。	40301	17	50～ 99
2002	1	16 ～ 17	帰宅のために製鉄所の構内道路を正門に向かって自転車で走行し交差点に差しかかったところ、交差点を東進してきた11 t ダンプに衝突された。	11702	6	30～ 49
2002	1	5 ～ 6	朝刊を配達するため自転車で道路左側を走行中、後方から来た貨物自動車にはねられた。	80205	17	30～ 49
2002	11	0 ～ 1	トラック（7 t の冷蔵冷凍車）に食肉を積み込んで片側1車線の道道を走行中、対向の農家のトラックと正面衝突した。	40301	17	30～ 49
2002	1	9 ～ 10	コンクリートミキサー車で下り坂の緩い右カーブを走行中、土留め用のブロックに衝突し、その反動で反対車線のガードレールを突き破り約2m下の畑に転落した。	10901	17	30～ 49
2002	12	9 ～ 10	22 t 大型トレーラーで砂糖を積んで走行中、降雪のため右カーブを曲がりきれずに路外に転落した。	40301	17	1～9
2002	3	14 ～	国道を走行中、道路左側の縁石に乗り上げてセンターラインを超え、	40301	17	10～



		15	さらに対向車線の縁石も乗り越えて電柱に衝突した。			29
2002	1	6 ～ 7	軽トラックで会社の土場へ向かうため堤防道路を走行中、緩い左カーブのところでブレーキを掛けたときに、軽トラックが横滑りして対向の乗用車と正面衝突した。	30199	17	10～ 29
2002	1	4 ～ 5	産業廃棄物を運搬するため4tトラックで大橋を走行中、欄干を突き破り約10m下の川に転落した。	150102	17	10～ 29
2002	1	10 ～ 11	4 tトラックの荷台でコンクリート製のL字型側溝をドラグショベルで路上におろす作業中、側溝を吊った直後に地上にいた合図者がトラック運転者に前進させる合図を出してトラックが前進したため、バランスを崩して側溝とともに地上に墜落した。	30106	1	1～9
2002	6	7 ～ 8	タンクローリー（牛乳16,800?積載）を運転して高速道路の下り線を走行中、料金所手前の急な左カーブを曲がりきれずに道路右のガードレールに衝突して首などを強打した。	40301	17	10～ 29
2001	9	4 ～ 5	自動車部品を納品するため普通貨物自動車で国道を走行中、交差点において赤信号で停止していた大型トラックに追突した。	40301	17	10～ 29
2001	10	12 ～ 13	トラックで走行中、自損事故で車が動かなくなったため、後続車に事故を知らせるため三角板及び発煙筒を用意しようと車の後にまわったとき、後続車に追突された。	170209	17	10～ 29
2001	9	6 ～ 7	トラックで県道を走行中、下りの右カーブを曲がりきれずに、道路左側のガードレールを乗り越え約20m下に転落した。	40301	17	30～ 49
2001	12	8 ～ 9	トラック(2.9t吊りのクレーン付)をダムサイトの駐車場からトンネル脇の駐車場にバックで走行していたときに、その経路上の道端でトラック荷台から法面工事で使用する用具を荷降ろししていた者がひかれた。	30199	17	1～9

2001	12	12 ～ 13	自動車道を走行中、前の車に追突し、その弾みでガードレールに接触したのち約100mほど走行してトラックで炎上した。	40301	17	10～ 29
2001	12	7 ～ 8	忘年会に出すシャモ鍋の食材買い付けのため軽トラックを運転で国道を走行中、道路左側の駐車スペースに停車していた大型トラックに追突した。	140101	17	1～9
2001	12	3 ～ 4	10tトラックに荷物を積み国道を走行中、交差点手前で信号待ちをしていたトラック、乗用車が青信号に変わったので発進しかけたところに追突した。	40301	17	10～ 29
2001	4	16 ～ 17	2人で板材を資材置場までトラックで運搬してきて、1人が倉庫に確認に行っている間にトラックの荷台に乗り、墜落して頭部を打った。	140309	1	30～ 49
2001	12	9 ～ 10	駐車場から道路を挟んで反対側の歩道の舗装工事現場に行くため、国道を横断したときに、走行してきた軽トラックに跳ねられた。	30106	17	30～ 49
2001	7	8 ～ 9	2tトラックの助手席に乗り看板工事現場に向けて自動車道を走行中、乗っていたトラックの左前輪が破損してハンドルをとられたため、路肩側ガードロープ支柱に激突した。	30309	17	1～9
2001	10	13 ～ 14	産業廃棄物運搬車のエプロン上において荷台の中を点検中に、エプロンから運転席屋根に転落したのちコンクリート床上(3.38m)に転落した。	150102	1	1～9
2001	10	15 ～ 16	バイパスの中央分離帯高架側面のトンネル内の照明器具などの取替作業を3名で梯子を使用して行っていたところ、走行してきた10t貨物トラックに梯子を押さえていた者が跳ね飛ばされ、約20m引きずられた。	30301	17	30～ 49
2001	8	16 ～	営業業務を終えて会社に戻る途中、交差点で信号が青に変わり横断していたところ、左折してきたトラックに衝突された。	110101	17	50～ 99

		17				
2001	12	13 ～ 14	トラックで走行中、大型散水車で自動車道の追い越し車線を低速走行で作業中に追突した。	40301	17	1～9
2001	10	15 ～ 16	トラックで走行中、居眠り運転をして、駐車中の車輻に追突した。	40301	17	1～9
2001	12	12 ～ 13	14. 5tトラックで国道を走行中、追越車線側で赤信号のため低速度で走行していた最後尾の10tトラックに追突し、その弾みで赤信号のため停止していた他のトラック3台に玉突き衝突した。	40301	17	10～ 29
2001	12	8 ～ 9	堤防災害復旧工事において、作業場内に真砂土を運搬する10tダンプトラックが後進してきたときに、ダンプトラック左後方で誘導していた者をひいた。	30199	6	100 ～ 299
2001	12	5 ～ 6	配送のため国道をトラックで走行中、交差点付近で対向の大型トレーラーが中央分離帯を越えてきて正面衝突した。	40301	17	1～9
2001	10	14 ～ 15	トラックの点検整備で後輪(2車軸の前の車軸)をジャッキアップして車輻の下に潜り込み点検していたときに、ジャッキが転倒して車輻が後方に走行したため車輻に引きずられ下敷きになった。	40301	7	1～9
2001	12	11 ～ 12	6tトラックに食料品を積んで走行中、対向のトラックと正面衝突して道路左側の約5m下の川へ転落した。	40301	17	50～ 99
2001	12	6 ～ 7	国道に積雪があったため凍結防止剤散布作業を行っていたときに、2tダンプの後に取付けた砂巻き用の機械の中に凍結防止剤を入れるため荷台に載っていた者が徐行していたダンプの左後輪にひかれた。	30199	7	1～9
2001	12	7 ～	事業場前の道路上で駐車しておいた2tトラックの運転席に乗ろうとしたところ、後方から大型ダンプが走行してきたので運転席のドアの前	30199	17	10～

		8	で大型ダンプをやり過ぎそうとしていたところ、大型ダンプが交差点を右折する際にトラックに当たったため、ドアとの間に挟まれた。			29
2001	12	5 ～ 6	トラックで高速道路を走行中、車線を変更して先を走っていた大型ダンプカーの後部に衝突した。	40301	17	1～9
2001	11	17 ～ 18	管路施設工事において、交通誘導中の者が走行してきたトラックにひかれた。	170201	17	30～ 49
2001	12	0 ～ 1	国道の路肩に停車していたローリー車が道路の傾斜のため後方に動き出し、後方から走行してきたトラックに追突され路肩の脇にいたローリーの運転手が死亡した。	50101	17	100 ～ 299
2001	6	11 ～ 12	産業廃棄物を運搬した帰りに大型トラックで首都高速を走行中、前方の大型トラックに追突した。	40301	17	1～9
2001	11	11 ～ 12	葬儀場から造花を回収して軽トラックで走行中、センターラインを越えて反対車線に飛び出し、対向のトラックと衝突した。	80209	17	1～9
2001	9	1 ～ 2	貨物自動車で行中、信号交差点で赤信号により停車していた貨物自動車に追突した。	40301	17	30～ 49
2001	8	10 ～ 11	貨物自動車で行中、信号交差点で赤信号により停車中の乗用車に追突した。	40301	17	30～ 49
2001	8	2 ～ 3	トラックで国道を走行中、トンネル手前の上右カーブが終わる付近で故障のため停車中の大型トラックに追突した。	40301	17	10～ 29
		22	農業機械の展示会に出張した帰り道2tトラックにトラクターを積んで			30～

2001	12	23	農家を訪問したのち自動車道を走行中、前方に横転していた事故車(ワゴン車)に衝突した。	11702	17	49
2001	11	18 19	足場組み作業を終了しダンプ(2t)で自動車道を走行中、右後輪がバーストして車両が横転し、助手席にいた者が車外に放り出されて全身打撲を負った。	30209	17	1~9
2001	12	9 10	建設現場に机等の備品をリースするためトラックで走行中、大型トラックと正面衝突した。	80409	17	1~9
2001	12	3 4	新聞印刷工場で印刷した新聞をトラックに積込みトラック(2t)で国道を走行中、交差点で右折しようとして直進してきたトラックと出会い頭に衝突した。	40301	17	30~ 49
2001	12	6 7	徒歩で横断歩道を渡っていたときに交差点で大型トラックにはねられた。	80205	17	10~ 29
2001	12	8 9	建設工事現場において、ドラグショベルに給油するため約11度の傾斜地にタンクローリー車を止めドラグショベルの給油口を確認していたときに止めたタンクローリー車が動き出し、ドラグショベルのカウンタウエイト部とタンクローリー車の前部との間に胸部を挟まれた。	80204	6	1~9
2001	12	11 12	軽乗用車の助手席に乗り得意先への弁当の配達途中に、信号の無い交差点で左側道路から直進してきた2tトラックと衝突し、車外へ投げ出された。	10109	17	10~ 29
2001	12	0 1	建築現場への資材搬入を終え4tトラックで国道を走行中、追い越し禁止区域で大型トラックを追い越そうとしたときに対向のダンプトラックと衝突した。	40301	17	10~ 29
2001	11	5 6	客先より荷物を受け取り大型(5t)トラックで国道を走行中、カーブでセンターラインをオーバーし、対向の大型トラックと衝突した。	40301	17	10~ 29

2001	8	12 ～ 13	トラックでスーパーに品物を配達して走行中、車輛の前部左側を縁石に衝突して反対車線に飛び出し、対向の10tダンプトラックと正面衝突した。	40302	17	10～ 29
2001	12	16 ～ 17	土木工事現場の土質試験終了後ワゴン車で国道を走行中、右折のため減速していた車を避けようとして反対車線にはみ出してきた対向のトラックに正面衝突された。	170209	17	10～ 29
2001	12	10 ～ 11	配送業務のため営業車(2t)で国道を走行中、交差点付近で片側2車線の追い越し車線を流れにのって低速で進行していたときに後方から2t保冷車に追突され、はずみで前方の8.5t大型トラックに玉突き衝突した。(営業車と2t保冷車の運転者が死亡)	40301	17	10～ 29
2001	9	10 ～ 11	ミニドラグショベルの運転席横の点検表の交換を行っていたときに、後進してきた積載量4tのダンプトラックの後部荷台とショベルとの間に挟まれた。	30106	7	50～ 99
2001	12	11 ～ 12	農業集落道路整備工事において、土砂を降ろしたのちダンプの運転手が荷台が下がらなくなったので現場から少し離れた場所に停車させていたが、暫くして現場代理人がダンプの方を見たところ上がっていたはずの荷台が下がっていたので駆け寄ったところ、荷台とフレームとの間に挟まれていた。	30106	7	50～ 99
2001	12	13 ～ 14	トラックに2人乗車し国道を走行中、Uターンしようとしたときに後続のトレーラーが追突し、その弾みでトラックが対向車線に押し出され、走行してきた10tクレーン車と衝突した。(トラックの2名とトレーラーの1名死亡)	40301	17	50～ 99
2001	12	13 ～ 14	トラックに2人乗車し国道を走行中、Uターンしようとしたときに後続のトレーラーが追突し、その弾みでトラックが対向車線に押し出され、走行してきた10tクレーン車と衝突した。(トラックの2名とトレーラーの1名死亡)	30105	17	10～ 29
		13	トラックに2人乗車し国道を走行中、Uターンしようとしたときに後続のトレーラーが追突し、その弾みでトラックが対向車線に押し出さ			10～

2001	12	～ 14	れ、走行してきた10tクレーン車と衝突した。(トラックの2名とトレーラーの1名死亡)	30105	17	29
2001	9	5 ～ 6	2tトラックで配送先に向うため国道を走行中、交差点で右方向から進入してきたトラックと衝突して車外へ投げ出され、舗道の段差ブロックと相手車との間に挟まれた。	40301	17	30～ 49
2001	12	5 ～ 6	荷を積載してトラックで走行中、追越禁止車線で乗用車2台を追越し自車線に戻ろうとしてスリップしてきた対向車と正面衝突した。	40301	17	30～ 49
2001	10	4 ～ 5	トラックで走行中、国道出口の片側4車線に差し掛かったとき前方の信号が赤になって前の車両が減速したのに気づくのが遅れ減速中の前方車両に追突した。	40301	17	10～ 29
2001	11	16 ～ 17	4t車に発砲スチロール製品(質量約1.5t)を積んで走行中、道路工事のため停車していた前方の車両(10t車)に気付くのが遅れ追突した。	40301	17	10～ 29
2001	12	15 ～ 16	ガス管理設工事が終了し道路標示ライン引きを行っていたときに、脇見運転のトラックにはねられ2名が死亡、1名が重傷を負った。	30106	17	1～9
2001	12	15 ～ 16	ガス管理設工事が終了し道路標示ライン引きを行っていたときに、脇見運転のトラックにはねられ2名が死亡、1名が重傷を負った。	30106	17	1～9
2001	7	12 ～ 13	トラックで国道を走行中、信号待ちをしていた4t車に追突した。	40301	17	10～ 29
2001	10	15 ～ 16	機械装置の保守点検作業を終了し別の工場へ移動するため横断歩道を自転車で走行中、信号無視のタンクローリーにはねられた。	170209	17	1～9
			道路補修工事の準備作業として路面に破損箇所のマーキングをしてい			

2001	12	13 ～ 14	たところ、大型トラックが突っ込んできてマーキングしていた労働者1名と、交通誘導をしていた労働者2名の合計3名をはね、交通誘導をしていた者1名が死亡した。	170201	17	10～ 29
2001	11	11 ～ 12	トレーラー(18. 5t)で走行中、道路脇に停車してタイヤにチェーンを装着させていたところ、センターラインを超えて走行してきた対向の7tトラック・クレーンに激突された。	40301	17	50～ 99
2001	9	10 ～ 11	2tトラックで材料を取りに行くため市道を走行中、交差点において標識があつたにもかかわらず一時停止を怠って侵入し、左側から走行してきたダンプトラックと衝突した。	11209	17	1～9
2001	12	11 ～ 12	中学校に美術教材を配達するため軽四トラックで県道を走行中、センターラインを越え対向のトラックと正面衝突した。	80209	17	1～9
2001	11	7 ～ 8	コンピューターのメンテナンスのため車で走行中、対向車線をはみ出して来たトラックと正面衝突した。	80203	17	30～ 49
2001	11	13 ～ 14	同僚がタンクローリーの積載物を降ろすため所定の位置に停車しようとしたところ、そこに別のローリーが停車していたので自分で移動させ、その後作業が終わってもローリーが先程のままであったので不審に思い開いていたローリーのハッチから中を見たところローリーの運転手が倒れていた。	40302	90	30～ 49
2001	11	8 ～ 9	工事看板取り付けのための4tダンプで町道を走行中、路肩から8m下の広場にダンプもろとも転落した。	30106	17	10～ 29
2001	3	9 ～ 10	家屋の解体現場においてダンプカーから工具をおろす作業中に、足を滑らして転落し、頭部を強打した。	30209	1	1～9
			主要地方道の下水幹線内にスクリーン(格子状のごみよけ柵)を設置する			



2001	11	11	工事で、1車線を道路規制して道路上で作業打合せを行っていた作業員	30110	17	1～9
		～	4名とガードマン1名のところに、反対車線を走行していた10tダンプが			
		12	中央分離帯を乗り越えてきて打合せ中の作業員らに激突し、1名死			
			亡、4名が重軽傷を負った。			
2001	11	6	4tダンプで走行中、運転を誤って道路左側の川に転落し、車外に投げ	30109	17	30～
		～	出された。			49
		7				
2001	11	3	荷の運送のためトラックで国道を走行中、道路工事で片側交互通行と	40301	17	50～
		～	なっていたために停車していたところへ大型トラックに追突され、そ			99
		4	の弾みで前に停車中のダンプカーに衝突した。			
2001	11	6	トラックに食品(パン類)を積んで国道を走行中、前のトラックが左折し	40301	17	10～
		～	ようとして減速したところへ追突した。			29
		7				
2001	11	1	菓子原料(重量約2t)を積載して4tトラックで国道を走行中、工事渋滞の	40301	17	10～
		～	最後部に停車していた10t大型トラックに追突した。			29
		2				
2001	4	3	積荷を配送するため自動車道を走行中、料金所で料金支払のために停	40301	17	50～
		～	車していたトレーラーに追突した。			99
		4				
2001	11	11	トンネル内で採石を積んだ10tトラックを坑外の採石仮置場に運送して	30102	6	10～
		～	いるときに、前方にあった4tトラックが邪魔なので、それをバックで			29
		12	移動させていたとき、横断排水管の位置を明示するプレートを貼って			
			いた者が4tトラックにひかれた。			
2001	11	21	10tトラックで走行中、対向の4tトラックが中央線をはみ出してきて衝	40301	17	50～
		～	突した。			99
		22				
		1	最大積載量13tの大型トラック(冷蔵冷凍車)に約6.6tの冷凍肉を積載し			10～

2001	11	2	～	て国道を走行中、S字カーブの中央付近で反対方向から走行してきた大型トラックと正面衝突した。	40301	17	29
2001	11	8	～	大型トラック(10t)で走行中、ハンドル操作を誤って道路左側の縁石に乗り上げたので車道に戻そうとしたとき、センターラインを越えたため対向の乗用車と衝突した。	40301	17	1～9
2001	8	2	～	トレーラーで走行中、黄色点滅で交差点に進入したところ赤点滅側から進入してきた4tトラックの側面に衝突した。	40301	17	1～9
2001	4	9	～	倉庫横の港湾荷役作業場所を走行していた小型貨物自動車(最大積載量1t)が、岸壁の車止めを乗り越え海に転落した。	11209	1	1～9
2001	11	6	～	飼料を積んだ大型トレーラー車で走行中、左カーブを曲がりきれずに道路右側の土手に衝突、その後に横転し、運転席で挟まれた。	40301	17	10～ 29
2001	9	3	～	タクシー(空車)を運転していて交差点で信号待ちをしたのち青信号で発進したところ、右方向より赤信号を無視して交差点内に進入してきた普通貨物自動車と出会い頭に衝突した。	40201	17	100 ～ 299
2001	11	9	～	大型トラックで自動車道を走行中、トンネル内の走行車線が工事規制を受けていたため追い車線を走行していたときに走行車線内で作業をしていた作業車2台に次々に接触し、更に先頭の作業車に追突した	40301	17	10～ 29
		10		後、トンネル壁面に衝突して炎上し、トラック運転手及び同乗者1名が死亡した。			
2001	11	9	～	大型トラックで自動車道を走行中、トンネル内の走行車線が工事規制を受けていたため追い車線を走行していたときに走行車線内で作業をしていた作業車2台に次々に接触し、更に先頭の作業車に追突した	40301	17	10～ 29
		10		後、トンネル壁面に衝突して炎上し、トラック運転手及び同乗者1名が死亡した。			

2001	10	4 ～ 5	魚の競売場に行くため他の労働者の運転する自動車に同乗し、競売場の付近の国道で途中下車して道路を横断していたところトラックにはねられてた。	80109	17	1～9
2001	10	1 ～ 2	水産加工品等を積み込んだ大型トラック(11t)で走行中、緩やかな左カーブでハンドル操作を誤って対向車線を超えて路外に逸脱し、車外に放り出された。	40301	17	10～ 29
2001	10	5 ～ 6	トレーラーに荷を積み走行中、対向のダンプトラックが交差点手前で渋滞に気づき急ブレーキをかけたが雨天で路面が濡れていたため反対車線に飛び出してきてトレーラーの前方とダンプの右側面が衝突した。	40301	17	10～ 29
2001	9	7 ～ 8	資材置場へ材料を運ぶためトラックで国道を走行中、センターラインをオーバーして対向のトレーラーと正面衝突した。	40301	17	10～ 29
2001	10	10 ～ 11	バラセメント運搬用タンクローリーのタンク上部で粉末セメントの積み込み作業中に、タンクローリーのタンク上部から地面に墜落した。	40302	1	1～9
2001	8	0 ～ 1	商談のため乗用車で県道を走行中、センターラインを40cmほどオーバーしたため対向車の普通貨物自動車と正面衝突した。	10805	17	10～ 29
2001	10	5 ～ 6	活魚車(5tトラック)で漁協からイカを仕入れて自動車道を走行中、右に緩いカーブで道路左側の法面に乗り上げ横転した。	80109	17	1～9
2001	8	11 ～ 12	3tダンプで掘削したアスファルトガラを11.5km離れた仮置場に運搬し、その場所にあったハンドガイドローラー、ランマーを積んで現場に戻る途中、見通しの良いS字カーブで対向の4tトラックがセンターラインを超えてきたため正面衝突した。	30199	17	1～9
		1	閉店後、売上金を夜間金庫に入れるためバイクで走行中、無灯火で駐			10～

2001	10	2	車していたダンプの後部に追突した。	80204	17	29
2001	10	13 ~ 14	林道の改良工事において、ダンプトラックが林道上の工事現場とは別の箇所で約20m下に墜落した。	30199	17	30~ 49
2001	10	20 ~ 21	魚の仕入れに向かうためトラックで国道を走行中、前方を走行していた農耕車に衝突し、反対車線に横転した。	80209	17	1~9
2001	9	5 ~ 6	荷を運ぶためトレーラーで自動車道を走行中、前のトレーラーに追突したため運転していたトレーラーから燃料の軽油が飛散し、双方トレーラーに火災が発生し、追突した運転手が焼死した。	40301	17	10~ 29
2001	10	6 ~ 7	積載型トラッククレーンに鉄製品を積み納品先の近くで待機中に地盤がぬかるんでいたため身動きが取れなくなったので、国道のガードレールにトラッククレーンのブームを伸ばしてフックをかけ、巻き上げることによって脱出したが、脱出した道路が左下がり勾配になっていたため惰性で動き出したので慌ててトラックに乗ろうとしてトラックにひかれた。	40301	7	30~ 49
2001	9	15 ~ 16	トレーラー荷台に積んでいたプラスチックを10tダンプ車に積み替える作業で、ダンプのシート納め台に乗り移ったときにバランスを崩して墜落し、隣接していたダンプの着脱式荷台上部で頭部を強打した。	11709	1	30~ 49
2001	8	5 ~ 6	リネン類を配送するため2tトラックで国道を走行中、対向の大型トラック(10tバルク車)が故障停車中の大型トラックに追突して対向車線にはみ出してきたため正面衝突した。	11703	17	50~ 99
2001	10	8 ~ 9	4tトラックから鋼矢板60枚を降ろす作業が終わり、次の作業に移るため、4tトラックの後部とその後で駐車していたトラック(移動式クレーン付)の間を通り抜けようとしたときに、荷降ろしが終了したトラックが帰社しようとエンジンを掛けたところギアがバックに入っていたため、4tトラックが40~50cm後退し、トラック(移動式クレーン付)と4t	30110	7	10~ 29

			トラックとの間に挟まれた。			
2001	4	4 ～ 5	荷の配達を終え約2時間の仮眠を取り、トラックで国道を走行中、交差点で赤信号のため停車していたトラックに追突した。	40301	17	1～9
2001	10	4 ～ 5	トラックで自動車道を走行中、左側の壁部分に衝突した反動により中央分離帯を乗り越え、約26m下の市道に墜落した。	40301	17	50～ 99
2001	9	9 ～ 10	インターチェンジ付近で側道工事のために交通整理等をしていたところ、軽4貨物自動車が路肩の規制線を超えて進入し激突された。	170201	17	30～ 49
2001	10	17 ～ 18	2tトラックで自動車道を走行中、センターラインを越えて対向車線に飛び出し、対向の大型トラック(10t)と正面衝突した。	11502	17	10～ 29
2001	10	11 ～ 12	食肉の配達業務を終え軽トラックで県道を走行中、tネル出口付近の緩い右カーブで対向車線をはみ出してきた大型トラックと正面衝突した。	10101	17	10～ 29
2001	9	4 ～ 5	トラックで毛布を配送するため高速道路を走行中、前方を時速約40kmで走行していたトレーラーに追突した。	40301	17	10～ 29
2001	8	4 ～ 5	普通貨物車で走行中、上り坂を低速で走行していた大型トレーラー右後部に追突した。	40301	17	10～ 29
2001	10	17 ～ 18	作業が終了した積載形トラッククレーンを敷地内から後進で県道へ出すため後方の県道センターライン付近で誘導していたとき、右側より進行してきた2tトラックに跳ねられて17m飛ばされた。	30209	17	10～ 29
2001	10	3 ～	荷の積み下ろしを終え貨物自動車で行中、自損事故で道路をふさぐように横向きになっていたトラックを避けきれずに衝突した。	40301	17	10～ 29

		4				
2001	10	21 ～ 22	前日の夜フェリーターミナル到着のフェリーに積まれていた大型トラックのトレーラー部分(箱型荷台)を搬出するため、トラクターヘッド(運転席)とトレーラー部分とを連結しエアブレーキホースを接続したときに、船内が傾斜していたため大型トラックが逸走し、隣に停車中の大型トラックとの間に挟まれた。	40301	7	10～ 29
2001	8	9 ～ 10	個人宅の新築工事において、路盤の埋め戻しで2tダンプに積んだ砂利を溝に入れるため、ダンプ後方で誘導を行っていて、溝に砂利を降ろし終わったダンプに前進の指示を行ったが、運転手がギアの操作を誤って後退したため、ダンプの荷台とコンクリート擁壁との間に挟まれた。	30202	7	10～ 29
2001	9	1 ～ 2	荷卸しを終えて国道を走行中、路上に駐車していた大型トラックに追突した。	40301	17	30～ 49
2001	9	20 ～ 21	4tトラックで走行中、前方で発生していた事故で停車中の車輛(6台)の列に前方を走行していた車輛が追突し、この車輛に避けきれずに追突した。	40301	17	30～ 49
2001	6	16 ～ 17	販売した通信機器のアフターフロー業務を終え軽ワンボックス車で国道を走行中、交差点を右折する車に続いて青信号中に右折しようとしたところ、前方より直進して来た4tトラックと側面衝突した。	80109	17	50～ 99
2001	10	10 ～ 11	産業廃棄物を処理場に運搬しトラックでバイパスを走行中、左側壁に衝突し車外に投げ出された。	150102	17	1～9
2001	9	8 ～ 9	工場の解体工事現場で、廃材を運搬するため敷地内の道路を後退していたダンプに作業者がひかれた。	30209	7	10～ 29
		2	国道を大型トレーラーで走行中、道を塞いで停車していた他のトレー			10～

2001	10	3	ラーに運転席正面から激突した。	40302	17	29
2001	8	1	0 昼の休憩時間中、工事現場から50m離れた村道脇の木陰で昼寝をして いて、午後からの作業のため同村道をバックで進入してきた10tダンプ トラックの右後輪にひかれた。	30106	17	1~9
2001	9	9	8 トラックで高速道路を走行中、トンネル手前で追い越し車線を走行し ていたライトバンが走行車線に進路変更をした際に追突され、弾みで トンネル入口のコンクリート壁に激突した。	30203	17	1~9
2001	10	1	0 11t大型トラック(保冷車)に同乗して魚箱20tを積み国道を走行中、速度 超過(65~70km/h)のため右カーブを曲がりきれずにガードレールに 衝突した。	40301	17	10~ 29
2001	9	6	5 散水車で道路工事現場に向う途中、高速道路ジャンクションで車線変 更のため左に急ハンドルを切ったところ散水車のバランスが崩れて ガードレールに衝突して横転し、反動で車外に投げ出された。	30106	17	1~9
2001	7	15	14 得意先へ納品のため4tトラックで国道を走行中、カーブで対向の大型 トラックが中央車線をはみだしてきてその後方部に衝突した。	10109	17	10~ 29
2001	10	8	7 積載量32tのダンプに原石を積んで走行中、蛇行した坂道で運行経路を 外れ、約20~30mの崖下に転落した。	20201	1	30~ 49
2001	9	6	5 新聞配達を終え50CCバイクで市道を走行中、事業場に向かう途中、対 向の2tトラックが走行車線にはみ出してきて正面衝突した。	80205	17	30~ 49
2001	9	10	9 路肩で側道工事の交通整理をしていたとき、軽4貨物車が路肩の規制線 を突破してきて衝突した。	170201	17	100 ~ 299
		14	事業場前の道路で2tトラックから荷を降ろす手伝いをしていたとこ			100

2001	9	～ 15	ろ、後方から小型トラックが追突し、2台のトラックの間に挟まれた。	80201	17	～ 299
2001	3	～ 11	作業現場にコンクリートを運搬し、待ち時間を利用して車両の洗車を行うため車両ホッパー部のステップ(高さ約3m)に登って洗車を行っていたときに足を滑らせ地面に落下した。	40302	1	1～9
2001	9	～ 14	貨物自動車(3.2t)で走行中、緩やかな右カーブを曲れずにそのまま直進し民家に突っ込み頭と胸を強打した。	40301	17	50～ 99
2001	7	～ 17	自社倉庫においてトラックの荷台から建設部材を積み下ろし、作業終了後、専務が労働者に隣接している別倉庫へ徒歩で行くように命じトラックを移動するため後向きで町道に出たときに歩行中の者をひいた。	30109	17	1～9
2001	8	～ 13	冷蔵食品の配送のため4tトラック冷蔵車で国道を走行中、対向の4tトラック平ボテ車と正面衝突した。	40301	17	10～ 29
2001	8	～ 5	トラックを運転し客先から会社車庫に帰るため国道を走行中、信号待ちの車の列に追突した。	40301	17	10～ 29
2001	9	～ 4	荷を降ろしたトレーラーで走行中、対向車線にはみ出して対向の大型トラックと正面衝突した。	40301	17	10～ 29
2001	8	～ 23	トラックで高速道路を走行中、対向の追越車線を走行中の車が前の車と接触して中央分離帯を乗り越えてきたため正面衝突し、さらに後続車にも追突された。	40301	17	10～ 29
2001	8	～ 23	建材を積んだ4t車で追越車線を走行中、左車線から乗用車が急に割り込んできて4t車に接触した。はずみで、4t車が対向車線に飛び出し、対向の25t車と正面衝突した。	40301	17	30～ 49



2001	9	0 ～ 1	4t貨物自動車で荷物を運び国道を走行中、対向の大型トレーラーが、走行車線をはみ出したため対向車の荷台車両後部に衝突した。	40301	17	10～ 29
2001	9	5 ～ 6	大型トラック(最大積載量13,600kg)で自動車道を走行中、走行車線にはみ出て停車中の大型トレーラーに追突した。	40301	17	10～ 29
2001	9	3 ～ 4	トラックで国道を走行中、緩やかな右カーブで対向車線に進入し、道路脇の自動販売機と建築物に接触したのち走行車線に戻り左側の建築物に激突した。	40301	17	10～ 29
2001	9	22 ～ 23	食品トレーを輸送するため普通トラック(4t車)で国道を走行中、渋滞車輻に接近したため追突を避けるため対向車線にはみ出したときに対向の大型トラック(10t)と正面衝突した。	40301	17	100 ～ 299
2001	9	2 ～ 3	荷物を配送するため4tトラックで国道を走行中、対向の10tトラックが突然センターラインを越えて侵入してきて正面衝突した。	40301	17	10～ 29
2001	4	7 ～ 8	新聞配達のため国道を歩いて横断していたところ、左側から来たトラックと接触し、10数m飛ばされた。	80205	17	1～9
2001	9	2 ～ 3	国道をトラック(最大積載量10t)で走行中、センターラインを超えたため対向のトラック(最大積載量4t)と正面衝突した。	40301	17	10～ 29
2001	8	11 ～ 12	大型トレーラーで豚の飼料を積み国道を走行中、下り勾配の急な左カーブを曲がりきれず約1.2m下の休耕田に転落し、さらに国道から農地に降りるコンクリート道路に激突した。	40301	17	10～ 29
2001	8	5 ～ 6	原付バイクで朝刊の配達中、T字路交差点で右折するためバイクを降りて待機していたところへ、右方向からダンプトラックが進行してきてひかれた。	80205	17	10～ 29

2001	8	18 ～ 19	自動車道のパーキングエリアにおいて、トラックボディの前側のリベットが取れて走行中に音がするので状況を確認するため、運転席側の梯子から屋根上に上がったところにバランスを崩し約2.6m転落した。	40301	1	1～9
2001	8	12 ～ 13	トラックで国道を走行中、赤信号で停車中の大型トラックに追突した。	40301	17	1～9
2001	4	0 ～ 1	塵芥収集車で国道を走行中、赤信号のため減速していた前方のトラックに追突した。	150103	17	10～ 29
2001	7	10 ～ 11	配達先で荷物を降ろしトラックで走行中、左側ガードレールに接触し、360度回転しながら中央ガードレールに激突するまでの間に車外に投げ出され、頭を強打した。	80109	17	10～ 29
2001	8	14 ～ 15	道路の補修工事において、舗装路面の測量作業を行っていたときに4tトラックが走行してきたので誘導者が対向車線を通行の合図を行い、トラックが対向車線に進路変更し、その後、走行車線側に戻ったところで跳ね飛ばした。	30106	17	100 ～ 299
2001	8	13 ～ 14	青果市場よりスーパーへ野菜を配送し終え4tトラックで国道を走行中、信号待ちで停車中の10tトラックの後部へ追突した。	40301	17	10～ 29
2001	7	9 ～ 10	町宮公園の桜の防除作業で、北側斜面の薬剤散布を行ったのち、南側斜面の薬剤散布を行うため軽トラックで移動中、軽トラック荷台に乗っていて荷台上の薬剤タンク(270L)とともに転落した。	140302	1	10～ 29
2001	7	12 ～ 13	トラックで高速道路を走行中、走行車線が他の事故により停滞していたので前方の大型トラックが追い越し車線に変更しようとしたところに追突した。	40301	17	1～9
		22	2t車に荷の積み込みが終了したのでいったん前進して停車し後部扉を			

2001	7	～ 23	閉めていたところ、車が前に動き出したため車前部に回り車を押し止めようとしたがそのまま押されて前方に停車していた4t車との間に挟まれた。	40301	7	10～ 29
2001	8	0 ～ 1	大型トラックで国道を走行中、停車中の大型トレーラーに追突し、さらにその前に停車中の大型トラックに玉突き追突した。	40301	17	1～9
2001	8	23 ～ 24	国道をトラックで走行中、対向車線から雨でスリップしたトレーラーが進入してきたためトレーラーの左側後部に衝突した。	40301	17	30～ 49
2001	8	16 ～ 17	住宅設備機器の配送が終了し2tトラックで国道を走行中、対向の乗用車がカーブを曲がりきれずにセンターラインをはみ出してきて衝突した。	80109	17	10～ 29
2001	8	12 ～ 13	トラックで国道を走行中、対向のトラックがスピンして中央線をはみ出してきて正面衝突した。	40301	17	1～9
2001	8	22 ～ 23	車輛メーカーに車輛の購入代金を納入しトレーラーヘッドで高速道路を走行中、台風の強い横風を受けてトレーラーヘッドが中央分離帯に激突しその反動で反対側の側壁に激突した。	40301	17	1～9
2001	8	14 ～ 15	同僚運転者と2人で不用になった卵を車で運搬し事業場内の道路脇に掘った穴に廃棄したが道路がUターンするには道幅が狭かったため、同僚運転手は後進を始め、道路三叉路付近で荷台より転落したことに気づかぬまま後進を続け、車の後輪でひかれた。	70101	7	1～9
2001	8	21 ～ 22	4tトラックで国道を走行中、赤信号で待機中のトレーラーに追突した。	40301	17	30～ 49
2001	8	14 ～	自動車道で渋滞でとまっていた車の列の最後尾に停車していたところ、大型トラックに追突され7台が関係する玉突き事故となった。	140302	17	1000 ～

		15				9999
2001	8	6 ～ 7	配達先へ向け2tトラックで国道を走行中、緩やかな左カーブでセンターラインをはみ出し対向の大型トラックと正面衝突した。	40301	17	50～ 99
2001	8	2 ～ 3	10tトラックで支店に向かうため高速道路を走行中、前走の9tトラックに追突した。	40301	17	10～ 29
2001	7	4 ～ 5	取引先の荷物を運搬し終えトラックで国道を走行中、道路工事で渋滞していたトラック等の列に追突した	40301	17	50～ 99
2001	5	9 ～ 10	4tトラックで資材置場に「土」を運ぶ途中、県道の下り急カーブで曲がりきれずに進行方向右側の斜面壁に衝突し、運転席側を下にして横転しトラックと斜面壁との間に挟まれた。	30199	17	1～9
2001	2	13 ～ 14	自動車道の路肩に寄せられた雪塊の排出現場において、雪塊を現場後方に設けられた雪捨場まで運搬するため雪塊を満載した4tダンプトラックがバックで進行中、後方にいた者を左後輪でひいた。	30309	17	10～ 29
2001	8	10 ～ 11	市道雨水幹線工事において、市道上に仮置きされていた自由勾配側溝(コンクリート製たて2m、横72cm、高さ96cm)の継ぎ目部分の凸部をグラインダーで研磨していたときに、後退してきた2tダンプトラックと自由勾配側溝との間にはさまれた。	30199	17	10～ 29
2001	3	10 ～ 11	道路舗装のため片側交互通行の誘導中、止まれの合図を無視して進入してきた大型トレーラを制止させようとトレーラの前に出たはねられた。	170201	17	1～9
2001	3	7 ～ 8	バイクで集金した購読料を会社に届けるため走行中、交差点で右折してきたトラックに衝突した。	80205	17	30～ 49
		22	農産物加工処理センターの施設改修作業が終り貨物自動車(2tダブル			50～

2001	8	～ 23	ピックアップ、7人乗)で旅館に帰る途中、道路交差点で左方より直進してきた大型貨物自動車と衝突した。	11301	17	99
2001	7	12 ～ 13	空荷のトラックで走行中、前方の4tトラック後部に追突し、さらに中央分離帯ガードレールに衝突した。	40301	17	50～ 99
2001	8	3 ～ 4	4tトラックでサッシを積載し走行中、インター付近で本線と都市高速道の分岐点のガードレールに衝突し、横転炎上した。	40301	17	30～ 49
2001	7	17 ～ 18	作業終了後、10km下流にある寄宿舍へ4t積載型小型クレーンで走行中、現場から2km下流の林道(幅約3.5m)から約20m下の崖下に転落した。	30108	17	1～9
2001	7	5 ～ 6	10tダンプで高速道路を走行中、路肩にダンプを停車していたときに後続の大型トラックに追突され、はずみで前方に駐車中の大型トラックに追突した。	30106	17	1～9
2001	7	10 ～ 11	トラック(10tのウィング車)で荷を積んで国道を走行中、信号待ちで停車していたところへ後続のトラックに追突された。	40301	17	10～ 29
2001	3	2 ～ 3	大型貨物自動車で高速道路を走行中、先行車両同士で衝突していたところに衝突し、その衝撃で天井が崩れ、運転席と天井との間に挟まれた。	40301	17	30～ 49
2001	7	23 ～ 24	大型トラックで野菜を運び終え国道を走行中、工事で渋滞中の最後尾のトラックに激突した。	40301	17	30～ 49
2001	7	14 ～ 15	マンションの修繕工事において、駐車場補修のため2tダンプで合材工場にアスファルト合材を取りに行き、合材を積んだのちシートを掛けるときにダンプの荷台(高さ1.07m)から墜落した。	30201	1	1～9
		9	トラックから精密機械(質量約400kg)を降ろすため、荷台の奥から「手			30～

2001	6	～	10	動式リフト」で「テールゲートリフター」の搬器の上まで引き出したときに荷とともにコンクリートの地面に墜落し下敷きになった。	40301	1	49
2001	3	～	22	21 マイクロバスのチェーンを装着作業中に、対向車線の大型トラックがスリップしてバスに接触したので道路反対側のバス停留所に逃げたが、この大型トラックの後から別の大型トラックが追突してバス停留所に突っ込んでひかれた。	40202	17	10～ 29
2001	7	～	2	1 タクシーで乗客を送ったのち、点滅信号がある交差点を右折して国道に出ようとしたとき右から直進してきた大型トラックと衝突した。	40201	17	10～ 29
2001	7	～	7	6 トラックで自動車道を走行中、対向のタンクローリーがセンターラインを超えて乗用車に衝突し、さらにその後にはいたトラックに衝突してきた。	50101	17	30～ 49
2001	7	～	9	8 積荷の砂利を運搬先のコンクリートプラントに降ろし空車で戻る途中、右折待ちで停車していた10tトラックに追突した。	40309	17	10～ 29
2001	3	～	12	11 歩道の舗装工事現場でアスファルト骨材を積んで待機していた10tダンプから4tダンプに積み込むため、4tダンプのあおり上で10tダンプの運転者に合図を送っていて高さ146cmの位置から転落し、頭部を強打した。	40301	1	1～9
2001	7	～	5	4 トラックで国道を走行中、前方のトラックに追突した。	40301	17	1～9
2001	7	～	15	14 荷の輸送を終え4tトラックで走行中、緩い右カーブで対向車線にはみ出したため、対向の実車の大型トラック(11.7t)と正面衝突した。	40301	17	10～ 29
2001	7	～		9 ライトバンで国道を走行中、大雨で路面がぬれていたため追い越し車線上でスリップして車体が横向きになったままセンターラインを超	30302	17	1～9

		10	え、対向の大型トラックと正面衝突した。			
2001	7	5 ～ 6	大型トラックで国道を走行中、道路工事のため停車中の車両の列の最後尾のトラックに、追突し、6台の玉突き事故になった。	40301	17	1～9
2001	7	15 ～ 16	「移動動物園」のため貨物自動車を運転し動物を輸送中、カーブを曲がり切れずに直進し、斜面を約10m転落した。	140302	17	100 ～ 299
2001	7	4 ～ 5	エアコンを配送するため2t車で走行中、国道舗装工事のため片側交互通行になっていたため停車していたところ、最後部に10tトラックが追突しセミトレーラー、10tトラックなど4台が玉突き事故となった。	40301	17	30～ 49
2001	7	12 ～ 13	大型トラックで高速道路を走行中、中央分離帯付近に両前輪をバーストさせた大型トラックが停車していたのに気づくのが遅れ追突した。	40301	17	50～ 99
2001	7	23 ～ 24	トラックで高速道路を走行中、前方で発生した追突事故を避けようとした前方の車が中央分離帯に乗り上げて停止したので後続の大型車がこれを見て急停止し、この車に追突した。	40301	17	10～ 29
2001	6	6 ～ 7	石油製品20?を積み大型タンクローリーで高速道路を走行中、左カーブを曲がりきれずに右ガードレールを突き破って法面を転落し、その後、料金所へ入る道路上に横転した。	40301	17	10～ 29
2001	6	9 ～ 10	3tトラックが高速道路上で故障したのでレッカー車2台で移動する準備をしていたところ、後方から走行してきた10tトラックに激突された。	40303	17	30～ 49
2001	6	12 ～ 13	4tトラックにガードレール部材を積んで走行中、10tトラックを追い越して走行車線に戻ろうとしたときに前方を走行していた普通乗用車に接触したのでハンドルを右に切ったところ、中央分離帯に激突した。	40301	17	10～ 29
2001	7	2 ～	荷を取りに10tトラックで国道を走行中、中央分離帯を乗り越えて道路案内標識柱に激突したあと会社事務所に衝突した。	40301	17	10～ 29

		3				
2001	7	23 ～ 24	光ケーブルの敷設のため軽トラックの荷台にクッションドラムを載せて行っていて、監視のため荷台に乗車していたところ、車線変更のためトラックが右に曲がったときに荷台から転落した。	30301	1	50～ 99
2001	6	4 ～ 5	引越し荷物を積んで4tトラックで国道を走行中、出口付近において信号で停車中の車両(10tトラック)に追突した。	40301	17	50～ 99
2001	7	14 ～ 15	採石作業現場において、岩山に被った土砂を10tトラックで運搬し深さ約40mの窪みに落とす作業で、土砂を窪みに落とすときに路肩に寄せすぎたためトラックとともに約40m転落した。	20201	1	1～9
2001	7	5 ～ 6	2. 5tトラックに建設資材を積み国道を走行中、道路工事の交通規制で停車していたところへ後続のトラックに追突された。	40301	17	1～9
2001	7	10 ～ 11	木造住宅の解体工事で出た廃材等をトラックに積み込む作業をトラックのプロテクター(運転席のガード)の上で行っていて、杉の丸太(長さ5.7m、直径36cm)を載せたときに丸太もろとも転落した。	30209	1	1～9
2001	7	7 ～ 8	運搬する殺菌乳をタンクローリーに積み込む準備のためタンク(高さ3.1m)上からタンク前部に入り、フィルター部からマンホールに戻るときに墜落した。	40301	1	50～ 99
2001	6	5 ～ 6	バイクで新聞の配達中、民家の敷地から左折して道路に出ようとしたときに、坂道を下ってきた軽トラックと衝突した。	80205	17	30～ 49
2001	6	12 ～ 13	冷凍庫内の照明器具の取り替えを終え電工2人がトラック(3t)で高速道路を走行中、燃料切れで路肩に停車中の大型トラックに衝突した。	11702	17	10～ 29
2001	6	12 ～	冷凍庫内の照明器具の取り替えを終え電工2人がトラック(3t)で高速道路を走行中、燃料切れで路肩に停車中の大型トラックに衝突した。	11702	17	10～ 29



		13				
2001	6	8 ～ 9	4tトラックで高速道路を走行中、渋滞で低速走行中の2tトラックに追突した。	40301	17	50～ 99
2001	7	6 ～ 7	自動車で新聞の配達中、11tのトラックと衝突した。	80205	17	1～9
2001	7	14 ～ 15	ミニバイク(カブ)で走行中、市道交差点で2tトラックと出会い頭に衝突した。	90101	17	10～ 29
2001	6	11 ～ 12	工事区域内の道路上に2tダンプの前でケレン用具にビニールテープを巻いていたときにダンプが発進したためにかれた。	30106	7	1～9
2001	6	2 ～ 3	トラックで高速道路を走行中、前方に速度の遅いトラックが走行していたため追い越そうとしたところ、乗用車が三車線の真中の車線を並ぶようにして走行していて追い越すことが出来ず、そのまま前方のトラックに追突した。	80109	17	0
2001	5	10 ～ 11	4tミキサー車に生コンクリートを積んで県道を走行中、スピードを出しすぎて右カーブを曲がりきれずに、道路脇のあぜ道に横転した。	10901	17	10～ 29
2001	5	2 ～ 3	4tトラックに水道管用の塩ビ管を約1t積んで国道を走行中、緩い右カーブで、前方の車を追い越そうとして対向車線にはみ出して対向の大型トラックと正面衝突した。	40301	17	10～ 29
2001	5	10 ～ 11	4t車で同僚の車(10t車)と国道を走行中、信号のない交差点手前で、道路工事作業中のため停止の合図があったので同僚の車が減速をしたところに追突した。	40301	17	1～9
		9	故障車(3t貨物)を移動させようとしていた作業車両等(故障車1台、作業			

2001	6	～ 10	車2台)に、後方から走行してきた10tトラックが追突した。	11701	17	1～9
2001	6	6 ～ 7	生鮮品を運搬するため国道を4tトラックで走行中、走行車線で信号待ちをしていた10tトラックの後部に追突した。	40301	17	30～ 49
2001	6	9 ～ 10	タンクローリーの上部で、タンク上部にあるハッチに小麦粉を吸入するホースを取り付ける作業をしていて地上に転落した。	40301	1	100 ～ 299
2001	6	14 ～ 15	トレーラーで走行中、前方の軽自動車を追い越そうとして左車線へ急ハンドルを切ったときに運転操作を誤り、中央分離帯のガイドレールに激突して車外に投げ出された。	10901	17	10～ 29
2001	2	4 ～ 5	普通貨物自動車で市場に向って走行中、交差点で信号待ちのために止まろうとしていた大型貨物自動車に追突した。	40301	17	10～ 29
2001	6	15 ～ 16	建具の取付工事を終え次の現場へ軽ワゴン車で向かって走行中、県道の赤信号で停車していたときに後から来た大型保冷車に追突され、さらに前方にいた乗用車に追突して炎上し、焼死した。	10509	17	50～ 99
2001	4	0 ～ 1	LPガスの検針業務のため軽トラックで県道を走行中、スピードを下げずに緩い左カーブに進入したため曲がりきれずに対向車線にはみ出し、対向の10tトラックと衝突した。	80204	17	1～9
2001	6	4 ～ 5	大型トラックで高速道路を走行中、約5 km先の工事の影響で渋滞していた列の最後尾の大型トレーラーに追突し、さらに前にいた大型トラックやJRの定期バスに次々と追突して計5台の玉突き事故となった。	40301	17	1～9
2001	6	19 ～ 20	トラックで高速道路を走行中、道路左壁面に衝突し、反動で走行車線を飛び出して、対向の大型トラックと正面衝突した。	30203	17	1～9
		17	ダンプトラックの運転台をジャッキアップする油圧シリンダーのベア			

2001	5	～ 18	リングを修理するため、運転台をジャッキアップし、油圧シリンダーの取り付け部分を外して作業を行っていたときにジャッキアップした運転台が降下して挟まれた。	40301	7	1～9
2001	6	～ 11	荷降ろしを済ませ大型トラックで国道を走行中、左カーブの下り坂を曲がりきれずに竹山に激突した。	40301	17	100 ～ 299
2001	6	～ 15	キャリアカー(2t)で走行中、国道交差点において赤信号で停止していたトレーラーに追突した。	80202	17	30～ 49
2001	5	～ 14	バキュームカー(2t)を納車したのち代車のバキュームカー(2t)を運転して走行中、自社に帰る途中、前走のトレーラーが停車しているのに気づくのが遅れて対向車線側に出たところ、対向車と接触して回転し、左側壁に激突した。	40309	17	10～ 29
2001	5	～ 15	生命保険の営業のため乗用車で走行中、交差点で右手方向から走行してきた4tダンプと激突した。	90103	17	10～ 29
2001	6	～ 10	ゴミ収集車でごみの収集中に後部ホッパーの上部のステップで休憩していたところ、同僚がゴミを投入して積み込みボタンを押したため、その拍子にバランスを崩しパッカー回転部分に巻き込まれた。	150103	7	10～ 29
2001	4	～ 2	大型トラックで県道を走行中、信号待ちで停車していた大型トラックに追突した。	40301	17	10～ 29
2001	6	～ 16	側道の拡張工事において、車両誘導中に、後退していたトラックと接触し頭部を左後輪にひかれた。	170201	6	50～ 99
2001	5	～ 9	盛土及び整地工事において、山土を土取場から現場まで10tダンプトラックで運搬中、道路左側の豚舎に激突した。	30199	17	30～ 49

		10				
2001	4	21 ～ 22	軽トラックで事業場内道路(未舗装、幅約5m、傾斜角約20度)を走行中に、運転操作を誤って路肩から右前輪が脱輪したため運転席から降りようとしていたところ、軽トラックが傾き用水路(幅約3m、深さ約3m)に軽トラックとともに転落した。	70101	1	10～ 29
2001	6	16 ～ 17	トラックで自動車道を走行中、前方の乗用車に追突し、さらにその前方の観光バスに追突し、炎上した。(トラックの運転手及び乗用車の助手席と後部座席に乗車していた者が死亡、乗用車の運転手が重傷、バスの乗客18人が軽傷)	40301	17	30～ 49
2001	6	9 ～ 10	ごみ収集車で市道を走行中、交差点で左側から進行してきた普通乗用車と出合い頭に衝突し、ごみ収集車は車道わきの電話ボックスに衝突して運転席側に横転した。	150103	17	1～9
2001	5	7 ～ 8	早朝から荷物を届けるため前日に4tトラックに荷を積み自宅に乗り帰っていて、朝になってトラックのシートカバーに溜まった雨水を取り除くため荷台に乗りシートを引っ張ったところ、勢いあまって荷台から転落した。	40301	1	10～ 29
2001	6	4 ～ 5	活魚運送の帰路トラックで走行中、前方の大型トラックが料金所手前のため減速しハザードを点灯したが気づかずに追突した。即死状態であった。トラックは空荷であった。	40301	17	30～ 49
2001	5	7 ～ 8	4t貨物トラックで走行中、前方の大型トレーラーに追突した。	40301	17	50～ 99
2001	5	10 ～ 11	客先に荷物を届けるため4tトラックで走行中、左方向より直進してきた大型コンクリートミキサー車に衝突された。	40301	17	10～ 29
2001	5	5 ～	重機を積載したトレーラーで走行中、緩やかな下り坂でバイパスの建設現場に突っ込み、さらに50m先の田んぼに転落した。	40301	17	10～ 29

		6				
2001	5	8 ～ 9	軽トラックに商品を積載し国道の側道を走行中、右カーブで曲がりきれずに道路脇の電信柱に激突した。	10104	17	30～ 49
2001	5	16 ～ 17	大型トレーラーで高速道路を走行中、右カーブを曲りきれずに左側の壁面(連絡道路の壁)を突き破り、左下の道路に転落した。	40301	17	10～ 29
2001	5	9 ～ 10	大型トラックで県道を走行中、大型トラックが右カーブを曲りきれずに左側の縁石に激突し、その勢いで対向車線に進入し対向車に激突した。	80109	17	10～ 29
2001	2	7 ～ 8	引越し作業現場へ向うためトラックで走行中、太陽の光に視界が遮られて前方に停車中のダンプに衝突した。	40301	17	1～9
2001	5	2 ～ 3	急斜面のところで積載荷重2tのダンプトラックを後退させていたときに、トラックの左後輪が作業通路脇の路盤材(廃コンクリートを粉砕したもの)の山に乗り上げ、バランスを失って運転席側が下になって横転し、トラックと路面との間にはさまれた。	40301	2	50～ 99
2001	5	8 ～ 9	2t保冷車に冷凍食品を積んで走行中、追突事故のため対向車線に飛び出してきた車輜と衝突しさらに後続車にも追突された。	40301	17	10～ 29
2001	5	17 ～ 18	解体工事現場で発生した廃材(畳)をトラックで運搬し、トラックから畳を降ろすために荷台をダンプさせていたところ、荷台に積まれていた畳が倒壊して荷台から滑り落ち、荷台周辺にいた作業員に激突した。	30309	6	1～9
2001	5	5 ～ 6	10tトラックでドラム品を積み国道を走行中、先行する4～5台の車両を追い越そうとセンターラインを越えて対向車線を走行しているtpおも2tトラックと正面衝突し、更に後続車に接触した。	40301	17	10～ 29
		5	トラックで得意先へ商品を配達中に、道路上にいたドラグショベルに			50～

2001	5	5 6	追突した。	80101	17	99
2001	5	8 9	ドラグ・ショベルで床掘りした残土をダンプトラックに積み込んでいるときに、トラック運転手が席から離れて作業を見ていたところ、ダンプが急に動き始めたので止めようとダンプに駆け寄り後輪の下敷きになった。	30108	7	10～ 29
2001	4	10 11	大型トレーラーの荷台上で積み荷(配電盤用鉄板)の荷降ろし作業中、荷台から足を滑らして高さ1.6m下の床面に梱包箱(250kg入り鉄板)とともに落下した。	40301	1	10～ 29
2001	5	9 10	始業時の車両の洗車・整備でダンプカーの荷台アームのグリスアップを終えた同僚がアームの安全ブロックを外すためにエンジンを始動させた際にギヤがローに入ったままでサイドブレーキをかけていなかったため車両が前進し、前方でサイドバンパーの修理をしていた者が車両と自車との間に挟まれた。	40301	7	10～ 29
2001	3	21 22	道路交通量の調査終了後に調査場所の幅員等を計測中、道路に近接していたトラックターミナルから出てきて右折しようとした大型トラックにひかれた。	170202	17	1～9
2001	5	5 6	電気部品を積んだ4tトラックで国道を走行中、対向の10tトラックがセンターラインを越えてきて正面衝突した。	40301	17	10～ 29
2001	5	18 19	道路において、故障車両にけん引台車を装着しているときに、走行してきた車両に追突され、さらに左後輪で頭部をひかれた。	170209	17	1～9
2001	5	5 6	トレーラーに鋼材を積み走行中、カーブで車両が横転しガードレールと積み荷との間に挟まれた。	40301	17	10～ 29
		19	4tトラックで工事用フェンスを集荷して走行中、道路左側の縁石に接			10～

2001	5	～ 20	触したのち右側の標識柱に衝突した。	40301	17	29
2001	4	5 ～ 6	10tトラックのグリスアップのため荷台をあげて作業をしていたところ、安全ブロックなどを使用していなかったため、荷台が降下し荷台と車体との間に首を挟まれた。	40301	7	1～9
2001	4	4 ～ 5	引越し荷物を積んだ同僚が運転する4tトラックの助手席に同乗し走行中、脇見運転で前方の大型トラックに追突した。	40301	17	10～ 29
2001	4	2 ～ 3	冷凍食品を4tトラックに積んで走行中、中央分離帯に衝突し、運転手が死亡した。	40301	17	50～ 99
2001	5	21 ～ 22	鉄骨をトレーラーに積んで国道を走行中、ゆるい左カーブを曲がりきれず右側のガードレールに接触し電柱に激突した。	40301	17	30～ 49
2001	4	14 ～ 15	2tトラックで注文のあった肥料を個人農家数件に配達中、十字路で右方向から進入してきた軽乗用車と衝突。	70101	17	10～ 29
2001	4	8 ～ 9	雑貨品を運ぶためトラックで走行中、道路工事を知らせる大型標識車に衝突した。	40301	17	10～ 29
2001	5	22 ～ 23	10tトラックにフォークリフト(質量8.9t)を積載し国道を走行中、交差点で赤信号のため停止していた大型車輛に追突した。	40301	17	50～ 99
2001	4	16 ～ 17	国道の交差点付近で故障のため走行不能になった10tダンプカーの修理を行っていたところ、停車場所が緩やかな登り坂の道路の路肩だったためダンプカーがゆっくり後退し、左後輪付近にいた者がひかれた。	80202	7	30～ 49
		1	10tトラックに荷(砂糖10t)を積み国道を走行中、対向車線にはみ出し、			30～

2001	4	～ 2	走行してきた大型トラックと衝突した。	40301	17	49
2001	4	～ 14 15	工事現場の監督助手が軽トラックでカメラ屋に寄りその後現場で打ち合わせして営業所に戻る途中、緩やかなカーブでセンターラインを超え対向の大型トラックと正面衝突した。	30109	17	10～ 29
2001	4	～ 17 18	工事の資材搬入に使用していたダンプトラックのあおりを閉じようとしていたとき、後進たためひかれた。	30110	7	1～9
2001	4	～ 11 12	農免道路で砂利をトラックで運搬中、対向乗用車と正面衝突し、対向車線のガードレールを突き破り約16m下の荒れ地に転落した。	30199	17	1～9
2001	4	～ 5 6	トラックターミナルにおいて、11tトラックから荷を降し、車両の後部でアオリを閉めて幌を固定していたとき、他の運転者が運転席に乗り込みエンジンをかけようとしてギアをニュートラルに切り換えたところ車両が後進し、車両の後部とプラットホームとの間に挟まれた。	40309	7	100 ～ 299
2001	4	～ 7 8	工事の手直し作業に行くため、道具小屋からスコップを取り出して砂利を積み込んで行く小型ダンプのところに向かって構内を歩いていたところ、処分する古タイヤを積み込むために後退してきた重機運搬車(8t)の左後輪にひかれた。	30106	7	1～9
2001	4	～ 12 13	園芸用植物を大型トラックで運送してきて荷を降ろそうとしたとき、荷卸口に他社の4tトラックが駐車していたので移動させ次に荷卸口に自車を移動させて運転席から降りたところ4tトラックが下がってきて自車との間に挟まれた。	40301	7	1～9
2001	3	～ 4 5	路上に停車していた自らが運転していたトラック後部のパワーゲートと荷台との間に頭部をはさまれた。	40301	7	0
		9	大型ダンプカー(10t)で高速道路を走行中、出口料金所へ向かうカーブ			10～



2001	2	～ 10	を曲がりきれずにガードレールに接触して横転した。	150102	17	29
2001	4	13 ～ 14	貨物(重量300kgと10.4t)を貨物トラック(最大積載量13.2t)に積載し高速道路を走行中、渋滞で停車していた大型トラックに追突した。	40301	17	30～ 49
2001	3	5 ～ 6	引越荷物を積んだ普通トラックを同僚と2人で交替運転しながら自動車道を走行中、右前輪がパンクしたため追越車線にトラックを停めて2人で修理していたところ、走行してきた大型トラック(11t)に追突され、普通トラックとガードレールとの間に挟まれて死亡、同僚も重傷を負った。	40301	17	10～ 29
2001	2	6 ～ 7	現場で使用する材料を取りに4tダンプトラックで走行中、大型トレーラーに追突した。	30301	17	50～ 99
2001	1	11 ～ 12	空瓶の回収作業で、空瓶を入れてある路上のボックスをトラックの荷台に積み込むためトラックを停車し運転席を離れたときに、停車してあったトラックが動きだしたため、それを止めようとしてトラックに乗り込もうとしたが間に合わず、トラックと付近にあった電柱との間に挟まれた。	80109	6	10～ 29
2001	3	11 ～ 12	集金のため乗用車で国道を走行中、交差点を右折しようとしたときに、後方を走行中の4tトラックを追い越してきた軽トラックに追突された。	90101	17	10～ 29
2001	4	8 ～ 9	10tトラック(ウイングボディー)に積んだ空パレットの荷卸のため、荷台に積み重ねた発泡スチロール板の上に乗り荷崩れを直していたときに、バランスを崩し2.52m下のアスファルト地面に墜落した。	40301	1	10～ 29
2001	4	2 ～ 3	軽トラックで国道を走行中、センターライン線を越え、対向の軽乗用車と衝突した。	80205	17	50～ 99

2001	4	4 ～ 5	雑貨(衣料品等)を積載した10tトラックで高速道路を走行中、前方を走っていたトレーラー(鋼材積載)に気付くのが遅れ追突した。	40301	17	10～ 29
2001	4	7 ～ 8	納品のため2tトラックで来て駐車場の奥にトラックを止め、事務所で納品場所の確認して駐車場内を徒歩でトラックまで戻ろうとしていたところ、バックで駐車場に入ってきた別の納品業者の、4tトラックにひかれた。	40301	7	10～ 29
2001	4	4 ～ 5	トラックで産業廃棄物(廃プラスチック)の入ったコンテナを最終処分場へ運搬するため国道を走行中、緩い右カーブで運転操作を誤ってトンネルの側壁に接触し横転して炎上した。	150102	17	30～ 49
2001	1	7 ～ 8	タンクローリー車で走行中、下り坂でスリップを始め約50mスリップしたのち橋の欄干に衝突、約20m下の川に転落した。	40301	17	100 ～ 299
2001	3	8 ～ 9	出張で、宿泊先のホテルから車で帰社途中、前の車を追い越すために車線変更したときに中央分離帯に衝突し、横転して車外に放り出された。	150109	17	50～ 99
2001	4	15 ～ 16	軽トラックで農道を走行中、交差点でコンクリートミキサー車と衝突した。	30209	17	10～ 29
2001	4	11 ～ 12	災害発生地内工事において、玉石積みの裏込め用砕石を積んで2tダンプトラックをバックしていたがドラグショベルが作業を行っていたため、移動するように運転手に声をかけるためダンプを停車し、運転席から降りて2tダンプの後方へ歩いているときにダンプが動き出して激突された。	30199	6	10～ 29
2001	4	16 ～ 17	国道において、中古乗用車3台を貨物船に積込むためキャリアカーへの積込み作業を行っていたときに、走行してきた4tトラックに激突され、1名がキャリアカー後部の鉄柱と積載済みの車との間に挟まれた。	80202	17	1～9

2001	4	13 ～ 14	駐車中の重機運搬用23tトレーラーの側面で打合せを行っていたときに、走行してきた重機運搬用8.5tトラックの荷台とトレーラーの荷台との間に腹部をはさまれた。	40301	7	30～ 49
2001	4	12 ～ 13	大型トラックで国道を走行中、交差点で信号待ちのため停車中の大型トラック後部に追突した。	40301	17	100 ～ 299
2001	3	20 ～ 21	アスファルト資材を積込みに行くため10tダンプカー2台で県道を走行中、三叉路信号で赤信号のため停車した同僚のダンプカーに追突した。	40309	17	1～9
2001	4	22 ～ 23	トラックで国道を走行中、交差点で、道路左側の縁石に前輪を乗り上げて横転して、トラック前部が大破し道路に投げ出されて全身を強打した。	40301	17	10～ 29
2001	3	4 ～ 5	トラックに洗濯機60台を積んで走行中、左折のため減速していた前方のトレーラーに追突した。	40309	17	1～9
2001	4	16 ～ 17	外注先へパレットの回収へ行き重ねてあったパレットの一番上が他社のものであったので、市道の向いにある資材置場へそのパレットを運搬しているときに市道上で軽トラックにひかれた。	10203	17	10～ 29
2001	3	23 ～ 24	トラックで国道を走行中、道路工事用信号で停車していた大型車に追突した。	40301	17	50～ 99
2001	4	5 ～ 6	4tトラックで国道を走行中、緩い左カーブを曲がりきれずに対向車線にはみ出し、電柱に衝突した。	40301	17	50～ 99
2001	4	9 ～ 10	防潮堤補強工事において、鋼製杭の角度を測定していたとき、軽貨物自動車(箱型)が工事敷地内に進入してきてはねられた。	30199	17	0

2001	4	17 ～ 18	国道改良工事で、当日の作業を終了し、2tトラックで走行中、ガードレールを突き破り崖から約20m崖下に転落した。	30106	17	30～ 49
2001	3	9 ～ 10	道路新設工事において、測定の補助作業をしていたときに、碎石を満載しバックしてきたダンプトラックにひかれた。	30106	7	10～ 29
2001	3	13 ～ 14	2tトラックで荷物の配送を終えて国道を走行中、右折のため方向指示器を出し止まっていた10tダンプカーに後ろからノーブレーキで(時速50k g位)追突した。	40301	17	1～9
2001	2	2 ～ 3	トレーラーで国道を走行中、前方より車がセンターラインを超えてきて衝突し、道路から約8m下に転落した。	40301	17	1～9
2001	3	18 ～ 19	2tトラックで走行中、交通渋滞により停止していた4tトラックに追突し、その衝撃で次々と玉突き状態となった。	40301	17	30～ 49
2001	3	2 ～ 3	道路舗装工事のため路上で交通誘導を行っていたときに、4tトラックにはねられた。	170201	17	1～9
2001	4	10 ～ 11	社内研修の宿泊場所の下見のため、2tトラックで走行中、センターラインをはみだしてきた対向車(3tトラック)と正面衝突し、運転手が死亡、助手席に乗っていた者が負傷した。	30199	17	10～ 29
2001	4	18 ～ 19	自動車整備工場において、フロントバンパーの取り替え作業を終了したミキサー車にナンバープレートを取る付ける作業を行っていたときに、他の者がミキサー車を移動させたためひかれた。	11701	7	10～ 29
2001	3	16 ～ 17	トラックで国道を走行中、反対車線にはみ出し対向の大型トラックと正面衝突した。	40302	17	10～ 29

2001	3	4 ～ 5	夜間の道路舗装工事の警備員が同僚に小用のため交代を求められ徒歩で進行中、走行して来たトレーラーに後方から追突された。	170201	17	30～ 49
2001	3	11 ～ 12	荷受けのためトラックで国道を走行中、緩い左カーブで対向の4tトラックと正面衝突した。	40301	17	100 ～ 299
2001	2	12 ～ 13	トラックで納品のため国道を走行中、積雪のためタイヤチェーンを取付けているときに後方から走行してきたトラックが凍結路面でスリップし激突した。	40301	17	10～ 29
2001	3	11 ～ 12	トラック(2t)で現場へ向けて走行中、前方で発生したライトバンとオートバイの接触事故を避けようとしたときに前方を走行中のトラック(10t)に追突した。	30201	17	30～ 49
2001	3	6 ～ 7	箱物等の雑貨を積んで国道を走行中、交差点で信号待ちのトラックに追突した。	40301	17	10～ 29
2001	3	13 ～ 14	2t保冷車で国道を走行中、交差点で赤信号のため停車中のトラックに追突した。	40301	17	50～ 99
2001	3	4 ～ 5	新聞配達を軽トラックで行っていたが、雪で脱輪したので、公衆電話で連絡するため国道左側を歩いているときに、後方からきたトラックにはねられた。	80205	17	1～9
2001	3	1 ～ 2	客の自動車の運転を代行して国道を走行中、対向の大型保冷車が中央線をはみ出してきたため正面衝突した。	170209	17	10～ 29
2001	3	10 ～ 11	4tトラックで国道を走行中、信号交差点において赤信号で停車していたトラックに追突した。	40301	17	30～ 49

2001	2	4 ～ 5	納品のため普通トラックで高速道路を走行中、前方を走行中の大型トレーラーに追突した。	40301	17	10～ 29
2001	3	17 ～ 18	農道に11tトラックを停車してブルドーザーを積み込む作業を行っていたところ、道板からブルドーザーが路肩法面に滑り落ちたため、ブルドーザー運転手が車体を路上に戻すべく操作を行っている間に、トラック運転手が何らかの原因で前進したトラックにひかれた。(ブルドーザーの運転手が最後に見たときには、トラック運転手は運転席にいた)	30106	7	1～9
2001	3	9 ～ 10	同僚と2人でトラックへ荷物の積込みを終え荷物の点検を行っていたときに、後方からきた軽トラックにはねられた。	80109	17	1～9
2001	3	6 ～ 7	大型トラックで自動車道を走行中、パーキングエリアから本線への合流地点で進入路のガードレールに激突した。	150102	17	1～9
2001	2	20 ～ 21	トラックで走行中、トンネル出口付近で道路左側の法面に乗り上げ、横転した。	40301	17	10～ 29
2001	3	11 ～ 12	トラック(クレーン搭載型)で、廃車をトラックの荷台へ積み込む作業中、ワイヤーの玉外しを行っているときにバランスを崩し、荷台側面のあたりから転落した。	80109	1	10～ 29
2001	3	5 ～ 6	トラックから荷を卸すため後部の扉を開けようとしたときにトラックが動き出したので、運転席のサイドブレーキを引きに戻ろうとして、脇に駐車中の車とトラックとの間に挟まれた。	40301	7	1～9
2001	3	9 ～ 10	道路側溝の集水枡(蓋付き)内に溜まった土砂を歩道上に取り出すため集水枡に近づいたときに道路を走ってきたトラックにはねられた。	30109	17	30～ 49

2001	3	5 ～ 6	10tトラックで自動車道を走行中、追い越し車線上において普通トラックが右前輪のパンク修理をしていたので走行車線側にハンドルを切ったところ、普通トラックの左側後部に衝突した。	40301	17	10～ 29
2001	3	5 ～ 6	朝刊を配達のため自転車で国道を走行中、直進してきた大型トラックと衝突した。	80409	17	1～9
2001	3	21 ～ 22	大型トラックで走行中、前方でワンボックス車の単独横転事故があって渋滞中の最後尾に停車していたセミトレーラーに追突した。	40301	17	30～ 49
2001	3	9 ～ 10	工事現場へコンクリートを運搬するためミキサー車で作業道を走行中、路面が凍結していたためミキサー車が滑走し、山側の斜面へ激突した反動で横転し車の屋根とハンドルとの間に挟まれた。	30199	17	30～ 49
2001	3	21 ～ 22	事故渋滞のため停車していた車両5台の最後尾に、後方から走行してきた大型貨物自動車も玉突き衝突となったが、車両の点検等のため自分の車両と後方に停車していた車両の間にいた運転手が、玉突き衝突により自分の車両と後方の車両との間に挟まれた。	150102	17	30～ 49
2001	3	17 ～ 18	下水道工事において、荷台に砂利を積載したまま後退した4tダンプトラックに、道路上で一般車両の誘導をおこなっていた警備員がひかれた。	170201	6	1～9
2001	2	12 ～ 13	製缶用原料を積みトラックで走行中、道路がアイスバーンのためタイヤチェーンを装着していたところ、後方から走行してきたトラックにはねられた。	40301	17	50～ 99
2001	2	5 ～ 6	国道を走行中、事故のため停車していたトラックに追突した。	40301	17	50～ 99
		1	トラックで県道を走行中、駐車場から出てきたトラックと衝突し、そ			

2001	2	2	～	のはずみで対向の軽自動車と衝突して横転のまま滑走して約10m先の電柱に激突した。	40301	17	1～9
2001	2	8	～	トラックで国道を走行中、交叉点で信号待ちしていたトラックに追突した。	40301	17	100～299
2001	2	3	～	住宅用アルミサッシを運搬するため大型トラック(10t)で国道を走行中、スリップしてセンターラインを越えてきた対向車と衝突した。	40301	17	1～9
2001	2	6	～	ワゴン車で国道を走行中、センターラインをはみ出してきた大型トラックと正面衝突し、さらに後続してきた大型トラックも事故を避けきれずワゴン車に衝突した。	30199	17	10～29
2001	1	22	～	大型トラックで高速道路を走行中、スリップしたワゴン車が進行方向と逆向きに停車したので、その車の運転手の様子を見るため車外に出て追い越し車線上のワゴン車の運転席ドア付近にいたところ、本線上を走行中の大型トラックに跳ねられた。	40301	17	30～49
2001	2	19	～	2. 75tのトラック荷台において、積んだ荷をロープで固定する作業を行っていて高さ1. 73mのあおり上から地面に墜落した。	40301	1	1～9
2001	1	11	～	普通貨物自動車の後部扉(観音開き式)を開きゴミを積んでいるときに、走行してきた2tトラックが扉に接触した反動で飛ばされ、路肩の縁石で右後頭部を強打した。	150109	17	1～9
2001	2	23	～	トラックを輸送するため走行中、停車中の車輻を避けるため対向車線に移動したときに対向のワゴン車と正面衝突し、ワゴン車の運転手が死亡した。	80409	17	10～29
2001	1	0	～	納品のためトラックで走行中、対向の2tトラックが中央線を超えてきて前方を走行していた乗用車と接触したのちトラックと正面衝突した。	40301	17	100～299



2001	2	16 ~ 17	植林作業現場の状況を確認したのち車3台で森林組合の倉庫へ苗木の入ったダンボールを持って行ったが、最後部を走行していた軽トラックが行方不明になり、翌々日になっても出勤してこないため、自宅・通勤経路・作業現場等を捜索したところ、現場へ途中の道路から転落していた。	60209	17	100 ~ 299
2001	2	5 ~ 6	大型トラックに荷を積み自動車道を走行中、前方を走行していたタンクローリーに追突し、その反動でセンターライン側壁に接触した。	40302	17	10~ 29
2001	2	22 ~ 23	トラックに雑貨を積んで走行中、赤信号で停車中の鋼材を積んだトレーラーに追突した。	40301	17	30~ 49
2001	1	9 ~ 10	花輪を届けたのち車で県道を走行中、凍結路面でスリップしてセンターラインを越え、対向の軽トラックに衝突した。	80203	17	1~9
2001	2	15 ~ 16	灯油配達のため軽貨物車で市道を走行中、スリップして民家のブロック塀に衝突したのち横転し、車外へ放り出されて車の下敷きになった。	80204	17	10~ 29
2001	2	2 ~ 3	鉄骨を積んで自動車道を走行中、路側帯に故障のため停車中のトラックに追突した。	40301	17	10~ 29
2001	2	1 ~ 2	大型トラックに荷物を積んで走行中、車の電気系統に故障が発生したため路肩と走行車線の間で停車させて、道路脇の非常電話を使用していたところ、後続のトラックが追突してその衝撃で運転手が死亡し、さらに大型トラックの運転手にトラックが激突した。	40301	17	30~ 49
2001	2	19 ~ 20	社用トラックを会社戻すために走行中、下り坂の雪の残っている場所でスリップして反対車線側の電柱に激突した。	170209	17	10~ 29

2001	1	15 ～ 16	2人で山水の配管の点検に出かけたところ配管ジョイント部から漏水が多量にあったため、上流の止水弁を止めて山水のパイプジョイント部の修繕を終え、軽トラックで止水弁を開きに行く途中に谷底約35m下の谷底へ転落した。	90209	17	1～9
2001	2	6 ～ 7	大型トラックで自動車道を走行中、前方のクレーン車に追突したのでトラックを追い越し車線上に止めたまま車外に出ていたときに、後続の4tトラックにはねられた。	40301	17	10～ 29
2001	2	19 ～ 20	船から荷揚げした鋼管を倉庫にトラックで運搬して、荷卸しのためトラック荷台のあおりのキャッチを取り外したところ、荷台上の3本結束した鋼管パイプ(重量213kg/1本)とともにあおりが倒れ、付近にいた玉掛け補助者の頭部に当たった。	40301	4	50～ 99
2001	1	14 ～ 15	凍雪害防止工事において、融雪用の側溝を敷設して側溝の周囲を砂で埋め戻す作業中、埋め戻し用の砂を積んだ4tダンプとバックホーのバケットとの間に挟まれた。	30106	6	10～ 29
2001	1	12 ～ 13	18tトレーラーで自動車道を走行中、前を走行していた10tトラックに追突した。	40301	17	100 ～ 299
2001	1	3 ～ 4	作業車(4tトラック)が低速走行で凍結防止剤を散布していて、大型貨物自動車を追突し、そこに後を走行中の貨物自動車2台が追突したところに追突した。(運転手が死亡、他の車輛の運転手1名も死亡)	40301	17	100 ～ 299
2001	1	16 ～ 17	雨水管新設工事において、積載型小型移動式クレーンのタイヤが雪に埋まって動けなくなったため、ホイール式トラクターショベルでけん引することにし、けん引のためのワイヤ掛けをしていたときにトラックの運転手が自力で雪から脱出しようとして後進したため、トラックと停止していたショベルとの間に挟まれた。	30199	7	1～9
2001	1	9 ～ 10	林道工事現場で、斜面に駐車していた無人の4tトラックが後に動き出して荷台後部に激突され、さらに右後輪にひかれた。	30106	6	10～ 29

2001	1	11 ～ 12	軽自動車個人向け食材を配達のため町道を走行中、緩やかな左カーブを誤って直進してしまい進行方向右側(反対側)のコンクリート製電柱に衝突した。	170209	17	100 ～ 299
2001	1	23 ～ 24	鋼材を積んで大型トレーラーで、国道を走行中、緩い左カーブを直進する形でガードパイプ2か所を突き破り、トレーラーごと約25m下の河原に転落した。	40301	17	30～ 49
2001	1	2 ～ 3	荷物を積み、大型トラック(10t)で自動車道を走行中、運転を誤ってガードレールを破り約10m下の川に転落した。	40301	17	50～ 99
2001	1	3 ～ 4	薬剤を散布するため作業車で走行中、のため低速走行をいていたところ、4台の貨物自動車の追突事故に巻き込まれた。	10402	17	50～ 99
2001	1	6 ～ 7	荷を積込んだ4tトラックで国道を走行中、道路左側の空地から右折するために国道に出て道路をふさいでいたトレーラーに衝突した。	40301	17	30～ 49
2001	1	16 ～ 17	農業集落排水管路工事において、同僚と道路上で測量作業中に、バックしてきた4tダンプトラックの後輪にひかれた。	30110	7	1～9
2001	1	13 ～ 14	国道の法面補強工事を行うため法面側の車線を交通止めにし、同僚と工事現場の両側に立って車両の交通誘導を行っていたときに、走行してきた貨物自動車が誘導・車線変更の掲示板に気付かずバリゲート・誘導表を跳ね飛ばした。	170201	17	30～ 49
2001	1	23 ～ 24	道路舗装修繕工事において、アスファルト張り替えのための路面切削後の状況を計測していたところ、切削ガラの積込のため、同じ路面上を後進してきた10tトラックにひかれた。	30106	7	50～ 99
2001	1	7 ～	大型タンクトレーラーで走行中、橋のアルミ欄干を突き破り約6.5m下の川に転落した。	40302	17	50～ 99

		8				
2001	1	0 ～ 1	生コンクリートを搬送するためコンクリートミキサー車で県道を走行中、道路右側のガードレールを突き破り約10m下の山林の斜面に転落した。	10901	17	10～ 29
2000	5	2 ～ 3	冷凍バナナの集荷のためトラックで走行中、高速出口付近の左カーブで側壁に衝突し、ドアが開いたため約23m下の高架下へ転落した。	40301	17	10～ 29
2000	11	4 ～ 5	大型トラックで走行中、パーキングエリアから本線に合流してきた大型トラックに追突した。	40301	17	30～ 49
2000	6	12 ～ 13	4tトラックで国道を走行中、信号待ちで止まっていた大型トラックに追突した。	40301	17	30～ 49
2000	4	17 ～ 18	かぶと虫養殖に使用するクヌギの木の運搬を終え11tダンプの助手席に乗って自宅近くの交差点でダンプから降りたときに、運転手がサイドミラーを見ると地面に倒れていた。	60101	1	10～ 29
2000	3	8 ～ 9	トラックで走行中、トンネルで乗用車、トラック等25台が絡む事故に巻き込まれて炎上し、焼死した。	40301	17	50～ 99
2000	2	17 ～ 18	刈り取ったさとうきびを敷地内のヤードまで搬送し、トラッククレーンでモッコ(さとうきびを袋詰めにしたもの)を降ろすためトラック荷台に乗ったときに、約2.3m下の地面へ墜落した。	40301	1	10～ 29
2000	9	20 ～ 21	荷物の積んだフルトレーラー(前8.5t、後7.75t)で国道を走行中、赤信号のため停止していた前方の大型トラックに追突した。	40301	17	100 ～ 299
2000	8	10 ～	国道の道路清掃作業において、片側交互通行の交通誘導を行っていたところ、走行してきた居眠り運転のトラックと後方に停車していた標	170201	17	10～ 29

		11	識車(軽トラック)に挟まれた。			
2000	5	1 ～ 2	10tトラックに青果物を積んで、自動車道路を走行中、前方で2台のトラックが横転して後続のトラック7台が追突する事故が発生し、その後尾の車に追突し死亡した。	40301	17	10～ 29
2000	12	6 ～ 7	清掃車を駐車して一人でゴミの収集作業をしていたところ、駐車していた場所がやや下り坂であったため清掃車が後退し、駐車場の立木との間に挟まれた。	150103	6	30～ 49
2000	12	12 ～ 13	キャリアトラックで走行中、左カーブを曲がりきれずに道路右側にはみ出して対向車線を越え民家に突っ込んだ。	40301	17	1～9
2000	12	16 ～ 17	2tダンプトラックで家屋を解体した廃材を廃棄物中間処理施設に運搬中、解体現場から約300m離れた県道にうつ伏せの状態で倒れているのを別のトラックで運搬中の同僚が発見した。	30202	1	10～ 29
2000	9	7 ～ 8	同僚2名とともに社用車で国道を走行中、右カーブにさしかかったところでガードレールに衝突し、そのはずみで助手席のドアが開いて道路上に転落した。	30199	17	1～9
2000	1	19 ～ 20	歩道補修工事において、同僚が2tダンプを道路左側に寄せて、前照灯を照らしているところでガードレールの支柱部分の清掃及びガードレールの塗装作業を行っていたところ、後方より走行してきた2tトラックが停車中の2tダンプに追突し、その反動で2tダンプが押し出されガードレールとダンプとの間に挟まれた。	30106	17	1～9
2000	10	17 ～ 18	無線基地局建設工事において、2tトラックを傾斜角約20度の仮設道路にトラックを駐車し、周辺に放置してあった資材を積み込むため運転席を離れたところトラックが仮設道路を下り出したため、それを止めようと運転席側を並走したが転倒し、後部車輪に巻き込まれた。	30199	7	10～ 29
2000	9	1 ～	4tトラックに引越荷を積み走行中、前方に停車していた10tトラックに追突した。	40301	17	100 ～

		2				299
2000	8	11 ～ 12	林道開設工事現場に向かっていたコンクリートミキサー車が、途中の林道で車両後部を谷側に向け切り替えし動作を行っていたときに運転を誤って17m下の谷底に転落した。	10901	17	30～ 49
2000	4	9 ～ 10	堆肥工場でトラックに堆肥を積載し、計量器に乗るためバックで走行中にトラックが横転し、トラックの下敷きになった。	11709	2	100 ～ 299
2000	3	19 ～ 20	A、Bの両名が各々10tトラックを運転して走行中、交差点で信号停車していた他社の10tトラックに気付いてAは停止したが、後方から走行していたBは気付くのが遅れAの車に追突した。	40301	17	30～ 49
2000	3	13 ～ 14	積載型移動式クレーン(4t)が、道路右側のカラーコーン等で道路と仕切られた区域内で側溝の敷設工事を行っていた労働者に激突した。	30199	17	30～ 49
2000	2	4 ～ 5	技術研修参加のため乗用車で国道を走行中カーブで対向のトラック(11t)と衝突した。	80209	17	1～9
2000	11	10 ～ 11	有料道路の除草作業において、休憩後、上り車線を横切ろうとしたときに、走行していた2tトラックにはねられた。	60101	17	10～ 29
2000	8	10 ～ 11	客より牛乳が届いていないとの連絡を受け軽自動車で配達するため国道を走行中、中央線をはみ出して対向の普通トラックと衝突した。	80209	17	1～9
2000	4	23 ～ 24	大型トラック(7.5t)に帰り荷を積載してトンネル内を走行中、前方の大型トラック(10t)に追突した。	40301	17	50～ 99
2000	12	10 ～	10tトラックで自動車道を走行中、工事のため停止していた車両7台の最後尾のタンクローリーに追突した。	40301	17	50～ 99

		11				
2000	11	4 ～ 5	貨物自動車(10t)で高速道路を走行中、登坂車線において前方を走行していたトレーラーに追突した。	40301	17	10～ 29
2000	9	2 ～ 3	トラックで自動車道を走行中、左カーブで道路右側のガードレールに接触、横転した。	40301	17	30～ 49
2000	9	2 ～ 3	トラックで自動車道を走行中、前方の大型トレーラーに追突した。	40301	17	50～ 99
2000	9	10 ～ 11	普通貨物自動車(保冷車)で高速道路を走行中、走行車線の大型トレーラーを追い越した直後に、自車がスピンして左側ガードレールに激突し、車外に投げ出されたところを大型トレーラーにひかれた。	10109	17	10～ 29
2000	8	6 ～ 7	コイルを積載したトレーラーで国道を走行中、前方の4tトラックに追突し、4tトラックに積んであった12m鋼材が荷台から飛び出ていたためトレーラーの運転席を直撃した。	40301	17	50～ 99
2000	8	15 ～ 16	土砂を積んで4tダンプで走行中、対向の10tダンプと正面衝突し、はずみで横転した。	30107	17	1～9
2000	8	4 ～ 5	大型トラック(10tで)高速道路を走行中3. 7キロ前方で発生した事故のため渋滞していた最後尾の大型トラック(9. 5t)に追突し、5台(後方からトラック3台(10t、4t2台、普通車)の玉突き事故となった。5台の真中の4トントラックの運転手が首に軽傷を負った。	80101	17	1～9
2000	8	4 ～ 5	大型トラック(10tで)高速道路を走行中3. 7キロ前方で発生した事故のため渋滞していた最後尾の大型トラック(9. 5t)に追突し、5台(後方からトラック3台(10t、4t2台、普通車)の玉突き事故となった。5台の真中の4トントラックの運転手が首に軽傷を負った。	80101	17	1～9

2000	8	21 ～ 22	4t窒素付き保冷車で冷凍水産物を運び、配送先で荷降ろしのため保冷箱内へ入ったときに、酸欠になった。	10102	12	50～ 99
2000	8	17 ～ 18	敷地内を歩行中、後退してきた4tトラックにひかれた。	80109	18	30～ 49
2000	7	11 ～ 12	片側2車線の高架道路をタンクローリーで走行中、追越車線から走行車線に車線変更したときに直進していた乗用車と接触、はずみでコンクリート製の橋の欄干に衝突し、車外に投げ出されて約7m下の道路に転落した。	40301	17	10～ 29
2000	7	14 ～ 15	廃品置場で廃品の積み込み作業を行うためグラップルクレーンを搭載した4t積みトラックを廃品置場横の県道(下り勾配8度)に止めアウトリガーを張り出していたところ、トラックが斜面を下り始めたのでそれを止めるため運転席に乗ろうとしたが間に合わず9m下のH鋼製の門柱に激突し、門柱とアウトリガーのブームとの間に挟まれた。	150102	7	1～9
2000	6	17 ～ 18	現場での作業を終え使用した4tダンプを車庫に前向きに駐車し、エンジンを切って降車して車庫を出たところダンプが後方に動き出して、車庫から出てきたため、止めようと荷台の後ろにまわり付近にいて気づいた同僚とともにダンプ荷台を押したが止まらず、同僚は途中で逃げたが、運転者はそのまま押しつづけ、後方に駐車していた車との間に挟まれた。	30199	7	10～ 29
2000	3	16 ～ 17	村道(幅員3.5m)を現場内で採集した小岩を2tダンプで運搬していたとき、運転を誤って路肩から30m下の谷へ転落した。	30106	17	10～ 29
2000	9	11 ～ 12	林道開設工事現場に生コンを配送するためミキサー車で道幅3.5mの林道を走行中、現場まで350mの地点で路肩に寄りすぎ路肩が崩れて約22m(勾配45度)下の谷底へ車もろとも転落した。	40301	1	10～ 29
		16				



2000	3	～ 17	夕刊配達のため自転車で道路を横断中、横から来たトラックにはねられた。	80205	17	30～ 49
2000	1	～ 15	14 ダンプに土砂を積み、市道を走行中、約5.3m下の谷に転落した。	40301	17	30～ 49
2000	12	～ 6	5 トラックにみかんを積んで走行中、ジャンクション付近で右側の壁に衝突して横転した。	40301	17	1～9
2000	11	～ 19	18 大型トラックで自動車道を走行中、下り道で中央分離帯に衝突した。	40301	17	50～ 99
2000	9	～ 15	14 4tトラックでセメントを運搬のため国道を走行中、カーブを曲がりきれず対向車線に飛び出し横転した。	10901	17	50～ 99
2000	7	～ 9	8 油圧ショベルで掘削土をダンプに積込み中にトラロープが紛れ込んでいるのに気づき、重機から降車して道路上で引張ってみたものの取れなかったため、ダンプの荷台に上がり作業していたときに、ダンプ運転手がダンプを発進したため反動で荷台から転落した。	30106	17	10～ 29
2000	5	～ 15	14 木造住宅建築工事の検査立会いのため国道を軽ワゴン車で走行中、中央線を越えて、対向の11t大型ダンプカーと正面衝突した。	30202	17	30～ 49
2000	1	～ 10	9 軽トラックで工事現場へ向かって走行中、反対車線にはみ出し、対向の10tトラックと正面衝突した。	30201	17	10～ 29
2000	1	～ 2	2 国道の歩道直下に光通信ケーブルボックスを埋設する作業において、路面を掘削し光通信ケーブルボックスの設置が完了した箇所をアスファルト等による舗装作業中に、後方からアスファルトを荷台に積ん	30199	7	10～ 29

		3	で後進してきた4tトラックにひかれた。			
2000	12	10 ～ 11	道路中央線上の発光体埋め込み工事において、片側通行としていたトンネル内で誘導灯を持って車の誘導を行っていたときに、走行してきた10tトラックにはねられた。	170201	17	10～ 29
2000	10	10 ～ 11	収集車で集めたゴミを焼却場へ投入し収集車のテールゲート(後部ハッチ)を締めたが、完全にロックされなかったため2～3回開閉を繰り返していたときに、収集車後部左側にいた者がテールゲート開閉部分に頭部をはさまれた。	150103	7	10～ 29
2000	9	14 ～ 15	9.9tトラックで自動車道を走行中、本線に合流する手前の道路で道路右ガードレールにぶつかり横転した。	40301	17	10～ 29
2000	5	20 ～ 21	4tトラックで冷蔵食品を輸送するためトラックの運転者席側のドアを開け地上に立った状態でエンジンを始動させていたところ、トラックが前進してドアが鉄柱に激突して閉まったためドアと運転者室との間に挟まれた。	40301	7	100 ～ 299
2000	2	10 ～ 11	花崗土採取現場において、ドラグショベルで花崗土を自分のトラックに積み込んでいたときにトラックが傾斜下方に動きだしたため、ドラグショベルを降りて、トラックを停止させようとトラックに駆け寄りトラックにひかれた。	40301	7	10～ 29
2000	1	8 ～ 9	工事現場に向かっていたトラック(2t)で走行中、運転操作を誤って、道路脇の交通標識柱(鋼製)に衝突し、助手席に同乗の者が死亡した。	30209	17	10～ 29
2000	12	6 ～ 7	大型トラック(11t車)で自動車道を走行中、軽トラックに追突して軽トラックが横転したのでトラックから降りて軽トラックの運転手を救助しようとしていたところ、後続の大型トラックにはねられた。	40301	17	30～ 49
2000	10	15	ゴルフコースの法面に除草剤を散布する作業で、斜面(傾斜角約10度)に作業車を止めエンジンがかかった状態で作業車を降り、その後方に歩	140301	7	100 ～

		16	いて移動していたときに作業車が後退し、右後輪でひかれた。			299
2000	7	13 ～ 14	セメントサイロ基地へ向かうためセメントローリーで県道を走行中、中央線を越えて反対側の山腹に接触し、その後、民家の倉庫に激突した。	40302	17	1～9
2000	6	1 ～ 2	大型トラックで高速道路を走行中、渋滞で止まっていた軽トラックに追突し、さらにその反動で前のトラックに次々に追突して5台の玉突き事故となり、追突した大型トラックと軽トラックは炎上した。	40301	17	10～ 29
2000	12	17 ～ 18	トラックで走行中、道路の真中で停止している車に気付くのが遅れて急ブレーキを踏んだためスリップして、運転席が中央線からはみ出たところへ車が直進してきて衝突した。	80209	17	30～ 49
2000	12	3 ～ 4	タンクローリーに液体クロムを積んで国道を走行中、センターラインを越えて突っ込んできた大型トラックと正面衝突した。	40301	17	100 ～ 299
2000	10	1 ～ 2	トラックで国道を走行中、赤信号で停車していた6台のトラックの最後尾のトラックに追突した。	40301	17	30～ 49
2000	9	15 ～ 16	工事材料を取りに行くため原動機付自転車で走行中、右折して進入するために道路中央線付近に停車していたところへ後方からきた貨物自動車に追突し、前方に停車していた貨物自動車との間に挟まれた。	30302	17	1～9
2000	8	13 ～ 14	国道沿いの草刈り作業を行っていて、草刈後の草を積みこむためパッカー車を後進させていたときに道路脇に立っていた作業員に接触し、そのまま後輪ひいた。	30106	7	1～9
2000	3	3 ～ 4	貨物自動車(4t)で荷物を積んで国道を走行中、バイパスの交差点で信号待ちで停止していた貨物自動車に追突した。	40309	17	50～ 99
2000	2	16 ～	アパート新築工事現場で生コンを打設したのち現場前の路上でタイヤに付着した泥を落とすためコンクリートミキサー車をバックしたとき	30199	17	10～

		17	に、路上に落ちた泥を掃除しようと同車の後ろに移動して来た者をひいた。			29
2000	1	21 ～ 22	トラックで国道を走行中、右にカーブした上り坂で、対向の大型トラックが中央線を越えてきたため正面から衝突した。	40301	17	100 ～ 299
2000	12	5 ～ 6	荷を届けるため、4tトラックで国道を走行中、交差点で赤信号のため停車中の35tトレーラーに追突した。	40301	17	10～ 29
2000	10	3 ～ 4	冷凍車(4t)で国道を走行中、カーブで13t車と正面衝突した。	40302	17	30～ 49
2000	9	16 ～ 17	大型トラックで国道を走行中、道路左側の敷地内に突っ込んで歩いていた2人のうち一人をはね、横転したのち駐車していた乗用車に衝突して止まった。(被災者は死亡1名、負傷者4名)	150102	17	10～ 29
2000	9	8 ～ 9	客から引き取り自宅まで乗って帰った代車(最大積載量850kgのトラック)を運転して店へ移動中、中央分離帯に接触しその反動で左側の防音壁に激突した。	80202	17	10～ 29
2000	8	17 ～ 18	下水道工事において、掘削終了後の仮舗装を行っていたところへ坂道に止めていたダンプトラックが後退してきてひかれた。	30110	6	10～ 29
2000	7	9 ～ 10	産業廃棄物を10tトラックに積載して国道を走行中、急な左カーブのところで道路から約15m下の崖に転落し、木に引っかかって横転したトラックの運転席で頭などを強打した。	40301	17	10～ 29
2000	6	3 ～ 4	10tトラック(保冷車)で市道を走行中、コンクリート製の法面に正面から激突した。	40302	17	10～ 29
		4	友人にトラックを運転させて走行中、スリップしてトラックが横転し			10～

2000	4	～ 5	たため後ろのベツトで休んでいた者が死亡した。	40301	17	29
2000	2	20 ～ 21	2tトラックでコンクリート道路カッター工事現場へ行く途中、運転を誤って郵便局の階段に激突した。	30199	17	10～ 29
2000	1	23 ～ 24	10tトラック(保冷車)に牛乳を積載し国道を走行中、上り車線に入るためガソリンスタンドから出て道路を塞いでいた10tタンクローリーの側面に衝突した。	40301	17	30～ 49
2000	1	10 ～ 11	タンクローリー車が道路左のガードレールに接触し、その反動で右のガードレールを突き破り約5、5m下の用水路に転落した。	40301	17	1～9
2000	10	18 ～ 19	工事現場からトラックに乗って帰る途中、市道交差点で電柱に衝突した。	30209	17	10～ 29
2000	9	22 ～ 23	2tトラックに豆腐700kgを積み国道を走行中、交差点で信号待ちをしていた11tトラックに追突した。	10109	17	50～ 99
2000	9	11 ～ 12	駐車していた生コンクリート車の生コンを入れるタンクと手すりの間に挟まれていたのが発見された。	10901	7	10～ 29
2000	8	5 ～ 6	トラックに荷を積んで走行中、対向車線に入ったため大型貨物車と正面衝突した。	40301	17	100 ～ 299
2000	4	9 ～ 10	下層路盤の改良工事で、タイヤローラーを移動させるのに交差点までバックし、切り換えして前進したときに、交差点内で古い水道管の切断作業を行っていた者に激突した。	30106	6	10～ 29
		6	10t貨物自動車で国道を走行中、センターラインをはみ出して対向の2t			

2000	3	7	貨物自動車と正面衝突した。	40301	17	1～9
2000	1	18 ～ 19	車検のため入庫していたトレーラーの運転席に車検証を取りに行き、 運転席より降りているときに転落した。	11701	1	10～ 29
2000	9	16 ～ 17	冷凍魚類をトラックで運送中にハンドル操作を誤って横転し、左側の ガードレールに衝突しトラックの下敷きになった。	40301	17	10～ 29
2000	8	17 ～ 18	4tダンプに3名が乗車し国道を走行中、橋の上が雨で濡れていたためタ イヤがスリップし、橋の側面のガードパイプに激突した。	30199	17	1～9
2000	9	21 ～ 22	荷の搬送のため4tトラックで国道を運行中、ガソリンスタンドから出 る車を待って停車していた大型トラックに追突した。	40301	17	10～ 29
2000	7	15 ～ 16	公共下水道管渠布設工事において、国道の片側規制のため通行車両の 誘導を行っていて、右折してきた散水車に激突された。	170201	17	50～ 99
2000	9	3 ～ 4	8.5tのトラックで自動車道を走行中、IC入口の合流箇所急ブレーキを かけたところ、雨が降っていたため車両がスリップしトンネル入口に 衝突した。	40301	17	10～ 29
2000	9	4 ～ 5	11tトラックを走行中、料金所で停車している他の車輛に追突した。	40301	17	1～9
2000	8	2 ～ 3	長距離トラックでバイパスを走行中、渋滞で停止していた大型トラッ クに追突した。	40301	17	10～ 29
		23	塩乾物の保管を委託している事業場で同僚のトラックを待っていて、			

2000	8	～ 24	トラックが到着したので作業に使用するフォークリフトに向かって歩いていたら敷地内でスイッチバックしてきた同トラックにひかれた。	80209	7	30～ 49
2000	2	23 ～ 24	登坂車線上においてタイヤチェーンの着装作業中に、車輛が降雪のため後方に滑り出したためりん木で歯止めをしようとしたときに足から腹部にかけてタイヤにひかれ、その状態で20～30メートル後方に滑って橋の欄干との間に挟まれた。	40301	7	10～ 29
2000	12	6 ～ 7	印刷物を運ぶため4tトラックで国道を走行中、旧国道へ入る交差点で右折車線で信号待ちをしていた16tタンクローリーに追突し、その時タンクローリーから流失したガソリン4000?に引火して2台とも炎上、トラックの運転手が焼死した。	50101	17	30～ 49
2000	6	15 ～ 16	乗用車で県道を走行中、対向車線にはみ出してトラックと正面衝突した。	30309	17	10～ 29
2000	5	3 ～ 4	住宅ユニットをトラックに積んで高速道路を走行中、後続の大型トラックに追突され、その衝撃で道路左脇の橋脚に激突した。	40301	17	100 ～ 299
2000	4	2 ～ 3	トラックに電気製品を積んで国道を走行中、緩やかな左カーブでセンターラインをオーバーしてきた対向の大型トレーラーと正面衝突した。	40301	17	50～ 99
2000	3	12 ～ 13	荷の配送のため国道を4t車で走行中、交差点で赤信号のため停車していた大型トラックに追突した。	40301	17	10～ 29
2000	12	～ 1	トラックで走行中、追越車線に車線変更したときに道路公団の清掃車に追突し、その反動で走行車線の側壁に当たり、150メートルほど側壁を擦りながら停止した。	40301	17	10～ 29
		10	眼鏡レンズとコンタクトレンズの配達のため自転車で走行中、国道交			10～

2000	11	～	11	差点を青信号で横断中に、左折してきた大型トラックに巻き込まれた。	50101	17	29
2000	11	～	12 13	10tトラックで高速道路を走行中、中央車線(三車線中央)を走行していた4tトラックの右前タイヤがバーストして追い越し車線(三車線右側)に入り停止したので追い越し車線を走行していた10tトラックが急停車したところに、追突し、その後続3台のトラックも玉突きで追突した。	40301	17	100 ～ 299
2000	9	～	19 20	水道管布設作業後の片付け作業で、2tトラック荷台上の水タンクの水で手を洗うため後方に駐車されていたもう一台の2tトラックのヘッドライトを点灯するように同僚に指示し、同僚がエンジンを起動させたときにトラックが前進してきたため水タンクを載せたトラックの荷台との間に挟まれた。	30109	6	1～9
2000	8	～	9 10	軽トラックで走行中、対向の4tトラックのあおりがロックされていなかったため、すれちがう瞬間に倒れてきたあおりと衝突した。	150102	17	1～9
2000	8	～	11 12	下水管布設工事において、一車線を規制して通行車両の誘導を行っていた警備員が走行してきた2tトラックにひかれた。	170201	17	1～9
2000	7	～	5 6	トラックで国道を走行中、スリップして横向きになったトラックに追突した。	40301	17	10～ 29
2000	7	～	3 4	トラックで高速道路を走行中、追い越し車線から走行車線に車線変更しようとしたときに前方の大型トレーラーに追突した。	40301	17	10～ 29
2000	7	～	14 15	1tトラックで国道を走行中、緩やかな右向き上りカーブで対向車線へはみ出て走行したため、対向のミキサー車と正面衝突した。	30301	17	50～ 99
			14	コンクリートミキサー車で建設現場にコンクリートを配送中、ガード			



2000	6	～ 15	レールに衝突した。	40309	17	1～9
2000	6	～ 16	トラックをバックで運転中、警備をしていた者に激突した。	170201	6	10～ 29
2000	6	5 ～ 6	大型トレーラーで高速道路を走行中、側壁に接触し、そのはずみで中央分離帯に衝突したのち横転した。	40301	17	10～ 29
2000	6	11 ～ 12	タンクローリー(9t)で走行中、横転して路外に飛び出し行き先を示す標識に車体が引っ掛かる形で止まったが頭を強打した。	40301	17	50～ 99
2000	4	4 ～ 5	帰路のためトラックで高速道路を走行中、道路工事で渋滞していた大型トラックに追突した。	40301	17	10～ 29
2000	3	14 ～ 15	大型ダンプカーで産業廃棄物を運ぶ途中、県道の緩やかな下り坂で車体の右側から横転し、運転席から車外に放り出されて車体の下敷きになった。	150102	17	10～ 29
2000	3	16 ～ 17	配送業務が終了し、軽トラックで走行中、トンネル内の天井補修工事のためカラーコーンで車線規制して、「作業中」と電光表示し左車線に停車していた無人の標識車へカラーコーンをなぎ倒す状態で追突した。	40301	17	1～9
2000	3	2 ～ 3	大型貨物自動車で高速道路走行中、対向の大型貨物自動車が中央分離帯を乗り越えてきて衝突した。	40301	17	30～ 49
2000	3	2 ～ 3	雑貨を10tトラックで運送して高速道路を走行中、追い越し車線を走行中の10tトラックに追突し、その反動で中央分離帯を越え、対向のトラックと正面衝突した。	40301	17	10～ 29

2000	3	10 ～ 11	90CCのバイクで郵便物の集配中、国道交差点でトレーラーと接触、転倒して下敷きになった。	160101	17	300 ～ 499
2000	3	12 ～ 13	自動車電装部品の運送のため4tトラックで高速道路を走行中、工事で渋滞していた車の列に突っ込み、10t大型トラックと衝突した。	40301	17	1～9
2000	2	2 ～ 3	トラックで国道を走行中、前方赤信号で停車した大型トラックに追突した。	40301	17	100 ～ 299
2000	1	2 ～ 3	トラックで倉庫に紅茶を運ぶため国道を走行中、交差点で信号で停車中の大型トレーラー車に追突し、大型トレーラーの積荷の後部から突出していた直径40cmの鋼鉄製の水道管が顔面、頭部を直撃した。	40301	17	10～ 29
2000	1	12 ～ 13	国道を大型トレーラーで走行中、ガードレールに接触し、その後ブロック塀に衝突した。	40301	17	10～ 29
2000	1	3 ～ 4	新聞配達員の自宅へ2名で軽トラックに乗り配送中、ハンドル操作を誤って路外に逸脱して樹木に激突し、運転者が死亡し、同乗者が重傷を負った。	80205	17	30～ 49
2000	12	2 ～ 3	大型トラックで走行中、前方を走行していた車がコンビニに入ったが駐車場が混んでいたため道路上に後部を突き出した状態で停車していたところに、慌ててブレーキをかけたが間に合わず激突した。	40301	17	30～ 49
2000	11	12 ～ 13	トラックで高速道路を走行中、多重衝突に巻き込まれ前方の車両と後続の車両との間に挟まれた。	40301	17	10～ 29
2000	10	6 ～ 7	大型車両をホームに着けるため荷台の後部ドアを開けようとしていたときに、構内に入ってきた4t車が後を通り抜けようとして接近しすぎたため、自車と4t車との間に挟まれた。	40302	7	50～ 99

2000	10	11 ～ 12	外注先に製品を加工させるため助手席で金型を持って軽トラックで走行中、交差点で右折しようとして直進車と衝突した。	11209	17	10～ 29
2000	9	3 ～ 4	2tトラックで走行中、国道において赤信号のため減速中の大型トラックに追突した。	40301	17	30～ 49
2000	9	6 ～ 7	15tトラックで荷受け先倉庫に入庫後、積荷の荷降ろし作業のため荷台上のパレットに乗り作業をしているときに、バランスをくずし2m下の地面へ転落した。	40301	1	10～ 29
2000	9	2 ～ 3	大型トラックで走行中、渋滞で停止していた大型トレーラーにノーブレーキで追突した。	40301	17	50～ 99
2000	8	2 ～ 3	荷物配送のためトラックで走行中、交差点で信号待ちをしていたトレーラーに追突した。	40301	17	10～ 29
2000	7	3 ～ 4	15tトラックで自動車道を走行中、前方の車両に追突した。	40301	17	30～ 49
2000	7	16 ～ 17	8tトラックで高速道路を走行中、渋滞のためハザードランプを点けて停車していたところへ後続の13tトラックに追突され、前に停車中の13tトラックに衝突した。	40301	17	10～ 29
2000	6	14 ～ 15	工場から店に食材を配送するためトラックで高速道路を走行中、出口に向かう車線が渋滞していたので前の車に続いて追い越し車線に出たところ、前の車が減速したためこれに追突し、はずみで右側壁に衝突、さらにその反動で左車線を走行中の乗用車に接触したのち左側壁に衝突した。	10109	17	100 ～ 299
		20	4tのほろ付トラックに菓子入りダンボール箱を積込む作業を行って			

2000	5	～ 21	たときに、トラックの運転手が6m40cm発進させてブレーキをかけたため、その勢いで仰向け状態でトラック荷台上から1m下の地上に墜落した。	40301	1	10～ 29
2000	5	16 ～ 17	25tトラックで倉庫に冷蔵庫を搬送するため自動車道を走行中、トンネル手前の上り坂で登坂車線を走行していた別の25tトラックが車線変更して走行車線に入ったため追突した。なおトラックが低床車だったため前のトラックの下に入り込みキャビンが潰れた。	40301	17	1～9
2000	5	0 ～ 1	新規採用面接会場へ向かうためオートバイで走行中、高速道路トラックが右折してきたため、衝突した。	170209	17	30～ 49
2000	4	16 ～ 17	木造家屋解体工事で、ドラグショベルを重機運送用台車の荷台に乗せたところ台車が後退し始めたので、停止させようと運転席に乗り込もうとしたときに、台車本体と運転席のドアに挟まれた。	30202	7	10～ 29
2000	3	4 ～ 5	3. 5tの保冷車でコンビニ店への配送が終了し高速道路を走行中、出口手前のゼブラゾーンに停車中の4t車輻に追突した。	40301	17	100 ～ 299
2000	2	11 ～ 12	高速道路料金所ブースの清掃作業終了後、2tダンプで次の作業場へ移動中に側壁に接触し、追い越車線に飛び出して走行中のトラックに衝突した。	170209	17	10～ 29
2000	1	12 ～ 13	4tトラックで走行中、赤信号で停車していたところに、後方の10tトラックに追突された。	40301	17	50～ 99
2000	1	10 ～ 11	灯油宅配のため3tタンクローリー車で住宅街を巡回中、顧客から出されたポリタンクに灯油を給油しようとしているときに車が顧客宅の塀に向かって動き出したので、車を止めようとして車と塀との間に身体を挟まれた。	80204	17	10～ 29
		6	新聞配達のため自転車で走行中、後方から来た大型トラックに追突さ			10～

2000	11	7	れた。	80205	17	29
2000	11	7	6 2tトラック(保冷車)に冷凍食品を積み自動車道を走行中、側壁に衝突した。	40301	17	30～ 49
2000	11	6	5 2tの保冷車で走行中、市道の交差点で新聞配達中の原動機付自転車と 6 出会い頭に衝突し、はね飛ばした。	80205	17	10～ 29
2000	10	13	12 大型トラック(25t・ウイング車)に飲料水を搬入するため営業所に到 着、門扉を開け構内にトラックを乗り入れ、運転席から降りて門扉を 13 閉めようとしているときにトラックが後進してきて巻き込まれた。	40301	7	10～ 29
2000	10	4	3 荷を積み込み4tトラックで国道を走行中、道路工事のため渋滞で停車 4 していた10tトラックに追突した。	40301	17	10～ 29
2000	9	7	6 土砂採取場に向って小型トラック(最大積載荷重850kg)で走行中、反対 車線側のガードロープに衝突し、そのまま走行して側溝に転落した。	11209	17	1～9
2000	8	16	15 自動車修理業者の廃油を回収に行って坂道に停めた自分のタンクロー 16 リーが逸走し、下敷きになった。	150102	6	10～ 29
2000	5	10	9 新築工事現場で、現場に生コンを運搬してきたコンクリートミキサー 10 車を誘導中に、後進していたミキサー車にひかれた。	170201	17	100 ～ 299
2000	4	9	8 資材置場において、2tトラックと4tトラックを縦に並べて資材を積み込 んでいたときに、4tトラックが後ろに動き出したので、止めようと 9 して停車中の2tトラックとの間に挟まれた。	30199	6	1～9
		14	2tダンプカーに家屋解体工事で発生した廃棄物を林道脇の仮置場まで			



2000	2	～ 1	る道路を走行してきた14tトラックと出会い頭に衝突した。	80209	17	1～9
2000	10	0 ～ 1	河川の護岸改修工事で、昼食後、工事で使用する割グリ石を積載した2tダンプトラックの前のコンパネの上で寝そべて休憩していたところ、他の場所で同様に休憩していた同僚が私用のためダンプトラックを前進させたためひかれた。	30107	7	1～9
2000	9	14 ～ 15	傾斜角約5度の荷物発送場にテールゲート付ごみ収集車を駐車し、ジュースの空缶等のごみ収集作業を行っていたところ、ごみ収集車が動きだしてごみ収集車後部とプラットホーム(高さ0.8m)の端との間に挟まれた。	150102	7	10～ 29
2000	8	7 ～ 8	ダンプトラックの前で休憩していたところ、10tダンプトラックが発進したため、左前輪でひかれた。	30199	6	1～9
2000	7	15 ～ 16	情報ボックス設置工事現場において、埋め戻し後のアスファルト舗装の作業で埋め戻し箇所周辺に散らばった土砂をほうきで掃いていたときに、アスファルト合材を積んで後退していた4tトラックにひかれた。	30106	7	50～ 99
2000	6	4 ～ 5	工事現場に向ってワゴン車で国道を走行中、信号待ちで停車していたときに、後方から走行してきた4tトラックに追突され、前方に停車していた10tトラックとの間に挟まれた。(同乗の2名も死亡)	30302	17	100 ～ 299
2000	6	4 ～ 5	工事現場に向ってワゴン車で国道を走行中、信号待ちで停車していたときに、後方から走行してきた4tトラックに追突され、前方に停車していた10tトラックとの間に挟まれた。(同乗の2名も死亡)	30302	17	100 ～ 299
2000	5	4 ～ 5	4t貨物トラックで走行中、赤信号のため停車していた10tトラックに衝突した。	40301	17	30～ 49
		15	自転車で夕刊配達中、信号の無い市道の横断歩道を渡っているときに			100

2000	5	～ 16	郵便物集配中の軽貨物自動車にはねられた。	80205	17	～ 299
2000	1	11 ～ 12	営業活動で訪問先へ向かうため、信号機のある交叉点の横断歩道上を歩行していたときに、右折してきた軽貨物自動車にはねられた。	170209	17	1～9
2000	1	14 ～ 15	下水道整備工事現場において、マンホールを覗き込む姿勢で配水管の測量を行っていたときに、隣接した場所で掘削土の搬出を行っていたダンプトラックに激突された。	30110	6	1～9
2000	12	11 ～ 12	タンクローリーで自動車道を走行中、車体が左側に寄り過ぎたので大きく右ハンドルを切ったところ横転し、車外に投げ出された。	40301	17	10～ 29
2000	11	23 ～ 24	トレーラーで県道を走行中、路上に停車していた大型トレーラーに気付くのが遅れ追突した。	40301	17	10～ 29
2000	10	6 ～ 7	大型トラックで走行中、自然渋滞で停止しようとしていた最後尾のトラックに追突し車3台が絡む玉突き事故となった。	40301	17	30～ 49
2000	10	14 ～ 15	4tトラックの荷台上で、防水シートを掛ける作業を行っていて2.7m下の地面に墜落した。	11209	1	10～ 29
2000	10	7 ～ 8	会社より建材の積込のためトラックで国道を走行中、ハンドル操作を誤って道路右側のフェンスを突き破り立ち木に衝突した。	80109	17	10～ 29
2000	9	9 ～ 10	短期大学構内において、就業場所に向かって車道の左側を歩行中、右後方から走行してきた学食運搬車に激突されて転倒し、車両に巻き込まれた。	120109	6	100 ～ 299
		4	21tトレーラーで国道を走行中、センターラインを超えて道路右側の歩			



2000	9	～ 5	行者用転落防止フェンスを突き破って6m下の町道に転落した。	40301	17	1～9
2000	7	～ 15 16	3t積載トラックが高速道路の走行車線から追い越し車線に進路変更をしたときに、追い越し車線を走行していた車に接触して100m程走行し、その後、走行車線をふさぐ形で横向きになったところに、走行車線を走行していた車に横から追突され、そのままの状態、路肩の石垣に乗り上げる形で停車した。	40301	17	10～ 29
2000	7	4 ～ 5	工場に向かってトラックで走行中、路肩工事用鉄製骨材に接触して横転し運転台が大破した。	40301	17	100 ～ 299
2000	7	～ 23 24	積載荷重35tのトレーラーに鋼材31tを積んで国道を走行中、緩い左カーブで曲がりきれずに道路から飛び出し、約10m下方の河川敷に転落した。	40301	17	100 ～ 299
2000	6	～ 13 14	タクシーとトラックが正面衝突し、邦人2名と運転手、中国人2名を含む計5名が死亡した。	11301	17	50～ 99
2000	6	～ 13 14	タクシーとトラックが正面衝突し、邦人2名と運転手、中国人2名を含む計5名が死亡した。	11301	17	50～ 99
2000	6	～ 0 1	工事現場の塗装作業で脚立が必要となり、2名で軽トラックに乗り同業者の軽トラックまで取りに行く途中、緩やかなカーブに差し掛かったときに荷台で塗料約10缶、塗料の空缶、バケツ等を押さえていた者がバランスを崩し、道路に転落した。	30209	17	1～9
2000	6	～ 6 7	国道を大型トレーラー(最大積載荷重23t)に原木丸太を積載して走行中、約5キロの下り坂を平時速60キロで走行していて途中のブレーキ多用が原因でディスクが焼けてブレーキが利かなくなったので、車両を左側ガードレールに接触させて停止させる試みをしたが操作を誤って横転し右側ガードレールにキャビンが激突した。	40301	17	1～9

2000	5	12 ～ 13	トラックで国道の追い越し車線を走行中、中央分離帯を越えてきた大型トラックと正面衝突した。	40301	17	1～9
2000	4	1 ～ 2	飼料用トウモロコシを積んだ20tトレーラーで走行中、陸橋上の右カーブを曲り切れずにトレーラー、トラクターとともに左に横転し、キャビンで破壊されて路上に投げ出された。	40301	17	100 ～ 299
2000	4	8 ～ 9	トラックの荷台上で積み込み作業中にトラックの後方に転落した。	10101	1	1～9
2000	4	12 ～ 13	国道を走行中、非常停車帯に停車中の4t車に追突した。	40301	17	50～ 99
2000	4	4 ～ 5	ガラスの原料をダンプトラックで運搬したのち県道を走行中、赤信号で停車中の車輻を発見しブレーキをかけたが間に合わず追突した。	40301	17	1～9
2000	4	15 ～ 16	大型貨物自動車で走行中、信号のある交差点で普通乗用車と衝突し、その反動で歩道橋に衝突した。	40301	17	1～9
2000	3	7 ～ 8	トラクター(けん引車)とトレーラーを接続して出車する作業中に、トラクターが下がり出したため慌ててトラクターの運転席に飛び乗ろうとして右隣に停車していたトレーラーとトラクターとの間に挟まれた。	40301	7	30～ 49
2000	3	2 ～ 3	スキー客を乗せた大型観光で国道を走行中、対向の大型トラックがセンターラインをオーバーしてきたために正面衝突し、バス運転者が死亡、また、バスの代替運転者も重傷を負い、対向の大型トラックの運転者も死亡しさらに、乗客19名が負傷した。	40202	17	50～ 99
2000	3	4 ～	トラックで走行中、乗用車が出会い頭に衝突し、車外に放り出されて頭部を強く打った。	40301	17	30～ 49

		5				
2000	3	11 ～ 12	構内の道路で徐行中(時速5km程度)のトラック(9トン車)の下部に巻き込まれた。	10804	7	10～ 29
2000	3	13 ～ 14	集金業務のため、自転車で横断歩道を渡ろうとしたときにトラックにはねられた。	30110	17	1～9
2000	2	7 ～ 8	工事現場へ向かうため会社所有の車で走行中、現場近くの町道交差点で左側より走行してきたワゴン車と衝突した。	30107	17	50～ 99
2000	2	22 ～ 23	社用車で出張のため走行中、右カーブで雪のためスリップして左外壁に接触し横向きに止まっていたところに、後続の大型トラックが追突した。	10805	17	10～ 29
2000	2	5 ～ 6	油を積込むためタンクローリーで国道を走行中、対向の乗用車が中央分離帯に乗り上げて来たのでハンドルを左にきったが路面が滑りやすい状態であったため、車両がスピンして道路左側のガードレールに激突し道路中央で停止したところに、後方から来た車両が激突し、車両の外に放り出された。	40301	17	50～ 99
2000	1	11 ～ 12	リサイクル工場の前でリサイクルのために出した古紙のゴミを竹ぼうきで掃除中に、リサイクル工場にある倉庫にバックで入ってきた4tトラックにひかれた。	10702	7	300 ～ 499
2000	1	6 ～ 7	2台のトレーラーに積まれたコンテナとコンテナの間で点検をしていたところ、一方のコンテナがヘッドとの接続時の反動で動いたためコンテナの間に挟まれた。	40301	7	10～ 29
2000	12	10 ～ 11	工場新築工事で、現場内に入っていた生コン車のタイヤについた泥を公道に出る前に洗い流す作業をされていて、発進した生コン車にひかれた。	30201	7	10～ 29

2000	12	1 ～ 2	4tトラックで国道を走行中、既に追突事故により停車していた4tトラックに追突した。	40301	17	10～ 29
2000	11	2 ～ 3	6tトラックに純水製造機械を積み国道を走行中、路肩に駐車していた10tトラックに衝突した。	40301	17	1～9
2000	11	12 ～ 13	普通トラック(10t)で走行中、大型トラックが追突し、次々と8台の玉突き衝突となった。	40301	17	10～ 29
2000	10	14 ～ 15	車のハーネス部品の納品のため普通貨物自動車で行中、センターラインを越えて反対車線に出て対向の大型貨物自動車と正面衝突した。	11502	17	10～ 29
2000	8	11 ～ 12	トラックで国道を走行中、渋滞で停車中の大型観光バスに追突した。	40301	17	10～ 29
2000	7	2 ～ 3	国道を10tトラックで走行中、信号待ちで停車していた大型トレーラーに追突した。	40301	17	100 ～ 299
2000	6	13 ～ 14	土木建設現場の重機に燃料を給油して帰社途中のタンクローリーが道路路肩から約8m下に転落し、助手席にいた者が潰れた車体に挟まれた。	40302	17	1～9
2000	5	12 ～ 13	廃材を積込んで国道を走行中、中央分離帯を乗り越えて対向車と接触をしたのち、後続のトラックと正面衝突した。	150102	17	10～ 29
2000	4	5 ～ 6	3. 5tトラックに荷を積み国道を走行中、携帯電話の着信音に気が取られて脇見運転となり、道路左側のビニールハウス(約20m)に接触しながら電柱に激突した。	40301	17	50～ 99

2000	4	1 ～ 2	プラスチック製のパレット(1枚20kg)200枚を10tトラックに積み込み国道を走行中、前方を低速で走行していた大型トレーラに追突した。	40301	17	10～ 29
2000	3	3 ～ 4	市場へ荷を下ろしたのち県道を走行中、交差点で右側から進行してきた大型トラックと出会い頭に衝突した。	40301	17	1～9
2000	3	6 ～ 7	大型トラックで自動車道を走行中、パーキングエリア入口に停車していた大型トラックに追突した。	40301	17	30～ 49
2000	2	18 ～ 19	丸太数100本を25トントレーラに積み県道を走行中、道路左側のガードレールを突き破り3m下の杉林に転落し、運転者が放り出されて積荷の丸太の下敷きになった。	40301	17	10～ 29
2000	2	1 ～ 2	10. 6tトラックにアルミインゴット、9. 8tを積んで走行中、信号待ちをしていた10tトラックに追突し、その前で2台にも次々と追突した。	40301	17	10～ 29
2000	1	10 ～ 11	町道の拡幅工事場所から国道側の材料置場へ行くため、信号機が青色になったことを確認して横断歩道を歩行中に、国道を進行して来た軽トラックにはねられた。	30106	17	1～9
2000	11	4 ～ 5	5トントラックへ荷を積み国道を走行中、先行車両を追い越すため対向車線に出たときに対向車(25トン)と正面衝突した。	40301	17	10～ 29
2000	10	6 ～ 7	トラックで倉庫を出発して国道を走行中、右カーブをそのまま直進して欄干を突き破り約50m下の谷に転落した。	40301	17	10～ 29
2000	9	17 ～ 18	現場の工事を終えて軽トラックで国道を走行中、ゆるやかなカーブで追い越しをかけたところに前方より乗用車が来たためブレーキをかけたがスリップし、軽トラックの助手席側が衝突した。	30199	17	10～ 29

2000	8	15 ～ 16	道路維持修繕工事を終えて4tトラックに約3tのコンクリートガラを乗せて走行中、スロープ状に下っている道路をはみ出して下の道路まで4. 8m転落した。	30106	17	1～9
2000	7	14 ～ 15	軽トラックの保冷車で魚を客先に卸しに行った帰路に、国道でバスと激突した。	80101	17	1～9
2000	7	16 ～ 17	4t車にセットされたバケットに被せていたシートを取り外す作業中、シートが引っ掛かり取れなかったので、強く引張り転落した。	11009	1	30～ 49
2000	6	4 ～ 5	トラックに野菜を積んで市場に運び会社に帰る途中、片側二車線道路の緩いカーブの左側車線に故障で駐車していたトレーラーに追突した。	40301	17	10～ 29
2000	11	4 ～ 5	ルート配送トラック(3tコンパネ車)で国道を走行中、交差点通過の際に進入してきた11t大型特貨自動車と接触して車外に投げ出された。	10104	17	50～ 99
2000	10	19 ～ 20	国道を走行中、前方を走行していたトラックに追突した。	80109	17	10～ 29
2000	10	23 ～ 24	荷積みの終了した大型車両(10t)をホームから離して構内の広い場所で、後部扉を閉めようとしたときに、積み込んだ荷物が落ちそうになっていたのでステップ(高さ67cm)または荷台(高さ131cm)に乗り荷物を中に押し込んでいたところ、バランスを崩して地面に落下し頭部を打ちつけた。	40301	1	50～ 99
2000	7	2 ～ 3	情報管路設置埋設工事で、舗装作業のため国道で交通誘導を行っていて、進行してくる4tトラックに赤色灯で車線変更の合図を行ったにもかかわらずトラックが直進してきてはねられた。	170201	17	10～ 29
		11	事業主運転の2. 5t普通トラックに同乗して町道を走行中、トラックが			10～

2000	4	～ 12	センターラインをオーバーして対向の4tダンプカーに正面衝突した。	11102	17	29
2000	4	～ 12	11 土砂(残土)を4tダンプカーに積んで町道を走行中、センターラインを オーバーしてきたトラックに正面衝突された。	30107	17	10～ 29
2000	4	～ 12	11 国道下の下水管洗浄作業を行っていた車輛(吸水車)がバックしたとき に、作業に伴う交通整理を行っていた警備員がひかれた。	170201	17	30～ 49
2000	3	～ 11	10 灯油をタンクローリー(約2.8t)で運搬し配送先付近の坂道(約12度)に 停車して給油作業をしていたところ、タンクローリーが逸走しだした のでこれを停止させようとし70m引きずられてひかれた。	80204	17	1～9
2000	2	～ 11	10 約700kgと約800kgの鉄板2枚づつを定格荷重2.9tの車輛積載形トラッ ククレーンで運び、約800kgの鉄板を降ろすときに、降ろす予定位置に クレーンを近づけようとして近くに居た者を左後輪でひいた。	80409	7	1～9
2000	1	～ 12	11 土木工事前資材を運搬していた2tダンプトラックが勾配8度から12度の 上り坂で停止したところスリップして坂を約20m後退し、進行方向右 側の土手(高さ約2.2m)から転落、助手席に乗っていた者が車から投げ 出され下敷きになった。	30109	1	50～ 99
2000	12	～ 3	2 食品パックを10tトラックに積載して走行中、自然渋滞で停車していた 10tトラックを25m手前で発見しブレーキを踏んだときに、対向車両が 来たので、左側に逃げたが間に合わず対向車に追突した。	40301	17	1～9
2000	7	～ 14	13 会社の同僚と別々の軽トラックで納品のため国道を走行中、センター ラインをはみ出して対向のタンクローリーと衝突した。	80201	17	1～9
2000	3	～ 4	3 大型トラック(10t)で高速道路を走行中、交通渋滞のためを走行車線に 停車していたときに後方より大型トラックに追突されて前方に押し出 され、前方に停車中の大型トラックに追突した。	40301	17	30～ 49

2000	10	10 ～ 11	林道開設工事現場へ玉石を搬送するため2tトラックで走行中、幅4mの砂利道の林道から約18m下の谷底へトラックとともに転落した。	30106	17	10～ 29
2000	8	4 ～ 5	トラックに荷を積み高速道路を走行中、渋滞で停止していた前車の発見が遅れて急ブレーキが間に合わず、トラック2台を含む多重追突事故になった。	40301	17	50～ 99
2000	1	17 ～ 18	約30分前に給油所の前で発生した物損事故の後片付けをしていたときに、県道を走行してきた軽トラックにはねられた。	80204	17	10～ 29
2000	12	17 ～ 18	4tトラックに魚を積んで納入し、市場から事業場への帰路、国道左脇にトラックを止め、缶コーヒー購入とトイレのため外に出て道路を横断中に、後方より走行してきた軽トラックにはねられた。	70201	17	10～ 29
2000	2	16 ～ 17	大型トラックで国道を走行中、反対車線のガードレールを突き破って約8m下の谷川に転落し、車外に投げ出された。	40301	17	10～ 29
2000	10	23 ～ 24	10t平ボディ車に荷を積み県道を走行中、橋の手前で運転を誤ってガードレールを破り10メートル下の河川敷に転落した。	40301	17	10～ 29
2000	9	16 ～ 17	大型トラックで国道を走行中、交差点を過ぎたところでセンターラインを越えたため、対向車線で右折しようとして止っていた車と衝突し、さらに後続車と衝突したのち橋の欄干を越えて川に転落した。	40301	17	30～ 49
2000	1	10 ～ 11	下水道管布設工事において、3. 4tの碎石を積んだ2tダンプを傾斜8度の坂道の上端に止め、サイドブレーキをかけて運転席から離れ、携帯電話で話をしながら坂道を下っていたときにダンプが坂道を逸走してきて激突された。	30110	6	50～ 99
2000	10	16 ～	トラックの荷台からU字溝を降ろす準備をされていて、荷台(高さ・約1m)から足を滑らせて墜落した。	80209	1	50～ 99



		17				
2000	10	11 ～ 12	工事現場の坂道(勾配約4度)でドラグショベルを用いて養生用の鉄板(重量約800kg)を4tダンプトラックに積込む作業中に、ダンプが動き出したので停車させようと荷台から運転席に乗り込もうとしたが間に合わず、車とともに道路脇の崖下に転落した。	30199	1	50～ 99
2000	7	15 ～ 16	トラックで国道を走行中、カーブにさしかかったときに荷台を車体シャーシに固定しているボルトが遠心力により折損したため対向車線に荷台が飛び出し、対向のキャリアカーの運転席を直撃した。	40301	17	30～ 49
2000	6	22 ～ 23	トラックに荷を積み国道を走行中、信号待ちで停車中のトラックに追突した。	40301	17	10～ 29
2000	6	6 ～ 7	トラックを運転して国道を走行中、信号待ちで停車していたダンプトラックに追突した。	40301	17	10～ 29
2000	5	1 ～ 2	迎車のためタクシーを運転し、路側帯に一時停車したのちUターンするためハザードランプ(非常表示点滅灯)を点灯させたまま道路中央付近まで前進したときに、後方から走行してきた大型トラックに衝突された。	40201	17	30～ 49
2000	4	6 ～ 7	4t冷凍車で走行中、国道の交差点において信号待ちで停止していた4t冷凍車の後部に追突した。	40301	17	10～ 29
2000	11	5 ～ 6	バイクで朝刊の配達中、交差点で右側から来た一時停止不履行のトラックと衝突した。	80205	17	10～ 29
2000	10	8 ～	4 t 幌トラックで料金所に通行券を配送中、料金所で同僚が納品をしている間に荷崩れがないかを見ようと荷台後部にあるパワーゲートの操作スイッチを操作してパワーゲートを倒し、荷台の状況確認を行って	40301	7	10～ 29

		9	いるときにパワーゲートとトラック荷台のあおりとの間に首を挟まれた。			
2000	10	4 ～ 5	高速道路をトラックで走行中、居眠り運転のため大型トラック右後部に激突し、運転室後部ベッドで仮眠していた者が頭蓋骨骨折した。	40301	17	1～9
2000	10	13 ～ 14	配達先で車を止めて車から離れたところ、サイドブレーキのききがあまく車が動き始めたためあわてて車両に飛び乗ったが、車のドアにふられて転落した。	80209	1	10～ 29
2000	10	2 ～ 3	配送先からの帰社のためトラックで国道を走行中、五叉路において中央分離帯に接触後、直進する側道と右にカーブしている本線との分岐点にある三角の分離帯に設置されている標識のコンクリート柱に激突した。	40301	17	1～9
2000	10	3 ～ 4	片側三車線の真中の車線を4t冷凍車で走行中、前方の走行車線上で接触事故によりトラックが2台停止していたため左車線に変更をしたときに後方からきたトレーラーに追突され、その反動で前方に停止していたトラック2台に激突した。	40301	17	1～9
2000	8	17 ～ 18	当日の作業が終了しワゴン車へ4名が乗って走行中、トンネル内で前方の観光バスが減速したのでワゴン車も減速したが、後方からきたトラックに追突され、観光バスとトラックとの間にはさまれた。(2名が死亡、2名が重傷)	30201	17	30～ 49
2000	8	17 ～ 18	当日の作業が終了しワゴン車へ4名が乗って走行中、トンネル内で前方の観光バスが減速したのでワゴン車も減速したが、後方からきたトラックに追突され、観光バスとトラックとの間にはさまれた。(2名が死亡、2名が重傷)	30201	17	30～ 49
2000	7	2 ～ 3	大型貨物自動車で走行中、信号無視で交差点内に入ってきた普通貨物自動車と衝突し、その衝撃で車外に放り出された。	40301	17	10～ 29

2000	7	14 ～ 15	産業廃棄物処理施設内で行った車止めの設置工事の確認のため、施設内の道路を横断していたときにバックできたゴミ収集車に激突された。	30309	6	1～9
2000	7	11 ～ 12	普通貨物自動車にダンボール古紙を積んで走行中、赤信号のため信号待ちをしていた普通貨物自動車に激突した。	80209	17	10～ 29
2000	7	11 ～ 12	普通貨物自動車にダンボール古紙を積んで走行中、赤信号のため信号待ちをしていた普通貨物自動車に激突した。	80209	17	10～ 29
2000	7	2 ～ 3	トラックで走行中、インター近くのジャンクションで前方の大型トラックに衝突した。	40301	17	100 ～ 299
2000	6	20 ～ 21	会社のトラックで打合せのため走行中、ガードレールに激突した。	30106	17	10～ 29
2000	5	6 ～ 7	液化窒素積載の大型タンクローリー(最大積載量7900kg)で高速道路を走行中、左車線前方を走行していた乗用車2台に接触し、その反動で右に振られて中央分離帯を突破、さらに反対車線の追越車線を走行中の乗用車に接触後、道路脇の鉄柱に激突した。	40302	17	30～ 49
2000	4	11 ～ 12	トラック(積載荷重4t)のシャシー側面に補助用の燃料タンクを取付けるためトラックの下に入り作業を行っていたときに、他の者が後方に停車中のトラックを移動するためにこの車輛を移動させたため、作業中の者がトラックの後輪の軸受けと作業床との間に挟まれた。	80202	7	1～9
2000	2	1 ～ 2	トラックで顧客先への配送が終了して国道を走行中、上り坂にさしかかったところで路面凍結のため前進できなくなってしまったので、後続の車にそのことを伝えようと道路上に降りたときに対向のトラックが凍結によりスリップしてセンターラインを越えてきてはねられた。	40301	17	1～9

2000	1	16 ～ 17	資材置場でダンプトラックの洗車が終り運転席に乗り込もうとしたときに、突然ダンプトラックが前進し、半開きになっていた運転席側ドアが近くの門柱に押されるような形となったため、運転席側ドアと車体との間にはさまれた。	40301	7	10～ 29
2000	12	22 ～ 23	4 t トラックで自社に戻るため高速道路を走行中、渋滞中の車の最後尾に付いたところ、後続の10 t トラックに追突され前方の乗用車に追突し、さらに中央分離帯を越えて側壁に激突した。	40301	17	10～ 29
2000	10	14 ～ 15	タクシーで客を送って高速道路を走行中、隣車線の大型トレーラーが横転したため、その下敷きとなった。	40209	17	300 ～ 499
2000	10	6 ～ 7	トラックの助手席に乗り工事現場に向かって3車線の最右車線を走行していたときに、左方向から衝突されて反対車線にはみ出し、対向の車に衝突した。	30201	17	1～9
2000	10	4 ～ 5	販売した車で国道を走行中、交差点で信号待ちしていたところ大型保冷車に追突された4トン車と前のトレーラーとの間にはさまれた。	40302	17	30～ 49
2000	9	5 ～ 6	トラックで走行中、高速道を降りて国道が交わる交差点で信号待ちしていた大型ダンプに追突した。	40302	17	10～ 29
2000	9	11 ～ 12	下水道管移設工事現場において、埋め戻しの土砂を運んでくるダンプを現場内に入れるスペースをつくるため現場内を後進で移動中の2 t トラックに、一般車両の誘導者がひかれた。	170201	7	100 ～ 299
2000	9	3 ～ 4	トラックで高速道路を走行中、前方のトレーラーに追突した。	40301	17	30～ 49
2000	7	4 ～	ガス工事後跡の道路本復旧舗装工事(夜間作業)で、朝方に道路規制撤去を始めるため、作業帯の先端外側で一般車両を誘導していたガードマ	170201	17	30～ 49

		5	ンが居眠り運転の3. 5tトラックにはねられた。			
2000	7	10 ～ 11	取引先から事業場に戻るため徒歩で信号機の無い交差点の横断歩道を 通行中に、右折してきたトラックにはねられた。	40301	17	100 ～ 299
2000	6	9 ～ 10	4tトラックの荷台でアルミサッシ窓枠の水平部材のパレットの荷卸作 業を行っていて、2台目のパレット(重量約650kg)がフォークリフトの とどかない位置にあったので、角材を用いて2人でこじりながら移動さ せていたところ、角材がパレットからはずれたため後ろ向きに約1. 3 メートル転落した。	30209	1	10～ 29
2000	4	11 ～ 12	木造2階建住宅の解体作業で、3.7tのダンプの荷台上で廃材の整理をし ていて荷の上から転落し(約2. 7m)、コンクリートの土間に激突した。	30209	1	10～ 29
2000	3	17 ～ 18	建材店で4tトラックにセメントを積込み、ロープで積荷を固定する作 業をしていたときに荷台から道路に墜落し頭部を打った。	30209	1	30～ 49
2000	3	7 ～ 8	工事現場に入っていた4tトラックの納入順番が違うので一旦場外へ出 すため笛で誘導し、後進から前進にさせようとしたがそのまま後進し てきたため信号機とトラックの後部との間に挟まれた。	170201	6	50～ 99
2000	3	2 ～ 3	高速道路上の配水升の調査をしていたところ、作業帯の後方に停車し ていた規制車(標識車)に13. 3tトラックが衝突し、そのはずみではねら れた。	30199	17	10～ 29
2000	2	8 ～ 9	資材、車両置場において、ダンプのあおり付近で器材等の積込み中 に、同僚がバックしてきた積載形トラッククレーンとダンプとの間に 挟まれた。	30106	6	10～ 29
2000	2	13 ～ 14	2tトラックから建築廃材(コンクリート塊)を降ろすため、トラックの荷 台(高さ1. 3m)で荷台を覆っていたシートを外す作業をしていたとき に、転落して右肋骨を骨折し、感染症で死亡した。	30199	1	10～ 29

2000	1	0 1	船へコンテナを積込むため、専用トレーラーで運んできたコンテナを ガントリークレーンで吊り上げ、コンテナの下部コーナーキャスト ング部(コンテナを吊上げるため金具を挿入する穴)にオートロックコー ン(上下のコンテナを連結する金具)を入れようと立っていたときに動き 出したトレーラーの側面に接触して転倒し後輪に腹部をひかれた。	50202	7	30～ 49
2000	12	2 3	トラックでコンビニエンスストアに商品を配達中、信号の無い国道 交差点を右折進入したときに、右からきたトラックと出会い頭に衝突 した。	40301	17	30～ 49
2000	12	6 7	同僚と夫々がトレーラーで客先に向かって国道を走行中、先行のト レーラーがブレーキをかけて停止したところへ、追突し、運転席と荷 台との間にはさまれた。	40301	17	30～ 49
2000	11	18 19	木材のプレカット工場において、荷物の積み込みのため待機中に、前 の車両の積み込み作業を手伝っていてトラックの荷台より墜落し、地 面にあった木材で頭部を打った。	80209	1	1～9
2000	10	14 15	バイクで新聞配達中に国道を横断しようとしたところ、直進してきた タンクローリー車にはねられた。	80205	17	30～ 49
2000	10	8 9	住宅の新築工事現場付近の道路において、材料を運んできた2tトラッ クを現場付近の道路上に止めトラックから降りたところ、突然トラッ クが動き出したので止めようとして前に行き押さえたが止めきれずに 8mほど押されてしまい、後方にあった立ち木との間に挟まれた。	80109	17	1～9
2000	10	11 12	木造住宅の新築工事に使用するブラケット2つを4tユニック車の荷台か ら手渡す作業中に、高さ1.35mのあおりを超えてアスファルト舗装の 道路に墜落した。	30202	1	10～ 29
2000	4	11 12	残土捨場において、他の現場から採取した土を車両搬入路から4tト ラックで深さ10mの窪地に投棄しているときに、車両がバランスを崩 し転落した。	20209	1	1～9

2000	4	2 ～ 3	鋼材を運ぶため大型トレーラーで国道を走行中、対向の大型トラックがセンターラインを越えてきたため正面衝突した。	40301	17	1～9
2000	3	10 ～ 11	廃油回収のためトラックで自動車道を走行中、側壁に衝突して車外に投げ出され全身を強打した。	150102	17	10～ 29
2000	3	1 ～ 2	深夜にトレーラーで材木を運ぶ途中に、コンビニエンスストアで朝食を買うため道路上に駐車して道路を横断中、14tトラックにはねられた。	40301	17	30～ 49
2000	2	3 ～ 4	飲食店の最後の客を接待していた店員を会社の乗用車で自宅に送り届け会社に帰る途中、大型貨物車と衝突した。	140201	17	50～ 99
2000	1	3 ～ 4	トラックで高速道を走行中、中央分離帯に乗り上げ、さらに道路左側の防音壁に激突した。	40301	17	30～ 49
2000	1	16 ～ 17	4tダンプトラックに碎石を積み後進でスロープ上を走行していたときに、走行範囲に立ち入った者をひいた。	30106	7	1～9
2000	12	6 ～ 7	トラックで交差点を国道へ向けて進入したところ、窃盗の疑いでパトカーに追跡されて右方向から走ってきたトラックと衝突した。	40309	17	1～9
2000	11	18 ～ 19	運送ターミナルのプラットホームの下で携帯電話をかけていたところ、プラットホームにバックで進入してきた10t車の荷台後部とプラットホームとの間に胸をはさまれた。	40301	7	30～ 49
2000	10	10 ～ 11	大型タンクローリーで自動車道を走行中、インターチェンジの出口の右カーブを曲り切れずにガードレール(高さ80cm)を乗り越えて9m下の市道に転落した。	80204	17	1～9

2000	10	2 ～ 3	自動車道を走行中、前方に事故車両が停止しているのに気づくのが遅れ急ハンドルを切ったところ横転し、そのとき運転室とローリーが分離して運転室がガイドロープに激突して道路外に投げ出された。	40301	17	10～ 29
2000	9	16 ～ 17	オートバイでケアに行き勤務先に戻る途中の交差点で、直進していたところへ右折してきた2tトラックと衝突した。	130309	17	1～9
2000	8	12 ～ 13	4tトラックに食材を積み込み走行中、大型トラックに追突した。	40301	17	50～ 99
2000	7	1 ～ 2	荷降ろしを終え高速道路を走行中、約40度の斜度がついた側壁を斜めに駆け上がる形で走行したのち転倒し炎上した。	40301	17	30～ 49
2000	7	15 ～ 16	配送業務を終え4t保冷車で県道を走行中、対向の4tトラックがセンターラインを超え、保冷車の前を走行していたトラックに接触したのち保冷車と正面衝突した。	40301	17	10～ 29
2000	7	19 ～ 20	2トントラックを止めて運転席から降り、トラックの前方で同僚に声をかけたときに無人になったトラックが動き出し、トラックと搬入口との間にはさまれた。	40301	7	10～ 29
2000	6	13 ～ 14	トレーラーで国道を走行中、荷(護岸工事用コンクリートブロック)が荷崩れを起こしたためカーブを曲がりきれずに横転し、車外に投出されてトレーラーの下敷きとなった。	40301	17	30～ 49
2000	5	6 ～ 7	トラックで自動車道を走行中、前方の大型ダンプに追突した。	40301	17	50～ 99
2000	5	2 ～ 3	2. 5tトラックで走行中、赤信号で停車中の3トントラックに追突し、この衝撃で2台のタクシーに追突し、このタクシーを含む3重の玉突き交通災害となった。	40301	17	30～ 49



2000	2	9 ～ 10	荷物を降ろしてトラックで国道を走行中、右折のため信号待ちをして いた車5台の列に追突した。	40301	17	10～ 29
2000	2	8 ～ 9	塵芥回収車(パッカー車)に一般廃棄物を投入していて回転板に巻込まれ た。	150103	7	10～ 29
2000	11	1 ～ 2	4tトラックで荷積み地に向けて国道を走行中、高速道路の橋脚に激突 した。	40301	17	1～9
2000	11	21 ～ 22	養鶏場にニワトリを運ぶため4tトラックで国道を走行中、工事で片側 交互通行となっている停車中の大型トラックに追突した。	40301	17	1～9
2000	11	6 ～ 7	前日収集したゴミを駐車場内のゴミ置き場に降ろすために塵芥車を運 転し始めたところ、駐車場内に止めてあった他の塵芥車やトラックに 誤って車を擦ったため、擦り具合を確かめようと車を降りたときに 自分の車が動き出したので慌てて車を止めようと車の前面に出たところ を車にひかれた。	150103	7	10～ 29
2000	9	14 ～ 15	自動販売機を積んだ2tトラックに同乗して走行中、停車中の10tトラッ クに追突したため、助手席で胸部損傷を受けた。	170209	17	1～9
2000	8	8 ～ 9	高速道路の路盤に使用するコンクリートを製造するプラント付近で、 ブルドーザーで骨材を投入する準備をしているときに、碎石を運搬し てバックで入って来たダンプトラックの車輪にひかれた。	30106	7	10～ 29
2000	7	15 ～ 16	ゴミ収集を行って清掃センターのゲートからゴミをピットに投入した のち、汚れた収集車を洗車して荷台に溜まった汚水をピット内へ捨てる ため車両をゲート前まで再度後退させたときに、箒で車両後部の床 上を掃いていた者が押されてピット内に約10メートル転落した。	150103	6	50～ 99

2000	5	4 ～ 5	10tトラックに飲料水を積んで国道を走行中、対向の2tトラックが前方の耕耘機を発見して急ブレーキをかけたところスピンしてセンターラインをオーバーし、トラックの前に飛び出してきて衝突した。	40309	17	10～ 29
2000	3	8 ～ 9	国道の舗装改修工事において、センターライン引き作業の交通誘導をしていたガードマンが、走行してきた一般通行車両にひかれた。	170201	17	10～ 29
2000	3	14 ～ 15	普通トラックで国道の下り坂の左カーブを走行中、カーブを曲がりきれずに対向車線にはみ出し、対向の大型トラックと正面衝突した。	80209	17	10～ 29
2000	2	18 ～ 19	傾斜地(下り勾配5度)でトラックにドラグショベルを積み込んだ後、前上りの車台を戻すためトラックの側部でジャッキ下げの操作をしていたときに、トラックが前進し、側にあった別のトラックの荷台との間に体を挟まれた。	150102	7	1～9
2000	2	20 ～ 21	11tタンクローリーに灯油約10?を積んで県道を走行中、橋の手前でセンターラインを越えてガードフェンスを突き破り土手に転落した。	40301	17	10～ 29
2000	2	4 ～ 5	積載荷重36tのトレーラーに鋼材を積んで国道を走行中、トンネル手前のカーブでスリップして反対車線の縁石に乗り上げたため、牽引ヘッド及びトレーラーが転覆した。	40301	17	50～ 99
2000	12	16 ～ 17	駐車場の植え込みの縁石を並べ終わり、隙間を埋めるためのコンクリート(約20kg)を1tトラックの荷台から荷降ろしする作業中に転落した。	30199	1	10～ 29
2000	11	6 ～ 7	前2台のトラックのうち先のトラックが横道から飛び出てきた車がい たために急ブレーキをかけ、次の車もブレーキをかけたため、この車に追突した。	150103	17	1～9
2000	11	6 ～	舗装路面の平坦性試験を行っていたときに誘導員の車線変更の誘導にもかかわらずスピードを落とさないで走行してきた4t貨物車にはね	30106	17	100 ～

		7	られた。			299
2000	11	6 ～ 7	トラックで荷物運搬のため県道を走行中、カーブで道路路面が凸凹道であったためにハンドルを取られ、また、スピードを緩めずに走行したためトラックが横転した。	40301	17	30～ 49
2000	11	17 ～ 18	被災者は、タクシーに客2名を乗せて県道を走行中、交差点で左側から走行してきた大型ダンプの右後部車輪に激突した。	40201	17	50～ 99
2000	11	14 ～ 15	空調部品を2tトラックに積んで国道を走行中、信号待ちの4tトラックに追突した。	11401	17	10～ 29
2000	10	3 ～ 4	荷物を運ぶためトラックで走行中、信号が黄色点滅だったのでそのまま直進したところ、大型トレーラーが赤色点滅で停止せずに直進してきたため、交差点内で出会い頭に衝突した。	40301	17	10～ 29
2000	7	14 ～ 15	現場の作業が完了したので同じ現場で働く他社の作業員の車に同乗し走行中、照明灯に左前が接触し、その反動で車が進行方向右側にふられ横転した。その時、後方座席の窓が空いていたため被災者の上半身が窓から飛び出してしまい、胸部を圧迫され死亡した。	170201	17	50～ 99
2000	5	11 ～ 12	2トンダンプトラックで農場へ堆肥を搬送する作業中に荷台の下に挟まれた。	70101	7	10～ 29
2000	3	1 ～ 2	同僚が運転するトラックの助手席に同乗し、配送先へ品物を運送中、運転手が極度の花粉症のため突然咳込み、ハンドル操作を誤って左側縁石に乗り上げ鉄柱に衝突横転し、その反動で助手席から前面ガラスより投出された。	40301	17	30～ 49
2000	12	5 ～ 6	新聞配達のためバイクで走行中、駐車中の大型トラックに追突した。	80205	17	10～ 29

2000	12	17 ～ 18	軽食を採るため社員食堂のある棟に向かって横断歩道を渡っていたところ、信号が変わったので右折してきたトラックにはねられた。	11209	17	300 ～ 499
2000	11	5 ～ 6	県道をダンプカーで走行中、約10メートル崖下に転落した。	20201	17	1～9
2000	11	3 ～ 4	新聞配達のため、原動機付自転車で国道を走行中、後方から来た大型トラックにはねられ、500メートル先まで引きずられた。	80205	17	1～9
2000	11	5 ～ 6	10t保冷車で国道の追い越し車線を走行中、路面を清掃中の3.5t清掃車に追突して100m滑走し、路肩の道路案内標識柱に激突したのち、畑に転落した。	40301	17	10～ 29
2000	6	7 ～ 8	運搬してきた電柱11本を移動式クレーン(20トン)で電柱置場に降ろすため、大型トレーラー荷台の架台に上り玉掛作業を行っていたときに、高さ約2.53mの架台上から墜落した。	40301	1	30～ 49
2000	6	6 ～ 7	厚板工場の事務所の清掃作業に行くため自転車に乗って構内道路(幅8m)の左端を走行中に、トレーラーにひかれた。	150101	7	30～ 49
2000	5	5 ～ 6	大型トレーラーで有料道路の緩い右カーブを走行中、左側のガードレールを突き破り、約5m下に転落し、車外に放り出された。	40301	17	30～ 49
2000	3	2 ～ 3	10tトラックで国道を走行中、左カーブを曲がった後の直線道路で対向車線にはみ出し、対向の大型観光バスと正面衝突した。(大型観光バスの運転手も死亡、運転手の代行要員1名と乗客15名も重軽傷)	40301	17	30～ 49
2000	2	15 ～ 16	木造家屋解体工事において、積み込まれた廃材をトラックの荷台で整理していて大きい廃材を落ちないように荷台に積み込むため荷台から運転席の上部に移動したときにトラックの乗車部分より足を滑らせて	30202	1	1～9

			地面に転落した。			
2000	11	8 ～ 9	機器修理のため車で走行中、交差点内で右折しようとしたときに、対向車線上を大型トラックが直進してきたため正面衝突した。	80201	17	1～9
2000	11	5 ～ 6	厨房機器の搬入のため1. 5tトラックで国道を走行中、下り坂のカーブを曲がろうとして凍結した路面でスリップし、ガードレールを突き破って転落した。	30302	17	1～9
2000	11	4 ～ 5	普通トラック(4t)で空港付近を走行中、旧滑走路下のトンネルの側壁に衝突した。	40301	17	10～ 29
2000	10	14 ～ 15	塵芥専用車で焼却場から運搬して来た灰を後部あおりを開けずに荷台を上げてしまったため、焼却灰が荷台後部に詰まってしまったので、後部あおりを手で開けたところ詰まっていた焼却灰が一気に荷台をすべり落ち、胸から下が焼却灰に埋まった。	150103	5	10～ 29
2000	9	10 ～ 11	支線道路の進入口にあったセフティーコーンを移動して、助手席側のドアに捉まり立ちしてトラックに乗り時速約20km/hで約7m走行したところでトラックから転落し頭部を強打した。	40301	17	10～ 29
2000	9	22 ～ 23	台船運搬のため国道を走行中、左カーブの道路を直進してガードレールに接触し、3. 5メートル下のJR線に転落した。	40301	17	10～ 29
2000	9	2 ～ 3	大型トラックで卵を配送して国道を走行中、交差点において信号待ちしていたトラックなど3台に後ろから追突した。	40301	17	30～ 49
2000	5	7 ～ 8	コンビニ店へ雑誌類を配送するため4t車で走行中、カーブミラーに接触したのち電柱に荷台左側をぶつけ、その反動でセンターラインをはみ出して対向のタンクローリーと正面衝突した。	40301	17	10～ 29
		9	2t保冷車の修理の依頼を受け、客先で保冷車のエンジンをかけたまま			

2000	4	～	その下に潜りクラッチを修理していたところ、車が突然動き出して後	11701	7	1～9
		10	輪につぶされた。			
2000	3	～	入札の見積書提出のためワゴン車で走行中、対向のトラックが中央分	130109	17	300
		16	離帯を越えてきたため正面衝突し、横向きをなつたところを後続の大			～
			型トラックにも衝突された。			499
2000	3	2	2トントラックで新聞の配送業務が終了し国道を走行中、赤信号で止	40302	17	50～
		～	まっていた10トントラックに追突した。			99
		3				
2000	2	～	町道の改良工事で、バックホーを使ってはがしたアスファルトのくず	30106	7	1～9
		9	を4tダンプに積み込んでいたところ、ダンプが後ろに動き出したの			
		10	で、それを見てバックホーの運転手が止めようと運転席から飛び降り			
			ダンプに乗りこもうとしたときに積み残していたアスファルトのくず			
			に足を取られ転倒し、その上をダンプが走行した。			
2000	12	11	10tトラック(平ボディ)へ荷の積込みを終え、荷台にシートを掛けてい	40301	1	10～
		～	るときにトラックの荷台(またはキャビンの屋根)から転落した。			29
		12				
2000	11	5	セメントローリー車(10t)へ粉体セメントを積込み、上部ハッチを閉め	40301	1	30～
		～	るときに手が滑ったはずみで2.9m下の地面に墜落した。			49
		6				
2000	8	15	国道を2tトラックで走行中、緩い左カーブの所でセンターラインを越	80109	17	1～9
		～	え、対向の10tダンプトラックと正面衝突した。			
		16				
2000	8	10	クリーンセンター内で、可燃ごみの投入プラットホームに止めてある	150103	6	1～9
		～	自車(パッカー車)に戻るため投入待機中の2tダンプの後部を通過したと			
		11	きに、この車が後退してきたため深さ約2.9mのホッパー内に転落し			
			た。			
		15	ずい道新設工事現場において、20tダンプをずい道内に止めて切羽に向			30～

2000	7	～ 16	う途中、バックで進行してきた別の20tダンプにひかれた。	30102	7	49
2000	3	16 ～ 17	10tトラックに自動車部品を積んで走行中、圧雪のためスリップして対向車線に入ってきた大型トラックと正面衝突した。	40301	17	30～ 49
2000	1	16 ～ 17	工事現場内に置かれてあった山砂利を搬出するため、ダンプを山砂利の近くまで後進させたとき近くで作業していた者をひいた。	30106	6	10～ 29
2000	12	3 ～ 4	電子部品を運搬するため大型貨物自動車で自動車道を走行中、90. 2キロメートルポイントにおいて、大型貨物自動車の右後部に追突し、中央分離帯を乗り越えて対向車線の側壁に衝突した。	40301	17	30～ 49
2000	3	9 ～ 10	排雪場において、雪を捨てたダンプトラックの後輪が空回りして動けなくなったのでホイールローダーで牽引しようとダンプトラックの運転手とホイールローダーの運転手2名でワイヤーロープの取り付け作業等を行っていたところ、上部にあったダンプトラックが無人状態で斜面を下ってきたため、2名がダンプトラックとホイールローダーの間にはさまれ、ダンプトラックの運転手が死亡した。	30199	7	1～9
2000	12	1 ～ 2	木材加工品を10tの大型トラックに積み走行中、国道の橋の上で2台前を走行していた大型トレーラーが路面凍結のためスリップして横になったところに追突し炎上した。	40301	17	10～ 29
2000	12	6 ～ 7	会社のトラックに作業用の資材等を載せ工事現場に向かって走行中、センターラインを超えて対向車線に飛び出し、乗用車(RV車)と衝突した。	30201	17	10～ 29
2000	11	6 ～ 7	4tトラックにフォークリフトで荷の積込み作業をしていたところ、傾斜地のためトラックが前方に動き出したので、それを止めるため運転席のドアを開けて飛び乗ろうとしたが、その途中で前方に停止していた12tトラックの後部にドアが当たり、ドアと運転席との間に挟まれた。	40301	3	100 ～ 299

2000	10	11 ～ 12	4tトラックに荷物を積込み国道を走行中、道路工事のため一時停止していた8tトラックに追突した。	40301	17	30～ 49
2000	10	2 ～ 3	新聞配送のため4tトラックで道路交差点を走行中、右手から走行してきたワゴン車と衝突し、その弾みで信号柱に激突した。	40301	17	50～ 99
2000	8	11 ～ 12	宅配のため2tトラックで見通しの悪い町道の交差点を通過しようとしたところ、左方より直進してきた乗用車がトラックの後部バンパー部に衝突し、その衝撃でトラックが横転した。	40301	17	10～ 29
2000	7	23 ～ 24	店舗に商品を届け、4tトラックで国道を走行中、緩やかな左カーブのところ、対向車線にはみ出し、対向の10t大型トラックと正面衝突した。	40301	17	10～ 29
2000	7	8 ～ 9	トラックで自動車道を走行中、トンネル内で壁に衝突したはずみで車外に投げ出され、トラックの後輪に巻き込まれた。	40301	17	10～ 29
2000	5	16 ～ 17	2tトラックを運転して会社に戻る途中、S字の緩い左カーブでセンターラインをオーバーし、対向の大型トラックと正面衝突した。	11209	17	1～9
2000	3	17 ～ 18	会社の倉庫で2tダンプのプロペラシャフトに絡み付いているビニールを取り除くため、ダンプの荷台を途中まで上げて荷台の下にもぐったときに、荷台が下降し、荷台とシャーシーとの間に胸を挟まれた。	30209	7	1～9
2000	3	4 ～ 5	4tトラックで国道を走行中、スピードを出しすぎて緩やかな下り坂の左カーブでセンターラインを越え、対向車と正面衝突した。	40301	17	30～ 49
2000	3	9 ～ 10	工事現場に向かうため町道をトラックで走行中、対向のトラックが車線をはみ出してきて衝突した。	30301	17	1～9



2000	2	1 ～ 2	国道の夜間切削工事現場において、切削した舗装材の積み込む順番を待つため待機場所へ後進中のダンプトラックが、後進経路上にいた者を左後輪でひいた。	30106	6	1～9
2000	1	20 ～ 21	トラックで広域農道を走行中、左カーブでスリップして対向車線にはみ出し、対向のトラックと衝突した。	40301	17	30～ 49
2000	12	0 ～ 1	得意先の巡回のため貨物自動車でも国道を走行中、対向車線をはみ出して対向のクレーン車と正面衝突した。	10104	17	30～ 49
2000	7	1 ～ 2	大型貨物自動車でも国道を走行中、道路補修工事に伴う交通規制のため停車していた大型貨物自動車に追突した。	40301	17	100 ～ 299
2000	2	7 ～ 8	トラックで走行中、前方に停車中のトラックへ追突し、助手席に乗っていた者が死亡した。	40301	17	30～ 49
2000	2	11 ～ 12	石灰石を積んでダンプトラックで走行中、右カーブで対向車線にはみ出しトラックと正面衝突した。	40301	17	30～ 49
2000	12	8 ～ 9	4tダンプトラックで林道開設工事現場に向かい走行中、左カーブの下り坂でガードレールを突き破り約10m下の谷に転落した。	30106	17	30～ 49
2000	1	13 ～ 14	2tトラックで工事現場に向かう途中、国道に交わるT字路で、左右を確認して左折しようとしたときに、左方向より対向車線歩道の縁石を跨いで走行してきた飼料運搬車(大型車)に衝突され、助手席から飛び降りた者が運搬車にはねられた。	30202	17	1～9
2000	1	4 ～	仕事を終え、トラックで自動車道を走行中、左側に停車していたトラックに追突した。	40301	17	50～ 99

		5				
2000	11	6 ～ 7	ライトバンで除雪後の道路状況の確認のため走行中、信号機のある五差路で右側から信号機を無視して進入してきた11t保冷車と出会い頭に衝突し、ライトバンの2名が死亡した。	30199	17	50～ 99
2000	11	6 ～ 7	ライトバンで除雪後の道路状況の確認のため走行中、信号機のある五差路で右側から信号機を無視して進入してきた11t保冷車と出会い頭に衝突し、ライトバンの2名が死亡した。	30199	17	50～ 99
2000	11	8 ～ 9	工事現場において、路盤整備の作業を行なうため現場内の道路上を歩いていて、同一直線上をバックで進入してきたダンプトラックの後輪にひかれた。	30106	7	10～ 29
2000	10	8 ～ 9	大型平ボデートラックからコンテナパック入飼料をフォークローダーで荷降しする作業で、荷台上でパックの紐をかける作業を行っていたときに荷台から転落した。	40302	1	30～ 49
2000	10	7 ～ 8	工事現場の警備業務のため乗用車で国道を走行中、対向車線にはみ出したため対向のトラックと衝突した。	150101	17	50～ 99
2000	10	17 ～ 18	役場へ業務打ち合せに行くために車で走行中、畑の取り付け道路から、大型トラックがバックで出てきたため、車は避けることができずに大型トラックの荷台後部の下に潜り込む形で衝突した。	170209	17	10～ 29
2000	9	15 ～ 16	養豚場の軽トラックで粃殻の運搬のため堤防道路上(幅約3m)をトラックで走行中、運転を誤って路外に転落して小屋に激突し、地面と運転席扉の窓部との間に挟まれた。	70101	17	1～9
2000	9	7 ～ 8	大型トレーラー(18t車)を運転して走行中、自動車道料金所の手前の緩い左カーブ(制限速度40km)で路外に逸脱し横転した。	40301	17	10～ 29
2000	9	9 ～	タンクローリー(通称3キロローリー)で工事現場に軽油を配達するため走行中、右カーブの道路を左側に逸脱し、電柱に激突した。	80204	17	1～9

		10				
2000	8	0 ～ 1	土木工事現場から大型ダンプトラックに土砂を積込んで走行中、信号待ちをしていた同現場に入っている他業者の大型ダンプトラック2台に玉突き追突した。	40301	17	10～ 29
2000	8	11 ～ 12	トレーラーに貨物を積み、国道を走行中、下り坂の右カーブでブレーキを掛けたが間に合わず、路外逸脱して横転して運転席から投げ出され、トレーラーヘッドの下敷きになった。	40301	17	30～ 49
2000	8	10 ～ 11	ライトバンで駅にアルバイトの2名を迎えに行き、仕事先であるゴルフ場内レストランに向けて走行中、交差点で一時停止をせずに交差点に進入してきたダンプトラックに衝突された。	10109	17	30～ 49
2000	8	10 ～ 11	ライトバンで駅にアルバイトの2名を迎えに行き、仕事先であるゴルフ場内レストランに向けて走行中、交差点で一時停止をせずに交差点に進入してきたダンプトラックに衝突された。	10109	17	30～ 49
2000	8	10 ～ 11	ライトバンで駅にアルバイトの2名を迎えに行き、仕事先であるゴルフ場内レストランに向けて走行中、交差点で一時停止をせずに交差点に進入してきたダンプトラックに衝突された。	10109	17	30～ 49
2000	8	15 ～ 16	国道トンネルの漏水防止板の撤去工事において、トンネル手前約140mの位置に「徐行」の札を掲げていたときに、走行してきた2tトラックに激突されて約17m飛ばされた。	30199	17	30～ 49
2000	8	15 ～ 16	桜並木の保全のために周辺の柳の木を伐倒し、トラッククレーン車に手作業で乗せるため荷台上で積み込み、整理をしていたときに、高さ1・46mの荷台上から転落した。	30199	1	50～ 99
2000	8	9 ～ 10	集荷のため大型トレーラーで走行中、前の乗用車を追い越そうとして対向車線に出たが、その途中で追い越しを止めて戻ったときに橋の左側の欄干を突き破って約10m下の河川敷に墜落した。	40301	17	10～ 29
2000	8	11 ～	トラックで走行中、右折するため一時停止した10tダンプを避けようとして対向車線に出たときに、対向の3t保冷車と正面衝突し、その衝撃	80209	17	1～9

		12	で横滑りしてさらに約8m後方の乗用車と衝突した。			
2000	6	4 ～ 5	大型保冷車(9t車)が、道路工事のため停車していた大型トラック(12t車)に追突した。	40301	17	50～ 99
2000	6	9 ～ 10	下水道工事現場で排出されたアスファルトを4tダンプに積んで廃棄物処理場に向け町道を走行中、一時停止のない十字路で左側から直進してきた10トンダンプと出会い頭により正面衝突した。	30110	17	1～9
2000	6	5 ～ 6	トレーラーにビール酵母を積んで国道を走行中、右カーブを曲がり切れずに路外に飛び出して2m下の側溝に横転しながら転落した。	40301	17	30～ 49
2000	5	7 ～ 8	ずい道工事において、ズリ運搬作業が終了したので、不要になったダンプトラック(11t)を坑外の指定場所まで移動させるためバックで走行中、坑内を通行していた作業者に激突した。	30102	6	30～ 49
2000	3	9 ～ 10	会社の車で国道を走行中、対向のトレーラーの右後輪が外れて飛んできてフロントガラスを直撃した。	10701	17	100 ～ 299
2000	3	15 ～ 16	舗装工事のため片側交互通行としていた車道を解除するため、セーフティーコーン等の後片付け作業を行っていたときに、走行してきたトラック(4t)が交通規制に気付かず乗っていた規制車に衝突してきたため全身を強打した。	30199	17	10～ 29
2000	3	9 ～ 10	トラック(積載荷重6.2t)での荷の運搬を終えて走行中、上りの左カーブでアイスバーンのため対向車線にはみ出して対向のトラックと正面衝突した。	40301	17	30～ 49
2000	2	15 ～ 16	石油をタンクローリー(25t)で輸送途中、アイスバーンのためスリップして回転しながら飛び出してきた対向のミキサー車の後部右側がタンクローリーの運転席付近に衝突した。	40302	17	10～ 29
		0	トラックの運転で、昼休み休憩中に道路に寝そべっていたところ、ト			

1999	7	1	ラック積載型小型移動式クレーンの運転席内で休憩していた別の者が両足を運転席に伸ばしたときにサイドブレーキに触れて、解除したため突然動き出し、クレーンにひかれた。	30199	6	1～9
1999	12	2 3	国道の夜間道路工事現場において、延長750メートル区間の片側通行帯で交通誘導をしていたところ、走行してきた10トントラックにはねられた。	170201	17	50～ 99
1999	11	1 2	ハイヤーで乗客を、目的地に運んだのち、食事のため車を止めて、反対車線側にある飲食店に向かって道路を横断中に貨物自動車に跳ねられ、さらに別の普通乗用車に跳ねられた。	40201	17	50～ 99
1999	12	5 6	自動車道をトラックで走行中、前方を走行していたトレーラーに気付くのが遅れ追突した。	40301	17	30～ 49
1999	10	8 9	牛乳配達で市道の横断歩道を渡っていたとき、左方から来た普通貨物車にはねられた。	80209	17	10～ 29
1999	12	5 6	2台の車両が続いて走行中、交差点にさしかかったときに、信号が赤になったため前走行の車両が停止したので後続車が追突し、追突された車両が衝撃で左車線にそれたため、そのまま進行し赤信号で停車していた他の車両の後部に追突した。	40301	17	10～ 29
1999	12	12 13	トラックを運転して高速道路を走行中、前方に横転している乗用車の中に人がいるのを発見したので、その前方の路側に停車して救出活動を行っていたところに、後方から走行してきたトラックがこの乗用車に衝突した後、激突してきた。	40301	17	10～ 29
1999	6	4 5	駅前ビル店舗の解体をつんで4tトラックで走行中、後続の大型トラックに追突された。	30209	17	1～9
		11	軽トラックで走行中、対向車線にはみ出して、走行中のトラックと激			10～

1999	3	～ 12	突した。	80209	17	29
1999	12	13 ～ 14	ほ場整備に伴う河川の堰のコンクリート打設のための型枠組立作業中、工事中道路をバックで進んできた4tミキサー車が型枠組立のために掘削された工事中道路から高さ約2.8m転落し、下で型枠組立をしていた者の上に落ちてきた。	30106	4	30～ 49
1999	7	12 ～ 13	4tトラックでバスユニットの部品を運送する途中、国道で運送会社のトラックと正面衝突した。	40301	17	10～ 29
1999	12	14 ～ 15	トラックで走行中、サービスエリア入口付近の駐停車禁止場所に駐車していたトラックに後方から追突した。	40301	17	50～ 99
1999	12	14 ～ 15	町道に下水管を敷設するため、2人で水系を張り掘削溝底部の管の中心を計測していたが、計測をするのにトラックが邪魔になったためトラックを前方に動かしたところ、トラック前方で水系を押さえていた者をひいた。	30110	17	10～ 29
1999	12	16 ～ 17	玉掛作業員としてトラックの荷台上で荷下ろし作業中、トラッククレーン(つり上げ荷重4.9t)で荷物を吊上げたときに荷台上でバランスを崩した。	40301	1	10～ 29
1999	12	3 ～ 4	マンションの牛乳配達を終え自分の車のところへ戻ったところに、大型トラックが突っ込んで来てはね飛ばされた。	80209	17	1～9
1999	10	3 ～ 4	高速道を走行中、トンネル入口の右側側壁に衝突した。	40301	17	10～ 29
1999	10	5 ～	4tトラックで営業所へ荷物を取りに行く途中、信号待ちのため停車していたトラックに追突した。	40301	17	30～ 49

		6				
1999	6	3 ～ 4	15tトラックに荷を積載して、国道を走行中、センターラインをはみ出して、対向のトレーラーに接触、その弾みでその後続の10tトラックと正面衝突した。	40301	17	1～9
1999	9	15 ～ 16	休憩時間中に、道路の反対側に渡るため徒歩で県道を渡っているときに、軽トラックにはねられた。	30110	17	1～9
1999	12	2 ～ 3	トラックで国道を走行中、赤信号で止まっていた前方の大型トラックに追突した。	40301	17	100 ～ 299
1999	11	7 ～ 8	4tダンプでおがくずの回収作業を行っていた者がダンプから約10m離れた地点で倒れているのを発見された。	11709	1	1～9
1999	8	16 ～ 17	トンネル工事現場から工場に生コンミニプラントを9トントラックで運送中に。国道の路肩から約15メートル下の川にトラックごと転落した。	40301	17	10～ 29
1999	8	22 ～ 23	4トントラックに荷を積載して走行中、対向車のセミトレーラーがセンターラインをオーバーしてきて、正面衝突した。	40301	17	100 ～ 299
1999	3	8 ～ 9	配達先で納品伝票を渡し、トラック荷台に上がって荷卸の準備を始めたが配達先の者が伝票に受領印を押してトラックのところに来たときに運転手の姿が見えないので周囲を捜したところ、トラック横の道路に仰向けに倒れていた。	40301	1	10～ 29
1999	8	13 ～ 14	4tトラックで荷物の配達を終えて走行中、交差点で信号待ちをしていた大型冷凍セミトレーラーに追突した。	40301	17	10～ 29
		9	宅配のため軽トラックで走行中、信号機のない町道の交差点で右側か			

1999	8	～	ら走行してきた乗用車(ワンボックス車)と衝突し、両車とも田畑に飛び	40301	17	1～9
		10	込んだ。			
1999	12	～	生鮮魚介類を運ぶため大型保冷車で自動車道を走行中、下り急カーブ	40301	17	100
		19	のところで前を走行していた大型トラックに追突した。			～ 299
1999	6	～	4トントラックで国道を走行中、対向の大型ダンプトラックが前方のト	40301	17	10～
		18	ラックに衝突したはずみでセンターラインを越えて飛び出してきたた			29
			め正面衝突した。			
1999	12	～	大型貨物車で走行中高速道路の事故で停車中だった4台の車に追突し	40301	17	100
		5	た。			～ 299
1999	12	～	市場に荷を下ろしたのち空荷の大型トレーラーで国道を走行中、信号	40301	17	1～9
		9	で停止していた大型トラックに追突し、さらに軽乗用車に追突した。			
1999	12	～	会社への帰路2トン車で道路を走行中、対向の大型トレーラーが左側の	40301	17	30～
		20	コンクリート側壁に衝突して反対車線にはみ出してきたため正面衝突			49
			した。			
1999	12	～	トラックで高速道路を走行中、5キロ前方で事故が発生して渋滞してい	40301	17	100
		3	たところへ被災者が運転していたトラック(11t)が前のトラック(10t)に			～ 299
			追突した。			
1999	12	～	砕石を運ぶため4tトラック資材置場へ行き、同僚が砕石の積込をして	30199	6	10～
		17	いる間車外で待機していたところ、トラックが逸走しかけたためそれ			29
			を止めようとして逸走してきたトラックと資材置場内にいた2tトラッ			
			クとの間に挟まれた。			
1999	12	～	大型トレーラー(最大積載40t)に鉄骨約35tを積載して走行中、ジャンク	40301	17	50～
		14	ションの下り左カーブを曲がりきれずに横転した。			99



1999	12	9 ～ 10	建設現場で使用する機材をトラックに積み込む作業で荷台(地面からの高さ約1m)に載って、機材の数量点検を終了し荷台から降りるときに、転落した。	30109	1	1～9
1999	12	4 ～ 5	2tトラックに荷を積み込み国道を走行中、信号機のある交差点で右折しようとしたところ、対向車線から直進してきた9t大型トラックと衝突して車外に投げ出されたのち大型トラックにひかれた。	40301	17	30～ 49
1999	12	23 ～ 24	バイパスの切削工事において、切削クズを運ぶ空車の10tダンプが作業箇所近づこうと後進しているときに、出入口で作業車の誘導・監視を行っていた交通整理員がひかれた。	170201	7	30～ 49
1999	12	3 ～ 4	トラックで得意先へ荷物を搬送中、夜間点滅信号のある交差点に黄点滅で進入したところ、赤点滅で進入してきた乗用車に側面から衝突され、はずみで対向車線に飛び出したところへ、直進してきた大型トラックに衝突された。	40301	17	1～9
1999	12	8 ～ 9	橋形クレーン(つり上げ荷重10.2t)を用いて鋼材(重量約9.8t)をトラック(最大積載荷重7t)の荷台に載せたところ、トラックがバランスを崩して横転したため、トラックと地面との間に腹部をはさまれた。	11209	7	30～ 49
1999	12	2 ～ 3	トラックで走行中、前方の2箇所で事故が発生していて、ブレーキをかけたが間にあわずタンクローリーに追突した。	40301	17	10～ 29
1999	12	13 ～ 14	下水道管埋設を行う現場で、掘削した路面のアスファルトを積載したトラックを移動するため、そのトラックの運行経路上に停車していた別のトラックが待避しようとして後進したときに車両の後方で清掃作業をしていた者をひいた。	170201	6	1～9
1999	12	2 ～ 3	トラックで走行中、交差点手前で信号待ちしていた車(2台)に追突した。	40301	17	50～ 99
		0	昼食を購入のため自転車で交差点を通行中に、右折してきたトラック			

1999	4	～ 1	にはねられた。	80204	17	1～9
1999	12	4 ～ 5	国道交差点で運転する13tトラックが信号待ちの10tトラックに追突し、衝突の反動で後退したときに側道の下約4mのところに転落した。	40301	17	30～ 49
1999	2	14 ～ 15	事務用品購入のため交差点を自転車で横断中(青信号)、左折の大型貨物自動車にひかれた。	11701	17	1～9
1999	12	9 ～ 10	社用のライトバンで自動車道を走行中、前方の車に追突したので(車3台の追突事故)路上に降りて相手方と話し合いをしていたときに、保冷車に追突された停車中のライトバンが動いてきて激突された。	170209	17	1～9
1999	11	5 ～ 6	積荷の銑鉄を納入するため高速道路を10tダンプカーで走行中、前方を走行中のトレーラーに追突した。	40301	17	10～ 29
1999	6	10 ～ 11	引越し作業で、3階建ビルの1階通路の天井高が低かったのでトラックの屋根上に登り誘導していたところ、トラックを前進させたときに天井の梁とトラックの屋根に頭部を挟まれた。	40301	3	100 ～ 299
1999	12	22 ～ 23	3tトラックで国道を走行中、前を走行していた10トントラックが赤信号のため停車しようとして減速していたところへ追突した。	40301	17	100 ～ 299
1999	12	19 ～ 20	営業所に戻るためトラックで走行中、路肩に停車していた凍結防止剤散布用大型車に衝突した。	80209	17	1～9
1999	12	3 ～ 4	生コンクリートミキサー車を路上に停車して、ウォーター・ジェットのホースを片付けようとしていたときに、逸走して来た同ミキサー車に頭部をひかれた。	30102	6	10～ 29
		7	ふすま2枚を運搬するため事業場のトラックで県道を走行中、直進して			

1999	9	～ 8	きた乗用車と衝突し、さらに水田に転落した。	170209	17	1～9
1999	11	5 ～ 6	新聞配達中、自転車で道路を横断しようとしたときに、走行してきた大型トラックにはねられた。	80205	17	1～9
1999	10	5 ～ 6	県道を貨物自動車(最大積載量4t)で走行中、片側3車線の左端に停車中の大型トレーラに追突した。	40301	17	1～9
1999	12	0 ～ 1	片側3車線の自動車専用道路のつなぎ目を補修するため、1車線を約1.2キロメートルにわたって規制し、作業員5名が規制区画内で作業中、同作業箇所トラックが突っ込み、作業員3名がはねられた。	30199	17	10～ 29
1999	12	0 ～ 1	片側3車線の自動車専用道路のつなぎ目を補修するため、1車線を約1.2キロメートルにわたって規制し、作業員5名が規制区画内で作業中、同作業箇所トラックが突っ込み、作業員3名がはねられた。	30199	17	10～ 29
1999	8	2 ～ 3	10tトレーラーで空のコンテナを積み込んで国道を走行中、右折しようとして徐行していた前方の普通乗用車に気付くのが遅れ、ハンドルを切ったが避けきれずに、乗用車に接触してそのまま直進し、ドライブインの駐車場に駐車していた10tトラックと正面衝突した。	40301	17	50～ 99
1999	12	13 ～ 14	資材置き場において砂利等をダンプトラックに積込んで待機していたときに事業主が運転して後進してきたダンプトラックの後輪にひかれた。	30202	7	1～9
1999	12	14 ～ 15	舗装工事の検査のため同僚が運転するリフト車で現場に到着し、リフト車を空き地に停めて、運転してきた同僚が近くの側溝でポリタンクに水を汲んでいた間にリフト車にひかれた。	30106	7	10～ 29
1999	12	9 ～ 10	道路脇の舗装復旧工事において、しゃがんで作業をしていた者を砂礫を運ぶ4tダンプが前方を確認しないまま発車してひいてしまった。	30199	7	10～ 29

1999	12	9 ～ 10	<p>廃材を運送するため大型トレーラーで国道を走行中、急な左カーブを曲がりきれず対向車線にはみ出し、ガードレールを突き破って約7m下の河原に転落した。</p>	11209	17	1～9
1999	12	16 ～ 17	<p>公園造成作業を終えて同僚と2人で社用車(2tトラック)で帰社する途中、路上に駐車していたトラックに追突した。助手席に乗車していた者が死亡した。</p>	30199	17	1～9
1999	12	5 ～ 6	<p>トラックで国道を走行中、センターラインを超えて、ガードレールのすき間から約1.5メートル下の斜面に墜落した。</p>	40301	17	30～ 49
1999	3	7 ～ 8	<p>トラックで顧客先へ商品を届る途中、国道交差点で信号待ちをしていた大型トラックに追突した。</p>	170209	17	30～ 49
1999	12	12 ～ 13	<p>トラックで国道を走行中、道路工事のため片側通行で停止していた車に追突した。</p>	40301	17	50～ 99
1999	10	8 ～ 9	<p>環状線において宿泊先へ乗用車で向かう途中、前方の乗用車がスピンして追い越し車線をふさいだところへ追突した。</p>	40301	17	100 ～ 299
1999	12	15 ～ 16	<p>製材所敷地内において、材木をプレカット工場へ運搬するためクレーン付トラック(積載重量4t)に材木を積み込み、高さ1.13メートルの荷台から降りようとしたときにバランスを崩しコンクリート地面に墜落した。</p>	30202	1	30～ 49
1999	12	2 ～ 3	<p>4tトラックで国道を走行中、2台前を走行していた車両がドライブインに入るため減速したため、次のトレーラーも減速したところに激しく追突した。</p>	40301	17	10～ 29
		9	<p>トレーラーでアミノ酸を運んでいったん牽引車を切り離して駐車場で待機していたが、取出しが終了したので牽引車とトレーラーを接続す</p>			

1999	12	～ 10	るため、接続用エアホースをつないだときに、突然車全体が動き出したので車を止めるため運転席に乗ろうとしたが、運転席のドアが工場内私道の脇にある鉄製の支柱に押され、ドアと車体の間に胸部を挟まれた。	40301	7	10～ 29
1999	12	3 ～ 4	4tトラックで国道を走行中、被災者が運転するが、減速した前の大型トレーラーに追突した。	40301	17	50～ 99
1999	11	5 ～ 6	4tトラックに約3トンの電気機械を積み高速道路を走行中、10tトラックに追突した。	40301	17	10～ 29
1999	11	0 ～ 1	トラックで走行中、昼食をとるため右折しようとしていたが、対向車があったので行き過ぎるまで停止して待っていたところ、後方から来た大型トラックに追突され、その衝撃でトラックが対向車線に飛び出し、大型ダンプに衝突した。	80109	17	30～ 49
1999	12	13 ～ 14	9. 4トントラックで米を運ぶ途中、中央線を越えて対向車2台と衝突し、さらに道路脇の堰に転落した。	40301	17	10～ 29
1999	12	5 ～ 6	コンクリートパネルを10トントラックに積載して走行中、国道の信号のある交差点で赤信号で停車していた大型トレーラーの後部に追突した。	40301	17	30～ 49
1999	12	16 ～ 17	ホテルに宿泊するため駐車場にトラックを停車させ車を離れようとしたところ、傾斜でトラックがバックしてきたのでドアを開けてトラックを止めようとしたときに、電柱と車体との間にはさまれた。	30202	17	1～9
1999	11	10 ～ 11	資材置場で、2トンダンプの荷台に上り単管等の荷造りを行なって下車する際に転落した。	30199	1	10～ 29
		5	トラックで出版物の配達終了後、高速道路を走行中、カーブで中央分			10～

1999	11	～	離帯の縁石に右側前輪が接触し、そのままこすれる形で前進して案内	40301	17	29
	6		板門柱に正面から衝突した。			
1999	12	5	10tトラックで自動車道を走行中、対向車線を走っていた10tトラック	40301	17	10～
	～	6	が中央分離帯を突き破って、車線をふさいだため正面衝突した。			29
1999	11	22	11tトラックにモーター類を積んで走行中、国道を対向の大型トラック	40301	17	10～
	～	23	と正面衝突した。			29
1999	12	8	工事現場で使用する土砂を2tダンプトラックで運搬する作業で、土砂	30106	17	10～
	～	9	の採取場所傾斜4度でダンプトラックと杉の立木との間に挟まれた。			29
1999	11	5	工事現場に土木資材を運ぶ途中で、国道の交差点手前に大型トラック	40301	17	10～
	～	6	を駐車し車外に出ていたときに、後から保冷車に追突され、その弾み			29
			で動いた自分の大型トラックの左後輪に巻き込まれた。			
1999	12	10	発電機を建設工事現場に運搬するためにトラック(4t)で走行中、対向車	80409	17	1～9
	～	11	(4t積みトラック)が走行車線に進入してきたために避けきれず、正面衝			
			突した。			
1999	11	0	トラックを路肩に停車させて故障を調べるために車両の左側に立って	40301	17	50～
	～	1	いたところへ、大型トラックが追突してきてはずみではね飛ばされ、			99
			約20メートル下の林に転落した。			
1999	11	17	土砂採取現場で、土砂を採取中に動きだしたダンプトラックを止めよ	30110	1	1～9
	～	18	うとしてダンプトラックに乗ったが梅畑に転落した。			
1999	11	14	ダンプトラックに積み込まれた表土を運搬するため、トラックの荷台	40302	1	10～
	～	15	の上でシート掛けを行っていて荷台から約2m下の地面に墜落した。			29
		15	バッテリーが上り気味の保冷車(9.5t)を動かすため、少し傾斜した道			

1999	10	～ 16	路で3速にギアを入れセルを回したところ、約9メートル前方の道路上に止めてあった自社のトラック(5.5t)に追突し、同僚1名が保冷車と自社のトラックとの間に挟まれた。	40301	17	30～ 49
1999	11	～ 6	5 道路改修工事で国道バイパスの1車線を規制するため、交通整理を行っていたところ、切削車に給水するために後退してきた散水車にひかれた。	170201	6	100 ～ 299
1999	11	～ 5	4 大型貨物自動車(10t)で走行中、交差点に差し掛かるときにスピードの出しすぎ及び濃霧なのに一時停止を怠って同交差点に進入したため、左側道路から進入してきたダンプトラック(11t)と側面衝突した。	40301	17	30～ 49
1999	11	～ 10	9 トラック(3.5t)を運転して走行中、対向の大型トラックが中央線を越えて走行してきたため正面衝突した。	40301	17	30～ 49
1999	5	～ 9	8 大型トレーラーが空車で走行中、下り坂の緩いカーブで対向車線へはみ出し、道路右側のガードロープを越えて約10m下に転落して車外に放り出されトレーラーの下敷きになった。	40301	17	50～ 99
1999	11	～ 1	0 4tトラックに事務用品を積んで走行中、上り坂の急カーブ(曲線半径60m)を曲がりきれずに対向車線にはみ出し、対向の観光バスと正面衝突した。	40301	17	10～ 29
1999	11	～ 16	15 ライトバンで国道バイパスを走行中、追い越しのため対向車線に入ったときに対向の車線を走行していた4トントラックと正面衝突した。	11305	17	50～ 99
1999	11	～ 6	5 新聞配達で歩いて道路をわたっていたときに、右側から走行してきた軽トラックにはねられた。	80205	17	10～ 29
1999	11	～ 6	5 トラックにアルミ製品を積載して、国道を走行中、緩やかなカーブにおいて対向車線に飛び出して、対向の3台の大型トラックのうち先頭車2台にそれぞれ接触したのち、3台目の車輦と正面衝突した。	40301	17	10～ 29

1999	10	11 ～ 12	パン配送の帰りに軽ワンボックス車で環状線を直進して横切ろうとしたところ、環状線を直進してきた車と衝突した。	10104	17	10～ 29
1999	10	6 ～ 7	最大積載量9.5tのウイングトラックで自動車道を走行中、トンネル内でエンジントラブルを起こして停車中の大型トラックに後方から追突した。	40301	17	1～9
1999	11	13 ～ 14	情報BOX設置工事で、一片側交互通行の交通規制を行っていたときに、先頭車両の軽四トラックがそのまま突っ込んできたため、約8m跳ね飛ばされた。	170201	17	50～ 99
1999	11	11 ～ 12	道路舗装工事現場において、10tダンプトラックからアスファルトを降ろして、道路(道幅約3m)を前進したところ、道路横にいた者を左後輪でひいた。	30106	7	1～9
1999	10	13 ～ 14	下水道工事ででたアスファルト殻を再生処理工場へ運ぶため4tトラックで運搬中に幅約6mの道路から約5.5m下の川床にトラックとともに転落した。	30106	1	30～ 49
1999	11	9 ～ 10	空車の4tトラックで走行中、高速道路の緩い左カーブでガードレールに衝突し、何度かスピンしたのち、車外に投げ飛ばされた。	40301	17	10～ 29
1999	9	15 ～ 16	豪雨の中、トレーラーで自動車道を走行中、スリップして中央分離帯に衝突し、さらに反動で路側帯まで飛ばされた。	40301	17	30～ 49
1999	11	18 ～ 19	前日に配送に出発し配送先を出て午後6時過ぎに帰社する予定であったが、帰社しなかったため同僚が予定の運行経路を逆走しながら探していたところ、バイパスの駐車スペースで2tトラックのキャビンとエンジンにはさまれているのを発見した。	40301	7	10～ 29
1999	10	23	トラックで国道を走行中、道路脇の空地から道路に出ようとした対向の大型ダンプカーと衝突した。	40301	17	1～9



		24				
1999	11	5 ～ 6	10tトラックをで走行中、道幅が狭くなった左カーブを曲がりきれずに、路外に飛び出し、道路脇の小屋に衝突した。	40301	17	10～ 29
1999	10	16 ～ 17	国道維持のため3名が道路脇で型枠の設置、コンクリート打設作業を行っていたところに、山砂を積んで国道を走行してきた11tダンプが突っ込んだ。	30199	17	1～9
1999	11	10 ～ 11	貨物自動車で岩石を砕石プラントへ運び砕石プラントのホッパーへ投入するため、貨物自動車を後進させていたときに、搬入口横のガードレールを突き破り25メートル下に転落した。	20201	1	1～9
1999	8	21 ～ 22	4tトラックで国道を走行中、片側一車線の下りの緩い右カーブでスリップして横転し、そのまま路外に飛び出し立ち木に衝突した。	40301	17	30～ 49
1999	8	11 ～ 12	麦を取りに来たトラックと同じ会社の理事が運転するダンプが走行していて、交差点を左折するためダンプが減速したところにトラックが追突し、はずみで交差点左方向で一時停止していた乗用車に追突して路外に転落した。	70101	17	10～ 29
1999	11	19 ～ 20	トレーラーで県道を走行中、右カーブを曲り切れずに道路左側に転落した。	40301	17	30～ 49
1999	11	21 ～ 22	荷を積み国道バイパスを走行中、信号で停止していた大型トレーラに追突し、この車両の積み荷である長尺鋼板が胸部に当たった。	40301	17	10～ 29
1999	10	17 ～ 18	河川工事現場からの帰路2tダンプで国道を走行中、長い下り坂の左カーブでハンドル操作を誤って、左側の橋の欄干に接触後、反対車線側の縁石に乗り上げて横転した。	30107	17	1～9
		13	マンションの状況を確認したのち、自転車で帰社途中、交差点で走行			

1999	9	～ 14	してきた貨物自動車に衝突された。	90209	17	1～9
1999	11	0 ～ 1	4トントラックで国道を走行中、トレーラー(20t)がセンターラインを越えてきたのでこれを避けるため左側に寄ったところ、左側に設置されていた道路用側壁に当り、その後走行してきたトレーラーと衝突した。	150102	17	1～9
1999	11	9 ～ 10	橋上で路面舗装の作業をしていたときに、後進してきた10tダンプトラックにひかれた。	30106	7	10～ 29
1999	11	9 ～ 10	幅約3メートルの農道にビニール管等を埋設する下水工事現場において、掘削溝に埋める土のうを積んだダンプ(4t)が農道上を掘削場所に向かって後進中に作業者をはねた。	30110	7	10～ 29
1999	11	9 ～ 10	大型トラックで走行中、前方を走行中の大型トラックに追突した。	40301	17	1～9
1999	11	5 ～ 6	4tトラックに木材製品を積み走行中、信号待ちをしていたトレーラーに追突した。	40309	17	1～9
1999	8	16 ～ 17	廃車置場において、廃車を小型移動式クレーン(車両積載型)の荷台にフォークローダー(最大荷重2.5t)で載せたときにトラックが地面の傾斜に沿って動き出したため、フォークローダを降り停止させようとしたが停止せず、約30メートル移動した地点でひかれた。	11701	6	1～9
1999	11	15 ～ 16	ガソリンスタンドにおいて給油待ちの生コンクリートミキサー10トン車が給油位置に向けて発進したときに、付近で給油のため待機中の給油係店員を左後輪で頭部をひいた。	80204	6	10～ 29
1999	11	5 ～	4tトラックにプラスチック波板を積み国道を走行中、信号待ちをしていた10tトラックに追突した。	40301	17	30～ 49

		6				
1999	10	23 ～ 24	4トントラックで化学品を運搬中、国道で信号待ちしていた10トントラックに追突した。	40301	17	50～ 99
1999	11	4 ～ 5	雨の中、国道を35tトレーラーで走行中、前方の車両の発見が遅れたため、左にハンドルを切ったが前方の車両に接触したのち、道路左側の土手に乗り上げ横転し、車外に投げ出された。	40301	17	10～ 29
1999	11	8 ～ 9	トラックにカニを積み、高速自動車道(片側3車線)の右側を走行していたところ、中側車線を走行していた別のトラックが乗用車と接触して右側車線にはみだしてきたためこのトラックに追突した。	40301	17	30～ 49
1999	11	3 ～ 4	駅入口交差点で信号待ちをしていたタクシー、貨物自動車など5台の列に、後ろから走行してきた大型貨物自動車(10t)が追突し、最後尾のタクシー1台を約50メートル引きずりながらビルに激突したためタクシーが炎上し運転者が焼死した。	40201	17	300 ～
1999	9	6 ～ 7	国道を保冷車(2トン)に乗って菓子屋に菓子を届ける途中、対向の大型トレーラーが左折しようとしてセンタラインを越えてきて、荷台から後方に6～7メートルはみ出していた鋼材に激突した。	40309	17	10～ 29
1999	10	12 ～ 13	3tトラックで引越し荷物を積み込み高速道を走行中、片側一車線が工事中のため渋滞している最後尾の車に気づくのが遅れ追突した。	40301	17	30～ 49
1999	10	6 ～ 7	4tトラックで走行中、国道バイパスの料金所で料金支払のため停車しているトラックに追突し、そのはずみで左前方の支柱に激突した。	40301	17	30～ 49
1999	9	20 ～ 21	バンで取引先へ納品に出かけて帰社するため県道を走行中、道路端のコンクリート塀に激突した。	11209	17	1～9
			倉庫敷地内でトラック(最大積載量1750kg)荷台に高圧線用電線が巻か			

1999	11	17 ～ 18	れたドラム(重量約134kg)3本を積込む作業で、3本目のドラムを先に積込んだドラム2本の上にフォークリフトの爪から降ろしていたところ、ドラムの一部がフォークリフトの爪から落ちたため、荷台上(高さ2m7cm)から墜落した。	30301	1	100 ～ 299
1999	9	2 ～ 3	トラックで国道を走行中、下り坂のカーブを曲がりきれずに道路左側の街灯に接触したのち、ガードワイヤーを突き破り約30m下の沢に転落した。	40301	17	10～ 29
1999	10	4 ～ 5	トラックで荷物の配送中、反対車線に飛び出して、右側のコンクリート壁に激突した。	40301	17	50～ 99
1999	10	7 ～ 8	自動車道を大型トラックで走行中、追い越し車線に出て再び走行車線に戻った時に、前方車との車間距離がなかったため直ぐに追い越し車線に回避したが間に合わず、前方車両と接触し、そのときの衝撃とスピードでハンドル操作を誤り中央分離帯のガードレールに激突横転した。	40301	17	10～ 29
1999	10	3 ～ 4	10t大型トラックでPAに入ろうとして減速車線に入ったときに、減速車線上の右側に駐車していた10t大型トラックに衝突した。	40301	17	10～ 29
1999	10	1 ～ 2	乗客を乗せて国道を走行中、対向のトレーラーと正面衝突した。	40201	17	30～ 49
1999	11	13 ～ 14	大型トラックに荷物を積むため空車で走行中、対向の大型トラックがセンターラインを越えてきて正面衝突した。	40301	17	1～9
1999	10	2 ～ 3	トラックにロール紙を積んで高速道路を走行中、前方にH鋼(鉄骨：長さ4.6m、幅0.35m、重さ200kg)が一車線を塞ぐように落ちているのを発見したが、既に遅く、その鉄骨に激突して、トラックが乗り上がって、横転した。	40301	17	1～9

1999	9	10 ～ 11	木造平屋の解体工事現場において、油圧ショベルで解体した家屋の柱を挟んで4トントラックに積み込む作業中、トラックの荷台上で積み込まれた廃材等を整理していた者が地面に墜落した。	30209	1	1～9
1999	10	3 ～ 4	トラック(2t)で走行中、後方から来た大型トラックに追突されて道路をふさぐ形で横転して停止したところへ大型トラックに追突された。	10602	17	10～ 29
1999	8	22 ～ 23	会社のトラックで国道を走行中、交差点で信号を無視したため右折していた対向車と衝突した。	170209	17	1～9
1999	10	9 ～ 10	大型トラックで走行中、片側一車線の県道でタンクローリーと正面衝突した。	40301	17	30～ 49
1999	8	14 ～ 15	ツアー客を乗せた観光バスが国道を走行中、対向の自動車運搬専用トラックがカーブを曲り切れずに中央線をはみ出して観光バスと正面衝突し、観光バスの添乗員が死亡し、運転手とガイド及びトラック運転手が負傷した。	90201	17	10～ 29
1999	10	10 ～ 11	事業所内において、トレーラーの荷台上で製品の寸法を計測中に、運転手がトレーラーを前進させたため転落し、トレーラーの後輪に巻き込まれた。	170209	7	1000 ～ 9999
1999	10	1 ～ 2	道路整備工事現場で、車線規制のため一般車両の誘導を行っていて軽トラックにひかれた。	170201	17	50～ 99
1999	10	10 ～ 11	オートバイ製造工場の荷さばき場において、大型トレーラーに荷(オートバイの完成品の梱包箱)の積み込みを終了して発進したところ、通行していた構内清掃作業員をひいた。	150109	6	10～ 29
1999	10	3 ～	10トントラックでパイプを運ぶ途中、高速道路のバス停に駐車中の大型トレーラーに追突した。	40301	17	10～ 29

		4				
1999	10	15	パッカー車で収集して来たダンボールを古紙ヤードに排出するため、 パッカー車後部のテールゲートを開放して、油圧排出板を操作して排 出を行っていたところ、ゲートのローター部に古紙が挟まったので、 これを取るために車体とゲートの間に入ったときに、突然、ゲートが 降下してきて胸部を挟まれた。	150103	7	50～ 99
1999	10	8	工場から工事現場まで生コンクリートを運搬するため、コンクリート ミキサー車で出発し、工場より200メートルほど南に走行した県道上か ら田んぼに突っ込んだ。	10901	17	1～9
1999	10	6	国道を4トン貨物自動車で行中、センターラインをはみ出して、対向 の4トン貨物自動車と正面衝突した。	40301	17	10～ 29
1999	10	9	トラック(最大積載荷重10)で県道を走行中、対向のトラック(最大積載 荷重約3t)が中央線を越えてきて衝突した。	40301	17	30～ 49
1999	5	23	トラックで国道を走行中、右折しようとした車両を先頭に4台停車して いるのに気付くのが遅れ、最後尾のトラックに追突し、さらに対向車 線に進入して対向のトラックに衝突した。	40301	17	10～ 29
1999	10	7	油槽所でタンクローリーにガソリン(20kL)を積み込んで走行中、国道の 左カーブを曲がりきれず横転し、積んでいたガソリンに引火したため 焼死した。	40301	17	30～ 49
1999	10	5	大型トレーラーで走行中、中央分離帯のガードレールを突き破って高 架柱にぶつかった後、対向車線の側壁に激突し、車外に投げ出され た。	40302	17	30～ 49
1999	7	2	4t保冷車に荷物(牛乳)を積んで走行中、渋滞で駐車していた前方の4tダ ンプに追突した。	40301	17	30～ 49

1999	10	8 ～ 9	工事現場において、ドラグショベルでトレーラー荷台上から4mの角材4本を降ろす作業中に、吊り上げた角材が触れたためバランスを崩して荷台から1.8m下の側溝に転落した。	30106	1	10～ 29
1999	9	9 ～ 10	2tトラックに配達荷物積み込み運転台より降車して、後部扉を閉めたときに、トラックが前方に動き出したので、前部に回って動きを止めようとしたが止められず、前方に駐車していた軽貨物車との間に挟まれた。	40301	18	10～ 29
1999	5	4 ～ 5	普通貨物自動車で行中、大型貨物自動車に追突されて、車外に投げ出された。	40301	17	10～ 29
1999	9	7 ～ 8	冷凍食品を配送するため、トラックで国道を走行中、交差点で赤信号のため停車していた11tトラックに気づくのが遅れ、追突した。	40301	17	10～ 29
1999	8	6 ～ 7	事業場所有のワゴン車で工事現場へ移動中、4トントラックがセンターラインを超えてきたため正面衝突した。	30209	17	1～9
1999	9	0 ～ 1	集荷のため4tトラックで国道を走行中、交差点で赤信号のため停車中の4tトラックに追突し、その反動で左側信号機のコンクリート製の支柱に衝突、追突された4tトラックは隣の車線で停車中の乗用車に接触した。	40301	17	10～ 29
1999	9	21 ～ 22	路線バスで国道を運行中、故障したため、乗客を救援バスで送ったのち、応援の運転手2名とともに故障したバスの後部で修理作業を行っていたところ、飲酒運転の普通トラックに衝突された。	40202	17	100 ～ 299
1999	9	19 ～ 20	軽トラックで交差点を右折しようとしたところ、直進の乗用車と衝突した。	30110	17	10～ 29
		16	トレーラートラックで県道を走行中、ブレーキが効かなくなって、工			

1999	9	～	現場の工事規制信号で停車していた軽自動車に追突した後、さらに	30199	17	1～9
	17		進行し工事現場内に停めていたドラグショベルに衝突して横転した。			
1999	6	4	トレーラ車(14. 25t)に住宅建材等を6. 7t積み走行中、インター出口の	40301	17	100
	～	5	手前で、前を走っていたトラックがインターで降りるため約80kmに減速			～
			したところに追突し、約10分後にさらに後続のトラックに追突され			299
			た。			
1999	9	6	トラックで国道を走行中、緩やかな右カーブでスリップしてセンター	40301	17	1～9
	～	7	ラインを超え、対向の回送バスに衝突した。			
1999	8	14	3トントラックで鋳物製品を運搬中、前方のトラック(鋼材が積んであ	11209	17	30～
	～	15	る)が停車していたのに気づくのが遅れ追突した。			49
1999	9	13	木造小屋の解体に使用したドラグショベルを載せた重機運搬車が市道	150103	17	10～
	～	14	をバックするときに、ダンプトラック(9t)の運転手が、傾斜4度の坂道			29
			でサイドブレーキを引きエンジンをかけたまま降車して重機運搬車の			
			誘導をしていたところ、ダンプトラックが動きだしてひかれた。			
1999	9	8	霊園造成工事において、25tキャリアダンプから土砂を下ろすため、荷	30199	7	1～9
	～	9	台をあげたところボディと荷台との間に鉄筋が引っかかっていたので			
			取り除こうとしていたときに、降下してきた荷台とボディとの間に右			
			太股を挟まれた。			
1999	9	2	4tトラックで走行中、交差点で信号待ちしていた車両に追突した。	40301	17	10～
	～	3				29
1999	9	13	国道の片側交互通行の交通整理中、赤旗を出し停止合図を行なったが	170201	17	100
	～	14	普通トラックが突っこみはねられた。			～
						299
		5	トラック荷物を運送したのち国道を走行中、信号待ちで停車していた			30～



1999	9	6	大型トラックに追突した。	40301	17	49
1999	8	8 9	環状道路で数珠つなぎで止まっていた4tトラック3台の後の車に4tトラックで追突した。	40301	17	1～9
1999	8	10 11	20tトレーラーを運転して同道を走行中、トンネル内でセンターラインオーバーして対向のトラックと正面衝突した。	40302	17	30～ 49
1999	9	12 13	自動車道トンネル内で、前方を走行中の大型トレーラーに大型トラックが追突した。	40301	17	10～ 29
1999	9	6 7	保冷車(3t)での配送業務を終了し、事業場へ戻る途中で、信号待ちをしていた大型トラックに追突した。	10109	17	50～ 99
1999	8	5 6	自転車に乗って朝刊を配達中、県道交差点で軽トラックと衝突し、弾みで道路f0b9の川に転落した。	80205	17	10～ 29
1999	9	4 5	高速道路を大型貨物自動車で行中、追い越し車線上に故障で停車していた大型貨物自動車に追突し、さらに後続の普通貨物自動車に追突された。	40301	17	10～ 29
1999	9	15 16	客先へ行くため、信号機のない横断歩道を歩いていたときに、右折してきたトラックにはねられた。	90103	17	30～ 49
1999	9	9 10	トラックにバックホーを積載し20%の下り坂で発進したところ、ブレーキが効かなくなり約300メートル暴走して住宅のコンクリート基礎に激突した。	30110	17	1～9
		8	県道の信号のない交差点において、軽四トラックと冷蔵車が出会い頭			

1999	8	～ 9	に衝突した。	30202	17	1～9
1999	9	6 ～ 7	人手不足となった建設工事現場を応援するため乗用車で国道を走行中、対向車線を超えて直進してきた大型トレーラーと正面衝突した。	30111	17	30～ 49
1999	8	17 ～ 18	道路築造工事の現場を4tダンプで3台に分乗して帰社途中、交差点の信号機が黄色に変わっていたが2台目のダンプが通過したのでそのまま追走したところ、2台目のダンプに追突しそうになったので急ブレーキをかけながら、急ハンドルを切ったところ、反転して反対側の車線に飛び出し、路肩から田んぼにダンプごと転落した。	30106	17	10～ 29
1999	9	22 ～ 23	大型タンクローリー(16トン)で走行中、国道左カーブで対向車線を横切ってガードレールを突破り、約14Mの崖下に転落した。	40301	17	10～ 29
1999	9	13 ～ 14	トラックで国道を走行中、追い越し車線に移ろうとした大型セミトレーラーに追突されたため、道路から飛び出して斜面を12m転落した。	40301	17	30～ 49
1999	8	4 ～ 5	冷凍車に冷凍食品を積んで走行中、反対車線の大型トレーラーが車線をはみ出してきて正面衝突した。	40301	17	30～ 49
1999	8	3 ～ 4	帰荷を積んだタンクローリーで国道を走行中、バイパス交差点で赤信号のため停車していたトラックにノーブレーキで追突した。	40301	17	10～ 29
1999	9	17 ～ 18	軽貨物車による配達業務を終えて片側一車線の国道を走行中、緩やかな左カーブで中央線をはみ出して対向の普通貨物車と正面衝突した。	10102	17	30～ 49
1999	8	3 ～	10トン貨物自動車に荷物を積んで高速道路を走行中、追越車線から走行車線に移ったときに、前方を走行していた40トントレーラーに追突	40301	17	30～ 49

		4	した。			
1999	8	8 ～ 9	会社に出勤のため会社のワゴン車で走行中、対向車線の大型トレーラーが中央分離帯の鉄柵を破り飛び出してきた正面衝突し、後部席の者が死亡、他の同乗者3人が重軽傷を負った。	50101	17	1～9
1999	8	11 ～ 12	ごみ置場で、ごみ収集車のバックを誘導中に、転んだところを収集車にひかれた。	150109	17	50～ 99
1999	8	9 ～ 10	国道交差点で、1. 7tトラックと14tトラックが衝突し、1.7tトラックの後部座席にいた労働者3名が死亡した。	170209	17	10～ 29
1999	8	9 ～ 10	国道交差点で、1. 7tトラックと14tトラックが衝突し、1.7tトラックの後部座席にいた労働者3名が死亡した。	170209	17	10～ 29
1999	8	9 ～ 10	国道交差点で、1. 7tトラックと14tトラックが衝突し、1.7tトラックの後部座席にいた労働者3名が死亡した。	170209	17	10～ 29
1999	8	10 ～ 11	空港滑走路改修工事で生じたがれきを処理プラントに運ぶため10tダンンプで走行中、カーブを曲がりきれずにガードレールを突き破り、約5m下の国道へ横転・転落した。	30109	17	1～9
1999	12	8 ～ 9	2tトラックで走行中、右折車両に気付いて減速したが減速せず、そのまま10tダンプトトラックに追突した。	30201	17	1～9
1999	8	13 ～ 14	10t積トラック(ウイング車)にプラスチック製品(重量3t)を積んで走行中、信号待ちをしていたダンプカーに追突した。	40301	17	50～ 99
1999	8	11 ～	建築資材を搬送して事業場へ帰るため軽トラックで国道を走行中、対向のトラックがカーブを曲がりきれずセンターラインオーバーしてき	30202	17	1～9

		12	て正面衝突した。			
1999	7	4 ～ 5	モーターバイクで新聞を配達中、県道交差点付近で後ろから来た3.5tトラックに追突された。	80205	17	10～ 29
1999	7	9 ～ 10	河川敷の舗装道路上で積荷の鉄管(長さ6m、重量約300kg)のバランスが悪いため、二人で手直しをしているときに、2段目の鉄管が歯止めを乗り越えてきたので止めようとして10トントラックの荷台上から鉄管とともに転落した。	40301	1	50～ 99
1999	8	6 ～ 7	キャリアカー(普通貨物自動車)で車両3台を運搬中に赤信号で停止していたところ、後続の大型貨物自動車により追突され、その衝撃で前方に停車していた大型貨物自動車に追突した。	40301	17	100 ～ 299
1999	8	6 ～ 7	卵を客先に配達するため普通貨物車で走行中、対向車線にはみ出しトラックと正面衝突した。	80109	17	50～ 99
1999	8	3 ～ 4	10tトラックで配送先へ向かう途中、大型トラックに追突した。	40301	17	10～ 29
1999	8	5 ～ 6	配送先に向けトラックでバイパスを走行中、センターラインをオーバーして対向の大型トラックと正面衝突をした。	40301	17	1～9
1999	8	15 ～ 16	当該事業場は、鉄スクラップ等を回収して販売する卸売業を営んでいる。災害は、澱粉工場設備の改修工事が出た廃品の回収中で、リフティングマグネット付車両積載型小型移動式クレーンで鉄くずを同機に積み込んで20mほどバックしたときに、後方に居た者を左後輪でひいた。	80109	7	1～9
1999	8	4 ～	4tトラックで走行中、信号で停車中の10tトラックに追突した。	40301	17	1～9

		5				
1999	8	1 ～ 2	ベニヤ板等をトラック(総重量25t)に積み、自動車道を走行中、前のトラックに追突した。	30302	17	10～ 29
1999	8	17 ～ 18	3tの平ボディートラックの荷台で同僚と前側に高さ約2.5mに山積された発泡スチロールの板(畳の芯材)を並び替えていたときに、荷台の高さ約70cmの発泡スチロールの板の山の上から約1.7m下のアスファルトの地面に転落した。	11709	1	10～ 29
1999	8	8 ～ 9	県道脇の除草作業のため、交通整理を行っていたところ、反対車線からセンターラインを超えて、暴走してきたタンクローリーにはねられた。	170201	17	10～ 29
1999	8	17 ～ 18	トラックで工事現場へ合板を搬送するため国道を走行中、渋滞のため停車していたトラックに追突した。	40301	17	30～ 49
1999	7	6 ～ 7	トラックで自動車道を走行中、乗用車等18台の玉突き事故が発生し、前車のトラックに衝突し全身を強く打った。	40301	17	10～ 29
1999	7	5 ～ 6	配送荷物を積込んだ6トントラックで高速道路を走行中、3車線の左側を走行中の低速車両(50トントレーラー)の速度を見誤り追突した。	40301	17	10～ 29
1999	8	22 ～ 23	食品を10tトラックに積み走行中、国道の交差点で信号待ちしている大型トラックに追突した。	40301	17	1～9
1999	4	9 ～ 10	トレーラを運転して走行中、前方で右折のため信号待ちしていた大型トラック(10t車)に追突した。	40301	17	30～ 49
		14	資材・残土置場において、ストックしてある残土を移動させようとダ			

1999	2	～ 15	ンプトラックにドラグショベルで残土を積み込み、トラックを後退させていたときに、トラックの後方で残土の仕分け作業をしていた作業員がダンプトラックとドラグショベルとの間にはさまれた。	30199	7	10～ 29
1999	7	～ 7	トラックで国道を走行中、前の車が急に進路変更をしたので、それを避けようと急ブレーキをかけながら右方向にハンドルを切ったが、止まりきれず反対車線の路外に飛び出して立木に衝突した。	40301	17	50～ 99
1999	6	～ 6	家具を積んだ大型トラックで走行中、道路左側を通行中の自転車を避けるため、中央線を超えてきた対向の大型トラックと正面衝突した。	40301	17	1～9
1999	8	～ 6	軽ワゴン車で新聞配達中、国道バイパス交差点において、進行してきた大型トラックと出会い頭に衝突した。	80205	17	10～ 29
1999	8	～ 9	2トントラックに青果物を積み走行中、片側一車線になったところで書類に気を取られて対向車線にはみ出してしまい、対向の大型トラックと正面衝突した。	80109	17	1～9
1999	8	～ 15	トラックで化学工場へ荷積みに向かう途中、国道の信号機のある交差点で右折を開始したトラックに衝突した。	40301	17	10～ 29
1999	7	～ 1	治山工事現場にコンクリートミキサー車で生コンを運搬した後、荷受け場所まで林道を下山中、道路幅3～3.5mで、ガードレールのない未舗装の道路よりコンクリートミキサー車ごと約100m下の谷に転落した。	40301	17	1～9
1999	7	～ 24	11tトラックで国道を走行中、信号待ちで一時停止していた11tトラックの後部に追突した。	40301	17	30～ 49
1999	8	～	丸太5本を4トントラックで運び配達先で荷降ろしし、最後の5本目(長さ10m、元口28cm～末口18cm、重さ約250kg)を降ろしているとき丸	10409	1	10～ 29

		12	太ごと荷台から転落し、丸太で頭部を強打した。			
1999	7	7 ～ 8	4トントラックに建築資材を積んで国道を走行中、運転操作を誤って、反対車線のガードレールを突っ切り電柱に衝突し、車外に放り出された。	40301	17	10～ 29
1999	7	4 ～ 5	タクシー乗務中、交差点内でトラックと衝突した。	40201	17	100 ～ 299
1999	7	15 ～ 16	自動車道のトンネルで、乗用車や大型トラックなど計3件の追・衝突事故が発生し、トラック(冷凍車4t)が事故のためトンネル入り口付近で停車していた大型トラック(15t)に追突した。	40301	17	50～ 99
1999	6	9 ～ 10	軽四トラックにて帰社するために、国道を走行中、前方で信号待ちのため停車していた保冷車を発見し、追突を避けるため左ハンドルを切ったところ縁石に乗り上げ、横転した。	30309	17	10～ 29
1999	7	1 ～ 2	20tトレーラーに樹脂19tを積載して走行中、峠の下り左カーブを曲がり切れず、道端の林に突入し、横転した。	40301	17	10～ 29
1999	7	4 ～ 5	10トントラックで高速道路を走行中、前方の大型トレーラーを追い抜こうとしてトレーラー右後部に追突し、はずみで中央分離帯を乗り越えて反対車線に入り、対向のトラックと衝突し、2台のトラックが炎上した。	40301	17	10～ 29
1999	7	23 ～ 24	大型トラックで国道を走行中、道路左側の側壁に接触し、その弾みで右側ガードレールを突き破って約2.5メートル下の畑に転落した。	40301	17	10～ 29
1999	7	4 ～ 5	原石山から材を46トン重ダンプにて運搬した帰り道、路肩ガードレールを突き破り約20メートル下に転落した。	30101	1	10～ 29
		16	2トン保冷車で走行中、センターラインをはみ出して対向の12トン大型			

1999	7	7 ～ 17	貨物自動車と正面衝突した。	80101	17	1～9
1999	7	11 ～ 12	荷を積んだ冷蔵冷凍車で走行中、交差点を右折するため停止していたトレーラーの後部に衝突した。	40301	17	30～ 49
1999	7	2 ～ 3	国道をトラック(13.7t)で走行中、右カーブ(下り約4%勾配)になっているところで、スピードの出しすぎと降雨のためハンドル操作を誤り、対向車線側のコンクリート壁に衝突し、その反動で運転手が車外へ放り出され車輪に頭部をひかれた。	40301	17	10～ 29
1999	1	11 ～ 12	伐倒木を運搬作業中、坂の途中で凍結と積雪のためトラックが立ち往生したのでチェーンを取りに行き、帰ってみたところトラックが約6.6メートル後方の橋の下に転落しており、別ルートで伐倒木を運搬していた者が下敷きになっていた。	30109	17	10～ 29
1999	7	10 ～ 11	私道の修復工事で、約6度の勾配に停車していた2t積トラックをエンジンを始動せずにギアをニュートラルの状態に移動しようとしたところ、フットブレーキが作動せず走行を制御できない状態となり、トラックの前方約10mの地点で手均しの作業をしていた者に激突した。	30106	6	30～ 49
1999	7	5 ～ 6	10tタンクローリーに塩酸を積んで、国道を走行中、対向の4t保冷車と衝突し、タンクローリー車は歩道に乗り上げ、街路樹をなぎ倒して停車した。	40301	17	100 ～ 299
1999	7	3 ～ 4	トレーラーで、ホイールクレーンを運搬中、国道交差点で信号待ちで停車していた軽トラックに追突し、さらに前に止まっていた大型トラックに追突して炎上した。	40301	17	10～ 29
1999	7	13 ～ 14	10トントラックで走行中、前方の確認が遅れて、トラックに追突し、追突されたトラックもさらに前方の車両に追突し、計5台の玉突き事故となった。	40301	17	100 ～ 299



1999	4	18 ～ 19	資材置場で荷を4tトラックに積込み、荷に上ってワイヤーロープで固縛していたときに、約3.6m下の地面に墜落した。	50101	1	10～ 29
1999	6	23 ～ 24	金属片を積んだ大型トレーラで走行中、道路左側のガードレールを突き破って約5メートル下の雑草地に転落した。	40301	17	10～ 29
1999	6	18 ～ 19	4tトラックに建築資材を積み込んでいるときに、長尺物の材の積みかえを荷台上で行っていて荷台から転落した。	40301	1	30～ 49
1999	7	3 ～ 4	加工した惣菜を販売するため卸売市場に向って保冷車を運転中、センターラインを越えて走行してきたトラックと衝突した。	80109	17	10～ 29
1999	7	12 ～ 13	石膏を運搬するため、10tトラックで会社を出発したが、町道で橋の柱に激突してトラックが横転した。	40301	17	1～9
1999	6	18 ～ 19	工場内において、4トントラックに荷を積んでいるときに、トラック後部のパワーゲートとかご車との間に胸部をはさまれた。	40301	7	10～ 29
1999	5	17 ～ 18	林業作業現場から社有車で帰宅途中に、国道を横切ろうとしたところトラックと衝突した。	60209	17	1～9
1999	1	11 ～ 12	2tトラックで走行中に渋滞のため停車していたところ、後方から来た4tトラックに追突され、前にいたタンクローリー車との間に4tトラックが挟まれた。	40301	17	30～ 49
1999	4	4 ～ 5	自転車で市場内に配達した帰りに、交差点を信号が赤にもかかわらず進入したため、進行中のトラックにはねられた。	80109	17	10～ 29

1999	7	18 ～ 19	国道を普通貨物車で走行中、左カーブにおいて対向車線にはみ出し、対向の10トントラックに衝突した。	80201	17	1～9
1999	6	2 ～ 3	国道を走行中、信号待ちで止まっていた車に気づくのが遅れ、前方のトラックに衝突し、その際運転席とハンドルとの間に挟まれた。	40301	17	10～ 29
1999	7	15 ～ 16	4tトラックで残土を上流へ運ぶ途中、路上にある倒木を取り除くため坂道にトラックを止めて降車し倒木を見ていたところ、トラックが坂道を後退し始め、約20メートル後方の側溝内で作業していた者に激突した。	30106	17	1～9
1999	6	13 ～ 14	作業が終了したのでダンプカーに乗り込み発進したところ、そのすぐ前でしゃがみ込んでワイヤーの切断をしていた者に気づかず、ひいた。	30301	7	10～ 29
1999	6	11 ～ 12	軽トラックで走行中、県道の左カーブで荷台右側のあおりが開いたため、荷台に座っていた者が転落した。	10103	17	1～9
1999	6	3 ～ 4	4tトラックで国道を走行中、対向車線を走行していたトレーラーが自損事故の車輻に接触し、その弾みで中央分離帯のガードレールを突き破ってきてトラックに激突した。	40301	17	100 ～ 299
1999	6	9 ～ 10	交差点で、信号待ちで右折車線に停車していた乗用車3台の最後尾にいたところ後ろから来た大型ダンプに追突されて、対向車線を突っ切り、道路脇の送電線鉄塔支柱に激突した。	30201	17	100 ～ 299
1999	5	5 ～ 6	50ccバイクで走行していて、交差点でゴミ収集トラックと衝突した。	170209	17	30～ 49
1999	6	0 ～	修理車にクレームがついて工場にもっていくため県道を走行中、対向の大型トラックが中央線を越えてきて、正面衝突した。	11701	17	10～ 29

		1				
1999	6	15 ～ 16	3tトラックで配達集荷をしながら営業所へ戻る途中、対向車線にはみ出し、対向の11t大型貨物車と正面衝突した。	40301	17	30～ 49
1999	6	0 ～ 1	国道を15tトラックで走行中、センターラインを越え、対向のトラック2台と相次いで衝突した。	40301	17	10～ 29
1999	6	22 ～ 23	プレハブ住宅の枠組みを大型トラックで運送中、道路前方をふさいで止まっていたトレーラーに衝突した。	40301	17	1～9
1999	6	9 ～ 10	トラックにトイレトペーパーを積込み市道を走行中、道路右側の市営温水ポンプ小屋に衝突した。	40301	17	10～ 29
1999	6	22 ～ 23	10トントラックで国道を走行中、交差点で赤信号のため停車していたトラックに時速約60kmで追突した。	40301	17	10～ 29
1999	6	23 ～ 24	2トントラックで国道を走行中、センターラインをオーバーし、対向の15トン車と正面衝突した。	40301	17	10～ 29
1999	6	2 ～ 3	重量3tの鞆を大型トラックに積み走行中、休憩予定場所の高速道路SAの出口付近で、事故渋滞の最後尾のトラック後部に接触し、弾みで路肩側のガードレール等に衝突した。	40301	17	1～9
1999	5	16 ～ 17	給油作業を済ませて軽貨物自動車で県道を時速50キロメートルで走行中、中央線を越えたため、対向の車と正面衝突した。	80204	17	1～9
		14	早朝追突事故に遭った菓子パン配送用トラックから別のトラックに荷 を移すため、トラックの後部をドッキングさせたが荷台に上がり降り			1000

1999	6	～	15	するステップが曲がっていて作業性が悪かったので、トラックのステップ同志を擦りあわせるため荷台上で誘導していたときに、トラックの荷枠に頭部を挟まれた。	10104	7	～	9999	
1999	6	3	～	4	海外旅行の手荷物の配送を終了してトラックで国道を走行中、前方を時速約20km/hで走行していた大型貨物自動車に追突した。	40301	17	30～	49
1999	6	～	16	17	軽ワゴン車で店に戻るため国道を走行中、緩い左カーブにさしかかったところセンターラインを超えて対向車線にはみ出し、対向の路線バスと正面衝突した。	80209	17	1～9	
1999	6	～	16	17	遊園地内で取った草をトラックで回収するため運転者のほか2名がトラックの荷台に乗り目的地に向かったが、Y字路で道を間違えたため一度後進したのちハンドルを左に切って前進したときに、荷台に乗っていた者が墜落し頭を打った。	140302	1	10～	29
1999	6	～	10	11	鉄塔建設現場から工事用敷鉄板を回収してトレーラーで国道を走行中、下り左カーブを曲がりきれずに横転し、反対車線のガードレールに激突した。	40301	17	50～	99
1999	3	～	0	1	建設現場へクレーン検査のテストウェイトを運搬して、時間待ちのため一時停止をしてエンジンをかけたままサイドブレーキを引かずに降車したところ、道路の勾配のためにトラックが動き出し、電柱との間に頭部を挟まれた。	40301	17	10～	29
1999	4	～	4	5	国道を走行中、交叉点で信号待ちのため停車していた10tトラックに追突、炎上した。	40301	17	10～	29
1999	3	～	10	11	国道の舗装工事のため、デストリビューター(乳剤をまくための装置)を積んだ8トントラックをバックしながら移動中、作業者がいたのに気づかず後輪でひいた。	30106	7	10～	29
			14		フォークリフトで運搬する荷の場所を確認するため、他のフォークリ				

1999	1	15	フト運転者を呼び止め、フォークリフト横で伝票を示していたところへ、10tトラックが後進してきて10tトラック荷台とフォークリフト車体との間に挟まれた。	50101	6	1～9
1999	1	2 ～ 3	荷物を普通トラックに積載して国道を走行中、気温がマイナス4℃～5℃で路面が凍結していたため、カーブを曲り切れずにスリップして反対車線に突っ込んで行き、前方から来た大型トラックに正面衝突した。	40301	17	30～ 49
1999	1	3 ～ 4	自動車工場から22. 5tのトレーラーに自動車用エンジンを載せる金属製の空パレット約60個(重量3t)を積んで帰る途中、高速道路で前走の車両に追突した。	40301	17	10～ 29
1999	2	21 ～ 22	高速道路を7トン貨物自動車で行中、前方にトレーラーがスリップ事故で道路をふさいでいたのに気づくのが遅れ、トレーラーの後方に追突し、さらに、そのはずみで追越車線にはみだし、後方からのトラックに追突された。	40301	17	10～ 29
1999	2	9 ～ 10	帰りの荷物を積込むため4tトラックで行中、自然渋滞中の前方車両に追突したのち左側の壁に追突し、さらにもう1台前の車両に追突した。	40301	17	1～9
1999	2	5 ～ 6	原付バイクで朝刊を配達するため走行中、交差点内で貨物自動車と衝突した。	80205	17	10～ 29
1999	3	5 ～ 6	車で走行中、信号無視で左側より進入してきたトラックに衝突され、その衝撃で対向車線で右折待ち停車していた大型車に追突し、車に閉じ込められた。	40301	17	10～ 29
1999	5	0 ～ 1	4tトラックで行中、信号機の設置されていない交差点内で、一時停止を怠った4トントラックが突入してきて衝突された。	40301	17	10～ 29
		1	トラックに荷物を積み込んで国道を走行中、交差点で赤信号のため停			

1999	1	～ 2	車中のキャリアカーに追突した。	40302	17	1～9
1999	6	16 ～ 17	夕刊の配達のため自転車に乗って道路を横断しようとしたときに、後方より走行してきた2t積みトラックにはねられた。	80205	17	50～ 99
1999	6	14 ～ 15	リサイクルセンター内において溶接作業を行っていた作業者が、自らが運転してきたトラックとドラグショベルのクローラとの間に挟まれて倒れているのが発見された。	11702	7	1～9
1999	6	4 ～ 5	車輛運搬車から車輛を降ろすときに、車輛の固定を外していないことに気づいて降車して固定を外したところ、車輛が自重により滑り出しその下敷きとなった。	40301	6	10～ 29
1999	5	7 ～ 8	荷を運んでいた2トンのトラックが、渋滞中の車の列に追突した。	40301	17	10～ 29
1999	6	2 ～ 3	トラックでパーキングエリア付近を走行中、後続のトラックに追突され、暴風壁に激突し横転した。	40301	17	30～ 49
1999	2	2 ～ 3	朝刊の配達で国道をオートバイで走行中、後方から2tトラックに追突された。	80205	17	30～ 49
1999	5	11 ～ 12	配送を終えて会社に戻る途中、赤信号で停車しかけた前のトラックに追突した。	40301	17	10～ 29
1999	5	3 ～ 4	建材を積載したトラックで走行中、赤信号で停車していた大型トラックに追突した。	40301	17	1～9
		3	大型トレーラが停車中の2台のトラックに追突した弾みで大型トレーラ			10～

1999	6	4	～	に積んでいた鋼材約100本のうち約30本が路上に落ち、うち1本がトラックの運転席を破って運転者の頭部に当たった。	40302	17	29	
1999	5	12	～	13	高速道路の補修工事において、交通規制用器材の積込が完了し現場を離れようとしていたときに、走行してきた3トンの保冷車が停車していた標識車に追突し、そのはずみで交通規制要員5名が標識車にはねられた。	170201	17	100 ～ 299
1999	5	8	～	9	造成工事において、盛土用土砂を10tダンプで運搬してきて、本来ダンパアップする場所以外の法面までバックしすぎて、左後方からそのまま2～3回転しながらダンプと共に転落した。	30199	1	50～ 99
1999	5	4	～	5	荷物をトラックで輸送中、赤信号で停車中のトラック3台の最後尾の大型トラックに追突した。	40301	17	10～ 29
1999	5	14	～	15	配達先に荷を卸したのち、店に向かっている途中のトラックが、中央分離帯の川に架かる橋の手前の柵の無い部分から川に転落した。	40301	17	1～9
1999	5	8	～	9	種鶏場で飼料をバルク車からサイロにパイプで注入中、サイドブレーキの効きが甘く、路面の勾配のため後退したバルク車に激突され転倒したところに、バルク車の折れたパイプから噴出している飼料に埋まり窒息死した。	40301	6	30～ 49
1999	5	14	～	15	道路工事で出た土を10tダンプカーに積んで町道を走行中、下り坂左カーブの途中で道路右側のガードレールを突き破って約13m下の線路に転落、横転し、さらに約24m下の国道に転落した。	30199	17	1～9
1999	5	16	～	17	会社所有の軽トラックで社長を乗せて県道を走行中、中央線を越えてきた乗用車と正面衝突し、運転者が死亡した。	30202	17	1～9
1999	5	18	～		2トントラックに故紙を積んで走行中、小雨のため運転を誤りガードレールを突き破って約3m下の杉林に転落した。	80109	17	1～9

		19				
1999	5	16 ～ 17	空車の10トントラックで国道を走行中、見通しの悪い急カーブで中央線をはみ出して対向車と正面衝突した。	40301	17	50～ 99
1999	5	1 ～ 2	2tトラックで工場から新聞を運搬中、国道交差点で信号待ちをしていたところへ45tトレーラーが追突してきて玉突き事故となり、前にいた大型車との間に挟まれて大破した。	40301	17	10～ 29
1999	5	10 ～ 11	下水道工事現場において、残土運搬用2tトラックの後部キャッチが半開きになっていたため閉めるようとエンジンをかけたところ、トラックが後退し、トラックと後に停止していたドラグショベルとの間に挟まれた。	30110	7	1～9
1999	5	1 ～ 2	大型トラックに荷物を積んで国道を走行中、前方を走っていた大型トラックがドライブインに入るため速度を落としたところへ追突した。	40301	17	10～ 29
1999	5	9 ～ 10	2tトラックで青果を積んで国道を走行中、片側2車線の左側車線を時速40キロメートルで走行していたトレーラーに追突した。	80109	17	10～ 29
1999	5	13 ～ 14	軽トラックで工事現場の西側から同一現場内東側の測量場所へ向うため、現場敷地を出て県道を走行中、信号機のない交差点で右折しようとして対向車と衝突した。	30109	17	30～ 49
1999	5	18 ～ 19	15トントラックに荷物を積んで国道を走行中、運転を誤って中央分離帯のガードロープを突破し、さらに反対車線側のガードレールを越え約5メートル下の浜辺に転落した。	40301	17	100 ～ 299
1999	5	4 ～ 5	ベニヤ板の運送のため10トントラックで走行中、前を走行していたトレーラーが急ブレーキで停止したため、ブレーキが間に合わず追突した。	40301	17	10～ 29
		14	大型ダンプカーで砂利を運搬して戻る途中、国道の交差点で信号待ち			10～



1999	4	～ 15	していたトラックに追突した。	40301	17	29
1999	5	10 ～ 11	青信号で横断歩道を歩行中、右折してきた10tトラックの右前面ではねられ、5mほど引きずられたのち後輪にひかれた。	30103	17	30～ 49
1999	4	13 ～ 14	車検受代行のため整備の終わった軽トラックで軽自動車検査協会にむけ走行中、県道で石垣に衝突して炎上し、焼死した。	90109	17	100 ～ 299
1999	4	4 ～ 5	事業用トラックで高速道路をにて走行中、前の車を追い越し車線から追い越して走行車線に戻ったときに、さらに前を走行していた車に時速約100キロで追突した。	40301	17	100 ～ 299
1999	4	13 ～ 14	床上操作式走行クレーンで貨物自動車の荷台の荷降しの作業中に、吊り荷に当たったためか、もしくはバランスを崩してトラック荷台より墜落し頭を強打した。	11301	1	30～ 49
1999	4	4 ～ 5	ダンプトラックで育苗用の粘土を化学肥料製造業者へ納品し、再度土取り場へ向かうための国道を走行中、前方を走行していたトラクターに追突し、道路右側の防雪柵に激突した。	20209	17	1～9
1999	4	15 ～ 16	林道開設工事現場で、土砂を11tダンプに積んで幅5～6mの道路をバックで運転していき、土砂を下ろしてそのまま前進したときに、車体全体が谷側に傾き、コンクリート擁壁を越えて約8m下の谷に転落した。	30106	1	1～9
1999	4	11 ～ 12	守衛室内の清掃作業を終えた清掃員が横断歩道を別の建屋に向かって歩行していて、トラックにひかれた。	150101	6	10～ 29
1999	5	7 ～ 8	自動車修理工場の前に停車した保冷車のエンジンを車外からかけたところ、保冷車が前進して修理工場に激突した際に保冷車のドアが工場入口の側面に押されて閉まり、ドアと車体との間に挟まれた。	40301	7	30～ 49
		20	集金のため顧客宅前の傾斜路上に0.75トンのトラックを駐車し、ト			10～

1999	5	～	トラックの後部に回ったときに、トラックが後退してきたため、被災者が庭の石垣と荷台後方扉との間に頭部を挟まれた。	40301	6	29
1999	3	14 ～ 15	乗用車で国道を走行中、対向のタンクローリー車がセンターラインを越えてきて正面衝突した。	80109	17	100 ～ 299
1999	3	17 ～ 18	トラックで国道を走行中、対向車線にはみ出して対向の軽自動車と接触後、さらに後続の8tトラックと正面衝突した。	40301	17	50～ 99
1999	4	14 ～ 15	営業活動のためバイクで走行中、信号の無い交差点で軽トラックと衝突した。	90101	17	10～ 29
1999	4	7 ～ 8	事務所でタイムカードを打刻し、約10メートル離れた作業場へ、出荷場を横切って歩行していたときに、荷の積み込みのため倉庫のプラットフォームに車両をつけようとして後進してきた2tトラックにひかれた。	10109	6	30～ 49
1999	4	16 ～ 17	3tトラックで活魚を市場へ運送中、ちぎれたタイヤが追い越し車線上にあったので先行の乗用車が急ブレーキをかけ、後続の大型10tトラックは急停止したが別の大型10tトラックが追突し、さらに3tトラックが追突した。	80109	17	1～9
1999	4	9 ～ 10	ワゴン車で走行中、対向車線にはみ出し、対向の大型トラックと正面衝突した。	10301	17	100 ～ 299
1999	2	21 ～ 22	作業場所へ出入する車両の誘導をしていたときに、後方よりバックしてきたダンプにひかれた。	170201	18	30～ 49
1999	2	21 ～	原動機付自転車で走行中、左側から出てきた貨物車に衝突され、反動で対向車線にはみ出したところに走行中の乗用車が衝突した。	11709	17	1～9

		22				
1999	4	10 ～ 11	国道の道路工事現場で車両誘導をしていたガードマンがトラックにはねられた。	170201	17	30～ 49
1999	3	16 ～ 17	トラックで国道と走行中、センターラインをはみ出して対向の大型トレーラーと正面衝突した。	40301	17	10～ 29
1999	4	17 ～ 18	トラックで貨物を輸送中、渋滞のため停車していた前方の車両に追突した。	40301	17	50～ 99
1999	4	5 ～ 6	11tトレーラーで荷を引き取りに行くため走行中、下りの左カーブで左側の土手に接触し、その反動で対向車線を越えてガードレールを突き破り、高さ10mの崖から墜落した。	50202	17	50～ 99
1999	1	8 ～ 9	軽ワゴン車で現場での点検作業を終えて走行中、風にあおられて防音壁に激突し、さらにその反動で中央分離帯に衝突したため車が炎上した。	11702	17	10～ 29
1999	4	4 ～ 5	自転車で朝刊配達中、国道後方から来たトラックにはねられた。	80205	17	10～ 29
1999	4	4 ～ 5	トラックで荷物の積込先に向かう途中、前方を走行していたトレーラーが右折のため停止していた乗用車に続いて停止したため、避けようとしたが間に合わず追突した。	40301	17	1～9
1999	3	6 ～ 7	10tトラックで高速道路インター付近のトンネル内を時速70キロメートルで走行中、路線バスが車線変更をしてきたため路線バスと衝突した。	40301	17	30～ 49
1999	4	13 ～	軽トラックで走行中、対向のトラックがセンターラインを越えて乗用車に接触正面から衝突してきた。	170209	17	10～ 29

		14				
1999	3	4 ～ 5	中間処理場から最終処分場に廃プラスチックを運ぶため10tトラックで走行中、前方を走行中の10tトラックの後部に追突し、ハンドルをとられてガードレールに衝突した。	150102	17	1～9
1999	4	9 ～ 10	駐車場内のごみ集積場所で危険物のごみを収集するため、ごみ収集車の助手席から降りて、車両の後方に回りバックの誘導を行っていたところ、後退してきた車の後部と電柱との間に腹部を挟まれた。	150103	7	10～ 29
1999	3	5 ～ 6	トラックで国道を走行中、センターラインを越え対向の大型トレーラーと正面衝突した。	80109	17	50～ 99
1999	2	16 ～ 17	会社近くの駐車場へ車を止め徒歩で会社事務所へ戻る途中、赤信号で交差点に進入してきたワゴン車と青信号により交差点に進入した自社のトラックが接触し、反動でトラックが路側帯を歩行中をはねた。	11203	17	10～ 29
1999	4	22 ～ 23	植物市場へ花を運搬するため4tトラックで走行中、前方のトラックを追越す時に運転を誤って中央分離帯に激突し、その反動で左側のガードレールに衝突した。	40301	17	1～9
1999	3	3 ～ 4	4トントラックで車道を走行中、トラックが横転し死亡した。夜間ので目撃者はいなかったが、走行車線から追い越し車線へブレーキを踏みながらハンドルを右に切った跡、次いで、中央分離帯に平行したブレーキ跡、ハンドルを左に切って走行車線のガードロープに衝突した跡があった。	40301	17	10～ 29
1999	3	5 ～ 6	新聞を配送して国道を走行中、中央車線をはみ出して対向車に衝突した。	40301	17	50～ 99
1999	3	10 ～ 11	道路改築工事に使用した吹き付けプラント設備を解体し、トラックに積んで固定するために荷の上に乗リレバブロックを掛けているときに約3m下の地面に墜落した。	40301	1	1～9

1999	3	5 ～ 6	トラックで走行中、前方のトラックに追突した。	40301	17	10～ 29
1999	3	14 ～ 15	ゲームセンターの営業を担当する者が、1つの店から他の店へ向かうため、従業員専用出入り口から店を出たときに、後進してきた納品業者の9トントラックにひかれた。	140309	7	1～9
1999	3	4 ～ 5	国道でガードレールに衝突して立ち往生していた大型トラックが追突し、この大型トラック等を道路脇へ移動させるために交通整理を行っていたときに、後方から来た大型トラックにはねられた。	40301	17	30～ 49
1999	3	16 ～ 17	消雪設備工事現場において使用した鋼板積んだ2tトラックで国道を走行中、反対車線に飛び出し、対向の大型トラックと正面衝突した。	30199	17	1～9
1999	3	13 ～ 14	雑木の伐木現場において、作業員3名が下り勾配の道路端に停車中のパッカー車内で休憩していたところ、運転者が車から降りた直後に車が突然動き出して約100メートル暴走したうえ、縁石に乗り上げて止ったが、飛び降りた2名のうち1名が死亡、1名が重傷を負った。	30199	17	1～9
1999	3	8 ～ 9	配送のため4トントラック走行中、渋滞で停車中の大型車両最後尾に追突し、その衝突の反動で後部左側車線に停車していた乗用車にも衝突した。	40301	17	10～ 29
1999	3	18 ～ 19	国道維持補修工事において、緩い下りのカーブ部分で車両の誘導を行っていたときに大型8トントラックが走行してきたので、道路中央部まで出て合図をしたが、トラック運転手の気付くのが遅れてひかれた。	170201	17	50～ 99
1999	3	1 ～ 2	帰り荷のトラックが故障したため空車回送中の9トントラックと合流し、ツーマンで走行していて国道左カーブを曲がりきれず対向車線をはみ出して店舗に激突、そのまま停車出来ずに隣の店舗側壁に衝突し停車した。(1名死亡、1名重傷)	40301	17	30～ 49

1999	3	11 ～ 12	荷物の集配に行って、運転席から降りたときに、トラックが後ろに動き出したため、トラックの後方にまわり手で止めようとしたが支えきれずに約1.9メートル下に転落し、落ちてきたトラックの下敷きになった。	40301	1	50～ 99
1999	3	21 ～ 22	現場での作業を終えて4トンダンプトラックで事務所へ戻る途中、県道でUターンしたときに、後続の乗用車と接触事故を起こしたので反対車線の端にダンプを停めて路上に散乱した乗用車のガラスの破片を片づけていたところ、走行してきた大型トラックにひかれた。	30199	17	1～9
1999	3	14 ～ 15	2トントラックに原木2本を積んで走行中、黄信号で交差点に進入したときに、反対車線から右折してきた2トントラックに衝突した。	10401	17	1～9
1999	3	6 ～ 7	10トントラックに海苔を積載して国道を走行中、停車していた大型トラックに追突した。	40301	17	30～ 49
1999	3	7 ～ 8	自動車道のインターチェンジ付近で渋滞の列の最後方にいた乗用車に乗用車が追突し、さらに後続のトラック等が追突する事故があって大型トラックの運転者が運転席に胸を挟まれた。	40301	17	10～ 29
1999	2	20 ～ 21	資材置場から翌日の資材を積み自分のバイクで事務所に戻る途中、信号機のない交差点で4トントラックと出会い頭に衝突した。	30209	17	10～ 29
1999	3	0 ～ 1	国道への管の埋設工事現場で、昼の休憩時間になったので作業場所から約50m離れた地点の国道を歩行しているときに同僚の運転するトラックにひかれた。	30199	17	1～9
1999	2	1 ～ 2	国道トンネル内のケーブル敷設工事のため、車両通行規制の警備を行っているときに、走行してきた軽自動車が停車の合図を無視して走行してきたため、この車と後方に駐車していた自動車との間に挟まれた。	170201	17	30～ 49

1999	3	3 ～ 4	市場に荷降ろしして国道を走行中、道路左側の道路標識に激突し全身を強く打った。	40301	17	30～ 49
1999	3	9 ～ 10	大型トラックでトンネル工事に向かうために走行中、一車線規制で停車中の大型トラックに追突した。	40301	17	10～ 29
1999	3	7 ～ 8	飼料配達のため3トントラックで走行中、対向して来たトラックがスピ ンして飛び出して来たため、避けきれずに衝突した。	80109	17	1～9
1999	2	3 ～ 4	触媒を積んで15tトラックで、国道を走行中、中央分離帯を乗り越え て、対向車線わきの民家に衝突した。	40301	17	30～ 49
1999	3	11 ～ 12	道路改良工事において、U字溝布設のためアスファルト舗装をコンク リートカッターで切断していたところに、近くで水道管の布設工事に 従事していた2tダンプカーがバックしてきて、背中をダンプカーの後 部とカッターとの間に挟まれた。	30199	7	10～ 29
1999	3	11 ～ 12	管渠布設工事のためダンプを運転して資材置場に砂を取りに行き、勾 配約8度の場所にサイドブレーキをかけて停車させ、パワーショベルに 乗換えてダンプに砂を積み込んだのちダンプに乗ろうとしたときに停 車させていたダンプが動き、パワーショベルのカウンターウェイトと ダンプの荷台後方部との間に頭部を挟まれた。	30106	7	1～9
1999	3	17 ～ 18	工事のためバックしてきた2トントラックを誘導中、トラック後部タイ ヤにひかれた。	170201	6	50～ 99
1999	2	15 ～ 16	得意先に配達するパンの材料をワゴン車に積み込んで走行中、県道で 中央線を越えてきた対向車に衝突された。	80109	17	1～9

1999	2	9 ～ 10	4tトラックで配達のため走行中、バイパスで交通渋滞のために、停車中の最後尾の大型トラックに追突した。	40301	17	30～ 49
1999	2	0 ～ 1	バイパスを走行していたダンプが、左カーブのトンネル内で前の普通乗用車3台を追抜くため反対車線を走行し、トンネルを出たところで、前から来た2トントラックと正面衝突した。	80102	17	1～9
1999	2	12 ～ 13	4tトラックで工場へ製品を納品して国道を帰る途中、対向車線にはみ出したため対向の10tトラックと正面衝突した。	40301	17	30～ 49
1999	2	5 ～ 6	飼料配送のために3tトラックで走行中、県道交差点において、道路右側から赤色の点滅信号で進入してきた4tトラックと出会い頭に衝突した。	40301	17	10～ 29
1999	2	11 ～ 12	11トントラックに丸太を積み込んでチェーンで丸太が落ちないように増し締めしていたときに、トラック荷台の一番上にあった丸太2本がトラック頂部より約3.2m落下し顔面に当たった。	10401	4	30～ 49
1999	2	4 ～ 5	国道を10トントラックで走行中、対向の4トントラックがガードレールに激突し、そのはずみで対向車線に飛び出してきたため正面衝突した。さらに、10トントラックは左側ガードレールを突き破って約8メートル下の河川敷に転落した。4トントラックの運転手も死亡した	40301	17	100 ～ 299
1999	2	2 ～ 3	4tトラックで走行中、左カーブを終えた付近でセンターラインを越えたため、対向の大型トラックと正面衝突した。	40301	17	10～ 29
1999	2	22 ～ 23	片側2車線の1車線を交通規制にして道路維持工事を実施中、一般車の誘導を担当していた者が工事車両にひかれた。	170201	17	10～ 29
1999	2	5 ～	給油所に入ってきた10トントラックを後進で計量器の近くに誘導しているときに、後進させていたトラックの後部と給油所を囲う壁との間	80204	7	10～ 29



		6	に頭部を挟まれた。			
1999	2	14 ～ 15	構内でゴミを捨てるために焼却炉へ向かって歩行中、事業場から出発するためにハンドルを切りながら微速で後退してきた大型トラックの荷台左後部に後から激突され、転倒したところを後輪にひかれた。	40301	6	50～ 99
1999	2	14 ～ 15	車庫の中で、トレーラーヘッドに海上コンテナを搭載したシャーシを連結する作業を行っていたときに、車体が動き出したためトレーラーのヘッドと隣に置かれていた海上コンテナとの間に頭部を挟まれた。	40301	7	30～ 49
1999	2	9 ～ 10	市道を走行中に32トン積大型トレーラーから落下した機体重量12トンのドラグショベルに、対向の10トンダンプトラックが衝突した。	30106	17	10～ 29
1999	2	23 ～ 24	トラックで米を積んで走行中、左側のガードレールを突き破ってトラックとともに約10m転落した。	40301	17	10～ 29
1999	2	16 ～ 17	2tダンプトラックで土砂崩壊災害復旧現場の崩壊土砂を約70メートル先の盛土現場までバックで走行中、運転操作を誤り村道からダンプトラックと共に転落した。	30106	1	1～9
1999	2	7 ～ 8	呉服の展示会に行くため4tトラックで国道を走行中、トンネル内の左カーブで対向の10tトラックが道路凍結のためスリップして中央線をはみだしてきて正面衝突した。	80209	17	10～ 29
1999	2	5 ～ 6	荷受けのため、11tトラックで走行中、前方の7tトレーラーに追突したため、トレーラーに積んでいた鋼管がフロントガラスを突き破ってきて直撃された。	40301	17	30～ 49
1999	1	10 ～ 11	土砂運搬のためトラックで県道を走行中、脇見運転していたためインターチェンジ高架下信号で信号待ちしていた10tダンプトラックに追突した。	40301	17	1～9
1999	2	2 ～	国道において、普通トラックと大型トラックが正面衝突した。	40301	17	30～ 49

		3				
1999	2	11 ～ 12	4台のトラックでダンボールを運搬してその帰路を走行中、先頭の車が前方の道路工事の誘導員の指示に従い停止したところへ追従して走行していた車が追突した。	40301	17	10～ 29
1999	2	13 ～ 14	駐車場等整備工事において、作業箇所の移動のため国道と県道の交差点を歩行していたところ、後退して来た同僚が運転するダンプトラックにひかれた。	30199	17	10～ 29
1999	2	5 ～ 6	朝刊を自転車で配達中、国道においてトラックにひき逃げされた。	80205	17	10～ 29
1999	2	4 ～ 5	トラックに荷物を積んで国道を走行中、センターラインをオーバーし、対向の大型トラックに衝突した。	40301	17	10～ 29
1999	2	16 ～ 17	トラックで冷凍いわしを配送中、左カーブで反対車線にはみだして右側ガードレールを倒し、さらに水銀灯に衝突し、トラックが横転したため後頭部を強打した。	40301	17	10～ 29
1999	1	10 ～ 11	県道の路面再生工事において、乳剤散布作業車による片側車線の散布が終了したので運転者が車両を後退させたときに、一般車両の交通誘導中の者をひいた。	170201	7	10～ 29
1999	2	6 ～ 7	2tトラックで工事現場に向かって走行中、接触事故で縦列停車していた2台のトラックに追突し、さらに、後続の乗用車が2台相次いで追突してきた。	30201	17	10～ 29
1999	1	8 ～ 9	2tトラックで空洞コンクリートブロックを現場に配達する途中、国道の交差点で民家の隣のブロック塀及びプロパンガスボンベに激突したためプロパンガスボンベが爆発し、トラック及び民家2棟及びアパートの一部が炎上した。	10901	17	1～9
		10	貯木場で、フォークリフトで桧材を10トントラックに積み込む作業			

1999	2	～ 11	中、トラック荷台の木材上で「とび口」を使って木材を揃えていたときに、バランスを崩して約3m下のアスファルト路面に墜落した。	40301	1	1～9
1999	2	10 ～ 11	道路の法面崩落復旧工事現場において、二人で法の丁張を設置していた際、現場上部の道路でドラグショベルで土砂を積み込んでいた2t積みダンプトラックが坂道のため無人のまま動き出し、約10m自走後路肩より転落してきたため、二人がその下敷きとなった。	30106	4	10～ 29
1999	2	10 ～ 11	道路の法面崩落復旧工事現場において、二人で法の丁張を設置していた際、現場上部の道路でドラグショベルで土砂を積み込んでいた2t積みダンプトラックが坂道のため無人のまま動き出し、約10m自走後路肩より転落してきたため、二人がその下敷きとなった。	30106	4	10～ 29
1999	2	18 ～ 19	工事現場の残土運搬作業で泥地にはまった4トンダンプカーをバックホーのバケットで押し出したときに荷台に穴があいたため、作業終了後、河川敷の砂利ヤードで荷台を上げロック装置を施し、荷台の修理作業を荷台とキャビンの間に入り行っていたところ、荷台が降下して挟まれた。	30199	7	10～ 29
1999	1	13 ～ 14	国道をトレーラーで走行中、前方を走行中のポールトレーラーに追突したため、ポールトレーラーの積荷の電信柱がフロントガラスを突き抜けてきて当たった。	40301	17	10～ 29
1999	1	5 ～ 6	10トンバルク車でサイロへ向かう途中、県道から60～70m下の川へ車両とともに墜落した。	40302	17	10～ 29
1999	1	3 ～ 4	4tトラックで荷物を運搬中、減速した前方のトラックに追突して火災が発生し焼死した。	40301	17	30～ 49
1999	1	3 ～ 4	夜間作業が終了して、会社の小型トラックを運転して帰宅途中、直線道路で右側の路面がブラックアイスバーンのため路外に飛出し転覆し、その際に車外に投出されてトラックの下敷きとなった。	30199	17	30～ 49

1999	1	11 ～ 12	同僚労働者と4トン貨物自動車のタイヤ交換作業をしていて左後輪タイヤをジャッキアップしたところ、作業場所が約2度傾斜していたため自動車が逸脱し圧死した。	80204	7	1～9
1999	1	5 ～ 6	車で走行中、バイパス下り車線で工事用看板を撤去する作業車の後を走行していた誘導車両に追突した。	40301	17	100 ～ 299
1999	1	8 ～ 9	鋼材を運搬してきたトレーラーを工場構内へ誘導するため道路上で後続車の停車誘導をしていたとき、工場とは関係なく道路上をまっすぐに後退してきたトレーラーの右後輪に腹部を轢かれた。	11209	17	1～9
1999	1	10 ～ 11	大型ダンプで土取場より道路改良工事現場へ運搬のため道を走行中、スペアタイヤの止め金具が外れてスペアタイヤが路面に落下、これに左後輪を乗り上げて、右にハンドルを取られたため、路肩のガードレールを突き破り約20m下の川に墜落した。	40309	17	1～9
1999	1	5 ～ 6	トラックで県道の緩やかな下り左カーブで停車していた軽自動車に接触したため、軽自動車の運転手と話をするため、運転席を降りて、自分のトラックの前を確認中、凍結していた路面をトラックが逸脱しひかれた。	40301	17	50～ 99
1999	1	5 ～ 6	軽トラックで新聞の梱包を各支店に配送後、担当地区の各戸配達を行っていたとき、軽トラックの運転操作を誤り道路脇の工場の門に激突した。	80205	17	50～ 99
1999	1	14 ～ 15	電気部品を運び帰る途中、国道交差点で信号待ちしていた大型トラックに追突した。	40301	17	1～9
1999	1	11 ～ 12	道路工事現場において、歩道部分に敷く砂利を積載した2tのダンプトラックを歩道上をバックしていたときに、誘導者をひいた。	170201	7	50～ 99
		1	タンクローリーが正門を出て市道を約12m進んだところで積雪のため			

1999	1	～ 2	スリップして立ち往生したのでショベルローダーで牽引するため、ワイヤーロープを掛けにいてバックしてきたタンクローリーとショベルローダーとの間に挟まれた。	150102	17	30～ 49
1999	1	9 ～ 10	トラックの積み荷である米袋の荷卸を終えたのでトラックを50～60m移動し、運転席から降りようとしたときに、転落して、アスファルト地面に頭部を強打した。	40301	1	30～ 49
1999	1	9 ～ 10	プラントから工事現場へコンクリートミキサー車を運転し走行中、センターラインを越え、対向の大型トラックと正面衝突した。	40309	17	1～9
1999	1	8 ～ 9	山で10トンダンプトラックに土砂を積載し離れた道路拡幅工事現場へ運搬中、カーブで曲がりきれずにガードレールに激突、車体が左側に横倒しとなった。	40301	17	10～ 29

出典：[https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen\\_pg/SIB\\_FND.html](https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pg/SIB_FND.html)(職場のあんぜんサイト)

Return to [https://www.jisha.or.jp/international/topics/202311\\_02.html](https://www.jisha.or.jp/international/topics/202311_02.html)